

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ  
運用ガイド（ネカ録 5）

## はじめに

本マニュアルは、ネットワークカメラ用録画・配信サーバの運用に関するガイドを記載しています。

### ■ 本書の構成

#### 1章 ネカ録システムの概要と運用

ネカ録システムの概要と運用について説明します。

#### 2章 システム稼動状況の監視

システム稼動状況の監視について、必要な事前準備と監視方法の概要を説明します。

#### 3章 その他の運用

1章及び2章で言及していない他の運用について説明します。

#### 4章 保守窓口について

保守の窓口への問い合わせに関して説明します。

マークの説明：



：注意事項を記載しています。

---

#### 登録商標、商標

本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本表示及び本文中の各社の登録商標または商標は、正式な名称を省略しています。

## 目 次

1. ネカ録システムの概要と運用 .....	4
1.1 本マニュアルの目的と他マニュアルとの参照関係 .....	4
1.2 ネカ録システムの構成 .....	5
1.3 LCD パネルの表示 .....	6
1.4 アラーム通知の表示 .....	7
1.5 SNMP トラップによる通知 .....	9
1.6 接点出力による通知 .....	9
1.7 ネカ録システム運用の概要 .....	10
1.7.1 ネカ録内蔵ハードディスクの故障監視 .....	10
1.7.2 ネカ録本体の故障監視 .....	10
1.7.3 カメラの故障監視 .....	11
1.7.4 ネットワーク機器の故障監視 .....	11
1.7.5 ネカ録の時刻ずれ修正 .....	11
1.8 遠隔集中監視 .....	12
2. システム稼動状況の監視 .....	13
2.1 事前準備 .....	13
2.2 アラーム監視 .....	13
2.3 アラームの種類と対処 .....	15
2.4 RAID 状態の確認 .....	15
2.5 ネカ録本体・ネットワーク機器監視 .....	16
2.6 ネカ録のクライアント接続状態表示 .....	18
2.7 ネカ録のカメラ接続状態表示 .....	18
3. その他の運用 .....	19
3.1 時刻同期の運用 .....	19
3.2 ネカ録電源投入／切断 .....	19
3.3 停電時の運用 .....	19
3.4 パネル操作 .....	20
3.4.1 通常時表示 .....	20
3.4.2 本体側エラー発生時表示 .....	20
3.4.3 故障時の警告音の停止 .....	21
3.4.4 LAN1 の現在の状態確認 .....	21
3.4.5 本体の現在の状態確認 .....	22
3.4.6 表示モードでのその他の状態確認 .....	23
4. 保守窓口について .....	27
4.1 購入ルートの確認 .....	27
4.2 障害状況の報告 .....	27

# 1. ネカ録システムの概要と運用

本章では、ネカ録システムの概要と運用に関して記載します。

## 1.1 本マニュアルの目的と他マニュアルとの参照関係

本マニュアルは、ネットワークカメラ用録画・配信サーバ（ネカ録）システムを運用される方々を対象としております。

本マニュアルの目的は、録画システムを正常稼動させるために必要な運用をご理解頂き、各機器の故障による録画停止期間を最小限に抑えて頂くことです。

なお、本マニュアルの記述は、運用に関する概要説明に留めております。各運用項目の具体的な設定方法や操作につきましては、以下の各マニュアルを参照ください。

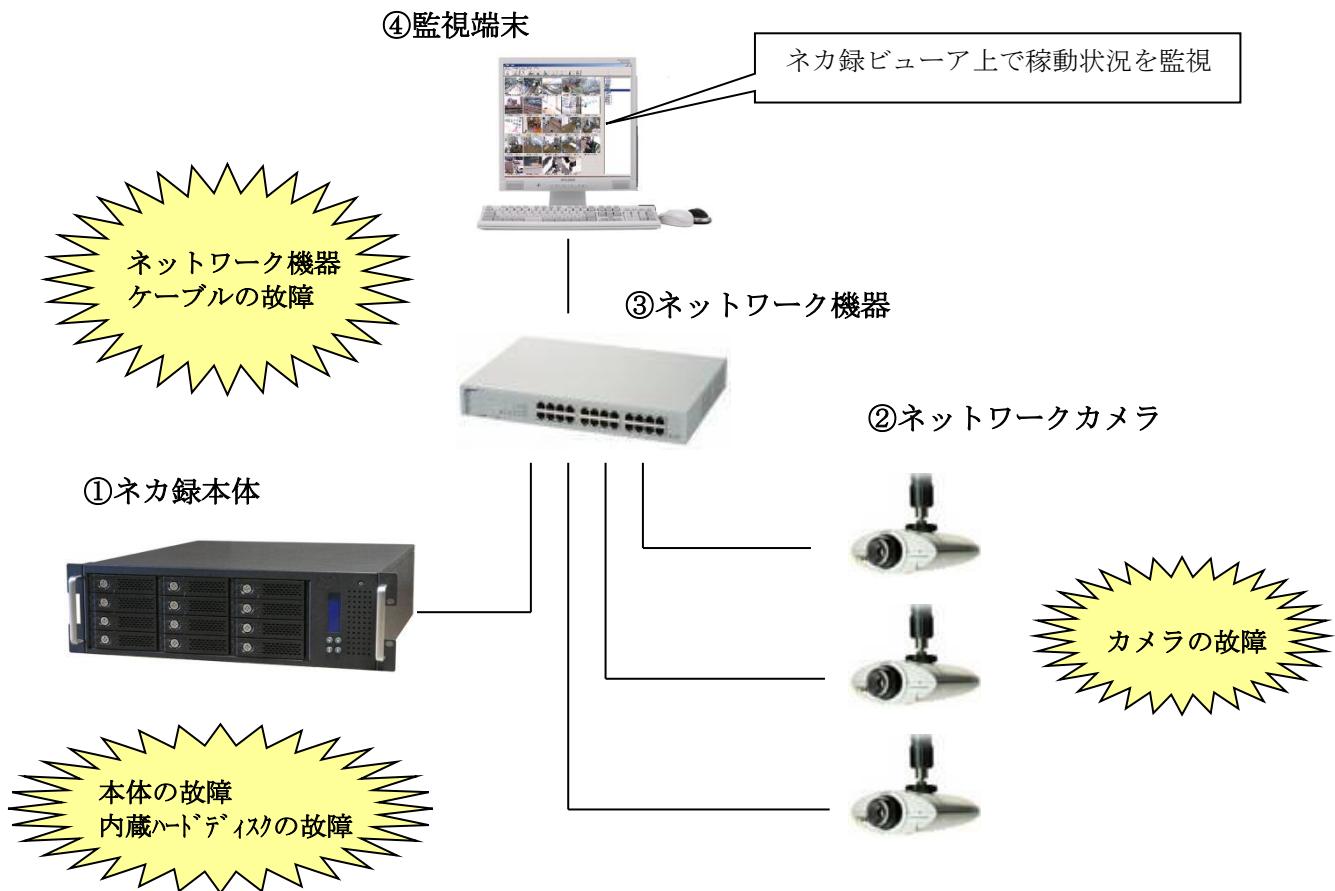
マニュアル名	内容	本マニュアルからの参照箇所
NS-5850 設置ガイド	NS-5850の設置／接続方法	5 電源のオン/オフ 6 前面 LCD パネル表示・操作 8 稼動状態の確認
NS-3850 設置ガイド	NS-3850の設置／接続方法	5 電源のオン/オフ 6 前面 LCD パネル表示・操作 8 稼動状態の確認
NS-1850 設置ガイド	NS-1850の設置／接続方法	5 電源のオン/オフ 6 前面 LCD パネル表示・操作 8 稼動状態の確認
ネカ録統合管理ツール ユーザーズガイド	ネカ録の設定方法 ネカ録の状態確認方法	2 基本操作 4.4.2.3 通知機能を使用する場合 5.14.2 時刻設定 5.2 接続ユーザー画面 5.3 接続カメラ画面
ネカ録ビューア ユーザーズガイド	ネカ録ビューアのインストール方法 ネカ録ビューアの使用方法	2.1 インストール 8 通知機能 10.3 通知機能設定



以降、他マニュアルの参照箇所は ⇒ 詳細は『x x x x』を参照ください。 と表記します。

## 1.2 ネカ録システムの構成

ネカ録システムの一般的な構成例と代表的な故障箇所は以下のとおりです。



ネカ録製品は品質の確保に十分留意しておりますが、長期稼動により以下のような機器の故障が発生する可能性があります。

- ネカ録の内蔵ハードディスクの故障
- ネカ録本体の故障
- カメラの故障
- ネットワーク機器の故障

ネカ録システムを運用するにあたっては、このような故障を迅速に発見して適切な対処をとり、録画停止時間を最小限に抑えることが重要です。本マニュアルでは、そのための稼動状況確認の運用方法について記載しております。



本製品には、有寿命部品（電池、冷却ファン、ハードディスク装置等）が含まれています。  
有寿命部品は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を25℃環境下で使用した場合で  
ハードディスクは約3年、電池、冷却ファンは約5年経過しますと故障する可能性が高くなります。  
これはあくまで目安であって、寿命期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものでは  
ありません。また、高温環境下での使用等、ご使用条件によっては早期にあるいは製品の  
保証期間内であっても部品交換（有料）が必要となることがあります。

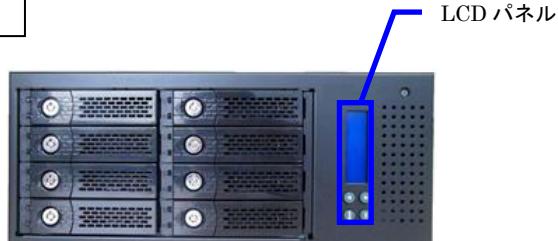
## 1.3 LCD パネルの表示

本体側でエラーが発生しますと、本体の前面にあります LCD パネルにエラーの内容が表示されます。  
詳細は、「3.4.2 本体側エラー発生時表示」を参照ください。

NS-5850 前面図



NS-3850 前面図



NS-1850 前面図



## 1.4 アラーム通知の表示

アラーム通知を設定している場合、本体側でエラーやアラームイベントが発生しますと、ネカ録ビューア、またはスーパー・マルチビューア(SMV)にエラーが通知され、ポップアップ画面が表示されます。

ネカ録ビューア、SMV の表示の内容は、以下の通りです。

日時 :	<u>yyyy/mm/dd hh:mm:ss</u> CAM-1
接続先 :	<u>IP アドレス</u>
カメラ名 :	
イベント :	<u>メッセージ</u>
[OK]	

yyyy/mm/dd : 発生日付

hh:mm:ss : 発生時刻

IP アドレス : 発生したネカ録の IP アドレス

メッセージ : H/W 異常メッセージ

メッセージは、エラーのパターンにより表示が異なります。

詳細は、以下です。

アラームの種類	メッセージ	パラメータ
ファン異常	ファン異常( <u>xxxxxxxx</u> )	<u>xxxxxxxx</u> : 障害が発生したファンの識別子
電圧異常	電圧異常( <u>xxxxxxxx</u> )	<u>xxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
温度異常	温度異常( <u>xxxxxxxx</u> )	<u>xxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
電源異常 (NS-5850 のみ)	電源異常( <u>xxxxxxxx</u> )	<u>xxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
RAID 縮退	RAID 縮退: <u>pd1</u> [, <u>pd2</u> ]	<u>pd1</u> : 障害 HDD 番号1(0~11) <u>pd2</u> : 障害 HDD 番号2(0~11) ※HDD1台障害の場合は省略
ディスク異常	HDD アクセス異常	なし

ネカ録本体の異常ではありませんが、UPS 関連の以下のメッセージが表示される場合があります。

アラームの種類	メッセージ	意味
UPS 通信異常	UPS 通信エラー	UPS が認識できません
停電	停電: UPS バッテリ <u>xx</u> 秒	停電が発生しバッテリで動作中です パラメータ <u>xx</u> : シャットダウンを開始するまでの秒数
	停電: UPS バッテリ低下	停電が発生しバッテリで動作中にバッテリ残量が低下しました
停電によるシャットダウント	情報: シャットダウンします	停電が発生し、「待機時間」経過、または、バッテリ残量低下を検出したため、シャットダウンします
停電からの復旧	情報: 起動しました(停電復旧)	停電によりシャットダウンしましたが、停電が復旧し起動しました
	情報: 停電復旧しました	停電が発生しバッテリで動作中に停電が復帰しました

ネカ録本体の異常ではありませんが、LCD パネルの操作や統合管理ツールでの操作により、以下のメッセージが表示される場合があります。

アラームの種類	メッセージ	意味
テスト通知	ALERT_TEST	統合管理ツールの操作により、テスト通知が実行されました。
OS一時ユーザー許可	ENABLE_TEMPUSER	LCD パネル操作により、OS の一時ユーザーが許可されました。
OS パスワード設定実行	SET_ROOT_PASSWORD	LCD パネル操作により、root ユーザーのパスワードがセットされました。
OS パスワードリセット実行	RESET_ROOT_PASSWORD	LCD パネル操作により、root ユーザーのパスワードがデフォルト値にリセットされました。
OS ログインロック解除	UNLOCK_OS_LOGIN	LCD パネル操作により、OS ユーザーのアカウントロックが解除されました。

## 1.5 SNMP ト ラッ プ による 通 知

SNMP ト ラッ プ による 通 知を 設定 し て いる 場 合、本 体 側 で エ ラー が 発 生 し ま す と、指 定 さ れ た 通 知 先 に SNMP ト ラッ プ の メ ヘッジ が 送 信 さ れ ま す。これ に よ り、パ ト ライ ト を 点 灯 さ せ る 等 の 運 用 が 可 能 で す。

カ テ ゴ リ	ア ラ ー ム の 種 類	TRAP 番 号	data binding(variable bindings)		
			OID	型	値
RAID 縮 退	RAID 縮 退	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	1
ファン 異 常	ファン 異 常	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	2
UPS 異 常	UPS 通 信 エ ラ ー 停 電	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	3
電 源 異 常	電 源 異 常	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	4
その 他 異 常	電 壓 異 常	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	5
	温 度 異 常				
	ディ ス ク 異 常				
その 他 の 通 知	停 電 に よ る シ ャ ッ ツ ダ ウ ン 停 電 か ら の 復 旧 テ 施 通 知 OS 一 時 ユ ザ ー 許 可 OS パ ス ワ ド 設 定 実 行 OS パ ス ワ ド リ セ ッ ツ 実 行 OS ロ グ イ ル ロ グ ッ ツ 解 除	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	1.3.6.1.6.3.1.1.5.3	integer	6

## 1.6 接 点 出 力 に よ る 通 知

ア ラ ー ム 通 知 時 に 接 点 出 力 も 行 う 設 定 し て いる 場 合、本 体 側 で エ ラ ー が 発 生 し ま す と、エ ラ ー の カ テ ゴ リ 別 に 設 定 さ れ た 接 点 番 号 に 接 点 出 力 さ せ る 運 用 が 可 能 で す。ア ラ ーム の 種 類 と カ テ ゴ リ の 関 係 は 以 下 の 通 り で す。

カ テ ゴ リ	ア ラ ーム の 種 類
RAID 縮 退	RAID 縮 退
ファン 異 常	ファン 異 常
UPS 異 常	UPS 通 信 エ ラ ー 停 電
電 源 異 常	電 源 異 常
その 他 異 常	電 壓 異 常
	温 度 異 常
	ディ ス ク 異 常
その 他 の 通 知	停 電 に よ る シ ャ ッ ツ ダ ウ ン 停 電 か ら の 復 旧 テ 施 通 知 OS 一 時 ユ ザ ー 許 可 OS パ ス ワ ド 設 定 実 行 OS パ ス ワ ド リ セ ッ ツ 実 行 OS ロ グ イ ル ロ グ ッ ツ 解 除

## 1.7 ネカ録システム運用の概要

ネカ録システムを正常稼動させるにあたり、必要な運用項目及びその概要を機器ごとに説明します。

### 1.7.1 ネカ録内蔵ハードディスクの故障監視

項目	内 容
故障時の影響	全カメラの録画停止、録画した画像の消失
運用項目	アラームの監視、R A I Dの監視
運用概要	<p>ハードディスクが故障すると、録画は停止します。迅速に故障を検出して交換し、録画停止期間を最小限に抑えてください。</p> <p>ハードディスクの故障を検知するためには、イベント通知機能の設定を行い、故障時にアラームが監視端末に通知されるようにしてください。</p> <p>なお、ハードディスクが故障してもライブ画像表示は継続している場合がありますので、ライブ画像表示だけで判断せず、この方法で検知してください。</p> <p>※アラーム監視については『2.2 アラーム監視』を参照ください。</p> <p><b>【RAID モデルの場合】</b></p> <p>RAID モデルでは複数のハードディスクを使用して耐故障性を向上する仕組みを備えております。ハードディスクの故障が 2 台(RAID6 の本体)または 1 台(RAID5, RAID1 の本体)までの場合は、録画は継続し、アラーム通知がされます。ネカ録ビューア、または SMV にて、アラーム通知を受け取るよう、設定を行ってください。</p> <p>※RAID 状態の確認については『2.4 R A I D 状態確認』を参照ください。</p>

### 1.7.2 ネカ録本体の故障監視

項目	内 容
故障時の影響	全カメラの録画停止
運用項目	定期的なネカ録への接続
運用概要	<p>ネカ録本体が故障すると録画は停止します。迅速に故障検出・修理を行い、録画停止期間を最小限に抑えてください。</p> <p>ネカ録本体の故障を検知するには、監視端末から定期的にネカ録に接続し、ライブ画像表示を確認します。</p> <p>正常に接続できない場合や、ライブ画像表示が静止している場合には、故障している可能性があります。</p> <p>※本体故障監視については『2.5 ネカ録本体・ネットワーク機器監視』を参照ください。</p> <p><b>【自動監視製品】</b></p> <p>「統合監視ソフトウェア」を使用すると、複数のネカ録の稼動状態を自動的に監視することができます。</p> <p>監視対象のネカ録の台数が多い場合は、この製品の使用を推奨します。</p>

### 1.7.3 カメラの故障監視

項目	内容
故障時の影響	ライブ画像表示停止、録画停止
運用項目	アラームの監視
運用概要	<p>カメラが故障するとライブ画像表示及び録画が停止します。迅速に故障を検出し、対処してください。</p> <p>カメラの故障を検知するためには、イベント通知機能の設定を行い、故障時にアラームが監視端末に通知されるようにしてください。</p> <p>※アラーム監視については『2.2 アラーム監視』を参照ください。</p>

### 1.7.4 ネットワーク機器の故障監視

項目	内容
故障時の影響	ライブ画像表示停止、録画停止
運用項目	定期的なネカ録への接続
運用概要	<p>ネットワーク機器の故障を検知するには、監視端末から定期的にネカ録に接続し、ライブ画像表示を確認します。正常に接続できない場合や、ライブ画像表示が静止している場合には、故障している可能性があります。</p> <p>※ネットワーク機器故障監視については『2.5 ネカ録本体・ネットワーク機器監視』を参照ください。</p>

### 1.7.5 ネカ録の時刻ずれ修正

項目	内容
時刻ずれの影響	録画画像の正確な時刻が判断できなくなる 必要な時刻の画像がダウンロードできなくなる
運用項目	定期的なネカ録の時刻合わせ
運用概要	<p>ネカ録の録画画像には、録画時のネカ録の時刻が記録されます。</p> <p>録画画像再生時には、この時刻が表示されますので、ネカ録の時刻がずれていれば、録画画像の正確な時刻が判断できなくなります。</p> <p>また、画像をダウンロードする場合、この時刻の画像がダウンロードされますので、時刻がずれていると、必要な時刻の画像をダウンロードできません。</p> <p>これらの弊害を防止するために、定期的にネカ録の時刻合わせを実施して下さい。（1ヶ月に1回程度の実施を推奨します。）</p> <p>⇒ 時刻合わせ手順の詳細は、『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内の『時刻設定』の節を参照ください。</p> <p><b>【NTP サーバによる時刻同期】</b></p> <p>NTP サーバを利用した定期的な自動時刻同期も可能です。この場合、ネカ録から LAN 接続可能な NTP サーバが必要となります。</p> <p>⇒ NTP 設定の詳細は、『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内の『時刻設定』の節を参照ください。</p>

## 1.8 遠隔集中監視

ネカ録システムでは、監視端末とネカ録を通信回線（WAN）で接続することにより、遠隔監視を行うことができます。複数拠点にネカ録が設置してあるシステムにおいては、一拠点から遠隔集中監視を行うこともできます。

## 2. システム稼動状況の監視

本章では、システム稼動状況の監視について、必要な事前準備と監視方法の概要を記載します。

### 2.1 事前準備

#### (1) ネカ録ビューアのインストール

システム稼動状況の監視を行う為には、監視端末にネカ録ビューアをインストールする必要があります。また、アラーム通知を受け取る設定が必要です。

⇒この手順の詳細は『ネカ録ビューアユーザーズガイド』内、『インストール』及び『通知機能設定』の節を参照ください。

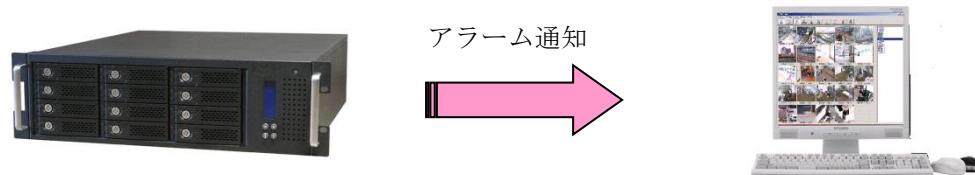
#### (2) ネカ録の設定

アラーム通知を行う為には、ネカ録のイベント通知機能の設定を行う必要があります。

⇒この手順の詳細は『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内、『事前準備』の『通知機能を使用する場合』の節を参照ください。

### 2.2 アラーム監視

機器の故障が監視端末に通知されますので、この通知を監視端末で監視します。

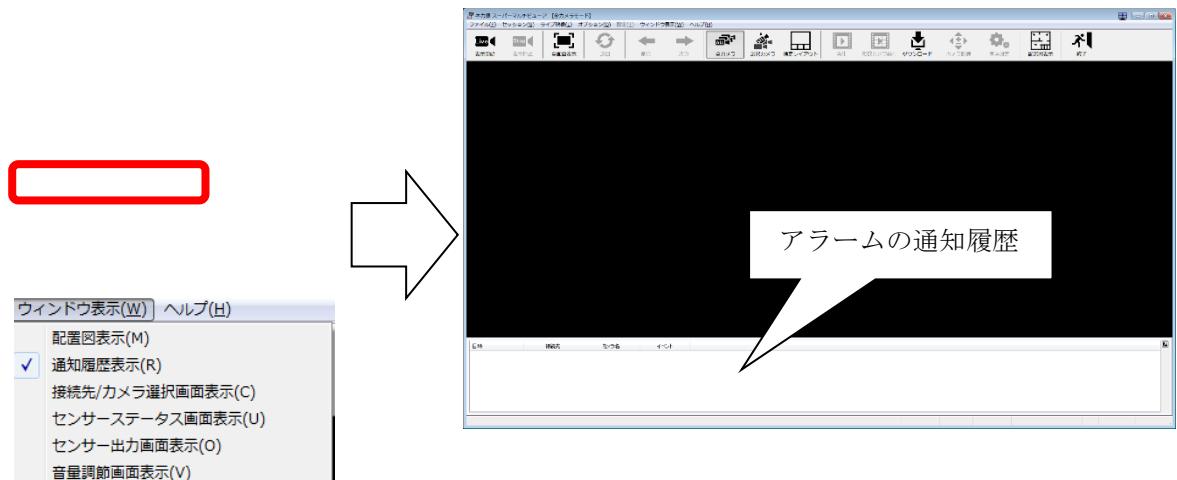


故障発生時、監視端末のネカ録ビューアのアラーム通知履歴欄に故障通知が表示されます。また、ポップアップメッセージも表示されます。この際、警報音を発生させることも可能です。



ネカ録ビューアのアラーム通知機能を使用するためには、ネカ録ビューアがインストールされた監視端末を常時起動し、ネカ録ビューアを起動しておく必要があります。

⇒ アラーム通知機能についての詳細は『ネカ録ビューアユーザーズガイド』内、『通知機能』の章を参照ください。



## 2.3 アラームの種類と対処

故障を示すアラームには、以下の3種類があります。それぞれに応じた対処を行ってください。

アラームの種類	意味	対処
ディスクエラー	ハードディスクでエラーが発生	録画が停止している可能性があります。至急、保守窓口にお問い合わせください。
カメラ停止	カメラからの画像配信が停止	アラーム通知履歴欄で「接続先」と「カメラ名」を確認し、該当カメラのライブ画像表示を確認してください。 ライブ画像が表示されていない場合は、カメラの故障の可能性があります。保守窓口にお問い合わせください。 正常にライブ画像が表示されている場合は、カメラもしくはネットワーク機器の一時的な不調と考えられます。頻発する場合は、保守窓口にお問い合わせください。
入出力ボックスの停止	I/Oボックスとの通信ができない	I/Oボックス、及びI/Oボックスまでのネットワーク上に問題が発生しています。保守窓口にお問い合わせください。

## 2.4 RAID 状態の確認

Web ブラウザでネカ録の統合管理ツールにログインして、稼動状態の確認を行って、ハードディスクの故障を検知してください。

- ⇒ 統合管理ツールへの接続方法は、『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内の『基本操作』の章を参照ください。  
監視方法の詳細は各機種（NS-5850、NS-3850、NS-1850）の『設置ガイド』内の『前面 LCD パネル表示・操作』、および『稼動状態の確認』の章を参照ください。

ハードディスクの故障が検知された場合は、交換が必要になりますので、保守窓口にお問い合わせください。

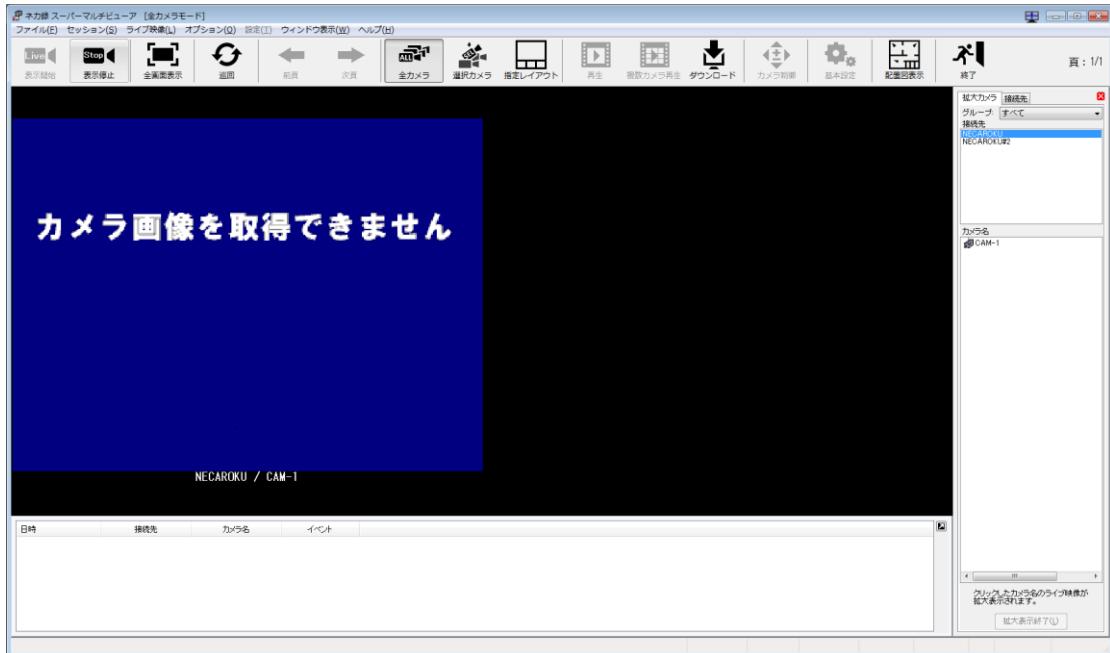
## 2.5 ネカ録本体・ネットワーク機器監視

ネカ録本体及びネットワーク機器の正常稼動を確認するため、定期的にネカ録ビューアまたはSMVにて、ネカ録に接続し、ライブ画像表示の確認を行ってください。

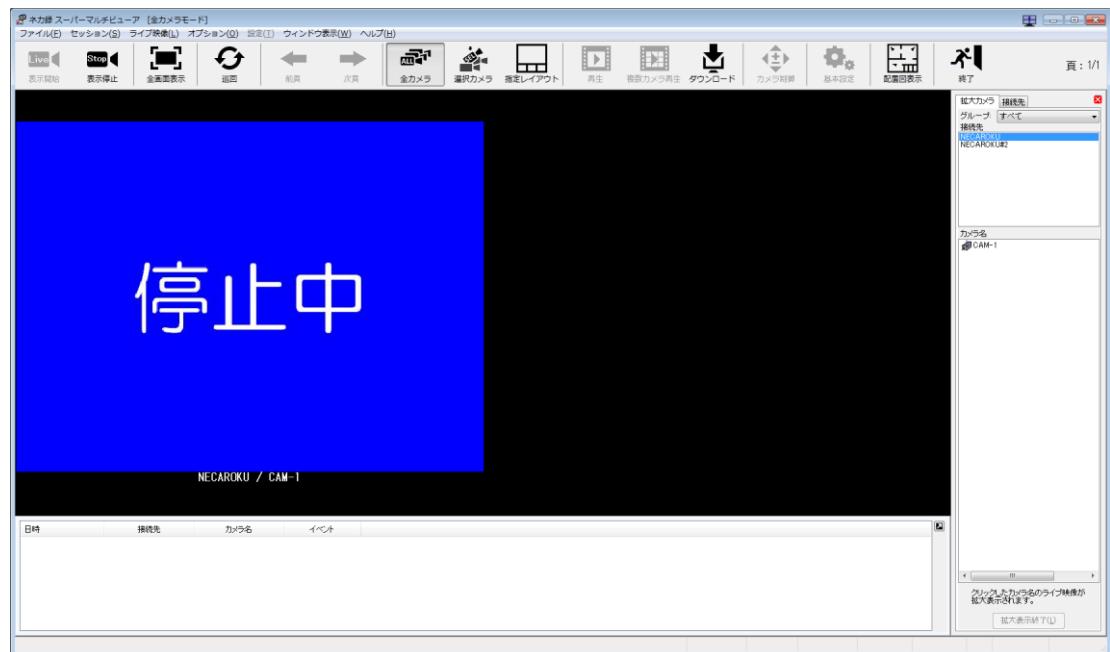
接続して、左上の「表示開始」ボタンを押しても、灰色表示で映像が表示されない場合、「ウィンドウ表示」メニューの「接続先／カメラ選択画面表示」で、「接続先／カメラ選択画面」画面を表示し、「接続先」タブを選択して、接続を行った接続先の「状態」を参照してください。ログインユーザー名、パスワードが正しいにも関わらず、エラーが表示された場合、ネカ録の故障、もしくはネカ録ビューアの動作するPCまでのネットワーク機器の故障と考えられます。保守窓口に問い合わせください。



常時ネカ録に接続している場合は、次頁のように、「カメラ画像を取得できません」という青色表示になる場合もあります。この場合も、ネカ録本体の故障、もしくはネカ録ビューアの動作するPCまでのネットワーク機器の故障と考えられますので、保守窓口に問い合わせください。



下図のように、「停止中」という青色表示になる場合もあります。この場合は、ネカ録は動作しており、カメラの故障、もしくはネカ録からカメラまでのネットワーク機器の故障と考えられます。



## 2.6 ネカ録のクライアント接続状態表示

ネカ録とクライアントの接続に関し、接続の上限（接続セッション数、同時接続可能 PC 台数、同時再生・ダウンロード数）に達しているか否かを確認するために、接続状態を表示する機能を提供しています。

⇒この手順の詳細は『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内、『接続ユーザー画面』の節を参照ください。

## 2.7 ネカ録のカメラ接続状態表示

ネカ録とカメラの接続状態を確認するために、接続状態の一覧を表示する機能を提供しています。

⇒この手順の詳細は『ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド』内、『接続カメラ画面』の節を参照ください。

### 3. その他の運用

---

本章では、これまでに説明していない他の運用について記載します。

#### 3.1 時刻同期の運用

時刻同期のために、ネカ録設定ツールを使用して定期的に時刻を合わせてください。

1ヶ月に1回程度の実施を推奨します。

⇒ 設定手順の詳細は『ネカ録統合管理ツールユーザーズガイド』内、『時刻設定』の節を参照ください。

#### 3.2 ネカ録電源投入／切斷

以下のような状況では、電源の投入/切斷を行う必要があります。

- ① 計画停電前のネカ録の停止と復電後の再起動
- ② ネカ録本体の故障が考えられる場合の緊急復旧

⇒ 詳細は『ネカ録 設置ガイド』内、『電源のオン／オフ』の章を参照ください。

#### 3.3 停電時の運用

停電時には、以下の運用が必要となります。

停電の種類	UPS 無し	UPS あり
計画的な停電	停電前にネカ録電源切斷 復電後にネカ録電源投入	操作必要なし (自動電源切斷)
予期せぬ停電	復電後、ライブ画像表示確認、画像ダウンロード確認を行い、異常がある場合は保守窓口に連絡	

(UPS=Uninterruptible Power Supply、無停電電源装置)

UPSを使用していない場合は、停電時に正常な終了処理ができないため、ハードディスク障害等を誘発する可能性があります。UPS使用時は、停電時にもUPSからの給電を受けている間に自動的に終了処理を行うため、障害発生を防止することができます。

UPSの導入を検討される場合は、営業窓口へご相談ください。

## 3.4 パネル操作

### 3.4.1 通常時表示

ネカ録が正常起動されると下図のように、1行目にホスト名、2行目にバージョン番号が表示され、数秒おきに点滅します。

<u>hostname</u>
<u>version</u>

図 1.1 通常表示画面

hostname : ホスト名 (デフォルト : NECAROKU)

version : ネカ録バージョン (例 : Ver:5.1.00)

### 3.4.2 本体側エラー発生時表示

本体側でH/WまたはRAIDの異常を検出すると、2行目にはバージョン番号に代わり、エラーメッセージが表示されます。新たなエラーを検出した場合、エラーメッセージは上書きされ、直近に検出したエラーメッセージが残ります。エラー状態から回復した場合でも、このエラーメッセージは自動的にはクリアされず、残ります。現在の状態を確認する場合は、0の画面で確認してください。

<u>hostname</u>
<u>ErrorMessage</u>

図 1.2 エラー発生時表示画面

hostname : ホスト名 (デフォルト : NECAROKU)

ErrorMessage : 本体エラーメッセージ

ErrorMessageは、エラーの種類により表示が異なります。

詳細は、以下の通りです。

エラーの種類	メッセージ	パラメータ
ファン異常の場合	FAN ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> : 障害が発生したファンの識別子
電圧異常の場合	VOL ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
温度異常の場合	TMP ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
電源異常の場合 (NS-5850のみ)	PWR ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> : 障害が発生した場所を特定する識別子
RAID 縮退の場合	RAID DEG : <u>pd1</u> [, <u>pd2</u> ]	<u>pd1</u> : 障害 HDD 番号1(0~11) <u>pd2</u> : 障害 HDD 番号2(0~11) ※HDD1台障害の場合は省略
ディスク異常の場合	HDD I/O ERROR	なし
UPS 通信異常の場合	UPS:CABLE ERR	なし

### 3.4.3 故障時の警告音の停止

本体で故障が発生した場合、3.4.2 に記述のように 2 行目にエラーメッセージが表示されます。故障内容によっては、本体装置から警告音（ピー、ピー）が鳴る場合があります。

その場合、ESC ボタンを約 3 秒長押しすると、警告音が止まります。  
(ネカ録の起動中／シャットダウン中は、ESC ボタンが効きません。)



〔故障時の表示例〕

### 3.4.4 LAN1 の現在の状態確認

パネル操作で、LAN1(eth0)の現在の状態を確認できます。

図 1.1、または図 1.2 の画面にて、「▲」を押すと、LAN1 の現在の状態を表示する画面が表示されます。

この画面は、無操作が 30 秒以上続いた場合、及び、「▲」または「▼」を押した場合に、元の画面（図 1.1 または図 1.2）に戻ります。

<u>IPAddress</u>
<u>LinkStatus</u>

図 1.3 LAN1 の現在状態表示画面

IPAddress : LAN1 の IP アドレス

LinkStatus : LAN1 のリンク状態

★LAN1 のリンク状態の表示メッセージ

状態	表示メッセージ
スイッチとの物理的な接続が正常な場合	LINK UP
スイッチとの物理的な接続に異常がある場合	LINK DOWN

### 3.4.5 本体の現在の状態確認

パネル操作で、本体の現在の状態を確認できます。

図 1.1、または図 1.2 の画面にて、「▼」を押すと、本体の現在の状態を表示する画面が表示されます。

この画面は、無操作が 30 秒以上続いた場合、及び、「▲」または「▼」を押した場合に、元の画面（図 1.1 または図 1.2）に戻ります。

<u>RAIDStatus</u>
<u>HWStatus</u>

図 1.4 本体の現在状態表示画面

RAIDStatus : RAID の状態

HWStatus : H/W の状態

★RAID の状態の表示メッセージ(NS-1500 は除きます)

状態	表示メッセージ	パラメータ
正常な場合	RAID OPTIMAL	なし
RAID 縮退の場合	RAID DEG : <u>pd1</u> [, <u>pd2</u> ]	<u>pd1</u> :障害 HDD 番号 1(0~11) <u>pd2</u> :障害 HDD 番号 2(0~11) ※HDD1台障害の場合は省略
RAID リビルド中の場合	REB: <u>pd1</u> [, <u>pd2</u> ]: <u>n1</u> %[, <u>n2</u> %]	<u>pd1</u> :リビルド HDD 番号 1(0~11) <u>pd2</u> :リビルド HDD 番号 2(0~11) ※HDD1台リビルドの場合は省略 <u>n1</u> :HDD 番号 1 のリビルド進捗 <u>n2</u> :HDD 番号 2 のリビルド進捗 ※HDD1台リビルドの場合は省略 NS-5850,NS-3850 は、整数部まで表示(例:20%)
非 RAID モデルの場合	RAID NONE	なし

★H/W の状態の表示メッセージ

状態	表示メッセージ	パラメータ
正常な場合	H/W MONITOR OK	なし
ファン異常の場合	FAN ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> :障害が発生したファンの識別子
電圧異常の場合	VOL ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> :障害が発生した場所を特定する識別子
温度異常の場合	TMP ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> :障害が発生した場所を特定する識別子
電源異常の場合 (NS-5850 のみ)	PWR ERR: <u>xxxxxxxxxx</u>	<u>xxxxxxxxxx</u> :障害が発生した場所を特定する識別子

### 3.4.6 表示モードでのその他の状態確認

パネル操作により、表示モードに切り替えることで、その他の状態も確認できます。

図 1.1、または図 1.2 の画面にて、「ENTER」を押すと、表示モードに変わります。

表示モードの先頭画面は、以下の通りです。

```
#Select Disp No.  
←:ESC +:▲ -:▼
```

「▲」、または「▼」を押す毎に、表示メニューが切り替りますので、表示したいメニューを選択します。

```
#Select Disp No.  
←:ESC +:▲ -:▼  
↑ ↓  
9:IPV6  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
8:MODEL  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
7:Mac Address  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
6:User Lock Stat  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
5:L6rescue Pas  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
4:Date Time  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
3:GateWay  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
2:LAN2 Stat  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
1:LAN1 Stat  
No. +-:▲▼ ↲:ENT  
↑ ↓  
#Select Disp No.  
←:ESC +:▲ -:▼
```

先頭画面以外の表示メニューで「ESC」を押した場合、先頭画面に戻ります。

先頭画面で「ESC」を押した場合、及び、先頭画面、各表示メニューで無操作が 30 秒以上続いた場合、表示モードを終了し、元の通常時の画面（図 1.1 または図 1.2）に戻ります。

選択した表示メニューで「ENTER」を押すと、そのメニューの状態が表示されます。

状態表示は 15 秒間表示されて、メニューに戻ります。また、15 秒経過する前に「ESC」、「ENTER」、「▲」、「▼」の何れかのキーを押すと、表示メニューに戻ります。

各表示メニューの表示内容は、以下の通りです。

(1) LAN の状態

1:LAN1 Stat No. +-:▲▼ ↲:ENT	2:LAN2 Stat No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------	--------------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、LAN1 または LAN2 の設定、状態を確認できます。LAN1 の場合、3.4.4 とほぼ同じ情報ですが、プレフィックスの値も表示されます。

<u>IPAddress</u> <u>/Prefix</u> ( <u>LinkStatus</u> )
<u>IPAddress</u> : IP アドレス (xxx. xxx. xxx. xxx)
<u>Prefix</u> : サブネットのプレフィックス (1~32)
<u>LinkStatus</u> : リンクの状態 (LINK UP/LINK DOWN)

(2) デフォルトゲートウェイの設定値

3:GateWay No. +-:▲▼ ↲:ENT
------------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、デフォルトゲートウェイの現在の設定値を確認できます。

<u>GatewayAddress</u>
<u>GatewayAddress</u> : デフォルトゲートウェイのアドレス (xxx. xxx. xxx. xxx)

(3) 現在時刻

4:Date Time No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、ネカ録の時計の現在時刻を確認できます。

<u>Date</u> <u>Time</u>
<u>Date</u> : 現在の日付 (yyyy/mm/dd)
<u>Time</u> : 現在の時刻 (hh:mm:ss)

(4) MAC アドレス

7:Mac Address No. +-:▲▼ ↲:ENT
----------------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、LAN1、及び LAN2 の MAC アドレスの値が確認できます。

<u>MacAddress1</u> <u>MacAddress2</u>
<u>MacAddress1</u> : LAN1 の MAC アドレス (xxxxxxxxxxxx) ※ : コロン (:) が付かない形式
<u>MacAddress2</u> : LAN2 の MAC アドレス (xxxxxxxxxxxx) ※ : コロン (:) が付かない形式

##### (5) IPV6 設定値

9:IPV6 No. +-:▲▼ ↲:ENT
---------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような IPV6 設定表示サブメニューが表示されます。

9-1: LAN1 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

「▲」、または「▼」を押す毎に、サブメニューが切り替りますので、表示したいメニューを選択して、「ENTER」を押すと、LAN1、及び LAN2 の IPV6 の設定値を確認できます。

9-1: LAN1 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

↑ ↓

9-5: V6 Gateway No. +-:▲▼ ↲:ENT
------------------------------------

↑ ↓

9-4: LAN2 V6 Pref No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

↑ ↓

9-3: LAN2 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

↑ ↓

9-2: LAN1 V6 Pref No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

↑ ↓

9-1: LAN1 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

各サブメニューで「ESC」を押した場合、及び、無操作が 30 秒以上続いた場合、表示メニューの「9:IPV6」に戻ります。

選択したサブメニューで「ENTER」を押すと、そのサブメニューの設定値が表示されます。

設定値は 15 秒間表示されて、サブメニューに戻ります。また、15 秒経過する前に「ESC」、「ENTER」、「▲」、「▼」の何れかのキーを押すと、サブメニューに戻ります。

##### (5-1) IPV6 アドレスの設定値

9-1: LAN1 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

9-3: LAN2 V6 Addr No. +-:▲▼ ↲:ENT
--------------------------------------

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、LAN1 または LAN2 の IPV6 アドレスの設定値を確認できます。

<u>IPV6Address_part1</u> <u>IPV6Address_part2</u>
--

IPV6Address\_part1 : IPV6 アドレスの先頭 64 ビット (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

※ : コロン (:) が付かない 16 進数形式

※ : IPV6 が無効の場合、"DISABLE" と表示

IPV6Address\_part2 : IPV6 アドレスの末尾 64 ビット (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

※ : コロン (:) が付かない 16 進数形式

※ : IPV6 が無効の場合、空白を表示

(5-2) IPV6 プレフィックスの設定値

9-2: LAN1 V6 Pref  
No. +-:▲▼ ↲:ENT

9-4: LAN2 V6 Pref  
No. +-:▲▼ ↲:ENT

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、IPV6 プレフィックスの設定値を確認できます。

IPV6Prefix

IPV6Prefix: IPV6 サブネットのプレフィックス (1~128)

(5-3) IPV6 デフォルトゲートウェイの設定値

9-5: V6 Gateway  
No. +-:▲▼ ↲:ENT

上記の表示メニューで「ENTER」を押すと、以下のような表示がされて、IPV6 デフォルトゲートウェイの設定値を確認できます。

IPV6Gateway\_part1  
IPV6Gateway\_part2

IPV6Gateway\_part1: IPV6 ゲートウェイアドレスの先頭 64 ビット (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

※ : コロン (:) が付かない 16 進数形式

※ : IPV6 が無効の場合、"DISABLE" と表示

IPV6Gateway\_part2: IPV6 ゲートウェイアドレスの末尾 64 ビット (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx)

※ : コロン (:) が付かない 16 進数形式

※ : IPV6 が無効の場合、空白を表示上記の表示

※その他の表示メニューについては、保守用ですので、説明を省略します。

## 4. 保守窓口について

本章では、保守の窓口への問い合わせに関して記載します。

### 4.1 購入ルートの確認



問い合わせの前にまず お客様の購入ルートをご確認ください。  
購入ルートにより窓口が変わります。

#### (1) 販売代理店経由で購入した場合

販売代理店にお問い合わせください。

#### (2) 三菱電機インフォメーションネットワークから直接購入した場合

故障している機器に応じて以下の各窓口にご連絡ください。

故障している機器	保守窓口 問い合わせ先
ネカ録（本体、ハードディスク）	保証書に記載の三菱電機インフォメーションネットワーク保守窓口
カメラ	カメラメーカーの保守窓口
ネットワーク機器	ネットワーク機器の保守窓口

### 4.2 障害状況の報告

三菱電機インフォメーションネットワーク保守窓口へお問い合わせの場合、窓口につながりましたら、以下の情報を伝えください。

- ① お客様名
- ② 使用しているネカ録の機種、型番、製造番号（製品添付の保証書に記載されています）
- ③ 保守契約の有無
- ④ 導入年月日
- ⑤ 発生している現象の概要
- ⑥ 表示されているメッセージ、通知されているアラーム、RAID管理ツールの表示内容など

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ 運用ガイド（ネカ録 5）

説明書番号 90B0-DL-1564A

2017年11月1日 発行

**三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社**

東京都港区芝浦 4-6-8

---

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ  
ネ力録5  
クイックスタートガイド

# 1 はじめに

## 1.1 本書について

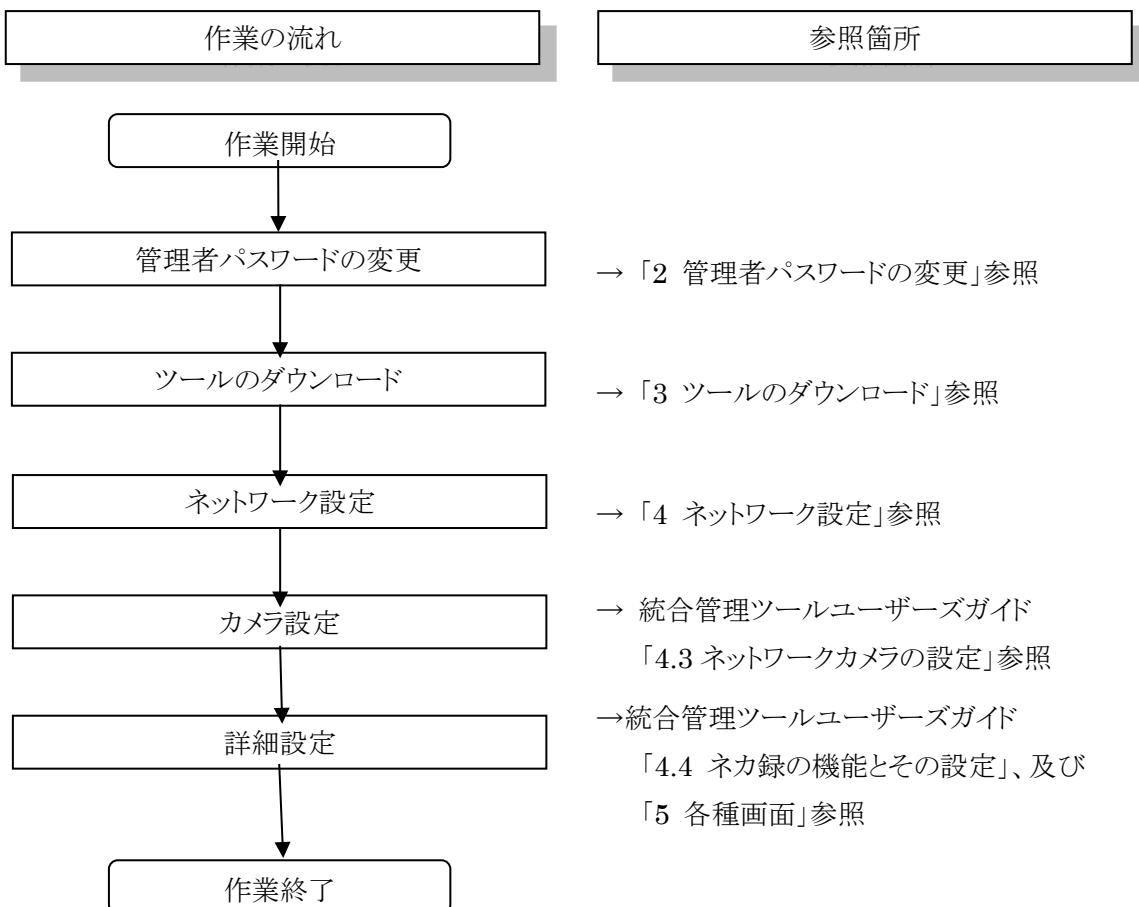
本書はネカ録を初めて設定する時の手順を記載します。

前提として、ネカ録の電源を入れて、LAN1をネットワークに接続し、設定を行うためのPCがネカ録のLAN1と同一のサブネット(192.168.0.0/24)のネットワークに接続されているものとします。また以下の作業を実施する前のネカ録のLAN1のネットワークアドレスは、出荷時の状態(192.168.0.102)であることとします。

(かならず、同一のサブネットで作業をお願いいたします。)

## 1.2 作業の流れ

設定作業の流れと、各作業の内容についての参照箇所はつぎの通りです。





## 注意事項

- 本手順書の内容を作業するにあたり、Webブラウザが必要になります。Internet Explorer 11、またはEdgeが入っているPCをご用意ください。(Internet Explorer 11より前のバージョンでは動作しませんので、ご注意願います)

# 2 管理者パスワードの変更

セキュリティー上の観点から、管理者(L7admin)のパスワードをデフォルトの値から変更します。

推測されにくいパスワードを決定し、変更します。変更したパスワードは忘れないように、メモ等を残し、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合の対処については、保守員にご相談ください。

## (1) 統合管理ツールへのログイン

Web ブラウザを開き、アドレスにネカ録の IP アドレスを入力します。

例: http://192.168.0.102 (IP 設定初期値は 192.168.0.102)

入力しますと、以下の画面が表示されます。



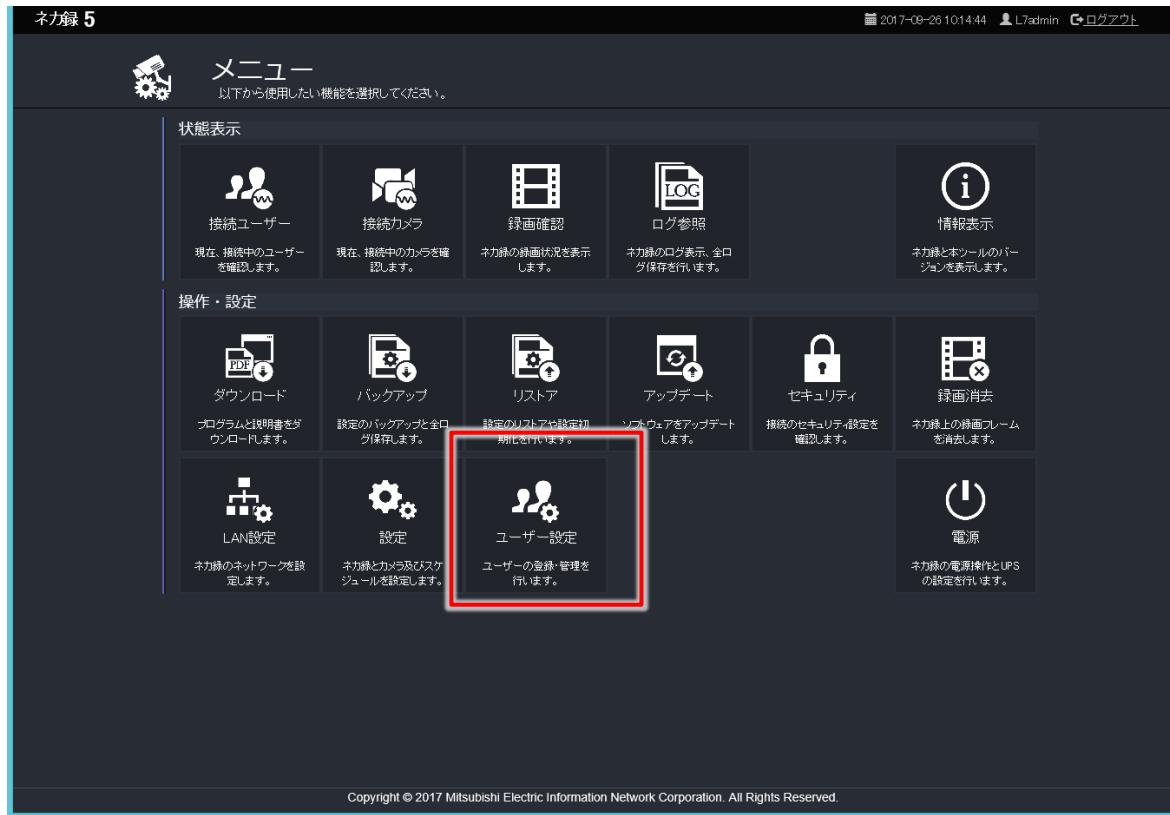
ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

出荷時は、以下のユーザー名とパスワードでログインします。

ユーザー名 : L7admin

パスワード : neca6GO!

正常にログインしますと、以下のメニュー画面が表示されます。



## (2) パスワードの変更

メニュー画面で「ユーザー設定」を押します。

以下のユーザー設定画面が表示されます。

ネカ録5 2017-09-26 10:14:44 L7admin メニュー ログアウト

## ユーザー設定

**説明**

- ネカ録に接続するユーザーの作成・管理をします。
- ユーザーレベルによって利用できる機能に制限があります。[\[ユーザーレベルと機能の一覧を開く\]](#)

【アクセス権の表の見方】 選択したユーザーのカメラに対するアクセス権を、右の色で表示します。 ■ :アクセス可能 / ■ :アクセス不可

管理者(NecarokuManager)のパスワードを変更します。正常に変更した場合、ログアウトしますのでログインしなおしてください。

### ユーザー一覧と選択ユーザーのカメラへのアクセス権

ユーザー管理

編集する	ユーザー名	レベル
▶	userman	5
L1 user		1

選択ユーザーのカメラへのアクセス権

ユニット1

カメラ#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
アクセス権	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

(ユーザ設定画面 続き)

### 管理者設定

パスワード変更

管理者パスワードを変更する ↑ 設定を反映する

パスワード  

(確認用)  

「管理者パスワードを変更する」にチェックし、変更後のパスワードを「パスワード」と「(確認用)」で2回入力します。その後「設定を反映する」ボタンを押します。

これにより、L7admin のパスワードが出荷時の値から変更されます。以下、統合管理ツールに L7admin でログインする場合は、変更したパスワードでログインします。

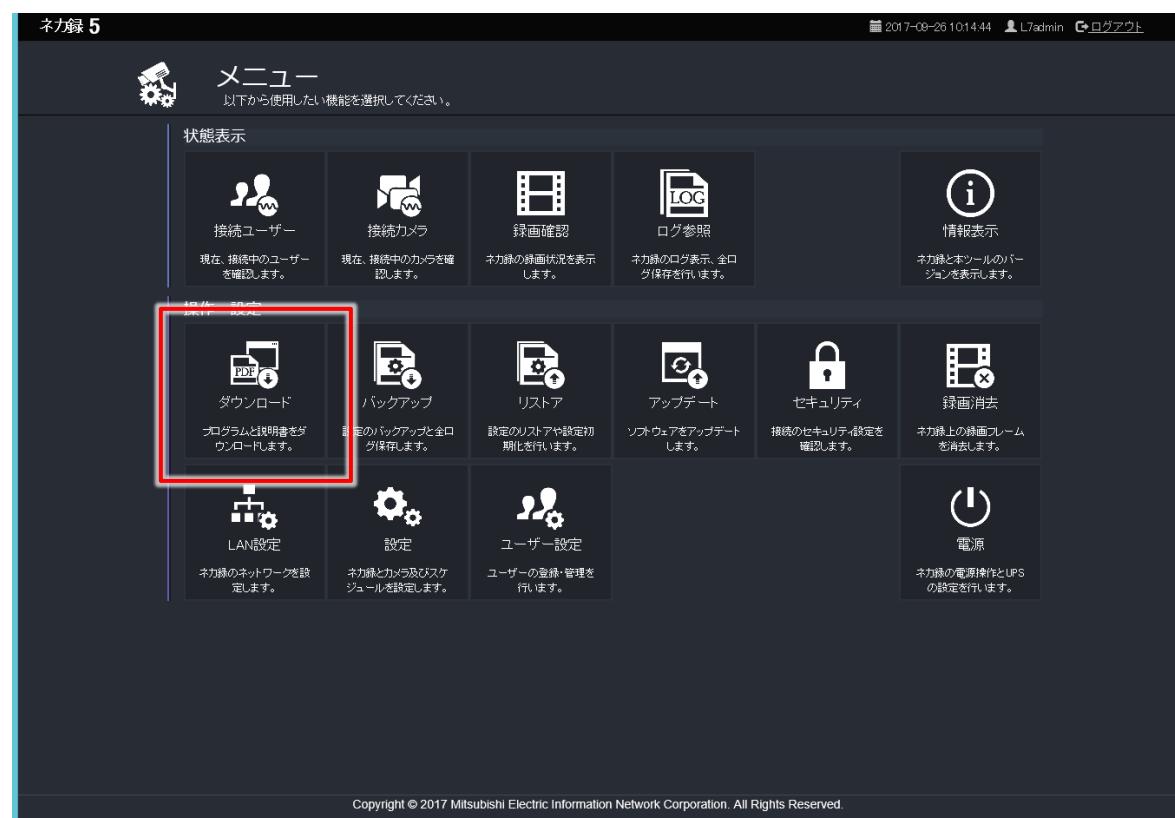
# 3 ツールのダウンロード

説明書、ネカ録ビューア等の必要なツールをダウンロードします。

## (1) 統合管理ツールへのログイン

統合管理ツールに L7admin でログインします。パスワードは変更したパスワードを入力します。

正常にログインしますと、以下のメニュー画面が表示されます。



## (2) ツールのダウンロード

メニュー画面で「ダウンロード」を押します。

以下のダウンロード画面が表示されます。

ネカ録5

2017-09-26 10:14:44 L7admin メニュー ログアウト

## ダウンロード

### プログラム・コーデック

**ネカ録ビューア**  
ネカ録ビューア機能を持つツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますと映像及び、録画映像を確認することができます。  
バージョン3.60

[ダウンロードする](#)

**統合監視ソフトウェア**  
ネカ録関連のソフトウェアの稼働状況を監視するソフトウェアです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールし、設定を行いますと監視することができます。  
バージョン1.30

[ダウンロードする](#)

**接続先サテライト設定ツール**  
接続するネカ録のリストを作成するツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますと、接続リストを設定できます。  
バージョン2.02

[ダウンロードする](#)

**indeo コーデック**  
AVI変換及びAVI変換した映像の再生に必要となるツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますとAVI変換およびAVI変換を行った映像を正しく再生することができます。  
バージョン1.00

[ダウンロードする](#)

**ポータブルムービーブレーヤー**  
ネカ録からダウンロードした映像を再生するためのツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますと、ネカ録からダウンロードした映像を確認することができます。  
バージョン9.20

[ダウンロードする](#)

**動き検知関連設定ツール**  
動き検知に関連する設定を行うツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますと、JPEG画、及びMELOCKカメラ動き検知の設定ができます。  
バージョン1.10

[ダウンロードする](#)

**Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ**  
ピュアからネカ録への接続を定義する際、または接続先サテライト設定ツールを起動するのに必要となるツールです。  
本ソフトウェアをダウンロードし、Windows上にインストールを行いますと、接続先設定を行うことができます。  
バージョン1.00

[ダウンロードする](#)

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

(ダウンロード画面 続き)

### 説明書

**説明書**  
ネカ録の全説明書です。  
ダウンロードを行い、解凍を行い、必要なファイルを参照してください。

[ダウンロードする](#)

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

以下の3点の「ダウンロードする」ボタンを押して、ご使用のPCにファイルを保存してください。

ツール名 (ファイル名)	説明(利用用途)	インストール方法
ネカ録ビューア(※) (NSV_Vxxxi.zip)	WindowsPC上で、ネカ録に接続されたカメラのライブ表示、録画再生・ダウンロード、PTZ操作等を行うプログラムです。	ダウンロードの上、「ネカ録ビューアユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。
接続先サテライト設定ツール (CPS_Vxxxi.zip)	接続するネカ録の一覧情報を生成するツールです。一覧情報は、ネカ録ビューア、スーパーマルチビューア等で使用します。	ダウンロードの上、「ネカ録ビューアユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。
説明書 (MAN_Vxxxi.zip)	ネカ録5のソフトウェアの説明書(PDF形式)がZIPで固められています。	ダウンロードの上、ZIPファイルを展開してください。

※ スーパーマルチビューアをご使用の場合は、ダウンロード不要です。



## 注意事項

上記のVxxxの部分はバージョン名を表します。(バージョンが上がった場合には、上図のバージョンとは異なる数字になります。)

必要に応じて以下も「ダウンロードする」ボタンを押して、ご使用のPCにファイルを保存してください。

ツール名 (ファイル名)	説明(利用用途)	インストール方法
動き検知関連設定ツール (MDSetupTool_Vxxxi.zip)	JPEGの区画設定、基準画像比較、及びMELOOK3カメラの動き検知設定を行う場合、ダウンロードして、インストールしてください。	ダウンロードの上、「ネカ録統合管理ツールユーザーズガイド」の付録に従ってインストールしてください。
統合監視ソフトウェア (NIM_Vxxxi.zip)	ネカ録の状態を監視するPCの場合、ダウンロードして、インストールしてください。	ダウンロードの上、「統合監視ソフトウェアユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。



## 注意事項

- セキュリティ対策ソフトウェアの設定によりましては、各プログラムのインストールを行いましても正常に動作できない場合があります。それぞれのセキュリティ対策ソフトウェアごとの対応が必要になりますので、ご確認の上、必要に応じてご対応ください。
- その他のダウンロード可能なプログラムの一覧です。必要に応じて、インストール方法に示された説明書の手順に従って、ご使用のPCにインストールしてください。

ツール名 (ファイル名)	説明 (利用用途)	インストール方法
indeo コーデック (IDO_Vxxx1.zip)	ご使用の PC 上で、ネカ録の録画映像データをポータブルムービープレイヤーにて AVI 形式に変換する場合や、変換したファイルを Windows Media Player などで再生する場合に必要なビデオコーデックです。	ダウンロードの上、「Indeo コーデックインストールガイド」に従ってインストールしてください。
ポータブルムービープ レイヤー (PMP_Vxxx1.zip)	ご使用の PC 上で、ネカ録の録画映像データの再生や、AVI 形式・MP4 形式に変換して保存ができるプレイヤーです。  ネカ録ビューア・スーパーマルチビューアのインストールが不要で、ネカ録の録画映像データの再生が必要な PC で利用してください。	ダウンロードの上、「PMP ユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。
Microsoft Visual C++ 2010 再配布可能パッ ケージ (VCR_Vxxx1.zip)	以下のツールを利用する PC 上で、インストールが必要なプログラムの実行環境です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ネカ録ビューア</li> <li>● スーパーマルチビューア</li> <li>● 接続先サテライト設定ツール</li> <li>● 動き検知関連設定ツール</li> </ul>	ダウンロードの上、「ネカ録ビューアユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。

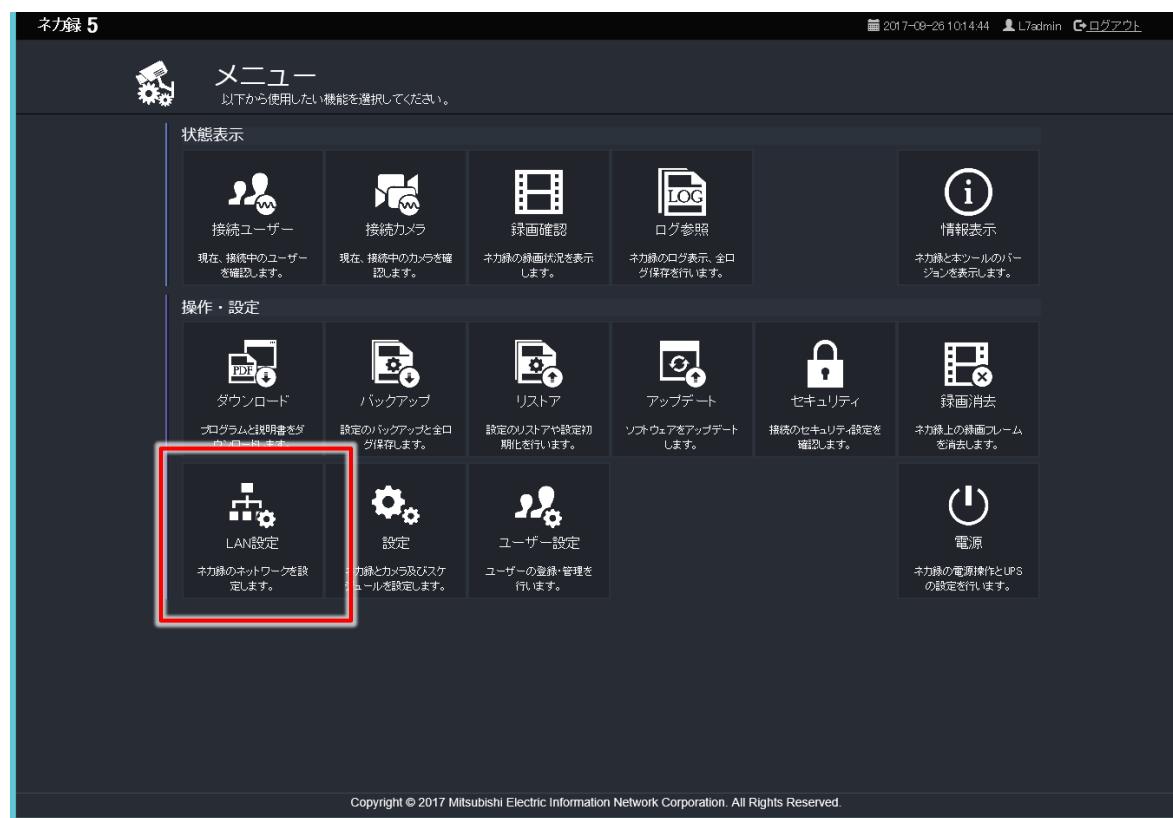
# 4 ネットワーク設定

ネットワークの設定は、ネカ録本体に表示ディスプレイ、キーボードを接続して設定する方法もありますが、本章では、統合管理ツールからの設定方法を記載します。

## (1) 統合管理ツールへのログイン

統合管理ツールに L7admin でログインします。パスワードは変更したパスワードを入力します。

正常にログインしますと、以下のメニュー画面が表示されます。



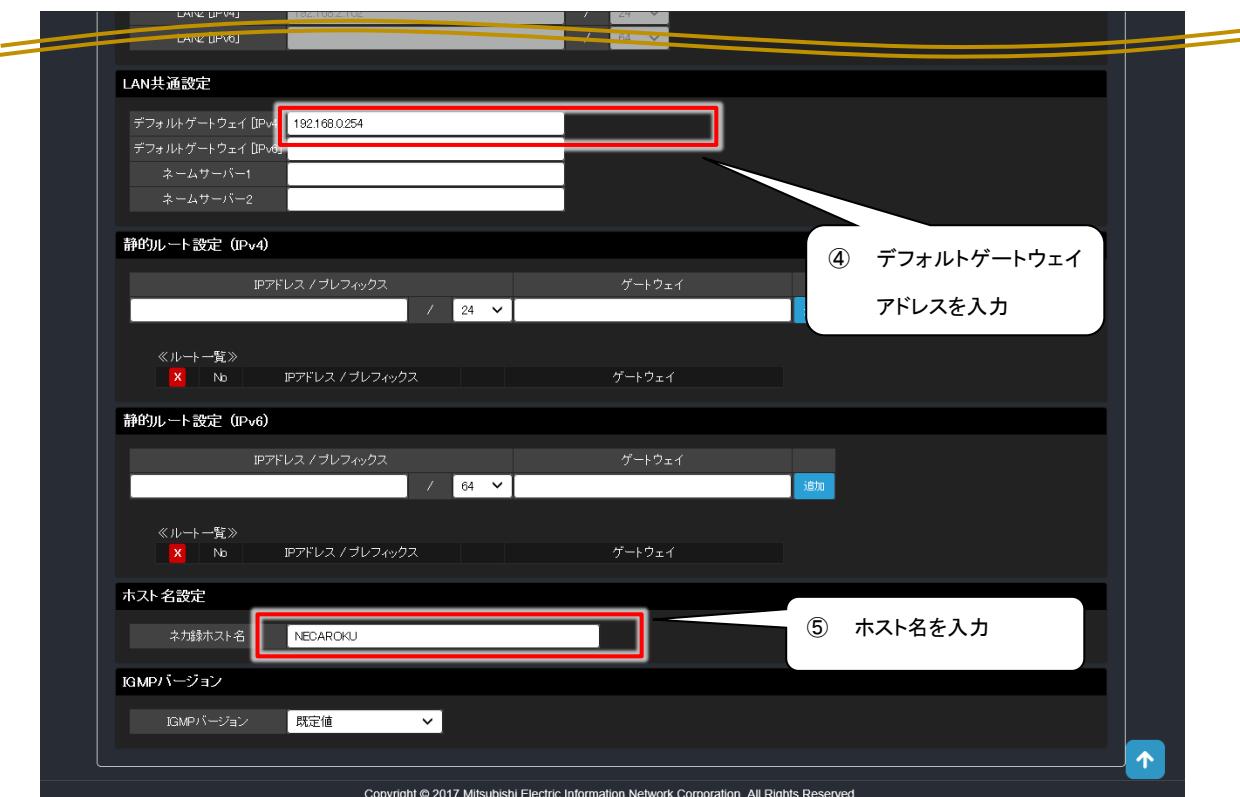
## (2) ネットワークの設定

メニュー画面で「LAN 設定」を押します。

以下の LAN 設定画面が表示されます。



(LAN 設定画面 続き)



以下の手順で、設定を行ないます。

#### ① LAN1(IPV4)の IP アドレス、プレフィックスを入力

「LAN1 設定」で1つ目の LAN の「IP アドレス」、「プレフィックス」を変更します。

#### ② LAN2 の有効・無効を選択

2つ目の LAN を使用する場合、「LAN2 設定」で「有効にする」をチェックします。使用しない場合は、チェックをオフします。

#### ③ LAN2(IPV4)の IP アドレス、プレフィックスを入力

「LAN2 設定」で「有効にする」を選択した場合、2つ目の LAN の「IP アドレス」、「プレフィックス」を変更します。LAN1 とは異なったサブネットになる IP アドレス、プレフィックスとします。

#### ④ デフォルトゲートウェイアドレス(IPV4)を入力

デフォルトゲートウェイアドレスを変更します。LAN2 が無効の場合は、LAN1 と同じサブネットのアドレスを入力します。LAN2 が有効の場合は、LAN1、LAN2 のどちらかと同じサブネットのアドレスを入力します。

#### ⑤ ホスト名を入力

出荷時のホスト名は「NECAROKU」ですが、複数のネカ録を設置する場合などにおいて、ホスト名を変更します。変更により、LCD パネル上の上部に表示されるホスト名の表示が変わります。また、接続先サテライト設定ツールにて、ディスカバリーを行った場合に、ここで設定されたホスト名でネカ録の一覧が生成されます。

#### ⑥ 「設定を反映する」ボタンを押す

上記①～⑤の設定変更を反映するために、「設定を反映する」ボタンを押します。

これにより、即時に IP アドレスが変わります(但しこの時点では、変更が完全には反映されていません)。

IP アドレスが変わるために、統合管理ツールとの接続は切れます。

変更を全体に反映するため、変更後の IP アドレスで統合管理ツールに接続して、リブートしてください。



## 注意事項

- LAN2 の使用に関する留意事項については、ご使用の手引きもご確認ください。
- LAN2 を使用しない場合でも、LAN1 のアドレスを 192.168.2.xx にする場合は、LAN2 のアドレスを別なサブネットのアドレス(例えば 192.168.3.xx)に変更してください。
- カメラ設定でカメラ種別「三菱 Multicast」を使用する場合のネットワーク設定に関する留意事項については、ご使用の手引きもご確認ください。

# 5 カメラ設定・詳細設定

ネカ録にネットワークカメラを接続するための設定を行います。詳しくは、ネカ録統合管理ツールユーザーズガイドの「4.3 ネットワークカメラの設定」をご覧ください。

また、必要に応じて、スケジュール機能、動き検知機能、センサー連動機能、セキュリティ機能等、ネカ録の各種機能の詳細な設定を行います。詳しくは、ネカ録統合管理ツールユーザーズガイドの「4.4 ネカ録の機能とその設定」、及び「5 各種画面」をご覧ください。

---

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。

---

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ ネカ録5

クイックスタートガイド

説明書番号 90B0-DL-1557A

2017年11月1日 発行

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

東京都港区芝浦4-6-8

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ  
ネット録ビューアユーザーズガイド

# はじめに

本書では、ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」の「ネカ録ビューア」の概要・操作・機能・設定について説明します。

## ■ 本書の構成

### 第1章 概要

本ソフトウェアの概要について説明します。

### 第2章 インストールとアンインストール

インストールとアンインストール及びインストール時に必要な設定について説明します。

### 第3章 基本的な操作

基本的な操作について説明します。

### 第4章 機能概要

機能概要と画面・メニューについて説明します。

### 第5章 映像表示

ライブ映像表示・録画映像再生について説明します。

### 第6章 映像・画像出力

録画・ライブ映像保存及びその静止画保存・印刷について説明します。

### 第7章 カメラ制御機能

カメラ制御機能について説明します。

### 第8章 通知機能

通知機能について説明します。

### 第9章 全方位カメラ制御機能

全方位カメラ制御機能について説明します。

### 第10章 設定

各種設定について説明します。

### 第11章 諸元

諸元について説明します。

### 第12章 留意事項

留意事項について説明します。

---

#### 登録商標、商標

本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本表示及び本文中の各社の登録商標または商標は、正式な表示を省略しています。

# 目 次

<b>1. 概要</b>	1
1.1 概要・特長	1
1.2 システム構成	1
1.3 ソフトウェア構成	2
1.4 ハードウェア構成	2
<b>2. インストールとアンインストール</b>	3
2.1 インストール	3
2.2 バージョンアップ	5
2.3 必要プログラムインストール	6
2.3.1 接続先サテライト設定ツール	6
2.3.2 Visual C++パッケージ	10
2.3.3 DirectX 追加機能	11
2.4 接続先設定	12
2.5 自動認証設定	13
2.6 バージョン確認	15
2.7 アンインストール	16
<b>3. 基本的な操作</b>	17
3.1 起動	17
3.2 接続確認	20
3.3 再接続認証	21
3.4 ライブ映像表示	22
3.5 設定	23
3.6 終了	23
<b>4. 機能概要</b>	24
4.1 機能一覧	24
4.2 画面の説明	26
4.2.1 メイン画面	26
4.2.1.1 接続先／カメラ選択画面	27
4.2.1.1.1 拡大カメラ	28
4.2.1.1.2 選択カメラ	29
4.2.1.1.3 レイアウト	30
4.2.1.1.4 接続先	31
4.2.1.2 通知履歴画面	32
4.2.1.3 センサーステータス画面	33
4.2.1.4 センサー出力画面	33
4.2.1.5 音量調節画面	34
4.2.2 ポータブルムービープレイヤー画面	35
4.3 メニュー	36
4.3.1 メイン画面メニュー	36
4.3.1.1 メニューバーメニュー	36
4.3.1.2 映像表示画面右クリックメニュー	38
4.3.1.3 レイアウト編集モード右クリックメニュー	38
4.3.1.4 ツールバー右クリックメニュー	39
4.3.1.5 ツールバー	40
4.3.2 ポータブルムービープレイヤー	41
4.3.3 操作権限	42
<b>5. 映像表示</b>	44

5.1	映像表示モード	45
5.1.1	全カメラモード	46
5.1.2	選択カメラモード	47
5.1.3	指定レイアウトモード	48
5.2	ライブ映像表示	49
5.2.1	表示開始・表示停止	49
5.2.2	表示頁切り替え	50
5.3	拡大表示	51
5.3.1	映像表示画面クリックによる拡大表示	52
5.3.2	センサー連動拡大表示	53
5.4	全面画面表示	54
5.5	録画映像再生	55
5.5.1	再生画面	56
5.5.2	再生開始日時指定画面	57
5.5.3	再生制御画面	58
5.5.4	サムネイル画面	60
5.6	画面遷移	63
5.7	マウススクロールズーム表示	64
<b>6.</b>	<b>映像・画像出力</b>	<b>65</b>
6.1	録画映像ダウンロード	65
6.2	静止画像保存	68
6.3	静止画像印刷	69
6.4	ライブ映像保存	70
<b>7.</b>	<b>カメラ制御機能</b>	<b>71</b>
7.1	アクシスコミュニケーションズ株式会社製カメラ	72
7.2	キヤノン株式会社製カメラ	73
7.3	三菱電機株式会社製カメラ	74
7.4	三菱電機株式会社製カメラ (MultiCastTS)	75
7.5	TOA株式会社製カメラ	76
7.6	ソニー株式会社社製カメラ	77
7.7	パナソニック株式会社製カメラ (I-Pro)	78
7.8	パナソニック株式会社製カメラ	80
7.9	ボッシュセキュリティシステムズ株式会社製カメラ	81
7.10	三菱電機株式会社製カメラ (NM-C100)	83
7.11	株式会社 エルモ社製カメラ	84
7.12	株式会社 東芝製カメラ	85
<b>8.</b>	<b>通知機能</b>	<b>86</b>
8.1	通知履歴	87
8.2	メッセージ表示	88
8.3	映像拡大表示	89
8.4	音声出力	89
8.5	外部プログラム実行	89
8.6	ライブ映像保存	90
<b>9.</b>	<b>全方位カメラ制御機能</b>	<b>91</b>
9.1	概要	91
9.2	操作方法	92
<b>10.</b>	<b>設定</b>	<b>95</b>
10.1	基本設定	95
10.1.1	表示分割	96

10.1.2 表示サイズ	98
10.1.3 表示動作	100
10.1.4 カメラ名表示	102
10.1.5 背景／配置	103
10.1.6 ライブ映像	105
10.1.7 録画再生	107
10.1.8 オプション	109
10.2 接続先設定	112
10.2.1 接続先設定（ネカ録 5）	113
10.2.2 接続先詳細設定（ネカ録 5）	115
10.2.3 ネカ録ディスカバリー（ネカ録 5）	116
10.2.4 接続先設定（ネカ録 4.0 以前）	117
10.2.5 接続先詳細設定（ネカ録 4.0 以前）	118
10.3 通知機能設定	119
10.3.1 全般	120
10.3.2 履歴管理	122
10.3.3 音声出力	123
10.3.4 プログラム実行	125
10.4 操作権限設定	126
10.5 レイアウト設定	128
10.5.1 レイアウト編集	128
10.5.2 レイアウト作成	129
10.5.3 レイアウト変更	133
10.5.4 新規レイアウト作成	134
10.5.5 カメラ設定	136
10.5.6 レイアウト保存	138
10.5.7 レイアウト管理	139
10.6 設定バックアップ／リストア	140
10.6.1 設定バックアップ	140
10.6.2 設定リストア	142
<b>11. 諸元</b>	<b>144</b>
<b>12. 留意事項</b>	<b>145</b>

# 1. 概要

本章では、本ソフトウェアの概要について説明します。

## 1.1 概要・特長

本ソフトウェアは Windows PC 上で動作し、“ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」”(以下、ネカ録と記載します)から配信されたカメラ映像を表示します。

主な特長は、以下の通りです。

- 最大 81 台のカメラのライブ映像同時表示
- 録画映像及びライブ・録画の静止画像の PC 内への保存
- 任意のレイアウトでのライブ映像表示

## 1.2 システム構成

以下は、システム構成の例です。

本ソフトウェアは、ネカ録に接続し、カメラのライブ映像及び録画映像を表示することができます。



## 1.3 ソフトウェア構成

本ソフトウェアの稼動に必要なソフトウェアは、以下の通りです。

項目	内容
稼動 OS	Windows 7 Professional (Service Pack1 以降) Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro
対象ネカ録	ネカ録 2.0 ネカ録 3.0 ネカ録 AVC ネカ録 3.2 ネカ録 4.0 ネカ録 5

## 1.4 ハードウェア構成

本ソフトウェアの動作に必要な PC のハードウェア要件は、以下の通りです。

(ただし、OS の動作が十分可能なハードウェアが必要です。)

項目	要件
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上推奨
メモリ	1GB 以上推奨
ディスク	インストールするドライブに、100MB 以上の容量が必要。 映像保存用の領域として 2GB 以上の容量を推奨。
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上



### 注意事項 :

- 他のアプリケーションと同時に動作すると、PC の負荷が高くなり正常動作できない場合があります。
- 表示するカメラ映像の圧縮形式・解像度・フレームレート及び同時分割表示数によっては、上記の CPU 要件では不十分となる場合もあります。

事前に動作検証を実施の上、CPU 等のハードウェア構成を決定してください。

## 2. インストールとアンインストール

本章では、本ソフトウェアのインストールとアンインストール及びインストール後に必要な設定について説明します。

本章の作業は、すべて Administrator 権限を持つユーザー アカウントで実施してください。



### 注意事項 :

セキュリティー対策ソフトウェアの設定によっては、インストール後に正常動作できない場合があります。

それぞれのセキュリティー対策ソフトウェア側の対応を、必要に応じて行ってください。

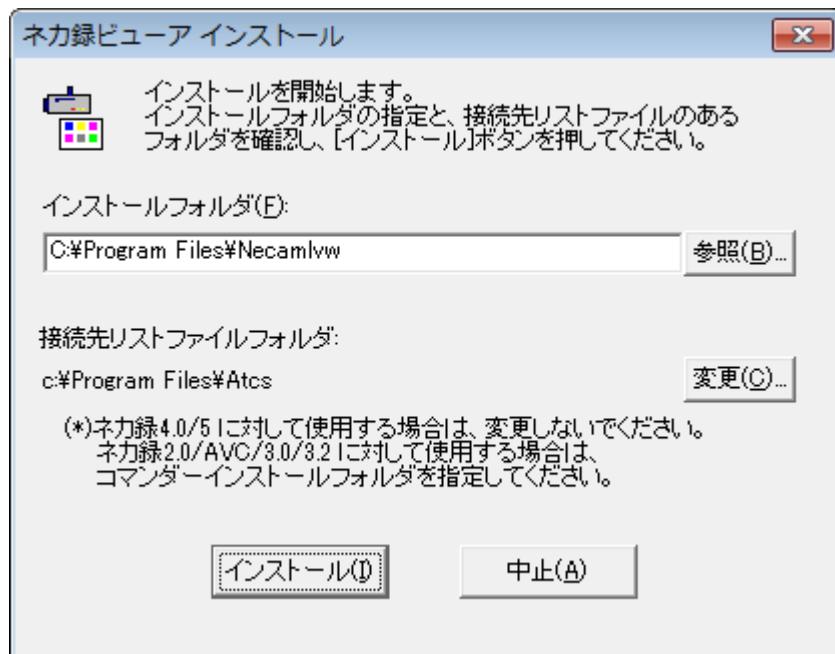
### 2.1 インストール

ネカ録から、ネカ録ビューアのファイルをダウンロードし、zip ファイルを解凍してください。  
解凍後に、解凍フォルダー内の「ncsvinst.exe」を起動してください。  
インストールが開始され、以下の画面が表示されます。



### 注意事項 :

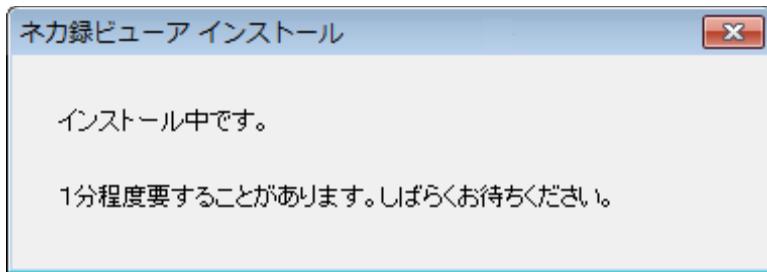
Windows のユーザー アカウント制御設定がされている場合は、変更許可確認画面が表示されることがあります。インストールを継続する場合は、「はい」をクリックしてください。



この画面で、以下を行ってください。

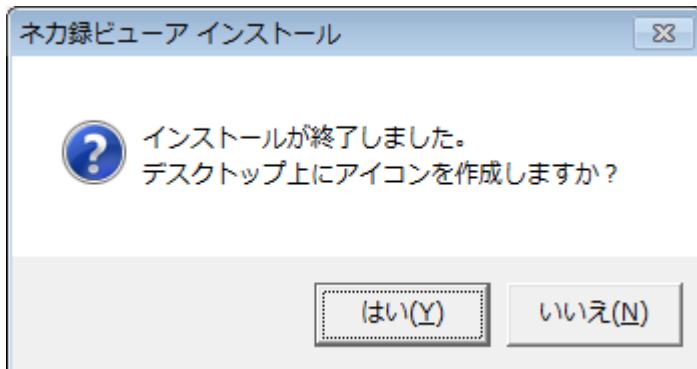
- ①「インストールフォルダ」欄にインストールフォルダを指定してください。
- ②ネカ録 2.0/3.0/3.2 に対して使用する場合は、「接続先リストファイルフォルダ」の表示が、コマンダーのインストールフォルダとなるよう、必要に応じて「変更」ボタンクリックから変更してください。
- ③「インストール」ボタンをクリックしてください。  
インストールが開始されます。

インストール中は、以下の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。

デスクトップ上にショートカットアイコンを作成する場合は、「はい」をクリックしてください。

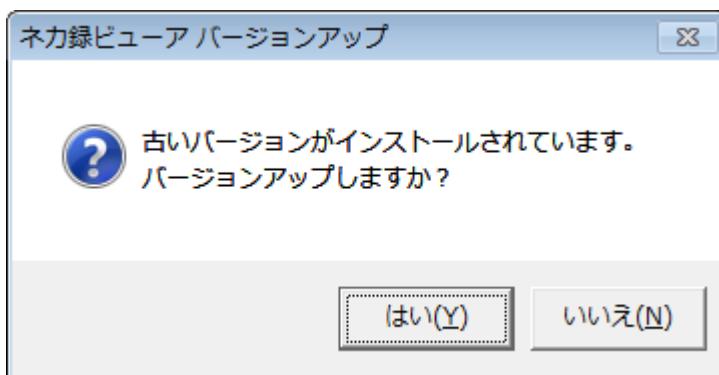


以上で本ソフトウェアのインストールは終了です。

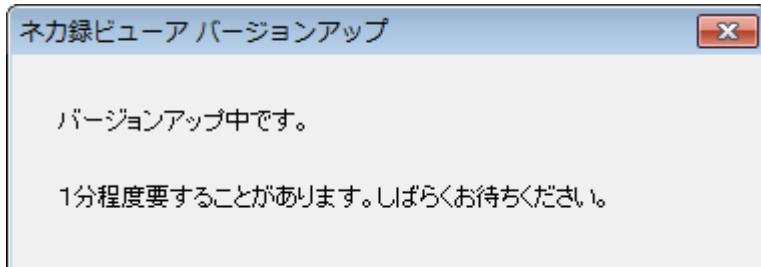
引き続き、「2.3 必要プログラムインストール」を実施してください。

## 2.2 バージョンアップ

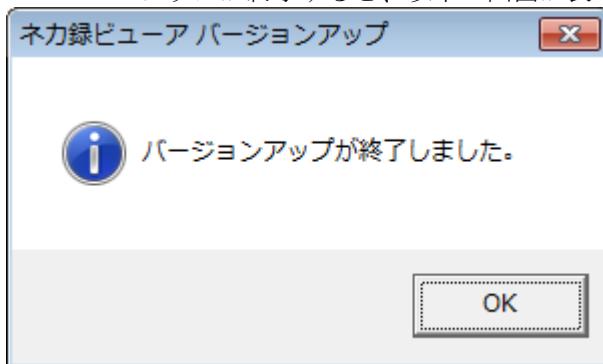
本ソフトウェアの旧版がインストールされている場合は、インストール開始時に以下の画面が表示されます。この画面で、「はい」をクリックするとバージョンアップが実行されます。「いいえ」をクリックするとインストールが中止されます。



バージョンアップ中は、以下の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



バージョンアップが終了すると、以下の画面が表示されます。



バージョンアップインストールの場合は、本ソフトウェアに対する設定は失なわれません。バージョンアップ後の再設定作業は不要です。

引き続き、「2.3 必要プログラムインストール」を実施してください。

## 2.3 必要プログラムインストール

### 2.3.1 接続先サテライト設定ツール

本ソフトウェアで使用する接続先の設定を行うためには、「接続先サテライト設定ツール」をインストールする必要があります。

ネカ録から接続先サテライト設定ツールをダウンロードしてください。  
ダウンロード方法は、ネカ録本体添付の「クイックスタートガイド」をご参照してください。

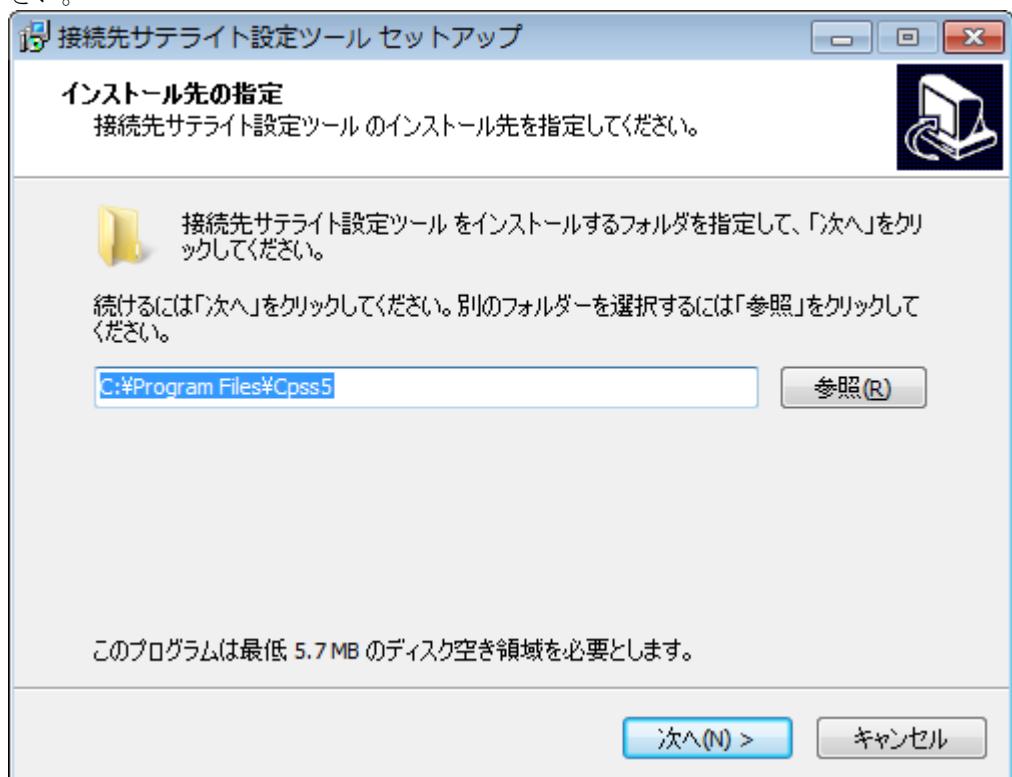
ダウンロードしたファイルを解凍し、「setup.exe」をダブルクリックしてください。



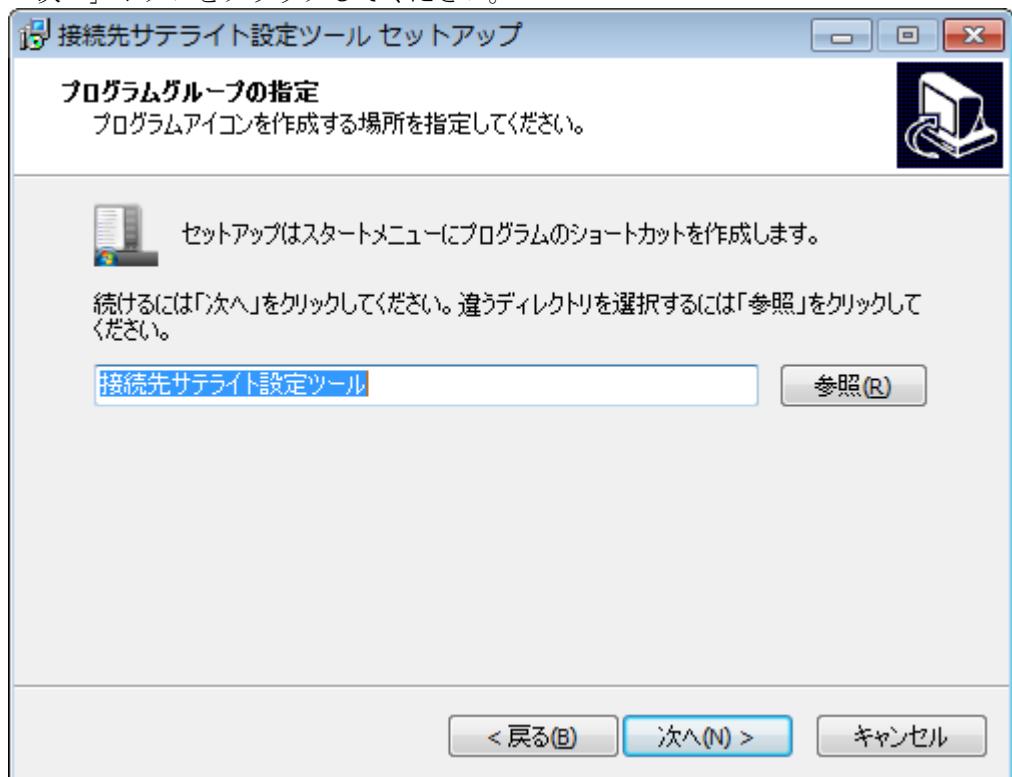
#### 注意事項：

Windows のユーザー アカウント制御設定がされている場合は、変更許可確認画面が表示されることがあります。インストールを継続する場合は、「はい」をクリックしてください。

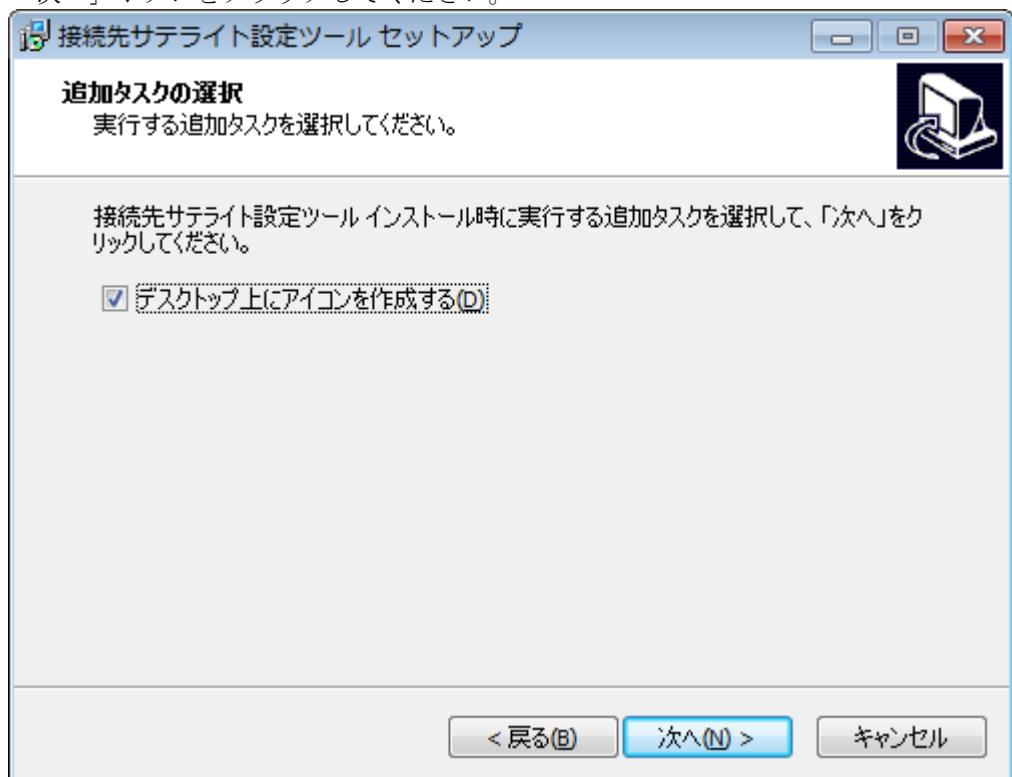
以下の画面が表示されますので、インストール先を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



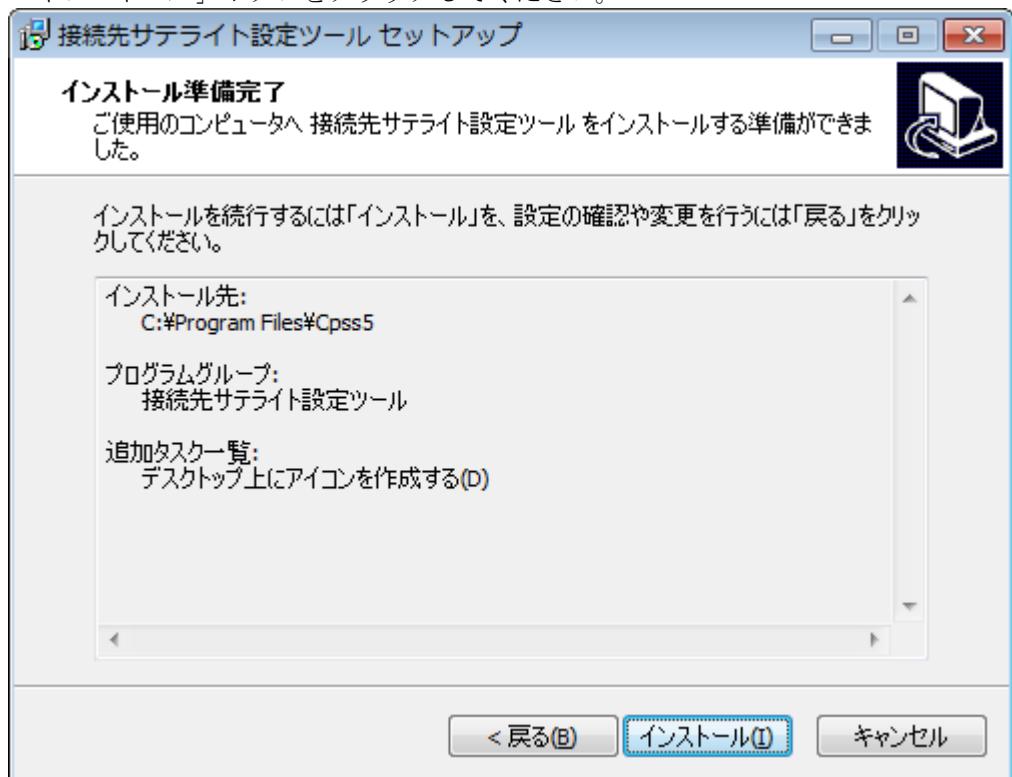
以下の画面が表示されますので、スタートメニューに表示される名称を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



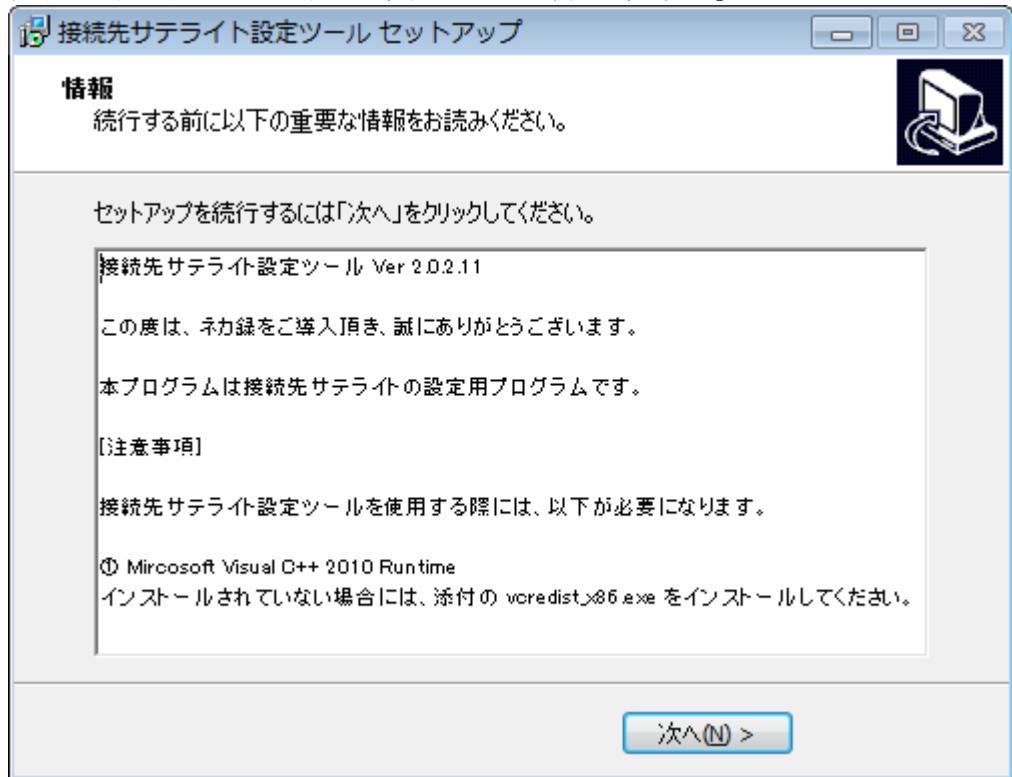
以下の画面が表示されますので、デスクトップ上にアイコン（ショートカット）を作成する場合は「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを付けて、「次へ」ボタンをクリックしてください。



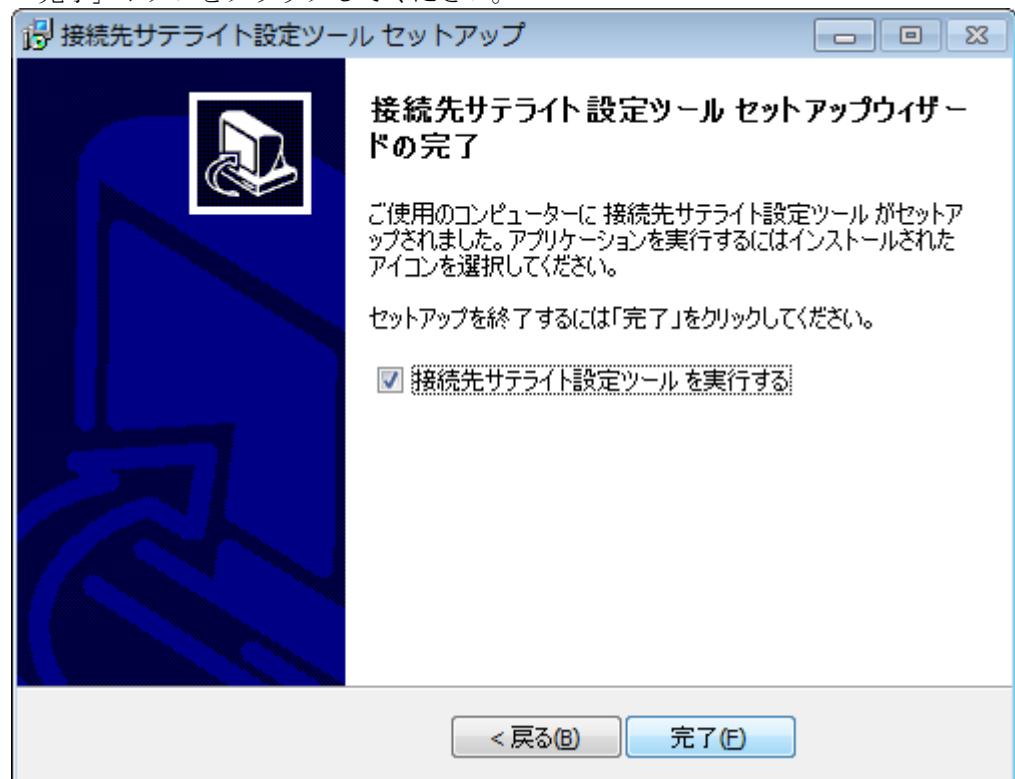
以下の画面が表示されますので、設定内容を確認して問題なければ、  
「インストール」ボタンをクリックしてください。



以下の画面が表示されますので、記述内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



以下の画面が表示されますので、接続先サテライト設定ツールをすぐに実行する場合は「接続先サテライト設定ツールを実行する」にチェックを付けて、「完了」ボタンをクリックしてください。



## 2.3.2 Visual C++パッケージ

本ソフトウェアをインストールするPC上に、「Visual C++ 2010 Redistributable」がインストールされていない場合には、事前にインストールする必要があります。  
これを行わないと、接続先設定画面及び全方位カメラ制御画面が正常表示されません。

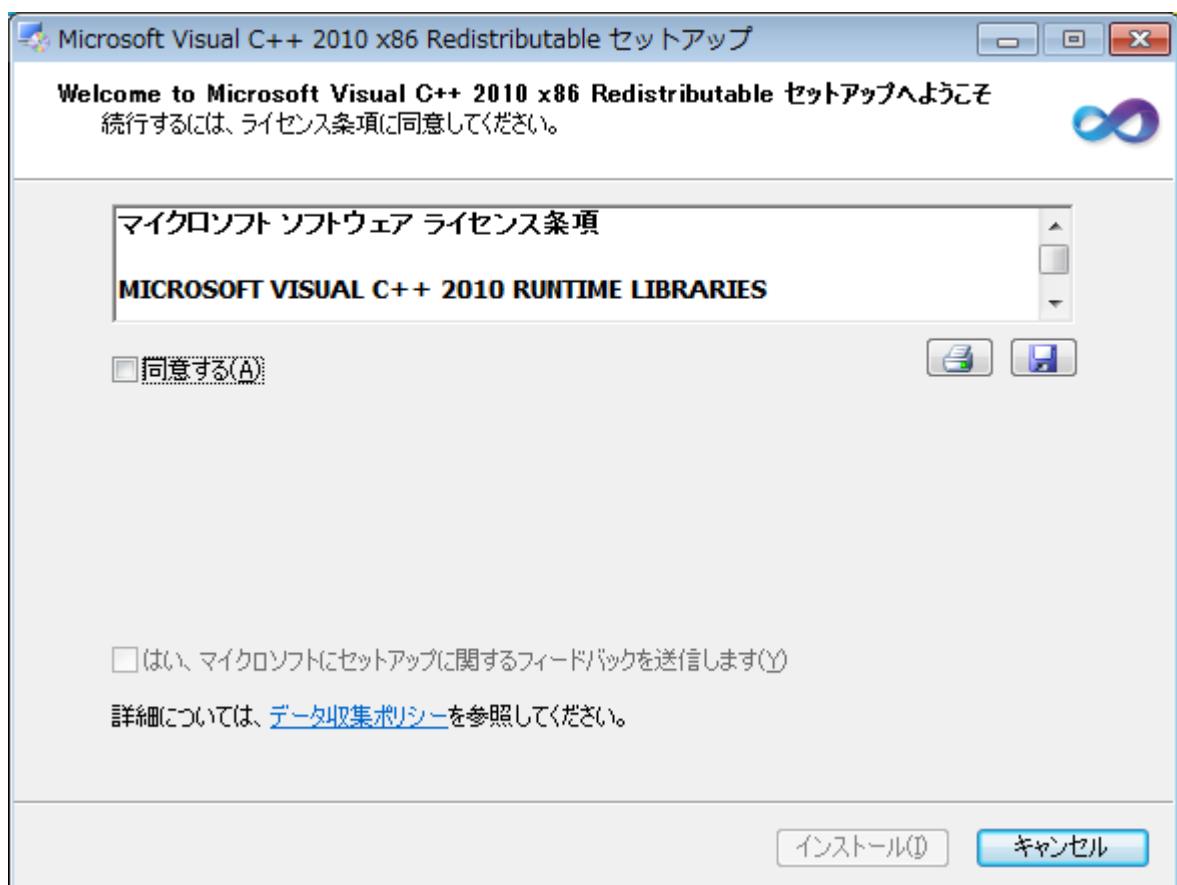
インストールは、以下の手順で行ってください。

- ①本ソフトウェアを起動している場合は、終了させてください。
- ②ネカ録から「Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ」をダウンロードし、zipファイル解凍フォルダ内の「vcredist\_x86.exe」を実行してください。、  
以下の画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。



### 注意事項：

Windows のユーザー アカウント制御設定がされている場合は、変更許可確認画面が表示されることがあります。インストールを継続する場合は、「はい」をクリックしてください。



### 2.3.3 DirectX 追加機能

全方位カメラ制御機能を使用する場合は、DirectX の追加機能をインストールする必要があります。

以下の手順でインストールしてください。

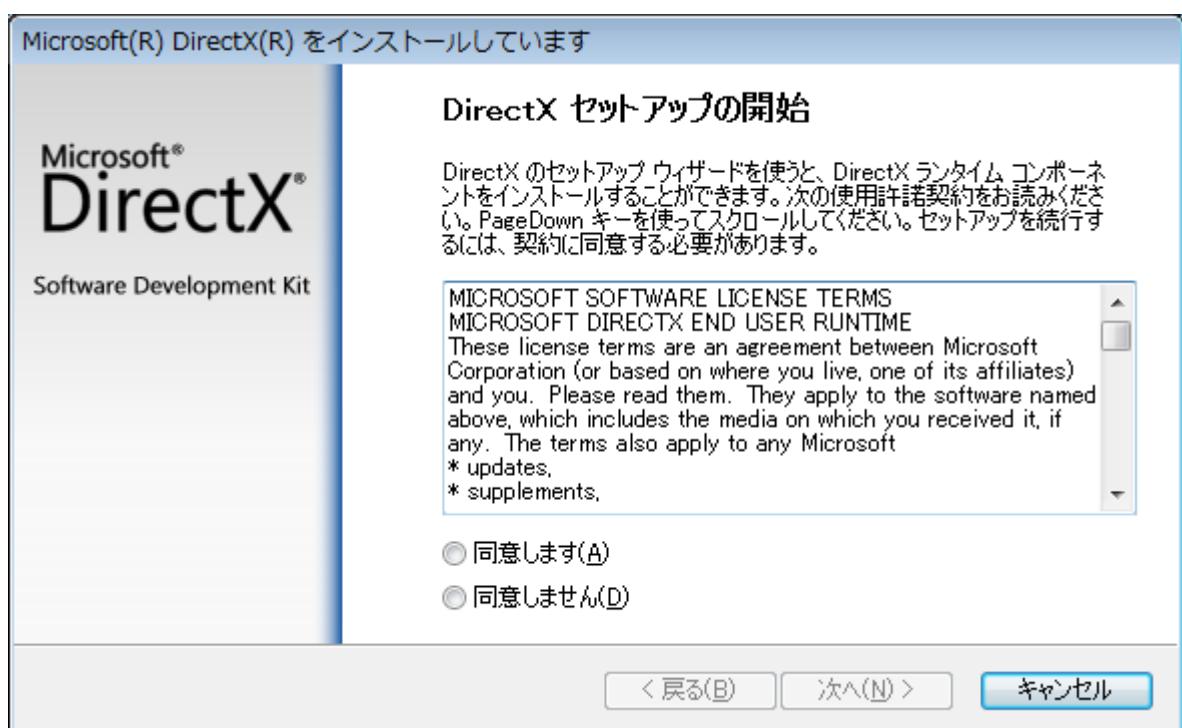
- ①本ソフトウェアを起動している場合は、終了させてください。
- ②「プログラムと機能」—「Windows の機能の有効化または無効化」で、「Microsoft .NET Framework 3.5」を有効にしてください。
- ③ネカ録からダウンロードした本ソフトウェアの zip ファイル解凍フォルダ内の「directx」サブフォルダーの「dxsetup.exe」を実行してください。

以下の画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。



#### 注意事項：

Windows のユーザー アカウント制御設定がされている場合は、変更許可確認画面が表示されることがあります。インストールを継続する場合は、「はい」をクリックしてください。



## 2.4 接続先設定

本ソフトウェインストール後は、接続先設定を行ってください。

接続先設定ツール、ネカ録 4.0 のネカ録設定ツール、ネカ録 2.0/3.0/3.2 のコマンダーで設定済みの場合は設定不要です。

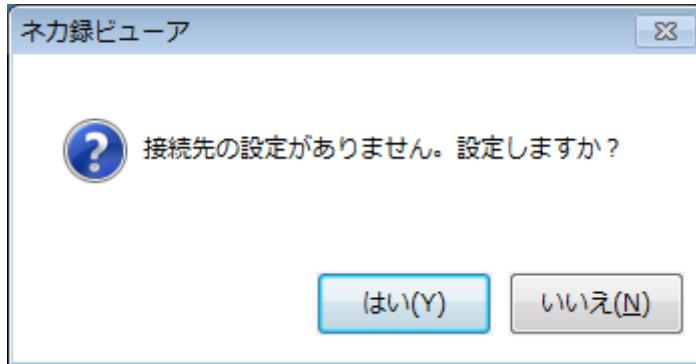
また、接続先設定を行った PC の接続先設定ファイルをコピーする方法も有効です。  
接続先設定ファイルが保存されているフォルダとファイル名は、以下の通りです。

フォルダ名	c:\Program Files\Atcs	
ファイル名	ネカ録 5	conlist5.csv
	ネカ録 2.0/3.0/3.2/4.0	conlist.csv

(コマンダーの場合は、フォルダが変更されている可能性があります。)

本ソフトウェアから接続先設定を行う場合は、以下の手順で行ってください。

- ①本ソフトウェアを起動します。
- ②接続先設定を行っていない場合は以下の画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。接続先設定を行ったことがある場合はネカ録接続認証画面が表示されますので、「接続先設定」ボタンをクリックしてください。



- ③「管理者設定権限認証」画面が表示されますので、初期パスワード「vieweradmin」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
- ④接続先設定画面が表示されますので、接続対象のネカ録を登録してください。  
設定方法は、「10.2 接続先設定」を参照してください。

## 2.5 自動認証設定

起動時の認証画面表示を省略したい場合は、自動認証設定を行ってください。

起動時引数の指定により、起動時に認証画面を表示せずにネカ録に接続することが可能です。指定パラメータは、以下の通りです。

No	パラメータ	説明
1	/C:接続先ネカ録名	接続先ネカ録の名称を、/C:の後に記載します。
2	/U:ユーザー名	ネカ録へ接続するユーザー名を/U:の後に記載します。
3	/P:パスワード	ネカ録へ接続するユーザー名のパスワードを/P:の後に記載します。

指定形式：

△/C:接続先ネカ録名△/U:ユーザーネーム△/P:パスワード

(△は、半角スペース)



### 注意事項：

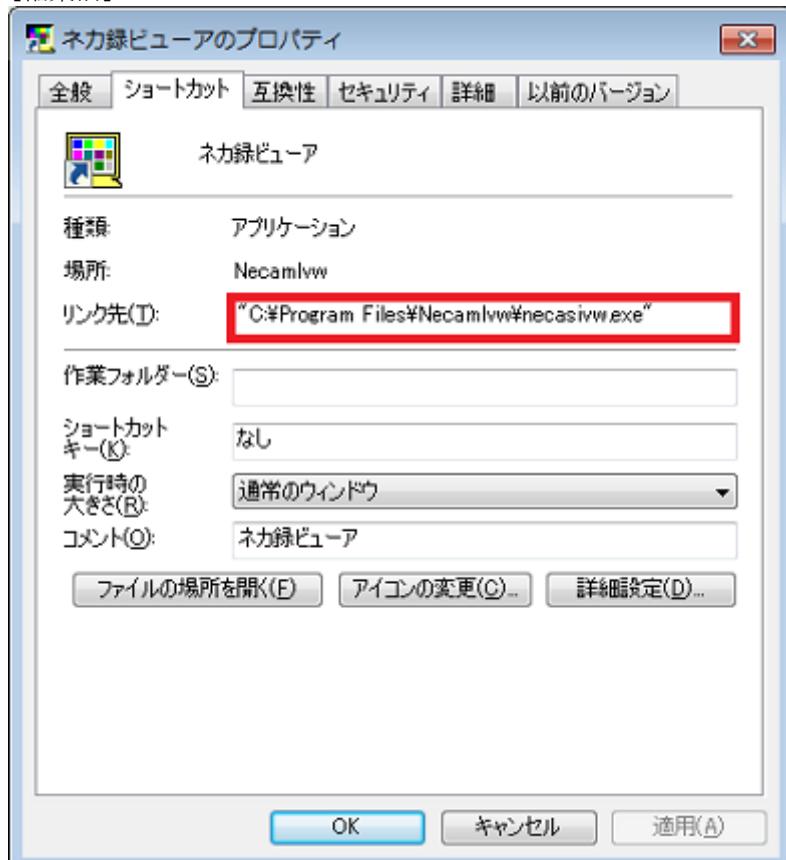
接続先ネカ錄名に半角スペースが含まれる場合には、/C:から接続先ネカ錄名の終端までをダブルクオーテーションで用む必要があります。

### ＜設定手順＞

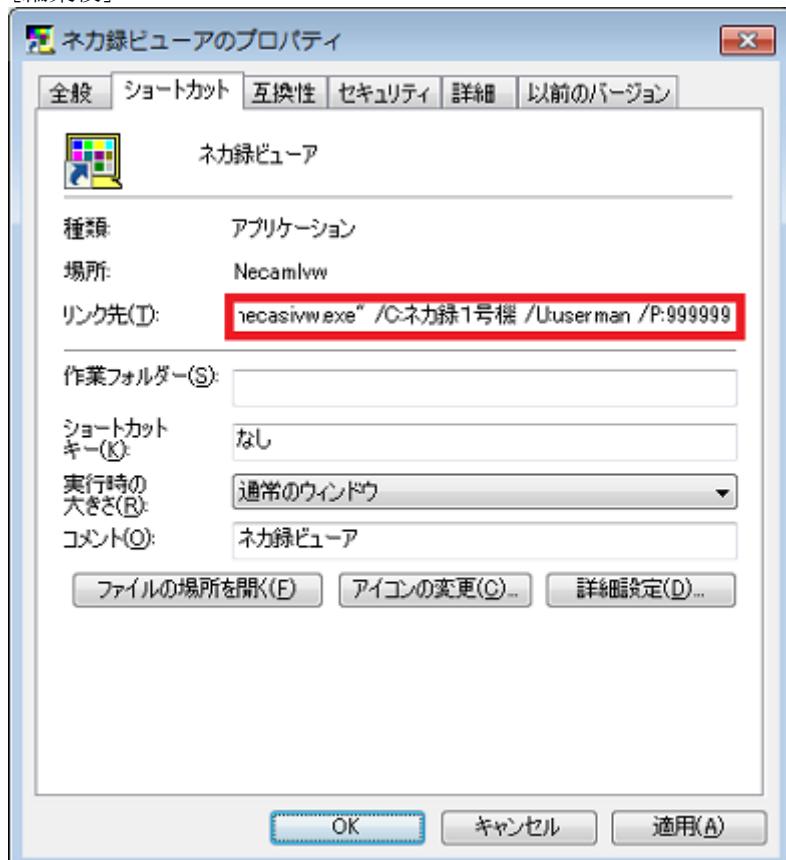
以下の手順で、本ソフトウェア起動用のショートカットに起動時引数を登録してください。これにより、ショートカットからの起動時に、認証画面表示が省略され、自動認証されます。

- ①本ソフトウェアのショートカットを準備してください。  
スタートメニュー中の本ソフトウェアのメニューを右クリックし、「送る」-「デスクトップ(ショートカットを作成)」メニューをクリックすることによりデスクトップ上に作成することができます。
  - ②本ソフトウェアのショートカットを右クリックし、「プロパティ」メニューをクリックしてください。
  - ③次頁のような画面が表示されますので、「ショートカット」タブを選択してください。  
(通常は、「ショートカット」タブが初期選択されています)
  - ④リンク先欄に、起動時引数を追加してください。  
(例 1) 接続先として「ネカ録 1 号機」のみ指定  
"C:\Program Files\Necam1vw\ncasivw.exe"△/C:ネカ録 1 号機△(次行へ続く)  
/U:ユーザー名△/P:パスワード
  - ⑤「OK」ボタンをクリックしてください。

[編集前]



[編集後]



## 2.6 バージョン確認

インストール・バージョンアップ終了後は、バージョン確認を行ってください。  
メニューバーの「ヘルプ」—「バージョン情報」をクリックすると、以下の画面が表示されます。  
画面中央部に表示されているバージョンが、ネカ録のダウンロード画面に記載されているバージョンと同じであることを確認してください。



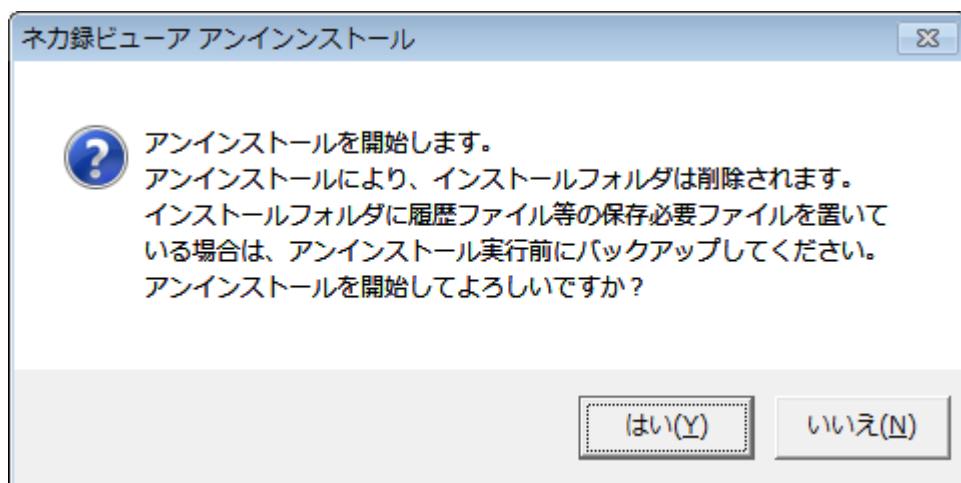
## 2.7 アンインストール

本ソフトウェアのアンインストールは、コントロールパネルの「プログラムと機能」から行ってください。

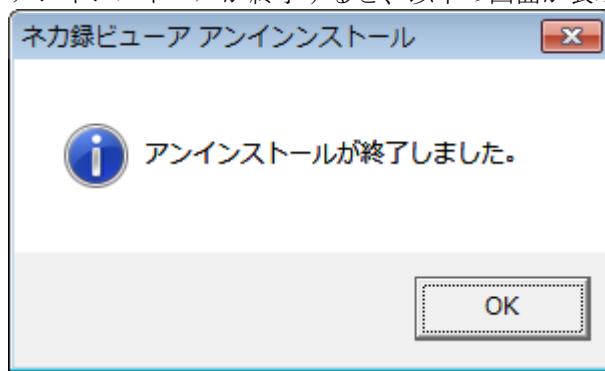
「プログラムと機能」のプログラム一覧で、「ネカ録ビューア」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックしてください。

以下のメッセージが表示されます。

設定・履歴ファイルなどを再使用する予定がある場合は、バックアップ済みであることを確認した上で、「はい」をクリックしてください。



アンインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。



アンインストール後は、PCの再起動を行ってください。

PCの再起動を行なわずに再度インストールを行うと、正常にインストールされないことがありますので、ご注意ください。



### 注意事項 :

ネカ録ビューアとスーパーマルチビューアを同一のディレクトリにインストールした場合、いずれか一方のアンインストールにより、双方がアンインストールされます。

## 3. 基本的な操作

---

本章では、本ソフトウェアの基本的な操作について説明します。

### 3.1 起動

本ソフトウェアの起動は、Windows のプログラムメニューの「ネカ録ビューア」 – 「ネカ録ビューア」をクリックするか、デスクトップ上に作成したショートカットアイコンのダブルクリックにより行います。

起動時には、まず以下のロゴが表示されます。

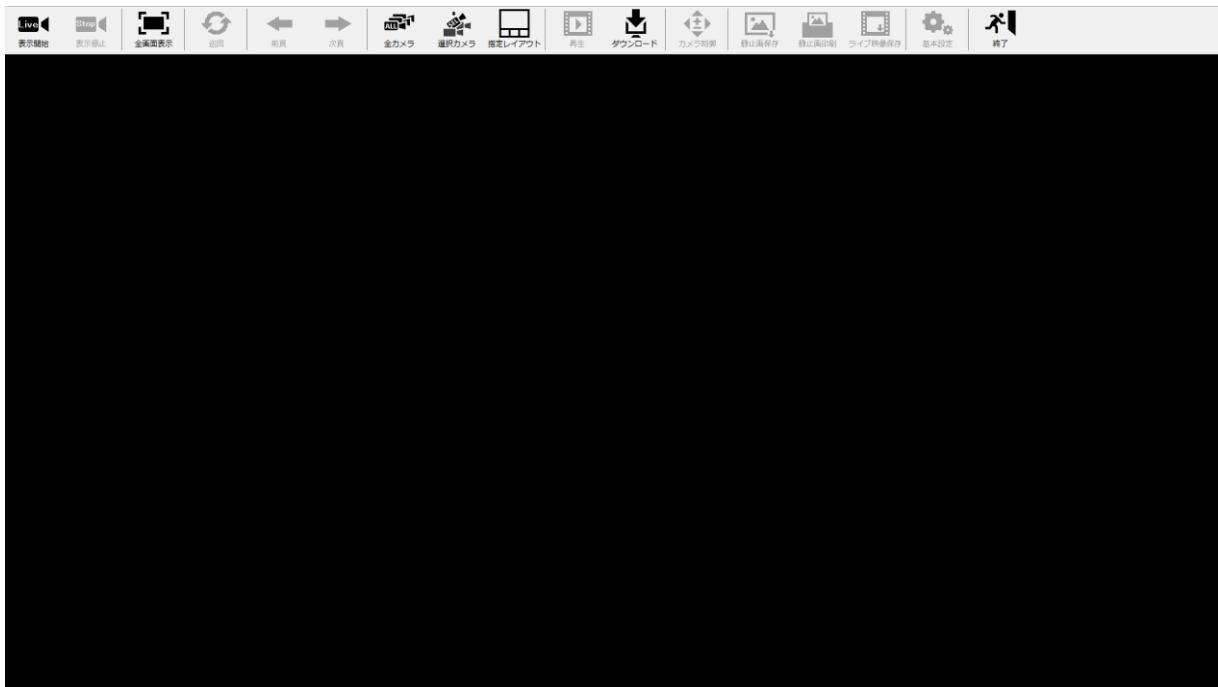


その後、ロゴ上に以下のネカ録接続認証画面が表示されます。



このネカ録接続認証画面に対し、以下の手順で操作してください。

- ① 「接続先ネカ録」に接続先設定で登録した接続先ネカ録が一覧表示されます。  
ここで、接続対象のネカ録を選択してください。選択はクリックにより行います。  
選択した接続先は、反転表示されます。
- ② ネカ録ログイン用のユーザー名とパスワードを、それぞれの欄に入力してください。
- ③ 「OK」ボタンをクリックしてください。
- ④ 次頁の画面が表示されます。  
これが、本ソフトウェアのメイン画面です。



#### 注意事項：

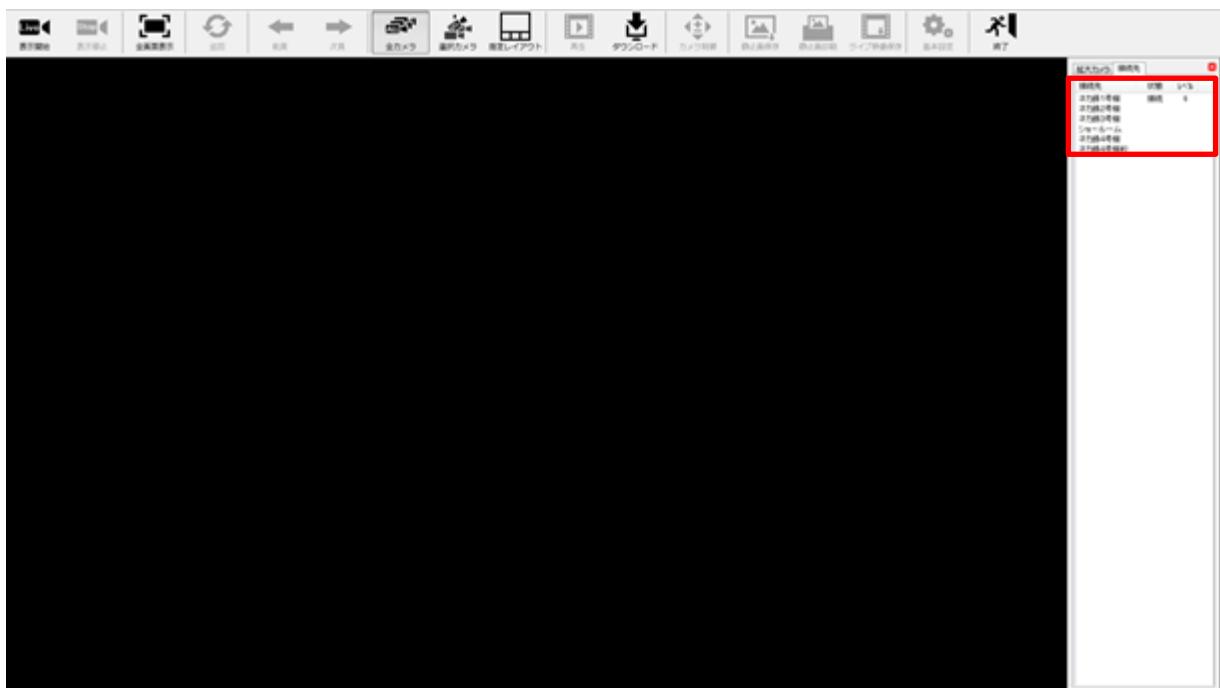
ネカ録 2.0/3.0/3.2に対して接続する場合の、ユーザー名・パスワードの入力内容は、  
ネカ録の「アクセス制限」設定により異なり、下表の通りとなります。

ネカ録 2.0/3.0/3.2 アクセス制限設定	ユーザー名・パスワード入力内容
制限しない	ユーザー名・パスワードとも入力不要
アクセスを共通のパスワードで制限	パスワードのみ入力必要
アクセスをユーザー認証で制限	ユーザー名・パスワードとも入力必要

## 3.2 接続確認

以下の手順で接続先ネカ録に対する接続状態を確認してください。

- ①ツールバーを右クリックし、「接続先／カメラ選択画面表示」メニューをクリックしてください。
- ②下図のように、メイン画面の右端に「接続先／カメラ選択」画面が表示されます。
- ③この画面で、「接続先」タブを選択してください。
- ④選択した接続先の「状態」欄と「レベル」欄の表示を確認してください。



上図の例の場合、ネカ録1号機に正常に接続し、ログインユーザーのレベルが6と認識されました。

「接続先」タブ内の表示の詳細は、「4.2.1.1.4 接続先」を参照してください。

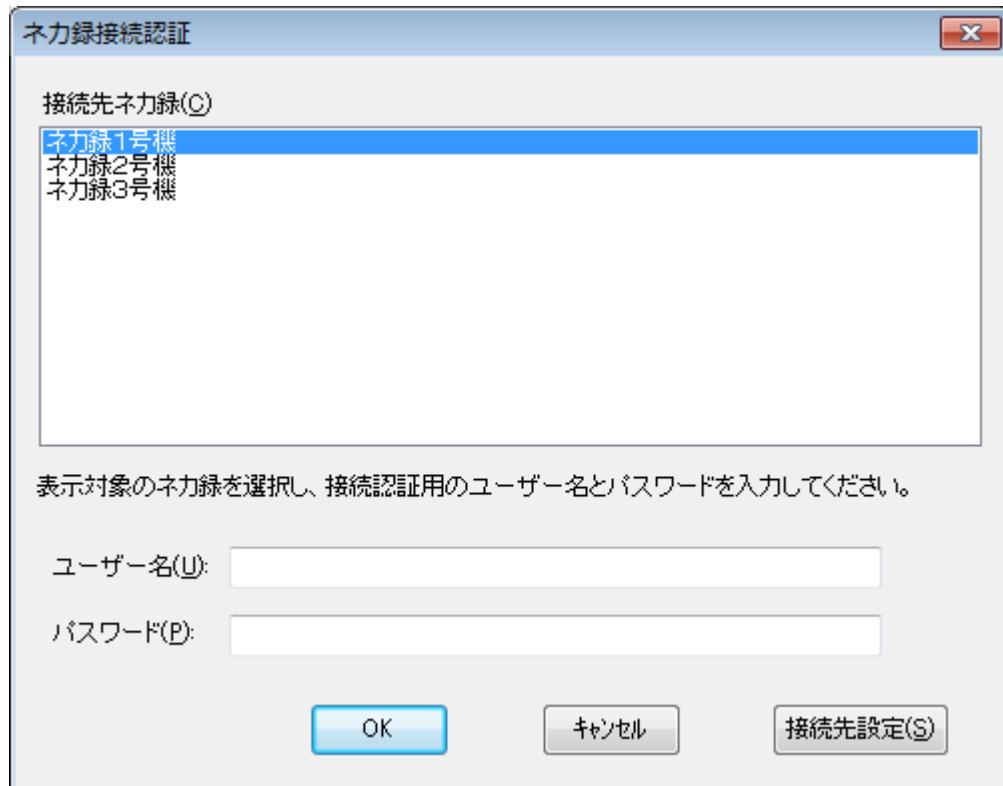
### 3.3 再接続認証

以下の場合は、下記操作手順にて再接続認証を行ってください。

- ・ユーザー名・パスワード誤入力等により認証に失敗した場合
- ・ネカ録の設定を変更した場合
- ・接続先設定を変更した場合

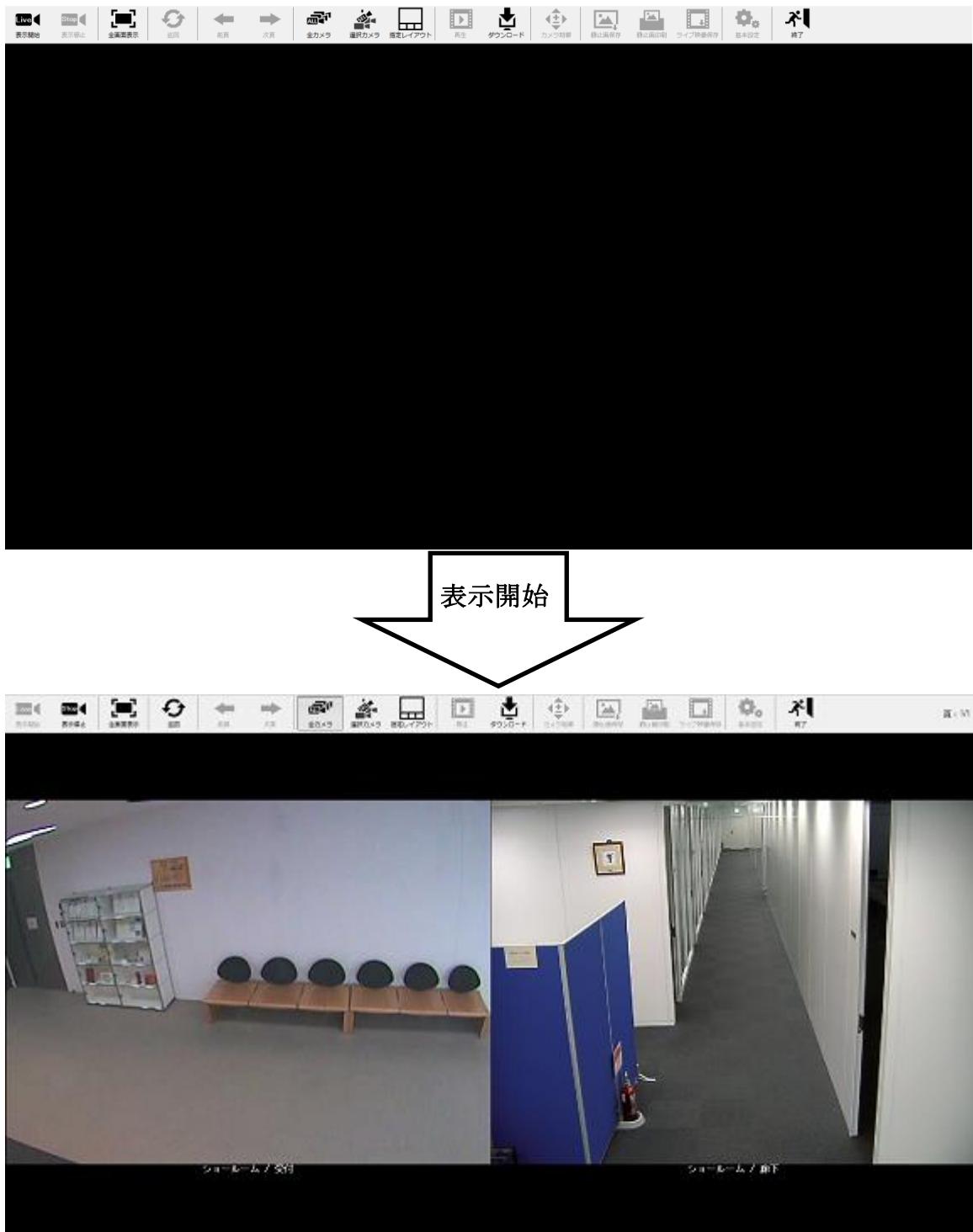
＜操作手順＞

- ①ツールバーを右クリックし、「メニューバー」メニューをクリックしてください。
- ②メニューバーの「セッション」 - 「再接続認証」をクリックしてください。
- ③ネカ録接続認証画面が再度表示されますので、接続先を選択し、ユーザー名・パスワードを入力してください。
- ④再度接続認証が実行され、メイン画面が再表示されます。  
接続確認を再度行ってください。



## 3.4 ライブ映像表示

ライブ映像の表示を行う場合には、ツールバーの「表示開始」ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」 - 「表示開始」をクリックしてください。

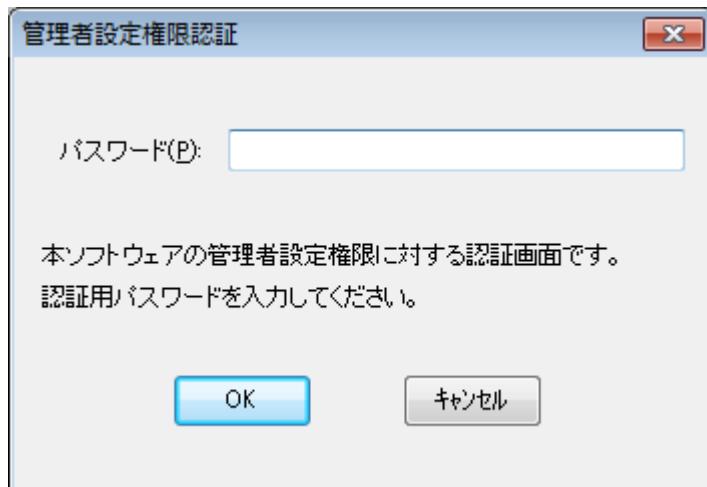


## 3.5 設定

本ソフトウェア上での各種設定を行う場合は、「管理者設定モード」への切り替えが必要です。メニューバーの「セッション」 – 「管理者設定モード」をクリックしてください。



管理者設定権限認証画面が表示されます。

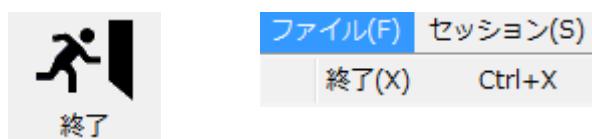


正常に認証されると、各種設定メニューが有効になります。

各設定手順に関しては、「10 設定」を参照してください。

## 3.6 終了

本ソフトウェアを終了する場合は、ツールバーの「終了」ボタン  
もしくはメニューバーの「ファイル」 – 「終了」をクリックしてください。



## 4. 機能概要

本章では、本ソフトウェアの機能概要と、画面及びメニューについて説明します。

### 4.1 機能一覧

本ソフトウェアには、以下の機能があります。

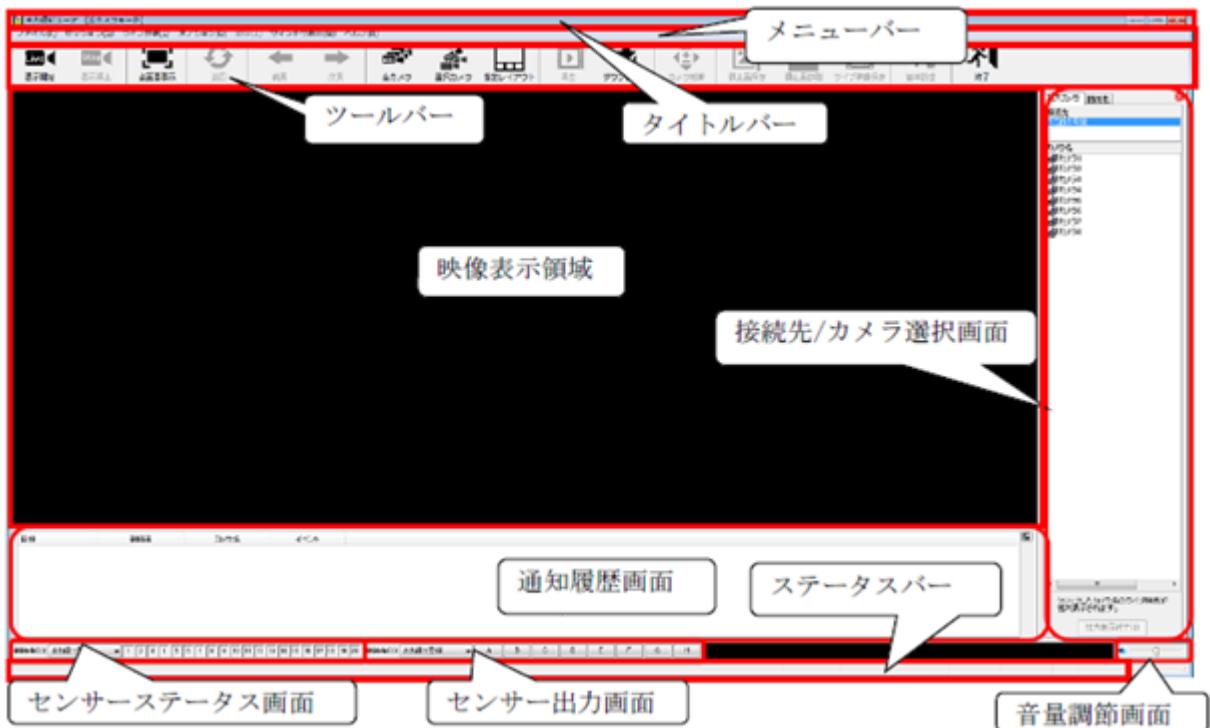
機能（記載章）	概要
映像表示（5章）	<p>ライブ映像表示</p> <p>カメラのライブ映像を表示します。</p> <p>■ 映像表示画面</p> <p>&lt;通常表示&gt;</p> <p>メインウィンドウの枠内に表示します。</p> <p>&lt;全画面表示&gt;</p> <p>使用モニタの全画面に表示します。</p> <p>この時、メインウィンドウは非表示となります。</p> <p>マルチモニタ構成時は、全モニタ／1モニタのいずれに表示するか、選択することができます。</p> <p>■ 映像表示方法</p> <p>&lt;分割表示&gt;</p> <p>複数台のカメラ映像を同時表示します。</p> <p>カメラ数が多く複数画面表示となる場合は、前後の表示画面への手動切り替え及び巡回機能による自動切り替えができます。</p> <p>&lt;拡大表示&gt;</p> <p>指定した1台のカメラの映像のみを表示します。</p> <p>このとき、ライブ音声出力及びカメラ制御を行うことができます。</p> <p>■ 映像表示モード</p> <p>&lt;全カメラ&gt;</p> <p>接続中のネカ録のすべてのカメラ映像を表示します。</p> <p>表示レイアウトは、設定した表示分割数・表示サイズに応じて自動決定されます。</p> <p>&lt;選択カメラ&gt;</p> <p>選択したカメラの映像のみ表示します。</p> <p>表示レイアウトは、設定した表示分割数・表示サイズに応じて自動決定されます。</p> <p>&lt;指定レイアウト&gt;</p> <p>任意に設定したレイアウトで、設置したカメラの映像を表示することができます。</p>
録画映像再生	ネカ録に録画されているカメラ映像を表示します。
	再生／早送り／巻き戻し／コマ送り／コマ戻し／音声付き再生などの再生制御を行うことができます。
映像・画像出力（6章）	
録画映像保存	指定期間の録画映像を、ネカ録からダウンロードして独自ファイル形式で保存します。
ライブ映像保存	表示中のライブ映像を、独自ファイル形式で保存します。
静止画像保存	表示中のライブ映像・録画映像の静止画像を、JPEG形式またはビットマップ形式のファイルとして保存します。
静止画像印刷	表示中のライブ映像及び録画映像の静止画像を印刷します。

機能（記載章）	概要												
カメラ制御（7章）	ライブ映像拡大表示時に、パン／チルト／ズーム／プリセット移動等のカメラ制御を行うことができます。 カメラ機種により制御仕様は異なります。												
通知（8章）	ネカ録からの通知を受信し、ライブ映像拡大表示・メッセージ表示・通知履歴保存・音声出力・外部プログラム実行などの動作を行なうことができます。 また、通知履歴からの指定により、通知時の録画映像を再生することもできます。												
全方位カメラ制御（9章）	再生画面において、AXIS 全方位カメラのオーバービューの録画映像に対する歪み補正表示を行います。												
設定（10章）	<table border="1"> <tr> <td>基本設定</td><td>表示分割数・表示サイズ・表示動作・表示位置など、本ソフトウェアに関する基本的な設定を行います。</td></tr> <tr> <td>接続先設定</td><td>接続対象のネカ録を設定します。</td></tr> <tr> <td>通知機能設定</td><td>ネカ録からの通知受信に関する設定を行います。</td></tr> <tr> <td>操作権限設定</td><td>本ソフトウェア上での操作権限に関する設定を行います。</td></tr> <tr> <td>レイアウト設定</td><td>指定レイアウトモードで使用する表示レイアウトの作成・編集・保存・削除を行います。</td></tr> <tr> <td>バックアップ／リストア</td><td>設定内容のバックアップとリストアを行います。</td></tr> </table>	基本設定	表示分割数・表示サイズ・表示動作・表示位置など、本ソフトウェアに関する基本的な設定を行います。	接続先設定	接続対象のネカ録を設定します。	通知機能設定	ネカ録からの通知受信に関する設定を行います。	操作権限設定	本ソフトウェア上での操作権限に関する設定を行います。	レイアウト設定	指定レイアウトモードで使用する表示レイアウトの作成・編集・保存・削除を行います。	バックアップ／リストア	設定内容のバックアップとリストアを行います。
基本設定	表示分割数・表示サイズ・表示動作・表示位置など、本ソフトウェアに関する基本的な設定を行います。												
接続先設定	接続対象のネカ録を設定します。												
通知機能設定	ネカ録からの通知受信に関する設定を行います。												
操作権限設定	本ソフトウェア上での操作権限に関する設定を行います。												
レイアウト設定	指定レイアウトモードで使用する表示レイアウトの作成・編集・保存・削除を行います。												
バックアップ／リストア	設定内容のバックアップとリストアを行います。												

## 4.2 画面の説明

### 4.2.1 メイン画面

本ソフトウェア起動時に表示されるメイン画面は、ツールバーと映像表示領域のみから構成されますが、ツールバー右クリックメニューにより、下図のようにタイトルバー／メニューバー／ステータスバー及び5種類のサブ画面を表示することができます。



各部分の意味は、以下の通りです。

No	名称	説明
1	タイトルバー	本ソフトウェアの名称と現在の表示モードを表示します。
2	メニューバー	メニュー項目を表示します。
3	ツールバー	本ツールバー上にあるボタンをクリックすることにより、操作を指定することができます。
4	映像表示領域	カメラ映像を表示する領域です。
5	ステータスバー	表示中のライブ映像の情報などを表示します。
6	接続先/カメラ選択画面	選択カメラモード時の対象カメラ選択、拡大カメラ指定、接続先のステータス表示を行います。
7	通知履歴画面	ネカ録からの通知履歴を表示します。
8	センサーステータス画面	センサーのステータスを表示します。
9	センサー出力画面	ボタンクリックによるセンサー出力を行います。
10	音量調節画面	音声付きのライブ映像表示・録画映像再生時の音量を調節します。

各サブ画面の詳細は、次節以降で説明します。

#### 4.2.1.1 接続先／カメラ選択画面

「ウインドウ表示」-「接続先/カメラ選択画面表示」メニューをクリックすると、接続先/カメラ選択画面が表示されます。

この画面には、以下のタブがあります。

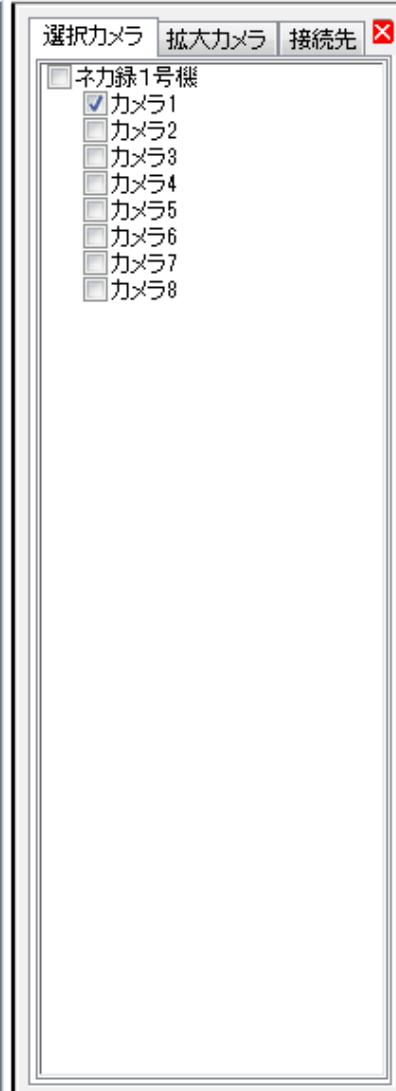
No	タブ名	説明
1	拡大カメラ	指定したカメラ映像の拡大表示を行います。
2	選択カメラ	選択カメラモードにおける選択カメラを指定します。 このタブは、選択カメラモード時のみ表示されます。
3	レイアウト	指定レイアウトモードにおいてレイアウトを選択します。 このタブは、指定レイアウトモード時のみ表示されます。
4	接続先	対象接続先ネカ録のステータスを表示します。

各タブの詳細は、次節以降で説明します。

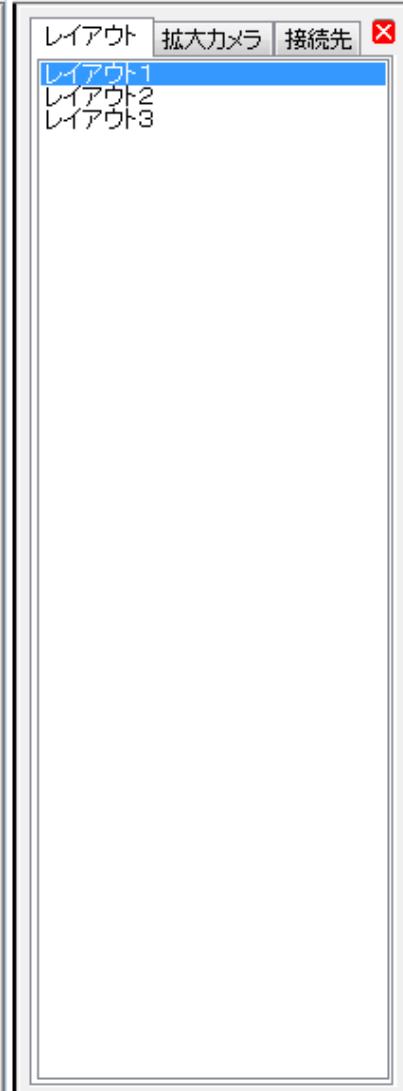
[全カメラモード時]



[選択カメラモード時]

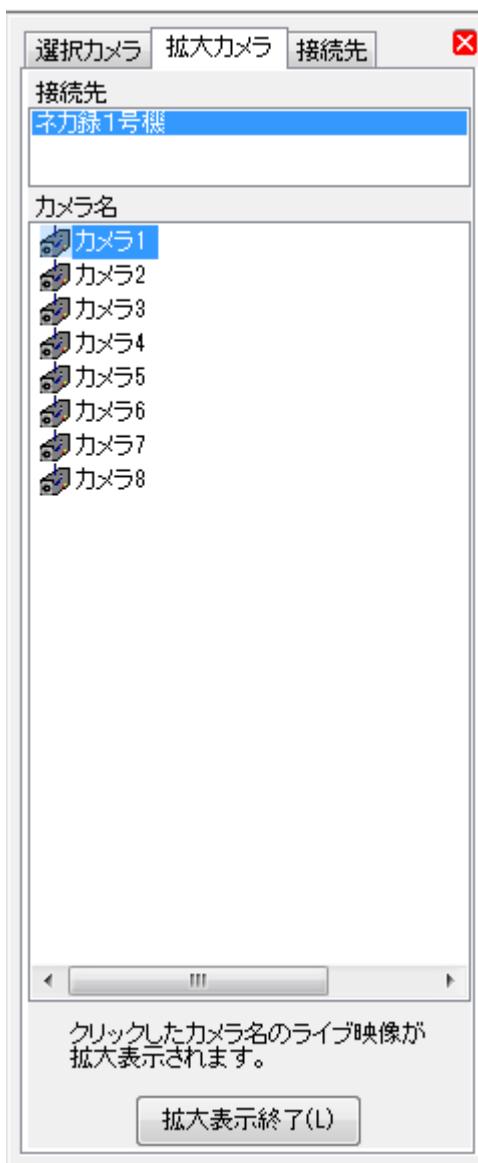


[指定レイアウトモード時]



#### 4.2.1.1.1 拡大カメラ

本タブで、拡大表示するカメラを指定することができます。  
クリックしたカメラのライブ映像が拡大表示されます。



本タブ内の意味は、以下の通りです。

No	名称	説明
1	接続先	接続中の接続先名が一覧表示されます。 拡大表示対象のカメラの接続先を選択してください。 ユニット#2 のカメラを選択する場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
2	カメラ名	選択した接続先のカメラ名が一覧表示されます。
3	拡大表示終了	拡大表示を終了します。

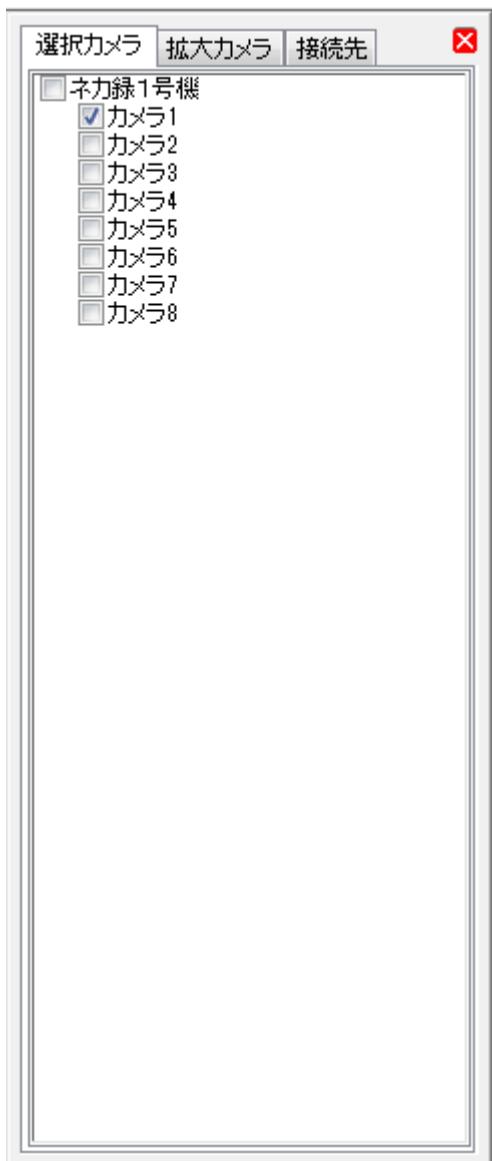
#### 4.2.1.1.2 選択カメラ

選択カメラモードにおける対象カメラを選択します。

下図のように、チェックボックス付きの接続先が表示され、接続先名をダブルクリックすることにより、チェックボックス付きのカメラ名一覧が表示されます。

選択カメラモードの対象にする接続先もしくはカメラ名のチェックボックスをクリックしてチェックを付けてください。

ユニット#2 のカメラは、末尾に「#2」が付加された接続先のカメラとして表示されます。

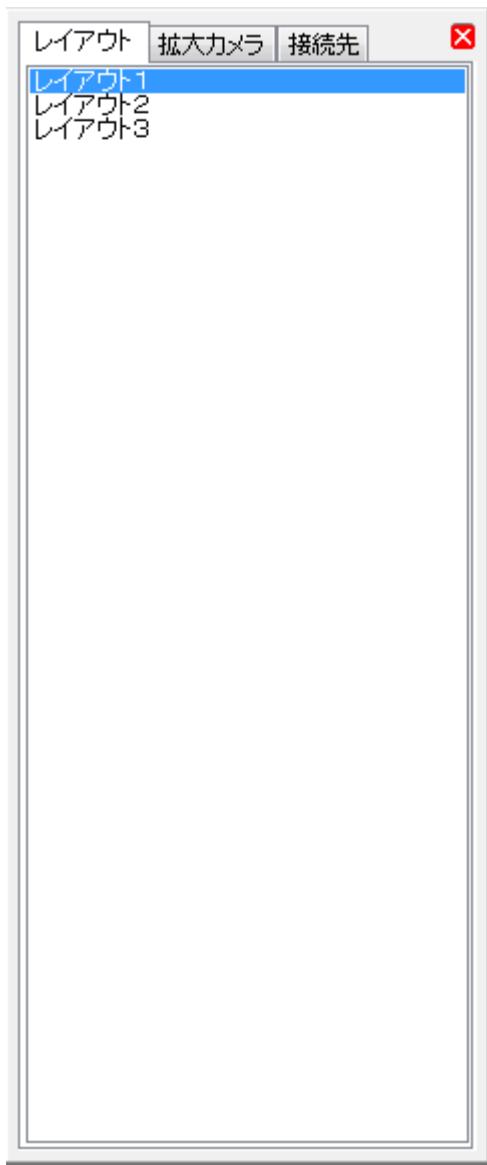


#### 4.2.1.1.3 レイアウト

指定レイアウトモードにおいてレイアウトを選択します。

現在選択されているレイアウト名が反転表示されます。

レイアウト名をマウスクリックすることにより、選択レイアウトを変更することができます。



#### 4.2.1.1.4 接続先

接続先に対する現在のステータスを表示します。  
接続認証後や障害発生時の接続確認に使用できます。



本タブ内の意味は、以下の通りです。

No	列名	説明
1	接続先	接続先設定されている接続先名がすべて表示されます。 ユニット#2は、末尾に「#2」が付加された接続先名で表示されます。
2	状態	接続先に対する現在の状態を表示します。 選択していない接続先に対しては、無表示となります。 表示される状態とその意味は、下表の通りです。
3	レベル	ログインユーザーのユーザーレベルが表示されます。 ネコ録2.0/3.0/3.2及びANONYMOUSモードのネコ録4.0に接続した場合は、常に6と表示されます。 認証スキップホスト設定を行ったPCからネコ録5に接続した場合は、常に5と表示されます。

状態	説明
接続	正常に接続しています。
接続中	接続要求中です。 接続できない場合は、再接続を繰り返します。
切断	接続に失敗したか、接続が切れたかのいずれかです。
認証失敗	ログイン認証に失敗しました。 指定したユーザー名・パスワードのいずれかが不正です。
接続数超過	接続数超過により、ネコ録に接続を拒否されました。

#### 4.2.1.2 通知履歴画面

「ウインドウ表示」-「通知履歴表示」メニューをクリックすると、以下の通知履歴画面が表示されます。

日時	接続先	カメラ名	イベント
2016/05/05 15:52:44	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 15:55:07	ネカ録1号機	カメラ5	カメラ停止
2016/05/05 16:01:58	ネカ録2号機	カメラ6	画像変化
2016/05/05 16:02:01	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 16:04:24	ネカ録1号機	カメラ4	カメラ停止
2016/05/05 16:02:51	ネカ録2号機	カメラ3	画像変化
2016/05/05 16:03:02	ネカ録2号機	カメラ1	画像変化
2016/05/05 17:04:24	ネカ録1号機	カメラ2	カメラ停止
2016/05/13 16:03:02	ネカ録1号機	カメラ1	画像変化

この画面には、ネカ録からの通知履歴が表示されます。

各列の意味は、以下の通りです。

No	列名	説明
1	日時	通知元における通知事象の発生日時が表示されます。
2	接続先	通知元の接続先ネカ録名が表示されます。 ユニット#2は、末尾に「#2」が付加された接続先名で表示されます。
3	カメラ名	通知事象の対象カメラ名が表示されます。
4	イベント	通知内容が表示されます。

列名部分をクリックすることにより、その列をキーとした昇順のソート表示となります。

再度クリックすることにより、昇順から降順に切り替ります。

ソート表示時は列名の右に昇順／降順を示す矢印アイコンが表示されます。

履歴内をダブルクリックすることにより、「再生画面」に遷移し、該当履歴発生時の録画映像を再生することができます。

右上の  ボタンクリックにより、この画面のドッキングを解除し、下図のような移動可能な画面表示にすることができます。

 ボタンクリックにより、再ドッキングすることも可能です。

[ドッキング解除時]

通知履歴			
日時	接続先	カメラ名	イベント
2016/05/05 15:52:44	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 15:55:07	ネカ録1号機	カメラ5	カメラ停止
2016/05/05 16:01:58	ネカ録2号機	カメラ6	画像変化
2016/05/05 16:02:01	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 16:04:24	ネカ録1号機	カメラ4	カメラ停止
2016/05/05 16:02:51	ネカ録2号機	カメラ3	画像変化
2016/05/05 16:03:02	ネカ録2号機	カメラ1	画像変化
2016/05/05 17:04:24	ネカ録1号機	カメラ2	カメラ停止

#### 4.2.1.3 センサーステータス画面

「ウインドウ表示」メニュー中にある、「センサーステータス画面表示」をクリックすると、表示されます。本画面は、以下の2つの部分からなります。



各部分の意味は、以下の通りです。

No	表示名	説明
①	接続先	センサーステータス表示対象の接続先を、接続中の接続先名一覧から選択してください。 ユニット#2のセンサーを対象とする場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
②	センサー ステータス	選択した接続先のセンサーステータス(ON/OFF)を表示します。ONの場合には緑色、OFFの場合には無色で表示されます。  <b>⚠ 注意事項 :</b> センサーステータスの表示は、選択した接続先のライブ映像を表示している場合のみ更新されます。

#### 4.2.1.4 センサー出力画面

「ウインドウ表示」メニュー中にある、「センサー出力画面表示」をクリックすると、表示されます。本画面は、以下の2つの部分からなります。



各部分の意味は、以下の通りです。

No	表示名	説明
①	接続先	センサー出力対象の接続先を、接続中の接続先名一覧から選択してください。 接続先を変更すると、センサーボタンが選択した接続先のボタンに切り替えります。 ユニット#2のセンサーを対象とする場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
②	センサー ボタン	選択した接続先のセンサーボタンが表示されます。 各ボタンは、ネカ録側のセンサー出力設定でセンサー出力名として設定した名称が表示され、スイッチ種別として設定したボタンスタイル(プッシュ型/オルタネート型)で動作します。 センサー出力は、プッシュ型の場合はボタンクリック時のパルス出力、オルタネート型の場合はボタン押下時の継続出力となります。

#### 4.2.1.5 音量調節画面

「ウインドウ表示」メニュー中にある、「音量調節画面表示」をクリックすると、表示されます。スライダー位置変更により、音声付きのライブ映像表示及び録画映像再生における音量を調整することができます。スライダー位置を左に移動すると音量が小さくなり、右に移動すると音量が大きくなります。



## 4.2.2 ポータブルムービープレイヤー画面

ダウンロード完了後、再生を行う指定をすると、ポータブルムービープレイヤー(PMP)が起動され、以下の画面が表示されます。

また、「オプション」—「PMP起動」メニューにより起動することもできます。

詳細は、「ポータブルムービープレイヤー(PMP) ユーザーズガイド」を参照してください。



## 4.3 メニュー

### 4.3.1 メイン画面メニュー

#### 4.3.1.1 メニューバーメニュー

メニューに表示されるメニューは以下の通りです。

メニュー名	説明	参照先
ファイル(F)		
終了(X)	本ソフトウェアを終了します。	3.6
セッション(S)		
再接続認証(R)	ネカ録接続認証画面で対象ネカ録を再選択し、再接続・再認証を行います。	3.3
通常操作モード(N)	操作権限を「通常操作権限」に変更します。	—
管理者設定モード(A)	操作権限を「管理者設定権限」に変更します。	3.5
ライブ映像(L)		
表示開始(V)	ライブ映像の表示を開始します。	5.2.1
表示停止(T)	ライブ映像の表示を停止します。	5.2.1
全画面表示(F)	全画面表示を行います。	5.4
全カメラ(A)	全カメラモードに切り替えます。	5.1.1
選択カメラ(S)	選択カメラモードに切り替えます。	5.1.2
指定レイアウト(L)	指定レイアウトモードに切り替えます。	5.1.3
巡回(R)	カメラ映像表示画面を巡回表示します。 表示画面が複数存在する場合のみ本メニューは有効となります。巡回時にメニューにチェックマークが表示されます。	5.2.2
次頁(N)	次頁のカメラ映像表示画面に切り替えます。 複数の画面(頁)が存在する場合のみ本メニューは有効となります。	5.2.2
前頁(P)	前頁のカメラ映像表示画面に切り替えます。 複数の画面(頁)が存在し、先頭画面以外を表示している場合に本メニューは有効となります。	5.2.2
オプション(O)		
ダウンロード(D)	ダウンロード画面を開きます。	6.1
PMP起動(P)	ポータブルムービープレイヤー(PMP)を起動します。ネカ録からダウンロードして作成した映像ファイルを再生することができます。	4.2.3
レイアウト編集モード(E)	レイアウト編集モードの切り替えを行います。 「指定レイアウト」モード時の本メニューは有効です。 レイアウト編集モード時には、本メニューにチェック表示されます。	10.5.1
新規レイアウト作成(N)	指定レイアウトモード用のレイアウトを新規作成します。 レイアウト編集モード時の本メニューは有効です。	10.5.3
レイアウト上書き保存(S)	指定レイアウトモード用のレイアウトを上書き保存します。 レイアウト編集モード時の本メニューは有効です。	10.5.5
レイアウト保存(A)	指定レイアウトモード用のレイアウトを保存します。 表示モードが、「全カメラ」及び「カメラ選択」の場合、現	10.5.5

メニュー名	説明	参照先
	在表示されているレイアウトに名前をつけて保存します。	
レイアウト管理(M)	指定レイアウトモード用のレイアウトを管理します。	10.5.6
レイアウト選択(L)	指定レイアウトモード用のレイアウトを選択します。	5.3
設定(T)		
基本設定(B)	基本設定を行います。	10.1
接続先設定(T)	ネカ録への接続の設定を行います。	10.2
通知機能設定(A)	ネカ録からの通知機能の設定を行います。	10.3
操作権限設定(P)	ログイン認証の設定を行います。	10.4
設定バックアップ(C)	設定内容をバックアップします。	10.6.1
設定リストア(R)	設定内容をリストアします。	10.6.2
ウィンドウ表示(W)	本カテゴリの各メニューは、各画面の表示／非表示切り替えを行います。 表示時は各メニューにチェックマーク表示されます。	
通知履歴表示(L)	通知履歴画面の表示／非表示切り替えを行います。	4.2.1.2
接続先/カメラ選択画面表示(C)	接続先/カメラ選択画面の表示／非表示切り替えを行います。	4.2.1.1
センサーステータス画面表示(U)	センサーステータス画面の表示／非表示切り替えを行います。	4.2.1.3
センサー出力画面表示(O)	センサー出力画面の表示／非表示切り替えを行います。	4.2.1.4
音量調節画面表示(E)	音量調整画面の表示／非表示切り替えを行います。	4.2.1.5
ヘルプ(H)		
ヘルプの表示(H)	本ソフトウェアのヘルプを表示します。	—
バージョン情報(A)	本ソフトウェアのバージョンを表示します。	2.6

メニューバーに表示されるメニューとショートカットキーとの対応は以下の通りです。

メニュー名	ショートカットキー
ファイル(F)	Ctrl + X
セッション(S)	Ctrl + A
ライブ映像(L)	Ctrl + V
	Ctrl + T
	Ctrl + R
	Ctrl + N
	Ctrl + P
ヘルプ(H)	F1

#### 4.3.1.2 映像表示画面右クリックメニュー

映像表示画面上でのマウス右ボタンクリックで表示されるメニューとその意味は以下の通りです。

メニュー名	説明	表示条件
再生(P)	再生モードに移行します。	分割表示時、拡大表示時
ダウンロード(D)	ダウンロード画面を開きます。	分割表示時、拡大表示時
カメラ制御(C)	カメラ制御画面を表示します。	拡大表示時
静止画保存(S)	ライブ映像及び録画映像の静止画像を JPEG 形式もしくはビットマップ形式のファイルに保存します。	拡大表示時、再生時
静止画一時保存(T)	ライブ映像及び録画映像の静止画像を JPEG 形式もしくはビットマップ形式のファイルに一時保存します。	
静止画印刷(R)	ライブ映像及び録画映像の静止画像を印刷します。	
ライブ映像保存(L)	ライブ映像をファイル保存します。	拡大表示時
巡回(R)	映像表示画面を巡回表示します。	全画面表示時
次頁(N)	映像表示画面を次の頁に切り替えます。	
前頁(P)	映像表示画面を前の頁に切り替えます。	
全画面表示終了(X)	全画面表示を終了します。	

#### 4.3.1.3 レイアウト編集モード右クリックメニュー

レイアウト編集モード時のマウス右ボタンクリックで表示されるメニューとその意味は以下の通りです。

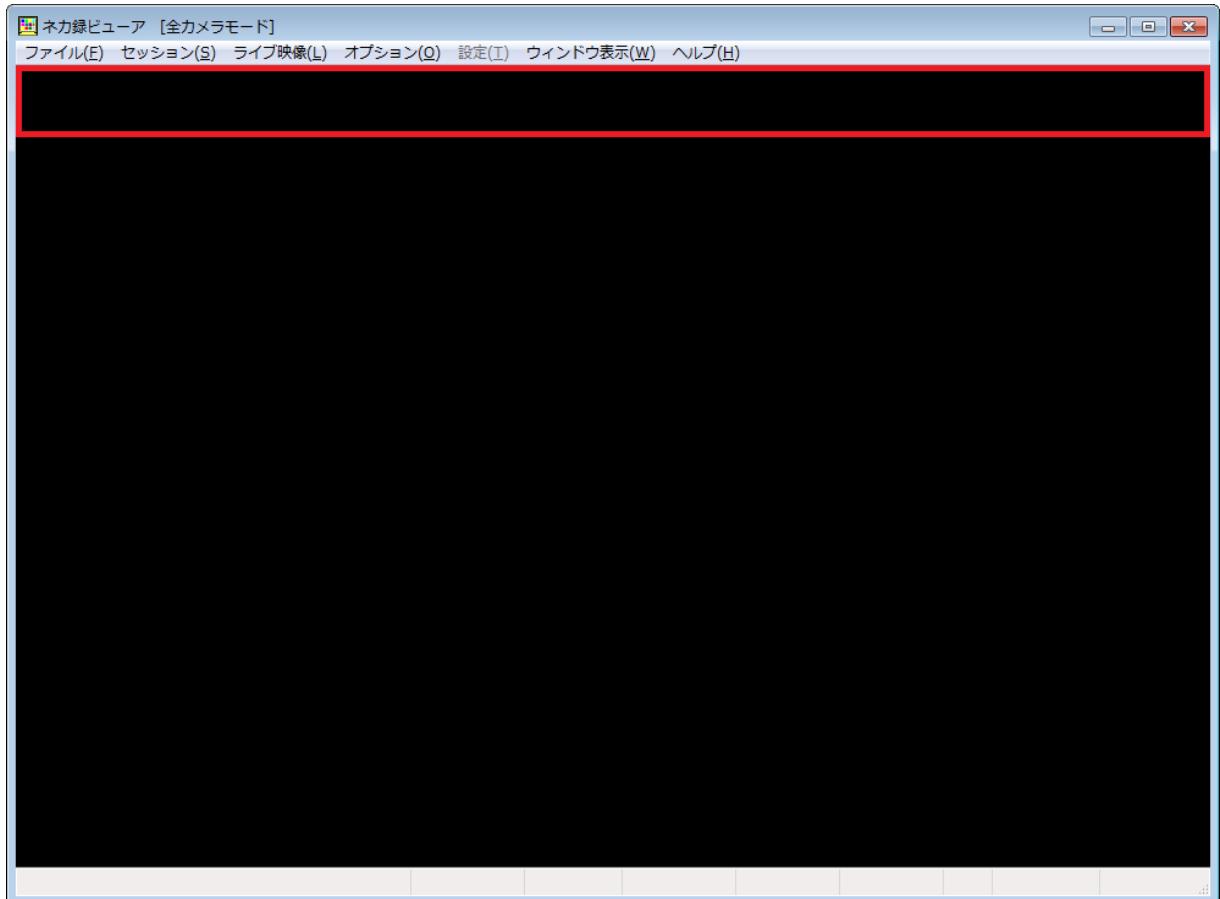
メニュー名	説明	表示条件
カメラ登録(C)	カメラアイコンを登録します。	カメラ表示枠非選択時
レイアウト編集終了(E)	レイアウト編集を終了します。	
カメラ設定変更(C)	カメラアイコンの設定を変更します。	カメラ表示枠選択時
カメラ削除(D)	カメラアイコンを削除します。	

#### 4.3.1.4 ツールバー右クリックメニュー

ツールバー上のマウス右ボタンクリックで表示されるメニューとその意味は以下の通りです。  
表示／非表示切り替えメニューの場合は、表示時に各メニューにチェックマークが表示されます。

メニュー名	説明
ウィンドウ枠(W)	ウィンドウ枠の表示／非表示切り替えを行います。ウィンドウ枠を非表示とすると、タイトルバーも非表示となります。
メニューバー(M)	メニューバーの表示／非表示切り替えを行います。
ツールバー(T)	ツールバーの表示／非表示切り替えを行います。
ステータスバー(S)	ステータスバーの表示／非表示切り替えを行います。
通知履歴(R)	通知履歴画面の表示／非表示切り替えを行います。
接続先/カメラ選択(C)	接続先/カメラ選択画面の表示／非表示切り替えを行います。
センサーステータス(U)	センサーステータス画面の表示／非表示切り替えを行います。
センサー出力(O)	センサー出力画面の表示／非表示切り替えを行います。
音量調整(V)	音量調整画面の表示／非表示切り替えを行います。
ツールバーアイコ ンサイズ(Z)	ツールバーのアイコンのサイズ(大／小)を切り替えます。 選択されているメニューにチェックマークが表示されます。

ツールバー非表示時も、ツールバー表示位置（下図の赤枠の部分）の右クリックにより、本メニューが表示されます。



#### 4.3.1.5 ツールバー

ツールバー上のボタンは、ウィンドウ幅に応じて自動的に表示／非表示が切り替わります。非表示となる条件は下表の通りです。

非表示順位	ボタン名	非表示時ウィンドウ幅(ドット)	
		大アイコン	小アイコン
1	静止画保存、静止画印刷、ライブ映像保存	1900 未満	1400 未満
2	再生、ダウンロード、カメラ制御	1600 未満	1180 未満
3	全カメラ、選択カメラ、指定レイアウト	1200 未満	880 未満
4	表示開始、表示停止、全画面表示、巡回、前頁、次頁、基本設定、配置図表示、終了	常に表示	

ツールバーのボタンとその意味は以下の通りです。

ボタン	説明
 表示開始	ライブ映像の表示を開始します。
 表示停止	ライブ映像の表示を停止します。
 全画面表示	全画面表示を行います。
 巡回	カメラ映像表示画面を巡回表示します。
 前頁	前頁のカメラ映像表示画面に切り替えます。
 次頁	次頁のカメラ映像表示画面に切り替えます。
 全カメラ	全カメラモードに切り替えます。
 選択カメラ	選択カメラモードに切り替えます。
 指定レイアウト	指定レイアウトモードに切り替えます。

ボタン	説明
 再生	再生モードに移行します。
 ダウンロード	ダウンロード画面を開きます
 カメラ制御	カメラ制御画面を表示します。
 静止画保存	ライブ映像及び録画映像の静止画像を JPEG 形式もしくはビットマップ形式のファイルに保存します。
 静止画印刷	ライブ映像及び録画映像の静止画像を印刷します。
 ライブ映像保存	ライブ映像をファイル保存します。
 基本設定	基本設定を行います。
 終了	本ソフトウェアを終了します。

### 4.3.2 ポータブルムービープレイヤー

ポータブルムービープレイヤーのメニューに関しては、  
「ポータブルムービープレイヤー(PMP) ユーザーズガイド」を参照してください。

### 4.3.3 操作権限

各メニュー項目の必要ビューア権限とサテライトユーザーレベルは下表の通りです。

区分	メニュー カテゴリ	メニュー項目	ビューアの 権限による制限	ネカ録ユーザー レベル	
メインウインドウのメニュー	ファイル	終了	制限なし	1	
		再接続認証	制限なし		
		通常操作モード			
		管理者設定モード			
	ライブ映像	表示開始	制限なし		
		表示停止			
		全画面表示			
		全カメラ			
		選択カメラ			
		指定レイアウト			
		巡回			
		次頁			
		前頁			
	オプション	ダウンロード	制限なし	4	
		PMP起動			
		レイアウト編集モード	管理者設定権限のみ可		
		新規レイアウト作成			
		レイアウト上書き保存			
		レイアウト保存			
		レイアウト管理			
		レイアウト選択	制限なし		
	設定	基本設定	管理者設定権限のみ可	1	
		接続先設定			
		通知機能設定			
		操作権限設定			
		設定バックアップ			
		設定リストア			
	ウィンドウ表示	通知履歴表示	制限なし	1	
		接続先/カメラ選択画面表示			
		センサーステータス画面表示			
		センサー出力画面表示			
		音量調節画面表示			
	ヘルプ	ヘルプの表示	制限なし	1	
		バージョン情報			
メイン画面のツールバー	ボタン	表示開始	制限なし	1	
		表示停止			
		全画面表示			
		巡回			
		前頁			
		次頁			
		全カメラ			
		選択カメラ			
		指定レイアウト			
		再生			
		ダウンロード			
		カメラ制御			

区分	メニュー カテゴリ	メニュー項目	ビューアの 権限による制限	ネカ録ユーザー レベル
		静止画保存 静止画印刷 ライブ映像保存 基本設定 終了		4 1 1
	分割表示時	再生 ダウンロード		3 4
	拡大表示時	再生 ダウンロード カメラ制御 静止画保存 静止画一時保存 静止画印刷 ライブ映像保存		3 4 2
メイン 画面の 右クリック メニュー	再生時	静止画保存 静止画一時保存 静止画印刷		4
	全画面表示時	巡回 次頁 前頁 全画面表示終了	制限なし	
	ツールバー上	ウインドウ枠 メニューバー ツールバー ステータスバー 通知履歴 接続先/カメラ選択 センサーステータス センサー出力 音量調節 ツールバーアイコン サイズ		1
	レイアウト 編集モード時	カメラ登録 レイアウト編集終了 カメラ設定変更 カメラ削除	管理者設定権限のみ可	1



#### 注意事項 :

- 「ネカ録ユーザーレベル」は、ネカ録 4.0/5 に接続した場合のものです。ネカ録 2.0/3.0/3.2 に接続した場合には、本欄のレベルによる制限は受けません。
- 「ネカ録ユーザーレベル」欄は、必要最低限のユーザーレベルです。  
例えば、これが「3」の場合は、3 以上のユーザーレベルで操作可能となります。

# 5. 映像表示

---

本章では、映像表示機能について説明します。

映像表示機能の概要は、以下の通りです。

詳細は、各節で説明します。

## (1) 映像表示内容

ライブ映像と録画映像の2種類があります。

基本的には、ライブ映像表示画面から録画映像再生画面に移行する形となります。

## (2) 映像表示画面

メインウィンドウの枠内に表示する通常表示と、モニタ全面に表示する全画面表示の2種類があります。

## (3) 映像表示方法

複数台のカメラ映像を同時表示する分割表示と、指定した1台のカメラの映像のみを表示する拡大表示の2種類があります。

ライブ音声出力及びPTZ操作は、拡大表示時のみ可能となります。

## (4) 映像表示モード

以下の3種類のモードがあります。

＜全カメラ＞

接続中のネカ録のすべてのカメラ映像を表示します。

表示レイアウトは、設定した表示分割数・表示サイズに応じて自動決定されます。

＜選択カメラ＞

選択したカメラの映像のみ表示します。

表示レイアウトは、設定した表示分割数・表示サイズに応じて自動決定されます。

＜指定レイアウト＞

任意に設定したレイアウトで、カメラ映像を表示することができます。

## 5.1 映像表示モード

映像表示時の表示レイアウト及び表示対象のカメラは、映像表示モードによって異なります。映像表示モードとして、以下の3種類のモードがあります。

No	表示モード	説明
1	全カメラ	接続中のネカ録のすべてのカメラの映像を表示します。
2	選択カメラ	選択したカメラの映像のみを表示します。
3	指定レイアウト	指定した表示レイアウトで指定したカメラの映像を表示します。 レイアウトは、表示区画・表示カメラを任意に指定する形で、あらかじめ定義しておきます。

表示モードの切り替えは、ツールバーの各ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」中の各メニューのクリックにて行います。

現在の表示モードは、ツールバーのボタンステータスとタイトルバーの表示で確認できます。

表示モード切り替え後に、表示開始することにより、新しいモードでのライブ映像表示が開始されます。

インストール直後は全カメラモードとなり、2回目以降の起動時は前回終了時の表示モードとなります。

次節以降で、各モードの詳細について説明します。



### 注意事項：

ライブ映像表示中に表示モードを切り替えると、「表示停止」の状態となります。

表示モード切り替え後にライブ映像表示を再開する場合は、再度表示開始する必要があります。

### 5.1.1 全カメラモード

接続中のネカ録のすべてのカメラの映像を分割表示します。

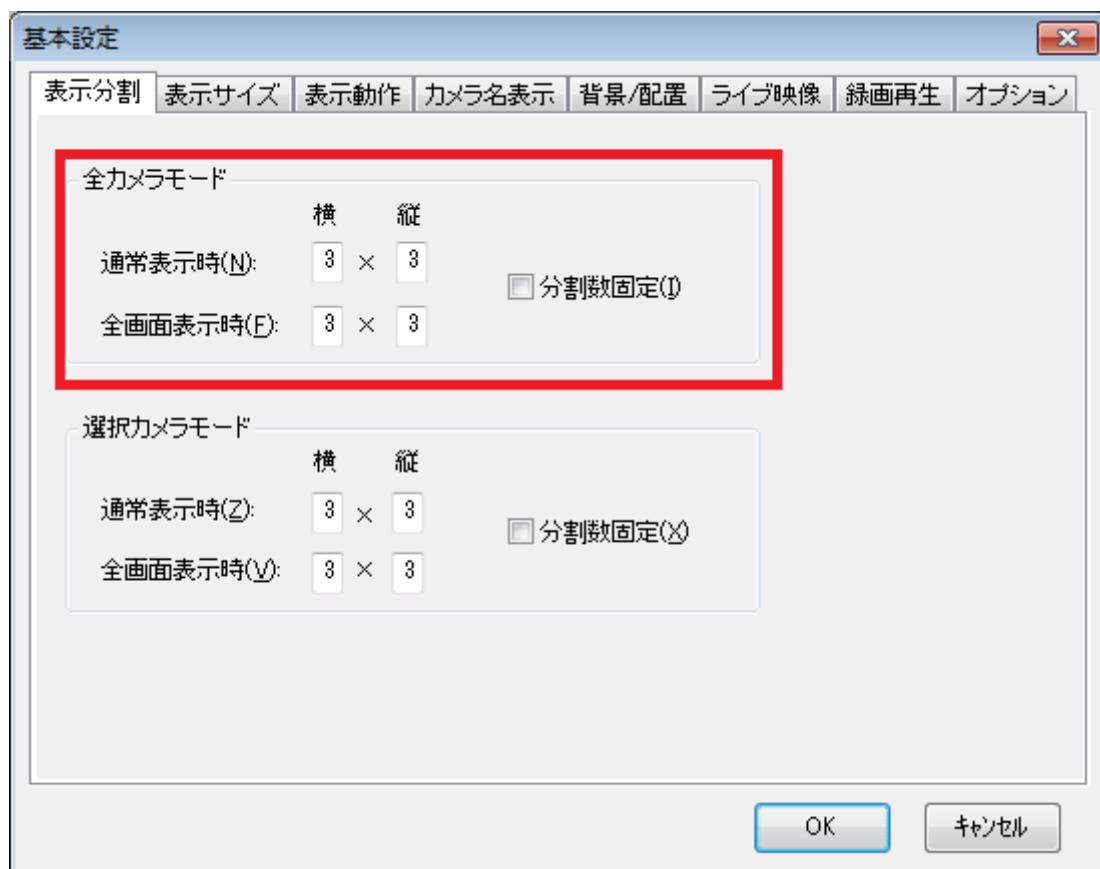
本画面の1ページで表示されるカメラの台数は、「基本設定」 - 「表示分割」タブで指定します。

ツールバーの「全カメラ」ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」 - 「全カメラ」をクリックすると、全カメラモードになります。



画面に表示される映像は、接続中のネカ録のすべてのカメラのライブ映像です。

以下のように、「基本設定」 - 「表示分割」タブで、1ページに表示するカメラ数を指定します。



## 5.1.2 選択カメラモード

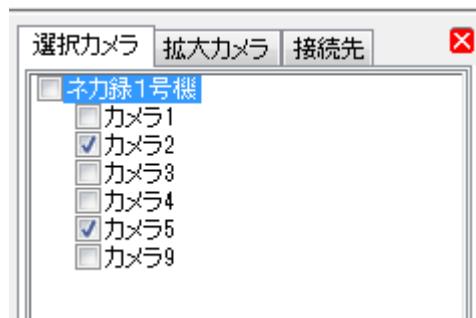
接続先ネカ録の中から選択したカメラの映像を表示するモードです。

本画面の1ページで表示されるカメラの台数は、「基本設定」－「表示分割」タブで指定します。

ツールバー「選択カメラ」ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」－「選択カメラ」をクリックすると、選択カメラモードになります。



「ウィンドウ表示」－「接続先／カメラ選択表示」メニューから「接続先／カメラ選択」画面を表示させ、「選択カメラ」タブを選択すると、以下のようなカメラ選択画面が表示されます。



接続先単位で選択する場合は、接続先名にチェックしてください。

カメラ単位で選択する場合は、接続先名をダブルクリックしてください。ダブルクリック後には、右図のようにカメラ名が表示されますので、表示したい各カメラ名にチェックしてください。

「基本設定」－「表示分割」タブの「選択カメラ」グループで、1ページに表示するカメラ数を指定します。

### 5.1.3 指定レイアウトモード

表示するカメラ、画面上の位置・サイズを自由に設定して、表示するモードです。

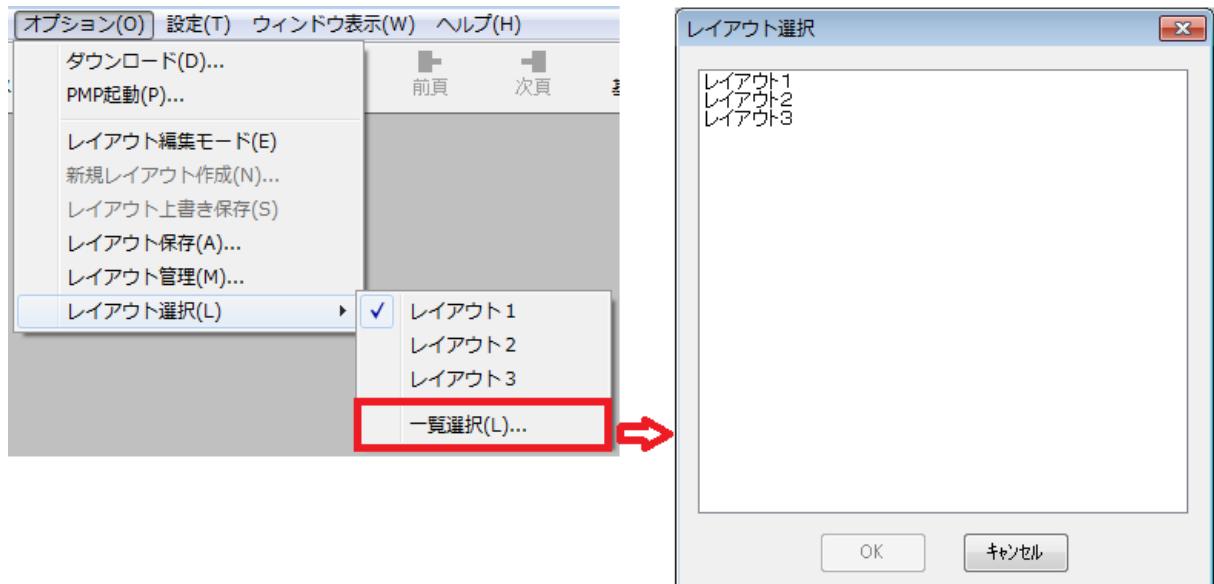
ツールバー「指定レイアウト」ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」 - 「指定レイアウト」をクリックすると、指定レイアウトモードになります。



メニューバーの「オプション」 - 「レイアウト選択」をクリックすると、保存されているレイアウト名が表示されます。

表示されたメニューからレイアウト名をクリックすると、選択したレイアウトが表示され、メニューにはチェックがつきます。

メニューの「一覧選択」をクリックするとレイアウト選択画面が表示されますので、レイアウトをこの画面で選択することも可能です。

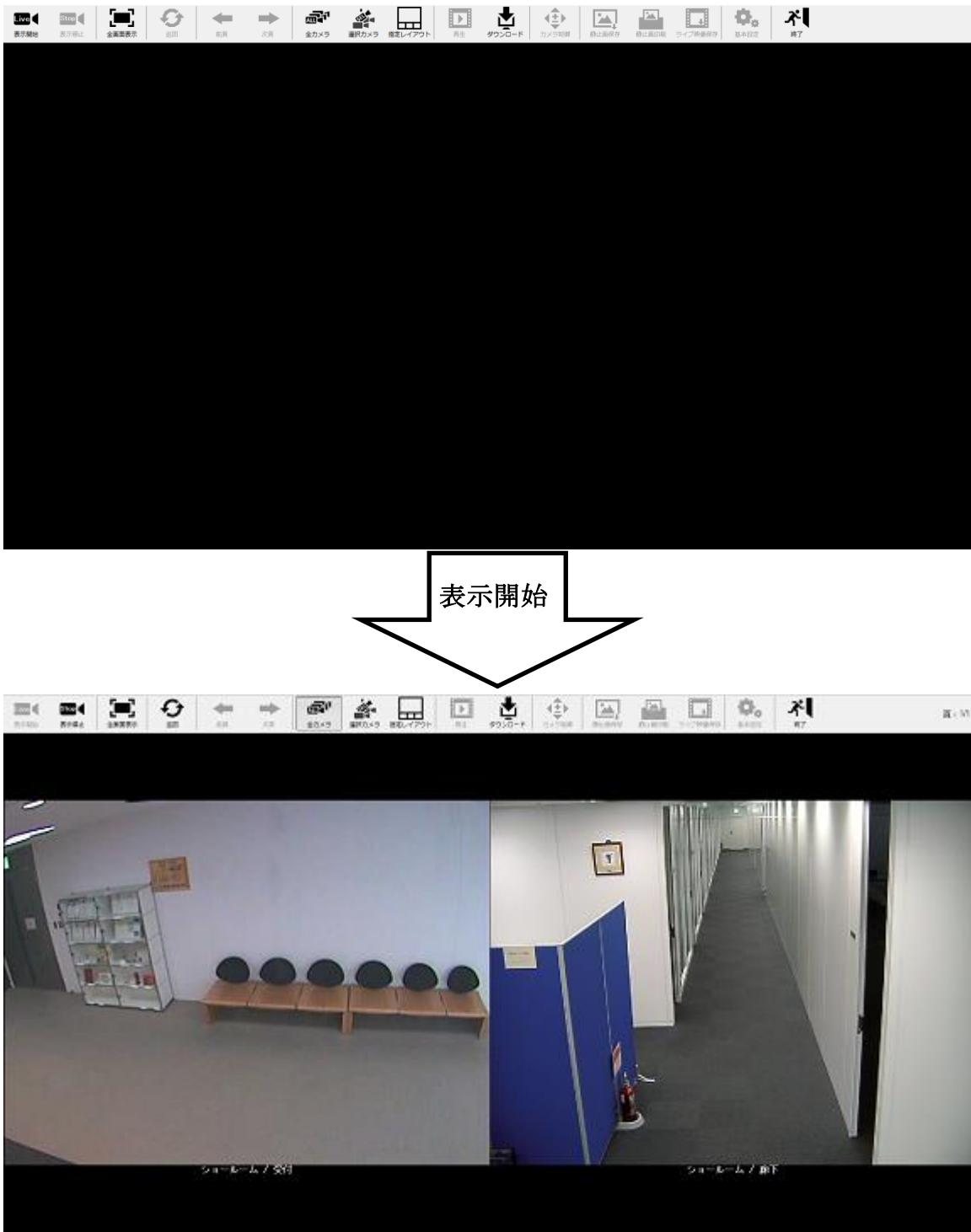


タイトルバーには、選択中のレイアウト名が表示されます。

## 5.2 ライブ映像表示

### 5.2.1 表示開始・表示停止

ツールバーの「表示開始」ボタンもしくはメニューbaruの「ライブ映像」 - 「表示開始」クリックで、ライブ映像表示が開始されます。



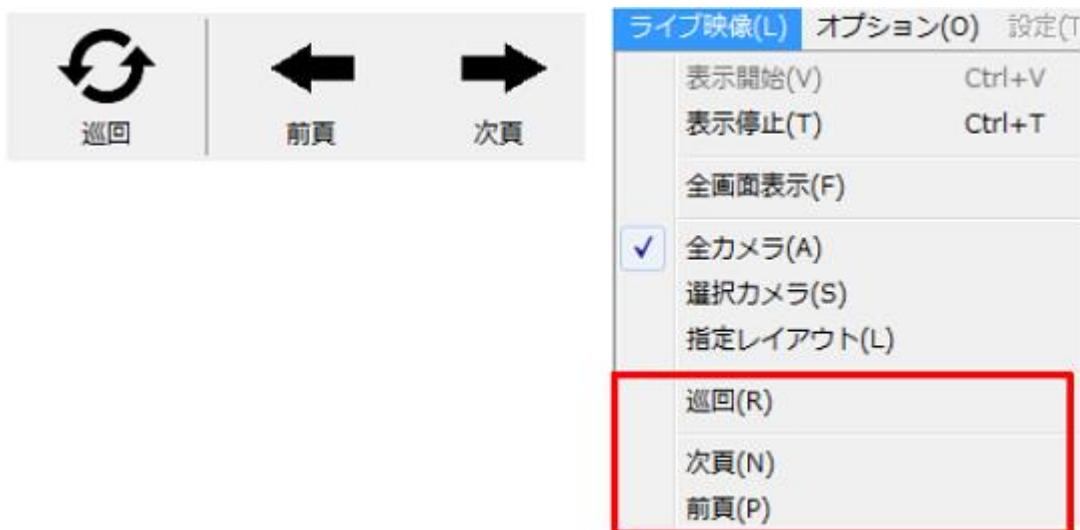
ツールバーの「表示停止」ボタンもしくはメニューbaruの「ライブ映像」 - 「表示停止」クリックで、ライブ映像表示は停止します。

## 5.2.2 表示頁切り替え

全カメラ／選択カメラモードで、表示対象のカメラ数が多く、1画面に収まらない場合には、複数の画面（これを「頁」といいます）でカメラ映像を表示させることができます。

この場合、表示頁の切り替え方法として、「次頁」「前頁」機能による手動切り替えと、「巡回」機能による前方への自動切替が可能です。

ツールバーの各ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」中の各メニューのクリックにて行います。



現在の表示頁は、ツールバーの右端に表示されます。



巡回表示時の各頁を表示する間隔（巡回をする間隔）は「基本設定画面」の「表示動作」タブで指定可能です。

指定レイアウトモードでは、「次頁」「前頁」「巡回」機能により、選択レイアウトを切り替えることができます。切替順は、レイアウト管理画面での表示順となります。

レイアウト管理画面に関しては、「10.5.7 レイアウト管理」を参照してください。



### 注意事項：

「全カメラモード」「選択カメラモード」における表示開始時は、常に1頁目から表示されます。

## 5.3 拡大表示

特定のカメラ映像を画面上に拡大して表示することができます。

拡大表示状態へ移行するアクション、及びそれぞれの場合の拡大表示終了アクションは下表の通りです。

No	拡大表示アクション	拡大表示終了アクション	参照先
①	複数カメラ映像表示画面でのカメラ映像クリック	拡大表示画面クリック	5.3.1
②	ネカ録からの通知受け取り	「拡大表示秒数」で設定した秒数経過	8.3
		拡大表示画面クリック	
③	「接続先／カメラ選択」画面の「拡大カメラ」タブでのカメラ名クリック	「拡大表示終了」ボタンクリック	4.2.1.1.1
		拡大表示画面クリック	
④	複数カメラ映像表示状態での関連センサーステータスON	関連センサーステータスOFF 拡大表示画面クリック	5.3.2

拡大表示時は、1台のカメラの映像のみの表示となります。

拡大表示中に次の拡大表示アクションが発生した場合は、後から発生したカメラの拡大表示に切り替えります。

映像停止状態から拡大表示状態に移行した場合も、自動的に映像は表示されます。

拡大表示終了時は、元の状態に戻ります。映像表示状態からの移行時は映像表示状態に、映像停止状態からの移行時は映像停止状態に戻ります。

拡大表示時中は、ステータスバーの右側に以下の8つの情報が表示されます。

16.96 コマ／秒	57 Kbps	79 byte	Motion: 0	640 x 480	H.264	14:28:28.854	2016/02/14
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

それぞれの情報表示の意味は、下表の通りです。

No	表示名	説明
①	平均フレームレート	表示されているカメラのフレームレートを表示します。
②	平均ビットレート	表示されている映像のビットレートを表示します。
③	各コマの容量	表示画像1枚あたりの容量を表示します。
④	画像変化値	表示画像の変化値を表示します。 0-100の範囲で表示されます。
⑤	解像度	表示画像の解像度を表示します。
⑥	画像圧縮形式	表示画像の圧縮形式 (JPEG/H.264) を表示します。
⑦	画像時刻	表示中画像受信時のネカ録の時刻を表示します。
⑧	画像日付	表示中画像受信時のネカ録の日付を表示します。

### 5.3.1 映像表示画面クリックによる拡大表示

複数カメラ映像表示画面において、表示されているカメラ映像をマウスでクリックすると、下図のように、指定したカメラ映像が拡大表示されます。  
拡大表示から複数カメラ表示へ戻る際には、拡大表示映像をマウスクリックします。



### 5.3.2 センサー連動拡大表示

本機能により、複数カメラ映像表示時に、関連センサーのステータスが ON のカメラの映像を拡大表示することができます。

類似の機能である通知受け取り時拡大表示機能との相違点は、下表の通りです。

項目	センサー連動拡大表示機能	通知受け取り時拡大表示機能
拡大表示開始タイミング	センサーステータスON	関連カメラの通知（動き検知、カメラ停止、センサー入力など）受け取り時
拡大表示期間	センサーステータスがOFFとなるまで	「拡大表示秒数」で設定した秒数
対象カメラ	ライブ映像表示中のカメラのみ	接続ネカ録の全カメラ
拡大表示中の他カメラへの切り替り	拡大表示中は、他カメラのセンサーがONになっても切り替らない 但し、他の拡大表示アクション発生の場合は切り替る	後から通知を受けたカメラの拡大表示画面に切り替る

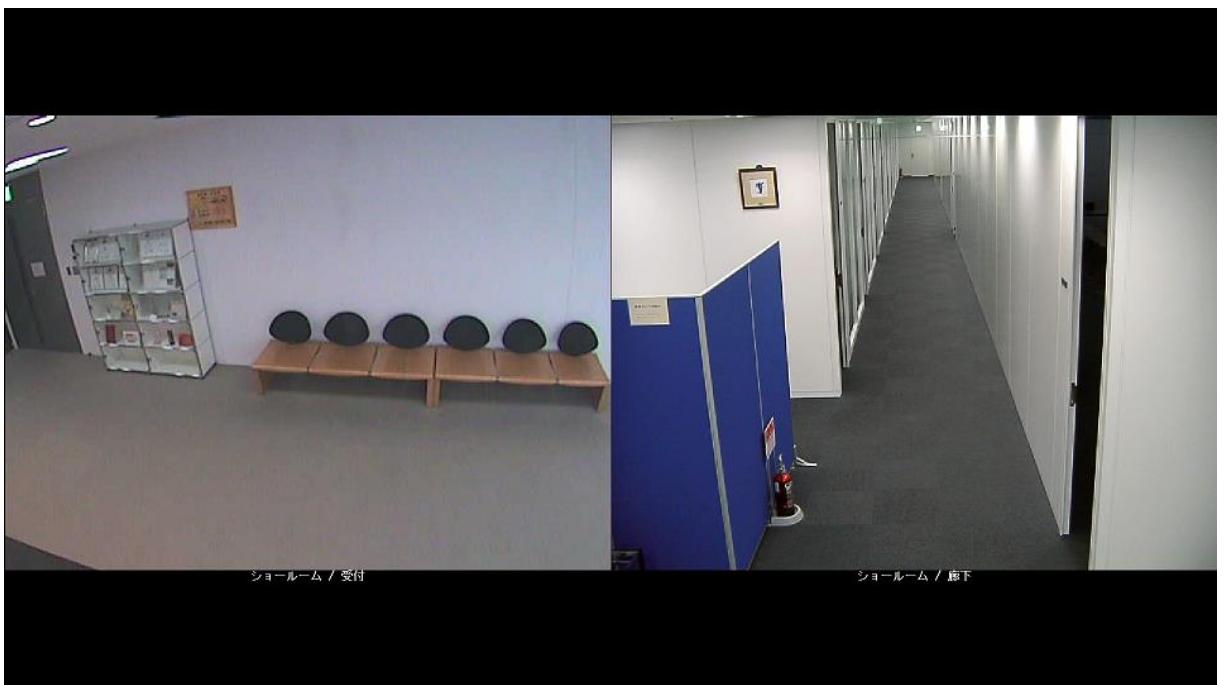
センサー通知の設定が ON の場合、両機能が同時に拡大表示開始条件を満たすため、動作が輻輳してしまいます。従って、センサー連動拡大表示機能と通知受け取り時拡大表示機能の双方を有効にする場合は、ネカ録設定でセンサーの通知は OFF の設定にしてください。

複数のカメラの関連センサーのステータスがほぼ同時に ON になった場合には、表示位置順が若いカメラ（全カメラ／選択カメラモードの場合は左上から順、指定レイアウトモードの場合は定義順）が優先されて拡大表示されます。

## 5.4 全画面表示

メイン画面を非表示とし、カメラ映像をモニタ全体に表示します。

ツールバーの「全画面表示」ボタンもしくはメニューバーの「ライブ映像」 - 「全画面表示」をクリックすると、全画面表示となります。

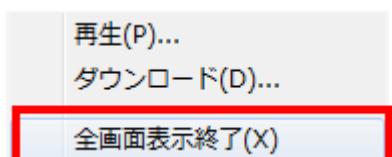


基本的な操作・動作は通常表示時と同様です。

主な相違点は、以下の通りです。

- 全画面表示の場合は、ライブ映像の表示開始・停止の概念はなく、常にライブ映像表示状態となります。
- 既定設定の場合、全画面表示移行時には自動的に巡回開始します。
- 「前頁」「次頁」「巡回」の頁切り替え操作は、右クリックメニューから行います。

全画面表示から通常画面へ戻る場合は、マウス右クリックメニューの「全画面表示終了」をクリックします。



## 5.5 録画映像再生

録画映像を再生する機能として、1台のカメラの映像を再生する「再生」機能があります。機能実行時は、以下の画面表示となります。



再生画面では、再生／早送り／巻き戻し／コマ送り／コマ戻し／音声付き再生を行うことができます。再生制御操作は、映像下の再生制御画面上のボタンにより行います。それぞれの詳細は、次節以降で説明します。



### 注意事項：

録画映像再生機能全般に関する制約事項は、以下の通りです。

#### (1) ライブ映像表示との同時動作

録画映像再生とライブ映像表示の同時動作はできません。

録画映像再生時は、ライブ映像表示関連のツールバーボタンとメニューは無効となります。

#### (2) PC の時刻とネカ録の時刻

再生操作を行う PC とネカ録の時刻差異がある場合、以下の注意事項・制約事項が生じます。

- ・ネカ録の時刻が PC の時刻より遅れている場合、ライブ映像拡大表示時のステータスバー表示でネカ録の時刻を確認し、時刻遅延を考慮して再生開始日時を指定してください。
- ・PC の日付より進んだ日付のネカ録の映像を再生することはできません。

(例) ネカ録の時刻が PC の時刻が 2 時間進んでいる場合、PC の日時が「2017/4/1 23:00:00」の状態で、「2017/4/2 0:30:00」と再生開始日時指定しても、存在する当該日時の映像を再生することはできません。

#### (3) 早送り・巻き戻し速度

PC 及びネカ録の処理性能と録画フレームレート・解像度との兼ね合いにより、指定した速度より低い速度で実行されることがあります。この場合、巻き戻し速度は早送り速度よりも低くなりますので、極力、早送り機能を使用してください。

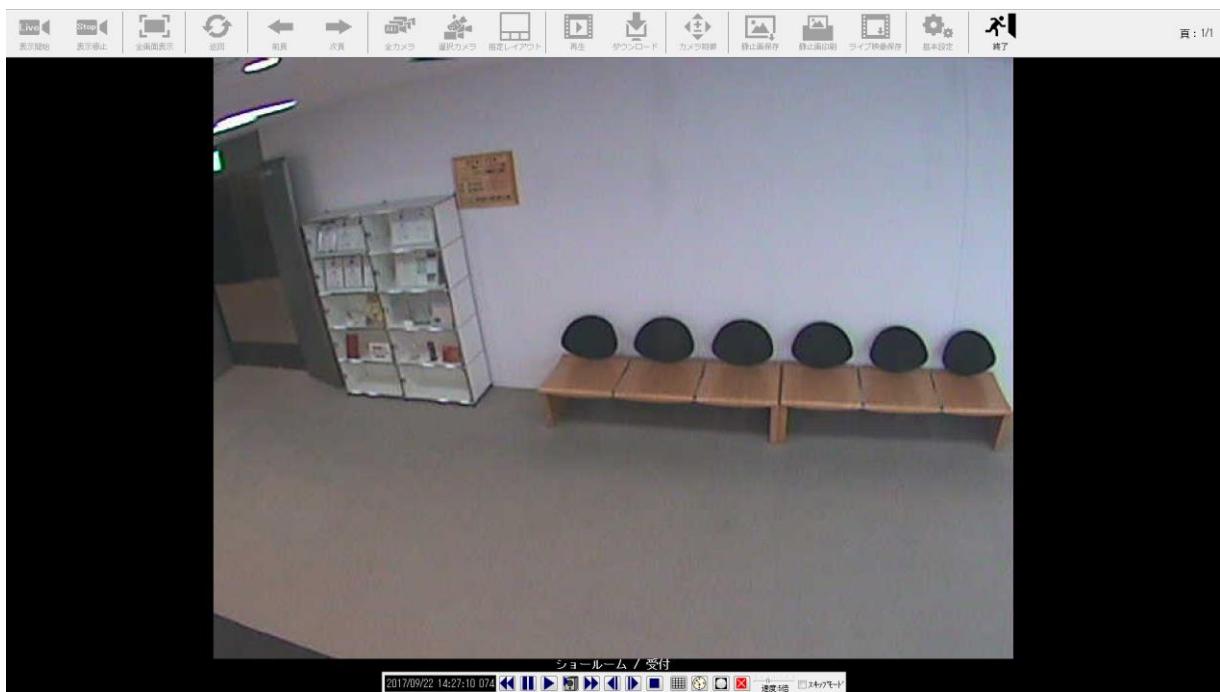
#### (4) 圧縮形式・解像度変更時動作

画像圧縮形式 (JPEG/H.264) を変更した場合、及び画像圧縮形式が H.264 で解像度を変更した場合は、変更時刻を跨いでの映像再生はできません。

(H.264 での解像度変更時は、日時表示の時刻は進むにも関わらず、変更直前の画像が表示され続ける動作になります。)

変更後の映像を再生する場合は、変更後の日時を再指定してください。

## 5.5.1 再生画面



再生画面は、以下のいずれかの方法で表示することができます。

いずれの場合も、再生画面終了後は表示前の状態に戻ります。

- ①ライブ映像表示画面で、ツールバーの「再生」ボタンもしくは右クリックメニューの「再生」をクリックし、「再生開始日時指定」画面で再生開始日時を指定。
- ②通知履歴画面で、映像を再生したい通知をダブルクリック。

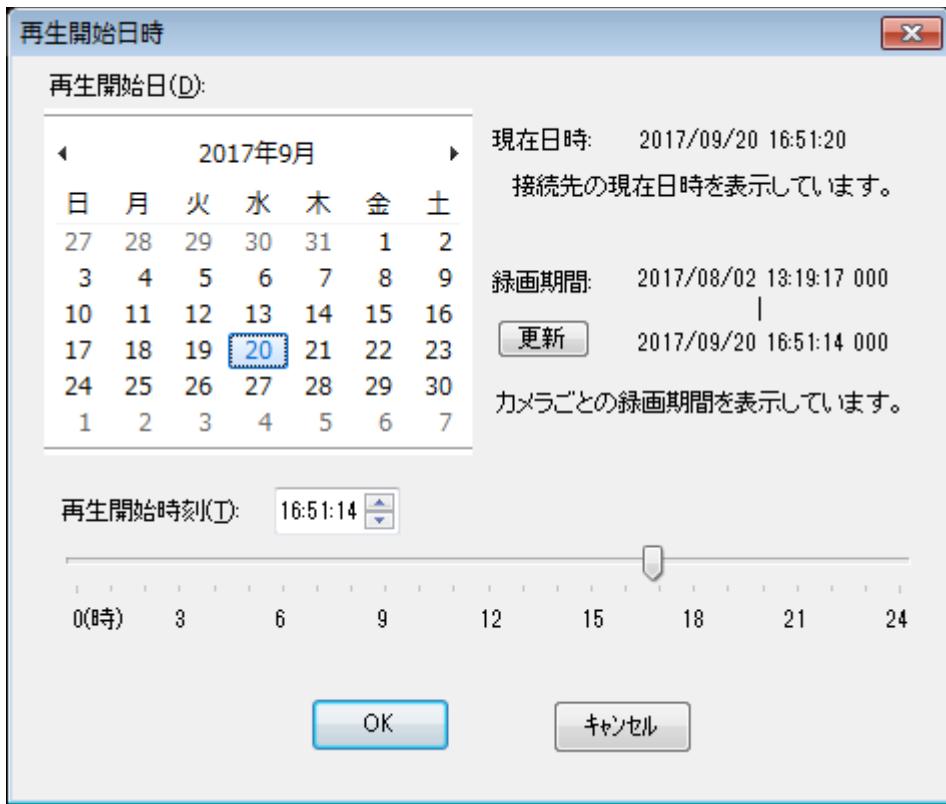


### 注意事項：

- (1) 再生開始対象日時の録画映像が存在しない場合の動作  
指定時刻以降に録画映像が存在する場合は、指定時刻以降の最も指定時刻に近い時刻の録画映像が初期表示されます。指定時刻以降に録画映像が存在しない場合は、「指定した時刻の録画データはありません。」とメッセージ表示されます。
- (2) 不連続録画時の動作  
スケジュール録画や動き検知録画などにより録画映像の時刻が連続でない場合には、非録画時間を飛ばして再生されます。早送り・コマ送りの場合も、同様の動作となります。
- (3) ネカ録から録画映像を取得できない場合の動作  
ネットワーク断発生によりネカ録から録画映像を取得できない場合、及びネカ録側の録画映像配信制限を越えた場合は、「カメラ画像を取得できません」の濃紺背景画面が表示されます。
- (4) 連続再生  
ネカ録 2.0/3.0/3.2/4.0 の場合、連続再生・早送りは、再生開始時刻もしくは再生開始日の 23:59:59 の録画映像で止まります。従って、追っかけ再生を行なうことはできません。

## 5.5.2 再生開始日時指定画面

本画面で、再生開始日時を指定します。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

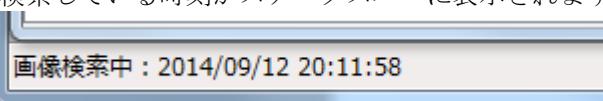
No	項目	意味
1	再生開始日	再生開始日をカレンダー内で指定してください。
2	再生開始時刻	再生開始時刻を指定してください。 時刻指定コントロールで指定するか、下部のスライダーにより指定してください。スライダー操作では、10分単位での指定が可能です。 スライダー位置は、マウスクリック・ドラッグによる指定のほか、以下のキー入力による指定も可能です。 「→」「↓」キー：10分単位で右方向に移動 「←」「↑」キー：10分単位で左方向に移動 「Page Down」キー：1時間単位で右方向に移動 「Page Up」キー：1時間単位で左方向に移動
3	現在日時	接続先ネカ録の現在日時が表示されます。
4	録画期間	録画期間が表示されます。 ネカ録5の場合はカメラごと、ネカ録2.0/3.0/3.2/4.0の場合は接続先全体の録画期間が表示されます。 下部にどちらを表示しているか表示されます。 更新ボタンクリックにより表示が更新されます。
5	OK	再生開始日時指定を確定します。 再生開始日として1970～2038年の範囲外を指定した場合は、「指定した日付が不正です。」とエラーメッセージ表示されます。
6	キャンセル	再生開始日時指定を中断し、元の画面に戻ります。

### 5.5.3 再生制御画面

再生制御画面は、以下の 15 の部分からなります。



以下に、再生制御画面の各部分について説明します。

No	名称	説明
①	時刻表示	表示中の録画画像の録画日時を 1ms 単位の精度で表示します。
②	巻き戻しボタン	録画映像の巻き戻し表示を行います。 巻き戻し速度は、速度調節バーで調節します。  ⚠ 注意事項： ・ 圧縮方式が H.264 の場合、巻き戻し速度は一定とならないことがあります。 ・ 録画映像がない時間帯では、表示は停止し、内部的に時間を遡って映像を検索します。この時、以下のように、検索中である旨と検索している時刻がステータスバーに表示されます。 
③	一時停止ボタン	再生／早送り／巻き戻しを一時停止します。
④	再生ボタン	録画映像再生を行います。 音声が録音されている場合も、音声は出力されません。  ⚠ 注意事項： 録画時の時刻に対して等速で再生されます。 但し、高解像度・高フレームレートの場合は PC 性能に合わせた低い速度で再生されることがあります。
⑤	音声付再生ボタン	音声付きの録画映像再生を行います。 但し、音声が録音されていない場合は、音声出力されません。  ⚠ 注意事項： 録画時の時刻に対して等速で再生されます。 但し、高解像度・高フレームレートの場合は PC 性能に合わせて間引いて再生表示されることがあります。
⑥	早送りボタン	録画映像の早送り表示を行います。 早送り速度は、速度調節バーで調節します。
⑦	コマ戻しボタン	1 コマ前の録画画像を表示します。  ⚠ 注意事項： 直前の 1 分間に映像がない場合は、コマ戻しできません。
⑧	コマ送りボタン	1 コマ後の録画画像を表示します。
⑨	停止ボタン	再生が停止され、再生開始時刻の画像表示に戻ります。
⑩	サムネイルボタン	サムネイル画面を表示し、録画画像の縮小一覧表示を行います。
⑪	再生開始日時設定ボタン	「再生開始日時指定」画面で、再生開始対象の日時を再指定します。

No	名称	説明
⑫	全方位カメラ制御ボタン	全方位カメラ制御画面を表示し、映像の歪み補正表示を開始します。
⑬	終了ボタン	再生機能を終了し、元の画面に戻ります。
⑭	速度調節バー	<p>巻き戻し／早送りの速度を調節します。 速度は7段階で、録画フレームレートに対し、左から順に2倍／3倍／5倍／10倍／20倍／50倍／100倍です。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この速度設定は、早送り／巻き戻しにのみ適用され、再生ボタンによる再生には適用されません。</li> <li>スキップモード指定時は、早送り／巻き戻し中に速度変更することはできません。一時停止／停止して速度変更してください。</li> </ul>
⑮	スキップモード	<p>表示画像をスキップする場合にチェックしてください。 スキップモードでの早送り／巻き戻し時は、表示画像がスキップされ、各画像が0.2秒間ずつ表示されます。 例えば5倍速の場合、1秒おきの録画画像が、0.2秒間ずつ表示されます。 スキップモードの指定をすることにより、高解像度・高フレームレートの映像に対しても、指定した速度で早送り／巻き戻しすることができます。 スキップモードでの再生／コマ送り／コマ戻し時は、頭出しフレームのみ表示されます。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b></p> <p>早送り／巻き戻し中にスキップモードの指定変更を行うことはできません。一時停止／停止して変更してください。</p>

## 5.5.4 サムネイル画面

サムネイル画面では、録画画像を縮小して一覧表示します。



再生画面で「サムネイル」ボタンをクリックすると、上図のようなサムネイル画面がフルスクリーン表示されます。

再生画面で表示中の日時を先頭とした1秒間隔の録画画像が一覧表示されますが、表示開始日時及び表示間隔を変更して再表示することができます。

サムネイル画面の分割表示数は、横:6×縦:4の24分割固定となります。

画面の背景色・文字色、各画像表示領域の縦横比、各画像の縦横比保持などの表示仕様は、基本設定の当該設定に従った表示となります。

当該期間の録画画像が無い場合（録画されていない場合や、既に削除されている場合）は、当該区画に「録画画像がありません。」と表示されます。

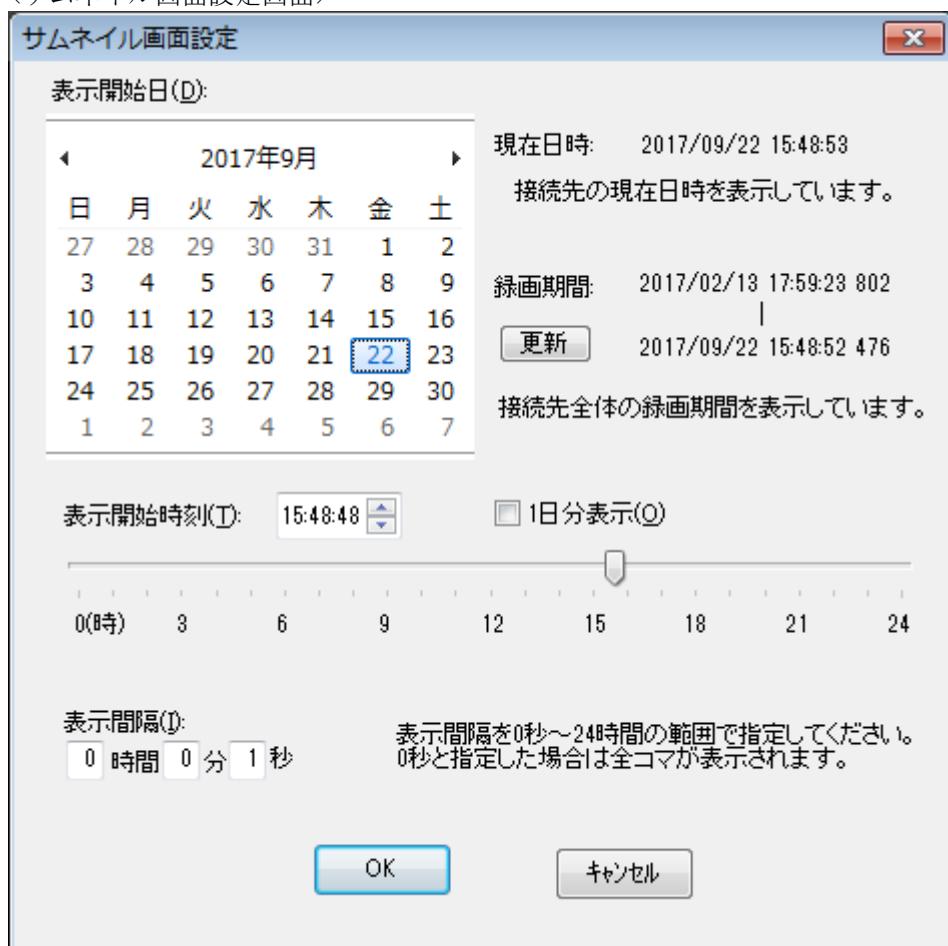
各画像上をクリックすることにより画像を選択することができます。  
選択された画像に対しては、その領域を囲む枠が表示されます。

下部の各ボタン等を操作することにより、表示画像を変更することができます。  
それぞれの意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	前頁	前頁に移動し、画像を一覧表示します。 前頁が録画期間外となる場合は、このボタンは無効となります。
2	次頁	次頁に移動し、画像を一覧表示します。 次頁が録画期間外となる場合は、このボタンは無効となります。
3	設定変更	「サムネイル画面設定」画面を表示します。 この設定画面で表示開始時刻と表示間隔を変更することができます。 詳細は、次頁以降の記述を参照ください。
4	表示間隔 変更	表示間隔を変更すると、同じ表示開始時刻のまま、選択された表示間隔で表示されます。選択肢は以下の通りです。 「すべて」 / 「1秒」 / 「10秒」 / 「1分」 / 「10分」 / 「1時間」 / 「1日」

No	項目	意味
		選択肢外の表示間隔に設定されている場合は、空欄表示となります。
5	絞込み	選択した画像を開始日時として、表示間隔を1段階(「1日」→「1時間」→「10分」→「1分」→「10秒」→「1秒」→「すべて」)絞った表示に変更します。 また、画像上をダブルクリックした場合、ダブルクリックした画像を選択して絞込みを行った場合と同じ動作となります。 選択画像がない場合は、このボタンは無効(グレー表示)となります。
6	再生	再生画面に戻り、選択した画像の日時から再生を再開します。 選択画像がない場合は、このボタンは無効(グレー表示)となります。
7	閉じる	再生画面に戻ります。この時の表示画面は、サムネイル画面移行直前のものとなります。

〈サムネイル画面設定画面〉



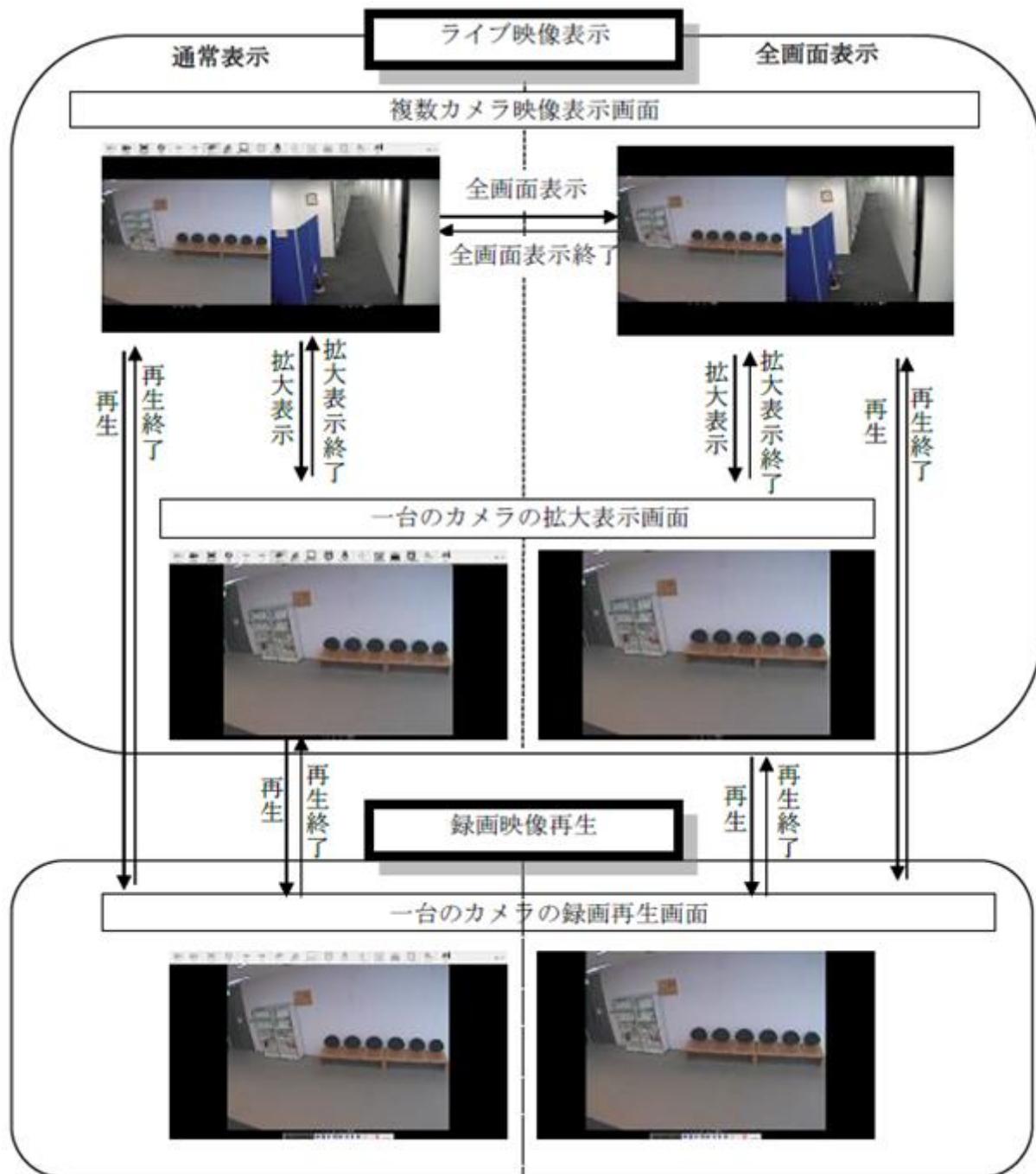
本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	表示開始日	表示開始日をカレンダー内で指定してください。
2	表示開始時刻	表示開始時刻を指定してください。 時刻指定コントロールで指定するか、下部のスライダーにより指定してください。スライダー操作では、10分単位での指定が可能です。 スライダー位置は、マウスクリック・ドラッグによる指定のほか、以下のキー入力による指定も可能です。 「→」「↓」キー: 10分単位で右方向に移動 「←」「↑」キー: 10分単位で左方向に移動

No	項目	意味
		「Page Down」キー：1時間単位で右方向に移動 「Page Up」キー：1時間単位で左方向に移動
3	1日分表示	本項目にチェックした場合、1時間間隔の1日分の表示となります。 この場合、表示開始時刻は「00:00:00」、表示間隔は「1時間0分0秒」に自動設定され、変更不可となります。
4	現在日時	接続先ネカ録の現在日時が表示されます。
5	録画期間	録画期間が表示されます。 ネカ録5の場合はカメラごと、ネカ録2.0/3.0/3.2/4.0の場合は接続先全体の録画期間が表示されます。 下部にどちらを表示しているか表示されます。 更新ボタンクリックにより表示が更新されます。
6	表示間隔	表示間隔を0秒～24時間の範囲で指定してください。 0秒と指定した場合は全コマが表示されます。
7	OK	設定内容を確定します。表示開始日として1970～2038年の範囲外を指定した場合は、「指定した日付が不正です。」とエラーメッセージ表示されます。
8	キャンセル	設定を中断し、元の画面に戻ります。

## 5.6 画面遷移

映像表示機能における主な画面遷移は下図の通りとなります。



## 5.7 マウススクロールズーム表示

ライブ映像の拡大表示画面及び再生画面においては、マウススクロール操作により、ズーム表示を行うことができます。

マウスのホイールを上方向にスクロールさせると、マウス位置を中心として、画像が拡大表示されます。下方向にスクロールさせると、元の表示に戻ります。

拡大表示の倍率は、元画像に対して1~8倍の8段階となります。



# 6. 映像・画像出力

本章では、映像・画像出力機能について説明します。

## 6.1 録画映像ダウンロード

本機能では、ネカ録から指定期間の録画映像をダウンロードし、PC 上に独自ファイル形式のファイルとして保存することができます。

ツールバーの「ダウンロード」ボタン、メニューバーの「オプション」—「ダウンロード」、ライブ映像拡大表示時の右クリックメニューの「ダウンロード」のいずれかをクリックすると、以下の画面が表示されます。

この画面で、ダウンロードを行いたい映像のカメラ名を選択し、対象期間を指定してください。  
「保存ファイル名」にダウンロード映像を保存する先と保存名を設定してください。



本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	接続先	ダウンロード対象のカメラの接続先を、接続中の接続先名一覧から選択してください。 ユニット#2のカメラを選択する場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
2	録画期間	<ネカ録 5 の場合> 選択しているカメラの録画映像保持期間が表示されます。 カメラを選択していない場合は、選択している接続先ネカ録の録画映像保持期間が表示されます。 <ネカ録 2.0/3.0/3.2/4.0 の場合> 選択している接続先ネカ録の録画映像保持期間が表示されます。
3	更新	録画期間表示を更新します。
4	カメラ名	ダウンロード対象のカメラ名を選択してください。
5	対象期間	ダウンロード対象の開始日時と終了日時を指定してください。

No	項目	意味と指定可能値
		<p>本画面表示時は、本画面表示日時が既定設定されています。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネカ録 3.0 以降では、終了時刻に指定した秒の映像は含まれません。</li> <li>・ 終了日時に未来の日時を設定しないでください。 特に 2037 年以降を指定した場合、対象映像の有無に関わらず、「ダウンロード画像がありません」とメッセージ表示され、ダウンロードできません。</li> </ul>
6	簡易設定	<p>日時指定の補助として使用できます。</p> <p>(1) 開始日時 終了日時に対して指定した時間を引いた時刻を、開始日時欄に自動設定します。指定可能な選択肢は以下の通りです。 10 秒前/30 秒前/1 分前/5 分前/10 分前/30 分前/1 時間前/3 時間前</p> <p>(2) 終了日時 開始時間に対して指定された時間を追加した時刻を、終了日時欄に自動設定します。指定可能な選択肢は以下の通りです。 10 秒間/30 秒間/1 分間/5 分間/10 分間/30 分間/1 時間/3 時間</p>
7	保存ファイル名	<p>ダウンロードした映像を保存する際のファイル名を指定します。拡張子「.cv2」のファイル名を指定してください。</p> <p>右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。</p> <p>「.cv1」などの「.cv2」以外の拡張子のファイル名を指定した場合は、cv1 形式で保存されます。「実行」ボタンクリック時に、その旨の確認メッセージが表示されます。</p> <p>指定可能文字 : 制限なし 指定可能長 : 1~259 バイト</p>
8	変化時のみ	指定した変化率以上の映像のみダウンロードする場合にチェックしてください。
9	画像変化率	<p>「変化時のみ」にチェックした場合に指定可能となります。</p> <p>ここには、画像の変化率のしきい値を設定します。</p> <p>値が大きくなればなるほど、映像に変化があったことを示します。</p> <p>指定可能な文字列 : 数字のみ 指定可能値 : 0~99</p>
10	音声	音声も同時にダウンロードする場合にチェックします。
11	指定秒数間隔の画像のみ	ダウンロードする映像の間隔を指定する場合にチェックします。
12	秒おき	<p>「指定秒数間隔の画像のみ」をチェックしたときに指定可能となります。</p> <p>ここで指定した間隔で映像を取得します。</p> <p>指定可能文字 : 数字のみ 指定可能値 : 0~9999</p>
13	ステータス	ダウンロードを実行中、または実行後のステータスを表示します。
		このステータスには、ダウンロードの途中経過メッセージや、実行後のメッセージ、及び実行時のエラーメッセージ等が表示されます。
14	実行	<p>指定した内容で、映像をダウンロードします。</p> <p>実行中、及び実行後の状況は、ステータスの領域に表示します。</p> <p>ダウンロード映像の容量が 2047MB を越えた場合は、自動的にファイル分割してダウンロードされます。この時の分割されたファイル名は、指定されたファイル名の拡張子「.cv2」の手前に「_n」(n=2, 3, 4, ...)を付加し</p>

No	項目	意味と指定可能値
		<p>た名前になります。</p> <p>ダウンロードが終了すると、ダウンロード映像再生確認画面が表示されますので、すぐに再生を行う場合は、「はい」をクリックしてください。</p> <p>なお、ダウンロードした映像を MP4 形式もしくは AVI 形式に変換する場合は、ポータブルムービープレイヤーを使用してください。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定した期間内に異なる圧縮形式 (JPEG と H.264) で録画しているカメラの場合、圧縮形式が変更された時点でのダウンロードが終了します。</li> <li>画像圧縮形式が H.264 の場合、解像度を変更した時刻を跨いでダウンロードすると、ポータブルムービープレイヤーで正常再生できません。解像度変更を跨いで再生した際に、日時表示は進みますが、変更直前の画像が表示され続けます。解像度変更前後に分けて、ダウンロードしてください。</li> </ul>
15	中断	ダウンロードを中止し、作成中のファイルを削除します。なお、自動的にファイル分割されている場合は、中断時点での書き込み中の分割ファイルのみ削除され、それ以前の分割ファイルは削除されません。
16	ダウンロード 画像表示	<p>本項目にチェックした場合、ダウンロード中の画像を右側の矩形内に順次表示します。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本項目のチェック指定は、ダウンロード中に切り替え可能です。</li> </ul>
17	閉じる	本画面を閉じます。

ステータス欄に表示されるメッセージは、以下の通りです。

No	メッセージ	意味	対処
1	ファイルの作成に失敗しました。	保存ファイル名に指定されたファイルの作成に失敗しました。	保存ファイル名に指定したパス名とファイル名を確認してください。
2	接続できませんでした。	ネカ録本体への接続に失敗しました。	対象ネカ録との接続状態を確認してください。
3	ネットワークエラーが発生しました。	ダウンロード中にネットワークエラーが発生しました。	対象ネカ録との接続状態を確認してください。
4	ダウンロード画像がありません。	指定されたダウンロード期間中にダウンロードする映像がありませんでした。	録画されている期間を確認の上、ダウンロード期間を再設定してください。

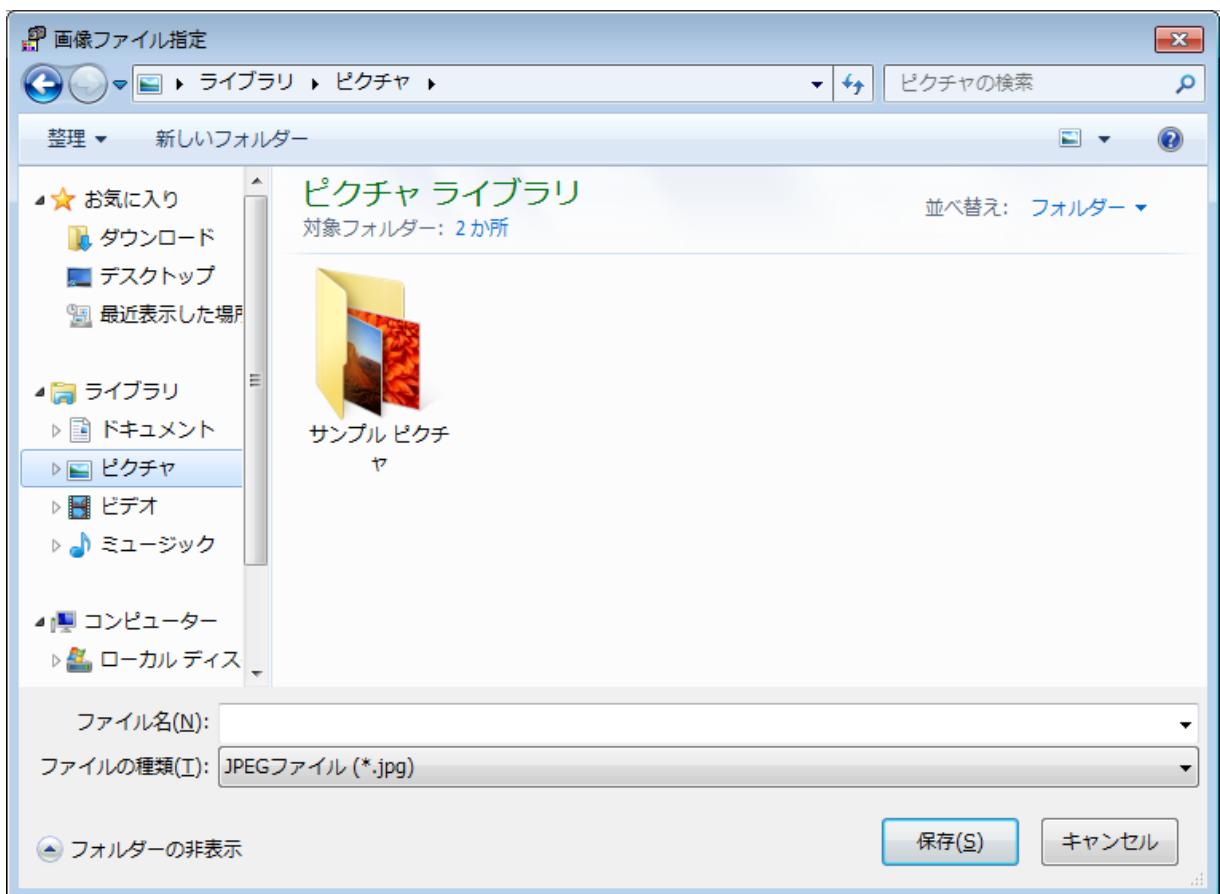
## 6.2 静止画像保存

ライブ映像及び録画映像の静止画像を JPEG 形式もしくはビットマップ形式の画像ファイルとして保存することができます。

<操作手順>

ライブ映像の拡大表示時もしくは録画映像の再生時に、ツールバーボタンもしくは右クリックメニューの「静止画保存」をクリックしてください。

以下の画像ファイル指定画面が表示されますので、保存するファイルの種類を選択し、保存ファイル名を指定してください。



また、「基本設定」の「録画再生」画面で「静止画一時保存ファイル名」にファイル名を指定した場合には、「静止画保存」メニューの下に「静止画一時保存」メニューが表示されます。このメニュークリックにより静止画像が指定したファイルに保存されます。

## 6.3 静止画像印刷

ライブ映像及び録画映像の静止画像を印刷することができます。

<操作手順>

ライブ映像の拡大表示時もしくは録画映像の再生時に、ツールバーボタンもしくは右クリックメニューの「静止画印刷」をクリックしてください。

以下の画面が表示されますので、印刷設定でプリンタを選択した上で「印刷」ボタンをクリックしてください。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	画像更新	印刷対象画像を更新します。現在のライブ画像もしくは現在再生表示中の画像が更新表示され、この画像が印刷対象になります。
2	印刷設定	印刷設定画面が表示され、対象プリンタの選択等を行うことができます。
3	印刷	印刷を実行します。
4	キャンセル	印刷を実行せずに本画面を閉じます。

## 6.4 ライブ映像保存

ライブ映像の拡大表示時に、ツールバーのボタンもしくは右クリックメニューの「ライブ映像保存」をクリックすると、ライブ映像をPC内に保存することができます。

本機能実行時には、以下の画面が表示されます。

この画面で「停止」ボタンをクリックするとライブ映像保存が終了します。



ライブ映像の保存フォルダ・ファイルは、以下の通りとなります。

<保存先フォルダ>

「基本設定」 - 「ライブ映像」タブの「ライブ映像保存フォルダ名」で設定したフォルダに保存されます。

<保存先ファイル名>

接続先名、カメラ名、映像保存開始時刻より、以下の規則で自動命名されます。

(ユニット#2のカメラの場合は、接続先名の末尾に「#2」が付加されます。)

接続先名\_カメラ名\_YYYYMMDD\_HHMISS.cv2

(YYYY:年(4桁)、MM:月、DD:日、HH:時、MI:分、SS:秒)

(例)接続先名:ネカ録1号機、カメラ名:「カメラ1」、映像保存開始日時:2016/2/10 15:05:47の場合は、ファイル名「ネカ録1号機\_カメラ1\_20160210\_150547.cv2」となります。

本機能実行時に表示される可能性があるエラーメッセージと対処は、以下の通りです。

No	メッセージ	対処
1	ライブ映像保存フォルダが設定されていません。	「基本設定」 - 「ライブ映像」タブの「ライブ映像保存フォルダ名」に設定してください。
2	ライブ映像保存に失敗しました。設定したフォルダの存在と書き込み権限を確認してください。	設定したライブ映像保存フォルダが存在し、現在のユーザーに対する書き込み権限があることを確認してください。

作成されたライブ映像ファイルは、「オプション」 - 「PMP起動」メニューから起動されるポータブルムビープレイヤーで再生してください。



### 注意事項 :

- 本機能では音声は保存されません。
- 映像保存中にカメラ映像が「停止中」となった場合、圧縮形式がJPEGであれば「停止中」画像も保存されます。H.264の場合は、「停止中」となるまでの映像のみ保存されます。「停止中」の状態から映像保存を開始すると「停止中」画像が保存されます。
- 映像保存中にカメラ映像が復帰した場合、圧縮形式がJPEGであればその映像も保存されます。H.264の場合は、復帰時点までの「停止中」画像のみ保存されます。

## 7. カメラ制御機能

本章では、カメラ制御機能について説明します。

本機能により、可動カメラに対してパン／チルト／ズーム、プリセット設定／移動等のカメラ制御を行うことができます。

以下のメーカー製の可動カメラにのみ対応しております。

- ① 三菱製カメラ
- ② AXIS 製カメラ
- ③ キヤノン製カメラ
- ④ TOA 製カメラ
- ⑤ SONY 製カメラ
- ⑥ パナソニック製カメラ
- ⑦ BOSCH 製カメラ
- ⑧ ELMO 製カメラ
- ⑨ 東芝製カメラ

ライブ映像の拡大表示時に、ツールバーのボタンもしくは右クリックメニューの「カメラ制御」をクリックすると、カメラ制御画面が表示されます。



「基本設定」 – 「ライブ映像」タブの「マウスクリックによる画像拡大時にカメラ制御画面を自動表示する」にチェックすることにより、拡大表示時にカメラ制御画面を自動表示することもできます。

カメラ制御画面は、カメラ機種により仕様が異なります。  
各節で各カメラ機種のカメラ制御画面について説明します。

なお、各節冒頭の「カメラ機種名」は、ネカ録設定ツール(ネカ録 2.0/3.0/3.2 の場合はコマンダー)のカメラ設定(コマンダーの場合は IPC 設定)内で「機種」として選択する名称を示します。

## 7.1 アクシスコミュニケーションズ株式会社製カメラ

カメラ機種名：AXIS

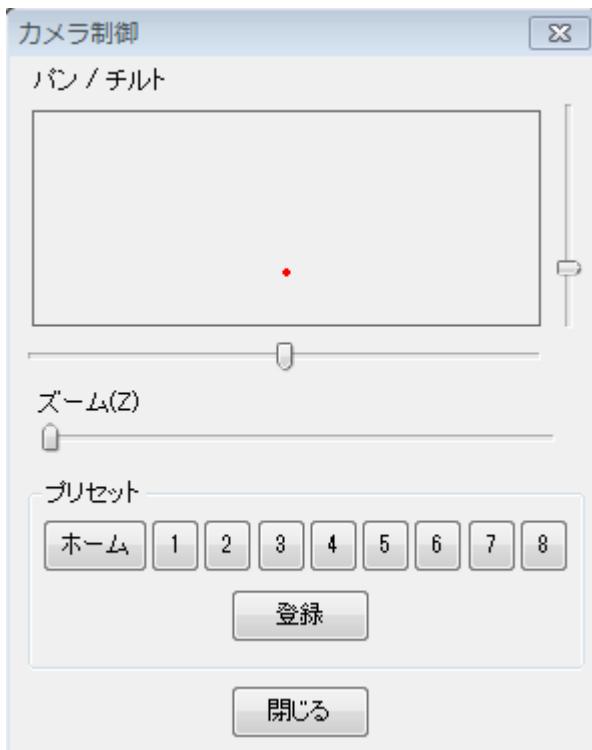


本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをマウスで押すと、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 各ボタンとも、ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
4	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.2 キヤノン株式会社製カメラ

カメラ機種名 : Canon



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン/チルト	矩形座標内クリックまたは下部と右部のスライダー位置変更により、パン/チルト動作します。 この時、現在位置が赤点で表示されます。  ⚠ 注意事項： 下部と右部のスライダー位置を大きく変更した場合、途中までしかパン/チルト移動しないことがあります。 その場合は、再度スライダー位置を変更してください。
2	ズーム	スライダー位置変更により、ズーム倍率を変更します。
3	プリセット	ホーム/1~8 の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム/1~8 の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン/チルト/ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
4	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.3 三菱電機株式会社製カメラ

カメラ機種名：三菱 DIGITALMELOOK／三菱 MultiCast



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 各ボタンとも、ボタンを押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
4	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.4 三菱電機株式会社製カメラ (MultiCastTS)

カメラ機種名 : MultiCastTS



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンにより、各方向にパン／チルト動作します。各ボタンとも、ボタンを押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
4	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	ワイパー	ワイパーの作動／停止の切り替えと状態表示を行います。
6	ライト	ライトの作動／停止の切り替えと状態表示を行います。
7	デフロスター	デフロスターの作動／停止の切り替えと状態表示を行います。
8	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.5 TOA 株式会社製カメラ

カメラ機種名 : TOA



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン/チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。
4	プリセット	1～16の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、1～16の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.6 ソニー株式会社製カメラ

カメラ機種名：SONY



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 各ボタンとも、ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
4	プリセット	ホーム／1～7の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～7の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.7 パナソニック株式会社製カメラ (I-Pro)

カメラ機種名 : Panasonic I-Pro

(1) ネカ録 4.0.40 版以前のネカ録に接続した場合



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	矩形座標内クリックまたは下部と右部のスライダー位置変更により、パン／チルト動作します。 この時、現在位置が赤点で表示されます。
2	ズーム	スライダー位置変更により、ズーム倍率を変更します。
3	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
4	アイリス	明／暗ボタンクリックにより、アイリスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動アイリス設定となります。
5	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。 なお、プリセットの「ホーム」と「1」は、同じ位置となります。
6	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

(2) ネカ録 4.0.50 版以降のネカ録に接続した場合



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。
2	明るさ	明／暗／普通ボタンクリックにより、アイリスを変更します。
3	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
4	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。
5	プリセット	ホーム／1～15 の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15 の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。 なお、プリセットの「ホーム」と「1」は、同じ位置となります。
6	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.8 パナソニック株式会社製カメラ

カメラ機種名 : Panasonic



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 パン／チルトのスキャンボタンクリックで、パン／チルトのスキャン動作が実行されます。
2	明るさ	明／暗／普通ボタンクリックにより、アイリスを変更します。
3	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
4	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。
5	プリセット	ホーム／1～8 の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～8 の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。 なお、プリセットの「ホーム」と「1」は、同じ位置となります。
6	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.9 ボッシュセキュリティシステムズ株式会社製カメラ

カメラ機種名：BOSCH



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン/チルト /ズーム	各矢印ボタンにより、各方向にパン/チルト動作します。 また、広角/望遠ボタンクリックにより、広角/望遠方向にズーム倍率を変更します。 各ボタンとも、ボタンを押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。移動速度は、「速度」スライダーにより、低速/中速/高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠/近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 ボタンをマウスで押している間は連続変更し、ボタンを離すことにより停止します。自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。

No	項目	意味
		す。
3	明るさ	明るさ(5段階)が表示されます。 スライダーの位置を変更することにより、明るさを変更することができます。
4	プリセット	1~16の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。登録ボタンクリック後に、1~16の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン/チルト/ズーム位置を各プリセット位置として登録します。ホーム位置は1となります。
5	オートパン	「開始」ボタンクリックにより、オートパン動作が開始します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、10段階で調整可能です。 また、左端と右端の「登録」ボタンクリックにより、オートパンの移動範囲を設定することができます。この時の設定値確認は、左端と右端の「移動」ボタンクリックにより行ないます。
6	赤外線ライト	赤外線ライトの照射状態(ON/OFF/自動)及び照度(10段階)が表示されます。 ON/OFF/自動の各ボタンをクリックすることにより、状態を切り替えることができます。また、照度スライダーの位置を変更することにより、照度を10段階で調整することができます。
7	白色ライト	白色ライトの照射状態(ON/OFF)及び照度(10段階)が表示されます。 ON/OFFの各ボタンをクリックすることにより、状態を切り替えることができます。また、照度スライダーの位置を変更することにより、照度を10段階で調整することができます。
8	ワイパー	ワイパーの動作状態(ON/OFF/間欠)が表示されます。 また、ON/OFF/間欠の各ボタンをクリックすることにより、動作状態を切り替えることができます。 「間欠」状態では、2回動作して停止するシーケンスを20秒周期で繰り返します。 「1回のみ」ボタンクリックにより、ワイパーの「1回のみ」動作(5回動いて停止)を実行することができます。
9	自動追尾	自動追尾動作状態(ON/OFF)が表示されます。 ON/OFFの各ボタンをクリックすることにより、状態を切り替えることができます。  ⚠ 注意事項： 自動追尾動作ONの状態でワイパーを動作させると、ワイパーの動きを追尾してしまい、正常機能しません。自動追尾動作ON時は、ワイパーを動作させないようにしてください。
10	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.10 三菱電機株式会社製カメラ (NM-C100)

カメラ機種名：三菱 NM-C100



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン/チルト	矩形座標内クリックまたは下部と右部のスライダー位置変更により、パン/チルト動作します。 この時、現在位置が赤点で表示されます。
2	ズーム	スライダー位置変更により、ズーム倍率を変更します。
3	フォーカス	遠/近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
4	アイリス	明/暗ボタンクリックにより、アイリスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動アイリス設定となります。
5	プリセット	ホーム/1~15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム/1~15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン/チルト/ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
6	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.11 株式会社 エルモ社製カメラ

カメラ機種名：ELMO



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン／チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 移動速度は、「速度」スライダーにより、低速／中速／高速の3段階に調整可能です。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。ボタンをマウスで押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。
4	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 7.12 株式会社 東芝製カメラ

カメラ機種名 : TOSHIBA



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	パン/チルト	各矢印ボタンをクリックすると、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。
2	フォーカス	遠／近ボタンクリックにより、フォーカスを変更します。 自動ボタンクリックにより、自動フォーカス設定となります。
3	ズーム	広角／望遠ボタンクリックにより、広角／望遠方向にズーム倍率を変更します。
4	プリセット	ホーム／1～15の各ボタンクリックにより、登録されている各プリセット位置へ移動します。 登録ボタンクリック後に、ホーム／1～15の各ボタンをクリックすることにより、現在のパン／チルト／ズーム位置を各プリセット位置として登録します。
5	閉じる	本画面を閉じ、カメラ制御を終了します。

## 8. 通知機能

本章では、通知機能について説明します。

通知機能とは、ネカ録からの通知を受信する機能です。

本機能を使用する場合、ネカ録側に通知設定を行い、通知先として本ソフトウェアが動作するPCを登録する必要があります。

ネカ録からの通知受信時に実行可能な動作は以下の通りです。

本章の各節では、この各動作に関して説明します。

- 通知履歴への追加
- 通知の内容のポップアップメッセージ表示
- 対象カメラのライブ映像拡大表示
- 音声出力
- 外部プログラム実行
- 対象カメラのライブ映像保存

ネカ録から送信される通知の種類は、以下の通りです。

通知種	イベント名	説明
動き検知通知	画像変化	カメラ画像に対する動き検知時
基準画像比較エラー通知	画像比較エラー	毎日定時にカメラ画像をチェックし、設定した基準画像との相違が指定した変化値以上の場合
センサー通知	センサー名	センサー通知
カメラ停止通知	カメラ停止	ネットワークカメラからの画像配信停止
ブルーバック通知	ブルーバック	三菱 DIGITAL MELOOK シリーズのカメラからの画像配信停止 (ネカ録 2.0/3.0 のみ)
HDD 障害通知	ディスクエラー	HDD 故障発生時 (RAID5 の場合は 2 台以上, RAID6 の場合は 3 台以上の HDD 故障、もしくは RAID 障害等による RAID HDD アクセス不可)
プロセス停止通知	プロセス停止	H/W 障害等によるネカ録の内部動作遅延時
RAID 縮退通知	RAID 縮退(XXXX)	RAID 縮退発生時
入出力ボックス停止通知	IO-BOX 停止	ネカ録と入出力ボックスの間の通信が停止した場合
機器異常通知	各種	ネカ録各機種の機器異常 詳細は、ネカ録機種により異なりますので、各機種同梱のネカ録運用ガイドを参照してください。 NS-3800/5800 の場合は、以下の通りです。 ファン異常／電圧異常／温度異常／電源異常

## 8.1 通知履歴

ネカ録から受信した通知は、以下のように通知履歴画面に追加されます。

日時	接続先	カメラ名	イベント
2016/05/05 15:52:44	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 15:55:07	ネカ録1号機	カメラ5	カメラ停止
2016/05/05 16:01:58	ネカ録2号機	カメラ6	画像変化
2016/05/05 16:02:01	ネカ録2号機	カメラ1	カメラ停止
2016/05/05 16:04:24	ネカ録1号機	カメラ4	カメラ停止
2016/05/05 16:02:51	ネカ録2号機	カメラ3	画像変化
2016/05/05 16:03:02	ネカ録2号機	カメラ1	画像変化
2016/05/05 17:04:24	ネカ録1号機	カメラ2	カメラ停止
2016/05/13 16:03:02	ネカ録1号機	カメラ1	画像変化

通知履歴画面についての詳細は、「4.2.1.2 通知履歴画面」を参照してください。

通知履歴画面非表示時に受信した通知も、この履歴に追加されます。

本ソフトウェア起動時の履歴表示順は受信順です。最新の受信通知が最下行に表示されます。ネカ録側での通知事象発生日時と、受信日時とは差異がありますので、「日時」列の内容とは順序が異なることがあります。

各列名をクリックすることにより、当該列をキーとしてソート表示されます。

履歴内の各行をダブルクリックすることにより、「再生画面」に遷移し、該当履歴発生時の録画映像を再生することができます。

履歴管理に関する設定方法は、「10.3.2 履歴管理」を参照してください。

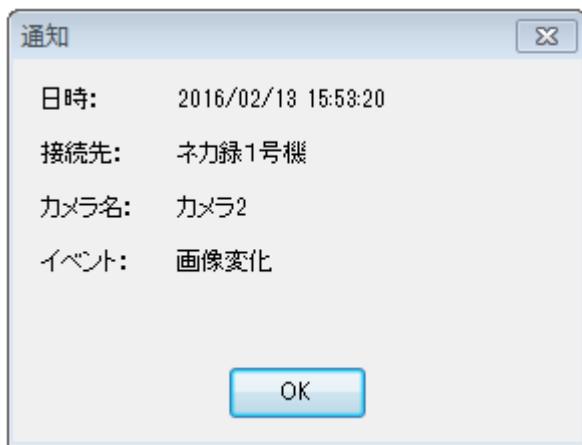


### 注意事項 :

- 通知履歴のファイル保存設定を行っていない場合、本ソフトウェア終了時に、通知履歴の内容は破棄されます。通知履歴に過去の履歴を表示させたい場合は、必ず通知履歴のファイル保存設定を行ってください。
- 本ソフトウェアを起動していない場合は、ネカ録からの通知を受信することはできません。その場合、次回の起動時に、過去に遡って通知を受信することはできません。

## 8.2 メッセージ表示

ネカ録からの通知受信時に、以下のようなポップアップメッセージを表示することができます。



この画面の表示項目は、以下の通りです。

項目	説明
日時	通知元における通知事象の発生日時を表示します。
接続先	通知元の接続先ネカ録名を表示します。 ユニット#2は、末尾に「#2」が付加された接続先名で表示されます。
カメラ名	通知事象の対象カメラ名を表示します。
イベント	通知内容を表示します。

この画面表示中に新たな通知を受信した場合、新たな通知の表示に切り替ります。

「OK」ボタンをクリックすると、この画面の表示は終了します。

通知時拡大表示中及び通知時音声繰り返し出力が継続している場合は、この時に終了します。

この画面に関する設定は、「10.3 通知機能設定」 - 「10.3.1 全般」を参照してください。

## 8.3 映像拡大表示

ネカ録からの通知受信時に、該当するカメラのライブ映像を拡大表示することができます。

設定した拡大表示秒数の経過、通知メッセージ画面の「OK」ボタンクリック、表示画面のクリックにより拡大表示は終了します。

拡大表示中に次の通知を受信した場合、新たな通知のカメラ映像表示に切り替ります。

拡大表示終了後は、拡大表示前の状態に戻ります。

本動作に関する設定は、「10.3 通知機能設定」 - 「10.3.1 全般」を参照してください。

## 8.4 音声出力

ネカ録からの通知受信時に、音声出力することができます。

音声によるアラーム通知に、ご使用ください。

繰り返し出力設定時は、通知メッセージ画面の「OK」ボタンをクリックするまで継続します。

音声出力の設定方法は、「10.3 通知機能設定」 - 「10.3.3 音声出力」を参照してください。

## 8.5 外部プログラム実行

ネカ録からの通知受信時に、外部プログラムを実行することができます。

独自の通知連携システムを構築する場合に、ご使用ください。

外部プログラム実行の設定方法は、「10.3.4 プログラム実行」を参照してください。



### 注意事項 :

- 設定できるプログラムは1つのみであり、通知種・通知内容を実行プログラムに引き渡す機能はありませんので、通知種・通知内容によらず同じ実行動作となります。
- 実行したプログラムを終了させる機能はありませんので、プログラム側に自動終了機能を設けてください。
- 存在しないプログラム名が指定されている場合、実行時にエラー表示されませんので、ご注意ください。

## 8.6 ライブ映像保存

通知受信時の拡大表示に合わせ、表示中の映像をファイル保存することができます。

保存されたライブ映像ファイルは、ポータブルムービープレイヤーで再生してください。

ライブ映像保存の設定方法は、「10.3 通知機能設定」 - 「10.3.1 全般」を参照してください。



### 注意事項：

- 本機能により保存されるのは、通知受信による拡大表示中の映像のみです。  
他カメラの通知により拡大表示映像が切り替った場合、通知メッセージ画面の「OK」ボタンクリック及び表示画面のクリック等により拡大表示を終了した場合は、その時点までの映像が保存されます。
- 本機能では音声は保存されません。
- 映像保存中にカメラ映像が「停止中」となった場合、圧縮形式が JPEG であれば「停止中」画像も保存されます。H.264 の場合は、「停止中」となるまでの映像のみ保存されます。
- カメラ停止通知時には「停止中」画像が保存されます。映像保存中にカメラ映像が復帰した場合、圧縮形式が JPEG であればその映像も保存されます。H.264 の場合は、復帰時点までの「停止中」画像のみ保存されます。

# 9. 全方位カメラ制御機能

本章では、全方位カメラ制御機能について説明します。

## 9.1 概要

本機能は、AXIS 社の全方位カメラのオーバービュー録画映像に対し、表示モードの指定と表示範囲の調整を行ない、歪み補正表示を行う機能です。

本機能は、再生機能でのみ動作します。  
(ライブ映像表示機能、PMP からの再生機能では動作しません。)

再生画面横に全方位カメラ制御画面を表示し、下表の通りの設定及び操作を行うことができます。

表示種	1画面表示／4画面分割／オーバービュー／ 2分割パノラマ／パノラマ
PTZ 操作種	上／下／左／右／ズーム／ワイド
PTZ 移動速度	3段階調整可
設置位置指定	天井／机／壁



### 注意事項：

本機能の対象は、再生画面の表示のみとなります。  
再生画面からの静止画保存・静止画一時保存・静止画印刷には対応しておりません。  
(全方位カメラ制御中にこれら機能を実行した場合は、元の録画画像が保存・印刷されます。)  
また、マウススクロールズーム機能にも対応しておりません。

## 9.2 操作方法

本機能を使用する場合は、Visual C++パッケージ及びDirectX の追加機能をインストールする必要があります。未インストールの場合は、「2.3.1 Visual C++パッケージ」「2.3.2 DirectX 追加機能」を参照してインストールしてください。

また、本機能を有効にするためには、「基本設定」 - 「オプション」タブの「全方位カメラ制御機能を有効にする」にチェックする必要があります。

上記準備ができている状態で、AXIS 社の全方位カメラのオーバービュー映像で録画しているカメラに対して、「再生」メニューをクリックして再生画面に移行してください。

再生制御画面の「全方位カメラ制御」ボタン（下図の赤枠表示）をクリックすると、次頁の全方位カメラ制御画面が表示されます。

そして、同時に再生画面の表示が、歪み補正された1画面表示となります。



この後、「全方位カメラ制御」画面から、必要に応じて設置位置・表示形式の指定を行ない、パン／チルト／ズームによる画角制御を行なってください。



### 注意事項：

使用PCのGPUがDirectXのピクセルシェーダ機能に対応していない場合は、

「全方位カメラ制御」ボタンクリック時に、「全方位カメラ制御機能の初期化に失敗しました。本PCは当該機能に対応できません。」とメッセージ表示されます。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	内容	
1	パン／チルト	各矢印ボタン押下により、上／下／左／右の各方向にパン／チルト動作します。 各ボタンとも、ボタンを押している間は連続移動し、ボタンを離すことにより停止します。	表示形式が オーバービュー ／2画面分割／ パノラマの場合は、パン／チルト操作はできません。
2	ズーム	各ボタン押下により、広角／望遠の両方向にズーム倍率を変更できます。 各ボタンとも、ボタンを押している間は連続的にズーム倍率を変更し、ボタンを離すことにより変更を停止します。	
3	速度	パン／チルト／ズームの移動速度を3段階で調整します。	
4	表示形式	各ボタンクリックにより、表示形式を選択します。 選択中の表示形式のボタンが、押されている（凹んでいる）状態で表示されます。 選択可能な表示形式は、1画面表示／4画面分割／オーバービュー／2画面分割（分割パノラマ）／パノラマの5種です。 各表示形式の詳細は、次頁の表を参照してください。  設置位置が天井／机の場合はパノラマが、壁の場合は2画面分割と4画面分割が不可となります。	

No	項目	内容
		本画面表示開始時は「1画面表示」となります。 ただし、同じカメラの再生を継続している状態で、一旦閉じた全方位カメラ制御画面を再表示する場合は、現在の表示形式が選択された状態となります。
5	設置位置	設置位置の天井／机／壁のいずれかから選択します。  本画面表示開始時は「天井」となります。 ただし、同じカメラの再生を継続している状態で、一旦閉じた全方位カメラ制御画面を再表示する場合は、現在の表示形式が選択された状態となります。
6	カメラ機種： M3048	カメラ機種がM3048-Pの場合にチェックしてください。
7	閉じる	全方位カメラ制御画面を終了します。 このボタンクリックにより、全方位カメラ制御画面は非表示になりますが、歪み補正表示は継続されます。

[表示形式一覧]

名称	意味	PTZ
オーバービュー	全画角の画像を表示	なし
パノラマ	任意の180度の画像をパノラマ表示 (設置位置：壁のときのみ)	なし
2画面分割	180度ずつの画像を上下の2分割で パノラマ表示 (設置位置：机／天井のときのみ)	なし
4画面分割	90度ずつの画像を4分割で表示 (設置位置：机／天井のときのみ)	パン／チルト／ズーム (区画毎の操作は不可)
1画面表示	任意に定義した範囲の画像を表示	パン／チルト／ズーム



**注意事項：**

再生・早送り・巻き戻し中に「全方位カメラ制御」画面上での設置位置変更・表示形式変更・パン／チルト／ズーム操作を行った場合は、次の画像の表示時に反映されます。  
従って、フレームレートが高いほど、反映されるまでの時間は短くなります。

# 10. 設定

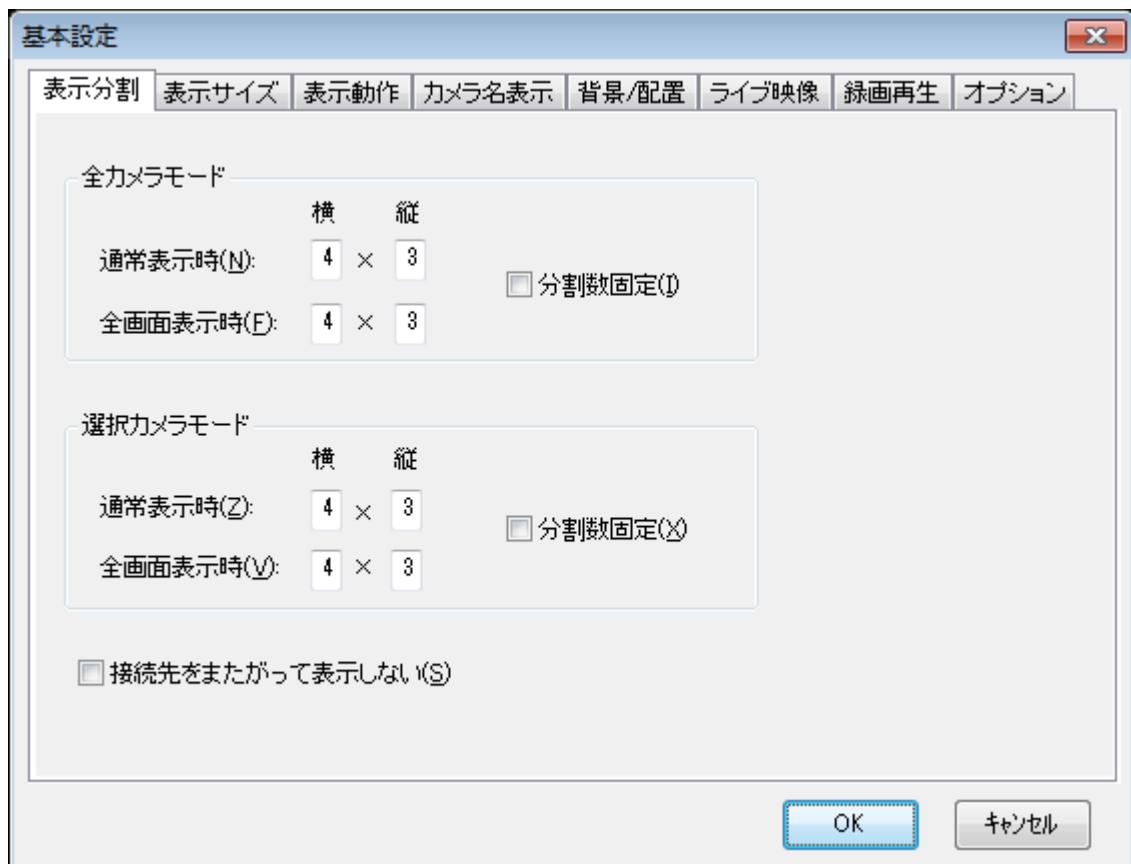
本章では、本ソフトウェアの各設定について説明します。

 各設定は、管理者操作権限モードで行う必要があります。

## 10.1 基本設定

本節では、本ソフトウェアの基本設定について説明します。

ツールバーの「基本設定」ボタンもしくはメニューバーの「設定」 - 「基本設定」をクリックすると、以下の基本設定画面が表示されます。



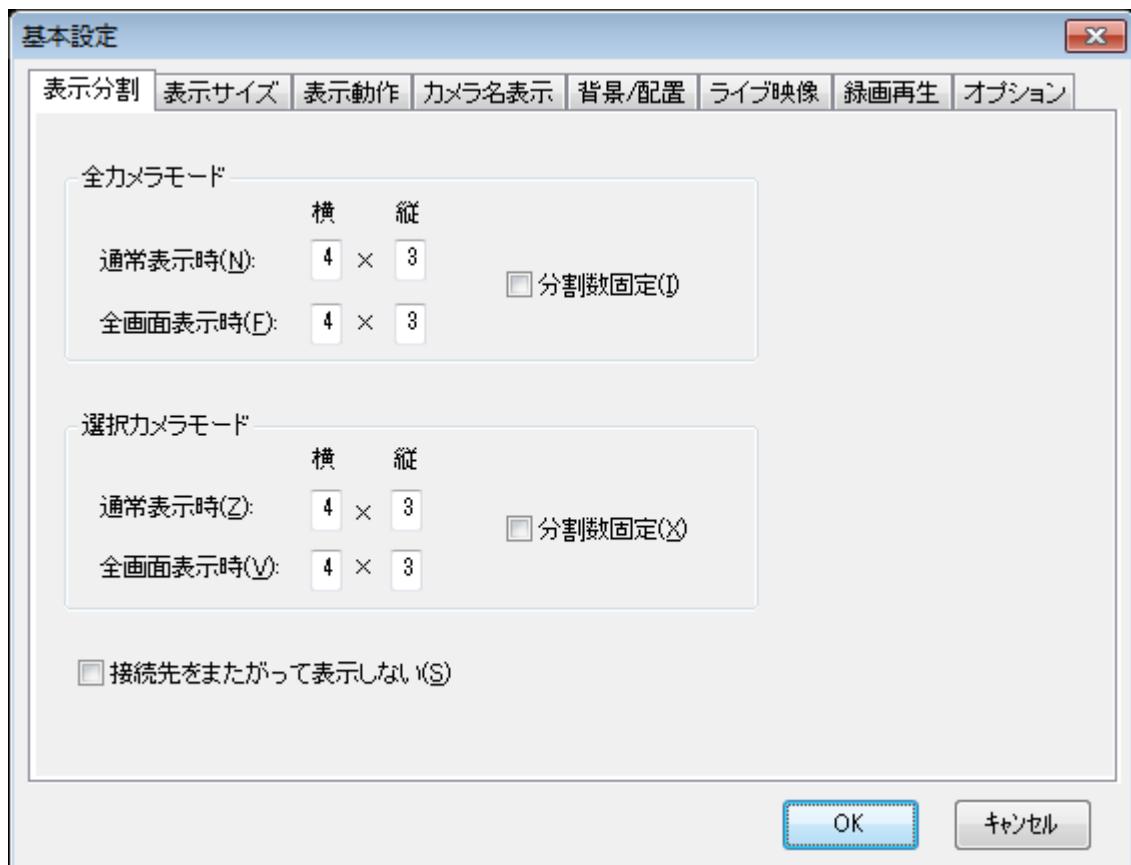
本画面には、以下のタブがあります。

No	項目	内容
1	表示分割	全カメラモード／選択カメラモードにおける、複数カメラ映像の分割表示に関する設定を行います。
2	表示サイズ	表示サイズに関する設定を行います。
3	表示動作	表示動作に関する設定を行います。
4	カメラ名表示	カメラ名表示に関する設定を行います。
5	背景／配置	メイン画面の背景とカメラ映像の表示位置に関する設定を行います。
6	ライブ映像	ライブ映像の表示に関する設定を行います。
7	録画再生	録画映像再生に関する設定を行います。
8	オプション	その他の設定を行います。

以下の各節で、各タブ内の設定項目について説明します。

## 10.1.1 表示分割

「表示分割」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。



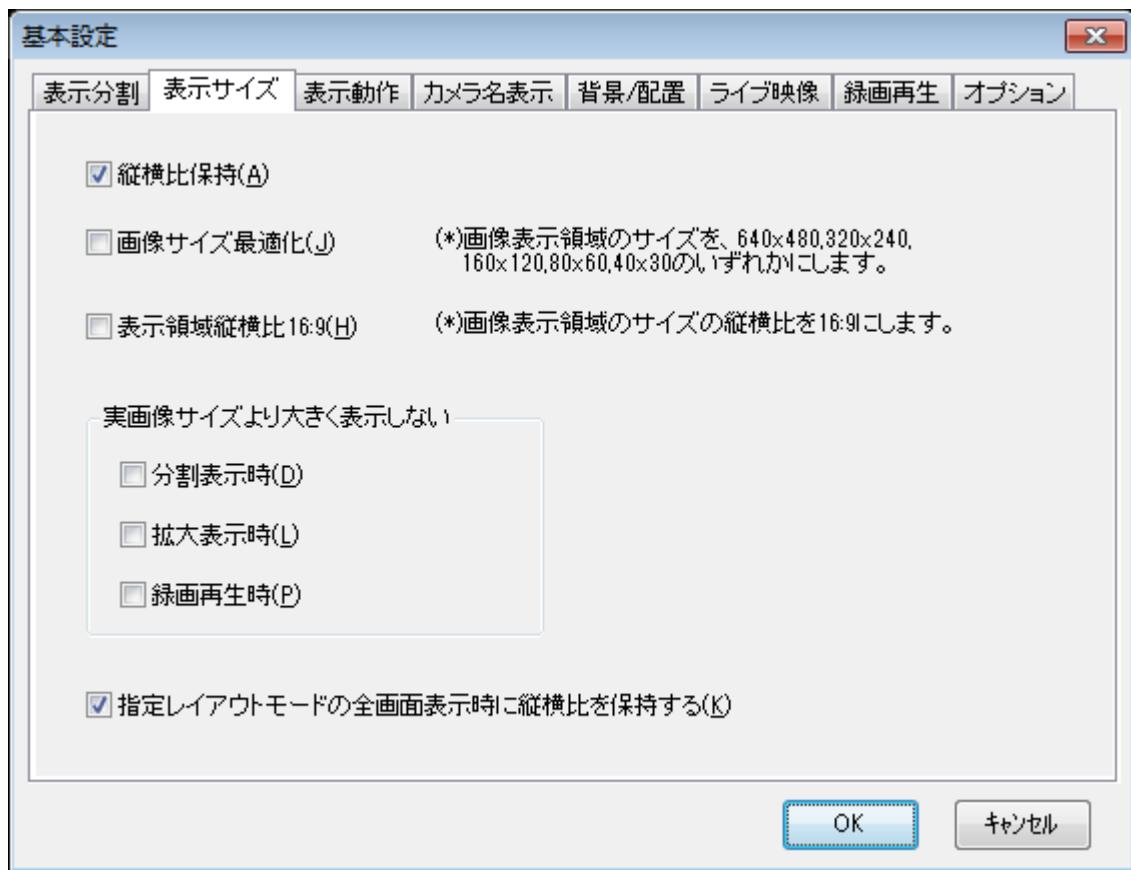
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	全カメラモード	本グループボックス内では、全カメラモードでの表示分割に関する設定を行います。
2	通常表示時	全カメラモードの通常表示時の表示分割数(横×縦)を指定します。表示対象カメラ数が表示分割数を越える場合は、複数頁表示となります。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～9（縦横とも） 既定値：4×3
3	全画面表示時	全カメラモードの全画面表示時の表示分割数(横×縦)を指定します。表示対象カメラ数が表示分割数を越える場合は、複数頁表示となります。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～9（縦横とも） 既定値：4×3
4	分割数固定	本設定にチェックした場合、表示カメラ台数に関わらず、指定した分割数で表示します。無効にした場合は、表示カメラ台数に応じて分割数を減らして表示します。  既定設定：チェックなし

No	項目	意味と指定可能値
5	選択カメラモード	本グループボックス内では、表示モードが「選択カメラモード」のときの画面の表示に関する設定を行います。 各設定項目の意味は、全カメラモード時と同様です。
6	通常表示時	選択カメラモードの通常表示時の表示分割数（横×縦）を指定します。表示対象カメラ数が表示分割数を越える場合は、複数頁表示となります。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～9（縦横とも） 既定値：4×3
7	全画面表示時	選択カメラモードの全画面表示時の表示分割数（横×縦）を指定します。表示対象カメラ数が表示分割数を越える場合は、複数頁表示となります。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～9（縦横とも） 既定値：4×3
8	分割数固定	本設定にチェックした場合、表示カメラ台数に関わらず、指定した分割数で表示します。無効にした場合は、表示カメラ台数に応じて分割数を減らして表示します。  既定設定：チェックなし

## 10.1.2 表示サイズ

「表示サイズ」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。



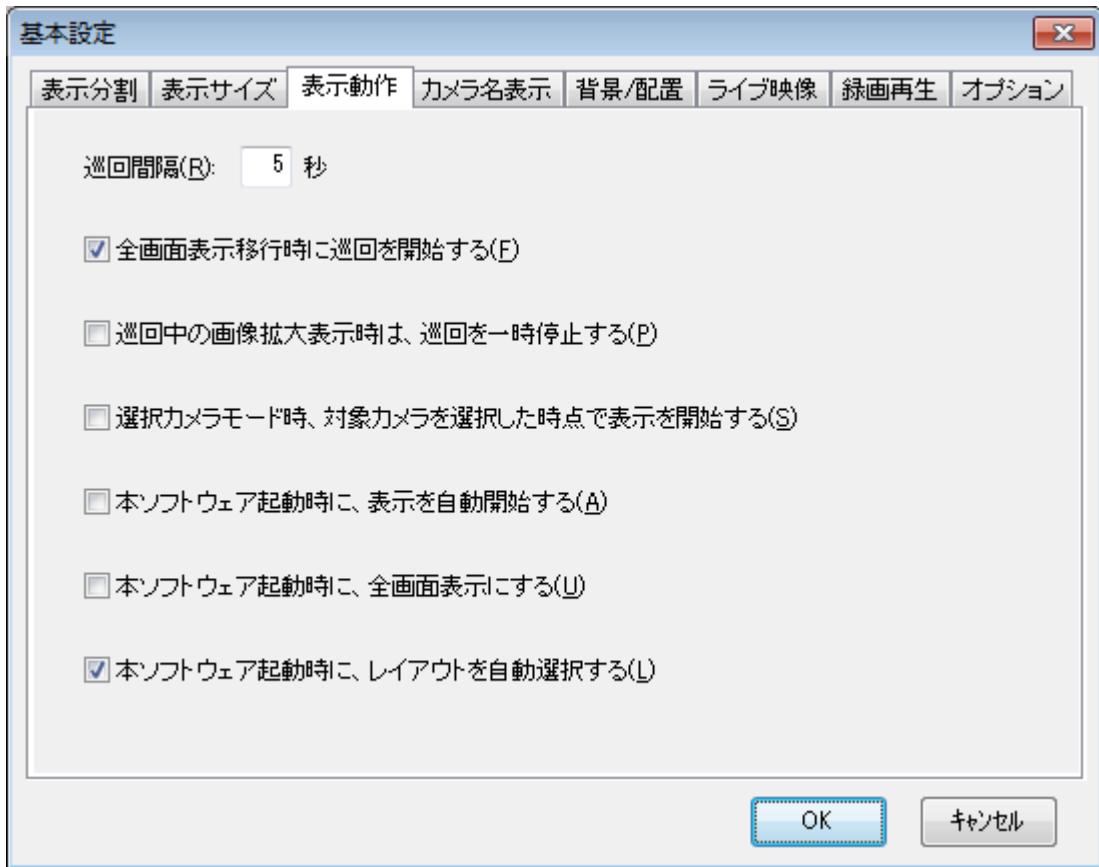
本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	縦横比保持	画像表示時に画像の縦横比を保持するか否かを指定します。 チェックした場合は、縦横比を保持して表示されます。 チェックしない場合は、縦横比を保持せず、表示領域に合わせて表示します。  既定設定：チェックあり
2	画像サイズ最適化	画像表示時に画像表示領域のサイズを最適化するか否かを指定します。チェックした場合は、画像表示領域のサイズが、640x480, 320x240, 160x120, 80x60, 40x30 のいずれかとなります。  この設定にチェックすることにより、表示性能が向上します。 高フレームレートかつ分割表示数が多い場合などで、表示フレームレートがカメラに対して設定したフレームレートよりも低くなっている場合は、この設定にチェックしてください。  この設定と「表示領域縦横比 16:9」の設定を同時にチェックすることはできません。  既定設定：チェックなし
3	表示領域縦横比 16:9	本設定にチェックした場合、画像表示領域のサイズの縦横比が16:9となります。

No	項目	意味
		<p>この設定と「画像サイズ最適化」の設定を同時にチェックすることはできません。</p> <p>この設定にチェックし、「縦横比保持」の設定にチェックしない場合は、カメラ画像の縦横比に関係なく、縦横比 16:9 の表示領域いっぱいに表示されます。</p> <p>表示対象カメラの解像度の縦横比がすべて 16:9 の場合は本設定にチェックし、すべて 4:3 の場合はチェックしないでください。混在している場合は、表示モニタの解像度に合わせ、縦横比 16:9 などのワイドモニタ使用時は本設定にチェックし、4:3 に近い解像度のモニタ使用時はチェックしないでください。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
4	実画像サイズより大きく表示しない	<p>「縦横比保持」「画像サイズ最適化」「表示領域縦横比 16:9」をすべて設定しない場合は、画面サイズに合わせて表示されます。そのため、カメラ画像サイズより大きく表示される可能性がありますが、この設定にチェックすることにより、分割表示／拡大表示／録画再生時にそれを防ぐことができます。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
5	指定レイアウトモードの全画面表示時に縦横比を保持する	<p>本設定にチェックした場合、指定レイアウトモードの全画面表示時に、レイアウト全体の縦横比を保持して表示されます。</p> <p>既定設定：チェックあり</p>

### 10.1.3 表示動作

「表示動作」タブを指定すると、以下の画面が表示されます。



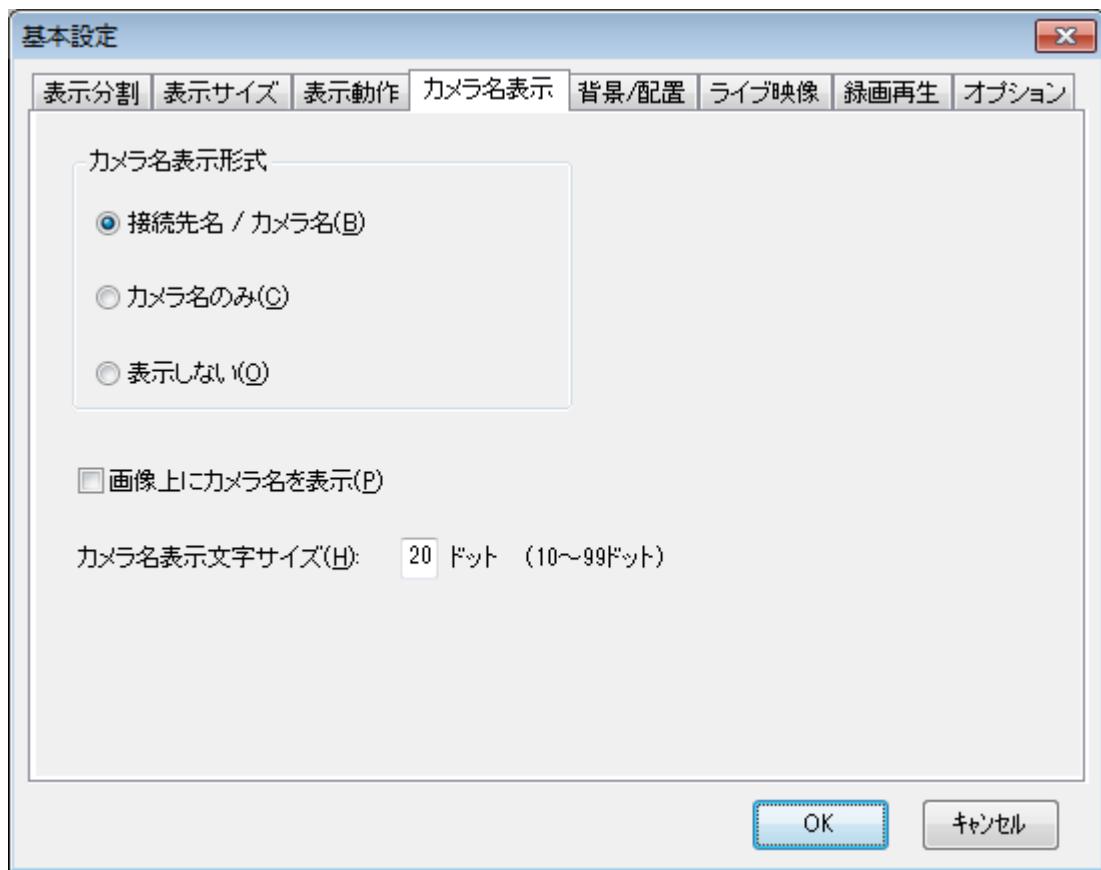
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	巡回間隔	巡回表示時の各頁の表示間隔（秒数）を指定します。 指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～99 既定値：5
2	全画面表示移行時に巡回を開始する	本設定にチェックした場合、全画面表示移行時に巡回表示となります。 既定設定：チェックあり
3	巡回中の画像拡大表示時は、巡回を一時停止する	本設定にチェックした場合、巡回中の画像拡大表示時には巡回表示が一時停止され、画像拡大表示終了後に再開されます。 既定設定：チェックなし
4	選択カメラモード時、対象カメラを選択した時点で表示を開始する	本設定にチェックした場合、選択カメラモード表示中の対象カメラ選択変更が、即時反映されます。 無効にした場合は、次の表示開始時に反映されます。 既定設定：チェックなし
5	本ソフトウェア起動時に、表示を自動開始する	本設定にチェックした場合、本ソフトウェア起動時に自動的に表示を開始します。

No	項目	意味と指定可能値
		既定設定：チェックなし
6	本ソフトウェア起動時に、全画面表示にする	本設定にチェックした場合、本ソフトウェア起動時に自動的に全画面表示モードに移行します。 既定設定：チェックなし
7	本ソフトウェア起動時に、レイアウトを自動選択する。	本設定にチェックした場合、本ソフトウェア起動時に自動的に前回終了時に選択していたレイアウトが選択されます。 既定設定：チェックあり

## 10.1.4 カメラ名表示

「カメラ名表示」タブを指定すると、以下の画面が表示されます。

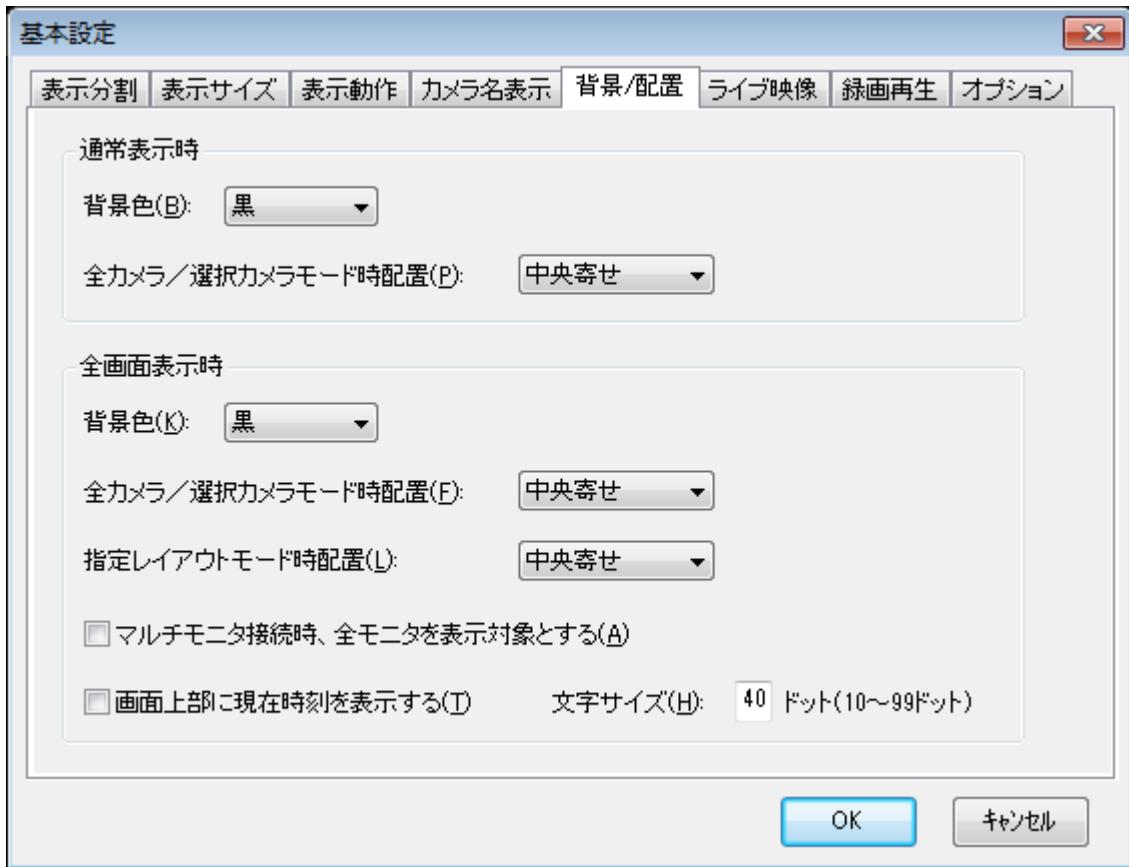


本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	カメラ名表示形式	カメラ名の表示形式を、「接続先名／カメラ名」「カメラ名のみ」「表示しない」から選択します。 ユニット#2 のカメラの場合は、接続先名は末尾に「#2」が付加された表示となります。 既定設定：接続先名／カメラ名
5	画像上にカメラ名を表示	カメラ名をカメラ画像上に表示する場合に、本項目にチェックします。この場合、カメラ画像最下部の中央に、黒背景の白色文字で表示されます。 既定設定：チェックなし
6	カメラ名表示サイズ	カメラ名表示の文字サイズを、ドット単位で指定します。 但し、表示名称が長い場合など、横幅が映像表示枠より長くなってしまう場合は、自動的に文字サイズを小さくします。 指定可能文字：数字のみ 指定可能値：10～99 既定値：20

## 10.1.5 背景／配置

「背景／配置」タブを指定すると、以下の画面が表示されます。



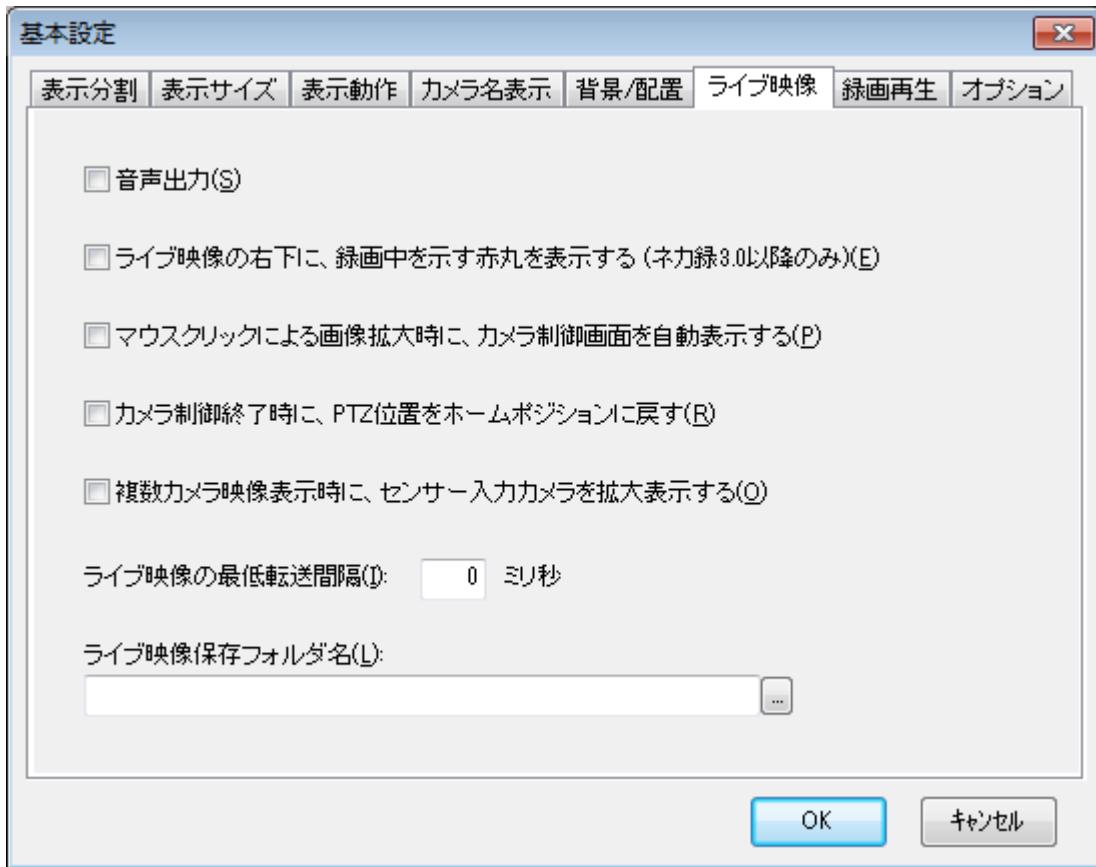
本画面で表示される項目とその意味及び選択肢は、以下の通りです。

No	項目	意味と選択肢
1	通常表示時	通常表示時の背景と配置を指定します。
2	背景色	表示画面の背景色を、「グレー」「黒」「白」から選択します。 既定設定：黒
3	全カメラ／選択カメラモード時配置	全カメラ／選択カメラモード時の表示画面内の全体配置を、「左上詰め」「中央寄せ」から選択します。 既定設定：中央寄せ
4	全画面表示時	全画面表示時の背景と配置を指定します。
5	背景色	表示画面の背景色を、「グレー」「黒」「白」から選択します。 既定設定：黒
6	全カメラ／選択カメラモード時配置	全カメラ／選択カメラモード時の表示画面内の全体配置を、「左上詰め」「中央寄せ」から選択します。 既定設定：中央寄せ
7	指定レイアウトモード時配置	指定レイアウトモード時の表示画面内の全体配置を、「左上詰め」「中央寄せ」から選択します。 既定設定：中央寄せ
8	マルチモニタ接続時、	マルチモニタ接続時に全モニタを全画面表示の対象にする

No	項目	意味と選択肢
	全モニタを表示対象とする	場合にチェックします。チェックしない場合は、メインウィンドウを表示しているモニタのみが対象になります。 既定設定：チェックなし
9	画面上部に現在時刻を表示する	画面上部に現在時刻を表示する場合にチェックします。 現在時刻の表示仕様は、以下の通りです。  表示時刻：本ソフトウェア動作PCの時刻 表示位置：全画面表示最上部の中央寄せ表示 背景色：「背景色」設定色 文字色：背景色が黒の場合は白、 グレー／白の場合は黒 文字サイズ：「文字サイズ」設定サイズ  既定設定：チェックなし
10	文字サイズ	現在時刻表示時の文字サイズをドット単位で指定します。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：10～99 既定値：40

## 10.1.6 ライブ映像

「ライブ映像」タブを指定すると、以下の画面が表示されます。



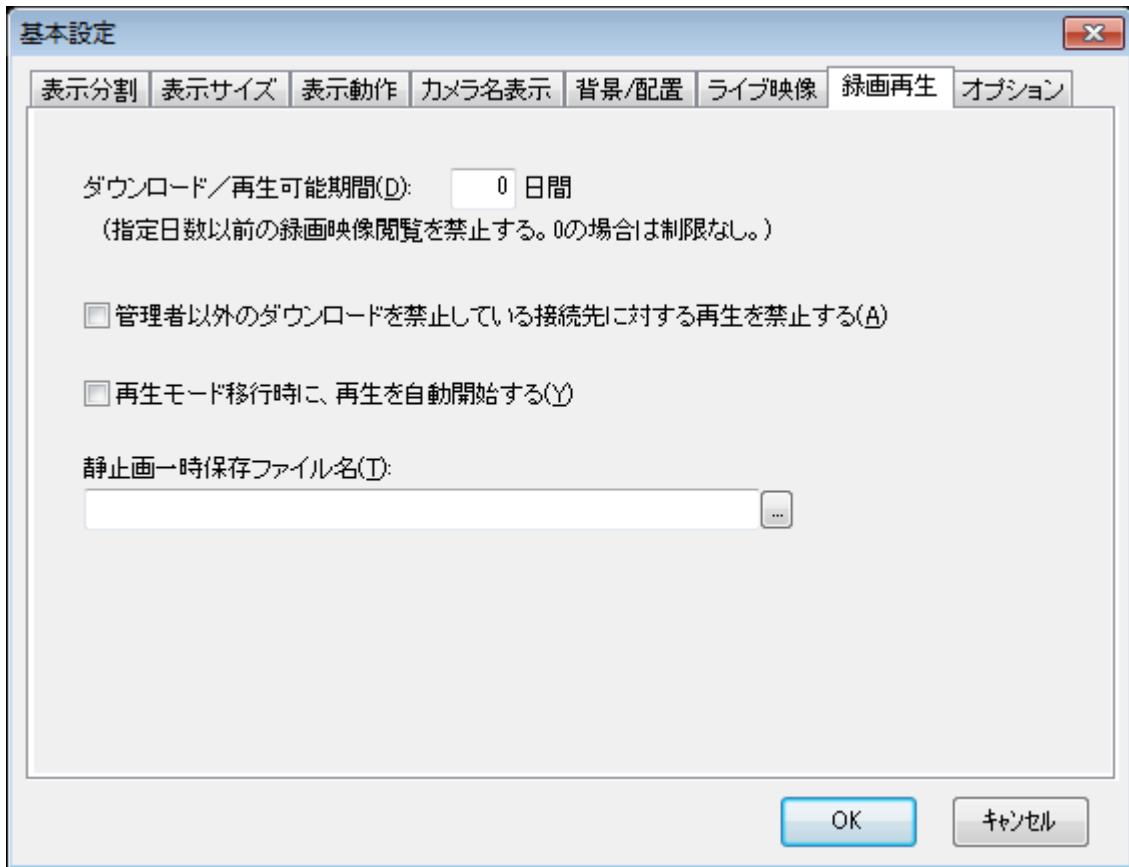
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	音声出力	<p>音声がサポートされているカメラの場合、本設定にチェックすることにより、拡大表示時にライブ音声が出力されます。</p> <p>既定設定：チェックなし</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> カメラ及びネカ録の設定で、対象カメラの音声機能を有効に設定する必要があります。</p>
2	ライブ映像の右下に、録画中を示す赤丸を表示する	<p>本設定にチェックした場合、ネカ録側での録画中にカメラ映像の右下に赤丸を表示します。</p> <p>既定設定：チェックなし</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>画像表示と赤丸表示は同期しません。遅れて赤丸が表示されることがあります。また、ネカ録側での録画速度が一定でない場合、点滅表示となることがあります、問題ありません。</li><li>カメラ名が長い場合は、表示が重なることがあります。</li></ul>
3	マウスクリックによる画像拡大時に、カメラ制御画面	本設定にチェックした場合、マウスクリックによる画像拡大時に、カメラ制御画面が自動表示されます。

No	項目	意味と指定可能値
	を自動表示する	<p>既定設定：チェックなし</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> ネカ録設定で「PTZ 制御」を ON にしているカメラのみ、本機能が有効になります。</p>
4	カメラ制御終了時に、PTZ 位置をホームポジションに戻す	<p>カメラの制御を終了させたときに、移動させたカメラの位置を自動的にホームポジションに戻したい場合に、本設定にチェックしてください。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
5	複数カメラ映像表示時に、センサー入力カメラを拡大表示する	<p>本設定にチェックした場合、複数カメラ映像表示時に、関連センサーのステータスに応じて当該カメラが拡大表示されます。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
6	ライブ映像の最低転送間隔	<p>表示しているカメラ映像の転送間隔をミリ秒単位で指定します。設定した間隔でカメラ映像をネカ録から取得して表示します。転送間隔をフレームレートより大きく設定することにより、ネットワーク負荷を軽減できます。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～9999 既定値：0</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> 画像圧縮形式が H.264 の場合は、指定された間隔で表示されないことがありますので、指定しないでください。</p>
7	ライブ映像保存フォルダ名	<p>ライブ映像を保存するフォルダを指定します。 右端の「...」ボタンクリックから、フォルダ参照画面でフォルダを指定することができます。</p>

## 10.1.7 録画再生

「録画再生」タブを指定すると、以下の画面が表示されます。



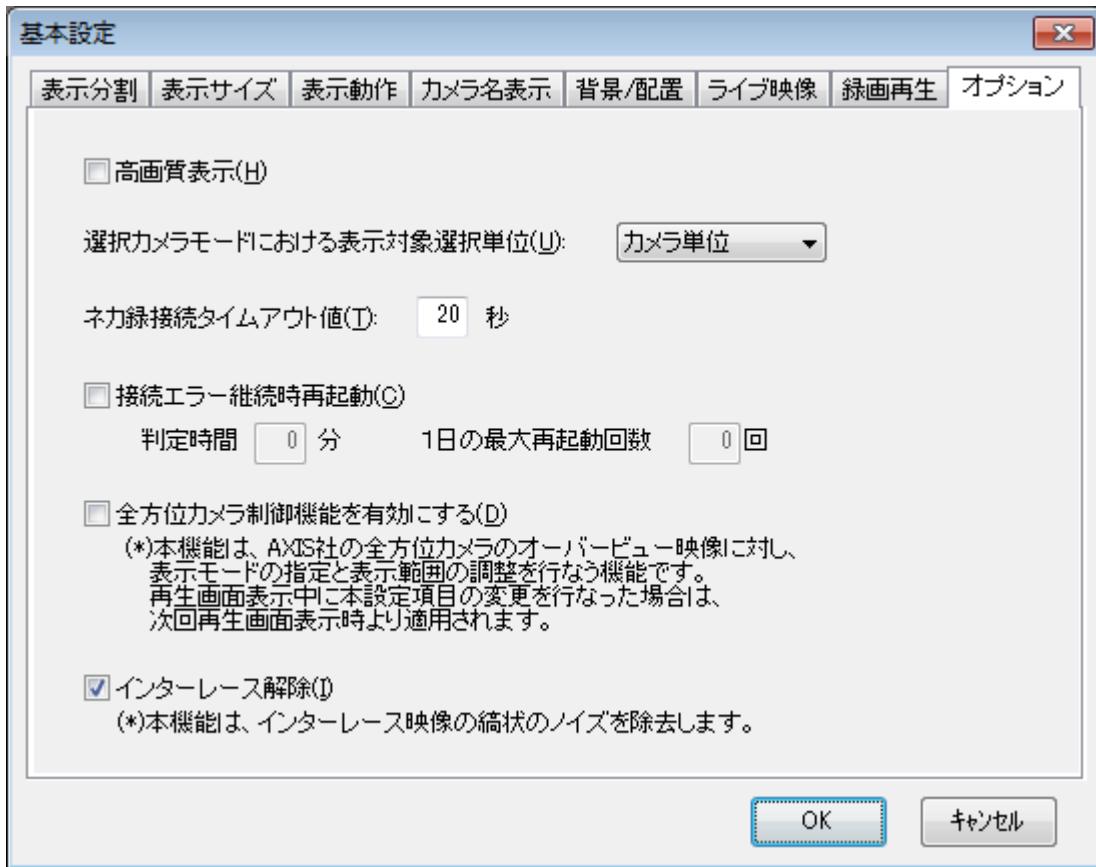
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	ダウンロード/再生可能期間	ダウンロード/再生を許可する録画映像期間を指定します。 制限しない場合には 0 を入力します。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～999 既定値：0  <b>⚠ 注意事項：</b> 本設定は、ネカ録内の録画映像を削除する設定ではありません。
2	管理者以外のダウンロードを禁止している接続先に対する再生を禁止する	本設定にチェックすると、ネカ録 2.0/3.0 に対して「管理者以外のダウンロードを禁止する」設定を有効にしている場合に、録画映像の再生が禁止されます。  既定設定：チェックなし
3	再生モード移行時に、再生を自動開始する	本設定にチェックすると、再生画面への移行時に自動的に再生が開始されます。  既定設定：チェックなし
4	静止画一時保存ファイル名	静止画一時保存機能を使用する場合、保存先のファイル名を指定します。この設定をしている場合のみ、「静止画一時保存」のメニューが表示されます。

No	項目	意味と指定可能値
		右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。

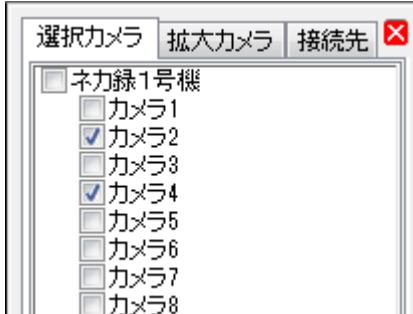
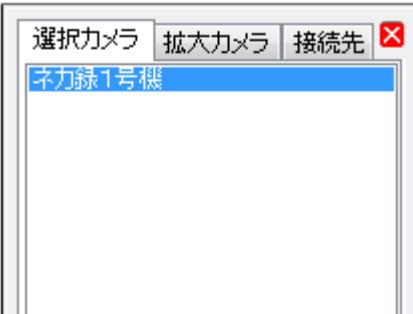
## 10.1.8 オプション

「オプション」タブを指定した場合の画面は、以下の通りです。



本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	高画質表示	<p>本設定にチェックした場合、ライブ映像表示及び録画映像再生において、高画質で表示します。</p> <p>この高画質表示機能は、カメラから配信された解像度と表示解像度に差があり、拡大・縮小して表示される場合に有効となります。</p> <p>特に、インターレース映像や全方位カメラの補正映像（カメラ側で歪み補正処理を行った場合）を拡大・縮小表示した場合の歪みやギザギザ表示の緩和に有効です。</p> <p>既定設定：チェックなし</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> 本機能を使用すると、表示性能は低下します。 多分割・高フレームレートで表示する場合は、映像が滑らかに表示されなくなることがあります。その場合は、本機能を使用しないでください。</p>
2	選択カメラモードにおける表示対象選択単位	<p>「接続先／カメラ選択」画面の「選択カメラ」タブにおける、選択カメラモードの表示対象選択単位を、「カメラ単位」「接続先単位」のいずれかから選択設定します。</p> <p>「カメラ単位」の場合は、接続先名をダブルクリックするとカメラ名が</p>

No	項目	意味と指定可能値
		<p>表示され、カメラ単位で選択可能となります。選択する接続先もしくはカメラのチェックボックスをクリックしてチェックしてください。</p> <p>「接続先単位」の場合は、選択する接続先名をクリックして反転表示させてください。</p> <p>既定設定：カメラ単位</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span>カメラ単位の場合</span> <span>接続先単位の場合</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
3	ネカ録接続タイムアウト値	<p>ネカ録への接続タイムアウト時間を指定します。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～999 既定値：20</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> タイムアウトによりネカ録接続に失敗した場合、ポップアップメッセージは表示されません。 接続状態は、「接続先／カメラ選択画面」の「接続先」のタブの「状態」欄で確認してください。 接続できない場合は、再接続を繰り返しますので、「切断」と「接続中」が交互に表示されます。</p>
4	接続エラー継続時再起動	<p>本設定にチェックした場合、接続失敗継続時に本ソフトウェアが自動で再起動されます。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
5	判定時間	<p>判定時間には接続エラー継続時再起動を有効にした場合の判定時間を入力します。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～999 既定値：0</p>
6	最大再起動回数／日	<p>本機能により自動再起動する1日あたりの最大回数を入力します。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～999 既定値：0</p>
7	全方位カメラ制御機能を有効にする	<p>本設定にチェックすると、全方位カメラ制御機能が有効になります。</p> <p>既定設定：チェックなし</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b></p>

No	項目	意味と指定可能値
		<p>この機能は、AXIS 社の全方位カメラのオーバービュー映像に対する表示モードの指定と表示範囲の調整を行なう機能です。</p> <p>また、再生画面表示中に本設定項目の変更を行った場合は、次回再生画面表示時より適用されます。</p>
8	インターレース解除	<p>本設定にチェックすると、インターレース映像の縞状のノイズを除去します。</p> <p>本機能の対象となる映像は、カメラからネカ録への映像配信の際にインターレース映像であることが明示的に定義されているもののみとなります。</p> <p>一般の映像に対しては、本設定は影響を及ぼしません。</p> <p>既定設定：チェックあり</p>

## 10.2 接続先設定

本節では、接続先設定について説明します。

接続先設定は、「接続先サテライト設定ツール」で行います。

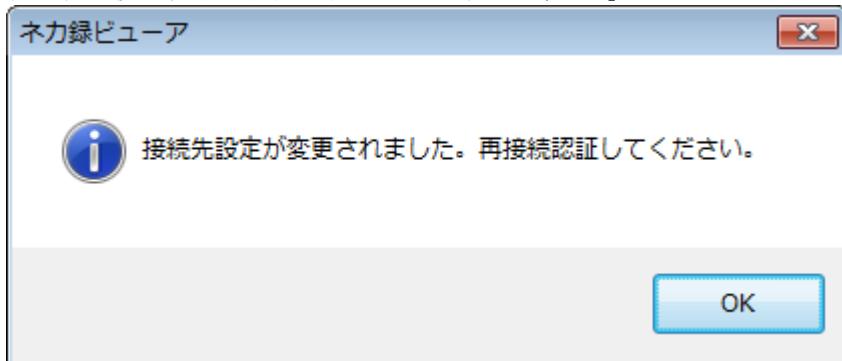
あらかじめ、「2. インストールとアンインストール」 - 「2.3 必要プログラムインストール」 - 「2.3.1 接続先サテライト設定ツール」を参照してインストールしてください。

「接続先サテライト設定ツール」は、スタートメニューから単独実行することができます、以下のオペレーションにより、本ソフトウェアから実行することもできます。

- ・接続先設定を行っていない状態で本ソフトウェアを起動
- ・ネカ録接続認証画面の「接続先設定」ボタンをクリック
- ・メニューバーの「設定」 - 「接続先設定」をクリック

「接続先サテライト設定ツール」での設定に関しては、以下の各節で説明します。

本ソフトウェアの「設定」 - 「接続先設定」メニューから接続先設定を変更した場合は、設定終了後に以下の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



ネカ録接続認証画面が表示されますので、再接続認証を行ってください。

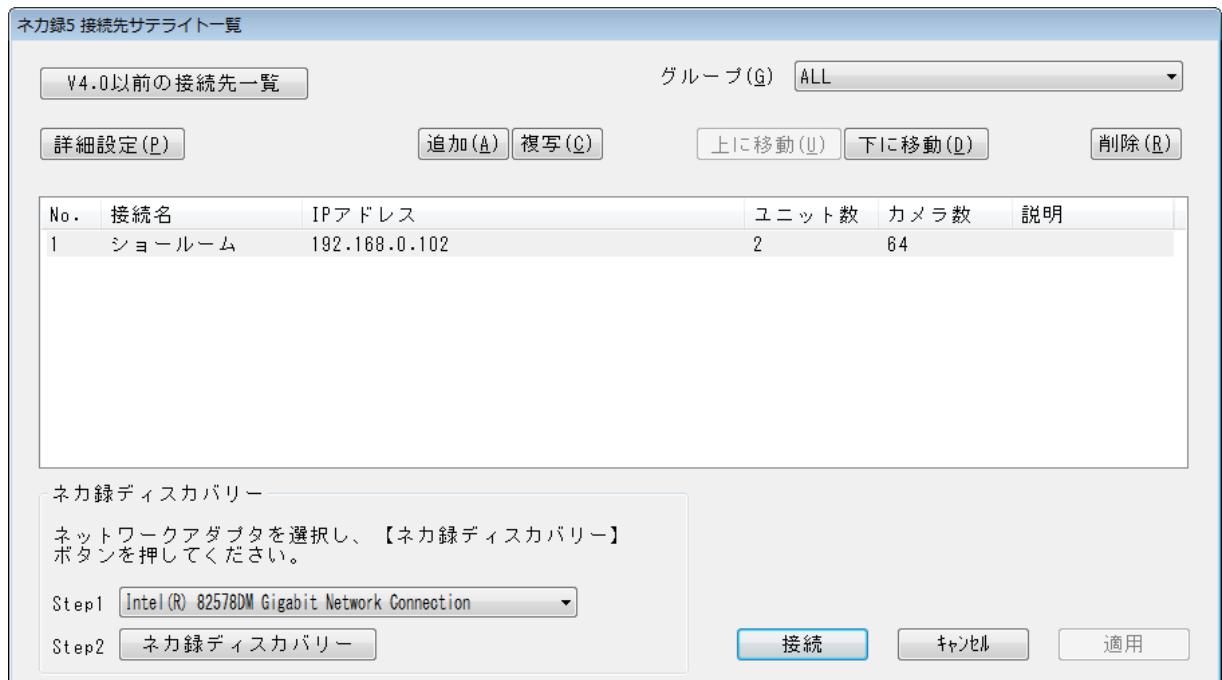


### 注意事項 :

本ソフトウェア起動中に、ネカ録設定ツール／コマンダー等で接続先設定を行った場合にも、再接続認証を行ってください。

## 10.2.1 接続先設定（ネカ録 5）

接続先サテライト設定ツール起動時は、以下の「ネカ録 5 接続先サテライト一覧」画面が表示されます。



この画面から、登録する接続先設定を行います。

登録手順は、以下のようにネカ録のバージョン及びネットワーク構成により異なります。

### ①同一サブネットワーク内のネカ録 5 を登録する場合

ネットワークアダプタを選択し、「ネカ録ディスカバリー」ボタンをクリックしてください。

「ネカ録ディスカバリー」画面が表示され、同一サブネットワーク内で起動しているネカ録が一覧表示されます。(対象のネカ録が表示されない場合は、②の手順で登録してください。)

登録するネカ録を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。

「ネカ録ディスカバリー」画面の詳細は、「10.2.3 ネカ録ディスカバリー（ネカ録 5）」を参照してください。

### ②同一サブネットワーク外のネカ録 5 を登録する場合

「追加」ボタンをクリックしてください。

「ネカ録 5 接続先サテライトの詳細」画面が表示されますので、この画面で接続名・IP アドレス・ポート・グループ・説明を適宜入力してください。

ネカ録と接続可能な場合は、機種名を「確認する」にして「確認」ボタンをクリックしてください。ユニット数と最大接続カメラ数が表示されます。

ネカ録と接続できない場合は、「機種名」欄で対象機種を選択してください。

「ネカ録 5 接続先サテライトの詳細」画面の詳細は、「10.2.2 接続先詳細設定（ネカ録 5）」を参照してください。

### ③ネカ録 4.0 以前のネカ録を登録する場合

「V4.0以前の接続先一覧」ボタンをクリックしてください。

「接続先サテライト一覧」画面が表示されますので、この画面からネカ録 4.0 以前の接続先設定を行ってください。

詳細は、「10.2.4 接続先設定（ネカ録 4.0 以前）」「10.2.5 接続先詳細設定（ネカ録 4.0 以前）」を参照してください。

「ネカ録 5 接続先サテライト一覧」画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	V4.0 以前の接続先一覧	「接続先サテライト一覧」画面が表示されますので、この画面でネカ録 4.0 以前の接続先設定を行います。
2	グループ	接続先一覧に表示する接続先のグループを選択します。 既定の「ALL」が選択されている場合は、全接続先が接続先一覧に表示されます。
3	詳細設定	接続先一覧で選択している接続先の設定を変更します。 「ネカ録 5 接続先サテライトの詳細」画面が表示されますので、この画面で設定変更します。
4	追加	新規に接続先を作成します。 「ネカ録 5 接続先サテライトの詳細」画面が表示されますので、この画面で設定します。
5	複写	接続先一覧で選択している接続先の設定をコピーして新しい接続先を作成します。
6	上に移動	接続先一覧で選択している接続先を 1 行上に移動します。
7	下に移動	接続先一覧で選択している接続先を 1 行下に移動します。
8	削除	接続先一覧で選択している接続先を削除します。
9	接続先一覧	選択されているグループの接続先一覧を表示します。
10	ネカ録ディスカバリー	ネットワークアダプタを選択し、「ネカ録ディスカバリー」ボタンをクリックしてください。 「ネカ録ディスカバリー」画面が表示されますので、この画面でネットワーク内のネカ録を検索して接続先に追加します。 ※「すべてのネットワークアダプタ」を選択した場合、一度に各ネットワークアダプタが属する、ネットワーク内のネカ録を検索し、結果が表示されます。
11	接続	設定内容を保存し、接続先一覧で選択している接続先のネカ録にブラウザから接続します。  <b>注意事項 :</b> 接続先一覧で接続先を選択していない場合は、「キャンセル」ボタンクリック時と同じ動作になります。
12	キャンセル	設定内容を破棄し、本画面を終了します。
13	適用	設定内容を確定し、本画面での設定を継続します。

## 10.2.2 接続先詳細設定（ネカ録 5）

「ネカ録 5 接続先サテライト一覧」画面で「詳細設定」「追加」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面から、接続先の詳細設定を行います。

ネカ録5 接続先サテライトの詳細

接続名(C)	ネカ録5
IPアドレス(A)	192 . 168 . 0 . 102
ポート(P)	10181 ※ 初期値には【10181】が設定されます。統合管理ツールにてポートを変更した場合は、合わせて、変更をお願い致します。
グループ(G)	▼
機種名	確認する
ユニット数	3
最大接続カメラ数	16
※【機種名】を【確認する】に選択後、【確認】ボタンで入力されたIPアドレスのネカ録からユニット数と最大接続カメラ数を取得します。	
説明(I)	OK キャンセル

本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	接続名	本ソフトウェア上で接続先ネカ録として使用する名称です。 任意の名称を入力してください。  ⚠ 注意事項： 接続名を変更した場合、レイアウト設定及び配置図設定も合わせて変更が必要となります。接続名変更後に、それぞれのカメラ設定画面で接続先を再選択してください。
2	IP アドレス	接続先ネカ録の IP アドレスを入力してください。
3	ポート	接続先ネカ録のポート番号を入力してください。 ネカ録のポート番号を既定値の 10181 から変更していない場合は、入力する必要はありません。
4	グループ	任意のグループ名称を入力してください。 グループ別の接続先一覧表示を行うときに使用できます。
5	機種名	「NS-5850」、「NS-3850」、「NS-1850」、「確認する」から選択してください。機種名を選択した場合は、その時点でユニット数と最大接続カメラ数が表示されます。「確認する」を選択した場合は、「確認」ボタンをクリックすることで、ネカ録からユニット数と最大接続カメラ数を取得し、値が表示されます。

6	ユニット数	ユニット数が表示されます。
7	最大接続 カメラ数	最大接続カメラ数が表示されます。
8	確認	ネカ録と接続し、ユニット数と最大接続カメラ数を確認します。 「確認」ボタンの下に、最終確認日が表示されます。
9	説明	備考欄として利用ください。
10	OK	設定内容を確定し、本画面を終了します。
11	キャンセル	設定内容を破棄し、本画面を終了します。

### 10.2.3 ネカ録ディスカバリー（ネカ録 5）

「ネカ録 5 接続先サテライト一覧」画面で、ネットワークアダプタを選択し、「ネカ録ディスカバリー」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。（同一サブネットワーク内にネカ録が存在していた場合は、画面が表示されると同時に、検索されたネカ録が一覧表示されます。）この画面から、同一サブネットワーク内のネカ録を検索して接続先に追加します。

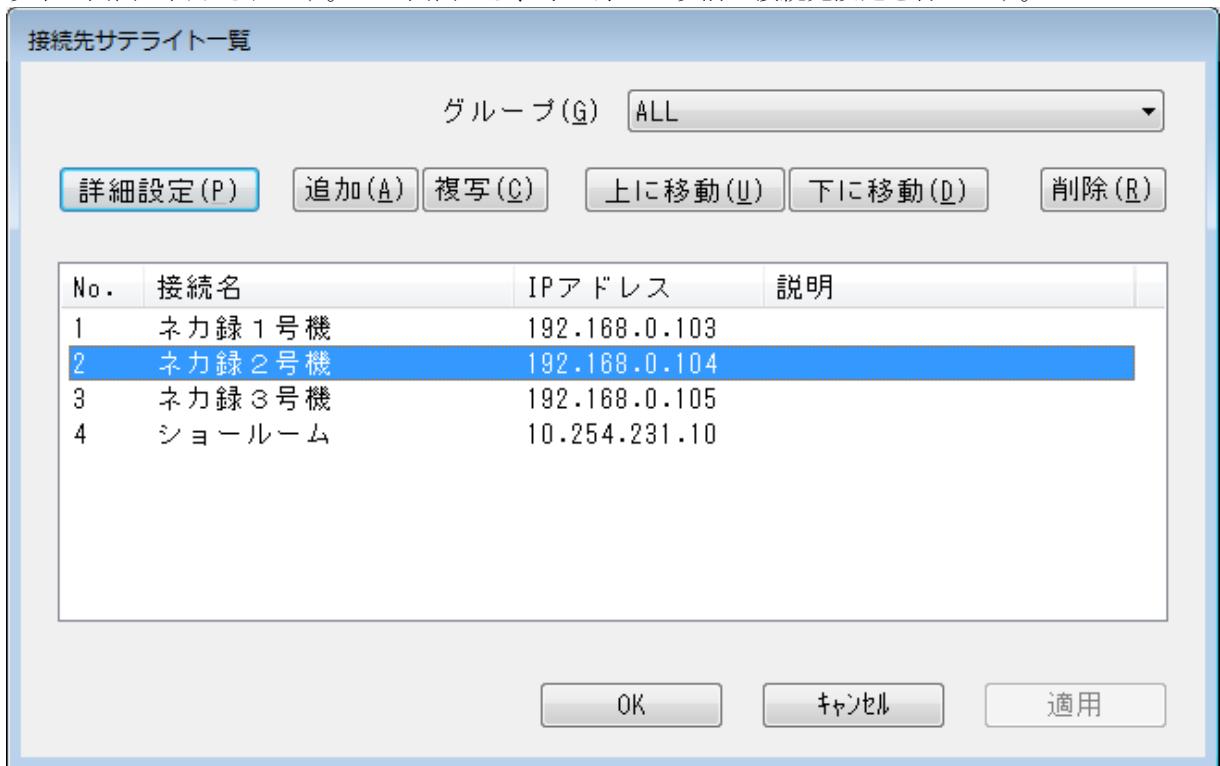


本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	更新	同一サブネットワーク内のネカ録 5 を検索して一覧表示します。
2	全選択	一覧表示されたネカ録をすべて選択します。
3	ネカ録一覧	同一サブネットワーク上に存在するネカ録の一覧を表示します。 各カラムにホスト名・IP アドレス・ユニット数・カメラ台数と登録有無が表示されます。
4	追加	選択したネカ録を接続先に追加し、本画面を終了します。
5	キャンセル	ネカ録の接続先への追加を行わずに、本画面を終了します。

## 10.2.4 接続先設定（ネカ録 4.0 以前）

「ネカ録 5 接続先サテライト一覧」画面で「V4.0 以前の接続先一覧」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面から、ネカ録 4.0 以前の接続先設定を行います。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	グループ	接続先一覧に表示する接続先のグループを選択します。 「ALL」が選択されている場合は、全接続先が接続先一覧に表示されます。
2	詳細設定	接続先一覧で選択している接続先の設定を変更します。 「接続先サテライトの詳細」画面が表示されますので、この画面で設定変更します。
3	追加	新規に接続先を作成します。 「接続先サテライトの詳細」画面が表示されますので、この画面で設定します。
4	複写	接続先一覧で選択している接続先の設定をコピーして新しい接続先を作成します。
5	上に移動	接続先一覧で選択している接続先を 1 行上に移動します。
6	下に移動	接続先一覧で選択している接続先を 1 行下に移動します。
7	削除	接続先一覧で選択している接続先を削除します。
8	接続先一覧	選択されているグループの接続先一覧を表示します。
9	OK	設定内容を確定し、本画面を終了します。
10	キャンセル	設定内容を破棄し、本画面を終了します。
11	適用	設定内容を確定し、本画面での設定を継続します。

## 10.2.5 接続先詳細設定（ネカ録 4.0 以前）

「接続先サテライト一覧」画面で「詳細設定」「追加」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面から、ネカ録 4.0 以前の接続先の詳細設定を行います。

接続先サテライトの詳細

接続名(C)	ネカ録1号機	
IPアドレス(A)	192 . 168 . 0 . 102	
ポート(P)		
グループ(G)		
<input type="checkbox"/> サテライト認証(S)		
ユーザー名(U) <input type="text"/> パスワード(W) <input type="text"/>		
説明(I)		
		OK
		キャンセル

本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

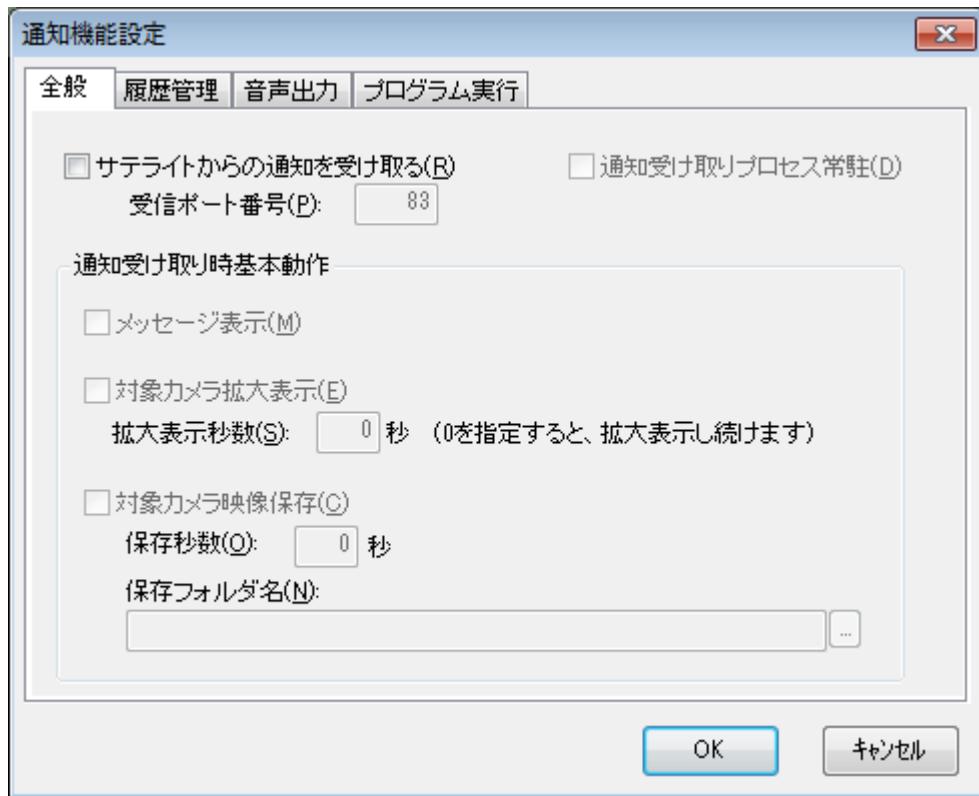
No	項目	意味
1	接続名	本ソフトウェア上で接続先ネカ録として使用する名称です。 任意の名称を入力してください。
		<b>⚠ 注意事項 :</b> 接続名を変更した場合、レイアウト設定及び配置図設定も合わせて変更が必要となります。接続名変更後に、それぞれのカメラ設定画面で接続先を再選択してください。
2	IP アドレス	接続先ネカ録の IP アドレスを入力してください。
3	ポート	接続先ネカ録のポート番号を入力してください。 ネカ録のポート番号を既定値の 81 から変更していない場合は、入力する必要はありません。
4	グループ	任意のグループ名称を入力してください。 グループ別の接続先一覧表示を行うときに使用できます。
5	サテライト認証	ネカ録設定ツールに対する自動認証設定です。
6	ユーザ名	本ソフトウェアに対しては、この設定は無効です。
7	パスワード	
8	説明	備考欄として利用ください。
9	OK	設定内容を確定し、本画面を終了します。
10	キャンセル	設定内容を破棄し、本画面を終了します。

**⚠ 注意事項 :**「接続名」、「説明」、「グループ」の欄では「,」の文字は使用できません。  
入力した場合は「\_」に変換されます。「接続名」、「説明」欄では、この時にカーソル位置が文字列の先頭に戻ります。

## 10.3 通知機能設定

本節では、通知機能の各設定について説明します。

メニューバーの「設定」 - 「通知機能設定」をクリックすると、以下の通知機能設定画面が表示されます。



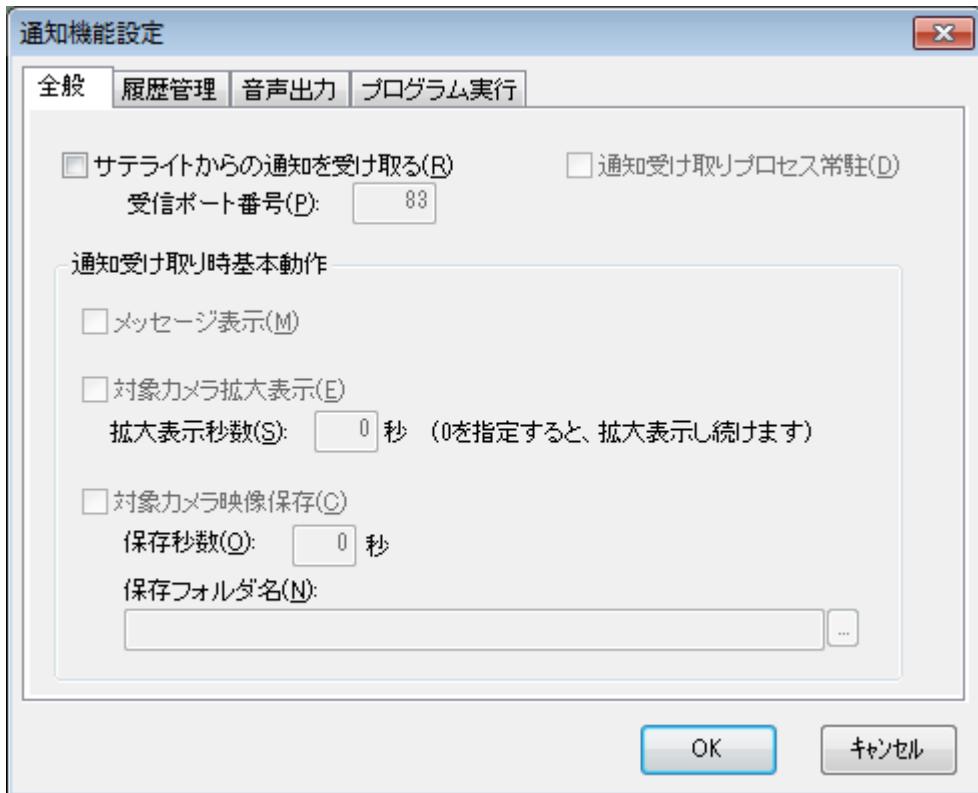
本画面では、以下のタブがあります。

No	タブ名	設定内容
1	全般	ネカ録（サテライト）からの通知受け取り時の基本動作設定
2	履歴管理	通知履歴に関する設定
3	音声出力	通知受け取り時の音声出力に関する設定
4	プログラム実行	通知受け取り時の外部プログラム実行に関する設定

以下の各節で、各タブ内の設定項目について説明します。

### 10.3.1 全般

「全般」タブを指定した場合の画面は、以下の通りです。



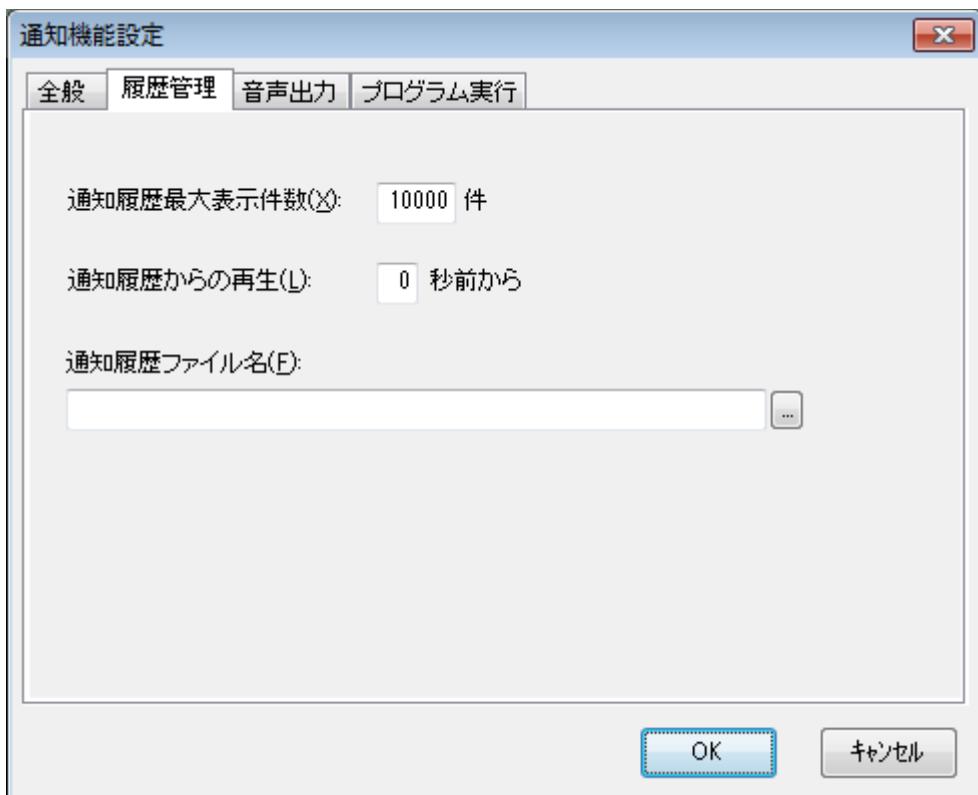
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	サテライトからの通知を受け取る	<p>本項目にチェックした場合、ネカ録からの通知を受信します。 既定設定：チェックなし</p>
2	受信ポート番号	<p>ネカ録から通知を受信するポート番号を指定します。 ネカ録の設定で、通知先として指定したポート番号と同じ番号を指定してください。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～99999 既定値：83</p> <p><b>⚠ 注意事項：</b> 本ソフトウェアは、ネカ録からの通知を受信するポート番号を一つしか指定できませんので、通知元の全ネカ録に対し、同一の通知先ポート番号を設定してください。</p>
3	通知受け取りプロセス常駐	<p>本項目にチェックした場合、本ソフトウェア終了後も通知受信用に非表示で常駐します。</p> <p>非表示常駐時に通知受信した際は、「通知機能設定」の設定通りに動作します。その際、ライブ映像表示などのネカ録との接続が必要な動作実行時は、終了直前に使用していたユーザー名／パスワードで接続・認証を実行します。</p> <p>非表示常駐時の本ソフトウェアの起動方法は、非常駐時と同じようにプログラムメニュー、ショートカット等から起動します。</p>

No	項目	意味と指定可能値
		既定設定：チェックなし
4	メッセージ表示	<p>本項目にチェックした場合、通知を受け取った際にポップアップメッセージが表示されます。</p> <p>本設定は、「サテライトからの通知を受け取る」をチェックした場合に、設定可能となります。</p> <p>「8.2 メッセージ表示」の記述も参照してください。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
5	対象カメラ拡大表示	<p>本項目にチェックした場合、通知受信時に対象カメラが拡大表示されます。</p> <p>「8.3 映像拡大表示」の記述も参照してください。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
6	拡大表示秒数	<p>通知受信時の拡大表示継続秒数を設定します。</p> <p>0を指定した場合は、拡大表示し続ける設定となります。</p> <p>通知メッセージ画面の「OK」ボタンをクリックすると、「拡大表示秒数」の設定時間内でも拡大表示は終了します。</p> <p>本設定は、「対象カメラ拡大表示」にチェックしている場合のみ設定可能となります。</p> <p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～9999 既定値：0</p>
7	対象カメラ映像保存	<p>本項目にチェックした場合、通知受信時に対象カメラが拡大表示された際に、表示中のライブ映像がファイル保存されます。</p> <p>保存されたライブ映像ファイルは、ポータブルムービープレイヤーで再生してください。</p> <p>本設定は、「対象カメラ拡大表示」にチェックしている場合のみ設定可能となります。</p> <p>「8.6 ライブ映像保存」の記述も参照してください。</p> <p>既定設定：チェックなし</p>
8	保存秒数	<p>映像を保存する秒数を指定します。</p> <p>指定可能値：1～9999 既定値：0</p>
9	保存フォルダ名	<p>映像保存先のフォルダ名を指定します。</p> <p>右端の「...」ボタンクリックから、フォルダ参照画面でフォルダを指定することができます。</p> <p>保存先ファイル名は、接続先名、カメラ名、映像保存開始時刻より、以下の規則で自動命名されます。</p> <p>(ユニット#2の場合は、接続先名の末尾に「#2」が付加されます。)</p> <p>接続先名_カメラ名_YYYYMMDD_HHMISS.cv2 (YYYY:年(4桁)、MM:月、DD:日、HH:時、MI:分、SS:秒)</p> <p>例) 接続先名：ネカ録1号機、カメラ名：「カメラ1」、 映像保存開始日時：2016/2/10 15:05:47 の場合は、 「ネカ録1号機_カメラ1_20160210_150547.cv2」となります。</p> <p>既定設定：設定なし</p>

### 10.3.2 履歴管理

「履歴管理」タブを指定した場合の画面は、以下の通りです。

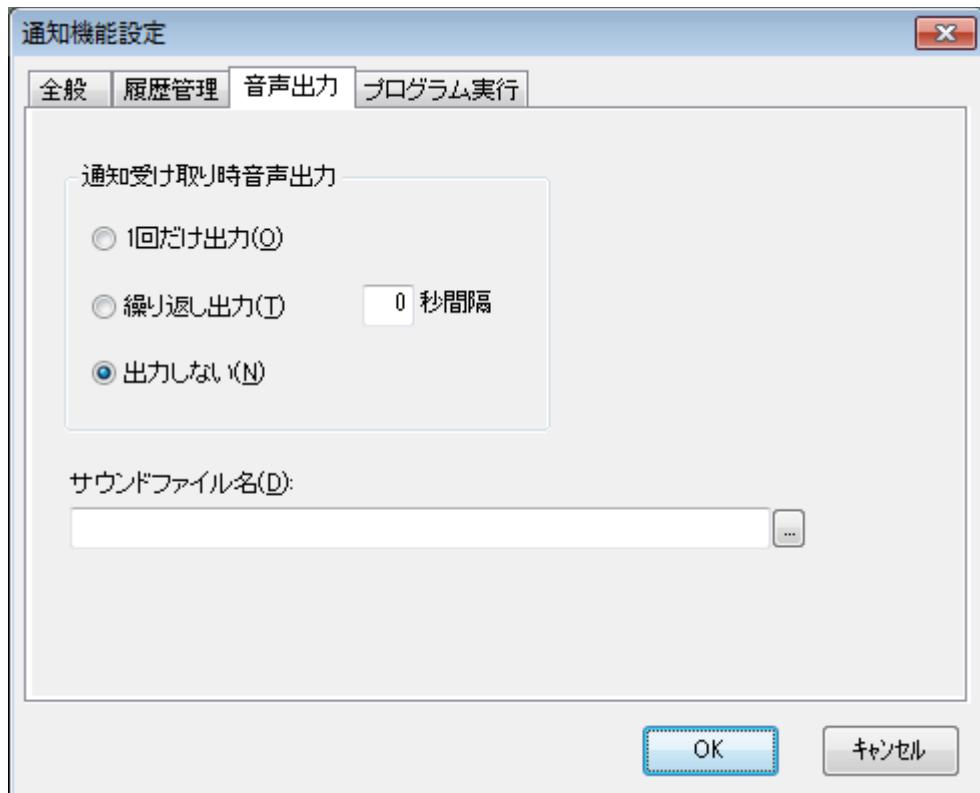


本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	通知履歴 最大表示件数	通知履歴画面に表示される履歴の最大件数を指定します。 この指定件数を超えた場合、古い履歴から順に非表示となります。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：1～99999 既定値：10000
2	通知履歴 からの再生	通知履歴から履歴をダブルクリックして再生を行う場合に、通知時 刻の何秒前から再生を開始するか指定します。  指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～99 既定値：0
3	通知履歴 ファイル名	通知履歴の保存ファイル名を指定します。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを 指定することができます。 この設定を行わず通知履歴がファイル保存されない場合は、本ソ フトウェア終了時に通知履歴の内容は破棄されます。 過去の履歴を表示させる場合は、必ず本設定を行ってください。  ⚠ 注意事項： 不正なファイル名を指定した場合、エラー表示されません。

### 10.3.3 音声出力

「音声出力」タブを指定した場合の画面は、以下の通りです。



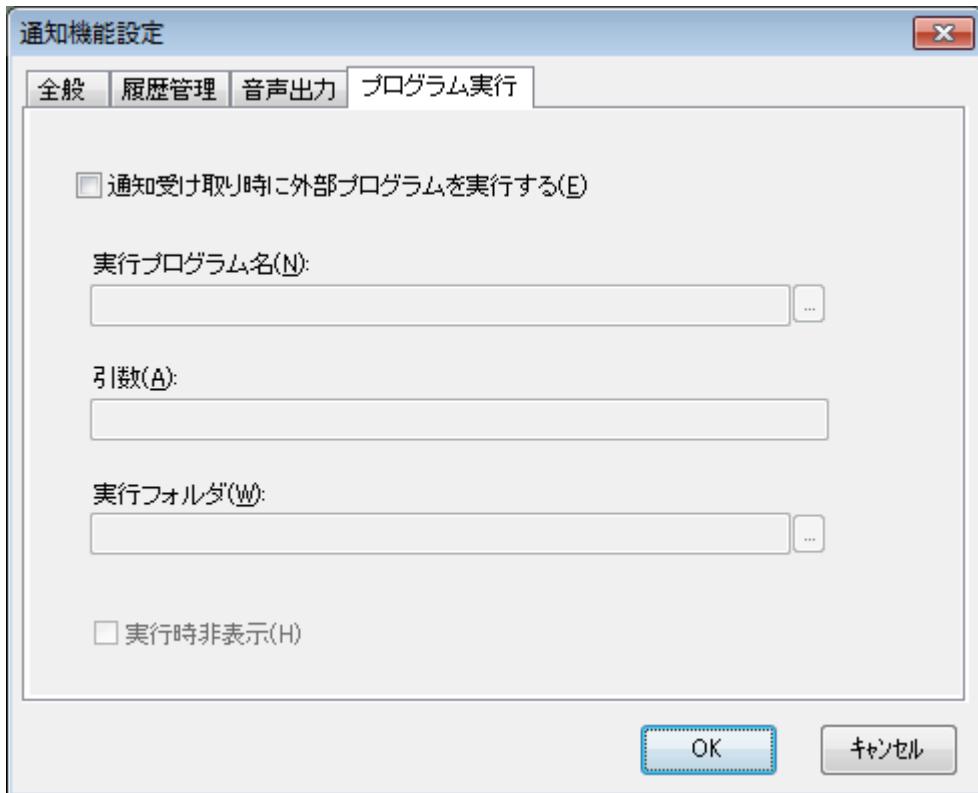
本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	通知受け取り時 音声出力	通知受信時の、アラーム音声出力の指定をします。 「8.4 音声出力」の記述も参照してください。  既定設定：出力しない
	1回だけ出力	1回だけ音声出力します。
	繰り返し出力	表示される通知メッセージ画面の「OK」ボタンをクリックするまで繰り返し出力します。 「全般」タブの「通知受け取り時基本動作」の「メッセージ表示」設定にチェックしている場合のみ、本項目を選択可能です。
	秒間隔	音声出力間隔を秒単位で指定します。  指定可能文字：数値のみ 指定可能値：1～999 既定値：0  ⚠ 注意事項： サウンドファイルの出力長より長い間隔を指定してください。
	出力しない	音声出力しません。
2	サウンドファイル名	音声出力するサウンドファイル名を指定します。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。

No	項目	意味と指定可能値
		<p><b>⚠ 注意事項 :</b> 存在しないファイル名や不正なサウンドファイルを指定した場合、設定時・実行時ともエラー表示されません。</p>

### 10.3.4 プログラム実行

「プログラム実行」タブを指定した場合の画面は、以下の通りです。



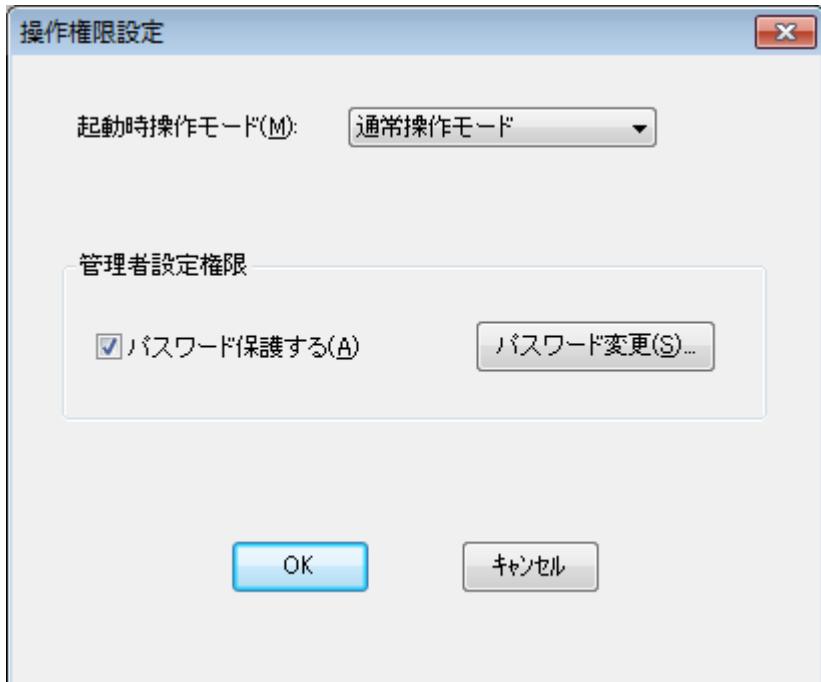
本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	通知受け取り時に外部プログラムを実行する	通知を受け取り時にプログラムを自動実行させる場合にチェックします。 「8.5 外部プログラム実行」の記述も参照してください。 既定設定：チェックなし
2	実行プログラム名	実行プログラムを指定してください。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。  ⚠ 注意事項： 存在しないプログラム名を指定した場合、設定時・実行時ともエラー表示されません。
3	引数	実行プログラムの引数を指定してください。
4	実行フォルダ	実行プログラムの実行フォルダを指定してください。 右端の「...」ボタンクリックから、フォルダ参照画面でフォルダを指定することができます。
5	実行時非表示	非表示でプログラム実行する場合にチェックしてください。 既定設定：チェックなし

## 10.4 操作権限設定

本節では、操作権限設定について説明します。

メニューバーの「設定」 - 「操作権限設定」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

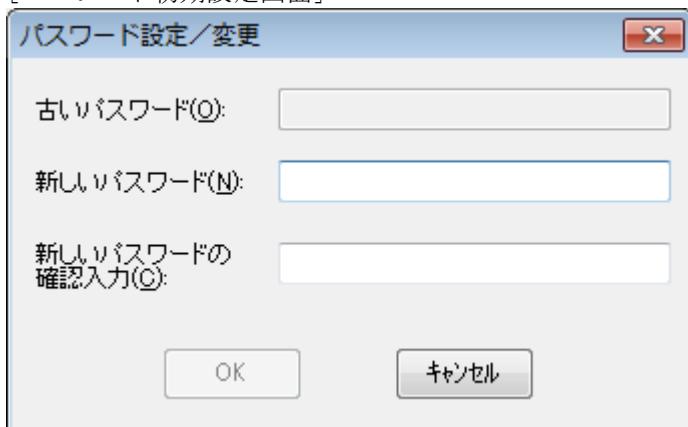


本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

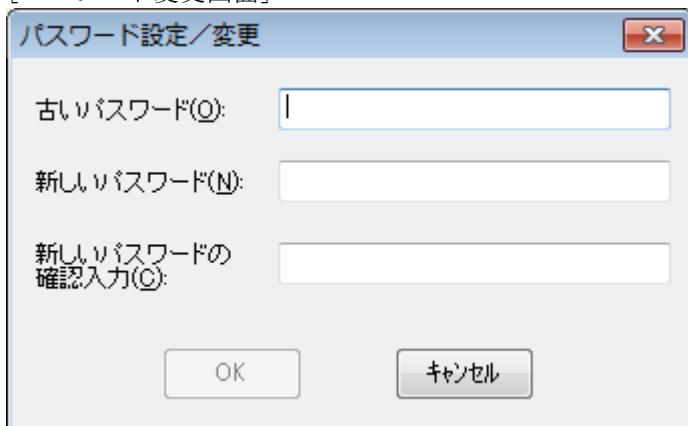
No	項目	意味
1	起動時操作モード	本ソフトウェアを起動時の操作モードを指定します。 「通常操作モード」「管理者設定モード」から選択してください。  起動時操作モードを「管理者設定モード」に設定し、管理者設定権限のパスワード保護を有効に設定している場合は、起動時に「管理者設定権限認証」画面が表示され、パスワード認証を行うことになります。  既定設定：通常操作モード
2	管理者設定権限	管理者設定権限に関する設定を行ないます。
3	パスワード保護する	本項目にチェックすると、「管理者設定モード」移行時に、パスワード認証による管理者設定権限認証が必要となります。  本項目を「チェックなし」から「チェックあり」に切り替えた場合は、以下の「パスワード設定／変更」画面が表示されます。この画面で、パスワードの初期設定を行ってください。  既定設定：チェックあり  パスワードに関する仕様は、以下の通りです。 初期パスワード：vieweradmin 設定可能パスワード文字種：半角英数記号文字 設定可能パスワード長：1 文字以上 20 文字以内

No	項目	意味
4	パスワード変更	<p>「パスワード変更」ボタンをクリックすると、以下の「パスワード設定／変更」画面が表示されます。この画面で、パスワードを変更することができます。</p> <p>このボタンは、「パスワード保護する」チェック時のみ有効です。</p> <p><b>⚠ 注意事項 :</b> パスワードを忘れた場合は、本ソフトウェアの再インストールが必要となります。</p>

[パスワード初期設定画面]



[パスワード変更画面]

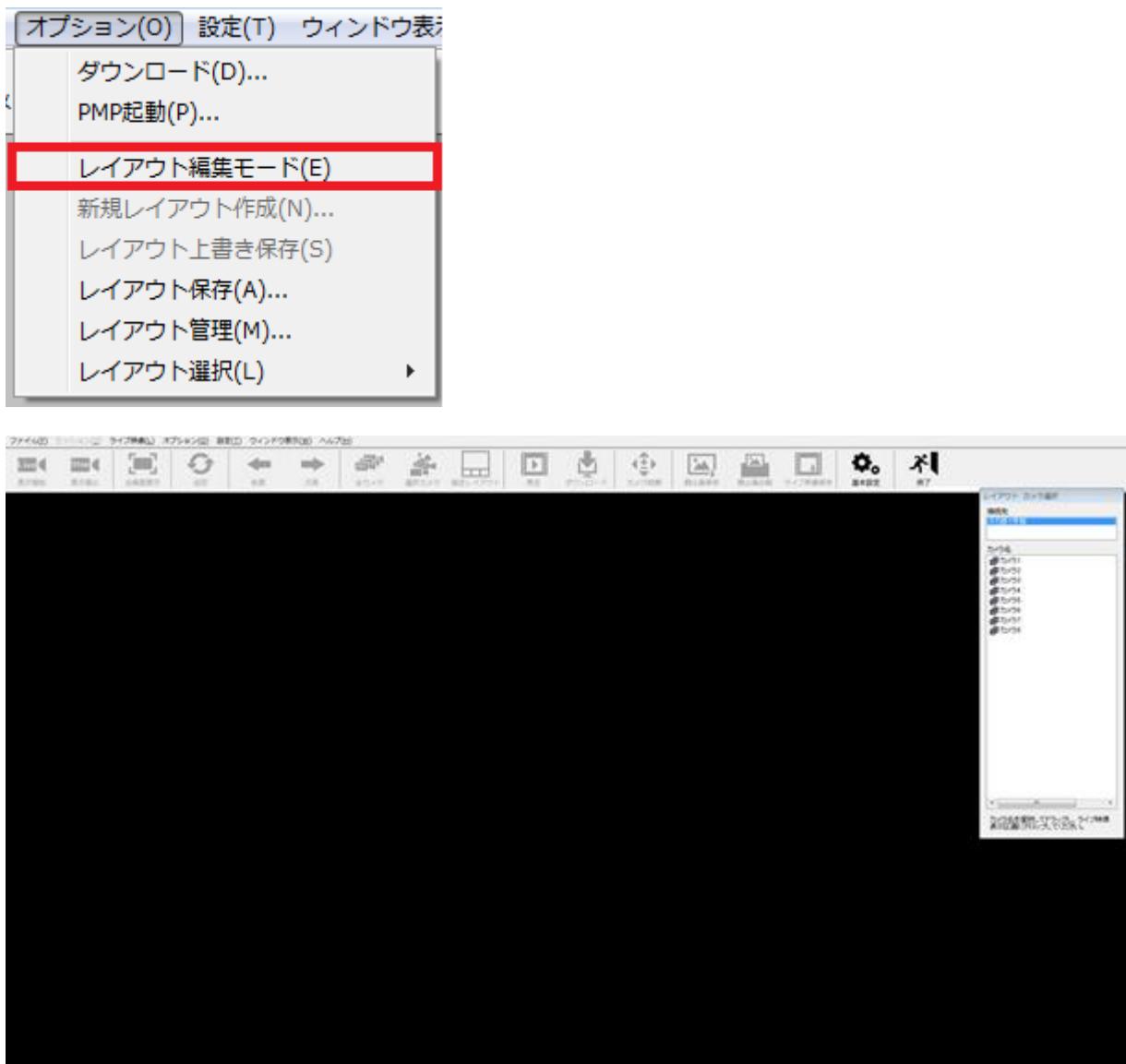


## 10.5 レイアウト設定

本節では、指定レイアウトモードで使用するレイアウトの設定について説明します。

### 10.5.1 レイアウト編集

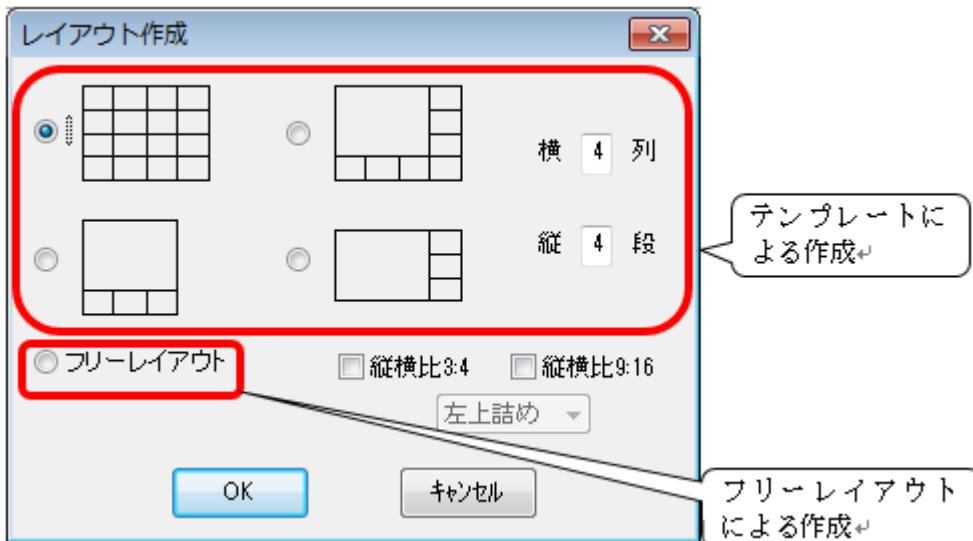
メニューバーの「オプション」 - 「レイアウト編集モード」指定により、指定レイアウト編集モードに移行することができます。このモードでのみ、レイアウトの新規作成・変更保存などのレイアウト編集が可能となります。この時、下図のように画面右端にカメラ選択画面が表示され、ウィンドウタイトルには「編集中」と表示されます。



レイアウト編集終了後、メニューバーの「オプション」から「レイアウト編集モード」のチェックを外すか、画面上で右クリックし、「レイアウト編集終了」をクリックし、レイアウト編集を終了してください。

## 10.5.2 レイアウト作成

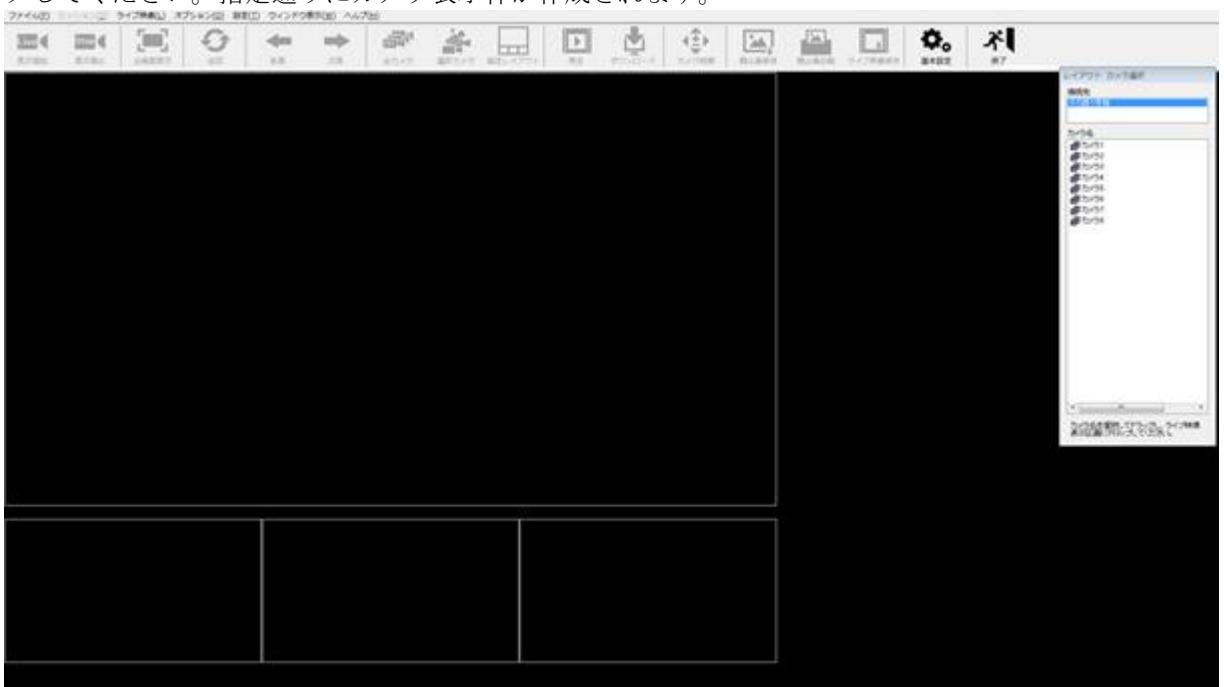
指定レイアウトを新規に作成する場合は、メニューバーの「オプション」から「新規レイアウト作成」をクリックしてください。レイアウト作成画面が表示されます。



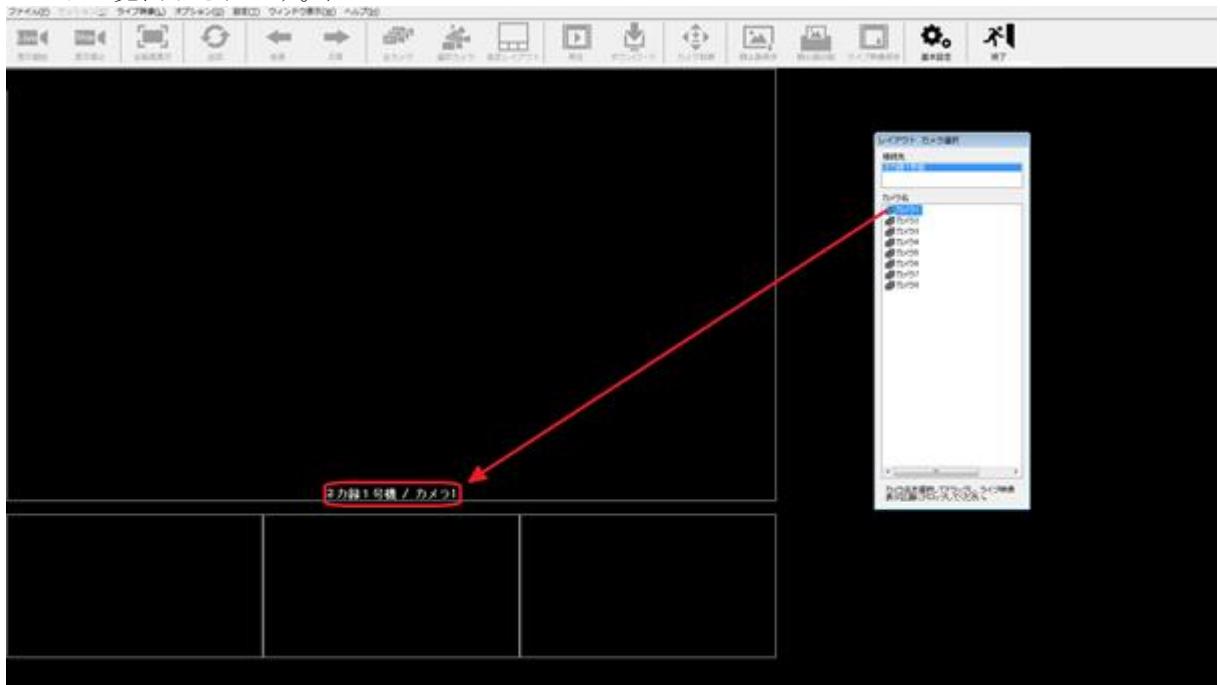
指定の方法は、「テンプレートによる作成」と「フリーレイアウトによる作成」の2通りの方法があります。以下に、それぞれの方法について説明します。

### (1) テンプレートを使用する場合

レイアウト作成画面で指定したい形を選択し、縦と横の画面数を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。指定通りにカメラ表示枠が作成されます。



枠内にカメラ選択画面からカメラをドラッグ&ドロップして割り付けることにより、レイアウトの定義を行います。(ユニット#2 のカメラは、末尾に「#2」が付加された接続先を選択することにより一覧表示されます。)



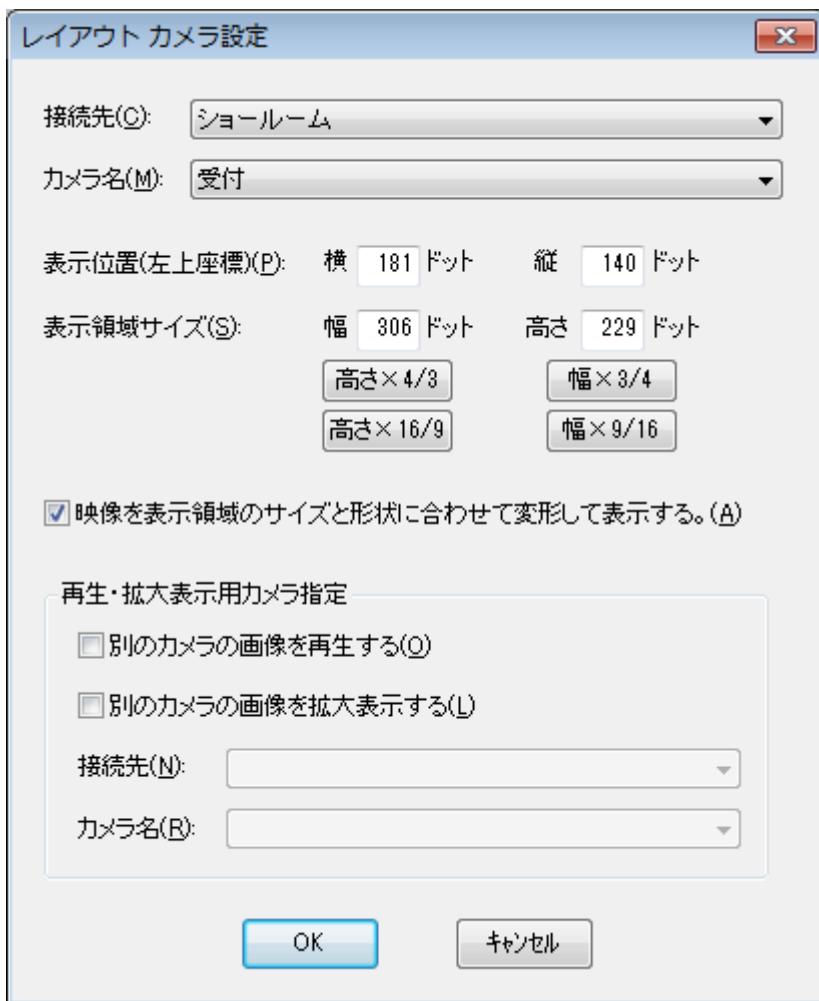
カメラの縦横比を 3:4 で作成したい場合はレイアウト作成画面の「縦横比 3:4」をチェックしてください。すべてのカメラ枠を 3:4 で作成します。また、レイアウト作成画面で表示位置を「左上詰め」、「中央揃え」から選択することができます。

カメラの縦横比を 9:16 で作成したい場合はレイアウト作成画面の「縦横比 9:16」をチェックしてください。すべてのカメラ枠を 9:16 で作成します。また、縦横比 3:4 と同様にレイアウト作成画面で表示位置を「左上詰め」、「中央揃え」から選択することができます。

## (2) フリーレイアウトで登録する場合

レイアウト作成画面の「フリーレイアウト」にチェックをし、「OK」ボタンをクリックしてください。

映像表示画面上でマウスを使用しクリック・ドラッグで範囲指定をすると黒枠が表示され、レイアウトカメラ設定画面が開きます。



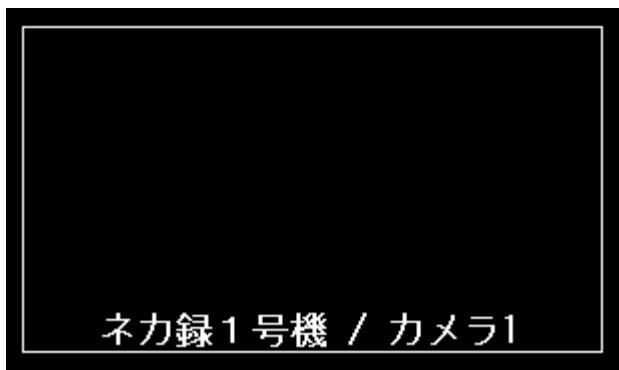
表示したいカメラが登録されているネカ録を「接続先」から選び、「カメラ名」でそのカメラを選択します。また、表示位置、表示サイズで画面上に表示する表示位置と表示サイズをドット単位で設定することができます。

既に登録されているカメラ（黒枠）と範囲指定した枠の位置が重なる場合は登録できません。

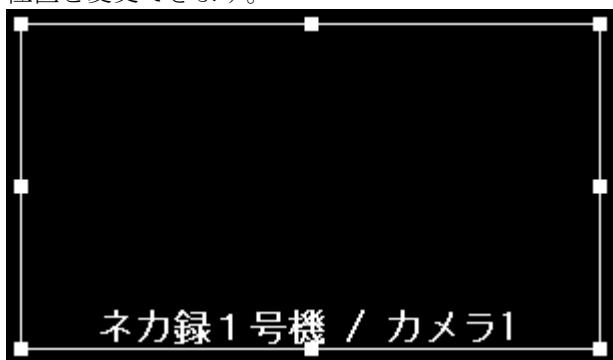
実際のカメラ映像よりも小さい枠を設定し、かつ映像の縮小表示をしたくない場合は、「映像を表示領域のサイズと形状に合わせて変形して表示する」にチェックを付けてください。

ライブ映像用と再生用とでネカ録へのカメラ登録を別に行っている場合（H.264で別フレームレートにしたい場合など）は、再生時に自動的に別カメラへ切り替えることが可能です。「別のカメラの画像を再生する」にチェックを付けた上で接続先とカメラ名を設定してください。

設定を行い「OK」ボタンをクリックすると、黒い枠の中にカメラ名が表示されます。

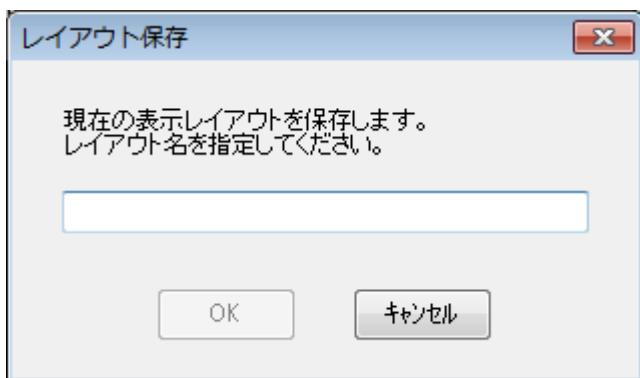


カメラ登録後も枠選択すると、枠上に四角いポイントが表示されますので、ドラッグしてサイズ、位置を変更できます。



カメラ映像は複数台登録可能です。

レイアウト作成終了後、メニューバーの「オプション」 - 「指定レイアウト保存」をクリックしてください。レイアウト保存画面が表示されますので名前を設定し「OK」ボタンをクリックしてください。



レイアウト保存を行うと、メニューバーの「オプション」の「レイアウト選択」より選択することができます。

一度保存したレイアウトを編集し、上書き保存をする場合は、メニューバーの「オプション」から「上書き保存」をクリックしてください。

### 10.5.3 レイアウト変更

レイアウト編集モード状態で、メニューバーの「オプション」から「レイアウト選択」より、変更したいレイアウトを選択してください。

画面上にレイアウトが表示され、レイアウトに登録されているカメラ位置、サイズの黒枠とカメラ名が表示されます。

サイズを変更したい場合は変更したいカメラの黒枠内を一度クリックし、表示された枠のポイントをドラッグしてください。

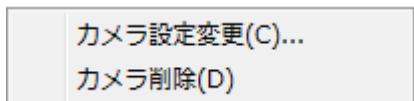
位置を変更したい場合はカメラの黒枠をドラッグしてください。



登録カメラを変更する場合はカメラ選択画面で接続先を選択し、表示されたカメラ名を変更したいカメラの黒枠にドラッグしてください。

カメラ位置の入れ替えを行いたい場合は「Shift」キーを押しながらドラッグ&ドロップしてください。

また、カメラの黒枠内を一度クリックした後に右クリックすると以下のメニューが表示されます。



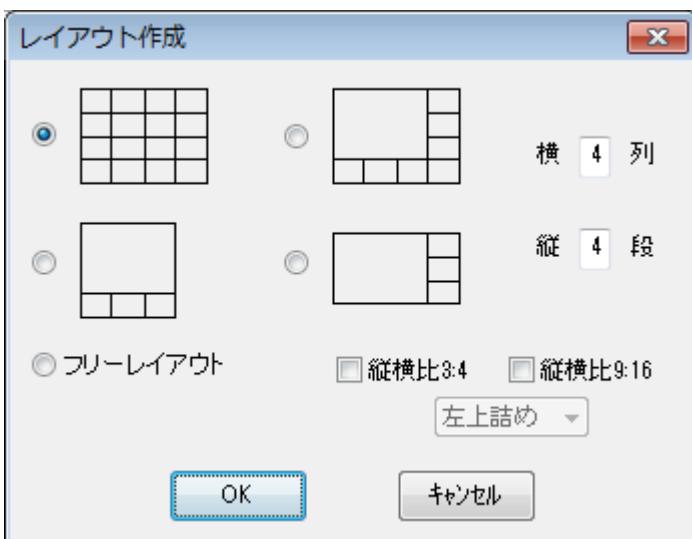
「カメラ設定変更」をクリックするとレイアウトカメラ設定画面でカメラの変更、位置、サイズの設定を行うことができます。

「カメラ削除」をクリックするとカメラの黒枠を削除することができます。

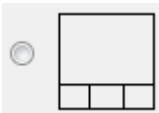
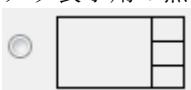
## 10.5.4 新規レイアウト作成

メニューバーの「オプション」 - 「新規レイアウト作成」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

本画面では、新しくレイアウトを作成するためのテンプレートを指定できます。



本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

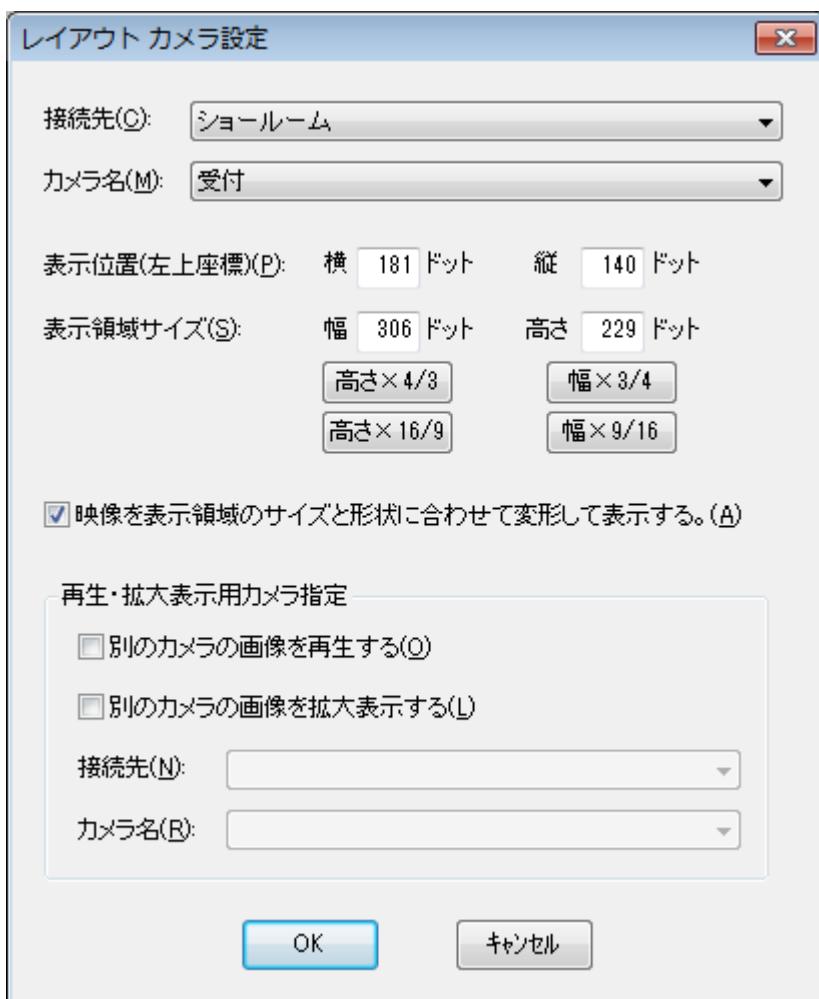
No	項目	意味と指定可能値
1	レイアウト	<p>これらから作成するレイアウトを選択してください。</p> <p>上部の2つの場合には、画面の右側の縦の列数と横の段数を指定可能です。指定した後「OK」ボタンをクリックすると、指定されたイメージでカメラ表示用の黒枠が作成されます。</p>  <p>中央の左側の場合には、横の列数のみ指定可能です。 指定した後「OK」ボタンをクリックすると、指定されたイメージでカメラ表示用の黒枠が作成されます。</p>  <p>中央の右側の場合には、縦の段数のみ指定可能です。 指定した後「OK」ボタンをクリックすると、指定されたイメージでカメラ表示用の黒枠が作成されます。</p>  <p>下部のフリーレイアウトを選択した場合には、横の列数も縦の段数も指定できません。「フリーレイアウト」を選択した場合には、「OK」ボタンをクリックした後に、設定してください。</p> <p>横：カメラ映像を横に並べる列の数を指定します。 指定可能文字：数字のみ</p>

No	項目	意味と指定可能値
		<p>指定可能値：1～9</p> <p>縦：カメラ映像を縦に並べる段数を指定します。</p> <p>指定可能文字：数字のみ</p> <p>指定可能値：1～9</p>
2	縦横比 3:4	<p>カメラ映像の縦と横の比率を 3:4 にする場合にチェックし、画面の位置を「左上詰め」または「中央寄せ」から選択してください。</p> <p>「縦横比 9:16」と同時にチェックすることはできません。</p>
3	縦横比 9:16	<p>カメラ映像の縦と横の比率を 9:16 にする場合にチェックし、画面の位置を「左上詰め」または「中央寄せ」から選択してください。</p> <p>「縦横比 3:4」と同時にチェックすることはできません。</p>
4	OK	本ボタンをクリックすると、本画面で設定した内容を元に、レイアウト画面を作成します。
5	キャンセル	本ボタンをクリックすると、本画面で設定した内容をキャンセルして、元の画面に戻ります。

## 10.5.5 カメラ設定

レイアウト枠の黒枠を選択して、マウスの右ボタンでクリックして表示される「カメラ設定変更」メニューをクリックすると、以下の画面が表示されます。

また、新規レイアウト作成時に、「フリーレイアウト」を選択し、画面上でドラッグ＆リリースして領域を決定した際にも、以下の画面が表示されます。



本画面で表示される項目とその意味及び指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	接続先	対象カメラの接続先を、接続中の接続先名一覧から選択してください。 ユニット#2のカメラを選択する場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
2	カメラ名	当該レイアウト区画の対象カメラ名を選択してください。
3	表示位置(左上座標)	表示位置を指定してください。 表示領域の左上座標(横・縦)を、ドット単位で指定してください。  指定可能文字: 数字のみ 指定可能値: 0 ~ レイアウト設計画面の領域サイズ
4	表示領域サイズ	表示領域のサイズ(幅・高さ)をドット単位で指定してください。

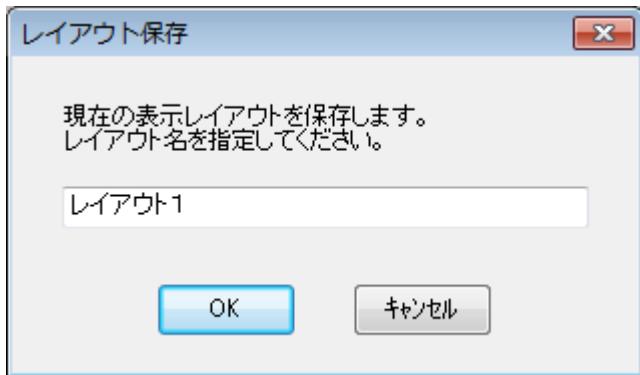
No	項目	意味と指定可能値
		<p>指定可能文字：数字のみ 指定可能値：0～レイアウト設計画面の領域サイズ</p> <p>高さ×4/3： 幅を高さの4/3に自動設定します。 高さ×16/9： 幅を高さの16/9に自動設定します。 幅×3/4： 高さを幅の3/4に自動設定します。 幅×9/16： 高さを幅の9/16に自動設定します。</p>
5	映像を表示領域のサイズと形状に合わせて変形して表示する	本項目をチェックすると、画像を縮小して表示領域に合わせるのではなく、表示領域のサイズに合わせて画像の端を削除して表示されます。
6	再生・拡大表示用カメラ指定	再生もしくは拡大表示時の対象カメラをライブ映像表示のカメラとは別のカメラにしたい場合の設定を行ないます。
7	別のカメラの画像を再生する	再生時の対象カメラをライブ映像表示のカメラとは別のカメラにしたい場合にチェックしてください。
8	別のカメラの画像を拡大表示する	拡大表示時の対象カメラをライブ映像表示のカメラとは別のカメラにしたい場合にチェックしてください。
9	接続先	
10	カメラ名	再生もしくは拡大表示時の対象カメラをライブ映像表示のカメラとは別のカメラにしたい場合に、対象カメラの接続先とカメラ名を選択します。 ユニット#2のカメラを選択する場合は、末尾に「#2」が付加された接続先を選択してください。
11	OK	<p>本画面で設定した内容を確定し、レイアウト編集画面に戻ります。設定した表示領域は、以下のように、黒い枠にカメラ名が表示されます。</p> <p>ユニット#2のカメラの場合は、接続先名は末尾に「#2」が付加された表示となります。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: center;">ネカ録1号機 / カメラ1</p>
12	キャンセル	本画面で設定した内容をクリアして、前の画面に戻ります。

「OK」ボタンをクリックしたときに表示されるメッセージは、以下の通りです。

No	メッセージ	意味	対処
1	表示可能領域に納まりません。	指定された表示位置及び表示サイズでは、現在の表示可能領域におさまりません。	現在の表示サイズに合わせて、表示位置と表示サイズを再調整してください。

## 10.5.6 レイアウト保存

設計したレイアウトの保存時に、以下の画面が表示されます。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	レイアウト名	レイアウト名を指定します。 指定可能文字：制限なし 指定可能長：1～30 バイト
2	OK	指定されたレイアウト名で保存します。
3	キャンセル	本画面での設定内容をキャンセルします。

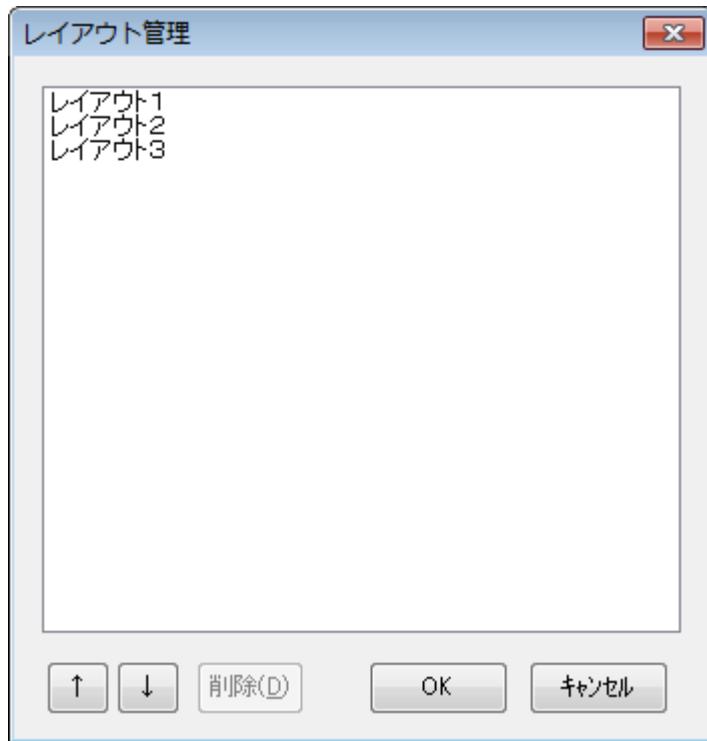
「OK」ボタンをクリックしたときに表示されるメッセージは、以下の通りです。

No	メッセージ	対処
1	指定したレイアウト名は既に存在します。上書き保存しますか？	上書き保存する場合は「はい」を、名前指定を変更する場合は、「いいえ」をクリックしてください。

## 10.5.7 レイアウト管理

メニューバーの「オプション」-「レイアウト管理」をクリックすると、以下のレイアウト管理画面が表示されます。

この画面で、レイアウトの削除及び巡回時の順序変更を行うことができます。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	レイアウト一覧	定義されているレイアウトの一覧が表示されます。
2	↑	本ボタンをクリックすると、レイアウト一覧で選択しているレイアウト名が、レイアウト一覧でひとつ上の行に上がります。 一番上に表示されているものは、クリックしても変化ありません。 本ボタンはいずれかのレイアウトを選択したときに有効になります。
3	↓	本ボタンをクリックすると、レイアウト一覧で選択しているレイアウト名が、レイアウト一覧でひとつ下の行に下がります。 一番下に表示されているものは、クリックしても変化ありません。 本ボタンは、レイアウト一覧で何かを選択したときに有効になります。
4	削除	レイアウト一覧で選択しているレイアウトが削除されます。 本ボタンは、レイアウト選択時のみ有効になります。
5	OK	設定内容を保存します。
6	キャンセル	設定内容を破棄します。

## 10.6 設定バックアップ/リストア

本節では、本ソフトウェアの設定のバックアップ/リストアについて説明します。

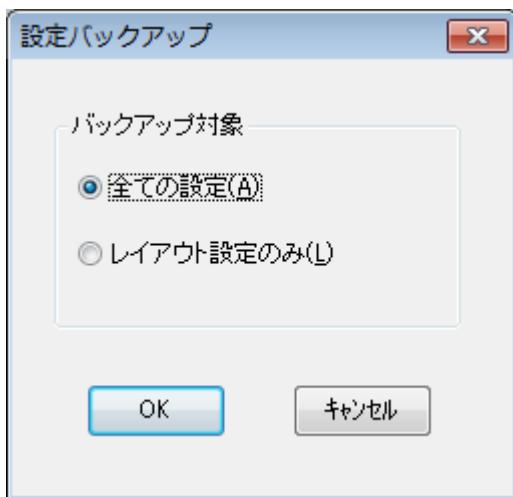


### 注意事項 :

接続先設定は、本節で説明する設定バックアップ/リストア機能の対象外となります。  
接続先設定は「c:\Program Files\atcs\conlist.csv」ファイルに保存されますので、  
このファイルをコピーすることによりバックアップ/リストアを行ってください。  
接続先設定が正しくリストアされていない場合、レイアウト設定の接続先が無効となります。

### 10.6.1 設定バックアップ

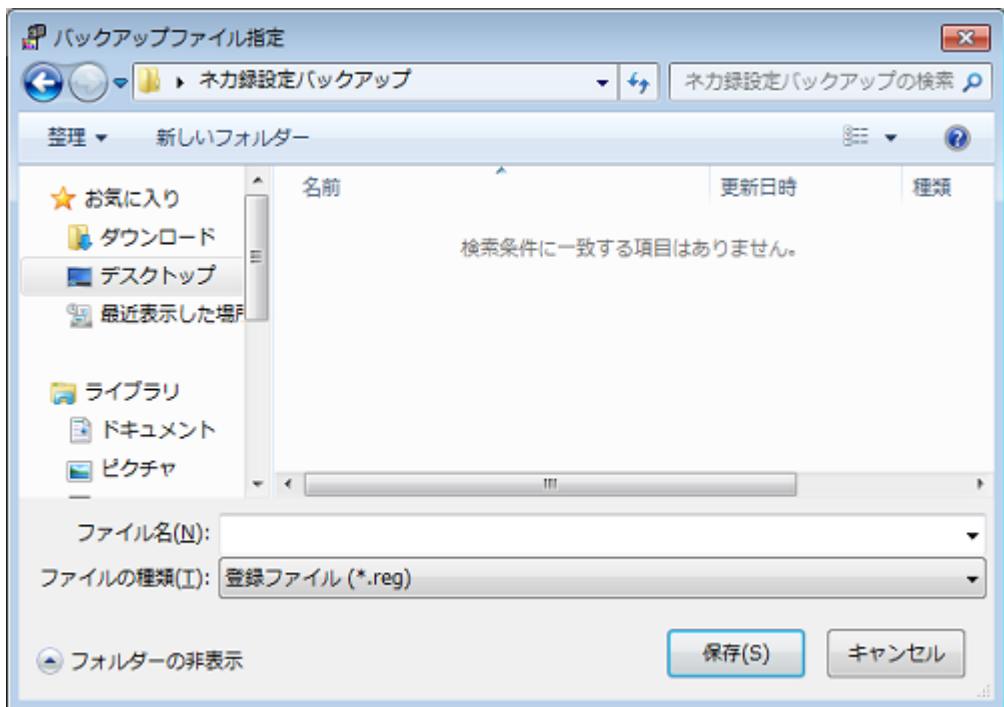
メニューバーの「設定」－「設定バックアップ」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



この画面で、バックアップ対象を選択します。

「全ての設定」を選択した場合は、本ソフトウェアに対する全設定が対象となり、  
「レイアウト設定のみ」を選択した場合は、それぞれ、レイアウト設定のみが対象となります。

なお、レイアウト設定が存在しない場合は、選択肢がグレー表示となり、選択できません。  
この画面でバックアップ対象を選択し、「OK」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面で指定したファイルにバックアップされます。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	フォルダーツリーと ファイル名	フォルダーツリーとファイル名が表示されます。 保存先のフォルダに移動してください。 既存ファイルに上書き保存する場合は、対象ファイルをクリックして選択してください。(この場合、ファイル名入力フィールドに選択したファイル名が自動入力されます)
2	ファイル名	バックアップファイル名を指定します。 本フィールドにフルパスでファイル名指定することも可能です。
3	ファイルの種類	ファイルの種類を、「登録ファイル (*.reg)」／「すべてのファイル (*.*)」のいずれかから選択してください。 ファイル名リストには、ここで選択した種類のファイルのみが表示されます。
4	保存	指定したファイルにバックアップします。
5	キャンセル	バックアップをキャンセルします。

保存ボタンをクリックしたときに表示されるエラーメッセージは以下の通りです。

No	メッセージ	対処
1	C:\\$XXXXXX\\$XXXXXX パスが存在しません。 パスを確認して再実行してください。	正しいパス名を指定してください。
2	ドライブ X: は存在しません。 ドライブを確認して再実行してください。	正しいドライブ名を指定してください。



#### 注意事項：

- 本バックアップファイルは、本ソフトウェアの設定リストア機能専用です。  
テキストエディタ等で内容を変更しないでください。
- レイアウト設定のみをバックアップしたファイルを、Ver. 2.80までの設定リストア機能で指定した場合、基本設定等の他のすべての設定が削除されてしまい、正常動作不可となります。ご注意ください。

## 10.6.2 設定リストア

メニューバーの「設定」－「設定リストア」をクリックすると、以下の画面が表示されます。本画面で指定した設定ファイルの内容を取り込みます。

なお、指定したファイルがレイアウト設定のみのバックアップファイルの場合は、その設定部分のみのリストアとなります。

レイアウト設定のみのリストアの場合は、定義済みのレイアウト設定はすべて削除され、バックアップファイル内のレイアウト設定がすべて作成されます。

基本設定などの他の設定は、リストア前後で変わりません。

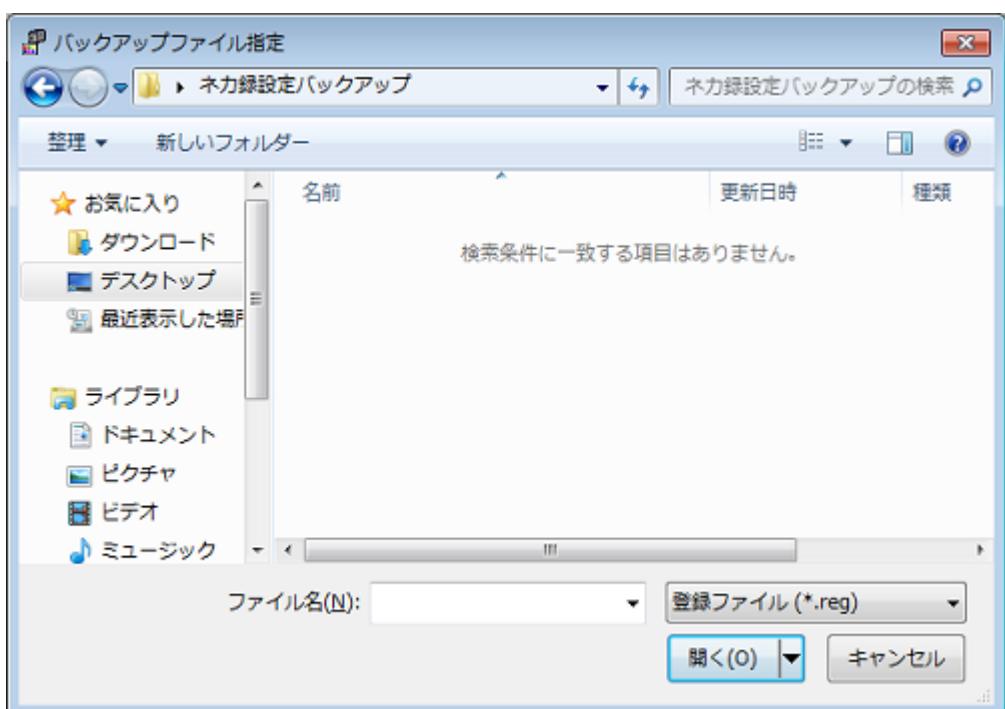


### 注意事項：

本機能の実行には、Windows の管理者権限が必要です。

権限不足の場合は、「設定リストア」メニュークリック時に、「この機能の実行には、管理者権限が必要です」とメッセージ表示されます。

この場合は、本ソフトウェアを一旦終了し、Windows のプログラムメニューの本ソフトウェアのメニューを右クリックし、「管理者として実行」メニューをクリックして起動してください。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	フォルダーツリーとファイル名	リストアするファイルの存在するフォルダに移動します。 ファイル名をクリックすると、ファイル名欄に自動入力されます。
2	ファイル名	リストアファイル名を指定します。 本フィールドにフルパスでファイル名指定することも可能です。
3	ファイルの種類	ファイルの種類を、「登録ファイル (*.reg)」／「すべてのファイル (*.*)」のいずれかから選択してください。 ファイル名リストには、ここで選択した種類のファイルのみが表示されます。
4	開く	指定したファイルの設定をリストアします。 表示される確認メッセージに対し、「はい」をクリックするとリストアが行われ、「いいえ」をクリックするとキャンセルされます。

No	項目	意味
		リストア後は、本ソフトウェアが自動で再起動します。
5	キャンセル	リストアをキャンセルします。

開くボタンをクリックしたときに表示されるエラーメッセージは、以下の通りです。

No	メッセージ	対処
1	<i>C:\\$xxxxxx\\$xxxxxx</i> パスが存在しません。 パスを確認して再実行してください。	正しいパス名を指定してください。
2	ドライブ <i>X:</i> は存在しません。 ドライブを確認して再実行してください。	正しいドライブ名を指定してください。



#### 注意事項 :

不正なファイルを読み込んだ場合や読み込みに失敗した場合には、正常に起動・動作しなくなることがあります。

その場合は、本ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールしてください。

## 11. 諸元

---

諸元値及び目安値は以下の通りです。

No	内容	値
1	定義可能なレイアウト数（目安）	64
2	ひとつのレイアウトに定義可能なカメラの最大数（目安）	81
3	表示可能な通知の最大件数（目安）	10000



### 注意事項 :

- 定義可能な最大数は、あくまでも論理的に定義可能な最大数です。実際に映像を表示させる場合には、ご使用のPC環境により上記の値より少なくなる場合があります。
- 上記の値を超えて定義できる項目もありますが、その場合には性能などに影響が出る可能性があります。

## 12. 留意事項

---

以下の留意事項があります。ご注意ください。

- ① 画像圧縮形式が H.264 の場合、表示開始が遅れることがあります。  
特にフレームレートが低い(3fps 以下)場合や頭出しフレーム間隔が大きい場合は、開始遅延が大きくなり、最大 3~4 秒程度遅延することもあります。
- ② ネカ録ビューアとスーパーマルチビューアは、同一 PC にインストールすることは可能ですが、同時に起動することはできません。
- ③ 接続先設定において、一台のネカ録を複数の接続定義名で定義しないでください。  
これを行うと、通知受信時の動作が不正となります。
- ④ 映像表示中にメインウィンドウを激しく動かした場合、表示が乱れる事があります。  
当該現象発生時には、一旦表示停止した後に再度表示を開始してください。
- ⑤ 高解像度・高フレームレート表示時は、PC 側の処理が追いつかないために、コマ数を落とした表示となる場合があります。また、負荷が極めて高い場合には、動作が不安定になる場合もあります。事前に動作確認を行い、問題ない範囲でのご使用をお願いします。
- ⑥ 巡回表示中にウィンドウサイズを変更した場合、1 頁目から自動表示再開されますが、巡回は自動再開しません。巡回を再開する場合は、ツールバーの「巡回」ボタンもしくは「ライブ映像」—「巡回」メニューをクリックしてください。
- ⑦ 非全画面表示での巡回表示中にダウンロードを行い、ライブ映像表示画面に戻った際、1 頁目から自動表示再開されますが、巡回は自動再開しません。巡回を再開する場合は、ツールバーの「巡回」ボタンもしくは「ライブ映像」—「巡回」メニューをクリックしてください。
- ⑧ 巡回表示中に「ライブ映像保存」機能を使用する可能性がある場合は、あらかじめ「基本設定」—「表示動作」—「巡回中の画像拡大表示時は、巡回を一時停止する」の設定を有効にしておき、拡大表示カメラが自動的に切り替らないようにしてください。
- ⑨ 指定レイアウトモードのレイアウト中に同じカメラの区画を複数定義しないでください。  
これを行なうと、表示フレームレートが著しく低下します。
- ⑩ ネカ録の設定を変更した場合は、必ず再接続認証を行ってください。  
特にカメラ設定の変更を行った場合、そのまま使用すると不整合が生じことがあります。

---

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。
- 本製品は、JPEG ライブラリとして「IJG」を使用しております。

---

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ ネカ録ビューアユーザーズガイド

説明書番号 90B0-DL-1139L

2017年11月1日 発行

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

東京都港区芝浦 4-6-8

---

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ

ネ力録 統合管理ツール  
ユーザーズガイド

# はじめに

この説明書は、ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」の「ネカ録統合管理ツール」の概要、機能、および各画面について説明しています。

## ■ 本書の構成

### 第1章 概要

ネカ録統合管理ツールの概要、システム構成について説明します。

### 第2章 基本操作

ネカ録統合管理ツールの起動・終了、ログイン等の基本操作について説明します。

### 第3章 機能

ネカ録統合管理ツールで利用できる機能について説明します。

### 第4章 設定

設定の流れ、設定手順に利用するための設定手順を説明します。

### 第5章 各種画面詳細

ネカ録統合管理ツールの各画面について説明します。

### 第6章 諸元

諸元について説明します。

### 第7章 付録

関連するツールの利用手順について説明します。

## ■記号の説明



：注意事項を記載しています。

---

登録商標、商標

本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本表示および本文中の各社の登録商標または商標は、正式な表示を省略しています。

# 目次

<b>1 概要</b>	<b>1</b>
1.1 システム構成例	1
1.2 動作環境	2
1.3 ユニットについて	3
1.3.1 ユニットの種類について	3
1.3.2 ライブユニットの使用例	4
1.3.3 標準ユニットの使用例	5
<b>2 基本操作</b>	<b>7</b>
2.1 起動	7
2.1.1 WEB ブラウザからの直接起動	7
2.1.2 「接続先サテライト設定ツール」から起動	7
2.2 画面遷移	11
2.3 ネカ録との情報のやり取りを行っているときの注意点	13
2.4 終了	13
2.5 セッション管理	14
<b>3 機能</b>	<b>15</b>
3.1 ネカ録統合管理ツールの機能一覧	15
3.1.1 ユーザーレベルによる制限	16
<b>4 設定</b>	<b>17</b>
4.1 設定の流れ	17
4.1.1 初期導入時	17
4.1.2 設定変更時	19
4.2 カメラ定義以外の設定画面の基本操作	20
4.3 ネットワークカメラの設定	25
4.3.1 カメラの登録	26
4.3.2 カメラの設定	31
4.4 ネカ録の機能とその設定	36
4.4.1 ネカ録の機能一覧	36
4.4.2 事前準備	38
4.4.3 録画・録音機能	55
4.4.4 通知機能	87
4.4.5 セキュリティ機能	98
<b>5 各種画面</b>	<b>104</b>
5.1 メニュー画面	104
5.2 接続ユーザー画面	107
5.3 接続カメラ画面	109
5.4 録画確認画面	110
5.5 ログ参照画面	111
5.6 情報表示画面	113
5.7 ダウンロード画面	114
5.8 バックアップ画面	116
5.9 リストア画面	118
5.10 アップデート画面	123

5.11 セキュリティ画面 .....	125
5.12 録画消去画面 .....	126
5.13 LAN 設定 .....	128
5.14 ネコ録設定ツール .....	132
5.14.1 セキュリティ設定 .....	135
5.14.2 時刻設定 .....	137
5.14.3 定期リブート設定 .....	139
5.14.4 通知設定 .....	141
5.14.5 異常検知設定 .....	146
5.14.6 ネコ録共通設定 .....	148
5.14.7 カメラ設定 .....	150
5.14.8 センサー設定 .....	158
5.14.9 通常録画 条件設定 .....	161
5.14.10 通常録画 スケジュール設定 .....	163
5.14.11 動き検知 録画設定 .....	165
5.14.12 動き検知 スケジュール設定 .....	173
5.14.13 センサー入力時 条件設定 .....	175
5.14.14 センサー入力時 スケジュール設定 .....	177
5.14.15 例外スケジュール設定 .....	179
5.15 ユーザー設定画面 .....	184
5.16 電源 .....	188
<b>6 諸元 .....</b>	<b>190</b>
<b>7 付録 .....</b>	<b>191</b>
7.1 動き検知関連区画設定ツール .....	191
7.1.1 JPEG 動き検知区画設定ツール .....	191
7.1.2 MELOOK3 MD 設定ツール .....	191

# 1 概要

ネカ録統合管理ツールは、ネカ録の設定、運用・保守を目的としたブラウザベースのツールです。利用できる主な機能は、以下の通りです。

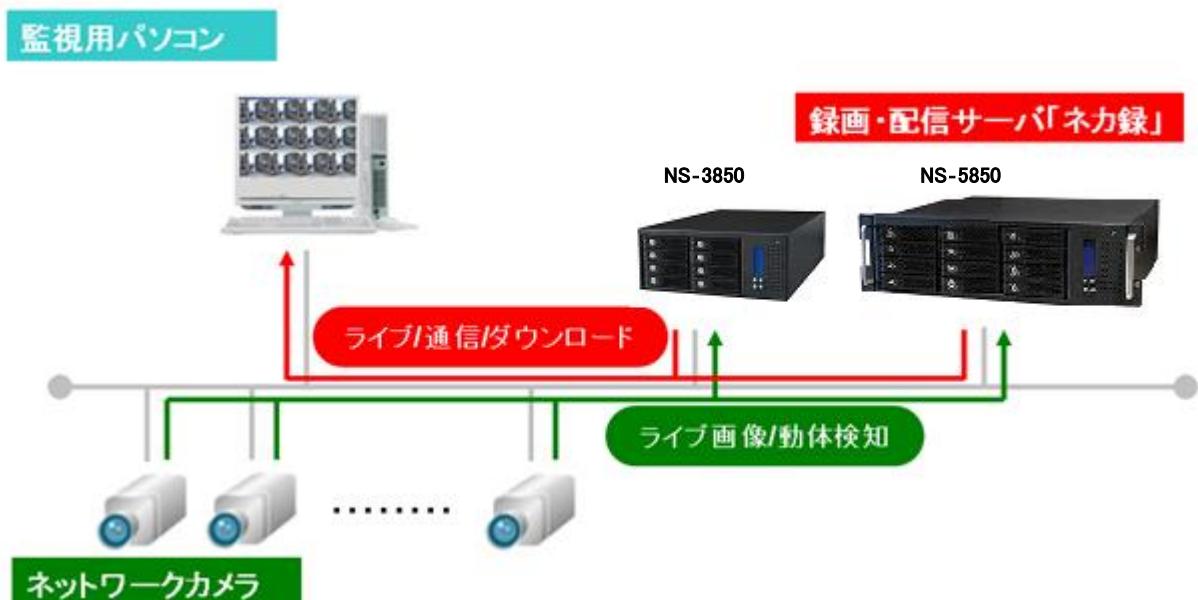
- ネカ録の状態確認  
ネカ録に接続中のカメラやユーザーの確認、録画状況の確認、ログ参照など
- ネカ録の設定・操作  
ソフトウェアダウンロードやネカ録の設定、カメラの定義やメンテナンスなど

本章では、ネカ録統合管理ツールの構成について説明します。

## 1.1 システム構成例

次の図は、ネカ録のシステム構成例です。

ネカ録統合管理ツールは、監視用パソコンなどからブラウザでネカ録に接続して利用します。



### 注意事項

- 統合管理ツールの利用にあたり、プロキシ経由でのネカ録へのアクセスは行わないで下さい。
- ネットワークの設定をする場合には、かならず、ローカルなネットワーク環境上に接続された PC から実施してください。
- 統合管理ツールは、ルータでアドレス変換を行った環境からネカ録への接続するような場合は使用しないでください。

## 1.2 動作環境

ネ力録統合管理ツールを利用するための環境は、次のとおりです。

ハードウェアは推奨を記載していますが、OSの動作が十分可能なハードウェアをご利用ください。

項目	内容
動作 OS	Windows 7 Professional (Service Pack1 以降) Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro
動作ブラウザ	Internet Explorer 11 Edge (Windows10のみ)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上推奨
メモリ	2GB 以上推奨
ディスク	100MB 以上推奨
解像度	1280×1024 ピクセル以上を推奨
接続可能なネ力録	ネ力録 5 (ネ力録2.0/3.0/3.2/4.0では本ツールは利用することができません)

### ⚠ 注意事項

- ネ力録統合管理ツールの設定機能で、設定したカメラの映像を確認する場合には、あらかじめ「ネ力録ビューア」または「スーパーマルチビューア」の設定を済ませておく必要があります。
- ネ力録統合管理ツールの設定機能で、動き検知などを区画別に設定する場合、あらかじめ「動き検知関連区画設定ツール」より、区画の設定をする必要があります。
- 他のアプリケーションを同時に動作すると、負荷が高くなり正常動作できない場合があります。
- 解像度は、横幅を 850 ピクセル以下にした場合、設定ツールの操作バーなどの画面が正常に表示されない場合がありますので、ご注意ください。
- ネ力録統合管理ツールをご利用の際は、必ず、画面を最大化してご利用ください。
- ネ力録統合管理ツールをご利用の際は、画面を 100%のズームでご使用ください。倍率を大きく、または小さくしますと、一部の表示が重なったりしますので、ご注意ください。

## 1.3 ユニットについて

ネカ録5より、カメラ管理をグループ化し、その単位に対して“ユニット”という概念を導入しました。

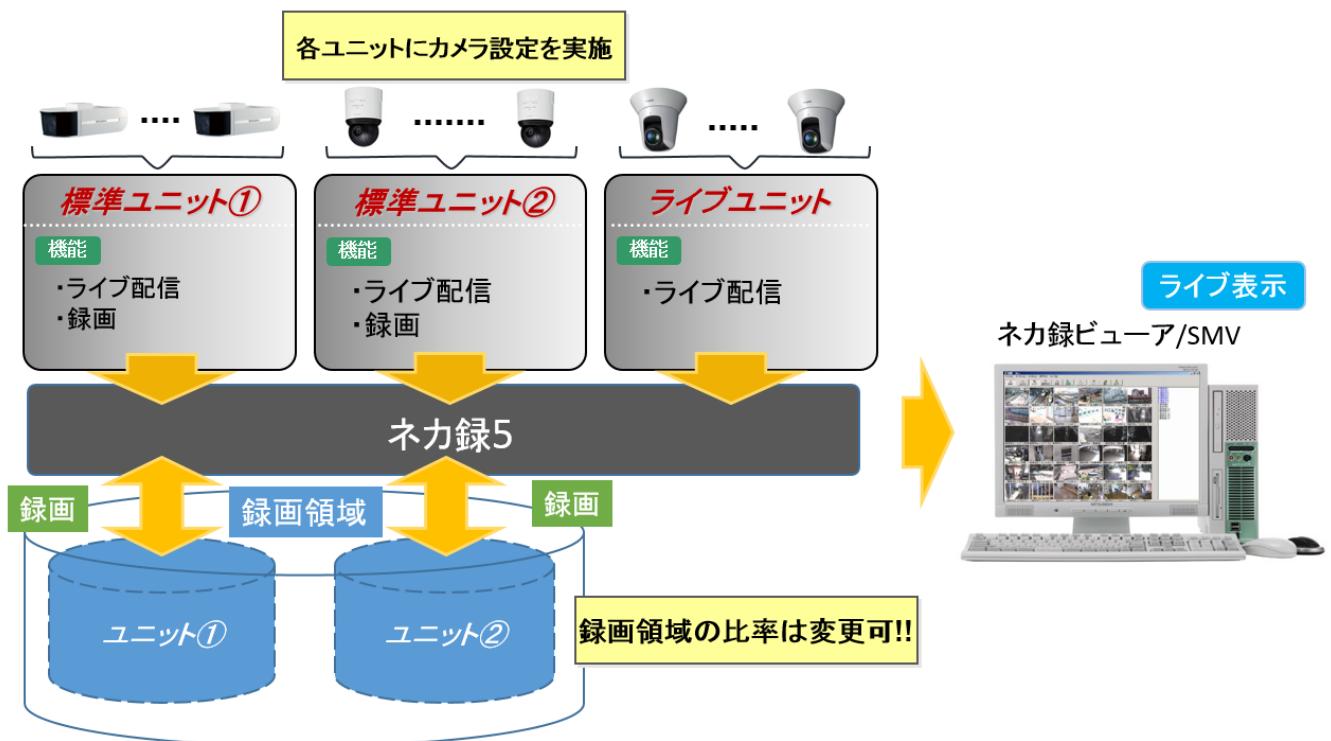
“ユニット”には、「標準ユニット」と「ライブユニット」の2種類があります。

### 1.3.1 ユニットの種類について

「標準ユニット」とは、これまでのネカ録のカメラ管理の概念と同じであり、カメラ設定をすることで、ライブ映像の配信と録画ができます。

これに対して「ライブユニット」とは、ネカ録5からの新しい概念です。「ライブユニット」では、ライブ映像の配信のみができます。（映像配信専用なので、録画設定を実施することはできません。）

これらのユニットを組み合わせることにより、より柔軟で高度なシステムを構成することが可能となりました。



ネカ録5では、全機種に標準ユニットが2つ、ライブユニットが1つ定義されていますが、それぞれのユニットに定義できるカメラ数は、機種により異なります。

各機種に設定可能なカメラ数は、以下のとおりです。

機種	定義可能なカメラ台数	
	標準ユニット	ライブユニット
NS-5850	64カメラ × 2ユニット 合計：128カメラ	64カメラ × 1ユニット 合計：64カメラ
NS-3850	32カメラ × 2ユニット 合計：64カメラ	32カメラ × 1ユニット 合計：32カメラ
NS-1850	16カメラ × 2ユニット 合計：32カメラ	16カメラ × 1ユニット 合計：16カメラ

次節にそれらのユニットの具体的な使い方の例を記載します。

### 1.3.2 ライブユニットの使用例

ライブユニットの主な用途は、同一カメラ映像を異なる解像度で録画しながらライブ配信する設定における、ライブ配信用としてご使用ください。

具体的には、高解像度、高フレームレートで映像を配信しますと、使用しているパソコンやネットワークに大きな負荷がかかります。そのため、ライブ映像は、低解像度、高フレームレートで設定することで、使用しているパソコンやネットワークの負担が軽減し、配信される映像をなめらかにすることが可能となります。（より詳細な映像は、標準ユニットを使用して録画をしておき、映像の確認が必要となったときに、こちらの映像を再生して確認を行います。）このような設定における、ライブ映像配信用に、ライブユニットを利用することができます。

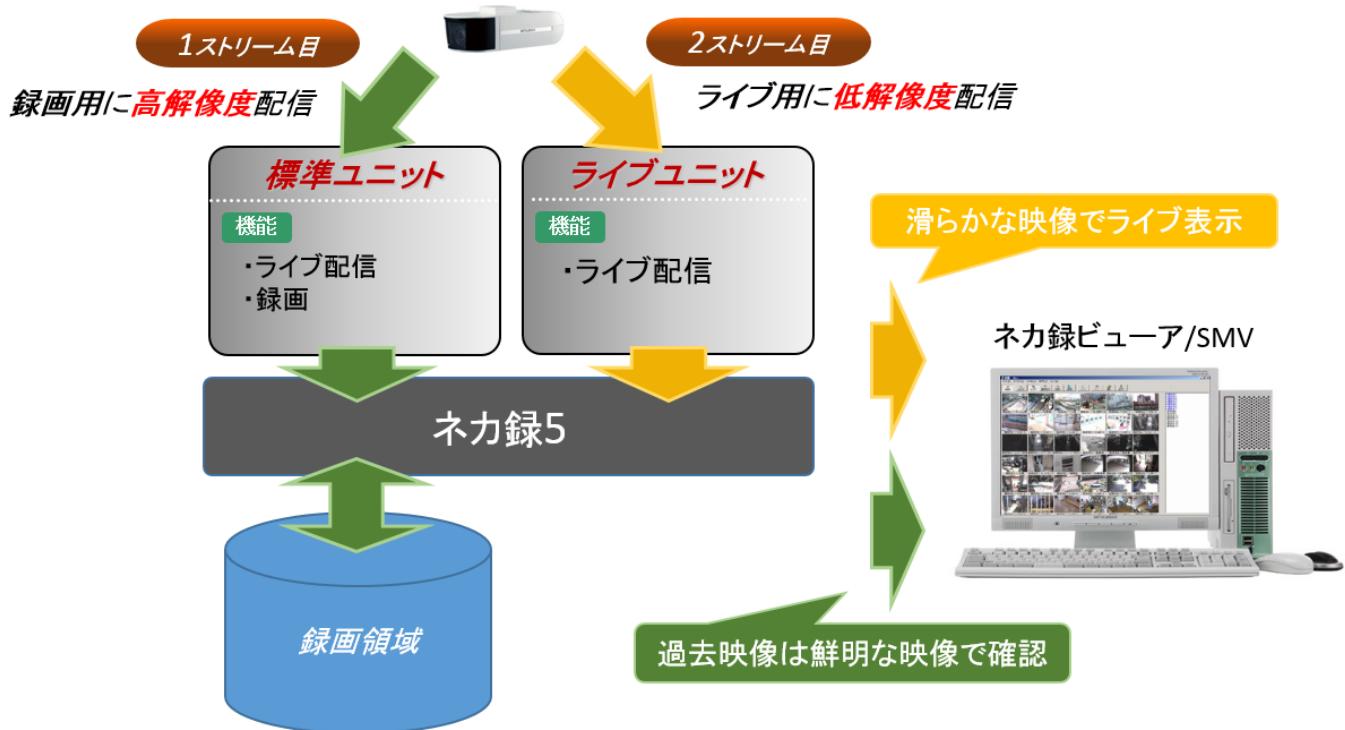
使用例：

標準ユニット：

解像度：FHD(1920×1080)、フレームレート：10fps

ライブユニット：

解像度：HVGAW(640×360)、フレームレート：15fps



標準ユニットとライブユニットを使い分けることで、鮮明な映像を録画し、ビューアでなめらかな映像を視聴することができます。

#### !**注意事項**

- 同一カメラの映像を異なる解像度で受信する設定を行うためには、カメラ側の設定が必要になる場合があります。また、カメラによっては、設定できないものもあります。詳細は、カメラ側の仕様をご確認ください。

### 1.3.3 標準ユニットの使用例

2つの標準ユニット（以下、ユニット1、ユニット2と呼称する）は、録画領域を共有し、デフォルトでは、録画領域を50%ずつに分割しています。各ユニットで使用する録画領域の比率は、ユニット毎のカメラ構成やスケジュールにあわせて、柔軟に設定することができます。（録画領域の設定は、5.14.6 ネカ録共通設定をご参照ください）以下に示す1コマあたりの平均画像容量から各標準ユニットの録画領域の比率を計算し、設定することができます。

1コマあたりの平均画像容量

圧縮形式	動き	QVGA (320×240)	HVGAW (640×360)	VGA (640×480)	HD (1280×720)	SXVGA (1280×960)	FHD (1920×1080)
H. 264	多	3	7	8	20	25	60
	少	2	4	5	10	15	30
JPEG	-	13	30	40	85	120	190

単位:KB

#### 使用例①:

ユニット1、ユニット2にカメラ数が均等になるように設定を実施し、1コマあたりの平均画像容量から各ユニットの録画領域の比率を計算します。

例: NS-3850(録画容量 24TB)で以下のカメラ40台を録画する場合

- ・圧縮形式:H. 264、動き:多、解像度:FHD、フレームレート:5fpsのカメラ10台
- ・圧縮形式:H. 264、動き:少、解像度:HVGAW、フレームレート:15fpsのカメラを30台

ユニット1にはFHDのカメラ10台とHVGAWのカメラ10台を設定し、ユニット2にはHVGAWのカメラ20台を設定します。

ユニット1の1秒当たりに使用する録画容量:

$$60(\text{KB}) \times 5(\text{fps}) \times 10(\text{台}) + 4(\text{KB}) \times 15(\text{fps}) \times 10(\text{台}) = 3600(\text{KB})$$

ユニット2の1秒当たりに使用する録画容量:

$$4(\text{KB}) \times 15(\text{fps}) \times 20(\text{台}) = 1200(\text{KB})$$

ユニット1とユニット2の録画領域の比率:

$$\text{ユニット1:ユニット2} = 100 \times 3600 \div (3600 + 1200) : 100 \times 1200 \div (3600 + 1200) = 75\% : 25\%$$

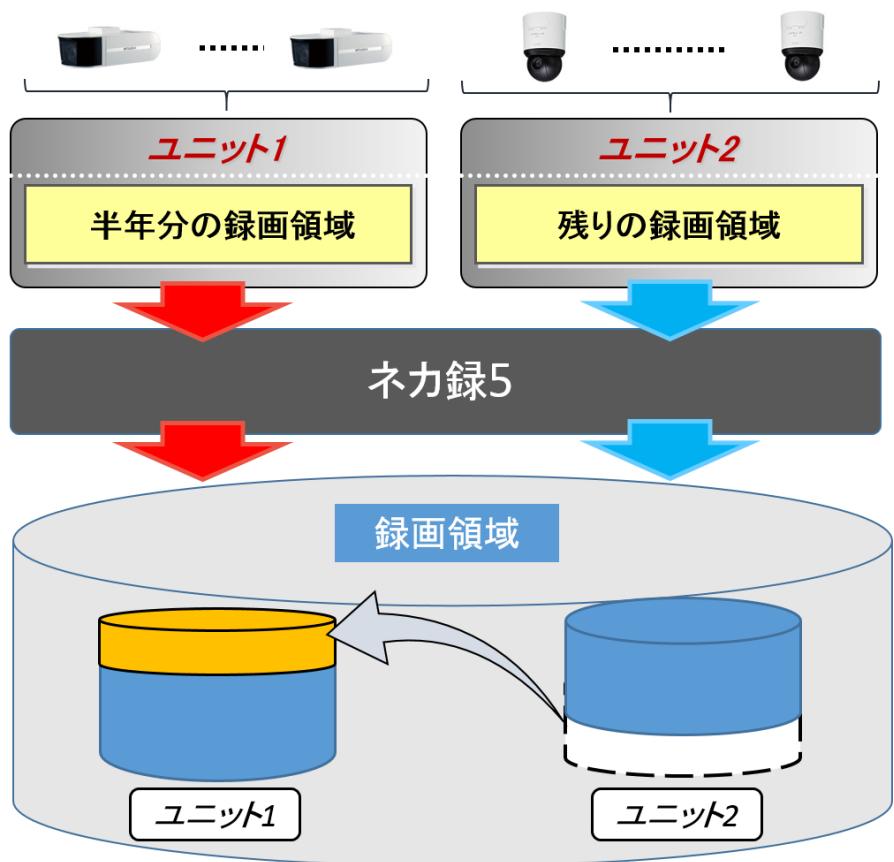
## 使用例②:

録画する期間で標準ユニットに設定するカメラを分けて、各標準ユニットの録画領域の比率を計算します。録画する期間が決まっているカメラの設定を分けることで、録画領域を効率的に使用することができます。

例: NS-3850(録画容量 24TB)で以下のカメラ 10 台を録画する場合

- ・圧縮形式:H. 264、動き:多、解像度:HD、フレームレート:5fps のカメラ 10 台(録画期間は半年間)

ユニット 1 には HD のカメラ 10 台を半年間録画できるだけの録画領域を設定し、残りの録画領域はユニット 2 に振り分けます。



ユニット 1 に必要な録画容量:

$$20(\text{KB}) \times 5(\text{fps}) \times 10(\text{台}) \times 24(\text{時間}) \times 3600(\text{秒}) \times 181(\text{日}) = 15.6384(\text{TB})$$

ユニット 1 に必要な録画領域:

$$15.6384 \div 24 \times 100 = 65.16\%$$

ユニット 1 とユニット 2 の録画領域の比率:

$$\text{ユニット 1:ユニット 2} = 66\% : 34\%$$

## 2 基本操作

本章では、ネカ録統合管理ツールの起動・終了、ログイン等の基本操作について説明します。

### 2.1 起動

ネカ録統合管理ツールを利用するには、ログイン画面を開き、ユーザー認証する必要があります。

ログイン画面を開く手順は2通りありますが、ネカ録 統合管理ツールを初めて利用する場合、また「接続先サテライト設定ツール」をインストールしていない場合は、「2.1.1 WEB ブラウザからの直接起動」の手順で実行してください。

#### 2.1.1 WEB ブラウザからの直接起動

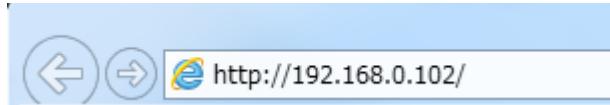
(手順1) ブラウザを開きます。

(手順2) 以下の URL を指定し、Enter キーを押します。

URL : `http://(ネカ録の IP アドレス) /`

例：出荷時のネカ録の IP アドレス（192.168.0.102）の場合

「`http://192.168.0.102/`」と指定してください。



#### 2.1.2 「接続先サテライト設定ツール」から起動

(手順1) ネカ録5の「接続先サテライト設定ツール」を起動します。

(手順2) 接続先の一覧から今回接続する接続先を選択します。（選択すると、背景が青になります）

(手順3) 「接続」ボタンをクリックします。

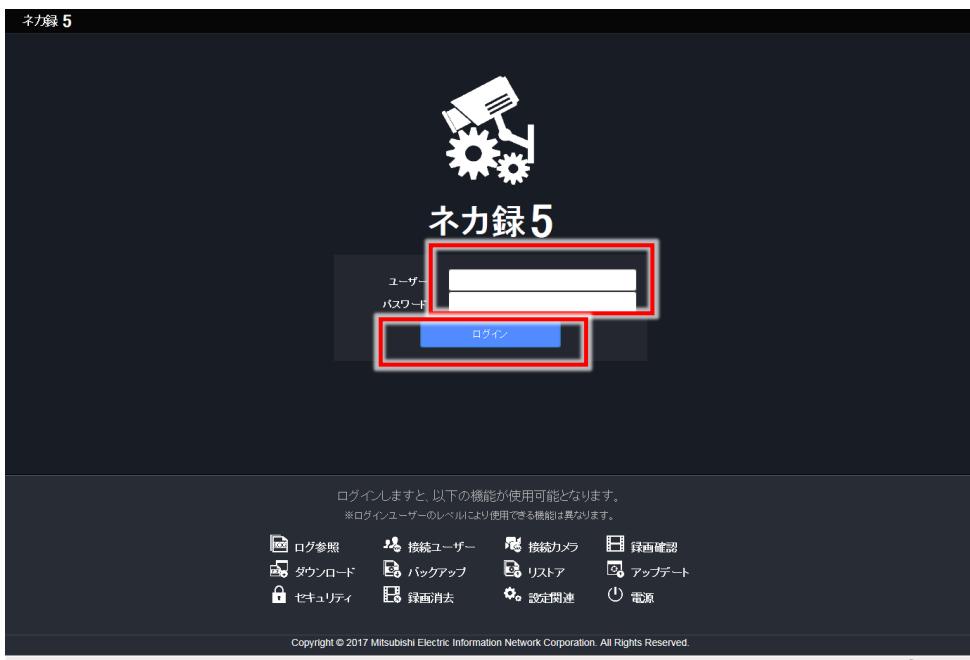


ネカ録 5 の「接続先サテライト設定ツール」は、ネカ録 統合管理ツールの「ダウンロード」画面より入手できます。インストール、および 接続先の追加は、「ネカ録ビューアユーザーズガイド」または「スーパーマルチビューアユーザーズガイド」をご参照ください。

ログイン画面が表示されたらユーザー認証を行い、メニュー画面に遷移します。手順は、以下です。

(手順1) ユーザー、パスワードを入力します。

(手順2) ログインボタンをクリックします。



設定出荷時に登録済みのユーザーは、以下の通りです。

ユーザー名	出荷時のパスワード	ユーザーレベル
L7admin	neca6GO!	管理者
userman	999999	5
L1user	111111	1

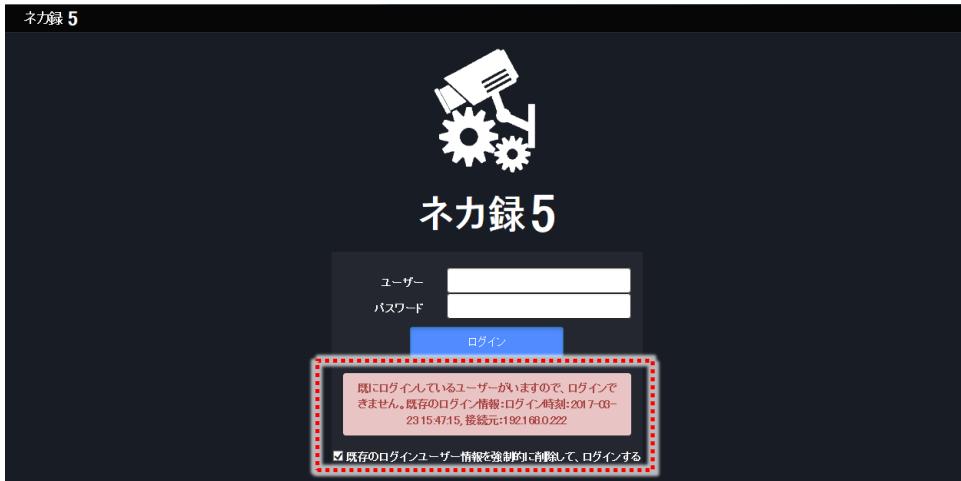
### ⚠ 注意事項

- 本ツールにてネカ録の設定を行う場合には、管理者ユーザー（L7admin）をご使用願います。
- 従来の管理者ユーザー：NecarokuManager は、本版には定義されていません。
- ビューアーで、NecarokuManager でログインしている環境をそのまま使いたい場合には、ネカ録 5 上に、「NecarokuManager」という名前で、ユーザーレベル「5」のユーザー（パスワードは従来の値を設定）を定義してご使用ください。また本ツールは、ログイン数に以下の制限があります。

ユーザーレベル	ログイン可能な数
1~2	ログインできません。
3~4	他のユーザーがログインしていても、合計 50 ユーザーまでログイン可能です。
5 及び 管理者ユーザー	1 ユーザーのみログイン可能です。（既に左記のレベルでログインしているユーザーがいる場合には、エラーとなります）

（ユーザーレベルについては、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」をご参照ください。）

- ログイン時に、以下のような画面が表示されることがあります。



この画面が表示されるのは、次のいずれかの状態のときです。

- レベル 5 ユーザー、又は管理者ユーザーが既にログインして操作している状態
- レベル 5 ユーザー、又は管理者ユーザーがログアウトせずにブラウザを閉じたなど、ログインユーザー情報が残っている状態

メッセージの末尾に既存のログイン情報（ログイン時刻、接続元）が表示されますので、確認の上、既存の接続を切断しても問題ない場合は、以下の「強制的にログインする場合」の手順でログインしなおしてください。

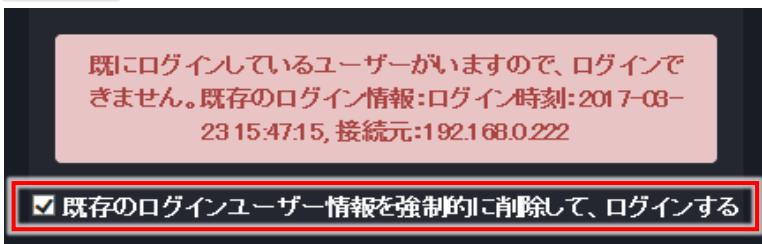
### ■強制的にログインする場合

（手順1） 「既存のログインユーザー情報を強制的に削除して、ログインする」をチェックします。

（手順2） ユーザー、パスワードを入力します。

（手順3） ログインボタンをクリックします。

 拡大 上記画面の赤の点線内



### 注意事項

- ネカ録と通信する操作実施後、無操作のまま 1 時間が経過すると、クライアント PC とネカ録間の接続（以下、「セッション」と記載します）を切断します。
- セッションを切断された場合、ネカ録と通信する操作をすると自動的にログイン画面に遷移します。
- セッションを切断された場合、ネカ録に反映していない設定情報は削除されますので、ご注意ください。

- ユーザーレベルによって、利用できる機能が異なります。  
詳細は、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」をご参照ください。
- ビューアにおいて、管理者ユーザー（L7admin）でログインしますと、ライブ映像の参照はできません。詳細は、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」をご参照ください。

## 2.2 画面遷移

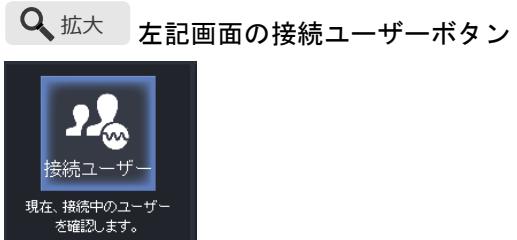
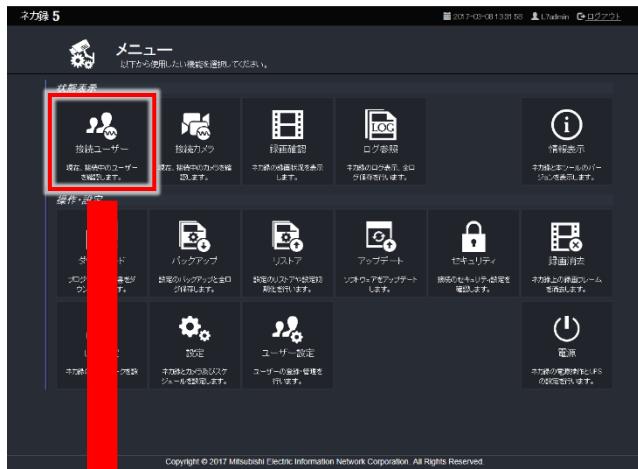
ログインに成功しますと、各機能へのページに入ることができるメニュー画面に遷移します。

以下、メニュー画面から各機能の画面への遷移と、各機能の画面からメニュー画面に戻る手順を説明します。

### メニュー画面から各機能の画面を開く

(手順1) メニュー画面で利用したい機能のアイコン上をクリックします。

例：接続ユーザー画面を開く場合



アイコン上にカーソルを移動すると、上記のようにアイコンが青い枠で囲まれます。

青い枠で囲まれた状態でクリックすると

画面遷移します。

### 各機能の画面からメニュー画面に戻る

(手順1) 各機能画面には、上部にネカ録5の操作バーがあります。

操作バーのリンク「メニュー」をクリックし、メニュー画面に戻ります。

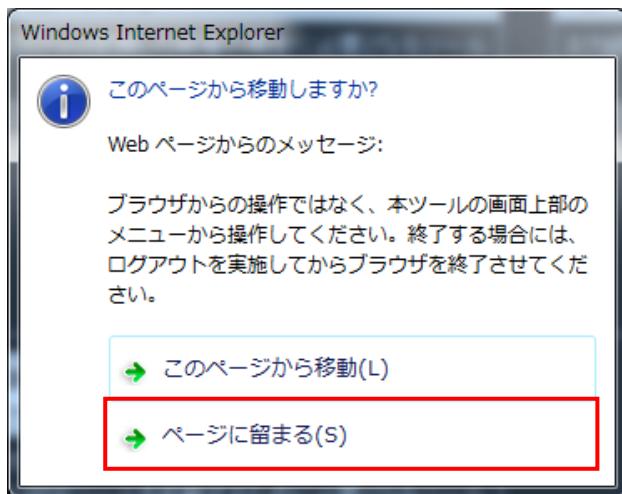
拡大 上記接続ユーザー画面の赤の点線内





## 注意事項

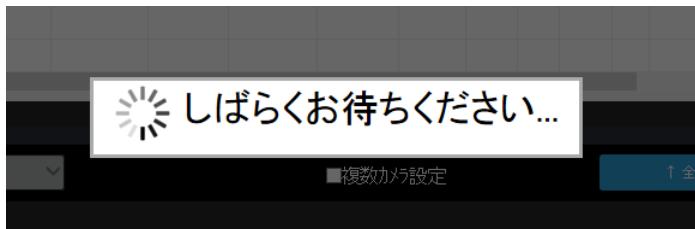
- 画面遷移する際、ブラウザの機能（戻る、進む、閉じる、URL を指定して移動）などは、利用しないでください。
- 利用した場合、以下のメッセージが表示されますので、「ページに留まる」をクリックしますとブラウザ機能で行った操作がキャンセルされます。



## 2.3 ネ力録との情報のやり取りを行っているときの注意点

ネ力録との情報のやり取りを行っているときには、以下のようなメッセージが表示され、画面からの入力ができなくなります。

このようなメッセージが表示され、画面に入力ができない状態の時には、ブラウザ画面の操作やブラウザを終了させる等の操作は、行わないで下さい。



### 注意事項

- のマーク付きのメッセージが出ているときには、操作を行わないで下さい。

## 2.4 終了

ネ力録統合管理ツールを終了する場合は、ブラウザを閉じる前に必ずログアウトを実施してください。

(手順1) ネ力録5の操作バーのリンク「ログアウト」をクリックします。



### 【補足情報】ネ力録5の操作バーについて

ネ力録5の操作バーとは、各画面の上部にあるバーのことです。これまでに説明した リンクの「ログアウト」、「メニュー」以外にも以下の2つの情報を表示します。

2017-03-23 18:08:26 : ログイン日時を表示しています。

L7admin : ログインユーザーを表示しています。

## 2.5 セッション管理

ネカ録統合管理ツールは、ログイン画面で認証を行うとクライアントPCとネカ録間の接続に関する情報（セッション情報）を作成し、ログアウトすると削除されます。

ただし、セキュリティ対策や操作上やむを得ずセッション情報を削除する場合やセッション情報は設定などで保存した情報などの管理にも利用されているため、削除に伴いネカ録に反映する前の情報が失われるなど影響がでる場合があります。

ご使用の際は、以下の点にご留意ください。

### ■ログアウト以外でセッション情報が削除される場合

以下の場合、セッション情報が削除されます。

- LAN設定画面で、LAN1、LAN2の設定を変更した場合
- ネカ録のリブート、シャットダウンをした場合
- 他ユーザーが強制的にログインした場合  
(「2.1起動」の■強制的にログインする場合を参照してください)
- ネカ録と通信しない時間が1時間続いた場合

#### 【ネカ録と通信する操作】

以下、操作を行うと、行ったタイミングから1時間はセッションが継続されます。

- メニュー画面から各機能への画面遷移
- 設定ツールメニューから設定画面の遷移
- 設定以外の画面のボタン押下
- LAN設定画面、又はユーザー設定画面の「設定を反映する」ボタンを押下
- 設定ツールで「保存情報をネカ録に反映する」、「リスタート」ボタンを押下

### ■セッション情報が削除された場合の影響

以下の場合、セッション情報が削除されると以下の影響がありますのでご注意ください。

- LAN設定画面、又はユーザー設定画面を編集中の情報が失われます。
- 設定ツールで編集中の情報、および「設定を保存する」で設定保存した情報が失われます。

### 3 機能

本章では、ネカ録統合管理ツールで利用できる機能について説明します。

#### 3.1 ネカ録統合管理ツールの機能一覧

番号	分類	機能	概要	詳細
1	状態確認	接続ユーザー	ユーザーのログイン状態を表示する機能です。 ネカ録とクライアントの接続に関し、接続の上限（接続セッション数、同時接続可能 PC 台数、同時再生・ダウンロード数）がありますので、上限を超えてるか否かを確認できます。	5. 2
2		接続カメラ	ネカ録に登録したカメラの接続状態を表示する機能です。 ビューアに正常に映像が配信されていない場合や、ビューアがない状態でカメラの接続状況を確認したい場合などにご利用ください。	5. 3
3		録画確認	ネカ録に録画状況を表示する機能です。 録画期間の確認や1時間に必要な容量などの確認ができます。 また、ユニットが複数ある場合は、録画領域設定の調整などにもご活用ください。	5. 4
4		ログ参照	ネカ録の各種ログの表示、および全ログ (necalog.log) のダウンロードをします。	0
5		情報表示	ネカ録の機種やソフトウェアのバージョンを表示します。	5. 6
6	操作・設定	ダウンロード	プログラム及び説明書のダウンロードをします。	5. 7
7		バックアップ	設定情報 (Config_V5.tar.gz 及び neca5ini.conf) 及び全ログ (necalog.log) をダウンロードします。	5. 8
8		リストア	設定ファイル (Config_V5.tar.gz) 及び、設定情報ファイル (ネカ録 4.0 のINIファイル、及びネカ録 5 のneca5ini.conf) をネカ録にリストアします。 また、設定を初期化します。	5. 9
9		アップデート	ネカ録のアップデートを実行します。	0
10		セキュリティ	ネカ録のセキュリティ情報（ターミナル接続の状態、パケットフィルタの状態、及び接続ポート番号）を表示します。	5. 11
11		録画消去	ネカ録上に録画されている映像情報を削除します。	5. 12
12		LAN 設定	ネカ録のネットワークを設定します。	5. 13
13		設定	ネカ録の設定ツールです。ネカ録に接続する機器、および録画等の設定を行います。	5. 14
14		ユーザー設定	ネカ録のユーザーを設定します。	5. 15
15		電源	ネカ録の電源操作（シャットダウン、及びリブート）、及び UPS ドライバの設定を行います。	5. 16

### 3.1.1 ユーザー レベルによる制限

ネカ録統合管理ツール、およびビューアには、ユーザー レベルによって利用できる機能、操作に制限があります。以下の表にて、ご確認ください。

機能	ユーザー レベル					管理者
	1	2	3	4	5	
統合管理ツール	接続ユーザー			●	●	●
	接続カメラ			●	●	●
	録画確認			●	●	●
	ログ参照					●
	情報表示		●	●	●	●
	ダウンロード					●
	バックアップ				●	●
	リストア					●
	アップデート					●
	セキュリティ					●
	録画消去					●
	LAN 設定					●
	設定					●
	ユーザー設定					●
ネカ録 ビューア	一般ユーザー設定					●
	ユーザー設定					●
	管理者パスワード変更					
	電源					●
ネカ録 ビューア	ライブ映像の閲覧操作	●	●	●	●	●
	PTZ 制御		●	●	●	●
	録画画像の再生			●	●	●
	録画画像のダウンロード				●	●

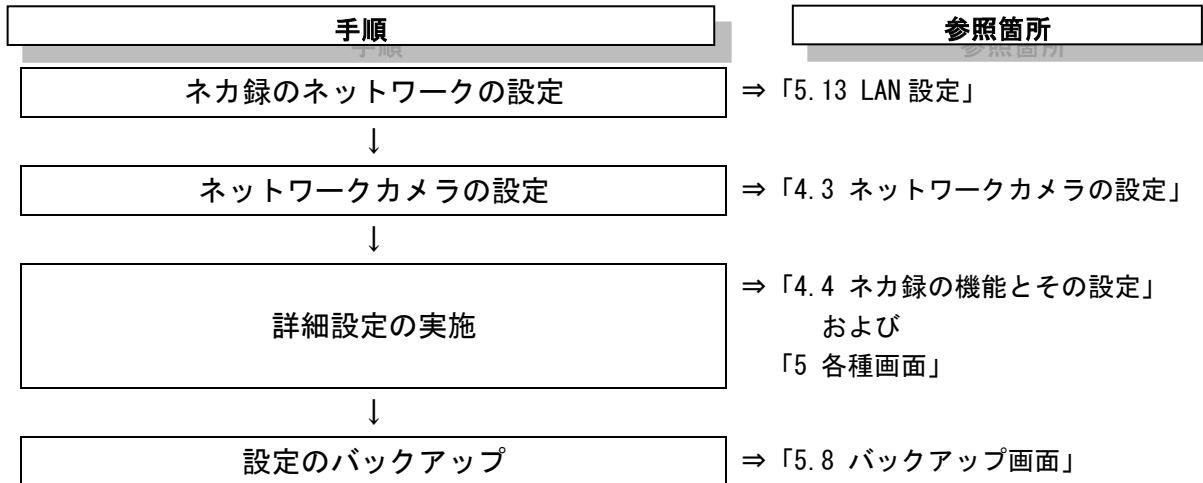
# 4 設定

本章では、ネカ録統合管理ツールを使用した設定について説明します。

## 4.1 設定の流れ

### 4.1.1 初期導入時

ネカ録の設定は、下図の手順で行ってください。



### 手順に関する説明

#### (手順1) ネカ録のネットワーク設定

出荷直後のネカ録の設定は初期値のままになっているので、ネットワークの設定など、設置環境に合わせて設定する必要があります。詳細は、「5.13 LAN 設定」を参照してください。



## (手順2) ネットワークカメラの設定

ネカ録設定ツールを使用して、ネカ録で管理するカメラの登録など基本的な設定を行う必要があります。この設定を行うと、ネカ録を通じて、ネットワークカメラのライブ映像の配信が可能になります。詳細は、「4.3 ネットワークカメラの設定」を参照してください。



## (手順3) 詳細設定の実施

カメラの設定の終了後、録画や通知といった機能を利用するためには、詳細設定が必要です。また、ネカ録には、録画する時間帯の設定や、カメラ映像内の何らかの動きを検知して録画する機能、及びユーザーごとのカメラの参照権の設定など、さまざまな機能があります。

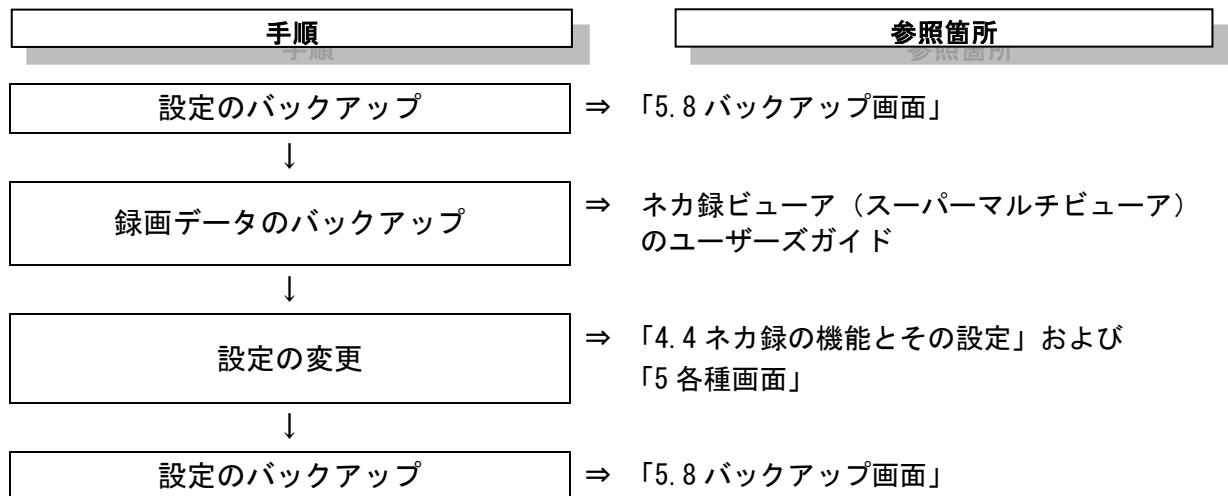
詳細は、「4.4 ネカ録の機能とその設定」および「5 各種画面」参照してください。

## (手順4) 設定のバックアップ

すべての設定が終わったら、必ず実施した設定内容を保存してください。詳細は、「5.8 バックアップ画面」の「設定情報 - ダウンロードする」を参照してください。

## 4.1.2 設定変更時

カメラの設定や、ネカ録の設定を変更する場合の設定は、次の手順で行ってください。



### 手順に関する説明

#### (手順1) 設定のバックアップ

設定を変更する前に、設定のバックアップを取ってください。詳細は、「5.8 バックアップ画面」の「設定情報-ダウンロードする」を参照してください。

#### (手順2) 録画データのバックアップ

カメラの設定の変更やカメラ番号の変更などを実施した場合、それまでに録画した映像を表示できなくなります。したがって、かならず録画を行っている場合には、録画データのバックアップを実施してください。バックアップ操作の詳細は、「ネカ録ビューアユーザーズガイド」または「スーパーマルチビューアユーザーズガイド」をご参照ください。

#### (手順3) 設定の変更

必要な設定の変更を行います。詳細は「4.4 ネカ録の機能とその設定」および「5 各種画面」を参照してください。なお、設定項目によっては、途中でネカ録がリスタートし、一時的に録画できなくなる場合があるので、ご注意ください。また、カメラの追加を行った場合には、プリアラーム秒数と同バッファサイズを見直す必要があるのでご注意ください。

#### (手順4) 設定のバックアップ

すべての設定が終わったら、必ず実施した設定内容を保存してください。詳細は、「5.8 バックアップ画面」の「設定情報-ダウンロードする」を参照してください。

## 4.2 カメラ定義以外の設定画面の基本操作

メニュー画面から「設定」を選択して表示される「設定ツール」の基本的な操作について説明します。

カメラの定義については、「4.3 ネットワークカメラの設定」を参照してください。

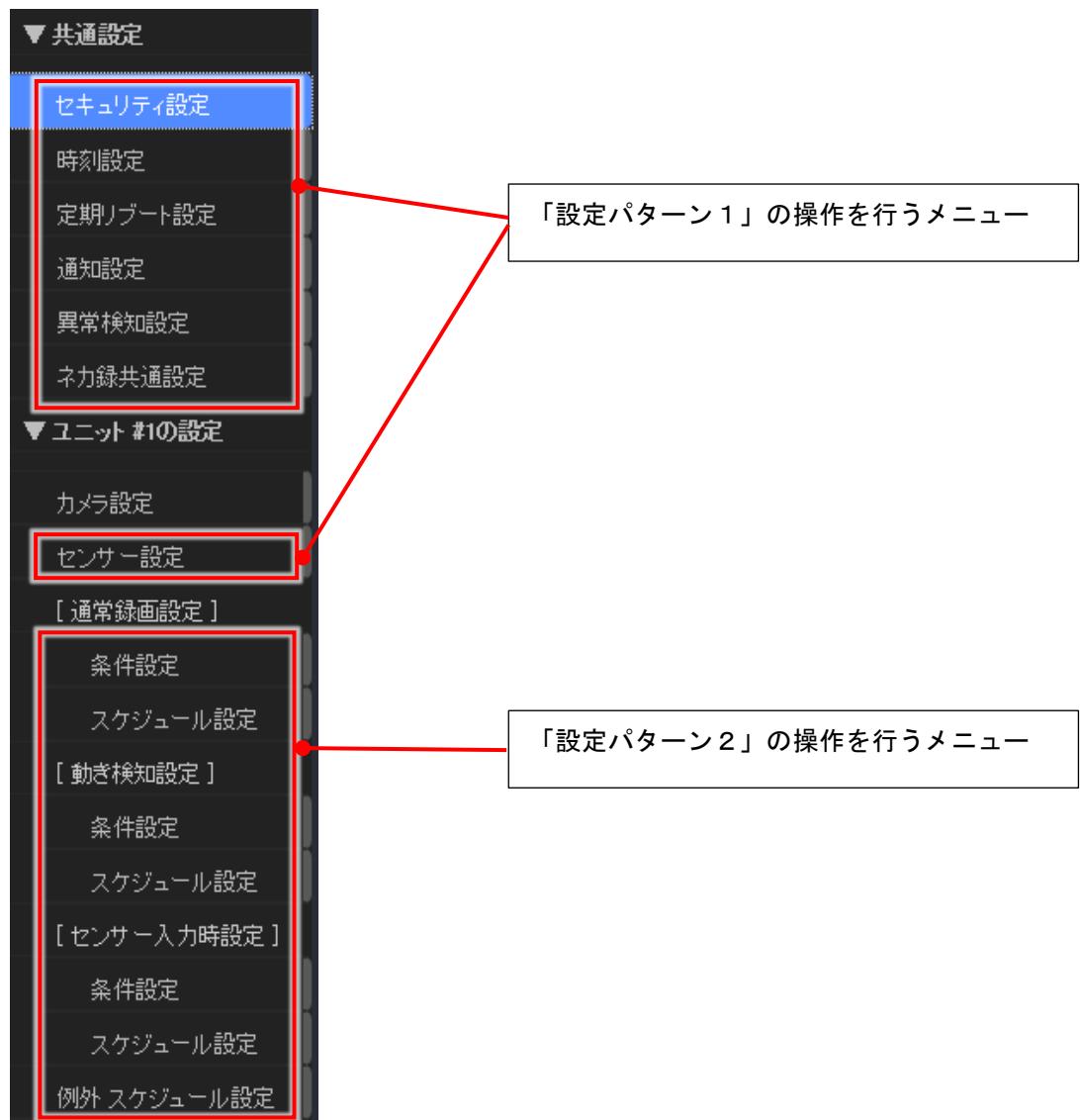
設定ツール画面においてカメラの定義を除きますと、以下の2パターンの操作があります。

- ① 操作パターン1：ネカ録本体に関する設定を行う操作

設定ツールの画面で値を設定した後、画面上部の「設定を保存する」ボタンをクリックするパターン

- ② 操作パターン2：カメラごとに設定が必要な操作

設定ツールの画面で表示される画面において、「カメラごと」に値を設定・確定して、すべてのカメラの設定が終了した後、画面上部の「設定を保存する」ボタンをクリックするパターン



次ページに、「操作パターン1」と「操作パターン2」について、説明します。

## (1) 設定パターン1：設定手順



### 操作手順について

- 操作1** : 画面の左側のメニューから、設定したい項目を選択します。
  - 操作2** : 操作1で選択した内容の画面が、画面の右側に表示されますので、設定を行います。
  - 操作3** : 「設定を保存する」ボタンをクリックして、設定した内容をネカ録に一時保存します。
- 操作1～3を、設定した画面ごとに実施します。
- 操作4** : 「保存情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックして、設定した内容をネカ録に適用します。
  - 操作5** : 「リスタート」ボタンをクリックして、サテライトを再起動します。



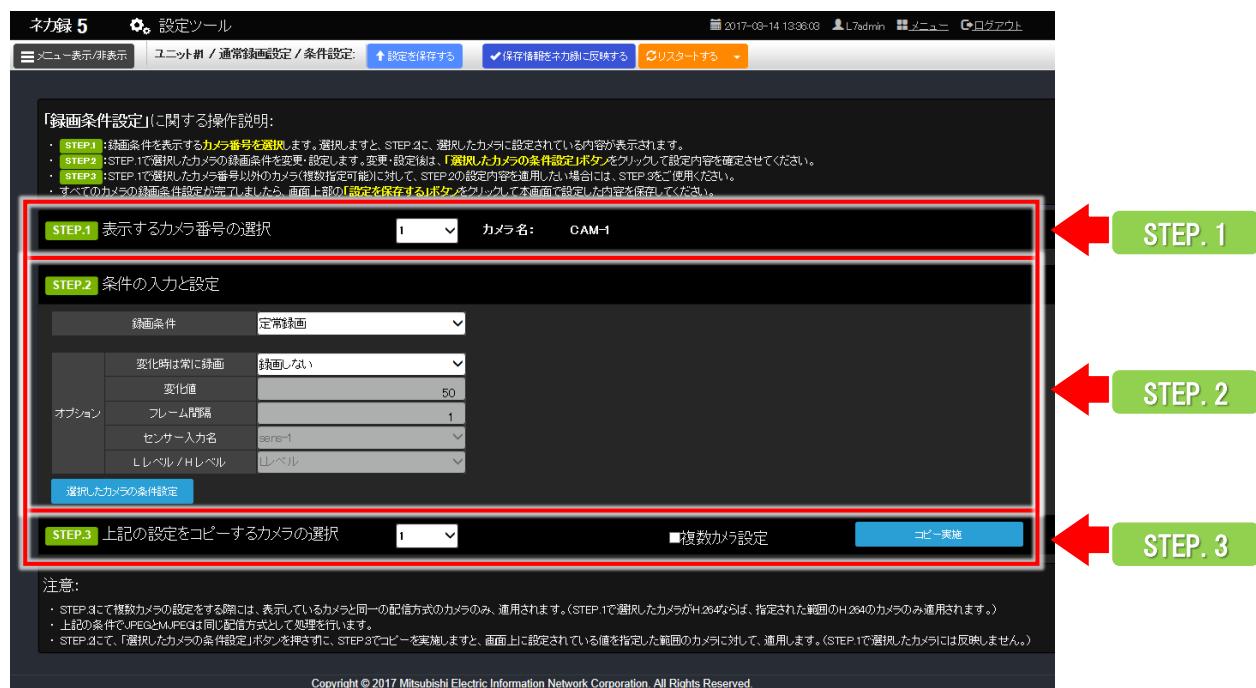
### 注意事項

- 「保存情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックした際に、一瞬、全カメラのライブ表示、および録画が停止します。

## (2) 設定パターン2：カメラごとに定義が必要な画面の設定手順

カメラごとに定義が必要な画面（通常録画設定【条件設定、スケジュール設定】、動き検知設定【条件設定、スケジュール設定】、例外スケジュール設定）について、説明します。

前ページの「(1) 設定手順」操作2において、「操作1で選択した内容の画面が、画面の右側に表示されますので、設定を行います。」と記載しましたが、カメラごとに定義が必要な画面の場合には、さらに以下のステップに操作が分かれます。



### 操作手順について

**STEP. 1** : 設定を行いたいカメラ番号を選択します。

**STEP. 2** : STEP. 1で選択したカメラ番号に対応する設定を行います。  
必ず「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。  
この操作により、ステップ1で選択したカメラ番号に、指定した内容が設定されます。

STEP. 1、2を、設定したいカメラごとに行います。

設定したカメラと同じ設定にしたいカメラがある場合は、STEP. 3に進みます。

**STEP. 3** : STEP. 2の画面で設定したい内容を指定し、STEP. 3で、複数カメラ設定を選択して、「コピー実施」ボタンをクリックします。

### (3) その他

その他、設定ツールで設定する際、よく利用する操作を説明します。

#### ■ 現在の設定画面の確認方法

現在の設定画面の確認方法は2つあります。

- ツールバーで確認
- メニューで確認 (背景が青になっている項目が選択されています)

例：ユニット#1の[通常録画設定] 条件設定の画面を開いた場合



拡大 ツールバー



拡大 メニュー



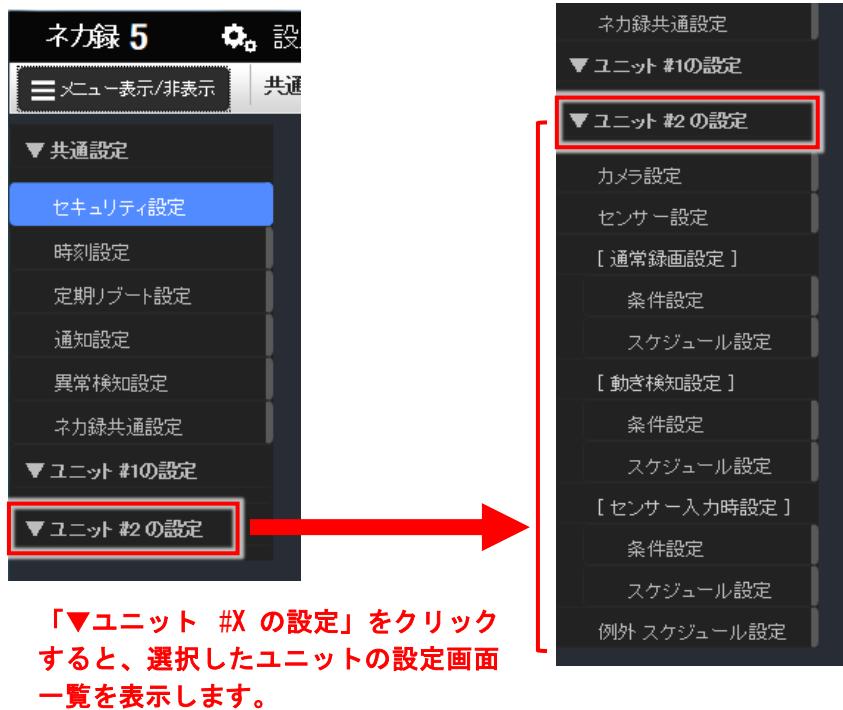
#### 注意事項

- ユニット毎に設定する画面は、同じような画面のため間違いやすいです。  
必ず現在の設定画面をご確認ください。

## ■ ユニット毎の設定画面の開き方

カメラ設定画面や録画条件設定など、ユニット毎に設定する画面を開く場合、ユニットと画面を選択します。

「▼ユニット #X の設定」(X : 1, 2, 3) のボタンをクリックすると、選択したユニットの設定画面一覧を表示、表示された一覧から画面を選ぶと画面を開くことができます。再度、「▼ユニット #X の設定」をクリックするとユニットの設定画面一覧は非表示になります。

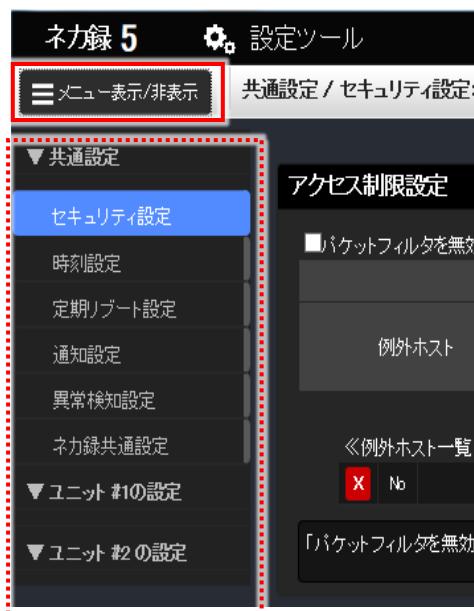


## ■ メニューの表示 / 非表示の切り替え

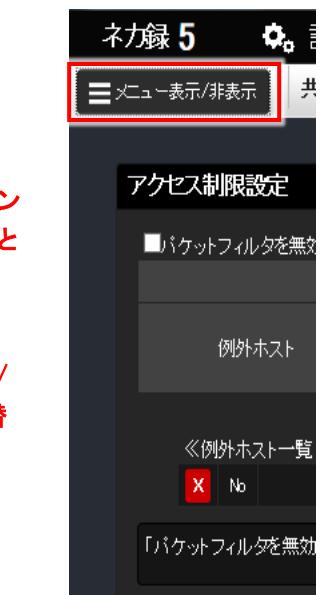
メニューは表示 / 非表示の切り替えが可能です。

設定ツールの操作バーの「メニューの表示 / 非表示」ボタンをクリックすると実行できます。

メニュー画面 表示



メニュー画面 非表示



「メニュー表示 / 非表示」ボタンをクリックすると  
メニュー表示 / 非表示を切り替えます。

## 4.3 ネットワークカメラの設定

本章では、ネットワークカメラの設定を行い、ライブ映像を「ネカ録ビューア」で表示するまでの基本的な設定項目について説明します。



### 注意事項

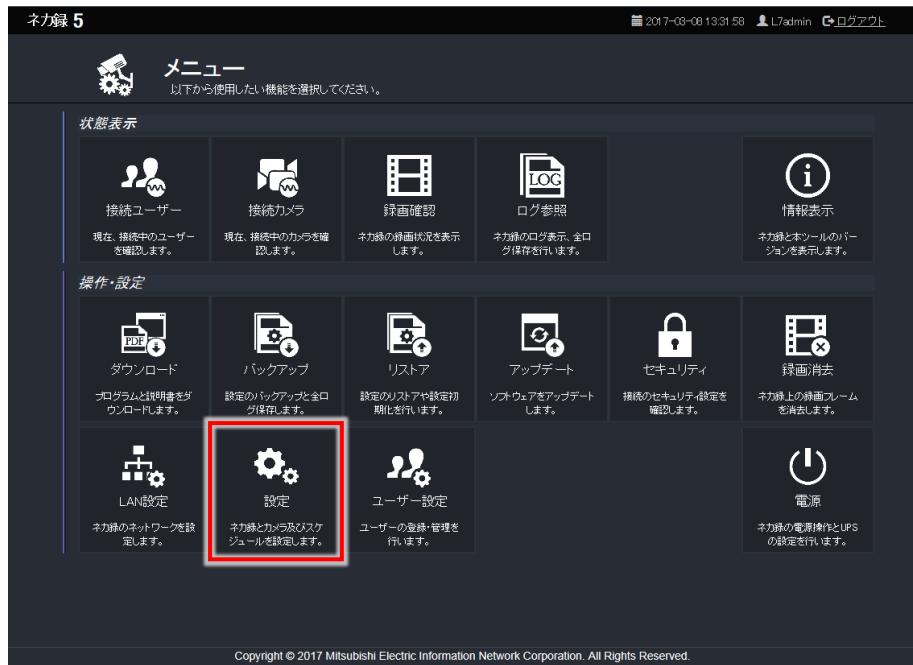
ネカ録設定ツールでは、ユニットごとに最大カメラ 64 台分の設定が可能ですが、ネカ録の機種によっては、設定可能なカメラ台数が異なります。

## 4.3.1 カメラの登録

### (1) 登録

カメラの登録手順は次の通りです。

(手順1) ネカ録統合管理ツールのメニューから設定をクリックします。



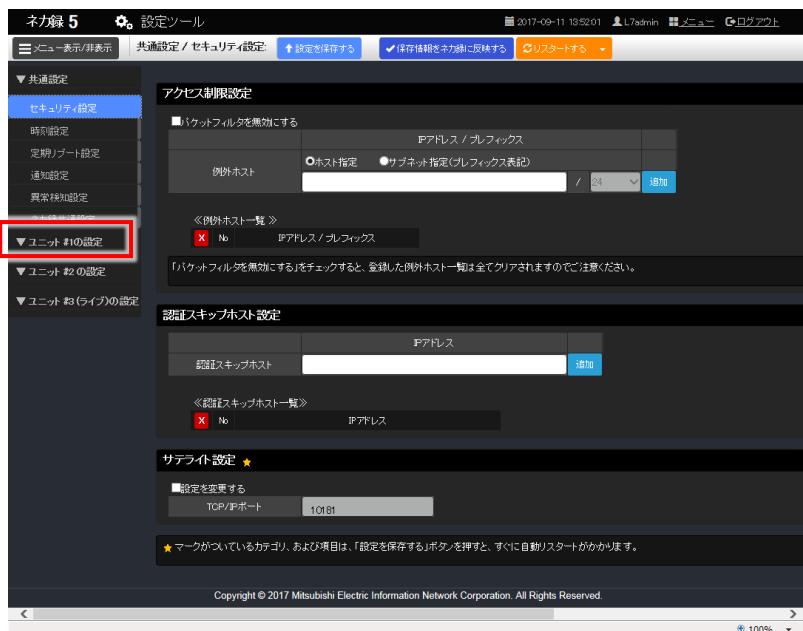
拡大

設定アイコン



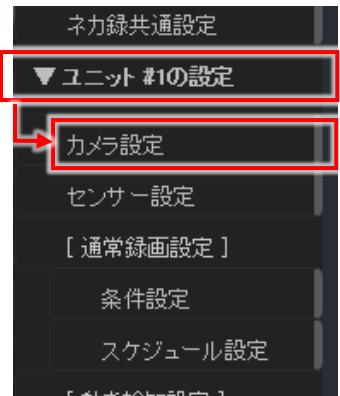
(手順2) 設定ツールが開きますので、設定メニューからカメラ設定画面を開きます。

ユニット #1 のカメラを設定する場合 : 「▼ユニット #1 の設定」 > 「カメラ設定」をクリック  
ユニット #2 のカメラを設定する場合 : 「▼ユニット #2 の設定」 > 「カメラ設定」をクリック  
ユニット #3 のカメラを設定する場合 : 「▼ユニット #3 の設定」 > 「カメラ設定」をクリック



拡大

設定ツール メニュー  
(ユニット #1 の場合)



(手順3) カメラ設定画面が表示されますので、「カメラ設定の変更」をチェックします。

(手順4) 画面の下部にカメラ設定の編集欄が表示されますので、設定を変更するカメラを設定一覧から選択します。

- ① カメラ設定一覧の表で、変更したいカメラの行をクリックします。  
クリックした行が選択され、背景が灰色になります。
- ② 選択中のカメラ番号を表示しますので、ご確認ください。
- ③ 選択したカメラの設定情報を更新します。

(手順5) 選択したカメラの設定情報を変更します。

カメラ名: 1F正面玄関 IPアドレス: 192.168.0.123 マルチキャスト: 80 ポート: 80 RTSPポート: RTSPポートの入力

機種: AXIS ユーザー名: user パスワード: password 配信方式: JPEG /VGA

ライブ音声: チェックなし PTZ: チェックなし サブチャネル: 指定なし 音声ポート: 優先設定: 動作モード: 動き検知: 比較-閾値: 比較-変化値: しない

※録音する場合は、ネカ録の通設定の「録音設定」にチェックが必要です。あわせて、本画面の「ライブ音声」の項目が「チェックあり」と設定されたカメラのみ録音されます。  
※機種でマルチキャストカメラを選択した場合、RTSPポートはマルチキャストカメラのポートと読み替えてご利用ください。  
※MELOOK DG2及びMELOOK3の品質の値は右のリンクを参照して設定してください。[MELOOK DG2の品質変換テーブルを開く] [MELOOK3の品質変換テーブルを開く]  
※カメラ状態の変更★、「有効」「中断」および「無効」ボタンをクリックしたタイミングで設定されます。リスタート後は、一度別のカメラを選択して、再度、グリッド上のカメラを選択したときに、最新状態を表示します。

- ① 「カメラ名」はデフォルトで CAMx-## (x はユニット番号、## はカメラ番号) の連番がつけられています。お客様の運用に合わせて適宜設定してください。ここで設定した名前は、「ネカ録ビューア」では当該カメラの映像の下に表示されます。(カメラ名は、通知等で通知される名称ですので、システムでユニークな名前をつけていただくことをお勧めします。)
- ② 「機種」 プルダウンボタンからカメラ機種を選択してください。
- ③ 「IP アドレス」 にカメラの IP アドレスを入力してください。
- ④ 「ユーザー名」、「パスワード」 に、カメラのユーザー名、パスワードを入力してください。
- ⑤ JPEG, MJPEG, H. 264 から映像の配信形式を選択してください。なお、H. 264 を配信できないカメラもあります。カメラの仕様をご確認のうえ、ご設定ください。H. 264 を配信できないカメラに H. 264 を指定した場合、「停止中」と表示されます。



**注意事項:**

- 機種の変更をしますと、対象カメラ No の「カメラ名」以外の設定値が初期設定値に戻りますので、ご注意ください。

(手順6) 設定を確認したら、「↑ 全項目設定」ボタンを押してください。

カメラ名: 1F正面玄関 IPアドレス: 192.168.0.123 マルチキャスト: 80 ポート: 80 RTSPポート: RTSPポートの入力

機種: AXIS ユーザー名: user パスワード: password 配信方式: JPEG /VGA

ライブ音声: チェックなし PTZ: チェックなし サブチャネル: 指定なし 音声ポート: 優先設定: 動作モード: 動き検知: 比較-閾値: 比較-変化値: しない

(手順7) カメラ設定一覧に変更が反映されていることを確認し、設定ツールの操作バーの「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。



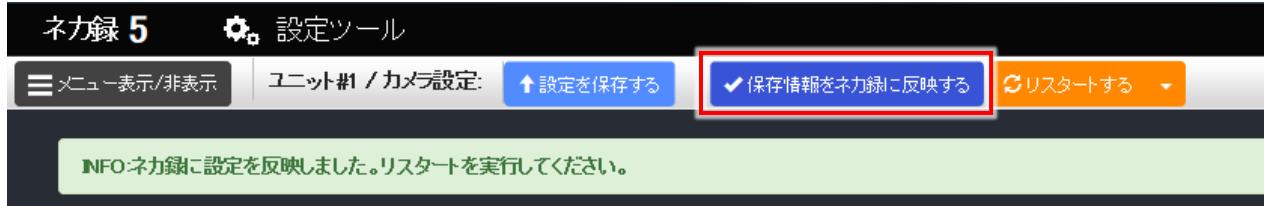
INFO:カメラ定義情報を保存しました。

No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブチャネル	音声ポート
1	1F正面玄関	AVBS	192.168.0.125		80		user	password	JPEG	VGA	50	10			チェックなし	チェックなし	指定なし	
2	CAMI-2	なし																
3	CAMI-3	なし																

正常に保存された場合：

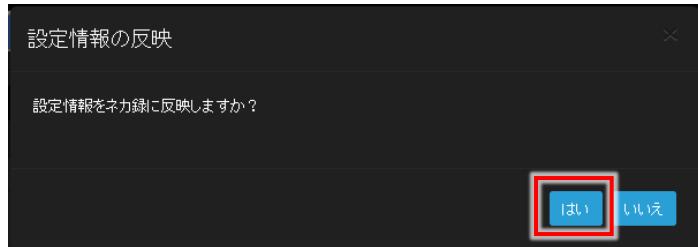
設定ツール操作バーの下に「INFO:カメラ定義情報を保存しました。」(背景：緑)と表示されます。

(手順8) 設定ツールの操作バーの「保存情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。



INFO:ネカ録に設定を反映しました。リスタートを実行してください。

ネカ録への情報反映の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



設定情報の反映

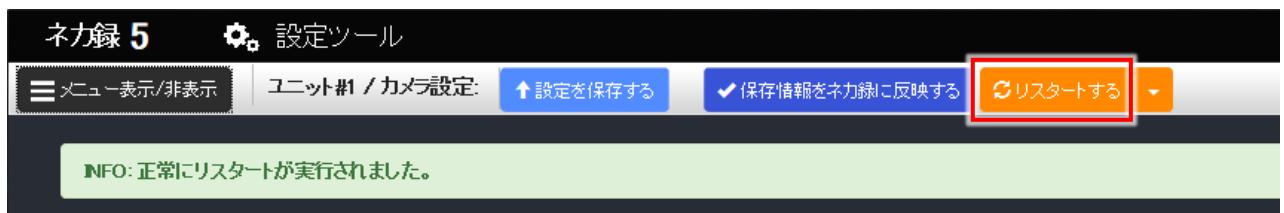
設定情報をネカ録に反映しますか？

はい いいえ

正常に保存情報がネカ録に反映された場合：

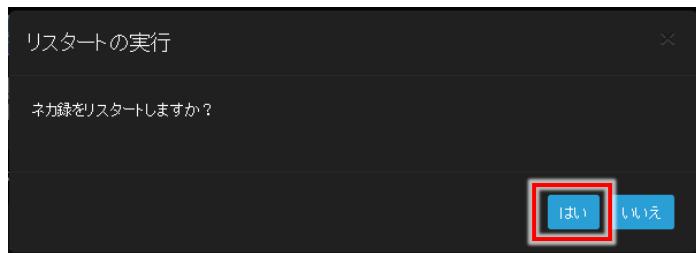
設定ツール操作バーの下に「INFO:ネカ録に設定を反映しました。リスタートを実行してください。」(背景：緑)と表示されます。

(手順9) 設定ツールの操作バーの「リスタートする」ボタンをクリックしてください。



INFO:正常にリスタートが実行されました。

リスタート実行の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



#### 正常に保存情報がネカ録に反映された場合 :

設定ツール操作バーの下に「INFO: 正常にリスタートが実行されました。」(背景: 緑)と表示されます。

以上で、カメラの設定は完了です。

#### **⚠ 注意事項 :**

- 1時間以上、設定ツールバーや設定メニューの操作を行わなかった場合、セッションを自動的に切断します。
- 設定ツールバーの操作を行った場合、下図のような画面が表示される場合があります。このような画面が表示された場合、処理が完了しますと元の画面に戻りますので、何も操作せずにそのままお待ちください。



※メッセージは異なる場合もあります。

## カメラ映像が表示されない場合の確認事項

カメラの画像が正しく表示されない場合、次の事項を確認してください。

- ① カメラの電源がONになっているか。
- ② カメラとネカ録間でネットワークが正しく接続されているか。
- ③ カメラに設定したIPアドレスを正しく指定しているか。また、使用するポート番号が合致しているか。
- ④ 接続されたカメラの機種を正しく指定しているか。
- ⑤ H.264フォーマットで出力できないカメラにH.264を指定していないか。
- ⑥ カメラ設定でユーザー名、パスワードが正しく入力されているか。
- ⑦ 当該カメラでサポートしていない解像度が指定されていないか。

## 4.3.2 カメラの設定

画像サイズ、フレームレート、画像品質の設定は、基本的にネカ録設定ツールのカメラ設定画面で行いますが、カメラの機種により、ネカ録設定ツールでは設定ができずカメラに直接設定を入力する必要があるものがあります。

詳しくは同梱の「ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド」をご参照下さい。

次に、カメラの機種のパターンに応じた設定方法を記載します。

### (1) カメラに設定を直接入力する必要がある場合

初めに、カメラの説明書および同梱の「ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド」を参照の上、カメラに設定を直接入力して下さい。カメラへ設定を入力し終えてから、(2)の手順に従いネカ録設定ツールでのカメラ設定を行ってください。

#### 注意事項

- ネカ録の運用中に、「三菱 DIGITALMELOOK」の設定確認で「Camera Setup Tool」の接続が必要な場合は、同節「■ネカ録運用中の「Camera Setup Tool」での接続方法について」を参照ください。

## (2) ネコ録設定ツールだけでカメラ設定を行う場合

次の手順で設定を行います。

(手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「カメラ設定」を選択します。

(手順2) 「カメラ設定の変更」にチェックを入れます。

(手順3) 画面上部の「カメラ設定一覧」から、設定するカメラをクリックします。

(手順4) 画面下部に、上記でクリックしたカメラの情報が項目ごとに表示されますので、「解像度」、「品質」、「fps」を設定します。「解像度」、「品質」、「fps」の項目が入力可能な場合、一部の型番を除きここで設定が有効になります。

### ■ 「解像度」について

解像度は選択肢から選んで設定してください。カメラの型番によっては、SXVGA など大きい解像度の映像が出力できないものがあるので、ご注意ください。AXIS、SONY、Panasonic I-PRO カメラご使用時で、選択肢にない解像度を使用する場合は、「カメラ設定に従う」を選択し、カメラ側の設定で解像度を設定してください。

### ■ 「品質」について

「品質」は、数値が大きいほうがより高画質です。

カメラの機種によっては、3~10 段階の画質設定にしか対応できない場合があります。その場合は、指定した 100 段階の数値に応じて、カメラ側の画質に対応づけられます。

### ■ 「fps」について

「fps」は 1 秒間に表示されるフレーム数です。この値が多いと映像が滑らかになりますが、録画容量や回線の帯域がより多く必要になります。

- (手順5) 設定を確認したら、「↑ 全項目設定」ボタンを押してください。
- (手順6) カメラ設定一覧に編集した内容が反映されたことを確認します。
- (手順7) カメラを複数台定義する場合は、手順3~6を繰り返します。  
すべてのカメラの定義が完了したら、「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。
- (手順8) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順9) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

(手順 7)      (手順 8)      (手順 9)

カメラ設定一覧

No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブチャネル	音声ポート
1	1F正面玄関	AXIS	192.168.0.123		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
2	1F廊下	AXIS	192.168.0.124		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
3	1Fロビー南	AXIS	192.168.0.125		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
4	1Fロビー東	AXIS	192.168.0.126		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
5	1F階段前	AXIS	192.168.0.127		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
6	1F裏門入り口	AXIS	192.168.0.128		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	

カメラ設定

設定カメラ番号: 6

↑ 全項目設定

(手順 6)

(手順 5)

以上で、基本的な設定は完了です。

## ■ ネカ録運用中の「Camera Setup Tool」での接続方法について

ネカ録の運用中に、「三菱 DIGITALMELOOK」カメラに「Camera Setup Tool」で接続するためには、ネカ録からの接続を一時的に中断する必要があります。次の手順に従って、接続の中断と復元を行ってください。

### カメラ接続の中止

この機能を利用すると、カメラ個別に接続の中止ができるので「リスタート/リブート」なしに「Camera Setup Tool」でカメラ設定を確認できます。次の手順を実施後、「Camera Setup Tool」からの接続してください。

- (手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「カメラ設定」を選択します。
- (手順2) カメラ設定一覧から、当該カメラの行を選択します。



No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブ
1	正面赤外映射	AVIS	192.168.0.129		80		user	password	JPEG	VGA	50	10			チェックなし	チェックなし	指定なし
2	CAM-2	三菱 DIGITALMELOOK	192.168.0.124		27000				H.264	VGA	50	5	5		チェックなし	チェックなし	指定なし
3	CAM-3	なし															
4	CAM-4	なし															
5	CAM-5	なし															

- (手順3) 「選択カメラの状態変更」で、「中断」ボタンをクリックします。



以上で、当該カメラへの接続は停止されます。

「ネカ録ビューア」または、「スーパーマルチビューア」での表示が「中断中」になります。



## カメラ接続の復元

次の手順で、一時中断から復元できます。「Camera Setup Tool」に接続している場合は、切断してから実施してください。

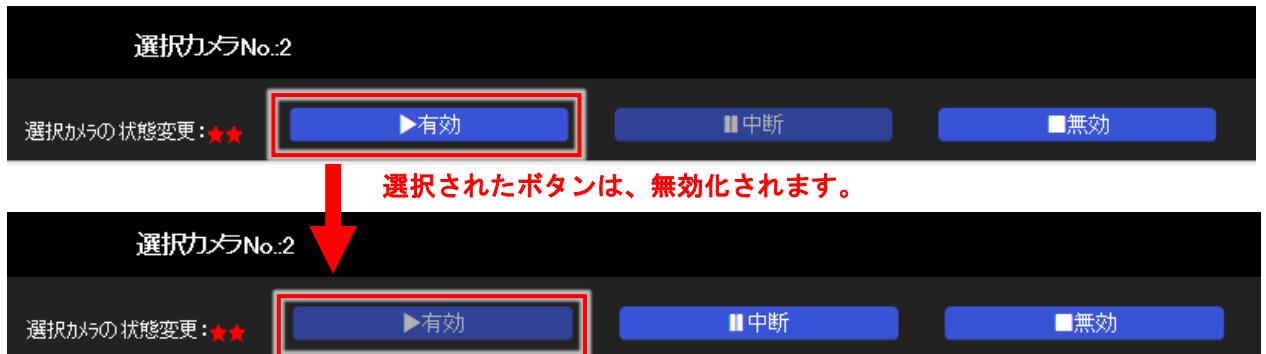
(手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「カメラ設定」を選択します。

(手順2) カメラ設定一覧から、当該カメラの行を選択します。



No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	QOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブ
1	1F正面玄関前	AXIS	192.168.0.128		80		user	password	JPEG	VGA	50	10			チェックなし	チェックなし	指定なし
2	CAM-2	三菱DIGITALMELOOK	192.168.0.124		27000				H.264	VGA	50	5	5		チェックなし	チェックなし	
3	CAM-3	なし															

(手順3) 「選択カメラの状態変更」で、「有効」ボタンをクリックします。



### ⚠ 注意事項:

- 「中断」状態の場合は、上記手順の他に「リスタート」もしくは「リブート」で復元します。
- 「無効」状態の場合は、「リスタート」もしくは「リブート」で復元しません。上記（手順1）と（手順2）及び（手順3）で復元してください。
- 接続カメラの状態変更のボタンの意味の詳細は、「5.14.7 カメラ設定」をご参照ください。

## 4.4 ネ力録の機能とその設定

### 4.4.1 ネ力録の機能一覧

No	機能	説明
1	映像の配信機能	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>クライアントのアプリケーションプログラム（「ネ力録ビューア」または「スーパーマルチビューア」）へネットワークカメラで撮影している映像を配信します。配信可能な映像には、次の 2 種類あります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 現在の映像（ライブ映像）</li><li>● 過去に録画した映像</li></ul> <p>対応している画像圧縮方式は、JPEG (JPEG) および H.264 です。ただし、カメラにより対応が異なりなります。</p> <p>詳細は、弊社ホームページのサポートカメラリストをご参照ください。 (2017 年 9 月現在、以下の URL です)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. Internet Explorer で以下の URL にアクセスします。 URL : <a href="http://www.mind.co.jp/service/security/products/necaroku/">http://www.mind.co.jp/service/security/products/necaroku/</a></li><li>2. Web ページの「サポートカメラ」をクリックします。</li></ol> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>ライブ映像の表示のための設定は、「5.13 LAN 設定」をご覧ください。</p> <p>録画済みの映像の再生方法については、「ネ力録ビューア ユーザーズガイド」をご参照ください。</p>
2	録画・録音機能	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>ライブ映像を指定されたスケジュールおよびフレーム間隔の設定にしたがって録画します。</p> <p>録画・録音は、次の 2 通りのスケジュールの設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 定期的なスケジュールにしたがって録画を行う。</li><li>● 何らかのイベントが発生したときに録画を行う。</li></ul> <p>対応可能なイベントは次の 2 種類です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● カメラ映像に変化があった場合 (モーションディテクト機能)</li><li>● 外部のセンサーからの入力があった場合 (センサー連動機能)</li></ul> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>それぞれのパターンに応じてネ力録設定ツールで設定します。</p> <p>詳細は、「4.4.3 録画・録音機能」を参照ください。</p>
3	通知機能	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>ネ力録からクライアントのアプリケーションプログラムへ通知する機能があります。</p> <p>通知されるケースは次の通りです。</p>

No	機能	説明
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部のセンサーからの入力があった場合</li> <li>● カメラ画像に変化があった場合</li> <li>● 異常を検知した場合</li> </ul> <p>通知方法は次の3通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子メールによる送信</li> <li>● 「ネカ録ビューア」または「スーパーマルチビューア」への通知</li> <li>● SNMP トラブル通知</li> </ul> <p>※上記3通りの通知と一緒に接点出力ができます。</p> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>それぞれのケースに応じてネカ録設定ツールで設定します。詳細は、「4.4.4 通知機能」を参照ください。</p>
4	スケジュールの設定機能	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>録画、センサーからの入力、および動き検知に関するスケジュールの設定が可能です。</p> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>本説明書では、それぞれ「録画」機能と「通知」機能にスケジュールの設定機能を記載しています。</p>
5	セキュリティ機能	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>ネカ録ビューアやスーパーマルチビューアなどからネカ録に対して接続する際、ユーザー認証が必要になります。ネカ録設定ツールでは、認証するユーザーの作成・編集が可能で、ユーザーごとにネカ録ビューアやスーパーマルチビューアなどの操作を制限する5段階のユーザーレベルが選択できます。また、ユーザーごとに閲覧可能なカメラも制限できます。</p> <p>また、ネットワークのセキュリティ対策として、ネカ録への接続を制限する以下の2つの設定が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パケットフィルタ</li> <li>● 認証スキップホスト</li> </ul> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>ネカ録のセキュリティ機能の設定については、「4.4.5 セキュリティ機能」をご参照ください。</p>
8	その他	<p><b>■ 機能の説明:</b></p> <p>定期的に再起動をする／NTP サーバとの通信で時刻同期を行う／設定をバックアップするなど、さまざまな機能があります。</p> <p><b>■ 設定について:</b></p> <p>その他の機能については、「5.15 各種画面」をご参照ください。</p>

本ガイドの「4.3 ネットワークカメラの設定」までを実施していれば、上表の「No.1 映像の配信機能」に関する設定は完了しています。

4.4.3 節から、「No.2 録画・録音機能」～「No.7 その他」の機能に関する設定について説明します。

## 4.4.2 事前準備

次の機能の設定を行う場合、事前の準備が必要です。

- 画像変化および動き検知機能を使用する場合
- センサー連動機能を使用する場合
- 通知機能を使用する場合
- カメラの音声を有効にする場合

最初にこれらの事前の準備について説明します。

### 4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合

画像の変化を検出し、一部の通知や変化時録画などの設定が有効になる設定をあらかじめ実施しておく必要があります。



配信形式が JPEG/MJPEG の場合には、カメラ機種に関係なく、解像度が QVGA/VGA/SXVGA/HVGAW/HD/FHD の時のみ有効な機能です。配信形式が H.264 の場合には、カメラ機種が AXIS・BOSCH・Canon・三菱 DIGITALMELOOK・三菱 MELOOK3・TOA(TRIFORA)に限定されますが、解像度は限定されません。

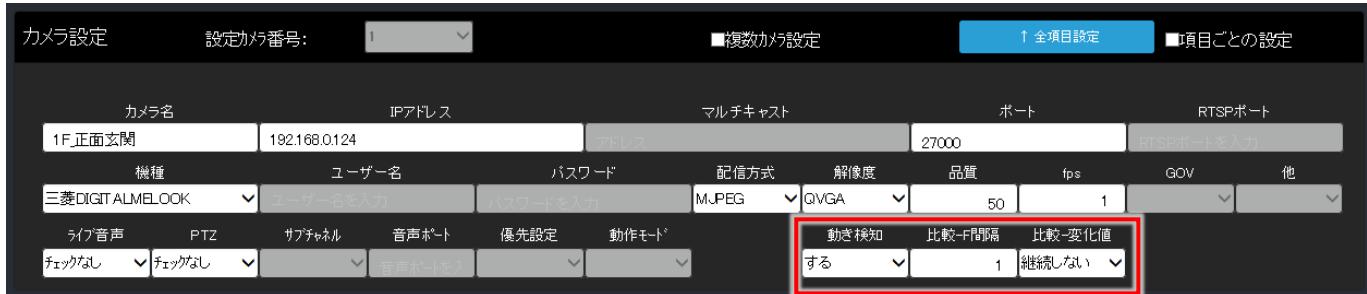
手順は、次の通りです。

- (手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「カメラ設定」を選択します。
- (手順2) 「カメラ設定の変更」にチェックを入れます。
- (手順3) 設定一覧から編集するカメラを選択します。

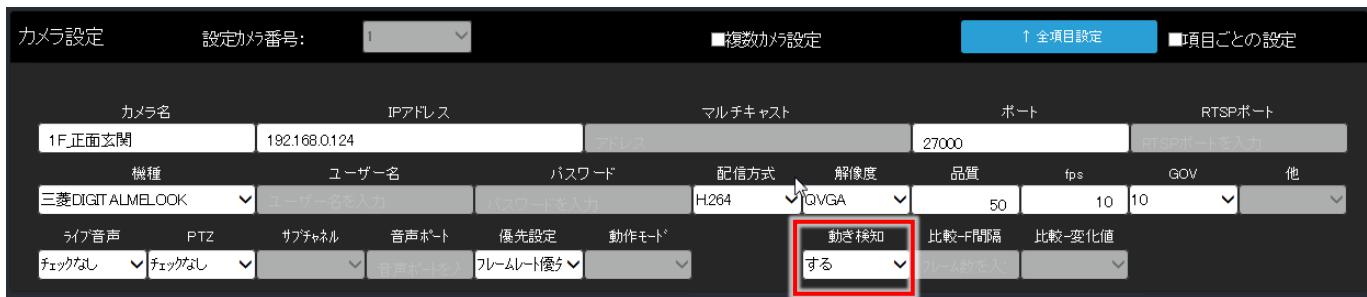
No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	QOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サポート
1	IF正面玄関	AXIS	192.168.0.123	なし	80		user	password	MJPEG	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし
2	CAMI-2	なし															
3	CAMI-3	なし															
4	CAMI-4	なし															
5	CAMI-5	なし															
6	CAMI-6	なし															

(手順4) 動き検知に関する項目を設定します。

[配信形式が JPEG・MJPEG の場合]



[配信形式が H.264 の場合]



#### ■ 「動き検知」について

「画像変化機能」、「動き検知機能」を有効にするための設定です。選択したカメラで動き検知を行いたい場合は、「する」を選択してください。

#### ■ 「比較-F 間隔（フレーム間隔）」について

ライブ画像何コマにつき 1 回の頻度で画像の変化値を検出するかを指定します。通常は 1 を指定します。この項目は、JPEG・MJPEG のみ設定可能です。

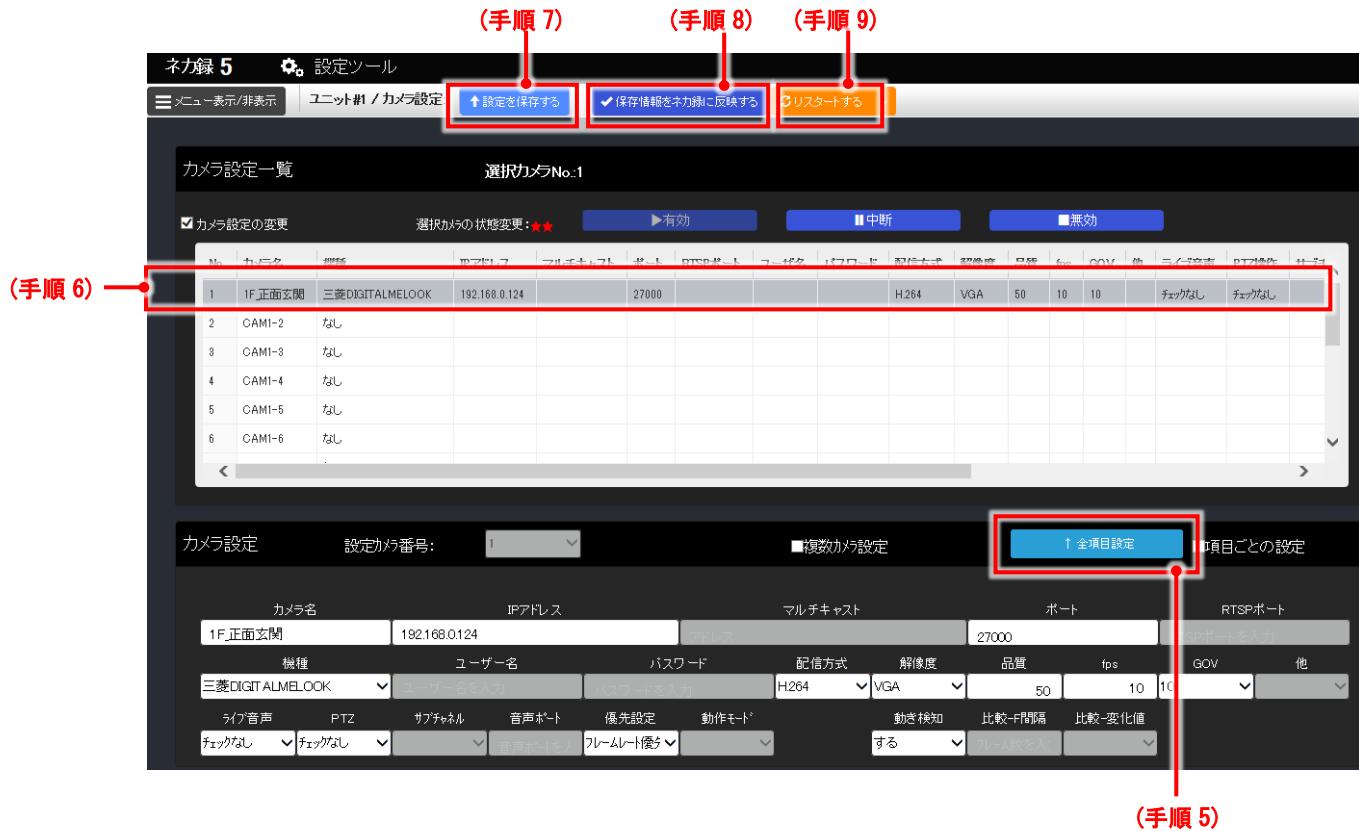
#### ■ 「比較-変化値」について

変化値を継続するか、否かを指定します。この項目は、JPEG・MJPEG のみ設定可能です。



「比較-F 間隔（フレーム間隔）」および、「比較-変化値」については、本節の最後に詳細な説明「【補足説明】映像の変化値」がございますので、ご確認ください。

- (手順5) 設定を確認したら、「↑ 全項目設定」ボタンを押してください。
- (手順6) カメラ設定一覧に編集した内容が反映されたことを確認します。
- (手順7) カメラを複数台定義する場合は、手順3~6を繰り返します。定義が完了したら、「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順8) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順9) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



- (手順10) 動作の確認を行います。「ネカ録ビューア」で該当のカメラ映像を拡大表示させてください。

9.97 コマ/秒 871 Kbps 7,430 byte Motion: 0 640 x 480 H.264 13:53:49.596 2013/05/23

「ネカ録ビューア」の右下にあるステータスバーの Motion 値が画像変化に応じて変化していることを確認してください。

**⚠ 注意事項:**

- 間違った設定をしている場合は映像内に動きがあっても常に 0 と表示されます。

## 【補足説明】映像の変化値

録画した画像一枚一枚のことを「フレーム」と呼びます。



	1 フレーム前の画像	現在の画像
● 変化値が小さい場合		
● 変化値が大きい場合		

現在の画像と1フレーム前の画像を比較したときの差分を「変化値」と呼びます。

上記の例のように、画像があまり変化していない場合には、変化値は小さくなります。逆に画像がよく変化している場合には、変化値は大きくなります。

- 「フレーム間隔」の例



フレーム間隔が1の場合には、毎フレーム比較を行います。



配信形式が JPEG/MJPEG で

フレーム間隔が3の場合には、2フレーム置きに3フレーム前の画像と比較します。



配信形式が H. 264 で  
フレーム間隔が 3 の場合には、2 フレーム置きにカメラ側で測定した動き検知の結果を取得します。

**!** H. 264 での画像検知は、カメラ側の機能で行います。  
ネカ録側では、その比較結果を見て録画・通知を行います。

● 「変化値を継続」の例



変化値 : 19      变化値 : 0      变化値 : 15      变化値 : 0      变化値 : 27

配信形式が JPEG/MJPEG で、フレーム間隔が 2 で変化値を継続しないにしていると、変化値は上記のようになります。  
比較していないときは常に 0 になります。



変化値 : 19      变化値 : 19      变化値 : 15      变化値 : 15      变化値 : 27

配信形式が JPEG/MJPEG で、フレーム間隔が 2 で変化値を継続するにしていると、変化値は上記のようになります。  
比較していないときは前のフレームにおける変化値となります。

配信形式が H. 264 の場合、動きがない場合は 0、動きがある場合は一律で 99 と表示されます。

#### 4.4.2.2 センサー連動を使用する場合

ドアの開閉などのセンサーの接点入力を、ネットワーク I/O BOX やネットワークカメラを介してネカ録に伝えることができます。

本機能を使用する場合には、あらかじめ設定が必要です。手順は、次の通りです。

#### ■ I/O BOX を介してセンサー連動を行う場合

I/O BOX の設定を行います。

(手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「センサー設定」を選択します。

(手順2) I/O BOX の機種、IP アドレス、ポートを設定します。



#### ■ 「機種」について

「NWI02」、「iND CommAssist」、「iND CommAssist-i4o4」及び「MEE NJ-2000-1」から選択してください。ポートの初期値は、「NWI02」の場合は「10000」、「iND CommAssist」及び「iND CommAssist-i4o4」は「161」、「MEE NJ-2000-1」は「1112」になります。

#### ⚠ 注意事項 :

- I/O BOX1 は、1 台目の入出力ボックスを表します。I/O BOX2 は、2 台目の入出力ボックスを表します。No. 01、No. 02、No. 19、No. 20 は I/O BOX と連動しません。
- I/O BOX の設定は、「ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド」、および I/O BOX 付属の説明書をご確認ください。

(手順3) センサー入力の設定を行います。

入力 No.	センサー名	センサー割り付け
01	sens-1	利用しない
02	sens-2	利用しない
03	sens-3	利用しない
04	sens-4	利用しない
05	sens-5	利用しない

I/O BOXに割り付ける場合		カメラに割り付ける場合	
I/O BOX	INPUT番号	カメラ名	機種名
-	-	1F正面玄関前	AXIS
-	-	1F応接室	三菱DIGITALMELOOK
I/O BOX1	INPUT1	CAM-3	なし
I/O BOX1	INPUT2	CAM-4	なし
I/O BOX1	INPUT3	CAM-5	なし

■「センサー割り付け」について

センサー入力の割り付け先を指定します。次の項目から選択してください。

項目	説明
利用しない	センサー入力を無効にする場合に選択してください。
I/O BOX に割り付ける	I/O BOX からのセンサー入力を有効にする場合に選択してください。

■センサー入力と I/O BOX の関連性

次の通りになります。

センサー入力 No.	I/O BOX	I/O BOX の入力番号
03	装置 No. 1 と連動	1
04		2
05		3
06		4
07		5
08		6
09		7
10		8
11	装置 No. 2 と連動	1
12		2
13		3
14		4
15		5
16		6
17		7
18		8

⚠ 注意事項

- No. 01、No. 02、No. 19、No. 20 は I/O BOX と連動しません。
- センサー入力の結果は、「ネカ録 ビューア」または「スーパーマルチビューア」よりご確認ください。

## ■ ネットワークカメラを介してセンサー連動を行う場合

(手順1) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「センサー設定」を選択します。

(手順2) センサー入力の設定を行います。



### ■ 「センサー割り付け」について

センサー入力の割り付け先を指定します。次の項目から選択してください。

項目	説明
利用しない	ネットワークカメラからのセンサー入力を無効にする場合に選択してください。
カメラに割り付ける	ネットワークカメラからのセンサー入力を有効にする場合に選択してください。

### ■ センサー入力とネットワークカメラの関連性

次の通りになります。

センサー入力 No.	カメラ番号
01	1
02	2
03	3
04	4
05	5
06	6
07	7
08	8
09	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15

センサー入力 No.	カメラ番号
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20



#### 注意事項：

- I/O BOX の入力番号とカメラ番号は固定になります。変更することはできません。
- センサー入力の結果は、「ネカ録 ビューア」または「スーパーマルチビューア」よりご確認ください。
- センサーが内蔵されているカメラは「AXIS」「Canon」「TOA(TRIFORA)」です。それ以外の機種を設定している場合には、「このセンサー入力情報に、右のカメラのセンサー入力を割り付ける」は選択できません。
- 定義可能なカメラの最大数を越えて、カメラ番号を指定することはできません。  
例：16台まで定義可能な機種の場合には、カメラ番号が16までしか割り付けることはできません。

#### 4.4.2.3 通知機能を使用する場合

ネカ録は、次のような場合にクライアント側のプログラムへの通知、または電子メール送信を行う機能があります。

- 外部のセンサーからの入力があった場合
- カメラ画像に変化があった場合
- カメラ停止、入出力ボックスの停止、画像比較エラーを検知した場合

また、次のような場合にパトライトなどのSNMPマネージャに向けて、ネカ録から通知を行う機能があります。

- H/Wの異常を検知した場合

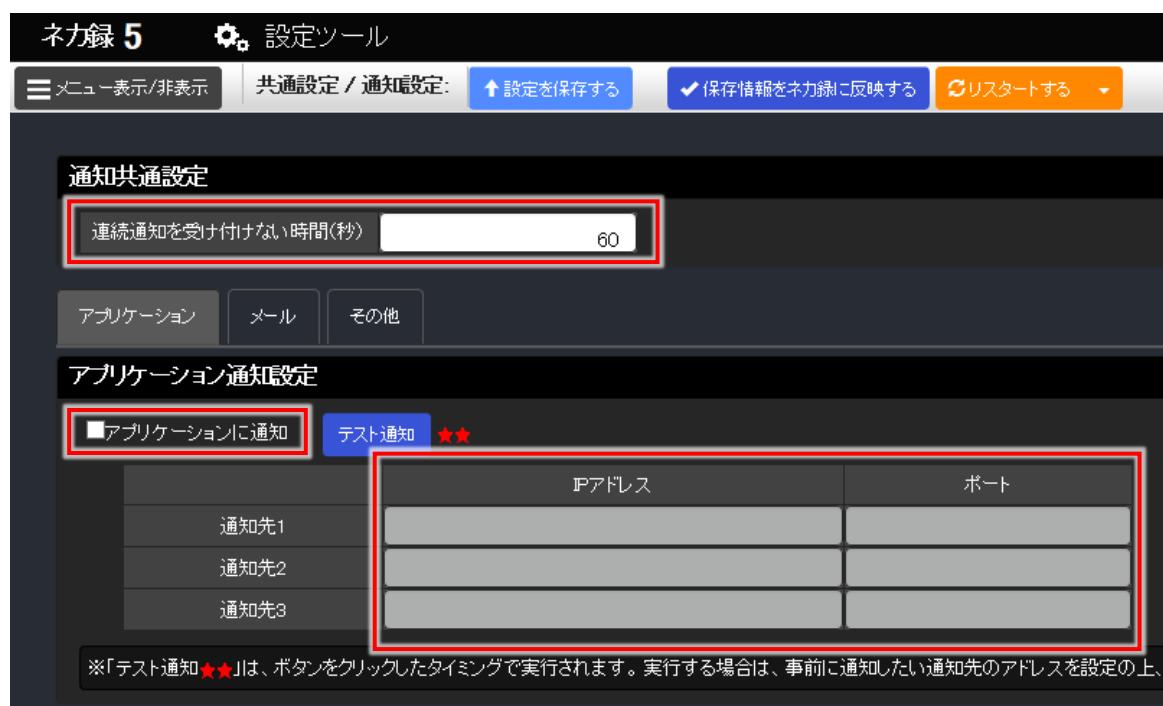
通知機能を有効にするために、通知先の設定と異常検知の内容を設定します。手順は次の通りです。

#### ■ 通知先の設定

(手順1) 設定ツールでメニューから「通知設定」を選択します

(手順2) 通知設定を行います。

◇通知先の設定1：「ネカ録ビューア」または「スーパーマルチビューア」で通知を受け取る場合



アプリケーションタブを開きます。

通知設定に関して、次の項目を入力してください。

項目	説明
アプリケーションに通知	チェックしてください。
IP アドレス	通知を行いたいPCのIPアドレスを入力してください。 通知先は3つまで設定できます。

項目	説明
ポート	83 を指定してください。83 以外を指定することも可能です。ビューアの受信ポートと合わせてください。
連続通知を受け付けない時間(秒)	1 度通知を実施してから次の通知をするまでの空白時間で、この期間にイベントが発生しても、通知されないことがあります。 設定する際には、秒単位で入力してください。

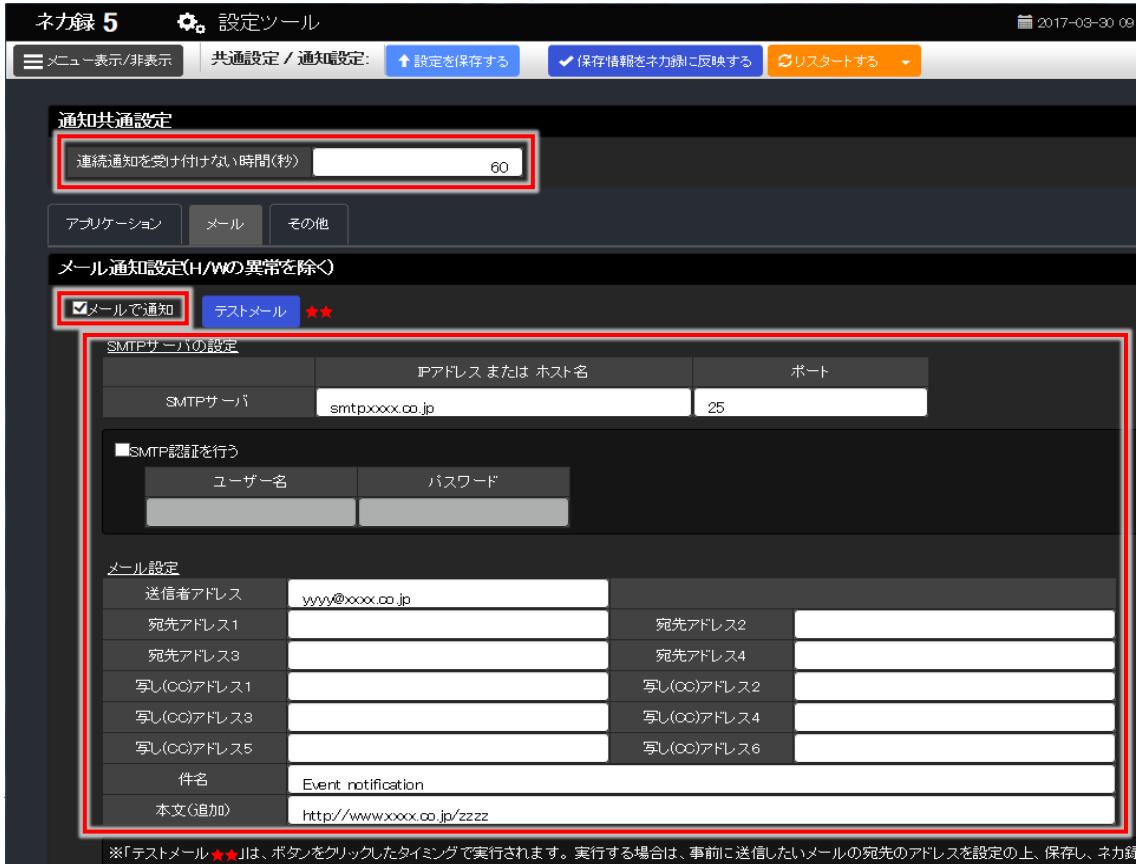
入力内容を確認したら「設定を保存する」ボタンを押してください。

確認する場合は、ネカ録に設定反映が必要です。

設定ツール操作バーの「保存情報をネカ録に反映する」、「リスタートする」を順に実行してください。  
その後、画像変化通知を行うと、「ネカ録ビューア」または「スーパーマルチビューア」の画面上に次のようなポップアップが表示されます。



#### ◇通知先の設定 2:電子メールで通知を行う場合



項目	説明
メールで通知	チェックしてください。
SMTP サーバ	SMTP サーバを IP アドレスかホスト名で入力してください。
SMTP サーバ ポート	SMTP サーバのポート番号を入力してください。
送信者アドレス	送信者のアドレスを入力してください。 (送信者名は Camserv に固定されます)
宛先アドレス	宛先のアドレスを入力してください。 最大 4 件まで設定可能です。
写し(CC)アドレス	写しのアドレスを入力してください。 最大 6 件まで設定可能です。
件名	送信メールの件名を入力してください。
内容	送信メールの内容を入力してください。
連続通知を受け付けない時間 (秒)	1 度通知を実施してから次の通知をするまでの空白時間で、 この期間にイベントが発生しても、通知されないことがあります。 設定する際には、秒単位で入力してください。

入力内容を確認したら「設定を保存する」ボタンを押してください。

確認する場合は、ネカ録に設定反映が必要です。

設定ツール操作バーの「保存情報をネカ録に反映する」、「リスタートする」を順に実行してください。

その後、画像変化通知を行うと、次のようなメールが受信されます。



### ◇通知先の設定 3: H/W異常の SNMP トランプ通知を行う場合



その他タブを開きます。

通知設定に関して、次の項目を入力してください。

項目	説明
IP アドレス	トランプ送信先（パトライ）の IP アドレスを入力してください。

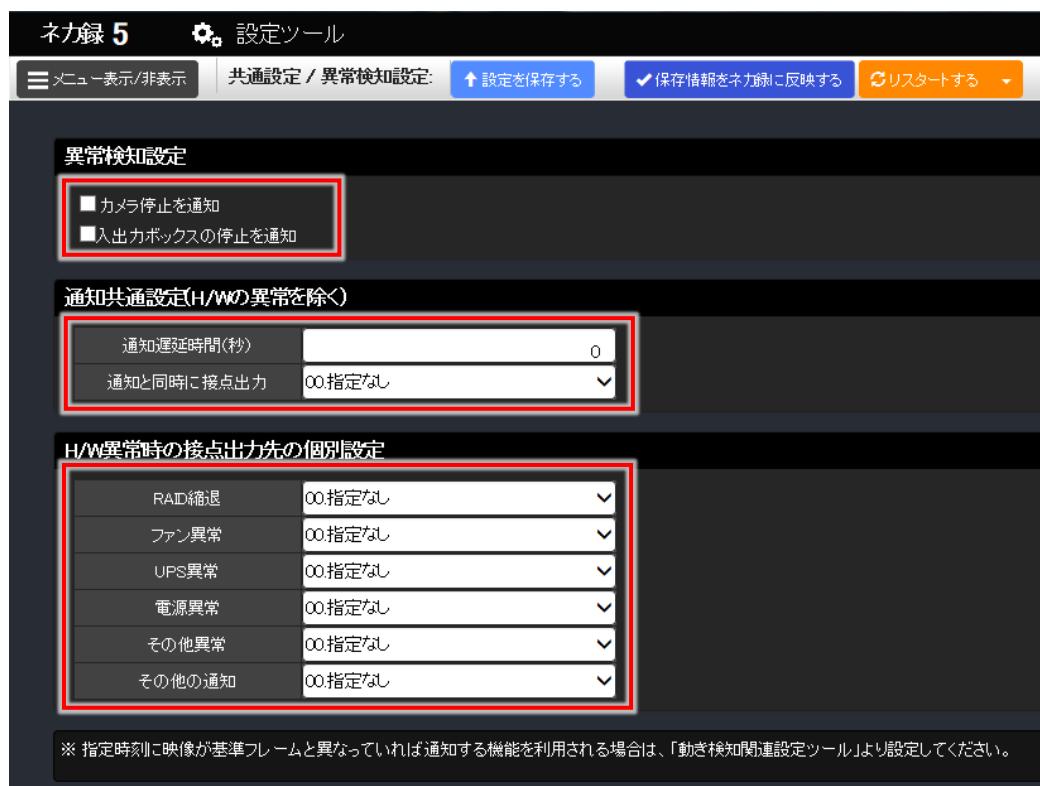
入力内容を確認したら「設定を保存する」ボタンを押してください。

確認する場合は、ネコ録に設定反映が必要です。

## ■ 異常検知の設定

(手順1) 設定ツールでメニューから「異常検知設定」を選択します

(手順2) 異常検知設定を行います。



異常検知設定に関して、次の項目を入力してください。

項目	説明
カメラの停止を通知	ネットワークカメラと正しく通信ができない場合に通知を行います。ご利用される場合にはチェックしてください。
入出力ボックスの停止を通知	I/O BOXと正しく通信ができない場合に通知を行います。ご利用される場合にはチェックしてください。
通知遅延時間(秒)	異常が発生してから通知を行うまでの時間を秒単位で指定してください。
通知と同時に接点出力	異常検知(H/W異常を除く)を接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。
RAID縮退	RAID縮退時に接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。
ファン異常	ファンに異常が発生した時に接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。
UPS異常	UPSに異常が発生した時に接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。
電源異常	電源に異常が発生した時に接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。

項目	説明
その他の異常	上記 (RAID 縮退、ファン異常、UPS 異常、電源異常) 以外の H/W 異常を接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。
その他の通知	H/W から異常ではなく通知がある時に接点出力したい場合に、ドロップダウンリストから出力先を選択してください。



#### 注意事項 :

- 本画面で設定可能な異常検知のほか、「指定時刻に映像が基準フレームと異なっていれば通知」もあります。これは、指定した基準画像と現在の画像を比較して、画像が異なる場合に通知を行います。  
ご利用の場合には、「動き検知関連区画設定ツール」での設定が必要です。詳細は、「1」をご参照ください。

#### 4.4.2.4 カメラの音声を有効にする場合

ネカ録では、ライブ表示時にライブ音声の出力や、録画をする際に音声も合わせて録音することができます。

そのためには、音声マイク付きネットワークカメラを接続し、下記の手順の設定を実施する必要があります。加えて、「ネカ録ビューア」または「スーパーマルチビューア」が動作するPCで音声を出力する場合、PCでサウンドが出力される状態にし、ビューア上の設定で、「基本設定」の「オプション」タブにて「音声出力」をチェックする必要があります。詳細は、各ビューアの説明書をご参照ください。



ライブ音声および録音はカメラごとに対応が異なりますので、詳細は、弊社ホームページを参照ください。

1. Internet Explorer で以下の URL にアクセスします。  
(2017年9月現在の URL は、以下の通りです)  
URL : <http://www.mind.co.jp/service/security/products/necaroku/>
2. Web ページ内の「サポートカメラ」をクリックします。

設定の手順は、次の通りです。

- (手順1) ネットワークカメラで音声を有効にします。  
ネットワークカメラ自体の設定で音声入力を ON に設定します。詳しくは各カメラの説明書および、同梱の「ネットワークカメラ設定ガイド」を参照してください。
- (手順2) 設定ツールでメニューから「ネカ録共通設定」を選択します。
- (手順3) カメラ共通の録音設定をします。録音設定の「取得したライブ音声を録音する（カメラ共通）」にチェックを入れます。



- (手順4) 設定ツールでメニューから編集するユニットの「カメラ設定」を選択します。

(手順5) 「カメラ設定の変更」にチェックを入れます。

(手順6) 設定一覧からマイクつきカメラを設定したいカメラを選択します。

No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブチャネル	音声ボ
1	1F正面玄関	AXIS	192.168.0.123		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
2	1F廊下	AXIS	192.168.0.124		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
3	1Fロビー南	AXIS	192.168.0.125		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
4	1Fロビー東	AXIS	192.168.0.126		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
5	1F階段前	AXIS	192.168.0.127		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	
6	1F裏入り口	AXIS	192.168.0.128		80	554	user	password	H.264	VGA	50	30			チェックなし	チェックなし	指定なし	

(手順7) 編集欄に選択したカメラの情報が入りますので、「ライブ音声」の値を「チェックあり」に変更してください。

カメラ名	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート
1F正面玄関	192.168.0.123	グローバル	80	554

機種	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他
AXIS	user	password	H.264	VGA	50	30		

ライブ音声	PTZ	サブチャネル	音声ポート	優先設定	動作モード	動き検知	比較-F間隔	比較-変化値
チェックあり	チェックなし	指定なし	音声なし			なし	なし	なし

(手順8) 設定を確認したら、「↑ 全項目設定」ボタンを押してください。

(手順9) カメラ設定一覧に編集した内容が反映されたことを確認します。

(手順10) 複数のカメラの音声を有効にする場合は、手順6~9を繰り返します。定義が完了したら、「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。

(手順11) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。

(手順12) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

## 4.4.3 録画・録音機能

### 4.4.3.1 録音機能

ネカ録には、設定されたカメラのライブ映像を配信しながら、録画する機能があります。このとき、音声出力が可能なカメラが設定されており、録音設定を有効にすると、そのカメラの映像と同期して音声も保存します。



音声つきの映像を再生したとき、映像と音声が若干ずれることがあります。

### 4.4.3.2 録画機能概要

録画機能については、次の2パターンの処理があります。

- ①定期なスケジュールにしたがって録画を行う（曜日単位でのスケジュールの設定）
- ②何らかのイベントが発生したときに録画を行う

この②で、対応しているイベントは、次の2つです。

- カメラ画像に変化があった場合（「モーションディテクト」機能）  
この機能は、さらに「画像変化時録画」機能と「動き検知録画」機能があります。
- 外部のセンサーからの入力があった場合（「センサー連動機能」）

#### 【補足説明】

(1) 「変化時のみ録画」機能および「変化時は常に録画」オプションと、「区画別の動き検知録画」機能との違い

「変化時のみ録画」機能および「変化時は常に録画」オプションは、画像全体に対して指定した変化値を超える画像の変化のあった場合に、該当の画像のみを録画します。

これに対し、「区画別の動き検知録画」は、画像の一部（全体も可能）に対して指定した変化値を超える画像の変化があった場合に、その変化時から時刻を遡っての録画が可能です。

#### 「画像変化時録画」機能と「動き検知録画」機能の違い

機能名	画像変化の前の録画	画像変化の後の録画
「変化時のみ録画」機能 「変化時は常に録画」オプション	×	○ 変化時の画像1枚のみ
「区画別の動き検知録画」機能	○ 遡る時間を秒数で指定 (プリアラーム秒数)	○ 変化後の録画時間を秒数で指定 (ポストアラーム秒数)

(2) センサー連動機能とは

センサー連動機能は、上記の「区画別の動き検知録画」録画と同じで、センサーからの入力があった場合に、入力の前の録画、および入力後の録画を秒数単位で指定することができます。

#### 4.4.3.3 スケジュールに従って定期的に録画する設定方法

スケジュールにしたがって録画を行う場合の設定手順を、次の例を元に説明します。

**例 1: 平日の午前 9 時から午後 5 時まで録画を行う。**

- (手順1) はじめに通常時の録画の条件を設定します。  
設定ツールでメニューから編集するユニットの「通常録画設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) 設定するカメラ番号を選択します。
- (手順3) 録画条件を「定常録画」になっていることを確認したら、「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。
- (手順4) 同様の設定をするカメラがあれば、設定のコピーを実施します。コピーするカメラを選択し、「コピー実施」ボタンをクリックします。
- (手順5) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順6) 次にスケジュールを設定します。設定ツールでメニューから編集するユニットの「通常録画設定」の「スケジュール設定」を選択します。

- (手順7) 設定するカメラ番号を選択します。
- (手順8) まず、月曜日の録画スケジュールを変更します。スケジュール定義の表の月曜の行をクリックし、設定する曜日の欄が「月」になっていることを確認します。
- (手順9) 個別スケジュール設定の設定1を「9:00~17:00」に変更し（設定2~4は空欄のまま）、「左記のスケジュールを設定」をクリックします。
- (手順10) 次に、火曜日から日曜日のスケジュールを月曜日と同じ時間帯に変更します。  
一括設定の「すべての曜日を同じ設定とする」ボタンをクリックします。

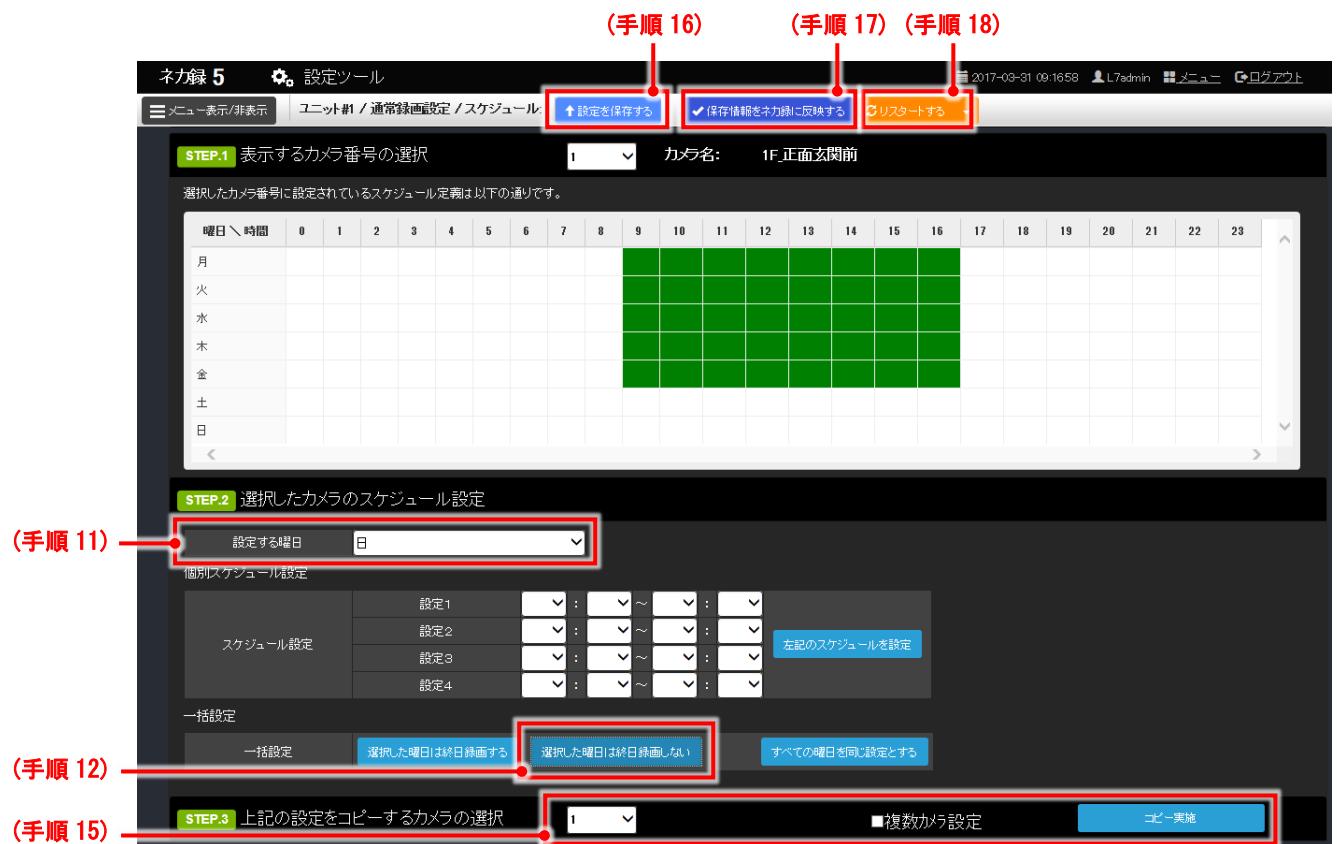
(手順7) 

(手順8) 

(手順9) 

(手順10) 

- (手順11) 土曜日の録画スケジュールを変更します。スケジュール定義の表の土曜の行をクリックし、設定する曜日の欄が「土」になっていることを確認します。
- (手順12) 一括設定の「選択した曜日は終日録画しない」ボタンをクリックします。
- (手順13) 日曜日も土曜日と同様に設定します。スケジュール定義の表の日曜の行をクリックし、設定する曜日の欄が「日」になっていることを確認します。
- (手順14) 一括設定の「選択した曜日は終日録画しない」ボタンをクリックします。
- (手順15) 同様の設定をするカメラがあれば、設定のコピーを実施します。コピーするカメラを選択し、「コピー実施」ボタンをクリックします。
- (手順16) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順17) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順18) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



## 【補足説明】

- スケジュールの設定は、上図にあるように、曜日単位で設定します。
- 上記の例では、午前 9 時から午後 5 時までの録画ですが、常に録画を行いたい場合は、スケジュールの設定において、月曜日から日曜日まで午前 0 時から 24 時までのスケジュールを設定してください。
- 初期設定の場合、常にカメラと同じフレームレート (fps) で録画しますが、ライブ映像よりも低いフレームレートで録画を行う場合は、「定常録画」ではなく、「インターバル録画」 (JPEG, MJPEG) または「I フレーム録画」 (H.264) を選択します。

「インターバル録画」、「I フレーム録画」の設定をするには、設定するユニットの[通常録画設定]の「録画条件」画面から、以下の項目を変更します。ネカ録に設定を反映する手順は、定常録画の設定と同様です。

### (1) 配信形式が JPEG および MJPEG の場合

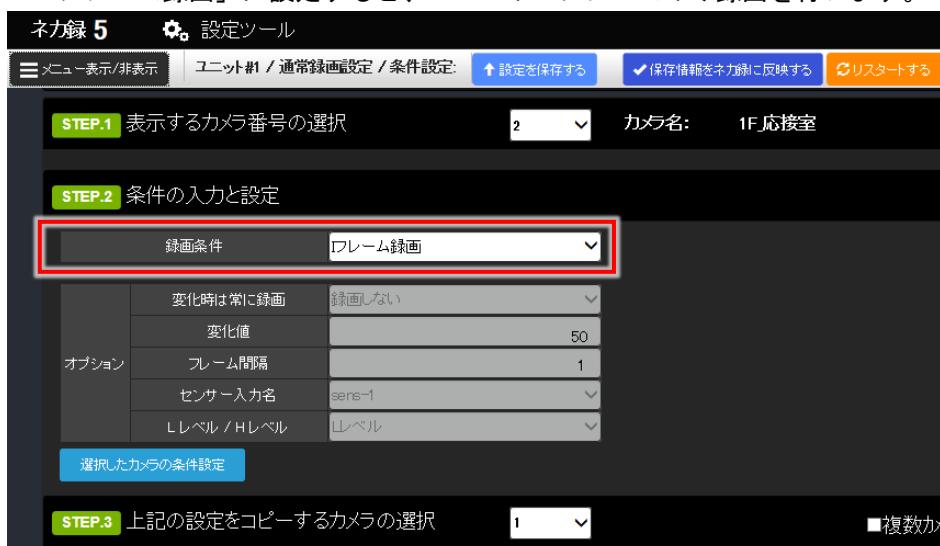
フレーム間隔に指定されたコマ数ごとに画像を保存します。

例：カメラに 10fps を設定している場合に、フレーム間隔を 5 と設定すると、録画のフレームレートは  $10 \div 5 = 2$ fps となります。



### (2) 配信形式が H.264 の場合

「I フレーム録画」に設定すると、H.264 の I フレームのみ録画を行います。

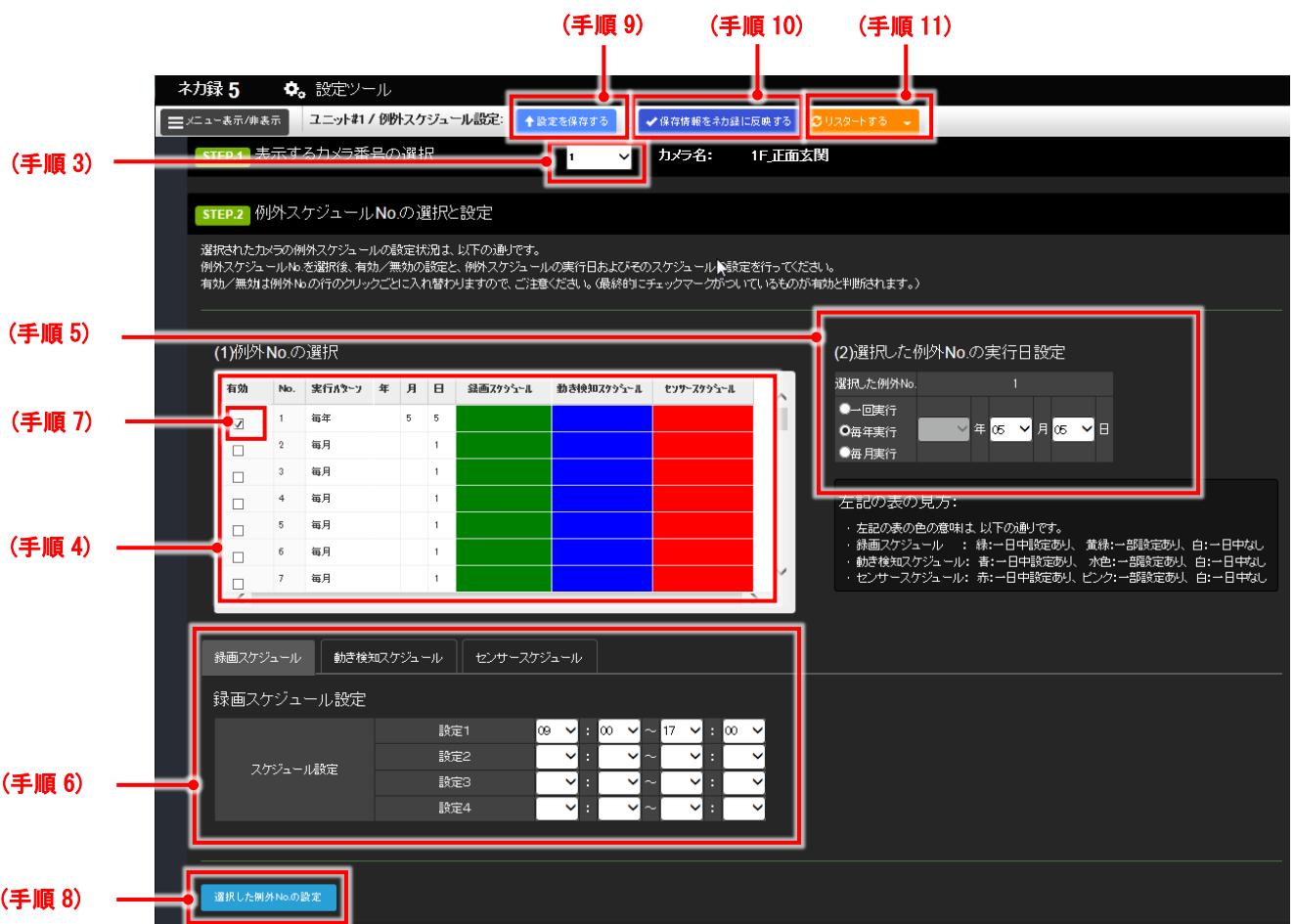


例外のスケジュールがある場合の設定手順を、次の例を元に説明します。

**例 2: 平日の午前 9 時から午後 5 時まで録画を行う。**

ただし、子どもの日は曜日に関係なく、午前 9 時から午後 5 時まで録画を行う。

- (手順1) 通常時の録画設定を行います。例 1 を参照し、設定してください。
- (手順2) 次に例外（子どもの日）の設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「例外スケジュール設定」を選択します。
- (手順3) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これから例外スケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順4) 設定する例外 No を一覧から選択します。
- (手順5) 選択した例外 No の実行日を設定します。  
1回だけ実行、毎年または毎月実行させるスケジュールの設定が可能です。
- (手順6) 選択した例外 No の録画スケジュール設定をしていきます。設定 1 に「09 時 00 分から 17 時 00 分」と入力し、スケジュール 2・3・4 は空欄のままにしてください。
- (手順7) 設定中の例外 No の有効にチェックが入っていることを確認します。（前の図を参照ください）
- (手順8) 入力が終わったら、「選択した例外 No の設定」ボタンをクリックします。
- (手順9) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順10) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順11) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



上記の設定が完了すると、例外 No の一覧は以下のように表示されます。

(1)例外No.の選択								
有効	No.	実行パターン	年	月	日	録画スケジュール	動き検知スケジュール	セバースケジュール
<input checked="" type="checkbox"/>	1	毎年	5	5		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	2	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	3	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	4	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	5	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	6	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■
<input type="checkbox"/>	7	毎月		1		■■■■■	■■■■■	■■■■■

#### 4.4.3.4 「変化時のみ録画」機能と「変化時は常に録画」オプションの設定方法

画像変化時録画機能は、次の2通りのケースに対応した設定方法があります。

- 「変化時のみ録画」
- 「変化時は常に録画」

次にそれぞれのケースで手順を説明します。

##### (1) 変化時のみ録画

例3: 平日の午前9時から午後5時の間だけ、変化があった画像のみ録画する。

- (手順1) 録画スケジュールの設定を行います。例1の録画スケジュールの設定部分を参照し、設定してください。
- (手順2) 次に変化があった画像のみ録画する設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの[通常録画設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順3) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順4) 「録画条件」を「変化時のみ録画」にします。
- (手順5) 「変化値」に適切な値を入力します。
- (手順6) 入力が終わったら、「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。
- (手順7) 同様の設定をするカメラがあれば、設定のコピーを実施します。コピーするカメラを選択し、「コピー実施」ボタンをクリックします。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順9) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順10) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



##### 注意事項:

- 変化時のみ録画の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」をチェックありにする必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

## (2) 変化時は常に録画

例 4: 平日の午前 9 時から午後 5 時までは必ず録画し、それ以外の時間帯では変化があった画像のみ録画する。

- (手順1) 録画スケジュールの設定を行います。  
例 1 の録画スケジュールの設定部分を参照し、設定してください。
- (手順2) 次に変化があった画像のみ録画する設定を行います。  
設定ツールのメニューから編集するユニットの「通常録画設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順3) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順4) 「録画条件」を「定常録画」にします。
- (手順5) オプションを設定します。  
「変化時は常に録画」を「録画する」にし、「変化値」に適切な値を入力します。
- (手順6) 入力が終わったら、「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。
- (手順7) 同様の設定をするカメラがあれば、設定のコピーを実施します。コピーするカメラを選択し、「コピー実施」ボタンをクリックします。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順9) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順10) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



### ⚠ 注意事項:

- 変化時は常に録画の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」をチェックありにする必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

## 【補足説明】

「変化時は常に録画」は、「録画スケジュールが OFF の時間帯でも、画像変化があると録画する」 設定項目です。

したがって、「録画条件」に「定常録画」や「インターバル録画」が選択されている場合は、スケジュールが設定された時間帯で、「定常録画」または「インターバル録画」の設定が優先されます。

#### 4.4.3.5 動き検知録画の設定方法（JPEG・MJPEG の場合）

動き検知機能は、設定ツール メニューの[動き検知設定]の「条件設定」画面から設定を行います。具体例を、例 5 に示します。



##### 注意事項：

- カメラ側の動き検知の設定方法は、「ネットワークカメラ設定ガイド」を参照してください。
- 動きを検知する領域を画像全体にさせない場合は、区画設定が必要です。区画設定は「動き検知関連区画設定ツール」より行ってください。詳細は、「1」を参照してください。

次に例を元に説明します。

**例 5: カメラ映像で動きを検知したら、常に録画する。**

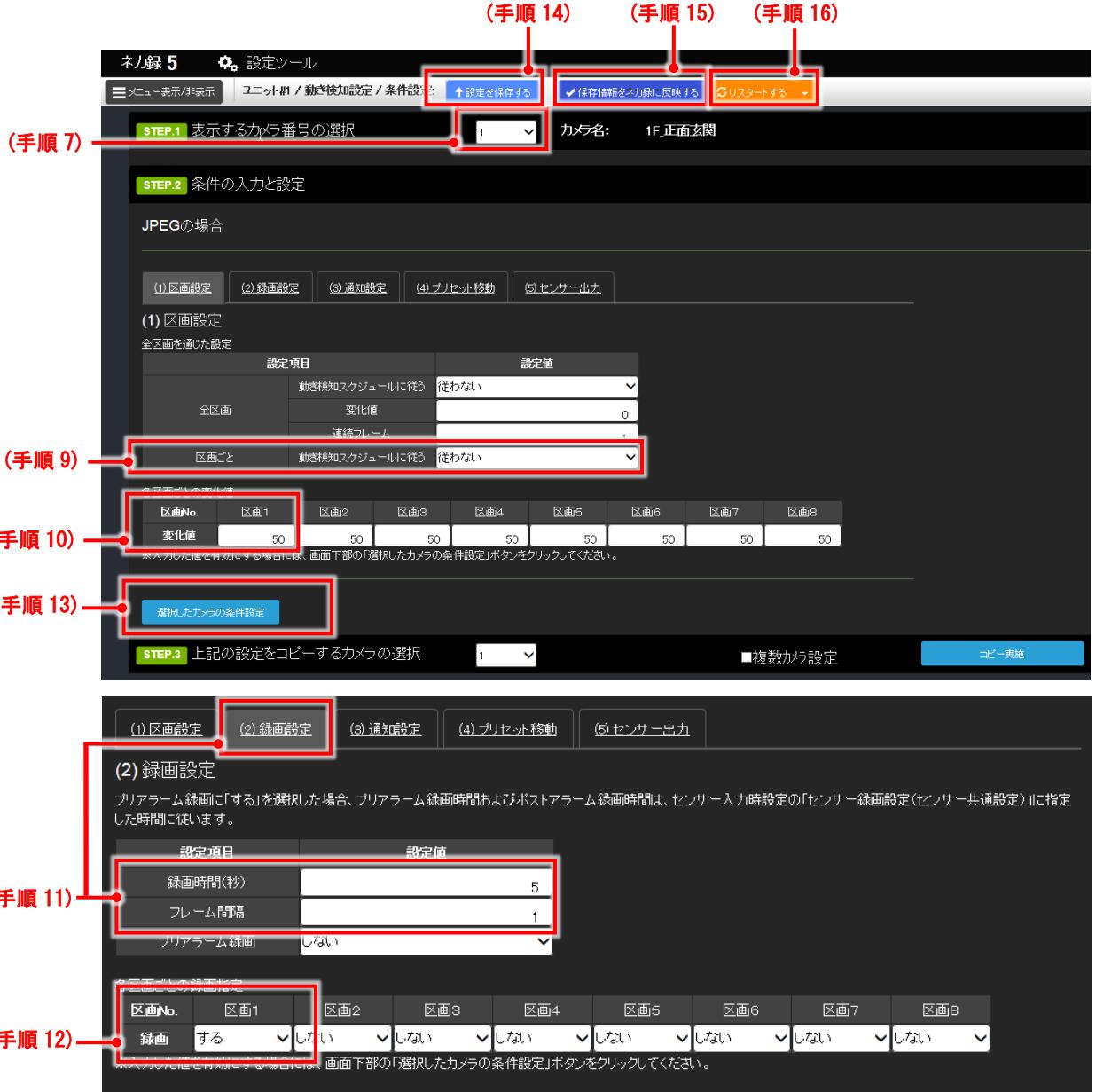
録画は、映像が変化後 5 秒間録画するものとし、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。

動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することはできなくなります。

- (手順1) はじめに、通常時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「通常録画設定」の「スケジュール設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 任意の曜日を選択し、「選択した曜日は終日録画しない」をクリックします。
- (手順4) 全ての曜日録画しない設定にするため、「すべての曜日を同じ設定とする」をクリックします。
- (手順5) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順6) 次に動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順7) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順8) 「(1)区画設定」を選択し、必要ならば、区画毎の設定を行います。区画の編集を行っていない場合、領域全体が区画1として定義されています。ここでは、区画の編集はせず、領域全体の動きを検知する場合の設定を行います。
- (手順9) 区画毎の「動き検知スケジュールに従う」を「従わない」にします。
- (手順10) 「区画1」の「変化値」に適切な値を入力します。
- (手順11) 「(2)録画設定」を選択し、「録画時間(秒)」に5と入力し、「フレーム間隔」には1と入力します。
- (手順12) 「区画1」の「録画」を「する」にします。
- (手順13) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。



- (手順14) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順15) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順16) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



#### 注意事項:

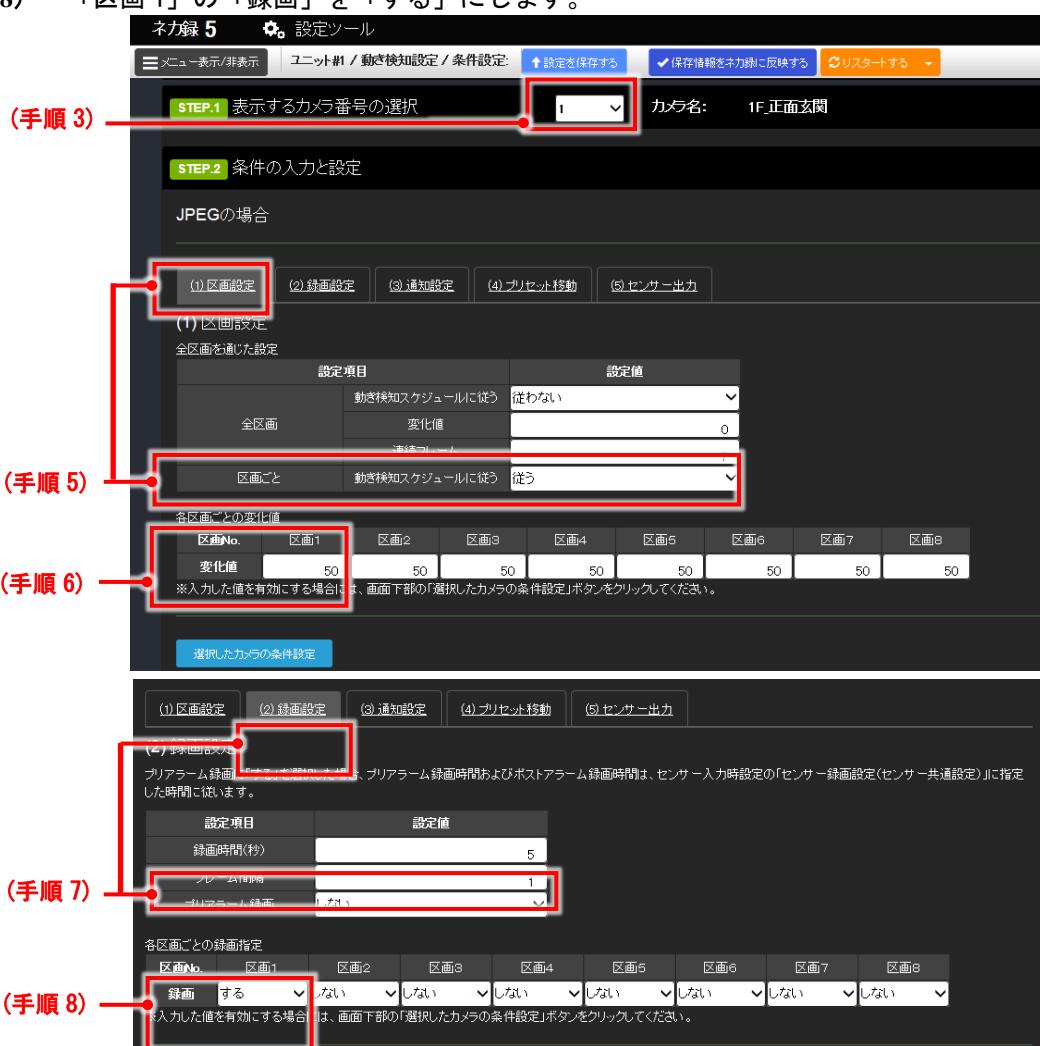
- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

以下は、スケジュールに従った動き検知録画をする場合の例です。

「動き検知スケジュールに従う」を「従う」すると、スケジュールで動き検知すると設定した時間帯のみ、動き検知録画することができます。

**例 6: 平日の午後 5 時から翌日の午前 9 時まで、および休日は終日、カメラ映像で動きを検知したら録画する。録画は、映像が変化後 5 秒間録画するものとし、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。**

- (手順1) はじめに、通常時の録画設定を行います。例 1 のスケジュール設定の手順を参照して、設定してください。
- (手順2) 次に動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順3) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順4) 区画毎の設定をします。区画の編集を行っていない場合、領域全体が区画 1 として定義されています。ここでは、区画の編集はせず、領域全体の動きを検知する場合の設定をしていきます。
- (手順5) 「(1) 区画設定」を選択し、区画毎の「動き検知スケジュールに従う」を「従う」にします。
- (手順6) 「区画 1」の「変化値」に適切な値を入力します。
- (手順7) 「(2) 録画設定」を選択、「録画時間(秒)」に 5 と入力、「フレーム間隔」には 1 と入力します。
- (手順8) 「区画 1」の「録画」を「する」にします。



- (手順9) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。
- (手順10) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順11) 動き検知スケジュールの設定を行います。[動き検知設定]の「スケジュール設定」下図のように設定してください。(設定 1…0:00～9:00、設定 2…17:00～24:00)  
設定方法は、例 1 をご参照ください。

- (手順12) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。
- (手順13) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順14) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



### ⚠ 注意事項:

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することはできなくなります。

## 【補足説明】

- 例の通りに設定した場合、動きを検知すると、常にカメラと同じフレームレート (fps) で録画しますが、ライブ映像よりも低いフレームレートで録画を行いたい場合は、「フレーム間隔」の値を変更します。

設定ツールのメニューから編集するユニットの[動き検知設定]の「条件設定」の画面を開きます。

フレーム間隔に指定されたコマ数ごとに画像を保存します。

例: カメラに 10fps を設定している場合に、フレーム間隔を 5 と設定すると、録画のフレームレートは  $10 \div 5 = 2\text{fps}$  となります。



以下は、動き検知した直前の映像を録画する場合の例です。

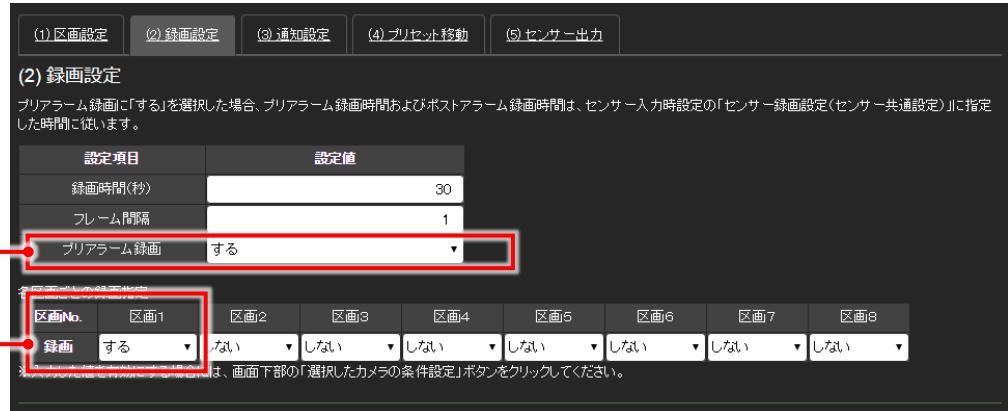
「プリアラーム録画」をチェックすることで、動きを検知した直前の映像を録画することができます。

**例 7: 平日の午後 5 時から翌日の午前 9 時までおよび休日は終日、カメラ映像で動きを検知したら、録画する。**  
**録画は、映像が変化する直前の 5 秒と、直後の 5 秒として、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。**

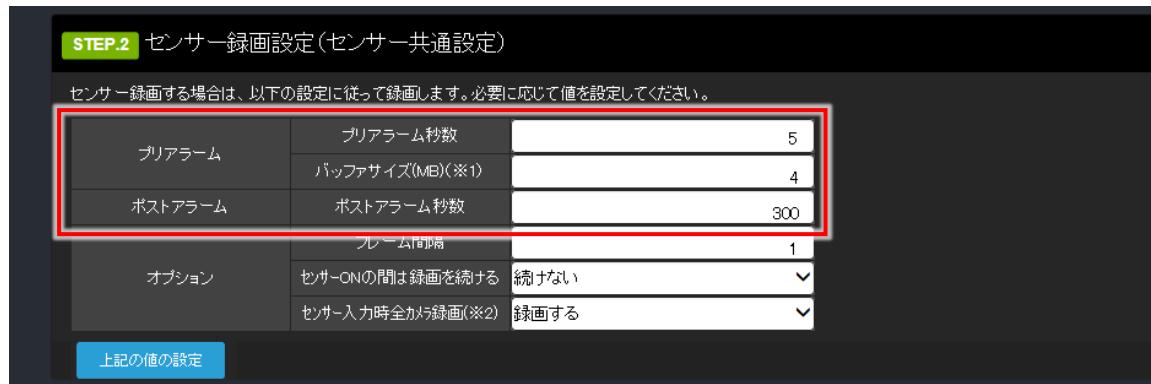
- (手順1) はじめに、通常時の録画設定を行います。例 1 のスケジュール設定の手順を参照して、設定してください。
- (手順2) 次に動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの [動き検知設定] の「条件設定」を選択します。
- (手順3) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順4) 区画毎の設定をします。区画の編集を行っていない場合、領域全体が区画 1 として定義されています。ここでは、区画の編集はせず、領域全体の動きを検知する場合の設定をしていきます。
- (手順5) 区画毎の「動き検知スケジュールに従う」を「従う」にします。
- (手順6) 「区画 1」の「変化値」に適切な値を入力します



- (手順7) 「プリアラーム録画」を「する」にします。
- (手順8) 「区画1」の「録画」を「する」にします。
- (手順9) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックします。
- (手順10) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。



- (手順11) 次に動き検知スケジュールの設定を行います。  
具体的な方法については、例1をご参照ください。
- (手順12) 最後にプリアラーム録画の設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの  
[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。



- (手順13) 「STEP.2」の「プリアラーム秒数(秒)」に5、「バッファサイズ(MB)」に4、「ポストアラーム秒数(秒)」に5を入力します。
- (手順14) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順15) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。
- (手順16) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順17) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

バッファの設定の考え方は「4.4.3.8 プリアラームバッファサイズの考え方」をご参照ください。



## 注意事項

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。
- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することができなくなります。

## 【補足説明】

- 例の通りに設定した場合、動き検知をすると、常にカメラと同じフレームレート(fps)で録画しますが、ライブ映像よりも低いフレームレートで録画を行いたい場合は、「フレーム間隔」の値を変更します。

設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」の画面を開きます。

フレーム間隔に指定されたコマ数ごとに画像を保存します。

例：カメラに10fpsを設定している場合に、フレーム間隔を5と設定すると、録画のフレームレートは $10 \div 5 = 2\text{fps}$ となります。

**STEP.1 センサーごとの設定**

センサーごとの設定状況は、以下の通りです。

No	センサー名	センサーに割りつかれた	録画	通知	プリセット番号	プリセット保持時間	センサー出力先
4	sens=4	01 1F正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
5	sens=5	01 1F正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
6	sens=6	01 1F正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
7	sens=7	01 1F正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
8	sens=8	01 1F正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
n	~~~~~n	n+1F正面玄関前	録画しない	通知しない	セレクタ	n	00 セレクタ

選択行のセンサーに関する設定を行ってください。

選択したセンサー名	sens=1
センサーに割りつかれた名	01 1F正面玄関前
録画	録画しない
通知	通知しない
プリセット番号	指定なし
プリセット保持時間	0
センサー出力先	00 指定なし

**STEP.2 センサー録画設定(センサー共通設定)**

センサー録画する場合は、以下の設定に従って録画します。必要に応じて値を設定してください。

プリアラーム	プリアラーム秒数	0
	バッファサイズ(MB)(※1)	4
ポストアラーム	ポストアラーム秒数	200
オプション	フレーム間隔	1
	センサーONの時は録画を続ける	あり(初期)
	センサー入力時全から録画(※2)	録画する

上記の値の設定

#### 4.4.3.6 動き検知録画の設定方法（H.264 の場合）

動き検知機能は、設定ツール メニューの[動き検知設定]の「条件設定」画面から設定を行います。具体例を、例 8 に示します。

例 8: カメラ映像で動きを検知したら、常に録画する。

録画は、映像が変更後 5 秒間録画するものとし、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。

**!** 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知したときのみを録画することはできなくなります。

なお、[通常録画設定]の「スケジュール設定」を録画しないように設定する手順は、例 5 にありますので参考にしてください。

- (手順1) はじめに動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの[動き検知設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 「STEP. 2」の「動き検知スケジュールに従う」を「従わない」にします。
- (手順4) 「録画する」を「する」にします。
- (手順5) 「選択したカメラの条件設定」をクリックします。
- (手順6) 「設定を保存する」をクリックします。



- (手順7) 次に動き検知時の前後何秒間録画するかを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順8) 「STEP. 2」の「プリアラーム秒数(秒)」を「0」にします。
- (手順9) 「ポストアラーム秒数(秒)」を「5」にします。
- (手順10) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順11) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順12) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順13) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



### ⚠ 注意事項:

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

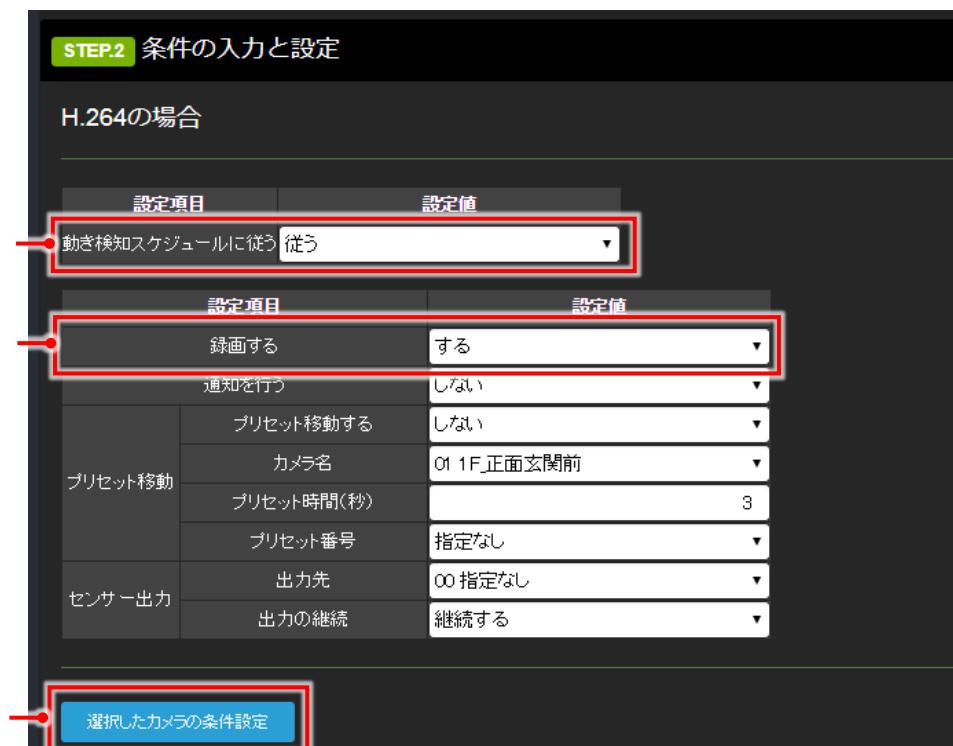
以下は、スケジュールに従った動き検知録画をする場合の例です。

「動き検知スケジュールに従う」を有効にすると、動き検知設定のスケジュールで録画する設定になっている時間帯のみ、動き検知録画することができます。

また、「プリアラーム録画」をチェックすることで、動きを検知した直前の映像を録画することができます。

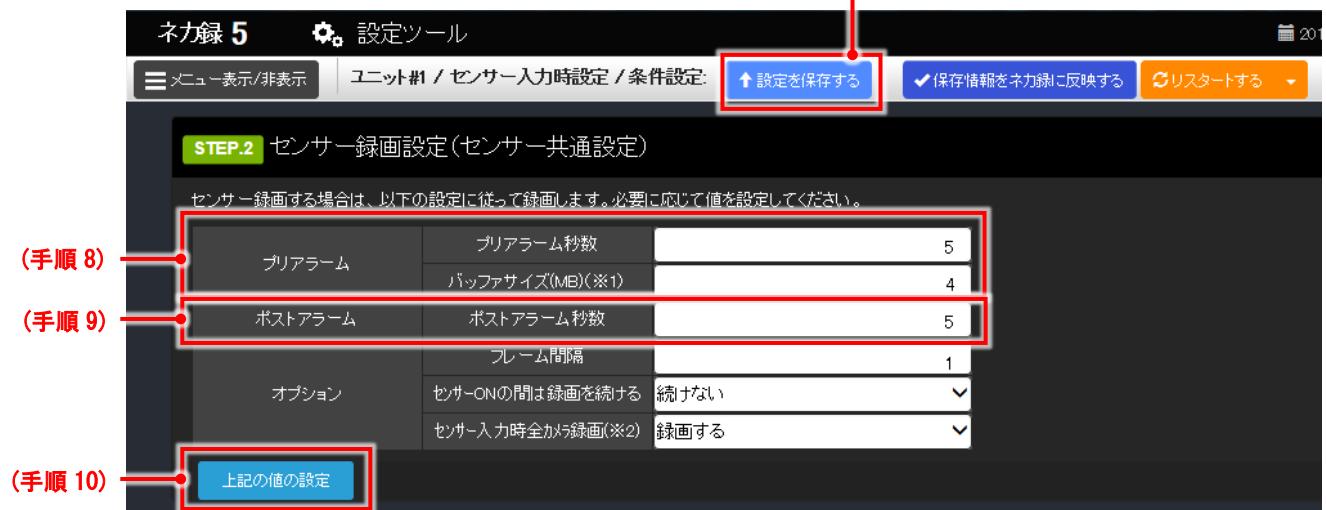
**例 9: 平日の午後 5 時から翌日の午前 9 時まで、および休日は終日、カメラ映像で動きを検知したら録画する。録画は、映像が変化する直前の 5 秒と、直後の 5 秒間録画するものとし、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。**

- (手順1) はじめに動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これから条件の設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 「STEP. 2」の「動き検知スケジュールに従う」を「従う」にします。
- (手順4) 「録画する」を「する」にします。
- (手順5) 「選択したカメラの条件設定」をクリックします。
- (手順6) 「設定を保存する」をクリックします。



- (手順7) 次に動き検知時の前後何秒間録画するかを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順8) 「STEP.2」の「プリアラーム秒数(秒)」を「5」にします。  
また、「バッファサイズ(MB)」が「4」になっていることを確認します。  
(バッファサイズを設定変更する必要がある場合には、  
「4.4.3.8 プリアラームバッファサイズの考え方」を参照し、適切なサイズを設定してください。)
- (手順9) 「ポストアラーム秒数(秒)」を「5」にします。
- (手順10) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順11) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。

(手順 11)



- (手順12) 次に動き検知設定のスケジュールを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[動き検知設定]の「スケジュール設定」を選択します。
- (手順13) ライブ映像を表示しているカメラのうち、手順2で設定したカメラを選択します。
- (手順14) 月曜日から日曜日までのスケジュールの設定を行います。  
スケジュールの設定の具体的な方法については、例1をご参照ください。
- (手順15) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順16) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順17) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



**注意事項:**

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。
- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することができなくなります。

## 【補足説明】

- 例の通りに設定した場合、動きを検知すると、常にカメラと同じフレームレート (fps) で録画しますが、ライブ映像よりも低いフレームレートで録画したい場合は、「フレーム間隔」の値を変更します。

設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」の画面を開きます。

「フレーム間隔」を「2」に設定すると、H.264 の I フレームのみ録画を行います。

STEP.1 センサーごとの設定

センサーごとの設定状況は、以下の通りです。

No	センサー名	センサーに割りつくか所	録画	通知	プリセット番号	プリセット保持時間	センサー出力先
5	sens-5	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
6	sens-6	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
7	sens-7	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
8	sens-8	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
9	sens-9	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし

選択行のセンサーに関する設定を行ってください。

選択したセンサー名	sens-1
センサーに割りつくか所名	01 1F_正面玄関前
録画	録画しない
通知	通知しない
プリセット番号	指定なし
プリセット保持時間	0
センサー出力先	00 指定なし

選択したセンサーの設定

STEP.2 センサー録画設定(センサー共通設定)

センサー録画する場合は、以下の設定に従って録画します。必要に応じて値を設定してください。

プリアラーム	プリアラーム秒数	5
	バックアサイズ(MB)(※1)	4
ポストアラーム	ポストアラーム秒数	5
	フレーム間隔	2
オプション	センサーONの間は録画を続ける	続かない
	センサー入力時全から録画(※2)	録画する

上記の値の設定

#### 4.4.3.7 センサー連動録画の設定方法

センサーからの入力をトリガーとして、録画を行う方法は、次の2通りがあります。ただし、どちらもスケジュールの設定を行うことはできません。センサーから入力があれば必ず録画を行います。

① 設定ツールのメニューから[通常録画設定]の「条件設定」画面を開き、センサー録画として設定する  
この場合、カメラ単位にセンサー入力を割り付けます。「L レベル」と設定した時は、センサーがONの間は常に録画を行い、「H レベル」と設定した時は、センサーがOFFの間、録画を行います。なお、スケジュールの設定はできません。

② 設定ツールのメニューから[センサー入力時設定]の「条件設定」画面を開き、  
「センサーONの間は録画を続ける」を「続ける」にする

この場合、センサー入力があった場合に、[センサー入力時設定]の「スケジュール設定」に従って録画されます。また、「センサー入力時全カメラ録画」を「録画する」にすると、割り付けに関わらずすべてのカメラで録画を行います。

No	スケジュール設定	プリアラーム ポストアラーム	割り付けられた カメラ以外の録画
①	×	×	×
②	×	○	○

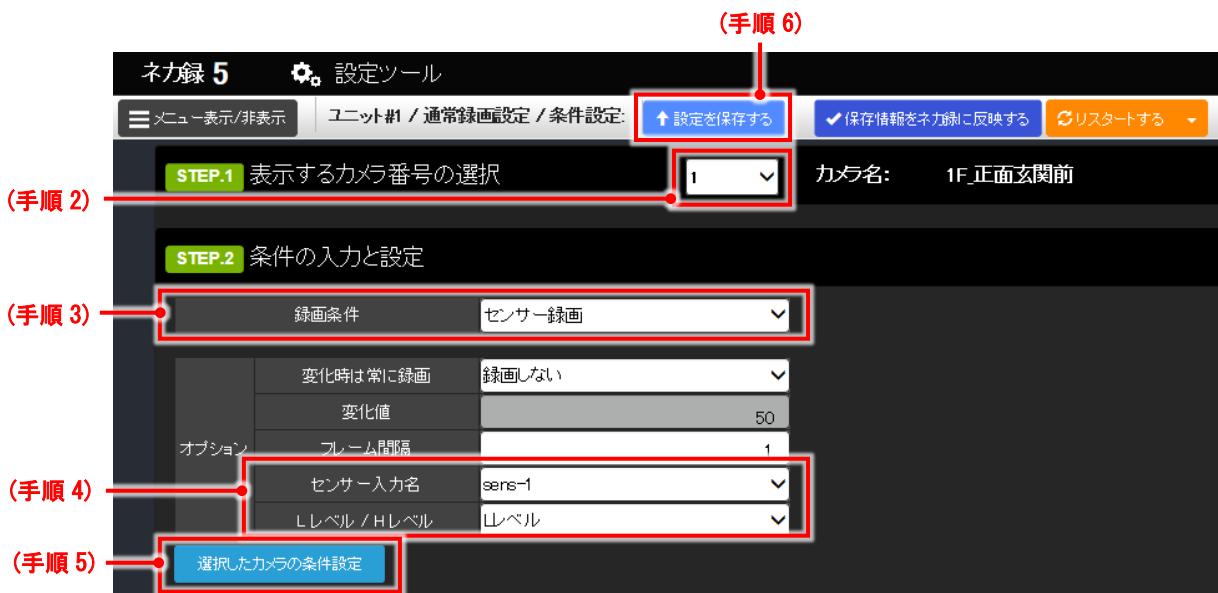
なお、この2種類のセンサー連動録画設定は同時に設定できません。  
必ず、どちらか一方のみでご利用ください。

次にそれぞれのケースごとに説明を行います。

以下は、センサーがONの瞬間のみ録画する場合の例です。

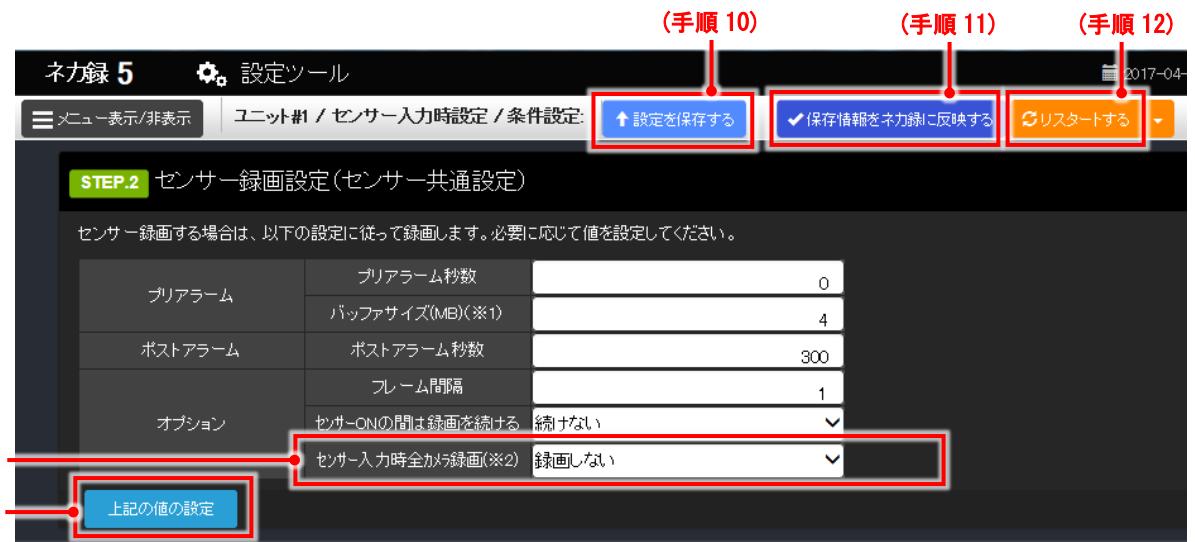
**例 10:センサー入力があった場合に、センサーに割りつくカメラの映像で、入力があった瞬間の映像のみを録画する。**

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの[通常録画設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これから条件の設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 「録画条件」は「センサー録画」を選択してください。
- (手順4) オプションを設定していきます。「センサー入力名」は使用したいセンサー入力を選択し、「L レベル/H レベル」は必ずL レベルを選択します。
- (手順5) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックし、変更内容を確定します。
- (手順6) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順7) 次にセンサー入力時に録画するカメラについて設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。

- (手順8) 「STEP. 2」の「センサー入力時全カメラ録画」を「録画しない」にします。
- (手順9) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順10) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順11) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順12) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



以下は、センサーがONになった直前、直後の映像を録画する場合の例です。

「センサー入力時全カメラ録画」を「録画する」にすると、センサーON時に、全カメラが録画されます。

**例 11:センサー入力があった場合に、すべてのカメラで録画を開始する。録画は、センサー入力の直前の 5 秒と、直後の 5 秒として、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。**

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順2) センサーごとの設定状況の一覧から、設定したいセンサーの行をクリックします。
- (手順3) 右側の入力欄に手順 2 で選択された行の設定情報が反映されますので、「センサーに割りつくカメラ」に録画したいカメラを選択し、「録画」を「録画する」にします。
- (手順4) 「選択したセンサーの設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順5) 「プリアラーム秒数(秒)」に「5」、「ポストアラーム秒数(秒)」に「5」、「バッファサイズ(MB)」に「4」を入力してください。  
(「4.4.3.8 プリアラームバッファサイズの考え方」を参照し、適切なサイズを設定してください。)
- (手順6) 「センサー入力時全カメラ録画」を「録画する」にします。
- (手順7) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順9) 上記で全カメラを録画するように設定しましたが、一部のカメラを録画させたくない場合は次の設定を行います。設定ツールのメニューから「ネカ録共通設定」を選択します。
- (手順10) 「録画をしないカメラの設定」で、録画たくないカメラのユニット、カメラ番号の範囲を指定し、「録画しない」ボタンをクリックします。
- (手順11) 手順10で設定したカメラの設定状態を確認します。  
録画するカメラの背景色は緑、録画しないカメラの背景色は白で表示されます。
- (手順12) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順13) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順14) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

(ユニット #1 のカメラ 1 を録画しないと設定した場合)



### ⚠ 注意事項

- センサー入力があったときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、センサー入力があったときのみを録画することができなくなります。

以下は、センサーがONになった直前、直後の映像を録画する場合の例です。

「センサー入力時全カメラ録画」を「録画しない」にすると、スケジュール設定でセンサー入力が有効とされた時間帯に割り付けられているカメラだけが録画されます。

**例 12:センサー入力があった場合に、割りつくカメラの録画を開始する。**

録画は、センサー入力の直前の5秒と、直後の5秒として、録画のフレームレートはカメラ映像と同じとする。

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの「センサー入力時設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) センサーごとの設定状況の一覧から、設定したいセンサーの行をクリックします。
- (手順3) 右側の入力欄に手順2で選択された行の設定情報が反映されますので、「センサーに割りつくカメラ」に録画したいカメラを選択し、「録画」を「録画する」にします。
- (手順4) 「選択したセンサーの設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順5) 「プリアラーム秒数(秒)」に「5」、「ポストアラーム秒数(秒)」に「5」、「バッファサイズ(MB)」に「4」を入力してください。  
(「4.4.3.8 プリアラームバッファサイズの考え方」を参照し、適切なサイズを設定してください。)
- (手順6) 「センサー入力時全カメラ録画」を「録画しない」にします。
- (手順7) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



(手順9) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。

(手順10) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



#### 注意事項:

- センサー入力があったときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、センサー入力があったときのみを録画することができなくなります。

#### 4.4.3.8 プリアームバッファサイズの考え方

プリアームバッファとは、センサー入力を受けた時刻からプリアームに指定された秒数分さかのぼり録画を行うために、画像を保持するための領域です。

プリアーム秒数が0の場合には編集できないので注意してください。

また、次の条件を守って、設定してください。この条件が満たされない場合は、正しく録画ができない場合があります。

##### ■ 条件:

- バッファサイズは「4」MB以上で設定してください。
- 次の「■バッファサイズの考え方:」を参照し、ユニット1つでのサイズは、256MBを超えないように設定してください。

※たとえば、64台カメラを設定している場合は、「4」MBと設定してください。

##### ■ バッファサイズの考え方:

指定した値は、ネカ録に定義されているカメラの台数分、ユニットごとにまとめて確保されます。したがって、カメラ台数の変更があった場合には、見直しが必要です。

バッファのサイズは、ネカ録に定義されているカメラのうち、次の値が最大のカメラの値を元に設定します。

バッファに設定する値 = 画像1枚の容量 × フレームレート × プリアームの秒数

画像1枚の容量の目安は、次の通りです。

画像圧縮方式	解像度	画像1枚あたりの平均容量
JPEG	VGA	34KB
	SXVGA	116KB
H. 264	VGA	8KB
	SXVGA	33KB

##### ⚠ 注意事項

- 多くの場合、画像1枚の容量はKBで表現されますが、バッファに設定する値はMBで指定する必要があります。また、計算結果の小数点以下は切り上げて指定してください。

##### ■ 具体例:

画像1枚の容量	34KB
フレームレート	15fps
プリアームの秒数	10秒
カメラ台数	32台

34KB(画像1枚の容量) × 15(フレームレート) × 10(プリアームの秒数) = 5100KB  
5100KB ÷ 1024 ≈ 4.98 MB

上記の場合、バッファサイズに指定する設定値は小数点を切り上げて「5」と設定して下さい。  
最後に、256MBを超えていないかを確認してください。

5MB(バッファサイズ) × 32(台) = 160 MB <= 256MB

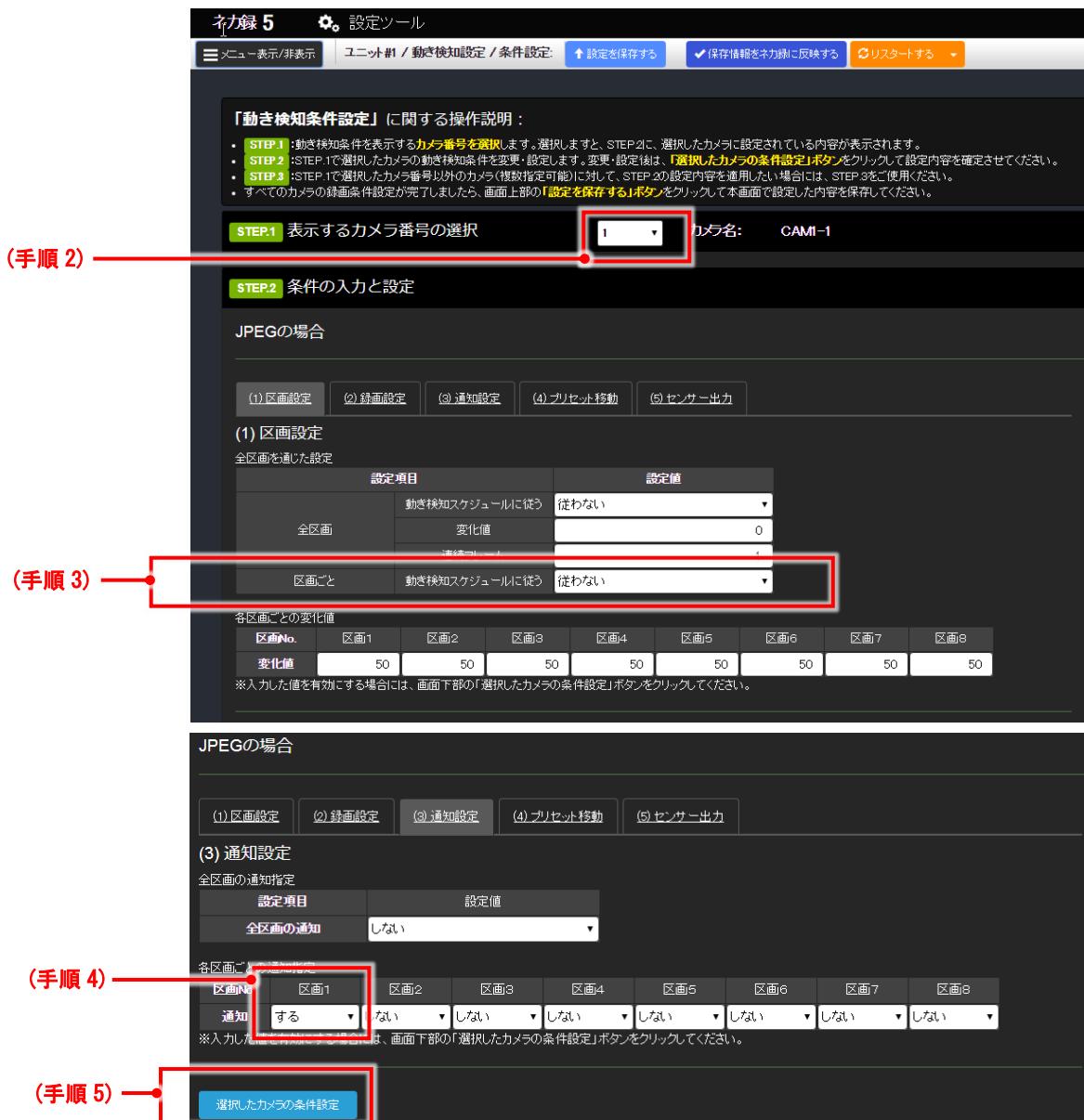
## 4.4.4 通知機能

通知機能とは、「動き検知」、「センサー入力」および「障害発生時」に通知を各クライアントツールへ送信、または電子メールを送信する機能です。設定方法について具体的な例を元に説明をします。

### 4.4.4.1 区画別の通知の設定方法 (JPEG・MJPEG の場合)

例 13: カメラ映像で動きを検知したら、常に通知する。

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これから条件の設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) STEP. 2 の(1)区画設定で、区画毎の「動き検知スケジュールに従う」を「従わない」にします。
- (手順4) STEP. 2 の(3)通知設定を設定していきます。  
例えば、「区画 1」で通知を行いたい場合には、「区画 1」の「通知」は「する」を選択します。
- (手順5) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックし、変更した値を確定します。



- (手順6) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順7) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順8) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

#### 注意事項

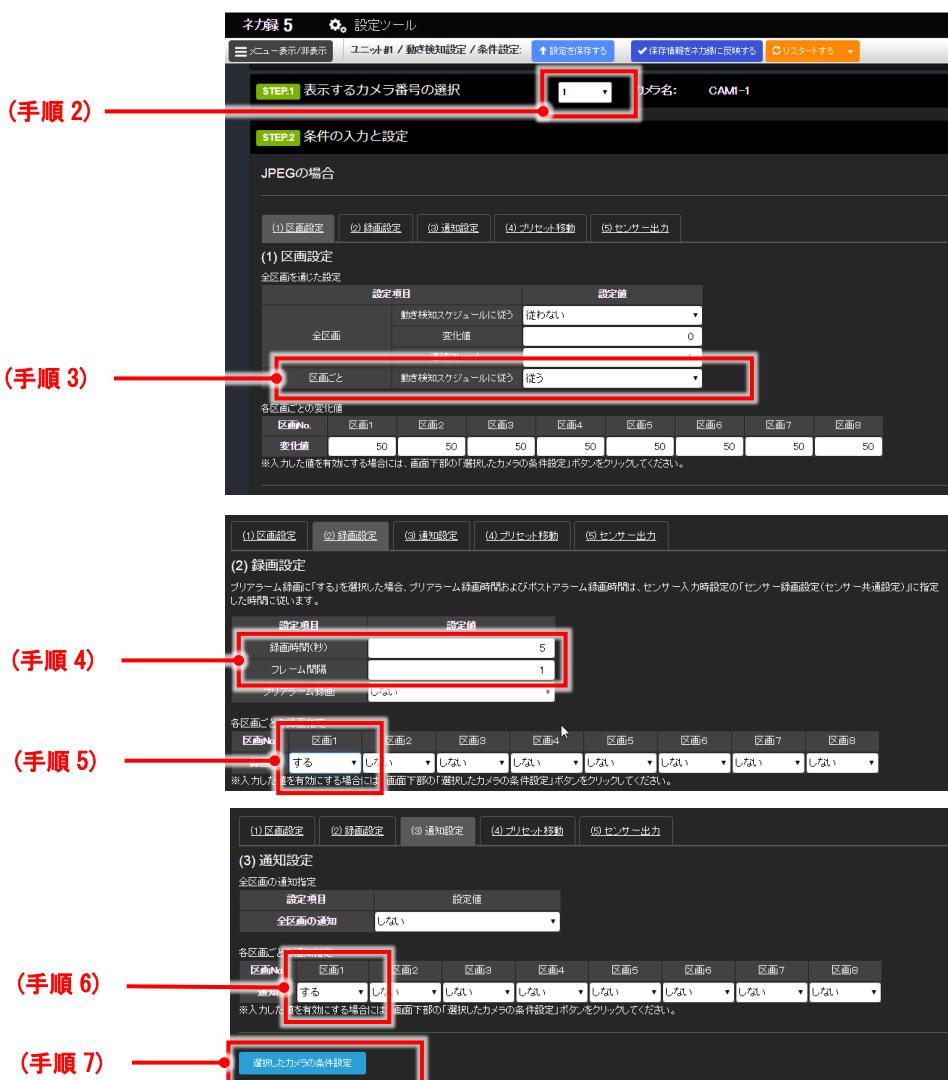
- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。

以下は、スケジュールに従った動き検知通知をする場合の例です。

「動き検知スケジュールに従う」を「従う」とした場合、動き検知のスケジュールで動き検知を有効にしている時間帯のみ、通知することができます。

**例 14:カメラ映像で動きを検知時、動き検知スケジュールが ON のときのみ録画を行うと同時に通知も行う。**

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これから条件の設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) STEP. 2 の(1)区画設定で、区画毎の「動き検知スケジュールに従う」を「従う」にします。
- (手順4) STEP. 2 の(2)録画設定を設定していきます。「録画時間(秒)」に5、「フレーム間隔」に1を入力します。
- (手順5) 例えば、「区画 1」で録画を行いたい場合には、「区画 1」の「録画」は「する」を選択します。
- (手順6) STEP. 2 の(3)通知設定を設定していきます。例えば、「区画 1」で通知を行いたい場合には、「区画 1」の「通知」は「する」を選択します。
- (手順7) 「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックし、変更した値を確定します。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックします。



- (手順9) 次に動き検知設定のスケジュールを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[動き検知設定]の「スケジュール設定」を選択します。
- (手順10) ライブ映像を表示しているカメラのうち、手順2で設定したカメラを選択します。
- (手順11) 月曜日から日曜日までのスケジュールの設定を行います。  
スケジュールの設定の具体的な方法については、例1をご参照ください。
- (手順12) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順13) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順14) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



#### 注意事項:

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。  
詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。
- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。  
通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することができなくなります。

#### 4.4.4.2 カメラ側のモーションディテクト連動通知の設定方法 (H.264 の場合)

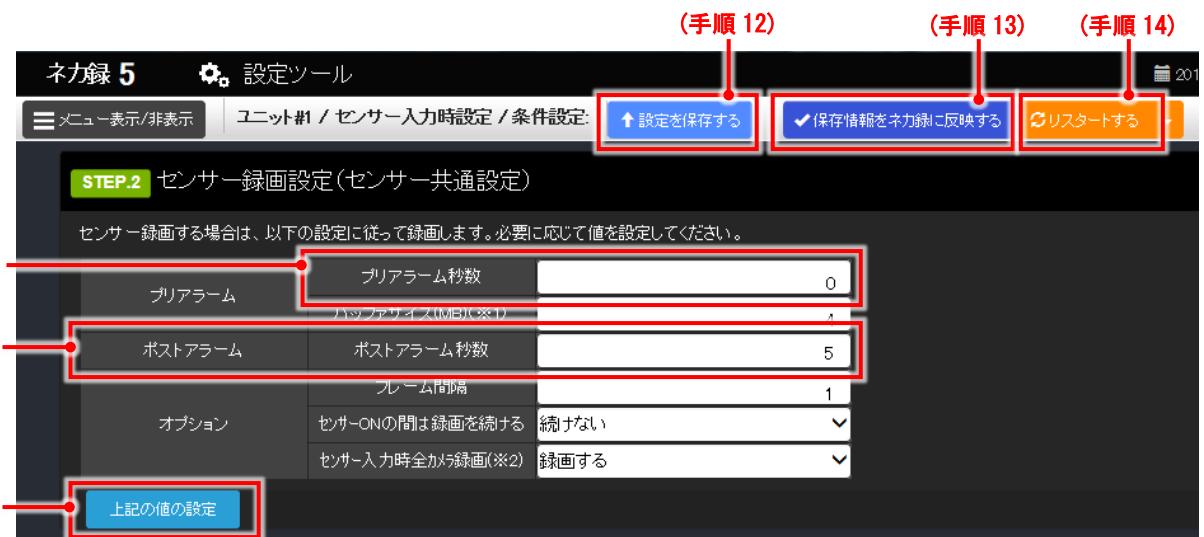
以下は、配信形式が H.264 のカメラに対する動き検知通知をする場合の例です。

##### 例 15: カメラ映像での動き検知時、常に録画（動き検知後 5 秒間の録画）を行うと同時に通知する。

- (手順1) はじめに動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 「STEP. 2」の「動き検知スケジュールに従う」を「従わない」にします。
- (手順4) 「録画する」を「する」にします。
- (手順5) 「通知を行う」を「する」にします。
- (手順6) 「選択したカメラの条件設定」をクリックします。
- (手順7) 「設定を保存する」をクリックします。



- (手順8) 次に動き検知時の前後何秒間録画するかを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順9) 「STEP. 2」の「プリアラーム秒数(秒)」を「0」にします。
- (手順10) 「ポストアラーム秒数(秒)」を「5」にします。
- (手順11) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順12) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。
- (手順13) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順14) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



### ⚠ 注意事項:

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。
- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することはできなくなります。

以下は、スケジュールに従った動き検知通知をする場合の例です。

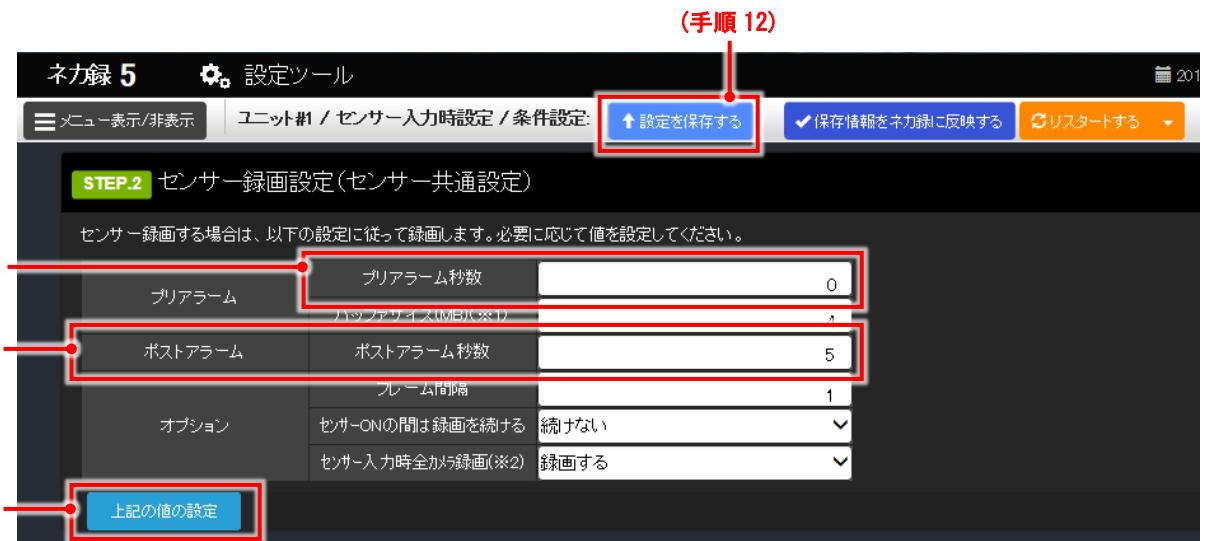
「動き検知スケジュールに従う」を「従う」とした場合、動き検知のスケジュールで動き検知を有効にしている時間帯のみ、通知することができます。

**例 16: カメラ映像での動き検知時、動き検知スケジュールが ON のときのみ、録画を行うと同時に通知も行う。**

- (手順1) はじめに動き検知時の録画設定を行います。設定ツールのメニューから編集するユニットの「動き検知設定」の「条件設定」を選択します。
- (手順2) ライブ映像を表示しているカメラのうち、これからスケジュールの設定を行いたいカメラを選択します。
- (手順3) 「STEP. 2」の「動き検知スケジュールに従う」を「従う」にします。
- (手順4) 「録画する」を「する」にします。
- (手順5) 「通知を行う」を「する」にします。
- (手順6) 「選択したカメラの条件設定」をクリックします。
- (手順7) 「設定を保存する」をクリックします。



- (手順8) 次に動き検知時の前後何秒間録画するかを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順9) 「STEP. 2」の「プリアラーム秒数(秒)」を「0」にします。
- (手順10) 「ポストアラーム秒数(秒)」を「5」にします。
- (手順11) 「上記の値の設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順12) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順13) 次に動き検知設定のスケジュールを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[動き検知設定]の「スケジュール設定」を選択します。
- (手順14) ライブ映像を表示しているカメラのうち、手順2で設定したカメラを選択します。
- (手順15) 月曜日から日曜日までのスケジュールの設定を行います。  
スケジュールの設定の具体的な方法については、例1をご参照ください。
- (手順16) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順17) 「設定情報をネオリンクに反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順18) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

#### ⚠ 注意事項:

- 動き検知の利用には、カメラ設定画面の「動き検知」の項目を「する」と設定しておく必要があります。詳細は、「4.4.2.1 画像変化検知機能、動き検知機能を使用する場合」を参照ください。
- 動きを検知したときだけ録画したい時間帯は、通常録画を常にしないようにスケジュール設定をする必要があります。通常時の録画スケジュールで録画すると設定された時間帯では必ず録画をするため、動き検知をしたときのみを録画することができなくなります。

#### 4.4.4.3 センサー入力時の通知

例 17: センサー入力があった場合に、常に通知を行う。

- (手順1) 設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「条件設定」を選択します。
- (手順2) センサーごとの設定状況の一覧から、設定したいセンサーの行をクリックします。
- (手順3) 右側の入力欄に手順 2 で選択された行の設定情報が反映されますので、「通知」を「通知する」にします。
- (手順4) 「選択したセンサーの設定」ボタンをクリックし、値の変更を確定します。
- (手順5) 「設定を保存する」ボタンをクリックしてください。一時的に設定が保存されます。



- (手順6) 次にセンサー入力時設定のスケジュールを設定します。設定ツールのメニューから編集するユニットの[センサー入力時設定]の「スケジュール設定」を選択します。
- (手順7) 月曜日から日曜日までのスケジュールの設定を行います。  
スケジュールの設定の具体的な方法については、例 1 をご参照ください。  
センサー入力時に常に通知を行いたい場合は、月曜から日曜まで終日センサーを使用する設定にしてください。
- (手順8) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順9) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順10) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

#### 4.4.4.4 障害発生時の通知

障害発生時の通知には、次の3種類の異常を検知した場合に通知が行われます。

No	通知される異常の種類	説明
1	カメラ停止	ネカ録に登録されているカメラとの通信ができなくなった場合に、本通知が行われます。
2	入出力ボックス停止	ネカ録に登録されている入出力ボックスとの通信ができなくなった場合に、本通知が行われます。
3	画像比較エラー	あらかじめ設定しておいた時間に、あらかじめ設定した基準画面と異なる画像であった場合に、通知を行います。

#### 【補足説明】

No. 3 の「画像比較エラー」による通知は、毎日決まった時間に基準となる画像と比較を行い、設定された変化値を超えた場合に通知を行う機能です。対して、「4.4.4.1 区画別の通知の設定方法 (JPEG・MJPEG の場合)」で記載しました通知機能は、特定の時間での比較ではなくスケジュールの設定された時間帯で画像が変化したときに通知を行う機能です。

 No. 3 の「画像比較エラー」機能を利用するための設定は、別途「動き検知関連区画設定ツール」より行ってください。詳細は、「1」をご参照ください。

次に、No. 1 の「カメラ停止」および No. 2 「入出力ボックス停止」の設定方法について説明します。

#### 例 18: 障害発生時の通知機能のうち、カメラ停止検知、入出力ボックス停止検知の設定を行う。

(手順1) 設定ツールでメニューから「異常検知設定」を選択します

(手順2) 「カメラ停止検知」を有効にしたい場合には、「カメラの停止を通知」にチェックをつけます。また、「入出力ボックス停止通知」を有効にしたい場合には、「入出力ボックスの停止を通知」にチェックをつけます。



ネカ録 統合管理ツール ユーザーズガイド [90B0-DL-1559A]

- (手順3) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順4) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順5) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。

## 4.4.5 セキュリティ機能

### 4.4.5.1 ユーザー設定

本機能はネカ録のユーザーの管理を行います。

ネカ録ビューアまたはスーパーマルチビューアでネカ録に接続し、映像を閲覧する場合や統合管理ツールを利用する場合には、ここで設定したユーザーのユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

各ユーザーに対して、ネカ録で実行できる操作を段階的に分けたユーザーレベルと、接続可能なカメラの設定を行えます。

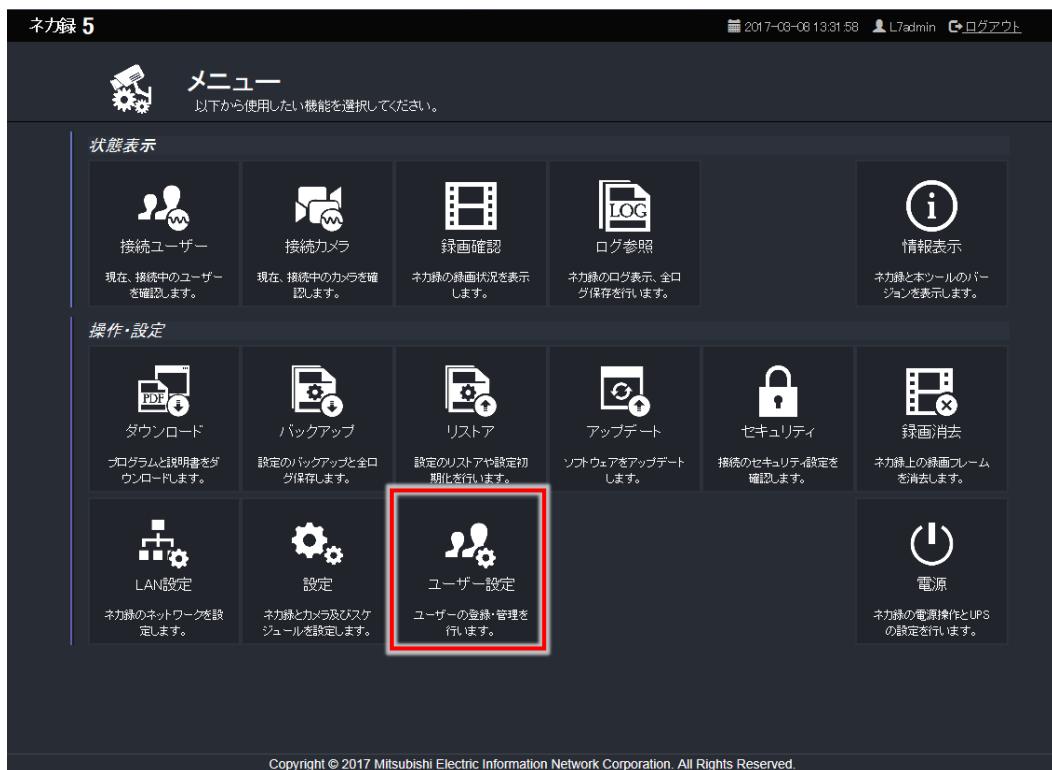
ユーザーは最少1人から最多100人まで登録可能で、初期は、以下のユーザーが登録されています。

ユーザー名	ユーザーレベル	パスワード
userman	5	999999
L1user	1	111111

設定は、次の手順で実施します。

#### ■ユーザーを編集する

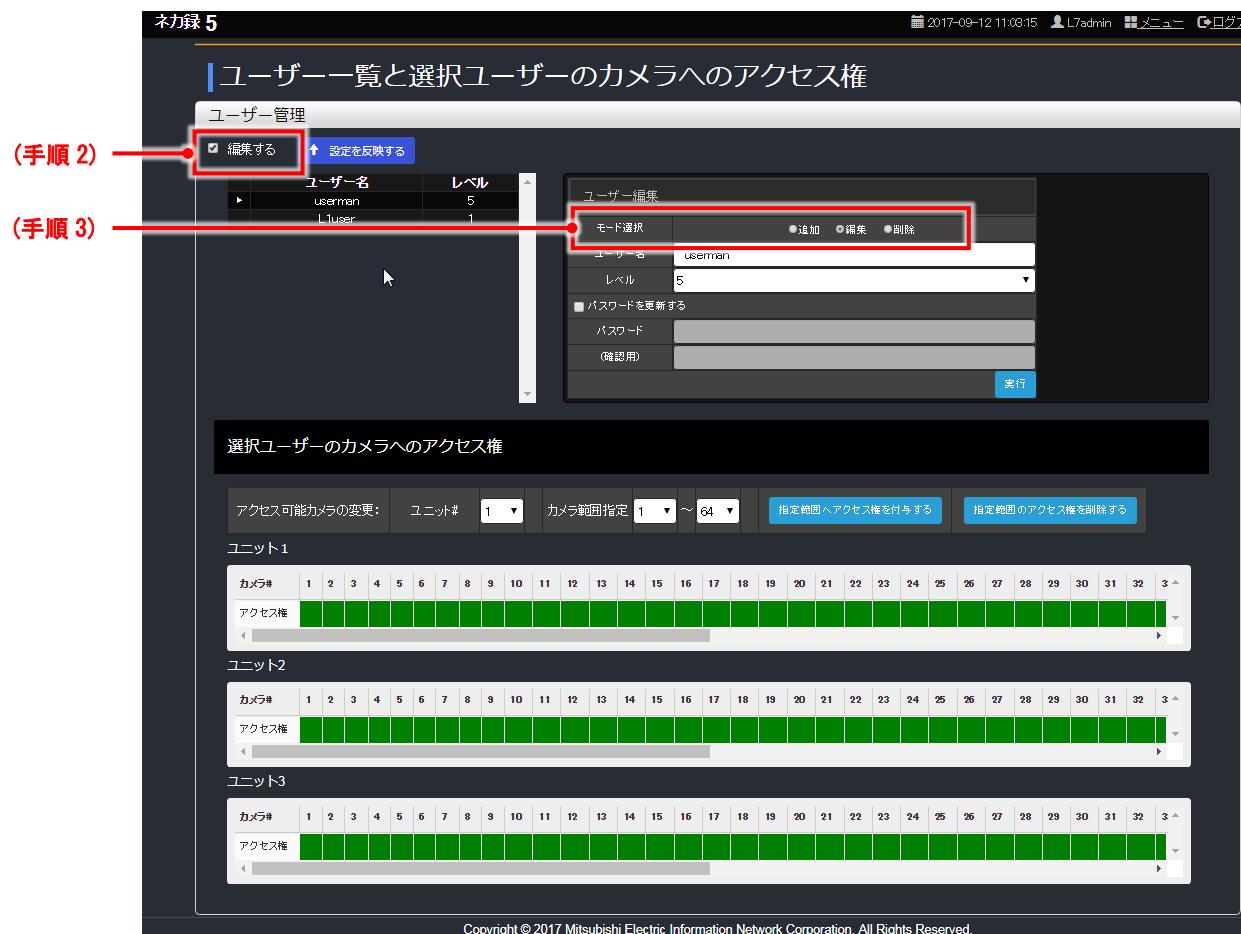
(手順1) 統合管理ツールのメニュー画面より、「ユーザー設定」を選択します。



(手順2) ユーザー設定画面が開いたら、「編集する」をチェックします。

(手順3) 「設定反映する」ボタンとユーザー編集画面が表示されます。

ユーザー編集画面でモード選択から、目的に応じて 追加・編集・削除を選択します。

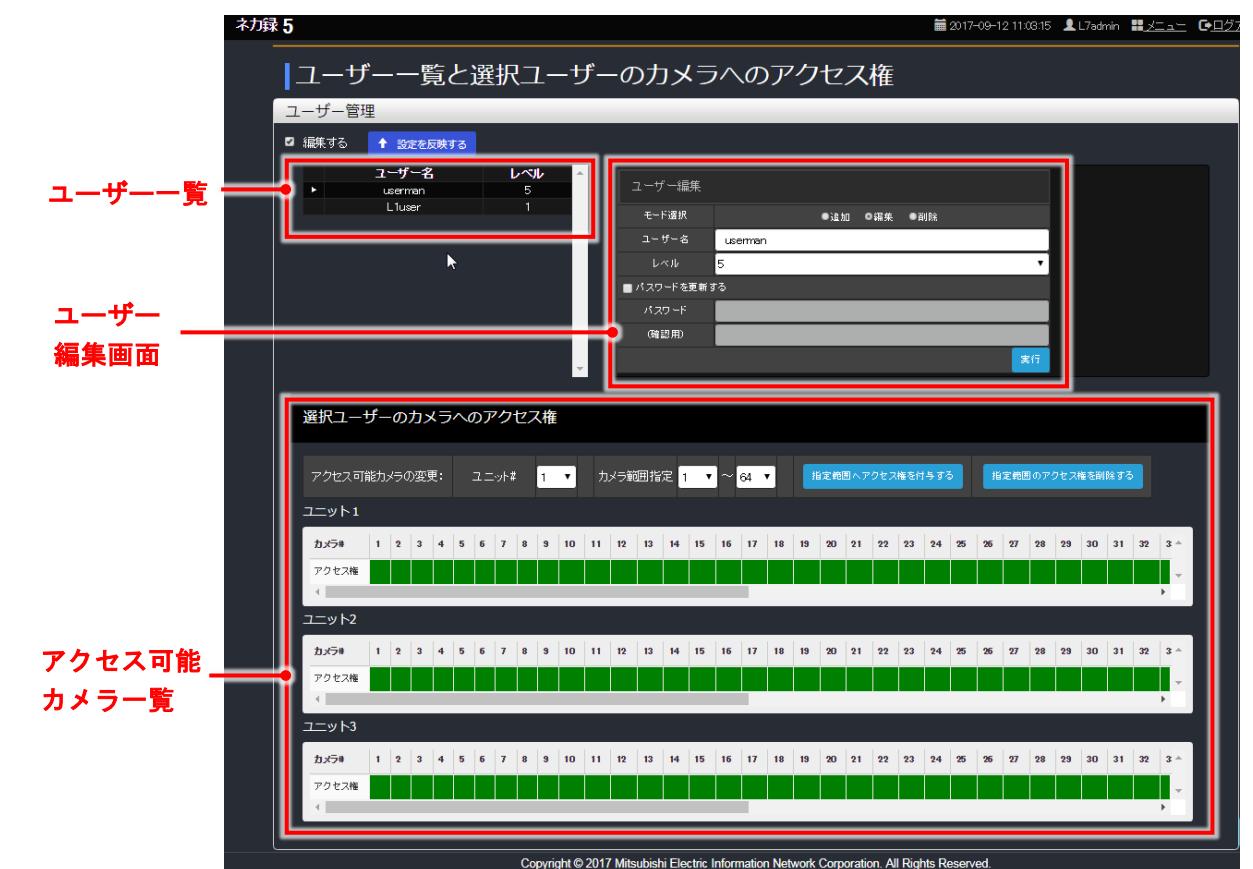


項目	説明
追加	新たにユーザーを追加します。
編集	既にあるユーザーを編集します。
削除	既にあるユーザーを削除します。

(手順4) ユーザーを編集します。詳細は、次ページをご参照ください。

(手順5) 「設定を反映する」ボタンをクリックし、ネカ録に設定を反映させます。

## ■ユーザー編集詳細



### ◇ユーザーを追加する

- ① ユーザー編集画面で、「ユーザー名」、「レベル」、「パスワード」、「(確認用)」を入力します。レベルの決定は、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」をご参照してください。
- ② アクセス可能カメラを編集します。

ステータスは、カメラ番号の下の色で表示しており、「アクセス可能カメラの変更」の行でユニット番号とカメラ範囲指定と「指定範囲へアクセス権を付与する」及び「指定反映のアクセス権を削除する」ボタンを指定することにより、アクセス可能/アクセス不可を切り替えることができます。

ステータス	状態
(緑)	アクセス可能
(白)	アクセス不可

- ③ ユーザー編集画面の「実行」ボタンをクリックします。

#### ◇ユーザーを編集する

- ① ユーザー一覧から編集したいユーザーを選択します。編集したいユーザーの行をクリックすると選択され、ユーザー編集画面の情報が更新されます。
- ② ユーザー編集画面で、「ユーザー名」、「レベル」を必要に応じて編集します。
- ③ パスワードを変更する場合は、「パスワードを更新する」にチェックを入れ、「パスワード」、「(確認用)」を入力します。
- ④ アクセス可能カメラを編集します。編集方法は、上記「◇ユーザーを追加する」の②と同様です。
- ⑤ ユーザー編集画面の「実行」ボタンをクリックします。

#### ◇ユーザーを削除する

- ① ユーザー一覧から削除したいユーザーを選択します。削除したいユーザーの行をクリックすると選択され、ユーザー編集画面の情報が更新されます。
- ② ユーザー編集画面の「実行」ボタンをクリックします。

#### ⚠ 注意事項

- すでに「ネカ録ビューア」または「スーパーマルチビューア」で接続しているユーザーのユーザー情報を変更した場合、そのユーザーは切断されてしまいます。
- ユーザーの登録には下記制限があります。

文字数：

【ユーザー名】 1 文字以上 32 文字以下

【パスワード】 6 文字以上 32 文字以下

入力可能文字種：

【ユーザー名/パスワード】 半角英数字 または 記号文字 !?\_-

- ユーザーレベル 5 のユーザーは 1 アカウント以上登録の必要があります。
- システムで利用するユーザー名を指定した場合は、エラーになります。別のユーザー名をご利用ください。

(参考) 「ビューア」、「スーパーマルチビューア」のユーザーレベルによる操作制限

ユーザー レベル	権限
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ライブ映像の表示操作(拡大表示、2ページ目以降の表示など)</li><li>・配置図ダイアログの表示操作(ライブ映像へのジャンプ、サイズ変更、閉じるなど)</li><li>・通知履歴ダイアログの表示操作(スクロールして過去の分を見る、サイズ変更、閉じるなど)</li><li>・通知ダイアログの消去</li></ul>
2	<p>ユーザー レベル 1 の全権限</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・カメラの PTZ 操作</li></ul>
3	<p>ユーザー レベル 2 の全権限</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・録画映像の再生</li></ul>
4	<p>ユーザー レベル 3 の全権限</p> <p>PC への録画映像の保存</p>
5	ユーザー レベル 4 の全権限

ネカ録 統合管理ツールのユーザーレベルによる制限は、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」を参照してください。

#### 4.4.5.2 パケットフィルタ

本機能はネカ録と異なるサブネット上の想定外のホストからの不正なアクセスを防ぐために、予め定義されたホスト以外からの通信を遮断する機能です。

パケットフィルタが有効の場合、ネカ録は以下の機器との通信が可能です。

- 同一サブネット上に存在する機器
- カメラ設定に定義されたカメラ
- センサー入出力設定の入出力ボックスに定義された入出力ボックス
- ネットワーク設定のネームサーバに定義された DNS サーバ
- 時刻設定の NTP サーバに定義された NTP サーバ
- 通知設定の SMTP サーバに定義されたメールサーバ
- ネットワーク設定の例外ホストに定義された PC、サーバ、その他の機器

パケットフィルタは、出荷時より有効にセットされています。

サブネット外に存在する PC やサーバ、及びその他の機器(カメラ等のネカ録に定義されている機器は除く)とネカ録を接続する必要がある場合は、例外ホストに追加してください。

パケットフィルタの有効、無効の設定方法、及び例外ホストの設定方法は、「5.14.1 セキュリティ設定」を参照ください。

#### 4.4.5.3 認証スキップホスト

本機能は、予め認証スキップホストとして定義されたホストから DIGUARD Net ネカ録 SDK を通じて、映像を配信するときに、ユーザー認証なしで接続できる機能です。

DIGUARD Net ネカ録 SDK で映像を配信するホスト以外は、認証スキップホストに登録しないでください。



##### 注意事項

- 認証スキップホストからネカ録ビューアを利用する際は、ユーザーレベル 5 で接続し、すべてのカメラが参照可能になります。
- ネカ録 統合管理ツールは、認証スキップホストに登録したホストから接続する場合でも認証なしで利用することはできません。必ず、ユーザー認証が必要になりますので、ご注意ください。

認証スキップホストの設定手順は次の通りです。

- (手順1) 設定ツールでメニューから「セキュリティ設定」を選択します
- (手順2) 認証スキップホストの入力欄に登録したいホストの IP アドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。（最大 16 まで登録可能です。）
- (手順3) 「設定を保存する」ボタンをクリックして設定を完了させます。
- (手順4) 「設定情報をネカ録に反映する」ボタンをクリックしてください。
- (手順5) 「リスタート」ボタンをクリックしてください。リスタートが完了するまでには数十秒かかることがあります。



また、認証スキップホスト一覧に追加したホストを削除する場合は、削除したいホストの左のチェックボックスにチェックを入れ、赤の「×」ボタンをクリックします。

ネカ録に反映する場合は、上記の手順 3~5 を実行してください。



# 5 各種画面

本章では、ネカ録設定ツールの構成について説明します。

## 5.1 メニュー画面

「ネカ録 統合管理ツール」 のメニュー画面です。  
利用したい機能のアイコンをクリックすると各ページへ移動します。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面



### ■ボタン/リンク

No	項目	説明	遷移画面
1	接続ユーザー	現在、ネカ録に接続中のユーザーを確認します。	接続ユーザー画面
2	接続カメラ	現在、ネカ録に接続中の登録カメラの状態を確認します。	接続カメラ画面
3	録画確認	ネカ録の録画状況を確認します。	録画確認画面
4	ログ参照	ネカ録のログ表示、全ログ保存を行います。	ログ参照画面

No	項目	説明	遷移画面
5	情報表示	ネカ録の機種、ソフトウェアのバージョンの情報を表示します。	情報表示画面
6	ダウンロード	PC 側で利用するツールや説明書のダウンロードを行います。	ダウンロード画面
7	バックアップ	ネカ録の設定情報のバックアップと全ログ保存を行います。	バックアップ画面
8	リストア	ネカ録の設定情報のリストアを行います。	リストア画面
9	アップデート	ネカ録や OS のセキュリティなどのアップデートを行います。	アップデート画面
10	セキュリティ	接続に関するセキュリティ設定・確認を行います。	セキュリティ画面
11	録画消去	ネカ録上の録画フレームを消去します。	録画消去画面
12	LAN 設定	ネカ録のネットワークに関する設定をします。	LAN 設定画面
13	設定	ネカ録とカメラを設定します。	設定画面
14	ユーザー設定	ユーザーの登録管理・アクセスカメラ設定をします。	ユーザー設定画面
15	電源	ネカ録の電源操作と UPS ドライバの設定を行います。	電源画面

### ⚠ 注意事項

- ユーザーレベルによって利用できる機能に制限があります。  
詳細は、「3.1.1 ユーザーレベルによる制限」をご参照ください。

(参考) 以下、レベル別のメニュー画面です。

#### [ ログインユーザー : レベル 5 ]

ネカ録 5

2017-03-08 15:29:42 username ログアウト

メニュー  
以下から使用したい機能を選択してください。

**状態表示**

- 接続ユーザー  
現在、接続中のユーザーを確認します。
- 接続カメラ  
現在、接続中のカメラを確認します。
- 録画確認  
ネカ録の録画状況を表示します。
- 情報表示  
ネカ録と本ツールのバージョンを表示します。

**操作・設定**

- ダウンロード  
プログラムと説明書をダウンロードします。
- バックアップ  
設定のバックアップと全ログ保存します。
- ユーザー設定  
ユーザーの登録・管理を行います。
- 電源  
ネカ録の電源操作とUPSの設定を行います。

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

## [ ログインユーザー : レベル 3 または 4 ]

ネカ録 5

2017-08-08 15:49:12 L3user ログアウト

### メニュー

以下から使用したい機能を選択してください。

状態表示

 接続ユーザー 現在、接続中のユーザーを確認します。	 接続カメラ 現在、接続中のカメラを確認します。	 録画確認 ネカ録の録画状況を表示します。	 情報表示 ネカ録と本ツールのバージョンを表示します。
--	--	---	---

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

## 5.2 接続ユーザー画面

利用可能なユーザーレベル

3/4/5/管理者

現在、ネカ録に接続中のユーザーを確認する画面です。

ネカ録への接続数には、一部上限がございますので、超過した場合の管理にもご活用いただけます。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「接続ユーザー」を選択

■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	ログイン状況	ユーザーレベル3から5での接続台数	ユーザーレベル3から5でのネカ録への接続台数を表示します。最大5台まで接続可能です。
2		接続数	ネカ録への接続数を表示します。最大50接続まで可能です。
3	接続一覧	No	接続一覧の表の通し番号を表示します。
4		接続元アドレス	ログインユーザーのIPアドレスを表示します。
5		ユーザー名	ログインユーザー名を表示します。
6		レベル	ログインユーザーのユーザーレベルを表示します。
7		ログイン時刻	ログインユーザーのログイン時刻を表示します。
8		再生・DL中	ログインユーザーが再生・ダウンロードしている場合は、「●」を表示します。

## ■ボタン/リンク

No	項目	説明
9	最新情報の取得	表示している情報を更新します。

### 注意事項

- 一部の機能を利用している場合、ユーザー名、および レベルが以下の表記になりますので、ご注意ください。

ユーザー名	レベル	説明
AuthSkipuser	6	認証スキップホストに登録した端末から、認証なしでネカ録に接続しています。
monitor	-	ネカ録の死活監視のためにネカ録に接続しています。
RecPlayuser	-	標準ライブ再生機能からネカ録に接続しています。

- ユーザーlevel 6 は、ネカ録本体のパネル操作により、一時的に有効になるユーザーレベルです。

## 5.3 接続カメラ画面

利用可能なユーザーレベル

3/4/5/管理者

現在、ネカ録に接続中の登録カメラの状態を確認する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「接続カメラ」を選択

No.	カメラ名(1-1)	カメラの接続状態	最終画像取得時刻
1	CAM1-1	正常	2017/09/12 12:11:53
2	CAM1-2	正常	2017/09/12 12:11:53
3	CAM1-3	正常	2017/09/12 12:11:53
4	CAM1-4	正常	2017/09/12 12:11:53
5	CAM1-5	正常	2017/09/12 12:11:53
6	CAM1-6	正常	2017/09/12 12:11:53
7	CAM1-7	正常	2017/09/12 12:11:53
8	CAM1-8	正常	2017/09/12 12:11:53
9	CAM1-9	正常	2017/09/12 12:11:53
10	CAM1-10	正常	2017/09/12 12:11:53
11	CAM1-11	正常	2017/09/12 12:11:53

### ■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	接続状況	カメラ No	ネカ録に登録されたカメラの No を表示します。
2		カメラ名	ネカ録に登録されたカメラ名を表示します。
3		接続状況	カメラの接続状況を表示します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>正常</span> <span>一時停止中</span> <span>停止中</span> <span>ライブ異常</span> </div> <p>正常 : カメラが正常に接続しています。      一時停止中 : カメラの設定画面から中断しています。      停止中 : カメラが停止しています。      ライブ異常 : カメラから正常に画像取得できていません。</p>
4		録画画像取得時刻	最後にカメラから画像を取得した時刻を表示します。

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
5	最新情報の取得	表示している情報を更新します。

## 5.4 録画確認画面

利用可能なユーザーレベル

3/4/5/管理者

ネカ録の録画状況を確認する画面です。

映像の録画期間やディスク容量などを表示しますので、ユニットごとディスク容量の調整にもご活用いただけます。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「録画確認」を選択

### ■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	録画サマリー	使用量/最大容量 (MB)	ネカ録のディスクの使用量と最大容量を表示します。
2		使用率 (%)	ネカ録のディスクの使用率を表示します。
3		録画期間 (時間)	ネカ録に保管されている録画期間を時間で表示します。
4		録画期間 (日)	ネカ録に保管されている録画期間を日数で表示します。
5	時間別	日付	録画期間の日付を表示します。
6		時間 (時台)	録画期間の時間を表示します。
7		録画容量 (MB)	上記の日付、時間に録画した映像の容量を表示します。

## 5.5 ログ参照画面

利用可能なユーザーレベル

管理者

ネカ録のログ表示、全ログ保存を行う画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「ログ参照」を選択

説明

- 画面上部のメニューから、表示させたいログの種類と行数(1~9999まで)を指定し、「指定条件でログ表示」ボタンをクリックしてください。
- H/W Status, Network Status, OS Statusおよび  
messagesと指定した場合は、行数は指定できません。

表示

条件指定 CamservLog 行数指定 100 ログ表示 全ログ保存

2017 Mar 8 18:30:53 NECAROKU local2 info camserv01\_sm[3158]: 1007 owari ..  
2017 Mar 8 18:30:53 NECAROKU local2 info camserv01\_sm[3158]: 1207 program terminated  
2017 Mar 8 18:30:53 NECAROKU local2 info atcd01[3155]: 71003 wait done@camserv01:0  
2017 Mar 8 18:30:53 NECAROKU local2 info atcd01[3155]: 71007 stop program@camera01  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71001 start program@end\_proc.sh  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 err RTSPServ[2639]: caught SIGTERM signal  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 err RTSPServ[2639]: select error (errno=4,errMessage=Interrupted system call)  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71002 stop program@end\_proc.sh  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71001 start program@mod\_update.sh  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71002 stop program@mod\_update.sh  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71001 start program@ip\_filter.sh  
2017 Mar 8 18:31:03 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71002 stop program@ip\_filter.sh  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71001 start program@mod\_folders.conf  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71005 replace@/home/unit01/folders.conf:451110  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71005 replace@/home/unit02/folders.conf:451110  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71002 stop program@mod\_folders.conf  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[2544]: 71008 restart program@/home/I0Adapter/I0Adapter  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 err I0Adapter[3157]: 70010 caught SIGTERM signal  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[3779]: 71001 start program@atcd01  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd\_top[3780]: 71001 start program@atcd02  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd01[3778]: 71001 start program@atcd01  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd01[3778]: 71001 start program@camserv01  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd02[3780]: 71001 start program@atcd02  
2017 Mar 8 18:31:07 NECAROKU local2 info atcd02[3780]: 71001 start program@camserv02

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

### ■入力項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	条件設定	ログファイル選択	以下のファイルより、参照するファイルを選択してください。 CamservLog (ネカ録サテライトのログ) local1 (ネカ録周辺ソフトウェアのログ) messages (ネカ録のOS、ドライバのログ) H/W Status (ハードウェアの状態確認) Network Status (ネットワークの状態確認) OS Status (OSの状態確認) dmesg (ネカ録のカーネルメッセージ)
2		行数指定	ログ表示エリアに出力するログの行数（最大）を『1~9999』の数値で指定してください。 ※「H/W Status」、「Network Status」、「OS Status」、「dmesg」は、行数指定は不要です。
3		ログ表示	上記の条件をもとに取得したログを表示します。

## ■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	ログ表示	指定された条件でログ表示エリアの表示を更新します。
5	全ログ保存	保守等に必要なログをダウンロードします。

### 注意事項

- 全ログ保存時は、ブラウザの操作（×ボタン、戻るなど）した際に確認のメッセージが表示されず操作が実行されます。ブラウザの操作やページ遷移した場合、ファイルダウンロードが失敗する場合がございます。ダウンロードが完了するまでは、ブラウザ、ネカ録統合管理ツールの操作は行わずにお待ちください。
- ログのサイズによって時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。

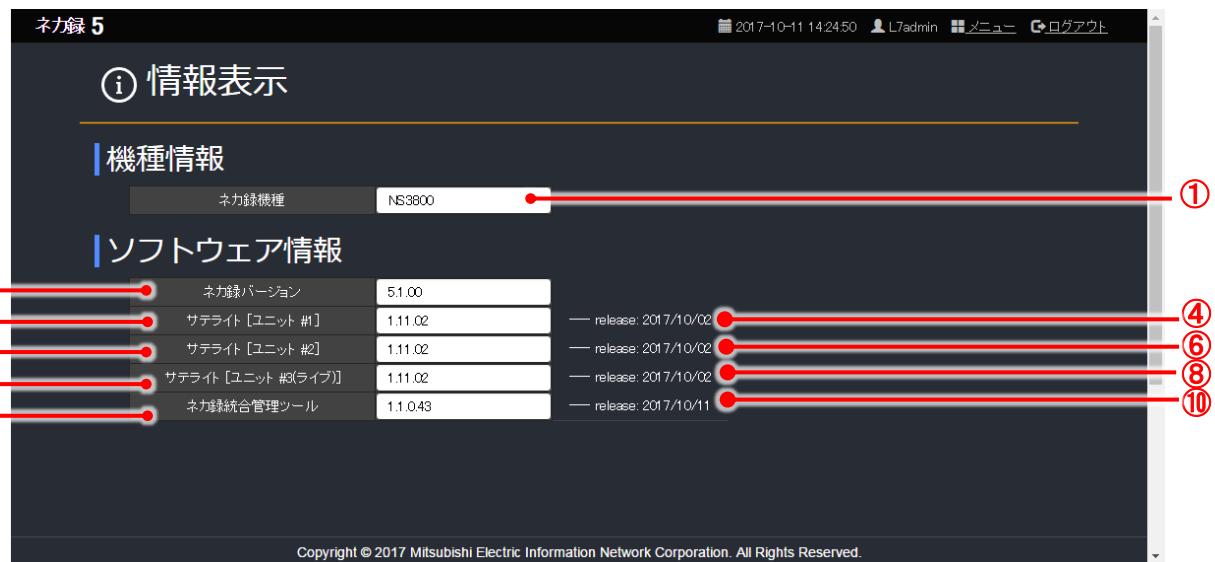
## 5.6 情報表示画面

利用可能なユーザーレベル

3/4/5/管理者

ネカ録の機種、ソフトウェアのバージョンを確認する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「情報表示」を選択



### ■入力項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	機種情報	NeKaRoku機種	NeKaRokuの機種情報を表示します
2	ソフトウェア情報	NeKaRokuバージョン	NeKaRokuのバージョンを表示します。
3		サテライト [ユニット#1]	ユニット #1 のサテライトのバージョンを表示します。
4		--- release:	ユニット #1 のサテライトの更新日を表示します。
5		サテライト [ユニット#2]	ユニット #2 のサテライトのバージョンを表示します。
6		--- release:	ユニット #2 のサテライトの更新日を表示します。
7		サテライト [ユニット#3]	ユニット #3 のサテライトのバージョンを表示します。
8		--- release:	ユニット #3 のサテライトの更新日を表示します。
9		NeKaRoku統合管理ツール	NeKaRoku統合管理ツールのサテライトのバージョンを表示します。
10		--- release:	NeKaRoku統合管理ツールの更新日を表示します。

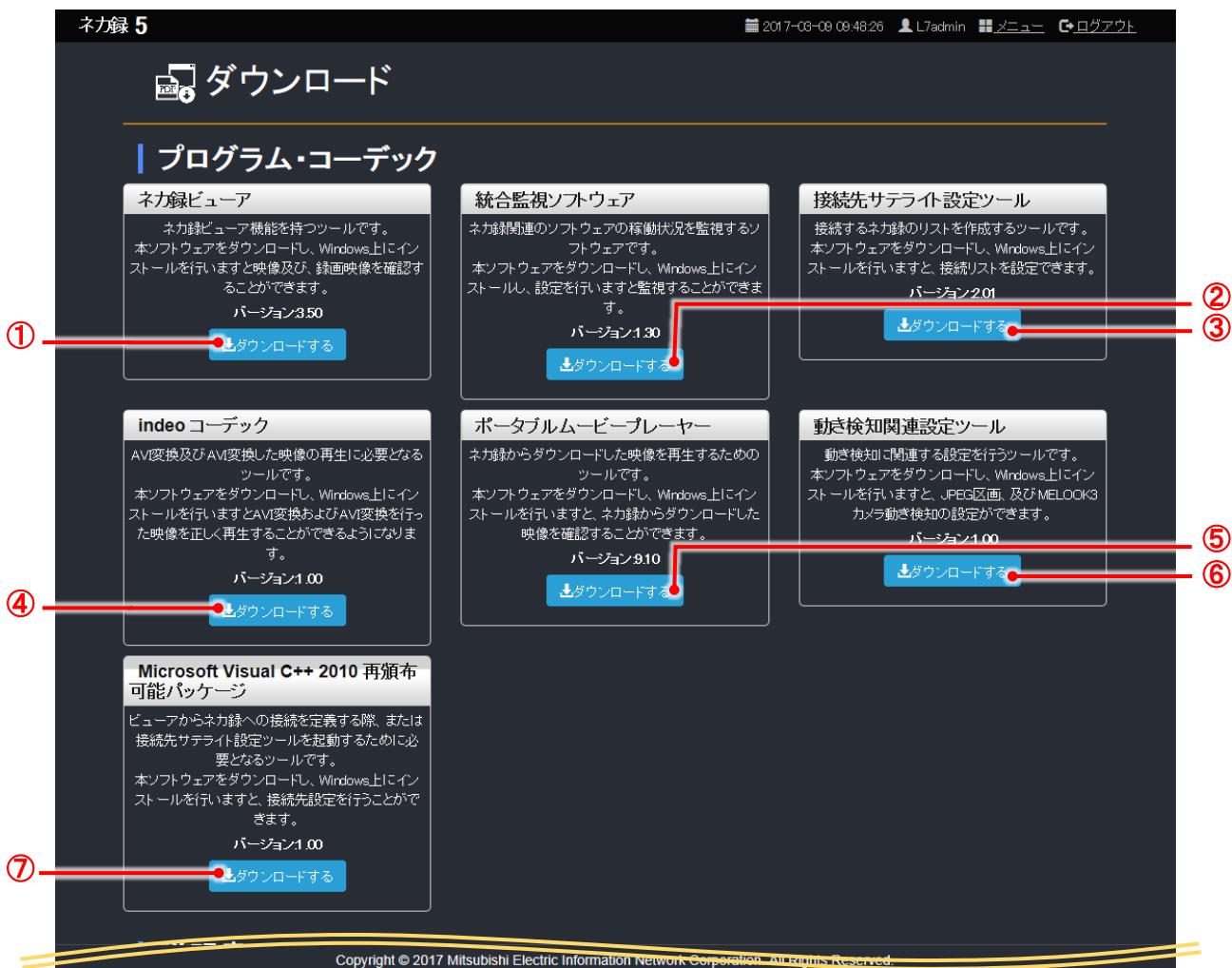
## 5.7 ダウンロード画面

利用可能なユーザーレベル

5 / 管理者

ネカ録を利用するためにはPC側で必要となるプログラムやコーデック、説明書のダウンロードを行う画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「ダウンロード」を選択

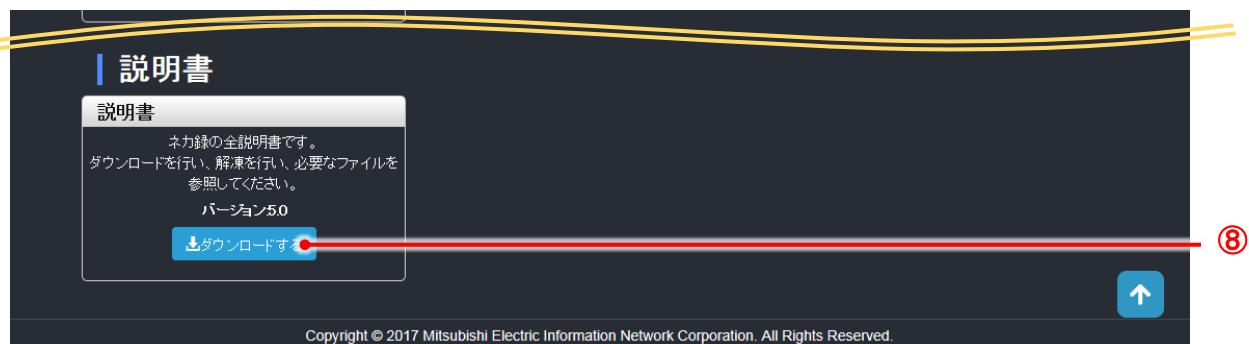


### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
1	NeCaLog Viewer	NeCaLog Viewerをダウンロードします。 ライブ映像表示、再生、ダウンロードが可能です。
2	統合監視ソフトウェア	統合監視ソフトウェアをダウンロードします。 NeCaLogの状態や周辺機器の死活監視を行います。
3	接続先サテライト設定ツール	接続先サテライト設定ツールをダウンロードします。 NeCaLog情報を登録し、NeCaLog ViewerからNeCaLogに接続する際、また、統合管理ツールを利用する際などに利用します。
4	Indeo コーデック	Indeo コーデックをダウンロードします。 AVI 変換およびAVI 変換した映像の再生に必要です。

No	項目	説明
5	ポータブルムービープレーヤー	ポータブルムービープレーヤーをダウンロードします。 ネカ録からダウンロードした映像を再生するためのソフトウェアです。
6	動き検知関連設定ツール	動き検知関連設定ツールをダウンロードします。 動き検知の区画設定や指定時刻に映像が基準フレームとずれていないか確認・検知する設定を行うツールです。
7	Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ	Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージをダウンロードします。 ネカ録ビューア、ネカ録接続先ツールを利用時に必要なツールです。

(ダウンロード画面 続き)



### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
8	説明書	ネカ録 取扱説明書をダウンロードします。

### ⚠ 注意事項

- ファイルダウンロード中は、ブラウザの操作（×ボタン、戻るなど）した際に確認のメッセージが表示されず操作が実行されます。ブラウザの操作やページ遷移した場合、ファイルダウンロードが失敗する場合がございます。  
ダウンロードが完了するまでは、ブラウザ、ネカ録統合管理ツールの操作は行わずにお待ちください。
- Zip 形式のファイルは、解凍が必要です。ソフトウェアをインストールする前に必ず解凍してください。  
解凍せずにインストールすると正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

## 5.8 バックアップ画面

利用可能なユーザー レベル

5/管理者

ネカ録の設定情報のバックアップと全ログ保存を行う画面です。

設定変更する前や設定した後に、本画面より設定情報ファイルを取得し、管理いただくことを推奨します。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「バックアップ」を選択



### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
1	設定ファイル ダウンロードする	ネカ録の設定 (config_V5.tar.gz) を保存します。
2	設定情報ファイル 設定情報ファイルを生成する	ネカ録の設定情報 (neca5Ini.conf) を保存します。 保存するためには、以下の操作を行ってください。 ①「設定情報ファイルを生成する」ボタンをクリックする ネカ録上に正常に設定情報ファイルが生成されると、以下のように、「ダウンロードする」ボタンが表示されます。 ②ダウンロードする場合には、「ダウンロードする」をクリックしてください。 
3	全ログ保存 ダウンロードする	全ログ (necalog.zip) を保存します。 ※ログ参照画面の全ログ保存と同じ機能です。



## 注意事項

- ファイルダウンロード中は、ブラウザの操作（×ボタン、戻るなど）した際に確認のメッセージが表示されず操作が実行されます。ブラウザの操作やページ遷移した場合、ファイルダウンロードが失敗する場合がございます。  
ダウンロードが完了するまでは、ブラウザ、ネカ録統合管理ツールの操作は行わずに待ちください。
- 全ログ保存は、ログのサイズによって時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- 「設定ファイル」と「設定情報ファイル」の違いは以下の通りです。

項目	設定ファイル	設定情報ファイル
用途	同一筐体でのネカ録の設定情報のバックアップ用。	異なる筐体も含めた設定情報のバックアップ用。
特徴	同一筐体以外にリストアを行った場合、動作の保証はいたしません。	リストア時にリストアする情報の選択を行うことができます。
注意事項	以下の情報は、リストアされません。必要に応じて、設定ファイルをリストア後に、手動にて設定をお願いします。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 「LAN 設定」画面で指定する内容</li><li>● 電源（UPS 設定）</li></ul>	以下の情報は、リストアされません。必要に応じて、設定情報ファイルをリストア後に、手動にて設定をお願いします。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 「LAN 設定」画面で指定する内容</li><li>● 管理者パスワード</li><li>● JPEG 動き検知の区画定義</li></ul>

## 5.9 リストア画面

利用可能なユーザーレベル

管理者

ネカ録の設定情報のリストア、および 設定初期化を行う画面です。

バックアップ画面 (5.8) で取得した設定ファイル、または設定情報ファイルをネカ録にリストアすることができます。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「リストア」を選択



### ■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	設定情報	ファイルパス	ファイル選択ボタンから指定した設定情報 (Config_V5.tar.gz) のパスを表示します。

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
2	設定情報 ファイル選択	リストアするファイルを選択するダイアログを表示します。表示されるダイアログにて、Config_V5.tar.gz を選択してください。

No	項目	説明
3	設定情報 リストア実行	Config_V5.tar.gz のリストアを実行します。
4	設定情報 リスタート	ネカ録をリスタートします。
5	設定初期化	ネカ録の設定を初期化します。

### 注意事項

- 設定ファイルには、ネカ録 5 以降で取得した設定ファイル指定してください。
- リストアする設定ファイルの名前は、必ず、config\_V5.tar.gz としてください。
- 設定情報をリストアする場合、リストア実行後、必ずネカ録のリスタートを実行してください。
- ファイルパスは、ブラウザによってはセキュリティの対策で実際のパスを表示せずに「c:¥fakepath¥(ファイル名)」などと表示される場合があります。ご留意ください。
- 設定初期化を実行する場合、事前に既存の設定情報をバックアップしてください。
- 設定初期化を実行した際、手動でリスタートが必要な場合があります。必要な場合は、再度リスタートをするようにポップアップメッセージが表示ますので、メッセージに従って対応してください。
- 設定情報をリストアした場合、「LAN 設定」、および別途提供する動き検知関連区画設定ツールで設定する基準フレームの画像情報は、リストアしても上書きされません。
- 設定ファイル、及び設定情報ファイルのリストアでは、カメラごとの状態の「有効」「中断」及び「無効」の状態はリストアしません。これらの情報は、メニュー画面の「接続カメラ」を選択し、カメラ情報を確認の上、必要に応じてカメラ設定画面から設定を行ってください。

### ■ 「設定情報ファイルのリストア」について

No	項目	説明
6	設定情報ファイルリストア	<p>設定情報ファイルをリストアするときに指定を行います。</p> <p>ネカ録 4.0 の設定情報ファイルと、ネカ録 5 の設定情報ファイルそれぞれで指定する画面が異なります。</p> <p>それぞれの用途に応じて、タブをクリックしてください。（初期値は、「ネカ録 5」用のリストア画面が表示されます。）</p> <p>操作する手順は、以下の通りです。</p> <p>■STEP. 1</p> <p>手順 1：「ファイル選択」ボタンをクリックして、設定情報ファイルを選択します。選択しますと、ボタンの左側の領域にファイル名が表示されます。</p> <p>※日本語を含むファイル名を指定しないで下さい。</p> <p>手順 2：「アップロードする」ボタンをクリックします。</p> <p>これらの手順によりネカ録に設定情報ファイルが転送されます。</p> <p>■STEP. 2</p> <p>手順 1：リストアしたい情報を選択します。</p> <p>かならずひとつ以上の情報を選択してください。</p> <p>これにより、ネカ録に反映する情報の選択が終了しました。</p> <p>■STEP. 3</p> <p>手順 1：「リストアする」ボタンをクリックします。</p>

No	項目	説明
		手順2：「ネカ録への反映を行い、リスタートする」ボタンをクリックしてください。 これにより、STEP. 2 にて選択した情報がネカ録に反映されます。

### 注意事項

- STEP. 2 で選択しない情報は、リストアの前の値のままであります。ただし、以下の注意点があります。
- カメラ設定をリストアし、センサー設定をリストアしない場合は、センサー設定はリストアする前の状態のままでですが、カメラとセンサーの割付がされている場合には、「利用しない」に変更されます。
- ネカ録 4.0 の設定情報ファイルのリストアを行いますと、リストアする機種により、以下のようにリストアされます。（ユニット 3 には、どの機種でも、設定情報のリストアは行われません。）

#### ■ カメラ設定、動き検知設定、及びそれらのスケジュール設定をリストアする、と指定した時

NS-1850：設定されているカメラ No. 1 から No. 16 までの情報がユニット 1 にリストアされ、No. 17 から No. 32 までの情報が、ユニット 2 にリストアされます。ユニット 3 は、初期化されます。

NS-3850：設定されているカメラ No. 1 から No. 32 までの情報がユニット 1 にリストアされ、No. 33 から No. 64 までの情報が、ユニット 2 にリストアされます。ユニット 3 は、初期化されます。

NS-5850：設定されているカメラ No. 1 から No. 64 までの情報がユニット 1 にリストアされます。ユニット 2 及びユニット 3 は初期化されます。

#### ■ センサー設定、またはセンサー入力時設定及びセンサー入力時設定スケジュールをリストアする、と指定した時

NS-1850、NS-3850、NS-5850：すべてユニット 1 にリストアされます。ユニット 2 にはリストアされません。  
(ユニット 2 には、初期値が設定されます)

- ネカ録 4.0 の設定情報ファイルをリストアしましても、以下の情報はリストアされません。リストア後、設定を行ってください。
  - ネットワークに関して、本ツールの「LAN 設定」にて指定する内容
  - ANONYMOUS モード  
本設定については、設定ツールの「セキュリティー設定」にて、認証スキップホストにネカ録に接続する IP アドレスを定義してください。
  - ストリームバッファの容量
  - 管理者パスワード
- ネカ録 5.0 の設定情報ファイルをリストアしましても、以下の情報はリストアされません。リストア後、設定を行ってください。
  - ネットワークに関して、本ツールの「LAN 設定」にて指定する内容
  - 管理者パスワード
- アップロードしたファイルをリストア対象から除外する場合は、一度メニュー画面に戻るか、再度別のファイルをアップロードしてください。

## ■ネ力録 4.0 の設定情報ファイルをリストアするときの画面



## ■ネ力録 5 の設定情報ファイルをリストアするときの画面



■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	ネカ録 4.0 または ネカ録 5	タブ	リストアしたい設定情報ファイルをダウンロードした ネカ録を選択してください。
2	設定情報	ファイルパス	ファイル選択ボタンから指定した設定情報ファイルの パスを表示します。

■ボタン/リンク

No	項目	説明
3	設定情報ファイル ファイル選択	リストアするファイルを選択するダイアログを表示します。
4	設定情報ファイル アップロード実行	選択した設定情報ファイルをアップロードします。
5	リストアする情報	リストアする情報のカテゴリを選択します。 チェックをつけないカテゴリの情報はリストアされません。 少なくともひとつは、選択してください。 ネカ録 4.0 とネカ録 5 では表示される情報が異なりますので、ご注意ください。
6	リストアする	アップロードしたファイルをリストアします。（ネカ録の一時領域に展開されます）
7	ネカ録への反映を行 い、リスタートする	リストアされた情報のうち、選択された情報をネカ録へ反映を行います。 反映が終了した後、リスタートを実施します。

## 5.10 アップデート画面

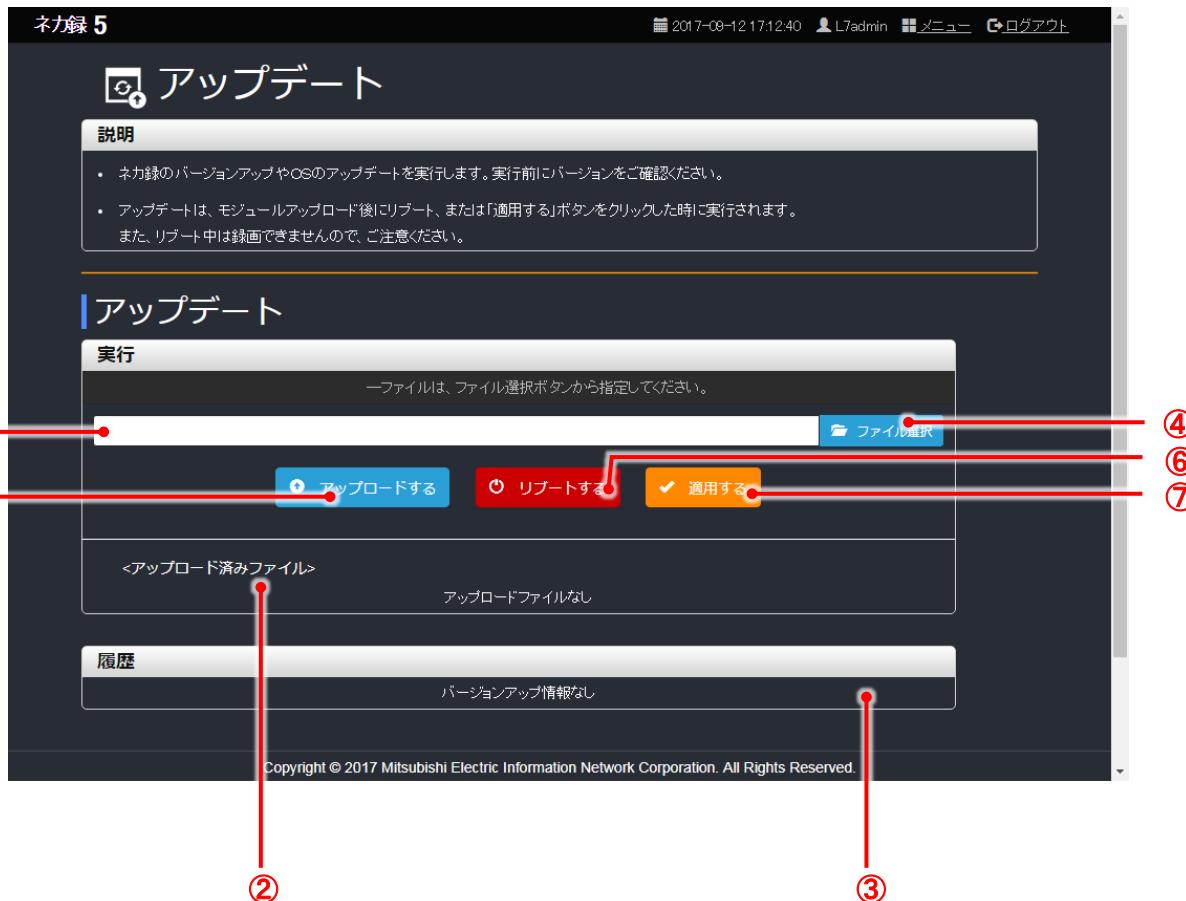
利用可能なユーザーレベル

管理者

ネカ録やOSのセキュリティのアップデートに関する操作を行う画面です。

ファイルのアップロード、リブートなどの操作、また、アップデート履歴の確認も可能です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「アップデート」を選択



### ■入力/表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	ネカ録本体のバージョンアップ	ファイルパス	ファイル選択から選択されたアップデートモジュールのパスを表示します。
2	履歴	アップロード済みファイル	アップロードしたが、バージョンアップされていないファイルの一覧を表示します。 アップロードしてバージョンアップをしていないファイルがない場合には、「アップロードファイルなし」と表示されます。
3		バージョンアップ情報	アップデート時の詳細情報を表示します。 バージョンアップを実施していない場合には、「バージョンアップ情報なし」と表示されます。

## ■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	ファイル選択	アップロードするファイルを選択するダイアログを表示します。
5	アップロードする	ファイルパスに指定したファイルをネカ録にアップロードします。
6	リブートする	ネカ録をリブートします。 アップデートモジュールをアップロード後にリブートするとアップデートが実行されます。
7	適用する	リブートなしで適用可能なアップデートモジュールの場合に、アップデートを即時に適用します。

## ⚠ 注意事項

- アップデート用に配布されたファイル以外はアップロードしないでください。
- ファイルパスは、ブラウザによってはセキュリティの対策で実際のパスを表示せずに「c:¥fakepath¥(ファイル名)」などと表示される場合があります。ご留意ください。
- アップロード後、アップデートファイルを適用するには、リブート又は、「適用する」ボタンのクリックが必要です。「適用する」ボタンでは、リブートなしで適用できますが、アップデートの内容によってはリブートが必須の場合もございます。アップデートする際には、必ず手順書をご確認ください。
- ネカ録バージョンアップモジュール等、リブートが必要なアップデートモジュールをアップロードして、間違って、適用ボタンを押した場合、適用されず、アップロードしたモジュールも削除されます。その場合、再度アップロードして、リブートを実行してください。

## 5.11 セキュリティ画面

利用可能なユーザーレベル

管理者

ネカ録の接続に関するセキュリティを設定・確認する画面です。

ネカ録の接続に関するセキュリティの状態を表示します。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「セキュリティ」を選択



### ■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	ターミナル接続	状態	ターミナル接続の状態を表示します。
2	パケットフィルタ	状態	現在のパケットフィルタの状態を表示します。
3	接続ポート	ポート番号	クライアントからサテライトに接続する TCP/IP のポート番号を表示します。

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	最新情報の取得	表示している情報を更新します。
5	一時接続の許可を行う	2分間のターミナル接続を許可します。

### ⚠ 注意事項

- 一時接続の許可から2分以上経過後、再度許可したい場合は、最新情報の取得ボタンを押下し、画面を更新してください。

## 5.12 録画消去画面

利用可能なユーザーレベル

管理者

ネカ録上の録画フレームを消去する画面です。

ネカ録のユニットごとに録画フレームを消去することができます。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「録画消去」を選択



### ■表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	進捗状況	録画消去状態	録画消去の状態を表示します。
2		ユニット#1 消去率	ユニット#1 の録画消去の進捗を表示します。 ※ユニット#2 のみ録画消去する場合は、非表示。
3		ユニット#2 消去率	ユニット#2 の録画消去の進捗を表示します。 ※ユニット#1 のみ録画消去する場合は、非表示。

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	全ての録画一録画消去する	ネカ録の全ての録画フレームを消去します。
5	ユニット #1一録画消去する	ユニット#1 の録画フレームのみ消去します。
6	ユニット #2一録画消去する	ユニット#2 の録画フレームのみ消去します。



### 注意事項

- 録画消去が完了するまで、ブラウザの操作（×ボタン、戻るなど）や本ツールの操作はお控えください。ブラウザの操作や本ツールの操作を行った場合、録画消去が正常に完了しない場合がございます。
- 録画消去中にメニューなど他の画面に遷移すると、再度、録画消去画面に戻っても録画消去の状況は確認できませんので、ご注意ください。

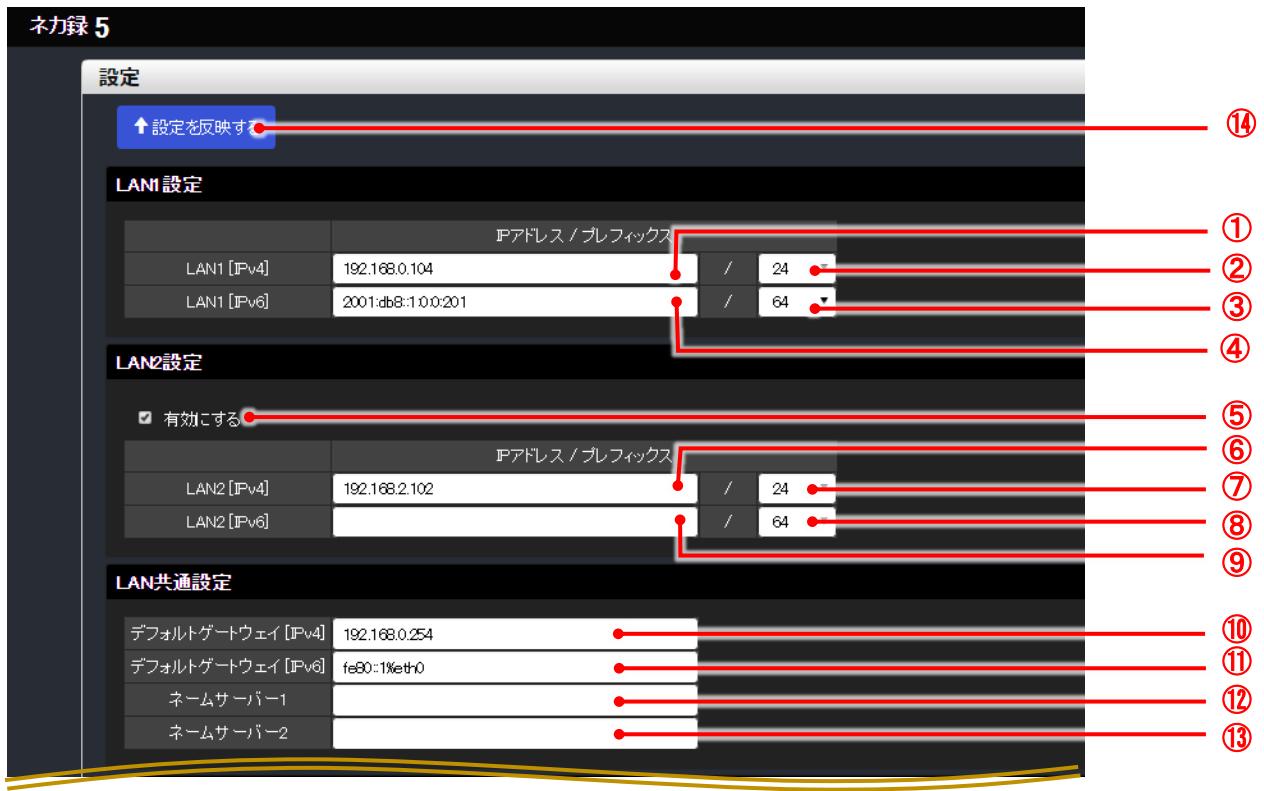
## 5.13 LAN 設定

利用可能なユーザー レベル

管理者

ネカ録のネットワークに関する設定をする画面です。

遷移手順：ログイン画面→メニュー画面→「LAN 設定」を選択



### ■ 設定項目

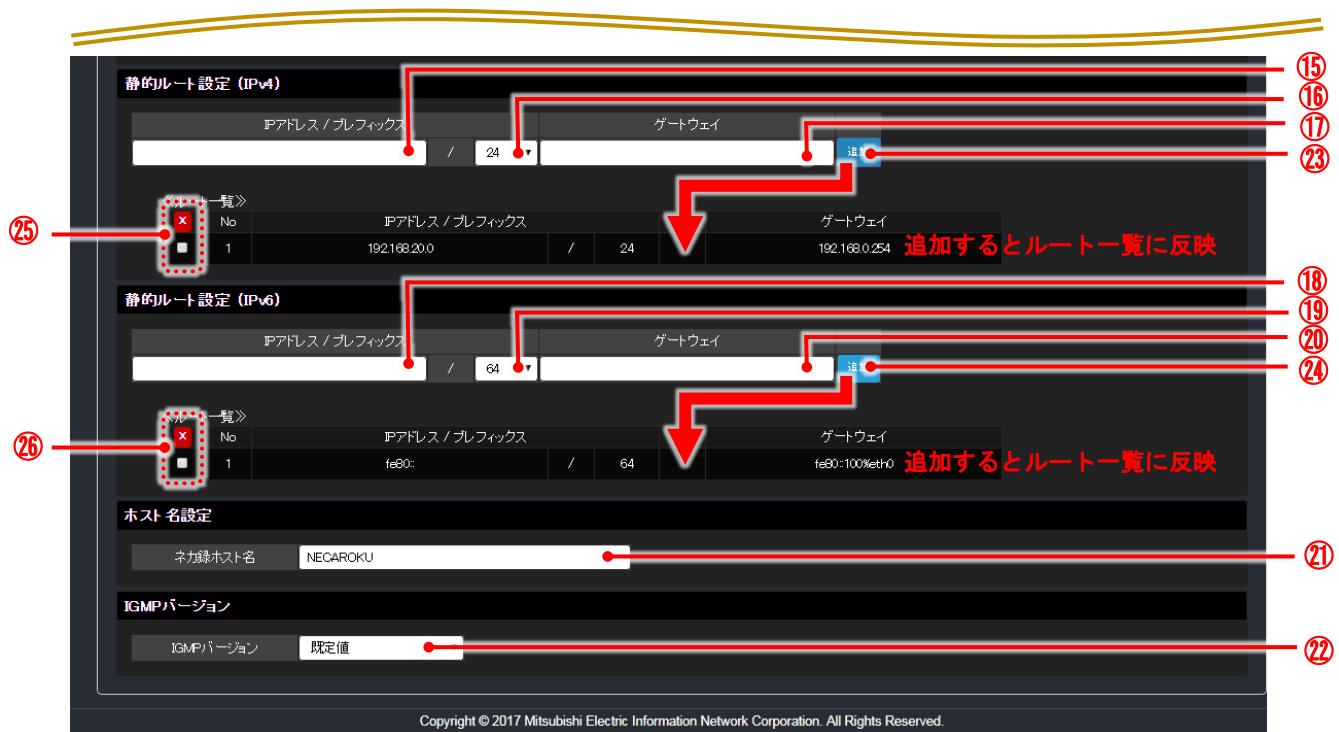
No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
1	LAN1 設定	IP アドレス [IPv4]	LAN1 の IP アドレス (IPv4) を指定します。	192.168.0.102	IPv4 アドレスとして有効な値
2		プレフィックス	LAN1 IPv4 のプレフィックスを指定します。	24	1~32
3		IP アドレス [IPv6]	LAN1 の IP アドレス (IPv6) を指定します。 IPv6 のアドレスを使用しない場合には、空白としてください。	(空欄)	指定なし、または IPv6 として有効な値
4		プレフィックス	LAN1 IPv6 のプレフィックスを指定します。	64	1~128
5	LAN2 設定	有効にする	LAN2 の設定を有効にします。	OFF	ON, OFF
6		IP アドレス	LAN2 の IP アドレスを指定します。	192.168.2.102	IPv4 アドレスとして有効な値
7		プレフィックス	LAN2 のプレフィックスを指定します。	24	1~32

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
8		IP アドレス[IPv6]	LAN2 の IP アドレス (IPV6) を指定します。 IPv6 のアドレスを使用しない場合には、空白としてください。	(空欄)	指定なし、または IPv6 として有効な値
9		プレフィックス	LAN2 IPV6 のプレフィックスを指定します。	64	1 ~128
10	LAN 共通設定	デフォルトゲートウェイ [IPv4]	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。	192.168.0.254	IPv4 アドレスとして有効な値
11		デフォルトゲートウェイ [IPv6]	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 リンクローカルアドレスを指定する場合には、以下のように指定してください。 リンクローカルアドレス%デバイス名 例 : fe80::1%eth0	192.168.0.254	指定なし、または IPv6 として有効な値
12		ネームサーバ1	1 つ目のネームサーバの IP アドレスを指定します。	(空欄)	指定なし、または 0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
13		ネームサーバ2	2 つ目のネームサーバの IP アドレスを指定します。	(空欄)	指定なし、または 0.0.0.1 ~ 255.255.255.254

#### ■ボタン

No	項目	説明
14	設定を反映する	LAN 設定画面で設定した値をチェックします。 誤った形式でなければ、ネカ録に設定を反映します。

(LAN 設定画面 続き)



■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
15	静的ルート設定 [IPv4]	IP アドレス	ゲートウェイを指定したいIPアドレス [IPv4]を指定します。 ⚠ 最大登録数 : 16	(空欄)	IPv4 アドレスとして有効な値
16		プレフィックス	上記IPアドレスのプレフィックスを指定します。	(空欄)	1~32
17		ゲートウェイ	上記IPアドレスのゲートウェイを指定します。	(空欄)	IPv4 アドレスとして有効な値
18	静的ルート設定 [IPv6]	IP アドレス	ゲートウェイを指定したいIPアドレス [IPv6]を指定します。 ⚠ 最大登録数 : 16	(空欄)	IPv6 アドレスとして有効な値
19		プレフィックス	上記IPアドレスのプレフィックスを指定します。	(空欄)	1~128
20		ゲートウェイ	上記IPアドレスのゲートウェイを指定します。 リンクローカルアドレスを指定する場合には、以下のように指定してください。 リンクローカルアドレス%デバイス名 例 : fe80::1%eth0	(空欄)	IPv6 アドレスとして有効な値
21	ネカ録設定	ネカ録ホスト名	ネカ録のホスト名を指定します。	NECAROKU	英数字、 . (半角ドット)、 - (半角ハイフン)

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
22	IGMP 設定	IGMP バージョン	IGMP のバージョンを指定します。	既定値	既定値、1~3

### ■ボタン

No	項目	説明
23	静的ルート設定 - 追加 [IPv4]	入力された IP アドレス、プレフィックス、ゲートウェイをチェックします。誤った形式でなければ、静的ルート設定の一覧に追加します。
24	静的ルート設定 - 追加 [IPv6]	入力された IP アドレス、プレフィックス、ゲートウェイをチェックします。誤った形式でなければ、静的ルート設定の一覧に追加します。
25	静的ルート設定 - 削除 [IPv4]	「×」ボタンがクリックされると選択されたルートの情報を削除します。ルート情報の選択は、右側の列のチェックボックスにチェックを入れます。
26	静的ルート設定 - 削除 [IPv6]	「×」ボタンがクリックされると選択されたルートの情報を削除します。ルート情報の選択は、右側の列のチェックボックスにチェックを入れます。

### ⚠ 注意事項

- 本設定をする場合には、かならず、ローカルなネットワーク環境上に接続された PC から実施してください。
- 設定項目に不正値があった場合、「設定を反映する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合には、設定情報が確定されません。
- LAN1 設定、および LAN2 設定を変更した場合は、セッションを切断します。ブラウザから指定する URL のアドレスに誤りがないか確認し、再度ログイン画面よりログインしてください。
- カメラ設定でカメラ機種を「三菱 Multicast」にする場合、同一サブネット上にルータが存在する構成であるか否かに問わらず、ネカ録のデフォルトゲートウェイを必ず設定してください。ルータが存在しない構成の場合、同一サブネットの使われていない IP アドレスをデフォルトゲートウェイとして割り当てて設定してください。
- IP アドレスを変更した後は、かならず、ネカ録本体のリブートを実施してください。

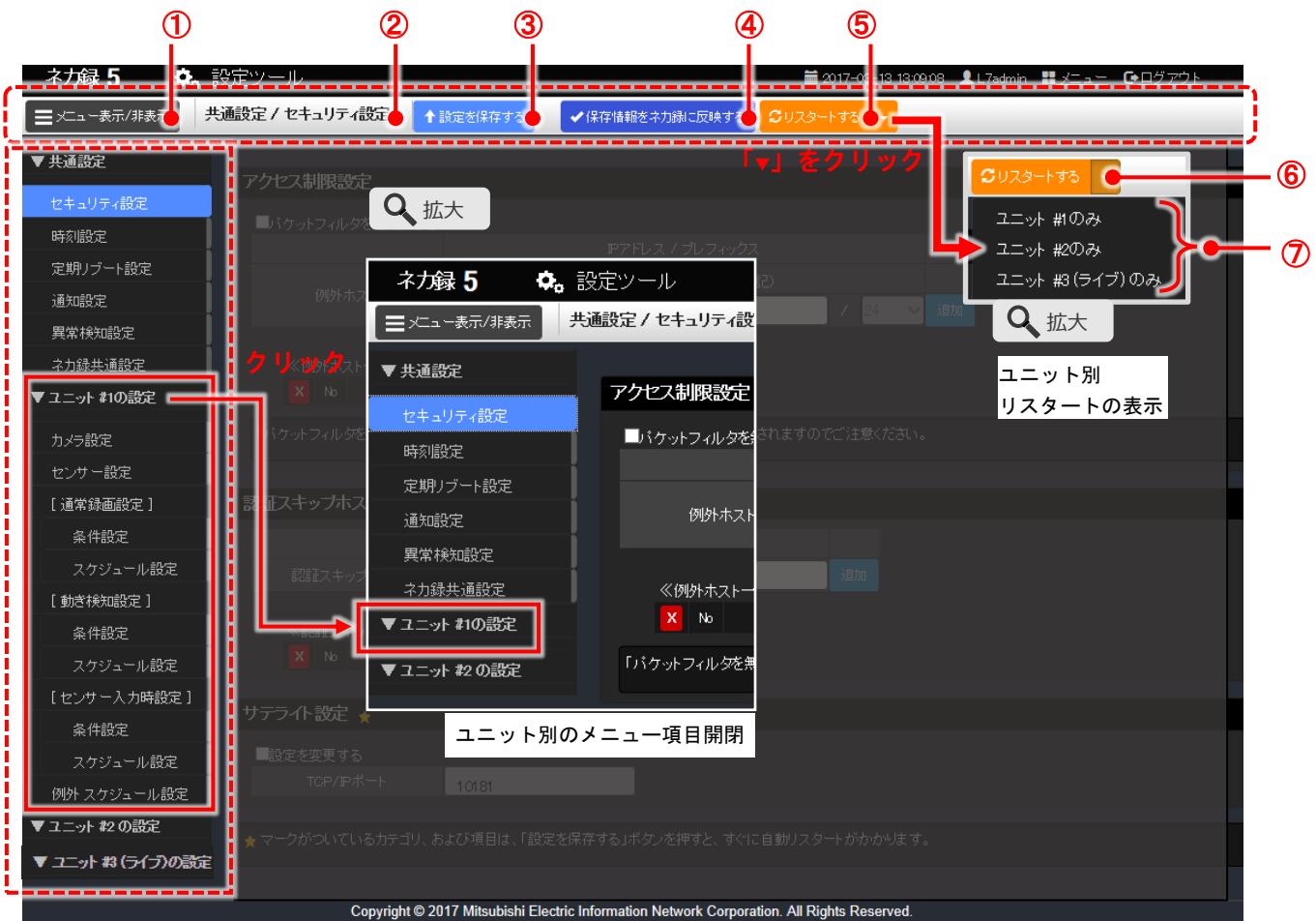
## 5.14 ネカ録設定ツール

## 利用可能なユーザー レベル

ネカ録とカメラを設定する画面です。本節では、ネカ録設定ツールの共通の項目について記載します。各設定画面の詳細は、5.14.1～5.14.15をご参照ください。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択

## 【 設定ツール 画面共通の I/F 】



## ■設定ツール 操作バー

No	項目	説明
1	メニュー表示/非表示	設定ツール メニューの表示・非表示を切り替えます。
2	画面タイトル	現在選択中のカテゴリ、画面名を表示します。
3	設定を保存する	現在選択中の画面の設定項目の入力値をチェックし、設定値を保存します。 エラーが存在する場合は、設定値は保存せず、メッセージを表示します。
4	保存情報を ネカ録に反映する	設定保存された情報をネカ録に反映します。 ※反映された設定は、一部リスタート/リブートのタイミングで有効になります。
5	リスタートする	リスタートを実施します。共通設定を変更した場合は必ず実行してください。 このリスタートを実行した場合、ユニット別のリスタートの実行は不要です。

No	項目	説明
6	ユニット別リスタートのドロップダウン	特定のユニットのみをリスタートしたい場合には、こちらをクリックしてください。
7	リスタートする (ユニット別)	指定したユニットのみリスタートします。

#### ■設定ツール メニュー

No	項目	説明
8	セキュリティ設定	ネットワークのセキュリティに関する設定をします。
9	時刻設定	ネカ録の時刻やNTPサーバの設定をします。
10	定期リブート設定	ネカ録の定期リブートについて設定します。
11	通知設定	通知時に必要な基本的な設定をします。
12	異常検知設定	ネカ録で検知したい項目とセンサー出力先を設定します。
13	ネカ録共通設定	ネカ録で共通する設定をします。
ユニット別の設定		
14	カメラ設定	ネカ録に接続するネットワークカメラの基本的な設定をします。
15	センサー設定	センサー入出力のための基本的な設定をします。
16	通常録画設定 条件設定	カメラ単位で、通常録画の条件を設定します。
17	通常録画設定 スケジュール設定	カメラ単位で、通常録画のスケジュールを設定します。
18	動き検知設定 条件設定	カメラ単位で、動き検知時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定します。
19	動き検知設定 スケジュール設定	カメラ単位で、動き検知のスケジュールを設定します。
20	センサー入力時設定 条件設定	カメラ単位で、センサー入力時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定します。
21	センサー入力時設定 スケジュール設定	カメラ単位で、センサー入力のスケジュールを設定します。
22	例外スケジュール設定	通常録画・動き検知・センサー録画の例外スケジュールを設定します。

#### ⚠ 注意事項

- メニュー画面、ログイン画面に遷移する際、ネカ録に反映していない保存情報は全て削除されます。ご注意ください。
- 他の設定画面に遷移する際、遷移前の画面の設定情報は以下のように扱います。

遷移前の操作	設定の扱い
編集したが、「設定を保存する」をクリックしていない。	画面を開いた時点、または、最後に設定保存された値が保持されます。
編集し、「設定を保存する」ボタンをクリックした。（エラー表示あり）	「設定を保存する」ボタンをクリックした時点の設定値が保持されます。
編集し、「設定を保存する」ボタンをクリックした。（エラー表示なし）	「設定を保存する」ボタンをクリックした時点の設定値が保持されます。

※時刻設定の「設定を保存する」ボタンをクリックした場合は画面遷移に関係なく、その時点で設定が有効になりますので、上記の対象外となります。

- ユニット #3 (ライブ) は、カメラ定義のみです。

## 5.14.1 セキュリティ設定

ネカ録のネットワークのセキュリティを設定する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「セキュリティ設定」を選択



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	アクセス制限設定	パケットフィルタを無効にする	パケットフィルタによる接続制限を全面的に無効にしたい場合チェックを付けます。	OFF (パケットフィルタは有効)	ON(パケットフィルタは無効)、OFF(パケットフィルタは有効)	必要
2		例外ホスト - IP アドレス	パケットフィルタの対象外とする例外ホストを指定します。 ネカ録と同じサブネット上でない(ルータを越えた先の) PC、サーバを接続したい場合に、例外ホストとして追加します。 ⚠ 最大登録数 : 100	(空欄)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254 ※最大登録数 : 100	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
3		例外ホスト - プレフィックス	例外ホストをサブネット形式で指定する場合、プレフィックスを指定します。	(空欄)	1~32	必要
4	認証 スキップ ホスト 設定	IP アドレス	ネカ録接続時に認証をさせないホストを指定します。 ⚠ 最大登録数 : 50	(空欄)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254	必要
5	サテライト 設定	設定を変更する	誤設定の防止を目的として、TCP/IP ポートの値を編集するか否かを指定します。	OFF	ON、 OFF	—
6		TCP/IP ポート	クライアントからサテライトに接続する TCP/IP ポート番号を変更したい場合に、指定します。	10181	下記の半角整数値 81、10181、 10000~19000 を推奨	必要 (自動)

#### ■ボタン

No	項目	説明
7	アクセス制限設定 - 追加	入力された例外ホスト (IP アドレス、プレフィックス) をチェックします。誤った形式でなければ、例外ホスト一覧に追加します。
8	アクセス制限設定 - 削除	「×」ボタンがクリックされると選択された例外ホストの情報を削除します。 削除する例外ホストは、右側の列のチェックボックスにチェックを入れることで選択できます。
9	認証スキップホスト設定 - 追加	入力された認証スキップホスト (IP アドレス) をチェックします。誤った形式でなければ、認証スキップホスト一覧に追加します。
10	認証スキップホスト設定 - 削除	「×」ボタンがクリックされると選択された認証スキップホストの情報を削除します。 削除する認証スキップホストは、右側の列のチェックボックスにチェックを入れることで選択できます。

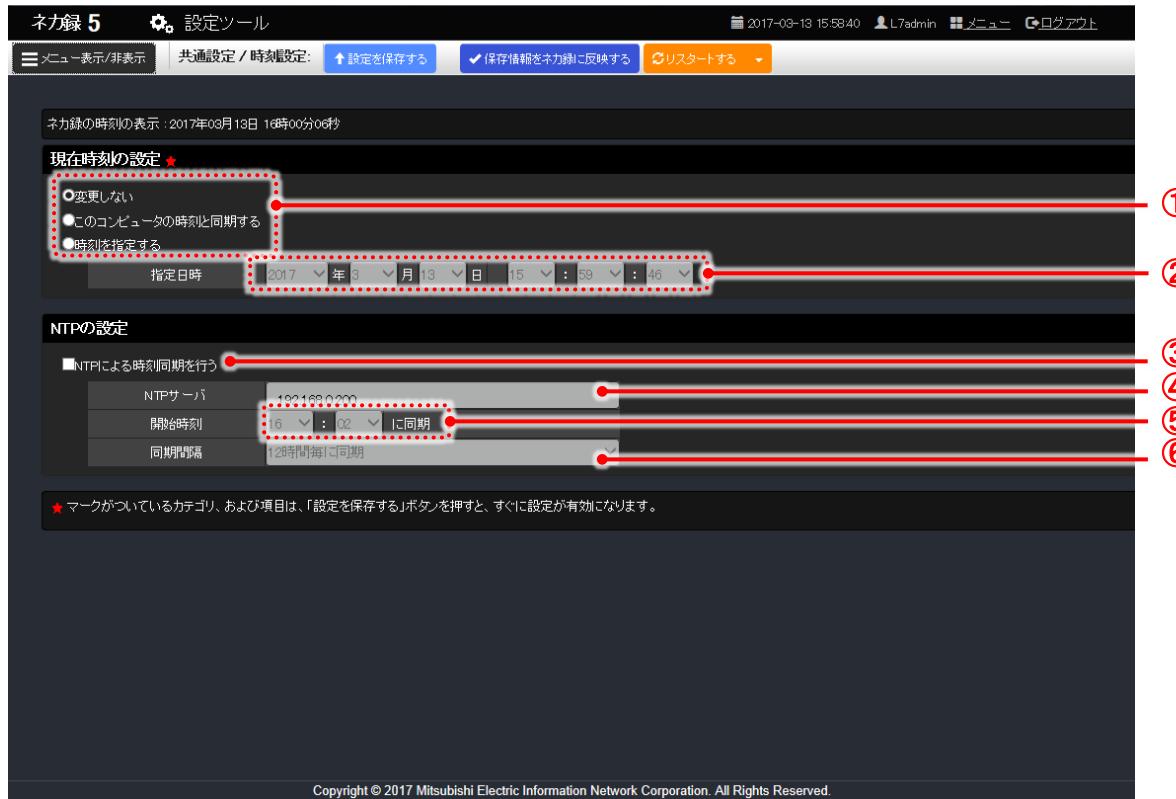
#### ⚠ 注意事項

- ★マークがついているカテゴリ、および項目が変更される場合は、「保存情報をネカ録に反映する」ボタンを押すと、すぐに自動リスタートがかかります。
- 設定項目に不正値があった場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合には、設定情報が確定されません。
- 下記の全ての条件を満たした上で設定変更を反映すると、ネカ録との接続が切れます。「TCP/IP ポート」変更時と同様で設定続行できなくなるので、メニュー画面の「終了」ボタンを押してください。
  - (1) 「パケットフィルタを無効にする」の設定が OFF (パケットフィルタが有効)
  - (2) ネカ録のサブネット外にご使用の PC が属している
  - (3) ご使用の PC が「例外ホスト」に登録されていない

## 5.14.2 時刻設定

ネカ録の時刻を設定する画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
 → 設定ツール メニューの「時刻設定」を選択



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	現在時刻の設定	現在時刻の設定	現在時刻の設定を行います。	変更しない	変更しない、このコンピュータの時刻と同期する、時刻を指定する	不要
2		指定日時	ネカ録の日時を任意に変更します。	(画面遷移時にPCから日時を取得)	2010/1/1 0:00 ~ 2037/12/31 23:59	不要
3	NTPの設定	NTPによる時刻同期を行う	ネカ録のNTPを設定します。	OFF	ON、OFF	必要
4		NTPサーバ	NTPサーバを指定します。 (IPアドレスかホスト名で指定してください)	192.168.0.200	(テキスト入力)	必要
5		開始時刻	1日の最初のNTP時刻同期を実行する時間を指定します。	16時02分	0時00分 ~23時59分	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
6		同期間隔	開始時間で指定した時間からの NTP 同期実行のタイミングを指定します。	12 時間毎に実行	1 回だけ実行、1~12 時間毎に実行	必要

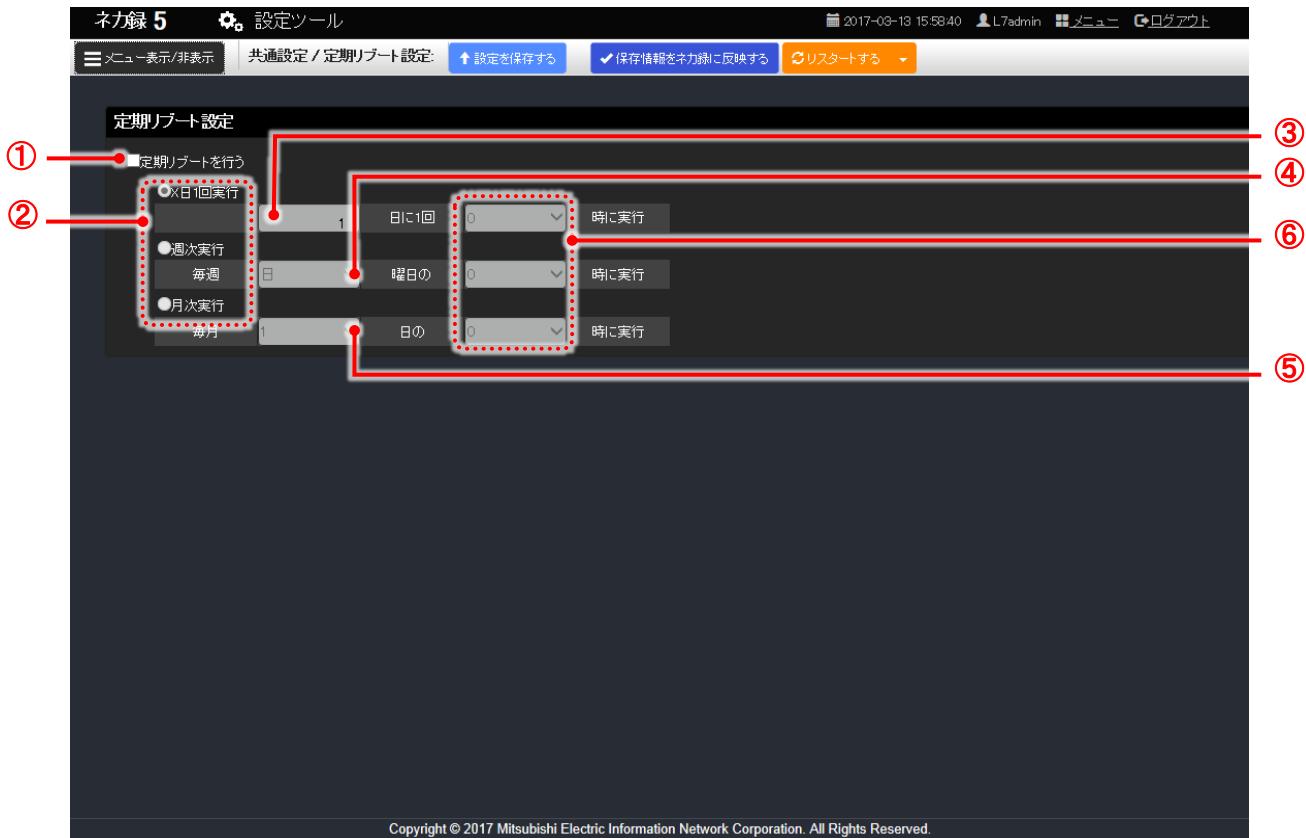
### 注意事項

- **★**マークがついているカテゴリ、および項目は、適用ボタンを押すと、すぐに設定が有効になります。
- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- 時刻を戻す場合、ネカ録の最新の起動時刻よりも、1日以上前に戻さないようにしてください。
- ネカ録の時刻を進めると、機種が「三菱 DIGITAL MELOOK」であるカメラのライブ映像が約10秒間「停止中」になることがあります。この場合、自動復旧しますのでそのままお待ちください。
- 「開始時刻」がその日の最初のNTP同期時刻になり、そこから、当日中は「N時間毎」に同期する。その日の途中でリブートされた場合も、リブートされた直後にも同期することを除き、その日の「N時間毎」を守り同期します。

### 5.14.3 定期リブート設定

ネカ録の定期リブートをスケジュールする画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「定期リブート設定」を選択



#### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	定期リブート設定	定期リブートを行う	定期リブートの設定を行います。	OFF	ON, OFF	—
2		実行間隔	定期リブートの実行間隔の設定を行います。	X日1回実行	X日1回実行、週次実行、月次実行	—
3		X日に1回実行 —X日毎	指定の日毎にリブートを実行。	1	1~1000	必要
4		週次実行 —毎週X曜日	指定の曜日にリブートを実行。	日	日曜日~土曜日	必要
5		月次実行 —毎月XX日	指定の日にリブートを実行。	1	1~31	必要
6		実行時刻	リブートを実行する時刻を指定します。	0時	0時、1時、…、23時	必要



## 注意事項

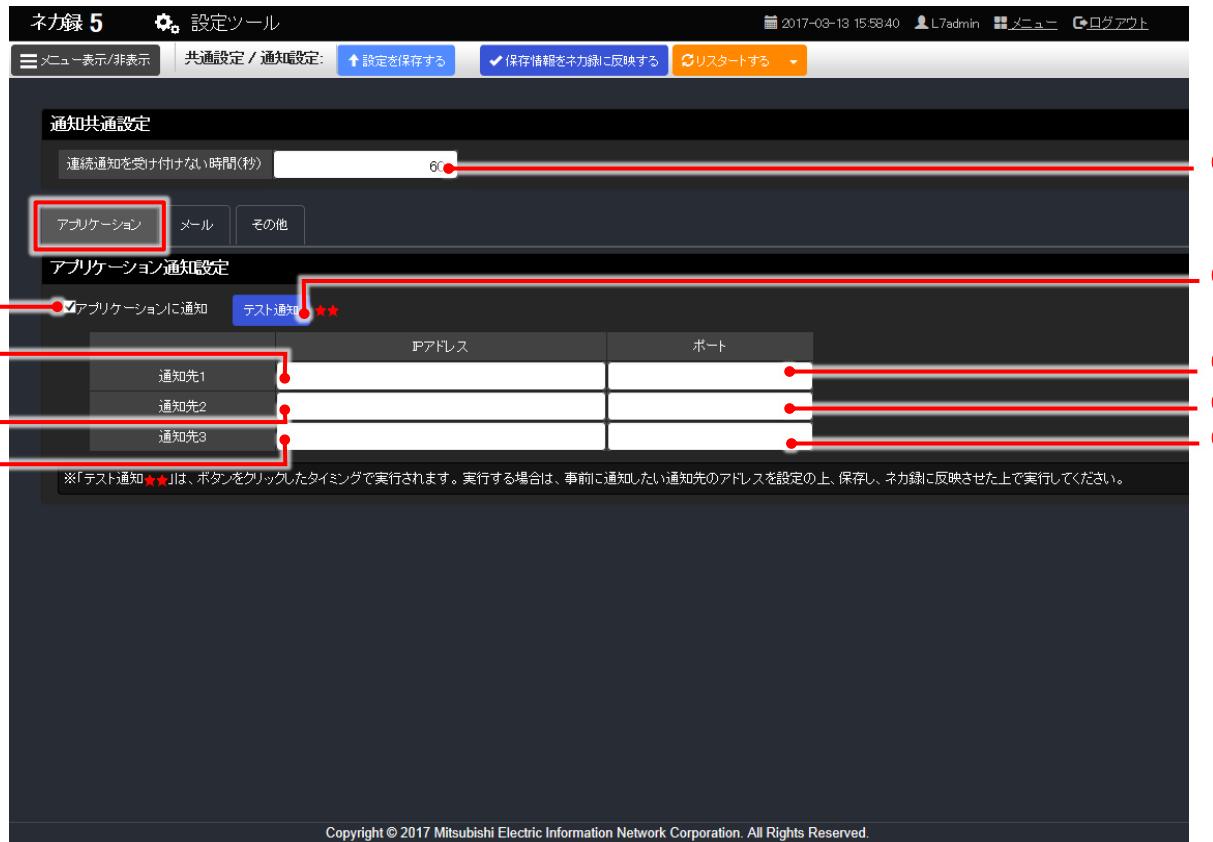
- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- 定期リブートは、実行時刻で指定された時刻の 01 分に実行します。  
例えば、実行時刻を 0 時と指定した場合は、0 時 01 分にリブートを開始します。

## 5.14.4 通知設定

通知のための基本設定を行う画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「通知設定」を選択

### [ タブ : アプリケーション ]



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	通知共通設定	連続通知を受け付けない時間(秒)	1度通知を実施してから次の通知をするまでの空白時間で、この期間にイベントが発生しても、通知されないことがあります。	60	0~86400	必要
2	アプリケーション通知設定	アプリケーションに通知	アプリケーションに通知するか、指定します。	ON	ON、 OFF	必要
3		通知先 1 -IP アドレス	アプリケーションの IP アドレスを指定します。	(空欄)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254	必要
4		通知先 1 -ポート	アプリケーションのポートを指定します。	(空欄)	0~65535	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
5		通知先 2 -IP アドレス	アプリケーションの IP アドレスを指定しま す。	(空欄)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254	必要
6		通知先 2 -ポート	アプリケーションのポ ートを指定します。	(空欄)	0~65535	必要
7		通知先 3 -IP アドレス	アプリケーションの IP アドレスを指定しま す。	(空欄)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254	必要
8		通知先 3 -ポート	アプリケーションのポ ートを指定します。	(空欄)	0~65535	必要

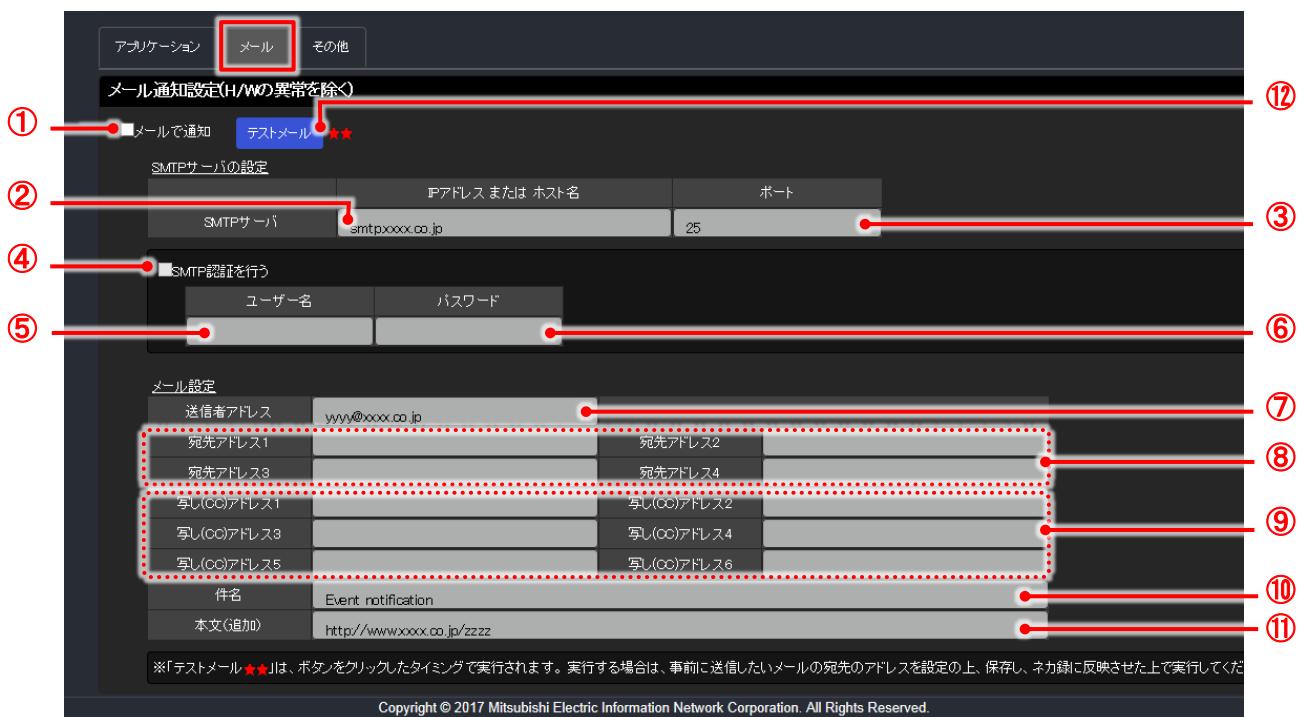
## ■ボタン

No	項目	説明
9	アプリケーション通知設 定 - テスト通知	ネカ録へ H/W 異常のテスト発報をリクエストします。

## ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- テスト通知は、実際にネカ録に H/W 異常をテスト発報するボタンです。以下の項目について設定されている場合、異常検知時の通知・出力の動作確認をすることができます。
  - (1) 「通知設定」画面の「アプリケーション通知設定」の通知先
  - (2) 「通知設定」画面の「SNMP トランプ設定」の送信先
  - (3) 「異常検知設定」画面の「H/W 異常時の接点出力先の個別設定」の出力先 IO-BOX  
※「H/W 異常時の接点出力先の個別設定」の「その他異常」に接点出力されます。
- テスト通知を利用する場合は、編集中のアプリケーション設定を「保存情報をネカ録に反映する」+「リスタート」でネカ録に反映した後、1分程度経過した後に実施してください。

## [ タブ： メール ]



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	メール通知設定 (H/W の異常を除く)	メールで通知	メールで通知するか、指定します。	OFF	ON、 OFF	必要
2		SMTP サーバー-IP アドレス	SMTP サーバを指定します。IP アドレスかホスト名を入力してください。	smtp. xxxx. co. jp	(テキスト入力)	必要
3		SMTP サーバー-ポート	SMTP サーバのポート番号を指定します。	25	0~65535	必要
4		SMTP 認証	SMTP 認証を行うか、指定します。	OFF	ON、 OFF	必要
5		SMTP 認証-ユーザー名	SMTP サーバの認証ユーザー名を指定します。	(空欄)	(テキスト入力)	必要
6		SMTP 認証-パスワード	SMTP サーバの認証パスワードを指定します。	(空欄)	(テキスト入力)	必要
7		送信者アドレス	送信者のアドレスを設定します。	yyyy@xxxx. co. jp	(テキスト入力)	必要
8		宛先アドレス	送信先メールアドレスを指定します。 ※最大 4 個まで設定できます。	(空欄)	(テキスト入力)	必要
9		写し (CC) アドレス	CC メールアドレスを指定します。 ※最大 6 個まで設定できます。	(空欄)	(テキスト入力)	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
10		件名	送信メールの件名を指定します。	Event notification	(テキスト入力)	必要
11		追加本文	送信メールの内容を指定します。	http://www. xxxx. co. jp /zzzz	(テキスト入力)	必要

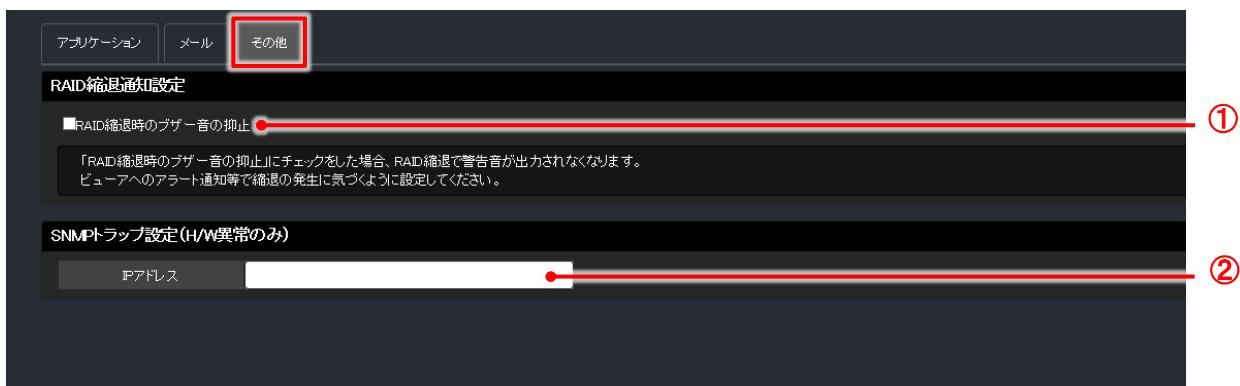
#### ■ボタン

No	項目	説明
12	アプリケーション通知設定 - テストメール	ネカ録へテストメールの送信をリクエストします。

#### ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- テストメールは、ネカ録へテストメールの送信をリクエストする機能です。利用する場合は、編集中のメール設定を「保存情報をネカ録に反映する」+「リスタート」でネカ録に反映した後に行ってください。
- テストメールを実施してもメールが届かない場合は、メールサーバ自体の設定や、ネカ録のメール設定を見直して、再実行してください。

## [ タブ： その他 ]



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	RAID 縮退通知 設定	RAID 縮退時 のブザー音の 抑止	チェックオンで、RAID 縮退時の警告音が出 力されなくなります。	OFF	ON、 OFF	必要
2	SNMP トラップ 設定 (H/W 異常のみ)	IP アドレス	H/W 異常の SNMP ト ラップを利用する場合、 送信する IP アドレス を指定します。	(空欄)	(空欄) または 0.0.0.1～ 255.255.255.254	必要

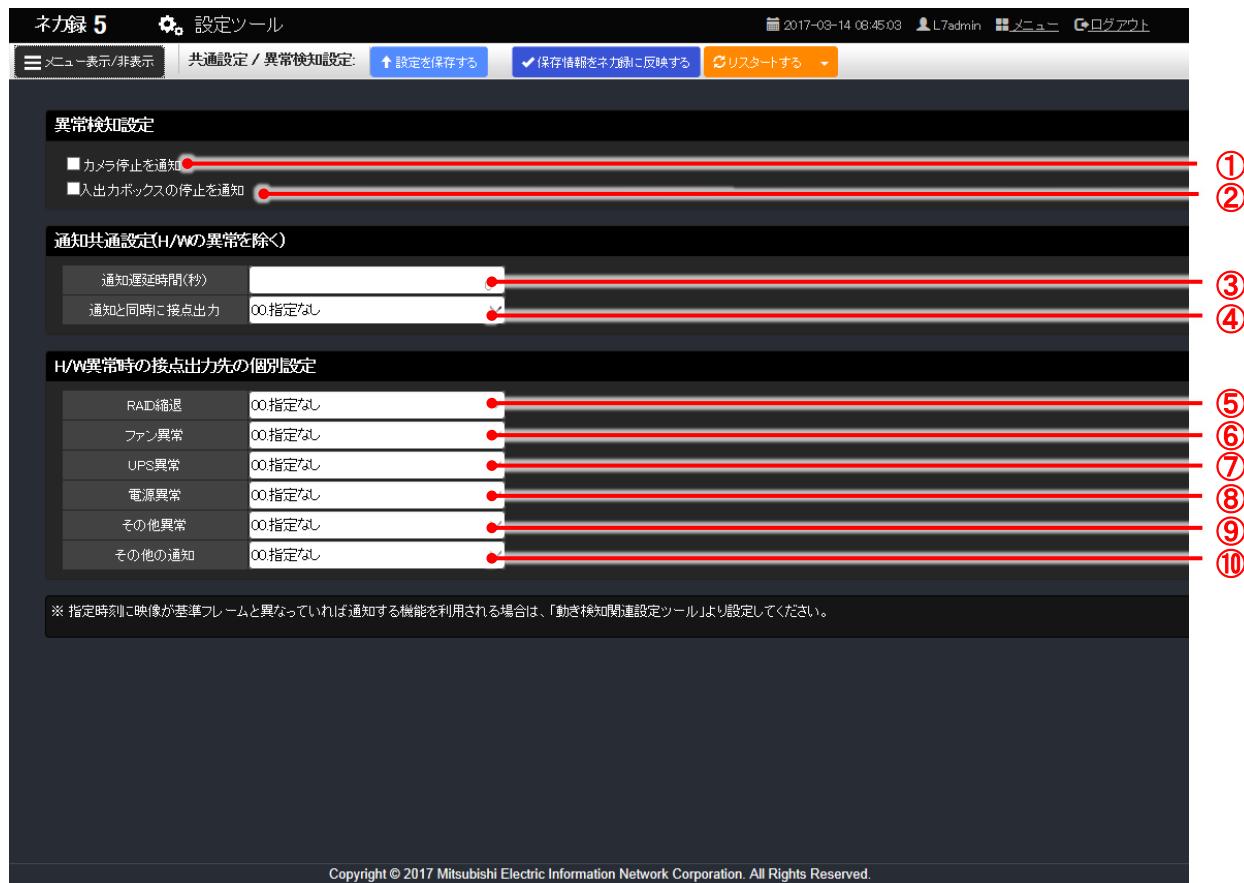
### ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.5 異常検知設定

カメラ停止などの異常を検知した場合の通知/センサー出力を設定する画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「異常検知設定」を選択



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	アプリケーション	カメラ停止を通知	カメラの停止を通知するか、指定します。	OFF	ON、 OFF	必要
2	通知項目の設定	入出力ボックスの停止を通知	入出力ボックスの停止を通知するか、指定します。	OFF	ON、 OFF	必要
3	通知共通設定 (H/W の異常を除く)	通知遅延時間(秒)	指定の秒数だけ遅れて通知を実行します。	0	0~3600	必要
4		通知と同時に接点出力	通知すると同時にセンサー出力する場合に、センサー出力名を選択します。	00. 指定なし	指定なし、ユニット #1 のセンサー出力 No. 1~8 のセンサー出力名、ユニット #2 のセンサー出力 No. 1~8 のセンサー出力名	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
5	H/W異常時の接点出力先の個別設定	RAID 縮退	異常・障害等の内容により、個別に通知先を設定します。	00. 指定なし	指定なし、	必要
6		ファン異常		00. 指定なし	ユニット #1 のセンサー出力 No. 1~8 の	必要
7		UPS 異常		00. 指定なし	センサー出力名、	必要
8		電源異常		00. 指定なし	ユニット #2 のセンサー出力 No. 1~8 の	必要
9		その他異常		00. 指定なし	センサー出力名	必要
10		その他の通知		00. 指定なし		必要

### 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.6 ネカ録共通設定

ネカ録共通設定を行う画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ネカ録共通設定」を選択



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	録画領域 設定	ユニット #1	複数ユニットの場合、 ユニット毎の録画容量 の割合を設定します。	50	10~90	必要
2		ユニット #2		50	10~90 ※ユニット #1 の値 を入力すると自動 更新されます。	必要
3	機能設定	設定を変更す る	ネカ録のストリーム バッファを変更する 場合にチェックしま す。	OFF	ON、 OFF	—
4		ストリーム バッファ容量	バッファの容量を KB 単位で指定します。	52400	4096~524000	必要
5	録音設定	取得したライ ブ音声を録音 する	録音をするか否か指 定します。	OFF	ON、 OFF	必要

## (LAN 設定画面 続き)



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
6	録画しないカメラの設定	ユニット指定	「録画する」、「録画しない」ボタンをクリックする際に対象となるユニットを指定します。	1	1、2	不要
7		カメラ番号	「録画する」、「録画しない」ボタンをクリックする際に対象となるカメラ番号の範囲設定を行います。	1~64	1~64	不要
8		設定状態	録画及びセンサー録画しないカメラの設定が有効になる条件を満たす場合に録画対象から外すカメラの設定を表示します。	ON (録画する:緑)	ON (録画する:緑)、 OFF (録画しない:白)	不要

### ■ボタン

No	項目	説明
9	録画する	選択したカメラを録画対象にします。
10	録画しない	選択したカメラを録画対象から外します。

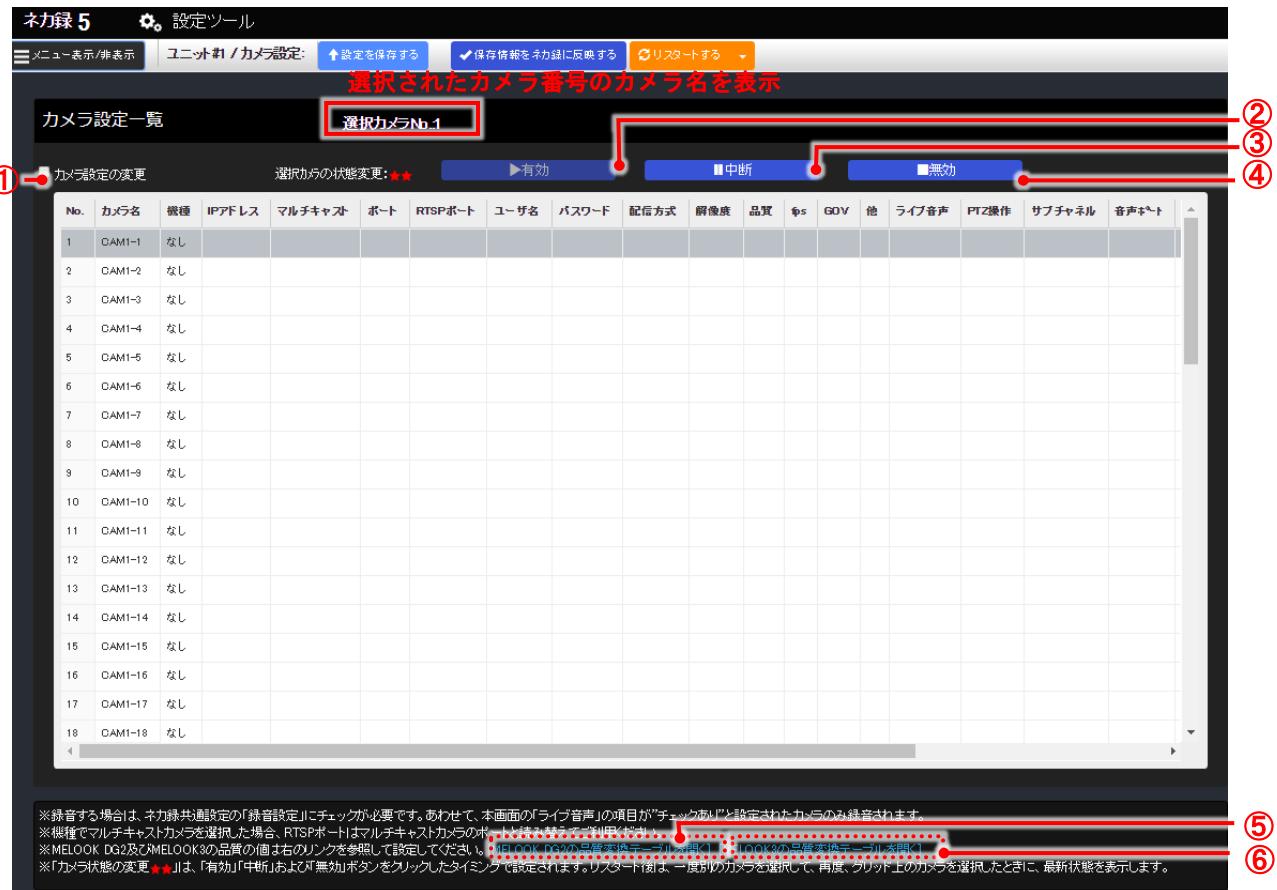
### ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- ストリームバッファ容量は、デフォルト値から、変更しないでください。

## 5.14.7 カメラ設定

ネカ録に接続するネットワークカメラの基本設定を行う画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - カメラ設定」を選択



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	カメラ設定一覧	カメラ設定の変更	チェックをすると、カメラ設定を変更するための入力フィールドを表示します。	OFF	ON、OFF	—

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
2	選択カメラの状態変更 -有効	ネカ録がこのカメラに接続します。 ● 用途 : ネカ録でこのカメラの録画や監視を行う時。 ● 注意 : このボタンを押すと、Camera Setup Tool でカメラに接続できません。
3	選択カメラの状態変更 -中断	ネカ録からこのカメラへの接続を停止します。 ネカ録をリスタート又はリブートすると”有効”状態になり、ネカ録がこのカメラに接続します。

No	項目	説明
		<ul style="list-style-type: none"> <li>用途：Camera Setup Tool でカメラの設定確認を行う時。</li> <li>注意：このボタンを押すと、”有効” ボタンを押すか、リスタート又はリブートを行うまで、このカメラの録画や監視を行えません</li> </ul>
4	選択カメラの状態変更 -無効	<p>ネカ録からこのカメラへの接続を停止します。 ネカ録をリスタート又はリブートしても”無効”状態のままで。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用途：後からカメラを設置する時など。</li> <li>注意：このボタンを押すと、”有効” ボタンを押すまで、このカメラの録画や監視を行えません。</li> </ul>
5	三菱 DIGITALMELOOK 品質変換テーブルを開く	三菱 DIGITALMELOOK 品質変換テーブルを開きます。 詳細は、「5.14.7.1 三菱 DIGITALMELOOK 品質変換テーブル画面」をご参照ください。
6	三菱 MELOOK3 品質変換テーブルを開く	三菱 MELOOK3 品質変換テーブルを開くを開きます。 詳細は、「5.14.7.2 三菱 MELOOK3 品質変換テーブル画面」をご参照ください。

### [編集モード]



### [編集モード 項目ごとの設定 がチェックされている場合]

各項目の項目名の右に「↑」ボタンが表示されます。



### ! 注意事項

- 複数カメラ設定と項目ごとの設定にチェックが入っている場合、機種のみを変更すると機種以外の設定項目は初期化されますので、ご注意ください。

## 【編集モード 複数カメラ設定 がチェックされている場合】

設定カメラ番号が单一指定から範囲指定できるように入力欄が追加されます。

### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	カメラ設定	カメラ名	カメラの名称を指定します。	CAM-# ※#はカメラ No	(テキスト入力)	必要
2		IP アドレス	カメラの IP アドレスを指定します。	(空欄)	IPv4 または IPv6 として認められるアドレス	必要
3		マルチキャストアドレス	マルチキャストアドレスを指定します。	(空欄)	IPv4 または IPv6 として認められるアドレス	必要
4		ポート	カメラのポート番号を指定します。	80 DIGITALMELOOK 及び MELOOK3 の場合は 27000	0 ~ 65535	必要
5		RTSP ポート	H. 264 時、及び MELOOK3 の MJPEG 時に RTSP 通信ポート番号を指定します。 マルチキャスト時に マルチキャスト通信ポート番号を指定します。	554	0 ~ 65535	必要
6		機種	カメラの機種を指定します。	なし	なし、AXIS、BOSCH、 Canon、ELMO、 三菱 NM-C100、 三菱 DIGITAL MELOOK、 三菱 MELOOK3、 三菱 MELSAFETY、 三菱 MultiCast、 三菱 MELOOK3Mul tiCast、 MultiCastTS、 Movie、Panasonic、 Panasonic I-Pro、 Panasonic I-Pro MultiCast、SANYO、 SONY、 SONY MultiCast、	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リストア
					TOA(Netcansee)、 TOA(TRIFORA)、 TOSHIBA、Victor	
7		ユーザー名	カメラにアクセスするためのユーザー名を指定します。	(空欄)	(テキスト入力)	必要
8		パスワード	カメラにアクセスするためのパスワードを指定します。	(空欄)	(テキスト入力)	必要
9		配信方式	カメラの配信形式を指定します。	JPEG	JPEG、MJPEG、H.264	必要
10		解像度	カメラの解像度を指定します。	QVGA	QVGA、VGA、SXVGA、 SXGA(1280×1024)、 SIF、D1-half、 D1(720×480)、 CIF(352×240)、 4CIF(704×480)、 WD144(256×144)、 WD288(512×288)、 WD432(768×432)、 HD(1280×720)、 FHD/16(480×270)、 FHD/4(960×540)、 FHD(1920×1080)、 HVGAW(640×360)、320 ×180、 カメラ設定に従う	必要
11		品質	カメラの品質を指定します。	50	1～100	必要
12		fps	カメラのフレームレートを指定します。	1	1～30	必要
13		GOV	H.264のIフレームの間隔を指定します。  ⚠ 三菱DIGITAL MELOOK、MELOOK3のみ。	10	1～30	必要
14		他	詳しくは注意事項をご覧ください。	チェックなし	チェックあり、 チェックなし	必要
15		ライブ音声	録音を行う場合に「チェックあり」を選択します。	チェックなし	チェックあり、 チェックなし	必要
16		PTZ操作/PTZ	PTZ制御を行う場合に「チェックあり」を選択します。	チェックなし	チェックあり、 チェックなし	必要
17		サブチャネル	ビデオエンコーダの使用するチャネルを指定します。	指定なし	指定なし、Channel-1、Channel-2、… Channel-8	必要
18		音声ポート	音声のポート番号を指定します。	31000	0～65535	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
			⚠️ 三菱 MultiCast、三菱 MELOOK3 Multicast のみ。			
19		優先設定	H. 264 の場合、画質を優先するかフレームレートを優先するかを選択する。  ⚠️ 三菱 DIGITAL MELOOK のみ。	フレームレート優先	フレームレート優先、画質優先	必要
20		動作モード	H. 264 の場合、ビットレートを固定にするか、可変にするかを選択する。  ⚠️ 三菱 MELOOK3 のみ。	固定ビットレート	固定ビットレート、可変ビットレート	必要
21		動き検知	■JPEG 動き検知、異常検知時の基準画像と比較する場合に「する」を選択します。 ■H. 264 カメラの動き検知を使用する場合に「する」を選択します。	しない	する、しない  ⚠️ JPEG に関する設定は、以下の解像度の場合にのみ有効となります。 - QVGA - VGA - SXVGA - 1632×1216 - QVGAW - HD - FHD  ⚠️ H. 264 に関する設定は、カメラ側で動き検知ができるもののみ有効となります。 (詳細は、「ネットワークカメラ 入出力ポート接続ガイド」をご参照ください)。	必要
22		フレーム間隔/比較-F 間隔	■JPEG 指定したフレームだけ、間隔を空けた上で画像を 1 枚比較します。 ■H. 264 指定したフレームだけ、間隔を空けた上で画像を連続比較します。	1	1~250  ⚠️ 配信方法で H. 264 を選択したとき、フレーム間隔は 2 以上を指定しないでください。	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リストア
23		変化値/ 比較-変化値	次の比較まで変化値 を継続するか否かを 指定します。	継続しない	継続する、 継続しない	必要
24	カメラ 設定  (編集 モード)	設定カメラ番 号	設定をするカメラの 番号を指定します。	ユニット #1 : 1 ユニット #2 : 65	#1 : 1~64 #2 : 65~128	—
25		複数カメラ設 定	設定カメラ番号の指 定を範囲指定に変更 します。	OFF	ON, OFF	—
26		項目ごとの設 定	項目ごとの設定	OFF	ON, OFF	—

## ■ボタン

No	項目	説明
27	(編集モード) 全項目設定	指定した設定カメラ番号に対し、全項目の入力値を反映します。 複数カメラに設定をチェックしている場合は、指定された範囲のカメラに 対し、全項目の入力値を反映します。
—	(編集モード / 項目ごとに設定時) ↑	指定した設定カメラ番号に対し、↑ボタンに対応する項目の入力値を反映 します。 複数カメラに設定をチェックしている場合は、指定された範囲のカメラに 対し、↑ボタンに対応する項目の入力値を反映します。



### 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- カメラ名を指定しないと、通知では、CAM-xx (xx はユニットごとに 1 からの連番) とつけて通知されます。
- カメラ名は、互換性の観点から、無指定でも、重複があってもエラーとしていませんが、かならずユニークな名前をつけてください。
- 機種で BOSCH、Canon、Panasonic、TOA(Netcansee)、TOA(TRIFORA) を選択したとき、「他」にチェックをつけると、次のような機能を有します。

No	機種	説明
1	BOSCH カメラ設定に従う	解像度、品質、fps の設定をカメラ側で設定し たい場合、チェックを入れる必要があります。
2	Canon 新プロトコル	型番が VBM・VBH である機種は、 チェックを入れることで設定項目が増えます。
3	Panasonic BB シリーズ	型番が BB・BL である機種は、 プリセット登録したいときに、チェックを入れ る必要があります。
4	TOA(Netcansee) TOA(TRIFORA) B プロトコル	PTZ 制御を行う場合にはチェックを入れてください。クリックセンタリング機能が使用可能に なります。

- 三菱 DIGITALMELOOK を指定した場合は、「fps」と「I フレーム間隔」の設定に制限があり、不正な値を入力した場合、「設定」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。

次の表は、指定可能なフレームレートを纏めた表です。「○」は指定可能、「×」は指定不可能です。

配信形式	解像度	fps											
		1	2	3	4	5	6	7~9	10	11~14	15	16~29	30
MJPEG	QQVGA	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
	QVGA	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
	VGA	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
	SXVGA	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○
H. 264	QVGA	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○
	VGA	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○
	SXVGA	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×

また、次の表は、指定可能な I フレーム間隔を纏めた表です。「○」は指定可能、「×」は指定不可能。

fps	I フレーム間隔				
	5	6	10	15	30
5	○	×	×	×	×
10	○	×	○	×	×
15	○	×	×	○	×
30	○	○	○	○	○

- 動き検知と PTZ の併用は控えてください。
- ライブ音声を録音する場合は、「ネカ録共通設定画面」の「録音設定」にチェックを入れてください。
- IPv6 形式のアドレスを指定した場合、連番ボタンをクリックしても、連番にはなりません。

### 5.14.7.1 三菱 DIGITALMELOOK 品質変換テーブル画面

カメラ設定画面にて、「機種」に「三菱 DIGITALMELOOK」を選択した場合の「品質」と三菱 DIGITALMELOOK カメラの設定「圧縮率」・「ビットレート」との変換テーブルを示す画面です。

三菱 DIGITALMELOOK の画像品質を調整するために活用します。

品質変換テーブル									
この変換テーブルは、「機種」に「三菱 DIGITALMELOOK」を選択した場合の「品質」と三菱カメラのカメラ側の設定「圧縮率」・「ビットレート」との変換テーブルです。									
三菱カメラの画像品質を調整する場合に用います。									
■「配信方法」に「MJPEG」を選択した場合									
「品質」⇒「圧縮率」の変換テーブルです。「品質」のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれた圧縮率が設定されます。									
圧縮率	1/90	1/40	1/30	1/25	1/20	1/15	1/10		
品質	1～14	15～28	29～43	44～57	58～71	72～85	86～100		
■「配信方法」に「H.264」を選択した場合									
「品質」⇒「ビットレート」の変換テーブルです。「品質」のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれたビットレートが設定されます。									
解像度:「QVGA」の場合									
ビットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096
品質	1～17	18～34	35～51	52～68	69～85	86～100	×	×	×
解像度:「VGA」の場合									
ビットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096
品質	×	1～14	15～28	29～43	44～57	58～71	72～85	86～100	×
解像度:「SXVGA」の場合									
ビットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096
品質	×	×	×	1～12	13～24	25～36	37～49	50～61	62～74
									75～86
									87～100

本画面は、ブラウザによっては画面のサイズの変更ができますが、サイズの変更はしないで下さい。

### 5.14.7.2 三菱 MELOOK3 品質変換テーブル画面

カメラ設定画面にて、「機種」に「三菱 MELOOK3」を選択した場合の「品質」と三菱 MELOOK3 カメラの設定「圧縮率」・「ビットレート」との変換テーブルを示す画面です。

三菱 MELOOK3 の画像品質を調整するために活用します。

品質変換テーブル											
この変換テーブルは、「機種」に「三菱 MELOOK3」を選択した場合の「品質」と三菱カメラのカメラ側の設定「圧縮率」・「ビットレート」との変換テーブルです。											
三菱カメラの画像品質を調整する場合に用います。											
■「配信方法」に「MJPEG」を選択した場合											
「品質」⇒「圧縮率」の変換テーブルです。指定の「解像度」と「fps」別で、指定可能な「圧縮率」の組合せが異なります。											
背景白色のマスに書かれた範囲内の数を「品質」に指定すると、その真上のマスに書かれた「圧縮率」で設定されます。											
解像度		圧縮率									
解像度	fps	1/40	1/30	1/25	1/20	1/15					
320×180	1	1～20	21～40	41～60	61～80	81～100					
HD (1280×720)	2	×	×	×	1～100	×					
■「配信方法」に「H.264」を選択した場合											
「品質」⇒「ビットレート」の変換テーブルです。指定の「解像度」と「fps」別で、指定可能な「ビットレート」の組合せが異なります。											
背景白色のマスに書かれた範囲内の数を「品質」に指定すると、その真上のマスに書かれた「ビットレート」で設定されます。											
解像度		ビットレート (Kbps)									
解像度	fps	128	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	5120
HVGA (640×360)	1	1～13	14～25	26～38	39～50	51～63	64～75	76～88	89～100	×	×
	2,3,5	×	1～15	16～29	30～43	44～58	59～72	73～86	87～100	×	×
	10,15,30	×	×	1～15	16～29	30～43	44～58	59～72	73～86	87～100	×
HD (1280×720)	1	×	1～15	16～29	30～43	44～58	59～72	73～86	87～100	×	×
	2,3,5	×	×	1～17	18～34	35～50	51～67	68～84	85～100	×	×
	10,15,30	×	×	1～20	21～40	41～60	61～80	81～100	1～20	1～20	1～20
FHD (1920×1080)	1	×	×	1～20	21～40	41～60	61～80	81～100	1～20	1～20	1～20
	2,3,5	×	1～15	16～29	30～43	44～58	59～72	73～86	87～100	1～15	1～15
	10,15	×	1～20	21～40	41～60	61～80	81～100	1～20	1～20	1～20	1～20
	30	1～20	21～40	41～60	61～80	81～100	1～20	1～20	1～20	1～20	1～20

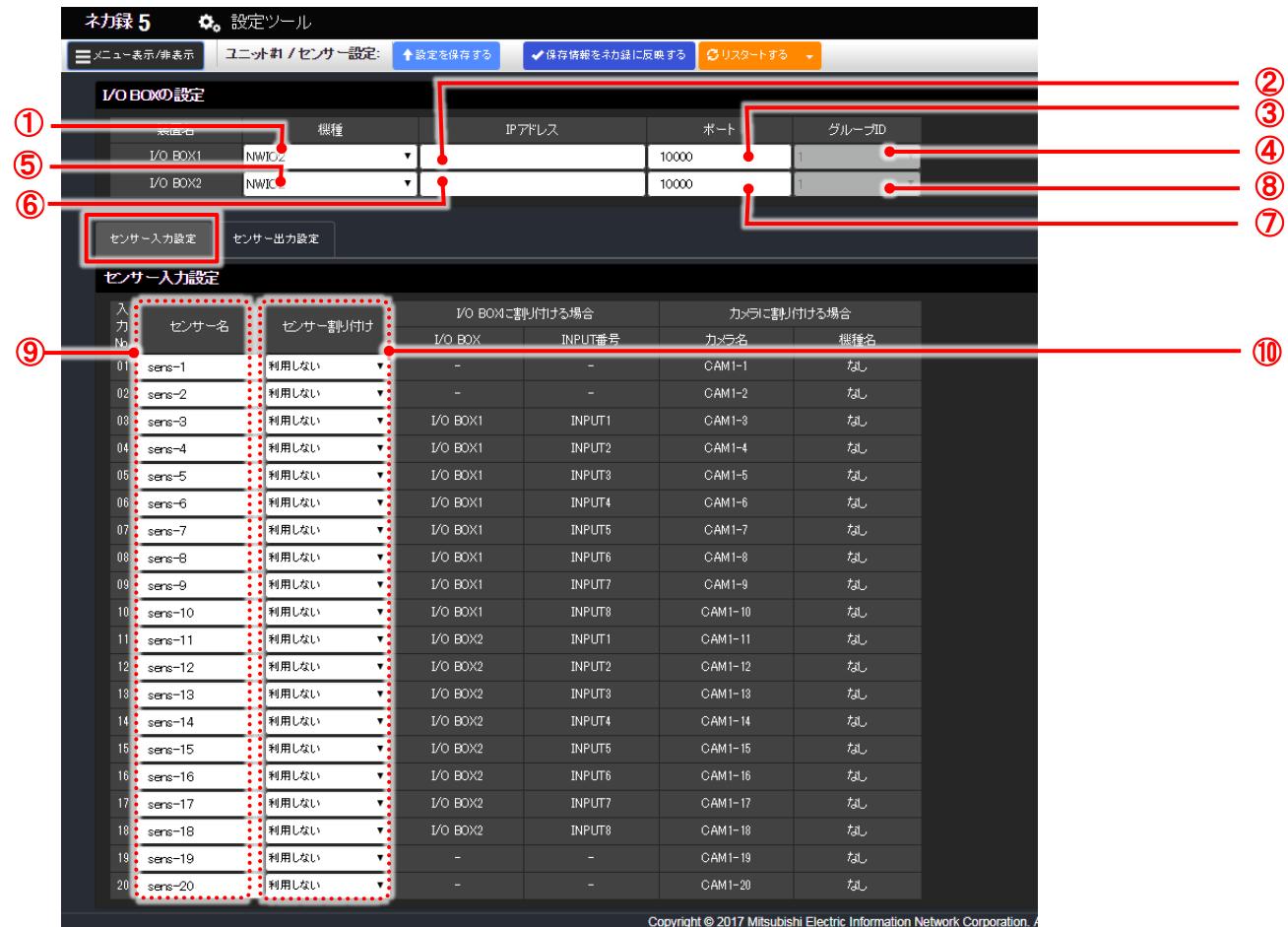
本画面は、ブラウザによっては画面のサイズの変更ができますが、サイズの変更はしないで下さい。

## 5.14.8 センサー設定

センサー入出力のための基本設定を行う画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - センサー設定」を選択

[ タブ : センサー入力設定]



### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	I/O BOX1	機種	1台目の入出力ボックスの機種を指定します。	NWI02	NWI02、iND CommAssist、iND CommAssist-i4o4、MEE NJ-2000-1	必要
2		IP アドレス	1台目の入出力ボックスのIPアドレスを指定します。	(空欄)	IPv4として認められるアドレス	必要
3		ポート	1台目の入出力ボックスのポート番号を指定します。	NWI02 : 10000 iND CommAssist : 161	0~65535	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
				iND CommAssist-i4o4:161 MEE NJ-2000-1: 1112		
4		グループ ID	MEE NJ-2000-1 を選択したときに指定可能となります。	1	MEE NJ-2000-1 のときに、1~4	必要
5	I/O BOX2	機種	2台目の入出力ボックスの機種を指定します。	NWI02	NWI02、 iND CommAssist、 iND CommAssist-i4o4、 MEE NJ-2000-1	必要
6		IP アドレス	2台目の入出力ボックスの IP アドレスを指定します。	(空欄)	IPv4 として認められるアドレス	必要
7		ポート	2台目の入出力ボックスのポート番号を指定します。	NWI02: 10000 iND CommAssist: 161 iND CommAssist-i4o4:161 MEE NJ-2000-1: 1112	0~65535	必要
8	センサー入力	センサー名	センサー入力の名称を指定します。	sens-# ※#は、センサー入力 No	(テキスト入力)	必要
9		センサー個別設定	センサー入力を使用するか、指定します。	このセンサー入力を利用しない	このセンサー入力を利用しない、 このセンサー入力に I/O/BOXx の INPUTx を割り付ける、 このセンサー入力に右のカメラのセンサー入力を割り付ける	必要

### 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- センサー入力が 1、2、19、20 のとき、I/O BOX の INPUT を割り付けることはできません。
- カメラ No. 21~64 からの入力を、センサー入力に割り付けることはできません。
- 装置名 I/O BOX1 は、1台目の入出力ボックスを表します。装置名 I/O BOX2 は、2台目の入出力ボックスを表します。
- I/O BOX の設定は、「ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド」、および I/O BOX 付属の説明書をご確認ください。

## [ タブ： センサー出力設定 ]



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	センサー出力	センサー出力を利用する	センサー出力を利用するか、指定します。	OFF	ON、 OFF	必要
2		センサー出力名	センサー出力の名称を指定します。	A~H	(テキスト入力)	必要
3		スイッチ種別	接点出力するときの振る舞いを指定します。	プッシュ型	プッシュ型(一時的にON状態になります)、 オルタネート型(恒久的にON状態になります)	必要

## 5.14.9 通常録画 条件設定

カメラ単位で、録画の条件を設定する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - 通常録画 - 条件設定」を選択



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~64	—
2	STEP. 2	録画条件	録画条件を選択します。  ⚠ 配信形式によって、設定範囲が異なります	定常録画	■ JPEG の場合 定常録画、 変化時のみ録画、 インターバル録画、 センサー録画 ■ H. 264 の場合 定常録画、 I フレーム録画、 センサー録画	不要
		変化時は常に録画	画像に変化があった場合に録画するか、指定します。	録画しない	録画しない、 録画する	不要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
4		変化値	⚠️ 像比較した際の録画する閾値を指定します。 値が小さいほど、わずかな動きでも検知します。	0	0 ~ 100	不要
5		フレーム間隔	指定フレーム間隔で録画します。	1	1 ~ 250	不要
6		センサー入力名	センサー入力名を選択します。	01. sens-1	センサー入力 No. 1 ~ 20 の名称	不要
7		L レベル/H レベル	センサーの検知するレベルを選択します。	L レベル	L レベル、H レベル	不要
8	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~64	—
9		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、 OFF	—

### ■ボタン

No	項目	説明
10	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。
11	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 2 の設定内容を適用します。

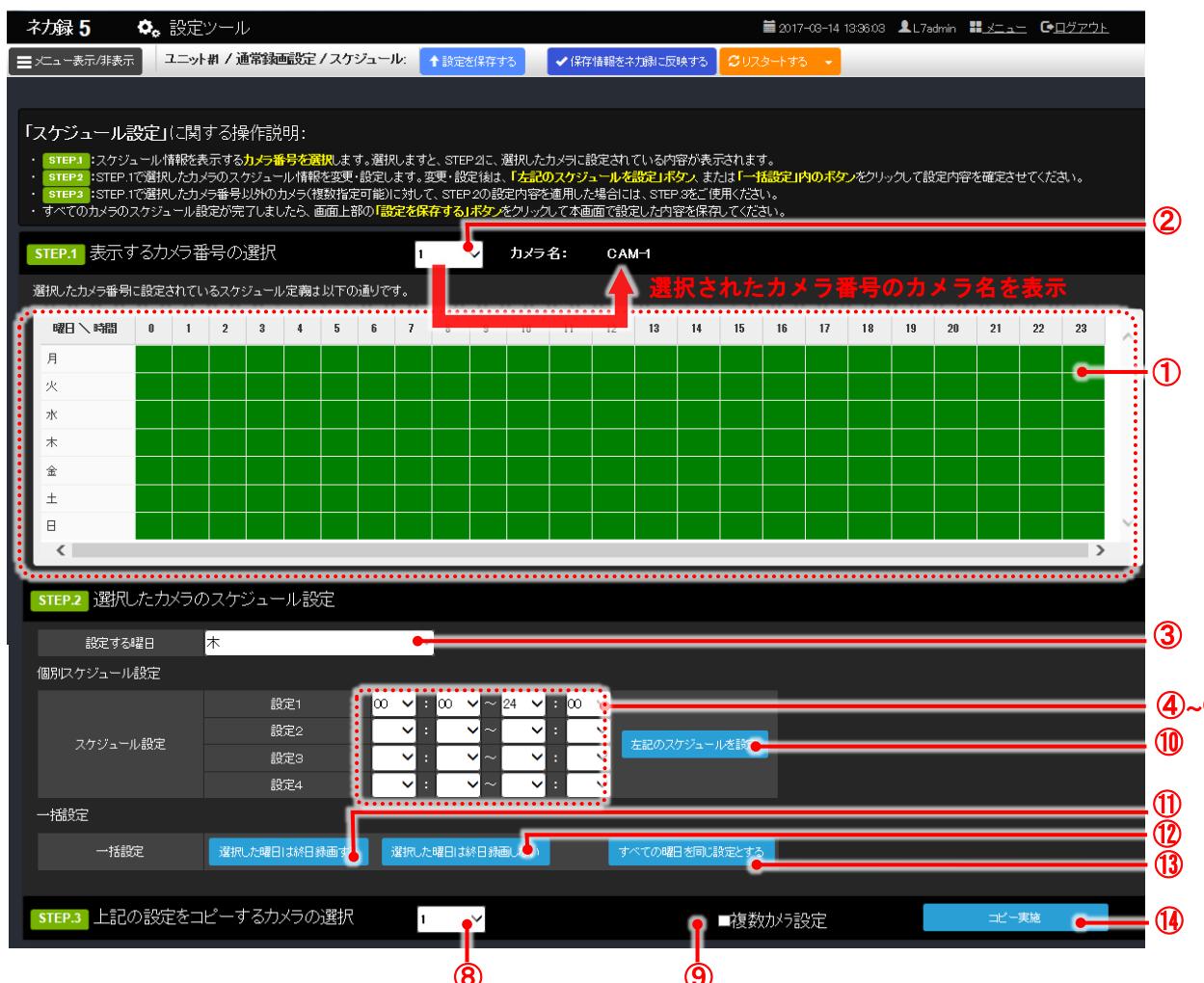
### ⚠️ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- すべてのカメラの録画条件設定が完了しましたら、画面上部の「設定を保存する」ボタンをクリックして本画面で設定した内容を保存してください。

## 5.14.10 通常録画 スケジュール設定

カメラ単位で、録画の条件を設定する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
 → 設定ツール メニューの「ユニット#X - 通常録画 - スケジュール設定」を選択



### ■表示

No	分類	説明
1	録画スケジュール表	<p>設定・表示するカメラの選択で指定されたカメラの録画スケジュールを表(横軸: 時間、縦軸: 曜日)で表示します。</p> <p>[表の見方]</p> <p>カラムの色は、各カメラの曜日ごとのスケジュール設定の状態を示します。</p> <p>緑 : 1時間を通じて連続録画する</p> <p>黄緑 : 1時間を通じて録画する期間と録画しない期間が混在する</p> <p>白 : 1時間を通じて録画しない</p>

## ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
2	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~64	—
3	STEP. 2	設定する曜日	設定する曜日を指定します。	月	月~日 (曜日)	不要
4		設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	不要
5		設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
6		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
7		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
8	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~64	—
9		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、 OFF	—

## ■ボタン

No	項目	説明
10	左記のスケジュールを設定	設定 1~4 の設定をチェックし、録画スケジュール表に反映します。
11	選択した曜日は終日録画する	録画期間を「0:00~24:00」とし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
12	選択した曜日は終日録画しない	録画期間なしとし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
13	すべての曜日を同じ設定とする	選択中の設定する曜日の録画スケジュール表の設定をすべての曜日に反映します。
14	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 1 の録画スケジュール表の設定内容を適用します。

## ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.11 動き検知 録画設定

カメラ単位で、動き検知時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定する画面です。

配信方式 (JPEG, H.264) によって設定内容が異なります。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - 動き検知 - 条件設定」を選択

### [JPEG の場合]

#### (1) STEP. 1



No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~最大カメラ番号	—

#### (2-1) STEP. 2 「(1) 区画設定」タブ



#### ■ 設定項目

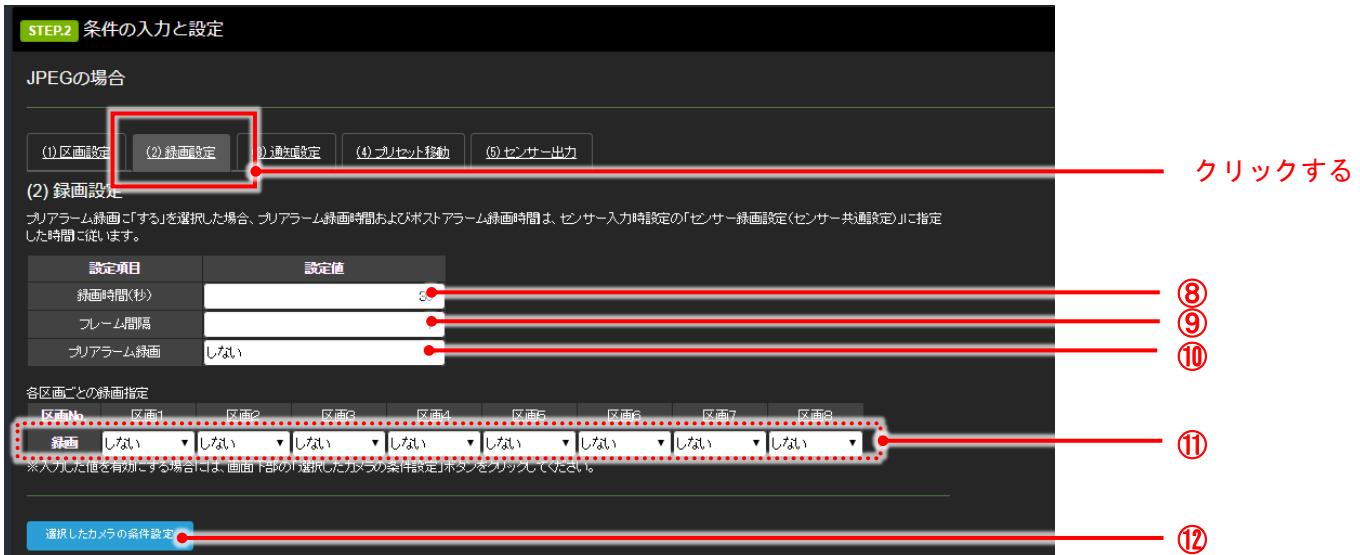
No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
2	STEP. 2 区画設定	動き検知スケジュールに従う	動き検知スケジュールに従うか、指定します。	従わない	従わない、従う	不要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
3	-全区画	変化値	画像比較した際の検知する閾値を指定します。 ⚠️ 値が小さいほど、わずかな動きでも検知します。	0	0 ~ 100	不要
4		連続フレーム	指定のフレーム数連続して動きに変化があれば動き検出される。	1	1 ~ 100	不要
5	区画設定 - 区画毎 (共通)	動き検知スケジュールに従う	動き検知スケジュールに従うか、指定します。	従わない	従わない、従う	不要
6	区画設定 -区画毎	変化値	画像比較した際の検知する閾値を指定します。 ⚠️ 値が小さいほど、わずかな動きで検知します。	50	0 ~ 99	不要

#### ■ボタン

No	項目	説明
7	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。

#### (2-2) STEP. 2 「(2) 録画設定」タブ



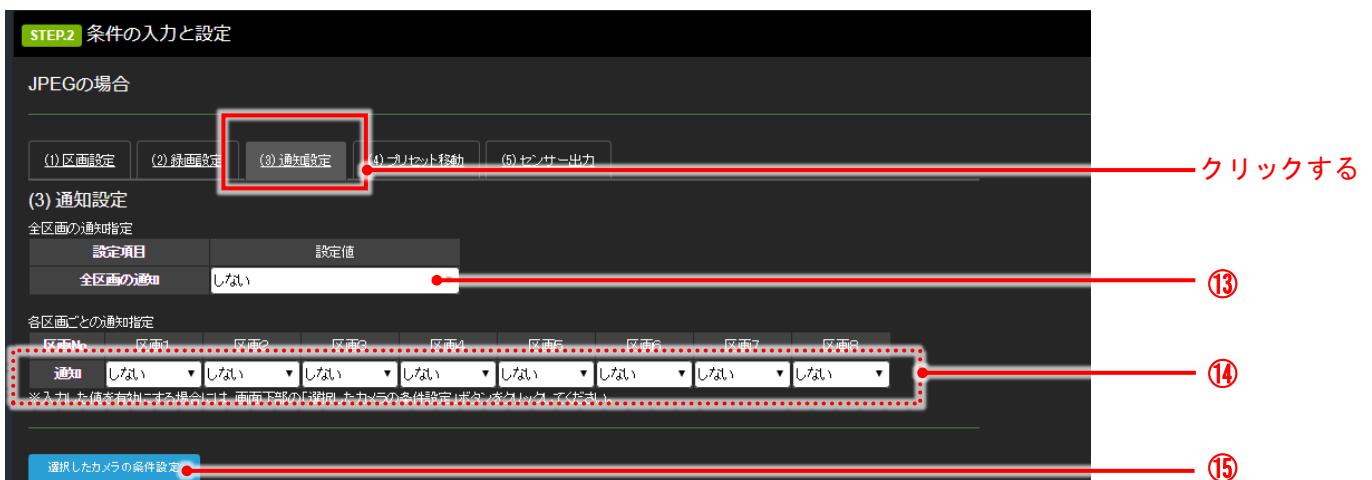
No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
8	録画設定 -区画毎	録画時間(秒)	動き検知があった時の録画時間を指定します。	30	1 ~ 7200	不要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
9	(共通)	フレーム間隔	指定の間隔で間引き録画します。	1	1 ~ 250	不要
10		プリアラーム録画	録画の際にセンサー設定値を利用して録画します。	しない	しない、 する	不要
11	録画設定 -区画毎	録画する	動き検知があった時に録画するか、指定します。	しない	しない、 する	不要

#### ■ボタン

No	項目	説明
12	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。

#### (2-3) STEP. 2 「(3)通知設定」タブ



#### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
13	通知設定 -全区画	通知する	動き検知があった時に通知するか、指定します。	しない	しない、 する	不要
14	通知設定 -区画毎	通知する	動き検知があった時に通知するか、指定します。	しない	しない、 する	不要

#### ■ボタン

No	項目	説明
15	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。

## (2-4) STEP. 2 「(4) プリセット移動」タブ



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
16	STEP. 2 プリセ ット移 動 -区画每 (共通)	プリセ ット時 間(秒)	プリセ ット移動先に 一時停止する時 間を 指定します。	3	1 ~ 3600	不要
17	プリセ ット移 動 -区画每	プリセ ット移 動	動き検知があ った時 にプリセ ット移動す るか、指 定します。	しない	しない、 す る	不要
18	プリセ ット移 動 -区画每	カメラ名	プリセ ット移動す る カメラを指 定します。	01. CAM-1	カ メ ラ No. 1~ 32のカ メ ラ名、ま たは 最大カ メ ラNo. のカ メ ラ名	不要
19		プリセ ット 番号	プリセ ット移動先を 指 定します。	指定なし	指 定なし、 PRS-1 ~PRS-16	不要

### ■ ボタン

No	項目	説明
20	選択したカ メラの条件設 定	STEP. 2 で指 定した内 容をチ ェックし、 STEP. 1 で指 定したカ メラに設 定内 容を確 定しま す。

### (2-5) STEP. 2 「(5) センサー出力」タブ

STEP2 条件の入力と設定

JPEGの場合

(1) 区画設定 (2) 緑画設定 (3) 通知設定 (4) フリホット移動 (5) センサー出力

(5) センサー出力

設定項目 設定値

センサー出力先 00 指定なし (21)

センサー出力を継続する 繙続する (22)

※入力した値を有効にする場合は、画面下部の「選択したカメラの条件設定」ボタンをクリックしてください。

選択したカメラの条件設定 (23)

#### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
21	センサー出力-全画面	センサー出力先	センサーの出力先を指定します。	00. 指定なし	指定なし、センサー出力 No1~8 のセンサー名	不要
22		センサー出力を継続	出力時に点灯し続ける場合は、「継続する」を1回だけ点灯させる場合は「継続しない」を選択します。	継続する	継続しない、継続する	不要

#### ■ ボタン

No	項目	説明
23	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。

### (3) STEP. 3

STEP3 上記の設定をコピーするカメラの選択

1 (24) ▾ 複数カメラ設定 (25) コピー実施 (26)

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
24	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~最大カメラ番号	—
25		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、OFF	—

#### ■ ボタン

No	項目	説明
26	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 2 の設定内容を適用します。



## 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- 動き検知したカメラ自身をプリセット移動させつつ、センサー出力させたい場合は、下記設定としてください。
  - 動き検知設定ツールにて、区画 1 で画像全体を塗りつぶしてください。（デフォルト設定）
  - 連続フレームは「1」と設定してください。
  - 「全区画」の変化値と「区画 1」の変化値を同値で設定してください。

## [H. 264 の場合]



### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~64	—
2	STEP. 2	動き検知スケジュールに従う	動き検知スケジュールに従うかどうか、指定します。	従わない	従う、従わない	不要
3		録画する	動き検知があった時に録画するか、指定します。	しない	しない、する	不要
4		通知を行う	動き検知があった時に通知するか、指定します。	しない	しない、する	不要
5		プリセット移動する	動き検知があった時にプリセット移動するか、指定します。	しない	しない、する	不要
6		カメラ名	プリセット移動するカメラを指定します。	01. CAM-1	カメラ No. 1~32 のカメラ名	不要
7		プリセット時間	プリセット移動先に一時停止する時間を指定します。	3	1 ~ 3600	不要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
8		プリセット番号	プリセット移動先を指定します。	指定なし	指定なし、PRS-1 ~PRS-16	不要
9		出力先	センサーの出力先を指定します。	00. 指定なし	指定なし、センサー出力 No1~8 のセンサー名	不要
10		出力の継続	出力時に点灯し続ける場合は、「継続する」を1回だけ点灯させる場合は「継続しない」を選択します。	継続する	継続しない、継続する	不要
11	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~64	—
12		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、 OFF	—

#### ■ボタン

No	項目	説明
13	選択したカメラの条件設定	STEP. 2 で指定した内容をチェックし、STEP. 1 で指定したカメラに設定内容を確定します。
14	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 2 の設定内容を適用します。

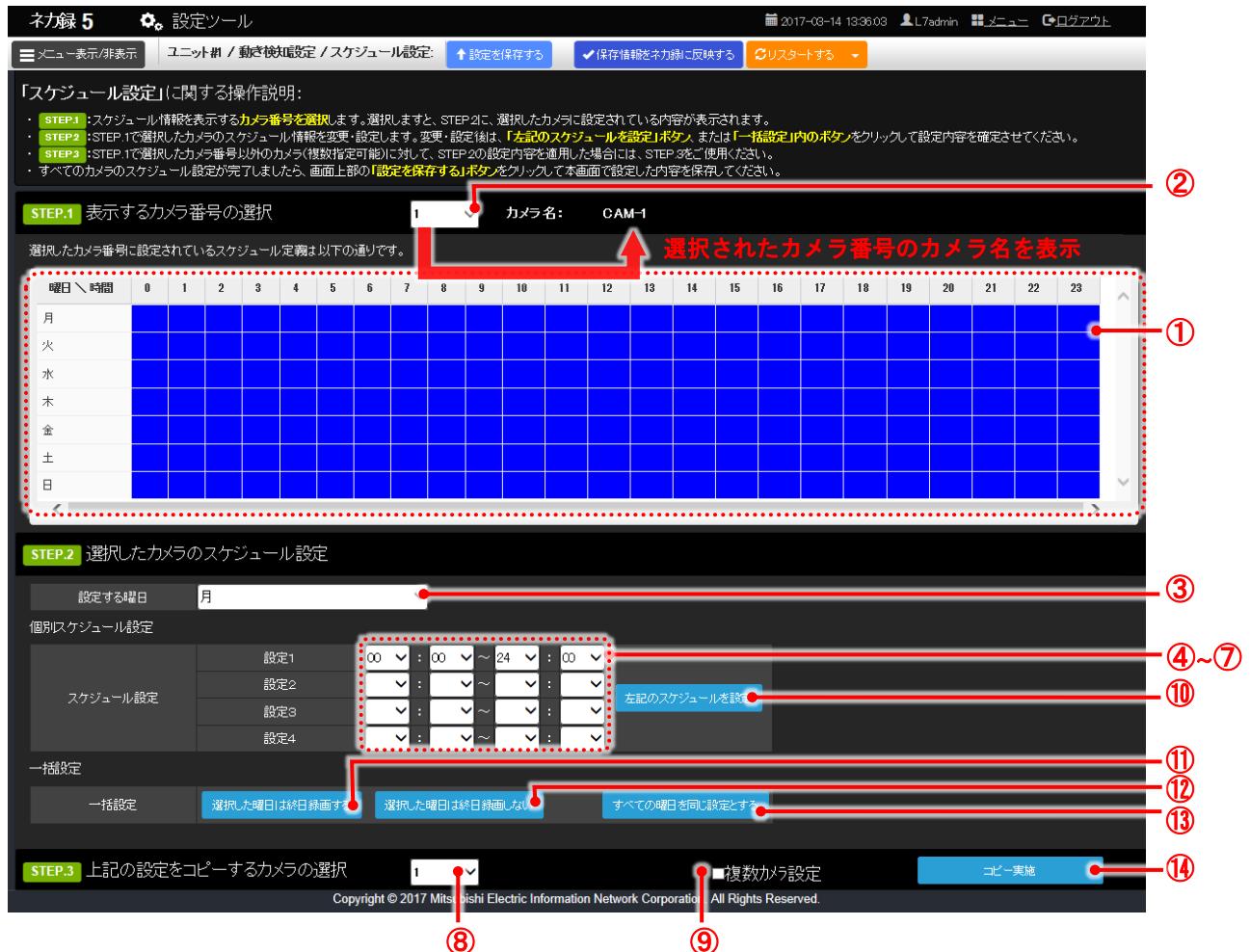
#### ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.12 動き検知 スケジュール設定

カメラ単位で、録画の条件を設定する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - 動き検知 - スケジュール設定」を選択



### ■表示項目

No	分類	説明
1	週次スケジュールの設定	<p>設定・表示するカメラの選択で指定されたカメラの録画スケジュールを表（横軸：時間、縦軸：曜日）で表示します。</p> <p>[表の見方]</p> <p>カラムの色は、各カメラの曜日ごとのスケジュール設定の状態を示します。</p> <p>青 : 1時間を通じて動きを検知する 水色 : 1時間を通じて動き検知する時間としない時間が混在する 白 : 1時間を通じて動きを検知しない</p>

## ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
2	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~64	—
3	STEP. 2	設定する曜日	設定する曜日を指定します。	月	月~日 (曜日)	不要
4		設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	不要
5		設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
6		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
7		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
8	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~64	—
9		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、 OFF	—

## ■ボタン

No	項目	説明
10	左記のスケジュールを設定	設定 1~4 の設定をチェックし、録画スケジュール表に反映します。
11	選択した曜日は終日検知する	動きを検知する期間を「0:00~24:00」とし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
12	選択した曜日は終日検知しない	動きを検知する期間をなしとし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
13	すべての曜日を同じ設定とする	選択中の設定する曜日の録画スケジュール表の設定をすべての曜日に反映します。
14	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 1 の録画スケジュール表の設定内容を適用します。

## ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.13 センサー入力時 条件設定

カメラ単位で、センサー入力時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定する画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - センサー入力時- 条件設定」を選択

STEP.1 センサーごとの設定

センサーごとの設定状況は、以下の通りです。

No	センサー名	センサーに割りつくカメラ	録画	通知	プリセット番号	プリセット保持時間	センサー出力先
1	sens-1	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
2	sens-2	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
3	sens-3	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
4	sens-4	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
5	sens-5	01 1F_正面玄関前	録画しない	通知しない	指定なし	0	00 指定なし
6	sens-6	01 1F_正面玄関前	録画する	通知する	指定なし	0	00 指定なし
7	sens-7	01 1F_正面玄関前	録画する	通知する	指定なし	0	00 指定なし
8	sens-8	01 1F_正面玄関前	録画する	通知する	指定なし	0	00 指定なし

選択したセンサーの設定

選択実行のセンサーに関する設定を行ってください。

選択したセンサー名	
sens-1	
センサーに割りつくカメラ名	01 1F_正面玄関前
録画	録画しない
通知	通知しない
プリセット番号	指定なし
プリセット保持時間	0
センサー出力先	00 指定なし

STEP.2 センサー録画設定(センサー共通設定)

センサー録画する場合は、以下の設定に従って録画します。必要に応じて値を設定してください。

プリアラーム	プリアラーム秒数
パッファサイズ(MB)(※1)	0
4	
ポストアラーム	ポストアラーム秒数
300	
オプション	フレーム間隔
1	
センサーONの間は録画を続ける	継続しない
センサー入力時全から録画(※2)	録画する

上記の値の設定

※1:プリアラームパッファサイズ×ネオリンク(ユニットごと)に指定するカメラ台数 <= 256台になるように設定してください。  
※2:すべてのセンサー入力に対して、この設定が有効になります。

### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
1	STEP. 1	センサー I D ごとの設定状況	センサー I D 別、センサー入力時の動作の一覧です。	—	—	—
2	STEP. 1 選択したセンサー I D の設定	センサーに割りつくカメラ	センサーにどのカメラを割りつけるか、指定します。	01. CAM-1	カメラ No. 1 ~ 64 のカメラ名	必要
3		録画する	センサー入力時に録画するか、指定します。	録画しない	録画しない、録画する	必要
4		通知する	センサー入力時に通知するか、指定します。	通知しない	通知しない、通知する	必要

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
5	STEP. 2 センサー録画 設定	プリセット番号	センサー入力時に移動する、プリセット移動先を指定します。	指定なし	指定なし、RPS-1 ~RPS-16	必要
6		プリセット保持時間(秒)	プリセット移動先に一時停止する時間を指定します。	0	0 ~ 3600	必要
7		センサー出力	センサー入力時に、出力したいセンサー出力先を指定します。	指定なし	指定なし、センサー出力 No1 ~ 8 のセンサー名	必要
8		プリアラーム秒数(秒)	プリアラーム録画秒数を指定します。	0	0 ~ 180	必要
9		バッファサイズ(MB)	プリアラーム録画用のバッファサイズを指定します。	4	0 ~ 128	必要
10		ポストアラーム秒数(秒)	ポストアラーム録画秒数を指定します。	300	0 ~ 7200	必要
11		フレーム間隔	録画するフレームの間隔を指定します。	1	1 ~ 100	必要
12		センサー入力がONの間は録画を続ける	接点入力時に録画を続けるか、指定します。	続ける	続けない、続ける	必要
13		センサー入力時に、全カメラを録画する	センサー入力時に全てのカメラを録画するか、全てのカメラは録画せずにセンサーに割り付けたカメラのみ録画するかを指定します。	録画する	録画しない、録画する	必要

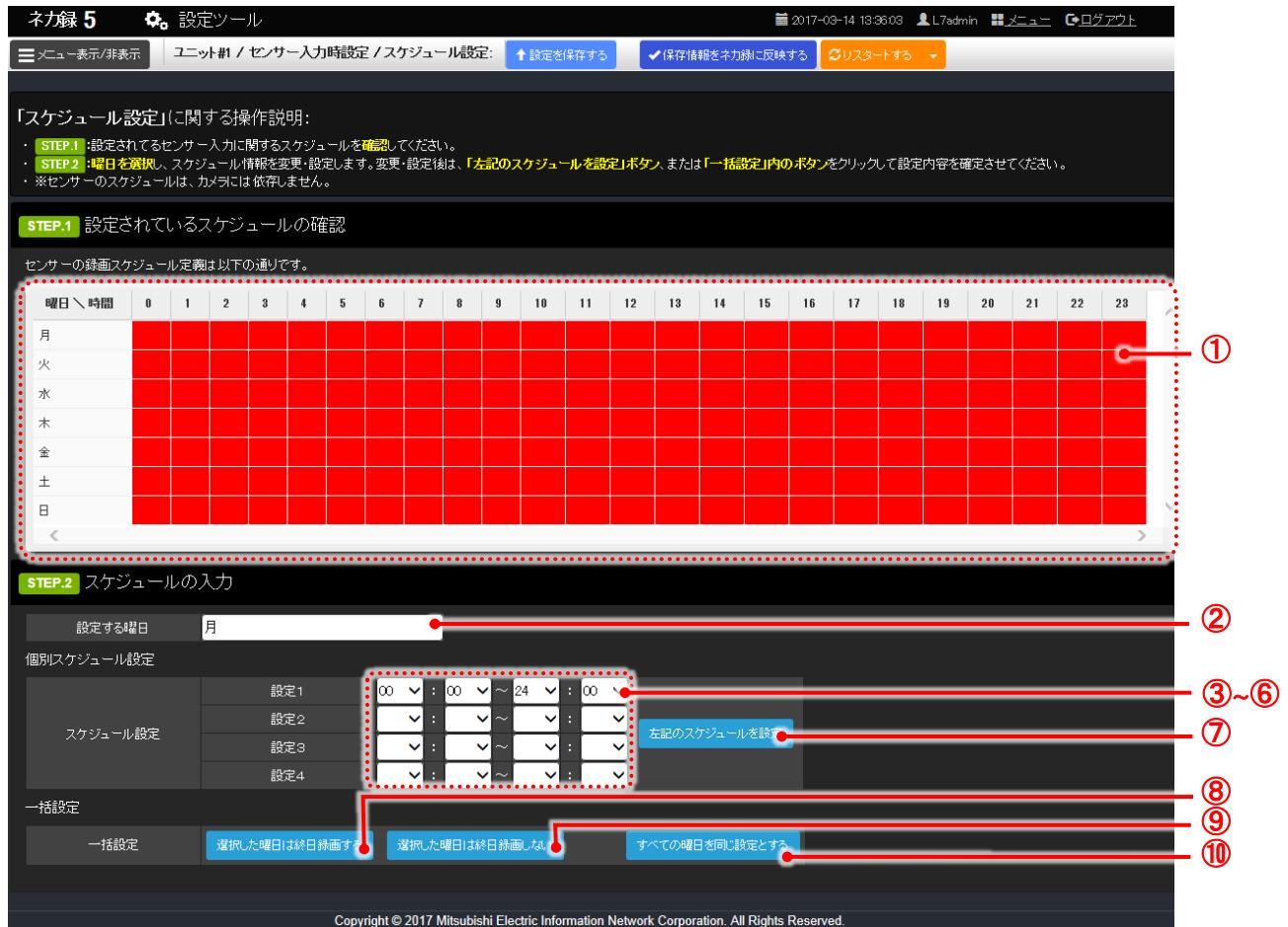
### 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.14 センサー入力時 スケジュール設定

カメラ単位で、センサー入力時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定する画面です。

遷移手順 : ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
 → 設定ツール メニューの「ユニット#X - センサー入力時 - スケジュール設定」を選択



### ■表示項目

No	分類	説明
1	週次スケジュールの設定	<p>設定・表示するカメラの選択で指定されたカメラの録画スケジュールを表（横軸：時間、縦軸：曜日）で表示します。</p> <p><b>[表の見方]</b>          カラムの色は、各カメラの曜日ごとのスケジュール設定の状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤 : 1時間を通じてセンサーを使用する</li> <li>ピンク : 1時間を通じてセンサーを使用する時間と使用しない時間が混在する</li> <li>白 : 1時間を通じてセンサーを使用しない</li> </ul>

## ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
2	週次スケジュールの設定	設定する曜日	設定する曜日を指定します。	月	月～日（曜日）	不要
3		設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	不要
4		設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
5		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要
6		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	不要

## ■ボタン

No	項目	説明
7	左記のスケジュールを設定	設定 1～4 の設定をチェックし、録画スケジュール表に反映します。
8	選択した曜日は終日センターを使用する	センターを利用する期間を「0:00～24:00」とし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
9	選択した曜日は終日センターを使用しない	センターを利用する期間をなしとし、録画スケジュール表の指定された曜日に反映します。
10	すべての曜日を同じ設定とする	選択中の設定する曜日の録画スケジュール表の設定をすべての曜日に反映します。
11	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 1 の録画スケジュール表の設定内容を適用します。

## ⚠ 注意事項

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

## 5.14.15 例外スケジュール設定

カメラ単位で、センサー入力時の録画/通知/プリセット移動/センサー出力を設定する画面です。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「設定」を選択  
→ 設定ツール メニューの「ユニット#X - 例外スケジュール設定」を選択

### (1) STEP. 1 と STEP. 2 の全体の説明

### ■表示項目

No	分類	説明
1	例外スケジュールの設定	<p>設定・表示するカメラの選択で指定されたカメラの録画スケジュールを表(横軸:時間、縦軸:曜日)で表示します。</p> <p><b>[表の見方]</b> カラムの色は、例外スケジュール No ごとのスケジュール設定の状態を示します。</p> <p>○通常録画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑 : 1日を通じて連続録画する</li> <li>黄緑 : 録画する時間と録画しない時間が混在する</li> <li>白 : 1日を通じて録画しない</li> </ul>

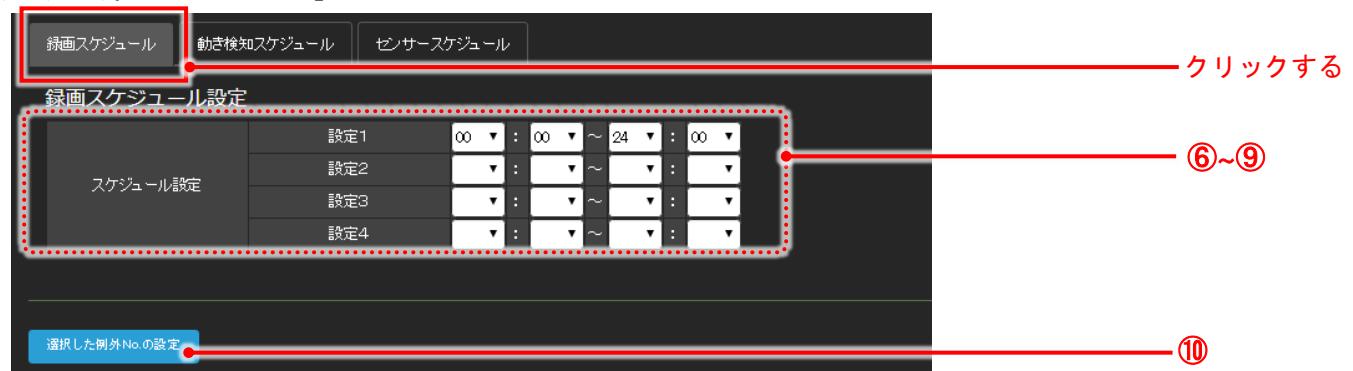
No	分類	説明
		<p>○動き検知</p> <p>青 : 1日を通じて動きを検知する</p> <p>水色 : 動き検知する時間と動き検知しない時間が混在する</p> <p>白 : 1日を通じて動きを検知しない</p> <p>○センサー入力時</p> <p>赤 : 1日を通じてセンサーを使用する</p> <p>ピンク : センサーを使用する時間と使用しない時間が混在する</p> <p>白 : 1日を通じてセンサーを使用しない</p>

### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
2	STEP. 1	表示するカメラ番号の選択	設定を行うカメラのカメラ番号を指定します。	1	1~64	—
3	STEP. 2 例外 No の選択	有効	例外スケジュール No ごとに有効・無効を指定します。	OFF	ON、OFF	不要
4	選択した例外 No. の詳細	例外日の設定	例外日にしたい日付を設定します。	毎月	繰り返さない、毎年、毎月	不要
5		日付	上記の選択に対する適用日を指定します。	年月: PC の年月 日 : 1日	1970 年 1 月 1 日 ~ 2038 年 12 月 31 日	不要
6		「録画」、「動き検知」、「センサー」スケジュール	「録画」、「動き検知」、「センサー」スケジュールを指定します。	設定 1: 00:00~24:00 設定 2~設定 4: (空欄)	00:00~24:00	不要

画面下部のスケジュール情報（録画、動き検知、センサー）は、選択した例外 No. に対応して設定してください。それぞれの項目は、タブごとに指定を行います。以下に詳細を記載します。

#### (2-1) 「録画スケジュール」タブ



### ■設定項目

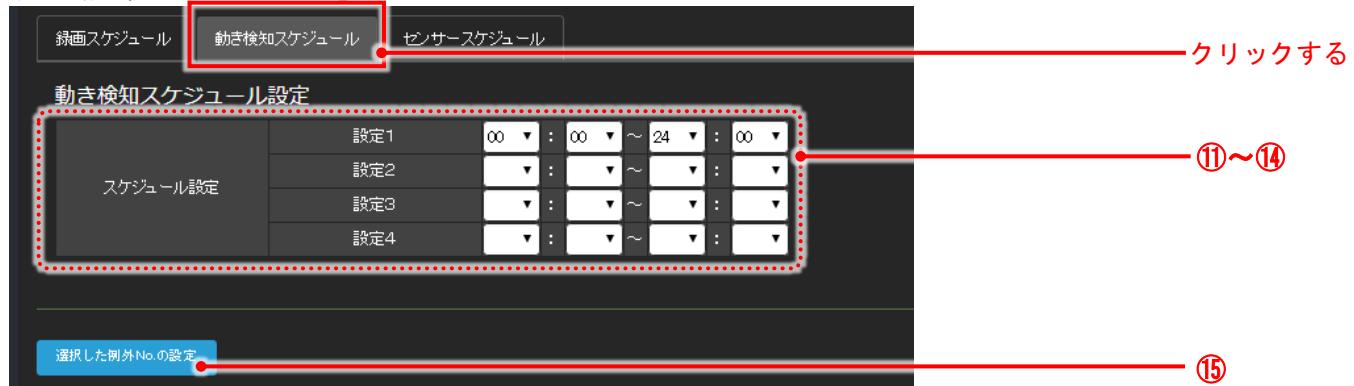
No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
6	録画スケジュール	設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	—

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
7	一 ル 設 定	設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
8		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
9		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—

#### ■ボタン

No	項目	説明
10	選択した例外 No. の設定	選択した例外 No. のスケジュール情報を確定します。

#### (2-2) 「動き検知スケジュール」タブ



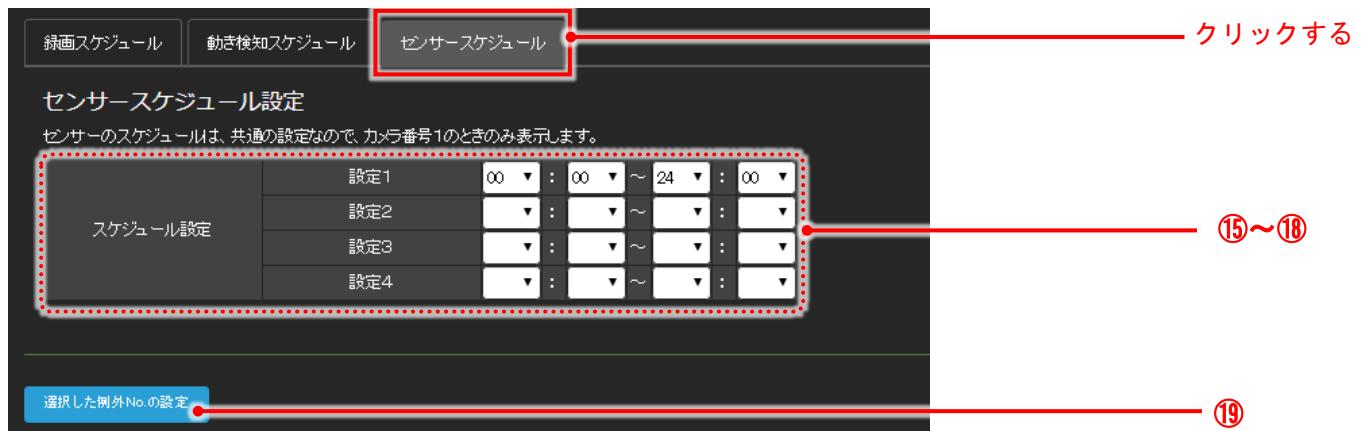
#### ■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
11	動 き 検 知 ス ケ ジ ュ ー ル 設 定	設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	—
12		設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
13		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
14		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—

#### ■ボタン

No	項目	説明
15	選択した例外 No. の設定	選択した例外 No. のスケジュール情報を確定します。

### (2-3) 「センサースケジュール」タブ



#### ■ 設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
15	センサースケジュール設定	設定 1	1つ目のスケジュール間隔を指定します。	00:00 ~ 24:00	00:00 ~ 24:00	—
16		設定 2	2つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
17		設定 3	3つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—
18		設定 4	4つ目のスケジュール間隔を指定します。	(空欄)	00:00 ~ 24:00	—

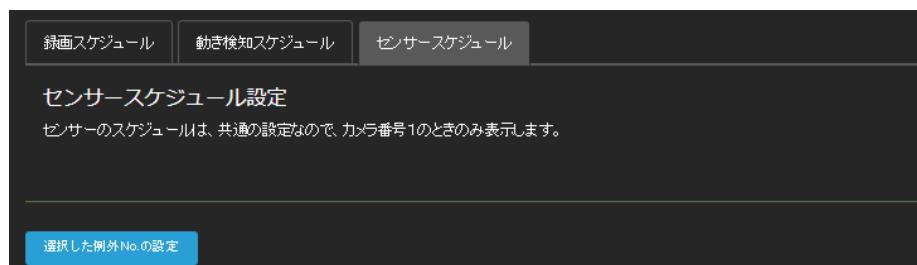
#### ■ ボタン

No	項目	説明
19	選択した例外 No. の設定	選択した例外 No. のスケジュール情報を確定します。

#### ⚠ 注意事項

- センサースケジュールは、カメラ No. が 1 の場合のみ設定可能です。  
(センサースケジュールは、すべてのカメラに対して有効な設定ですので、カメラ No. 1 のみ表示と設定が可能となっております)

例：カメラ No. 1 のときの「センサースケジュール」タブの表示



(3) STEP. 3



■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲	リスタート
20	STEP. 3	コピーするカメラの選択	設定を行うカメラを指定します。	1	1~64	—
21		複数カメラ設定	チェック時に複数カメラ指定の入力欄を表示します。	OFF	ON、 OFF	—

■ボタン

No	項目	説明
22	コピー実施	STEP. 3 でコピーするカメラの選択で指定したカメラに対して、STEP. 2 の例外スケジュールの設定内容を適用します。

 **注意事項**

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「設定を保存する」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。

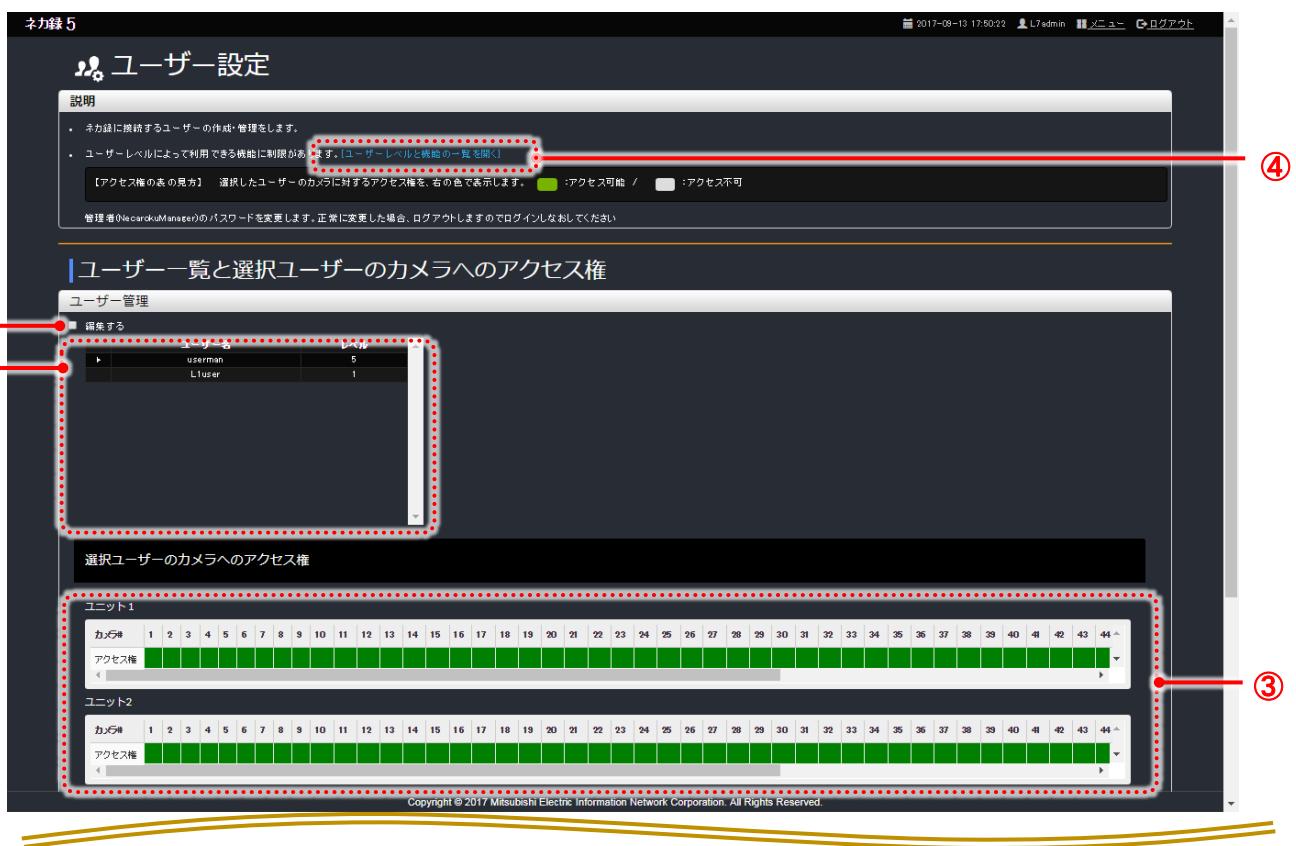
## 5.15 ユーザー設定画面

利用可能なユーザー レベル

5/管理者

ネカ録のユーザーの登録管理とアクセス可能能力マの設定を行う画面です。  
保守ユーザーのパスワードも本画面より変更いただけます。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「ユーザー設定」を選択



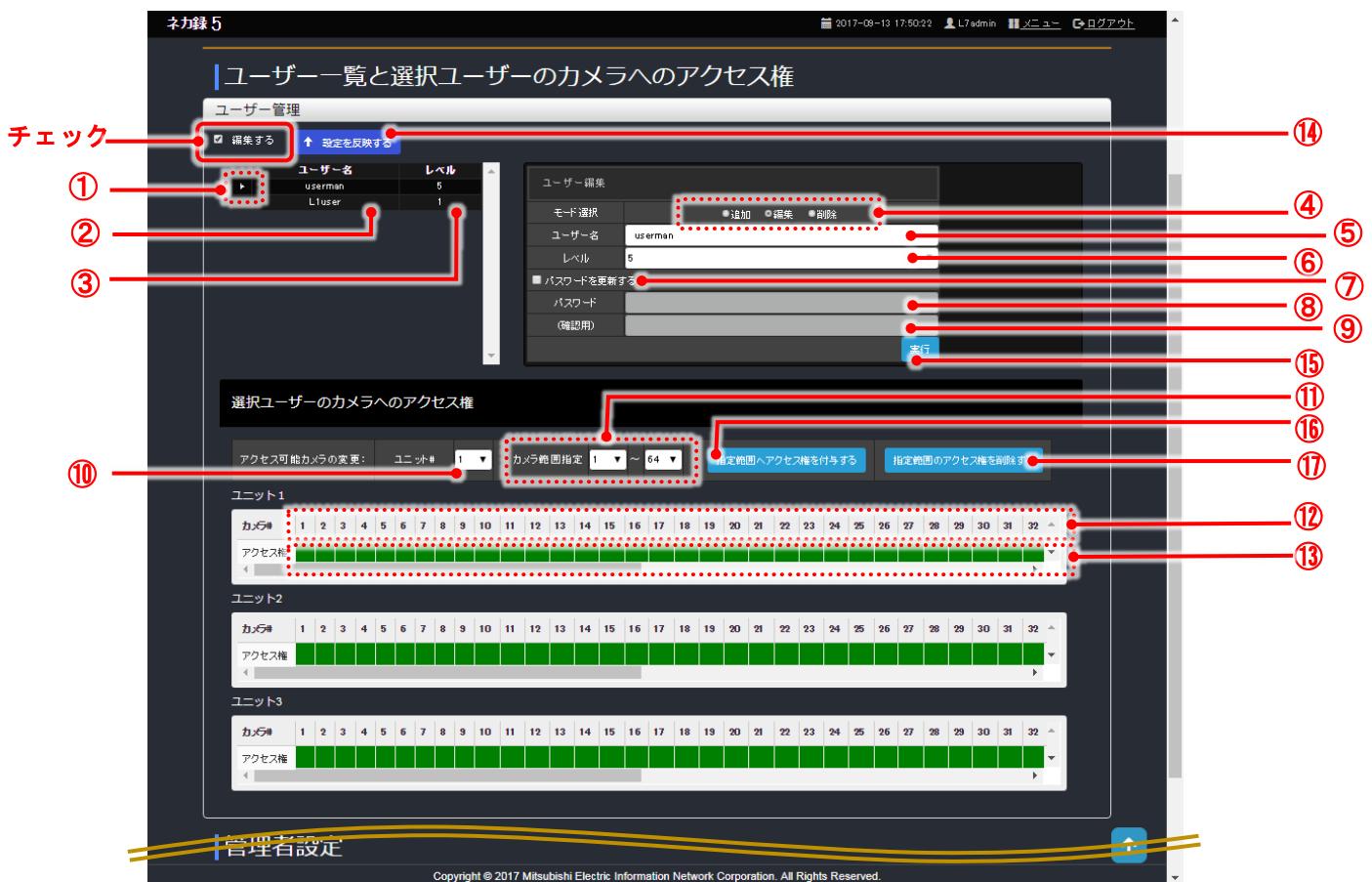
### ■入力/表示項目

No	カテゴリ	項目	説明
1	ユーザー管理	編集する	チェック/未チェックによって、ユーザー編集画面の表示/非表示を切り替えます。
2		ユーザー一覧	ユーザーとレベルの一覧を表示します。 一覧の上でクリックをすると、クリックされた行のユーザーが選択されます。
3		アクセス可能能力一覧	ユーザー一覧で選択中のユーザーからアクセスできるカメラであるか状態を表示します。

### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	ユーザーレベルと機能の一覧を開く	ユーザーレベルと機能の一覧を表示します。 ユーザーレベルによって利用できる機能を確認できます。 表示される画面のサイズは、ブラウザによっては変更可能ですが、サイズの変更はしないで下さい。

## [ ユーザー管理 - 編集する にチェックを入れた場合 ]



### ■ 入力/表示項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
1	ユーザー一覧	選択中ユーザー	選択中のユーザー行の左端に「▶」マークを表示します。	—	—
2		ユーザー名	登録されているユーザー名を表示します。	—	—
3		レベル	左のユーザーのユーザーレベルを表示します。	—	—
4	ユーザー編集	モード選択	変更内容を選択します。 追加 : ユーザーを新規登録します。 編集 : 選択されたユーザーの情報を更新します。 削除 : 選択されたユーザーを削除します。	編集	追加、編集、削除
5		ユーザー名	ユーザー名を指定します。一覧を選択すると選択されたユーザーのユーザー名を表示します。 ユーザー名を変更する場合、ユーザーを追加する場合は、入力してください。	■追加 : (空欄) ■その他 : (選択ユーザー)	(テキスト入力)

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
6		ユーザー レベル	ユーザーの操作権限を指定します。	■追加 : (空欄) ■その他 : (選択ユーザーの レベル)	1~5
7		パスワードを 更新する	パスワードを更新する、更新しないを制御します。 更新する場合は、チェックしてください。	■追加 : ON ■その他 : OFF	ON, OFF
8		パスワード	新しいパスワードを入力します。	(空欄)	(テキスト入力)
9		パスワード (確 認用)	上記パスワードを確認のため再 度入力します。	(空欄)	(テキスト入力)
10		ユニット番号	アクセス権を変更したいユニッ ト番号を指定します。	1	1~3
11		カメラ範囲指 定	アクセス権を変更したいカメラ の範囲を指定します。	1~最大カメラ番 号	最小 : 1 最大 : 最大カメラ 番号
12		カメラ番号	カメラ番号を表示します。	—	—
13		ステータス	ステータスは、カメラ番号の下の ボタンの色で表示します。 クリックするとアクセス可能/ア クセス不可を切り替えることが できます。	■カメラ登録済 : アクセス可能 (緑) ■カメラ未登録 : カメラ未登録 (—)	アクセス可能 (緑)、 アクセス不可 (灰)、 カメラ未登録 (—)

#### ■ボタン/リンク

No	項目	説明
14	設定を反映する	ユーザー管理で設定した内容をネカ録に反映します。
15	実行	モード選択で設定された追加・編集・削除のモードに応じて、ユーザーと アクセス可能カメラの情報を更新します。
16	指定範囲へアセ ス権利を付与する	指定した「カメラ範囲指定」に従い、カメラのアクセス権利を付与します。
17	指定範囲のアセ ス権を削除する	指定した「カメラ範囲指定」に従い、カメラのアクセス権利を削除します。

(ユーザー設定画面 続き)



■設定項目

No	分類	項目名	説明	初期値	設定範囲
1	パスワード 変更	管理者パスワードを変更する	管理者のパスワードを変更する場合にチェックします。	OFF	ON, OFF
2		パスワード	管理者の新しいパスワードを指定します。	(空欄)	(テキスト入力)
3		(確認用)	管理者の新しいパスワードを指定します。	(空欄)	(テキスト入力)

■ボタン/リンク

No	項目	説明
4	パスワード変更 - 設定を反映する	管理者のパスワードを変更するボタン

 **注意事項**

- 設定項目に不正な値を入力した場合、「実行」ボタンを押したタイミングで、エラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージが表示された場合は、設定情報が確定されません。
- 編集完了後、「設定を反映する」ボタンをクリックしたタイミングで、ネカ録に設定を反映します。「設定を反映する」ボタンをクリックしないで画面遷移した場合、編集した情報が失われますのでご注意ください。
- 未登録のカメラは、アクセス許可の設定ができません。すべてのカメラを登録後に設定を実施してください。
- アクセスカメラ制限は、カメラの登録を変更・削除後も保持されますので、ご注意ください。
- ユーザーは、最大は 100 まで登録可能です。
- 管理者設定は、管理者ユーザーでログインしたときのみ設定可能です。

## 5.16 電源

利用可能なユーザー レベル

5/管理者

ネカ録の電源操作を行う画面です。

UPS を利用される場合は、本画面より UPS ドライバの設定いただけます。

遷移手順：ログイン画面 → メニュー画面 → 「電源」を選択



### ■入力/表示項目

No	カテゴリ	項目	説明	初期値	設定範囲
1	UPS 設定	編集する	チェックを入れると「UPS 種別」、「待機時間 (秒)」の編集が可能になります。また、「設定を有効にする」ボタンを表示します。	OFF	ON、OFF
2		状態	UPS 設定の状態を表示します。	—	—
3		UPS 種別	接続する UPS のメーカーと接続方法を表示・設定します。	なし	なし / 三菱電機 (COM) / 三菱電機 (USB) / オムロン (COM)
4		待機時間 (秒)	停電発生からネカ録が自動シャットダウンを開始するまでの時間を表示・設定します。	— (60)	10~3600

## ■ボタン/リンク

No	項目	説明
5	ネカ録シャットダウン	ネカ録をシャットダウンします。
6	ネカ録リブート	ネカ録をリブートします。
7	ネカ録リスタート	ネカ録をリスタートします。
8	設定を有効にする	編集中の UPS 設定の内容をネカ録に反映します。
9	最新情報の取得	UPS 設定の状態を表示します。正常時は緑、エラー発生時はオレンジの背景になります。

## ⚠ 注意事項

- ネカ録シャットダウン後、また、リブート、リスタート中は、録画されませんので、ご注意ください。
- ネカ録シャットダウン、リブートをすると、本ツールへの接続は切断されます。再度利用する場合は、ネカ録起動後にログインしなおしてください。
- UPS 設定を実施する場合は、取扱説明書 CD の「ネカ録 5 UPS(無停電電源装置)接続ガイド」をご参照ください。

## 6 諸元

本章では、ネカ録設定ツールの諸元について説明します。

主な諸元値および目安としての値は次の通りです。

NO	内容	値
1	ネカ録統合管理ツールにログイン可能数 (全機種で一定です)	(1) ユーザーレベル 1 または 2 : ログインできません (2) ユーザーレベル 3 または 4 : すべての合計が 50 ユーザーまで (3) ユーザーレベル 5 または、管理者ユーザー : 1 ユーザー
2	定義可能なネットワークカメラ台数 (ライブ配信)	(1) NS-5850 : 192 台 (2) NS-3850 : 96 台 (3) NS-1850 : 48 台
3	定義可能なネットワークカメラ台数 (録画)	(1) NS-5850 : 128 台 (2) NS-3850 : 64 台 (3) NS-1850 : 32 台
4	接続可能な接点入力装置 (全機種で一定です)	全機種 : 4 台
5	ネカ録 1 台あたりに定義可能なユーザー数 (全機種で一定です)	全機種 : 100 ユーザー



### 注意事項

- 定義可能な最大数は、あくまでも論理的に定義可能な最大数です。実際に映像を表示させる場合には、ご使用の PC 環境により上記の値より少なくなる場合があります。

## 7 付録

### 7 付録

---

#### 7.1 ネ力録動き検知関連設定ツール

ネ力録動き検知関連設定ツールは、動き検知の区画範囲指定や異常検知設定を行うツールです。

 **注意事項:**

- ネ力録動き検知関連設定ツールにて、設定を行った後は、ネ力録 統合管理ツールにてネ力録をリストアートしてください。

#### ■事前準備

- ネ力録 統合管理ツールにて、IP アドレスを設定したカメラの登録および、動き検知をする場合の設定をして下さい。

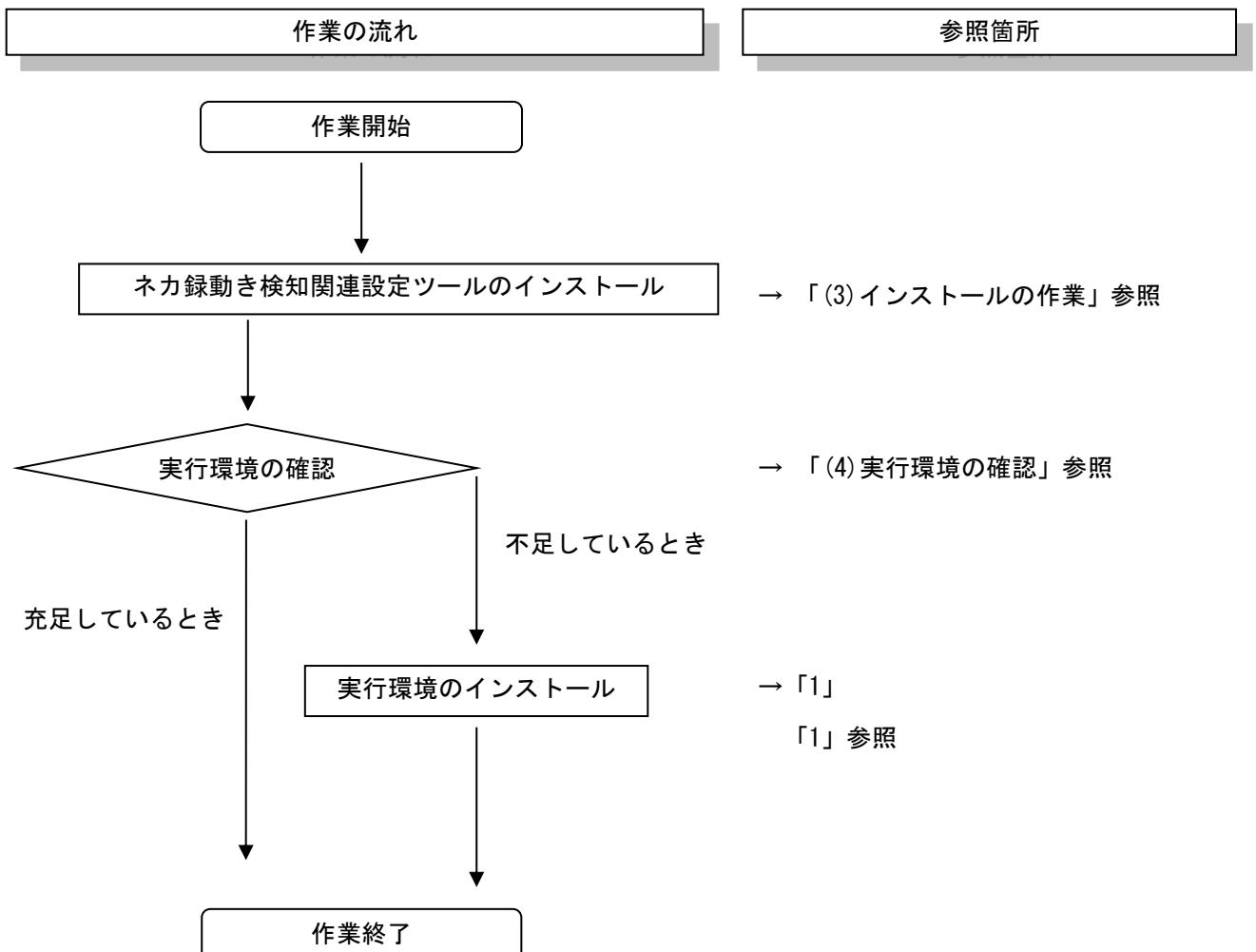
 **注意事項:**

- ・ 多重起動はできません。1台ずつ設定してください。
- ・ ネ力録動き検知関連設定ツールにログインするには、必ず管理者ユーザー (L7admin) をご利用ください。
- ・ 複数カメラの設定を行う場合、設定対象のカメラをよくご確認ください。

## ■インストール

### (3) はじめに

インストールの流れと作業を行う上での本書の参照箇所は次の通りとなります。

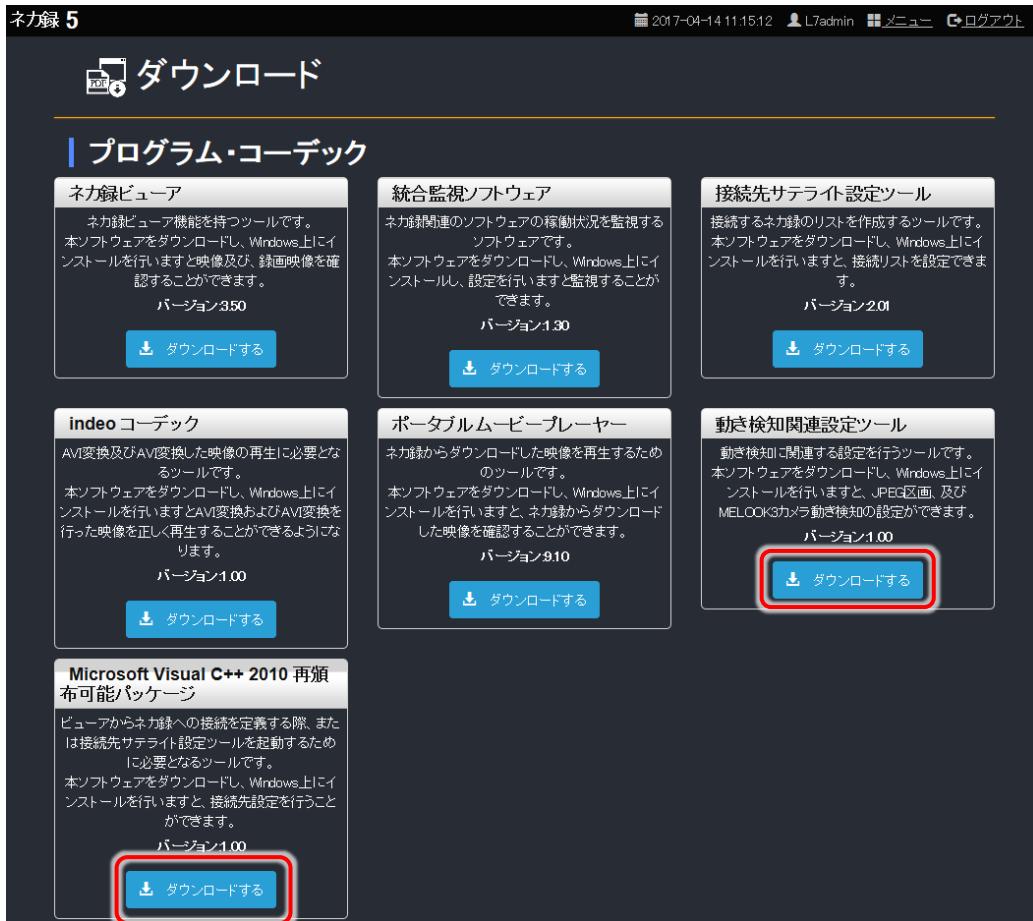


### (4) 事前準備

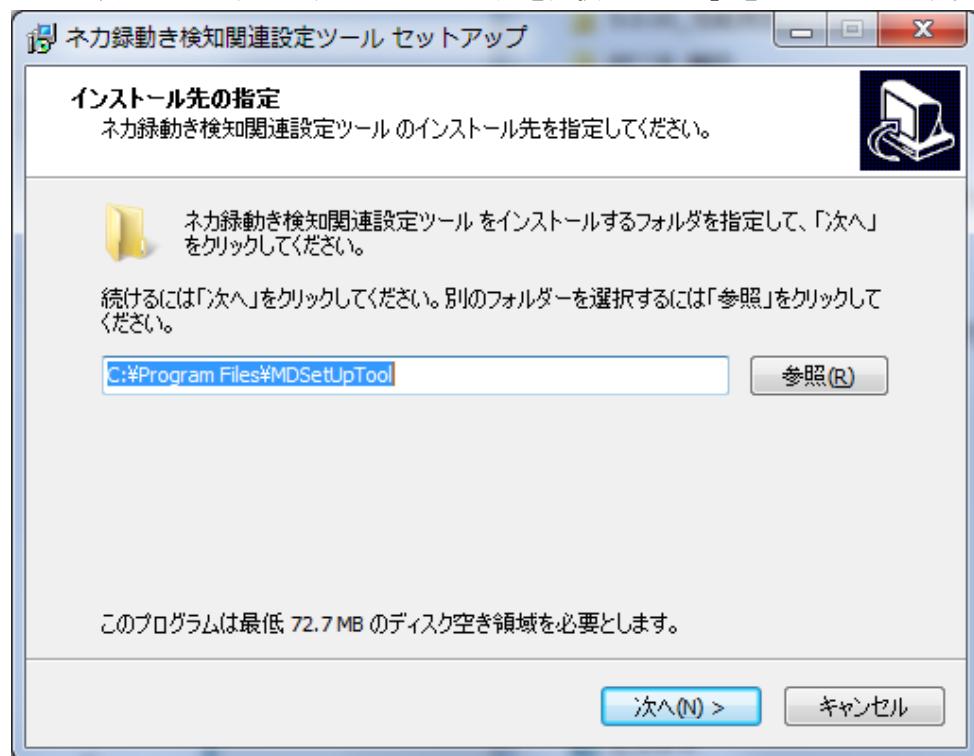
本手順は、Administrator 権限を持つユーザーアカウントにて実施してください。

## (5) インストールの作業

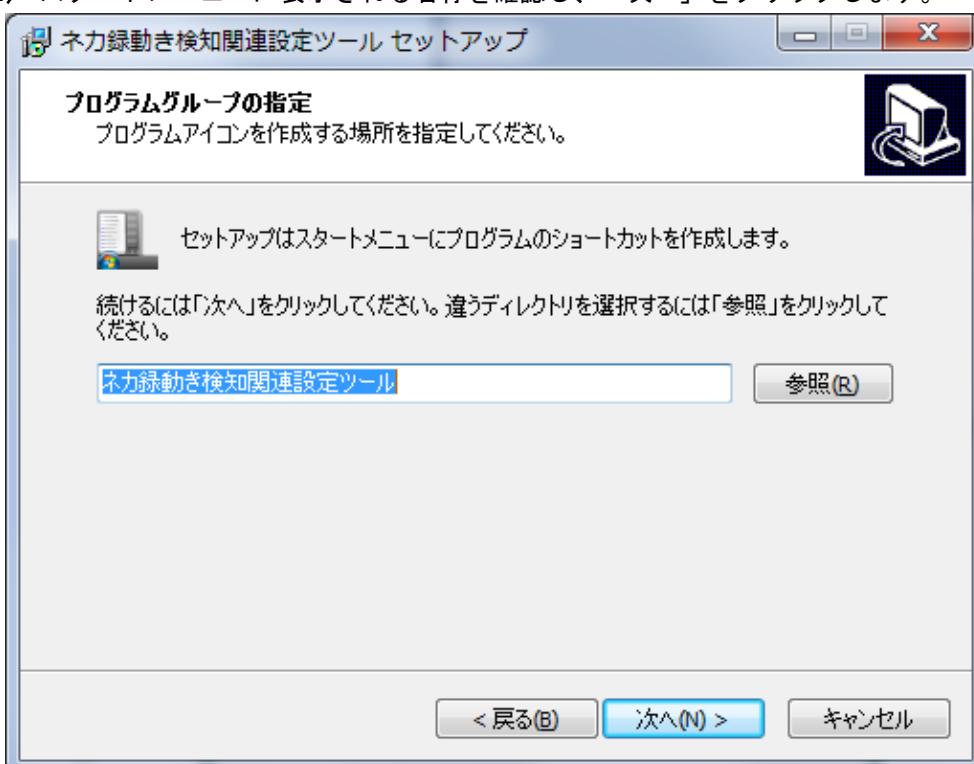
- (手順1) ネカ録統合ツールにログインし、ダウンロード画面を開きます。
- (手順2) 以下をダウンロードします。
- 動き検知関連設定ツール
  - Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ



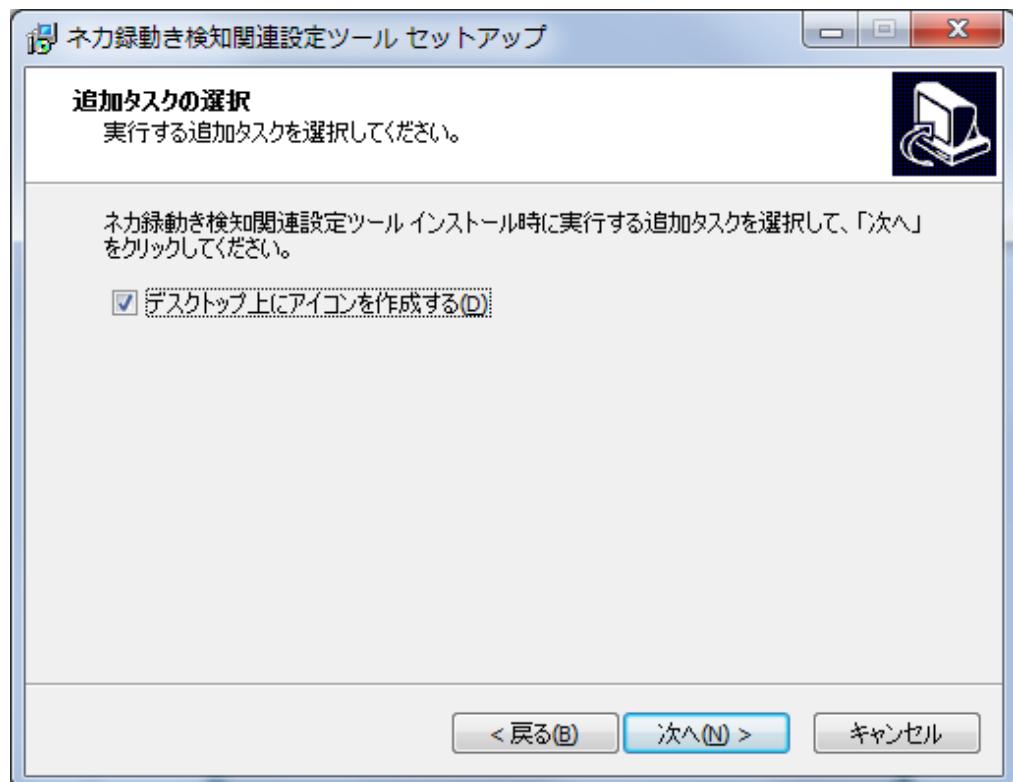
(手順3) ネ力録動き検知関連設定ツールの ZIP を解凍し、setup.exe をダブルクリックします。以下の画面が表示されますので、インストール先を選択し「次へ」をクリックします。



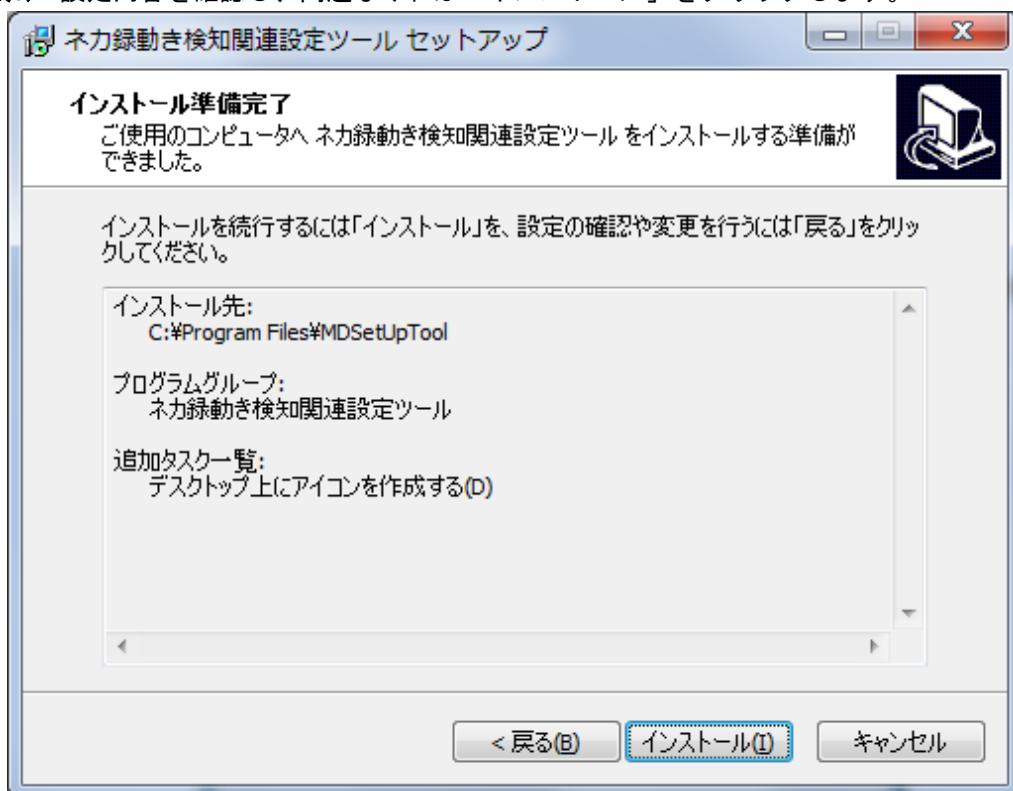
(手順4) スタートメニューに表示される名称を確認し、「次へ」をクリックします。



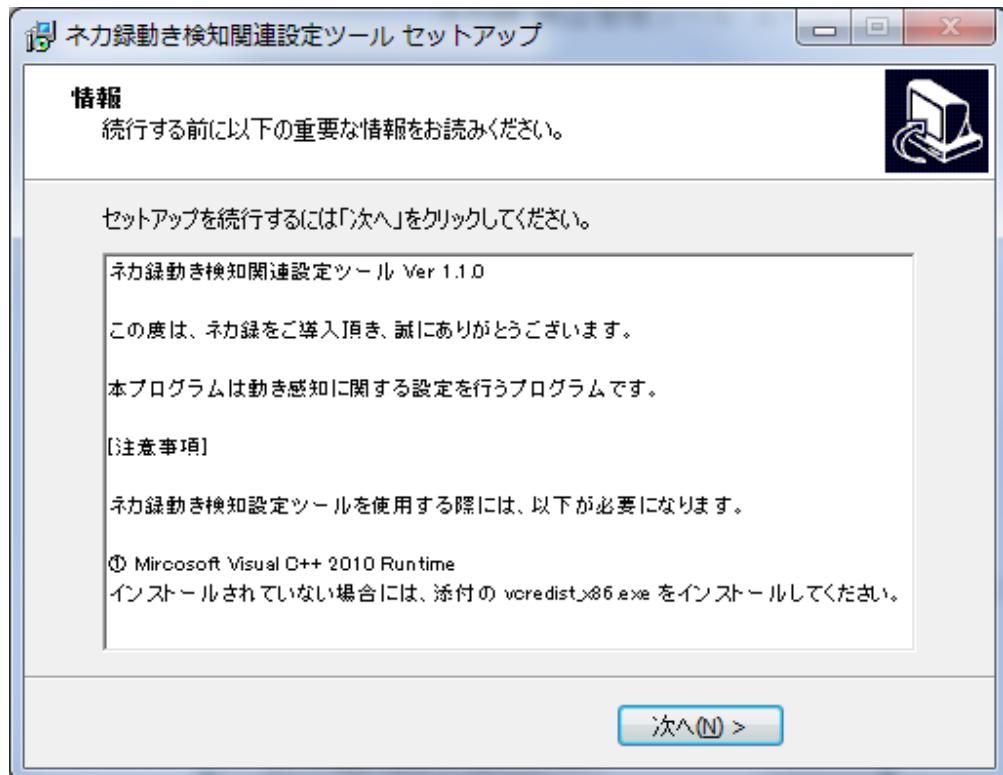
(手順5) デスクトップ上にアイコン（ショートカット）を作成する場合はチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



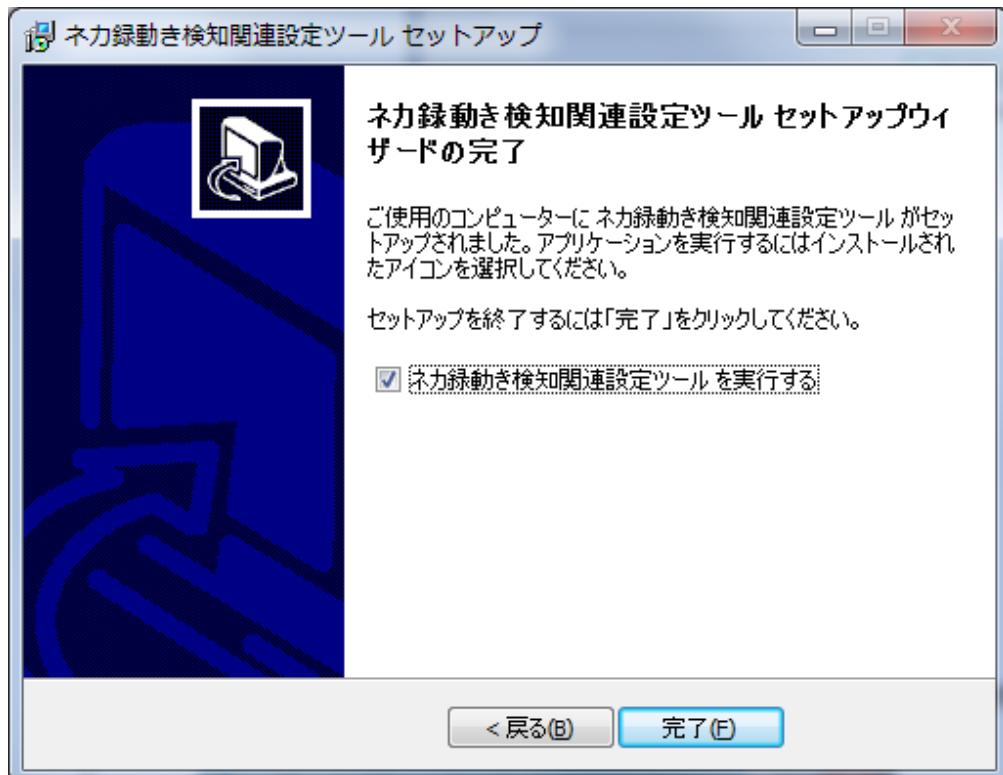
(手順6) 設定内容を確認し、問題なければ「インストール」をクリックします。



(手順7) インストールが進行し、情報の画面が出たら「次へ」ボタンをクリックします。



(手順8) インストール終了の画面が表示されたら、「ネイロジ動き検知関連設定ツール」のチェックを外して、「完了」をクリックします。



## (6) 実行環境の確認

次に実行環境を確認していきます。ネカ録動き検知関連設定ツールの動作には以下 2 点のインストールが必要です。

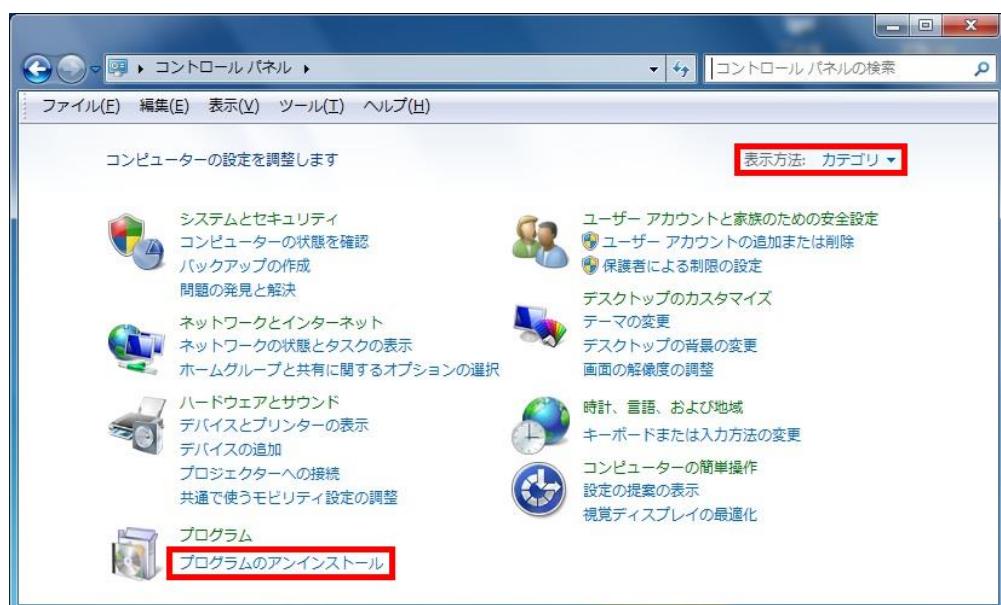
- 「Microsoft .NET Framework 4.6」
- 「Visual C++ 2010 Redistributable」

### ■Windows 7

(手順1) Windows のスタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。

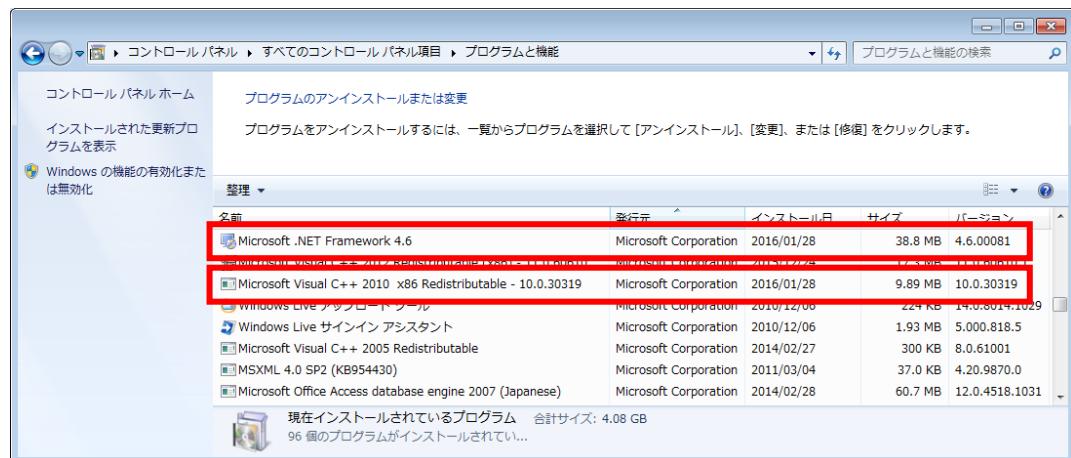


(手順2) 表示方法を「カテゴリ」にした上で、「プログラムのアンインストール」を選択します。



(手順3) 以下2点が既にインストールされている場合には、インストール作業は終了になります。

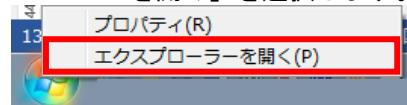
- 「Microsoft .NET Framework 4.6」  
⇒インストールされていない場合は、1へ
- 「Visual C++ 2010 Redistributable」  
⇒インストールされていない場合は、1へ



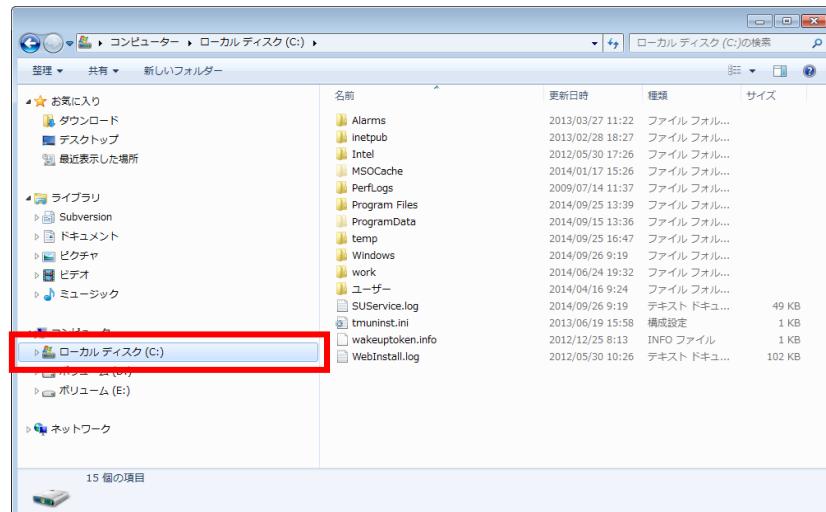
## ■Windows 8.1, Windows 10

- 「Visual C++ 2010 Redistributable」のインストール確認は、  
「■ Windows Vista、Windows 7 の確認方法」を参考に  
「コントロールパネル → プログラムと機能」からご確認ください。  
⇒インストールされていない場合は、  
1へ
- 「Microsoft .NET Framework 4.6」のインストール確認は、以下の手順で行ってください。

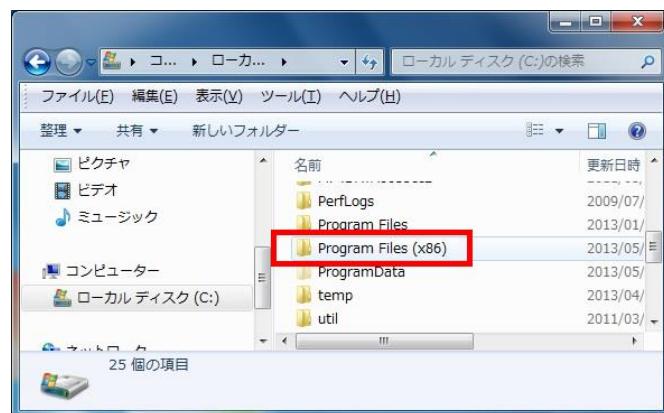
(手順1) スタートボタンを右クリックして、「エクスプローラー」もしくは「エクスプローラーを開く」を選択します。



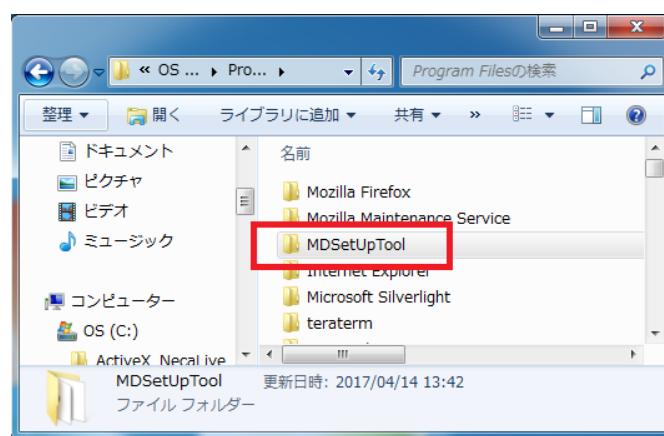
(手順2) 「エクスプローラー」の左ペインから、「ローカルディスク(C:)」を選択します。



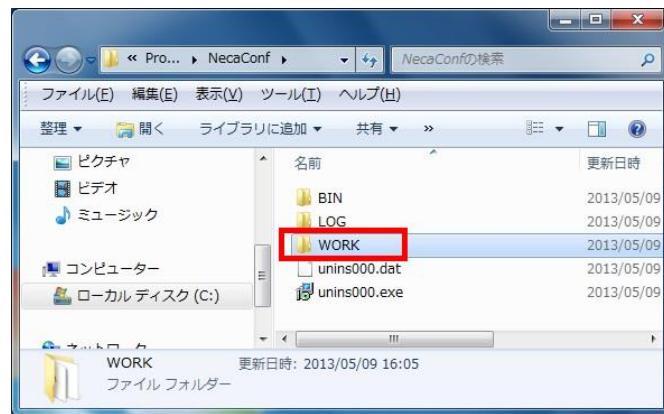
(手順3) 32ビットPCの場合には「Program Files」をダブルクリックしてください。  
64ビットPCの場合には「Program Files(x86)」をダブルクリックしてください。



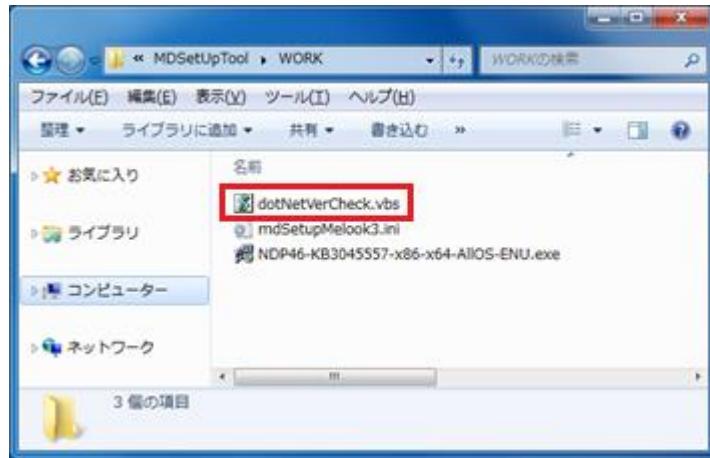
(手順4) 「MDSetupTool」をダブルクリックしてください。



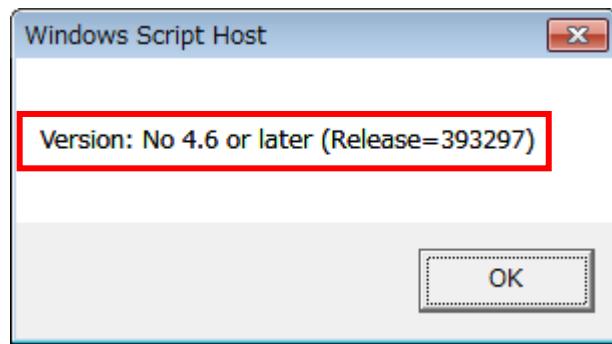
(手順5) 「WORK」をダブルクリックしてください。



(手順6) 「dotNetVerCheck.vbs」をダブルクリックしてください。



(手順7) 「Version: No 4.6 or later (Release=393297)」と表示されるかを確認します。  
別のバージョンが表示された場合は、インストールされていない状態になります。

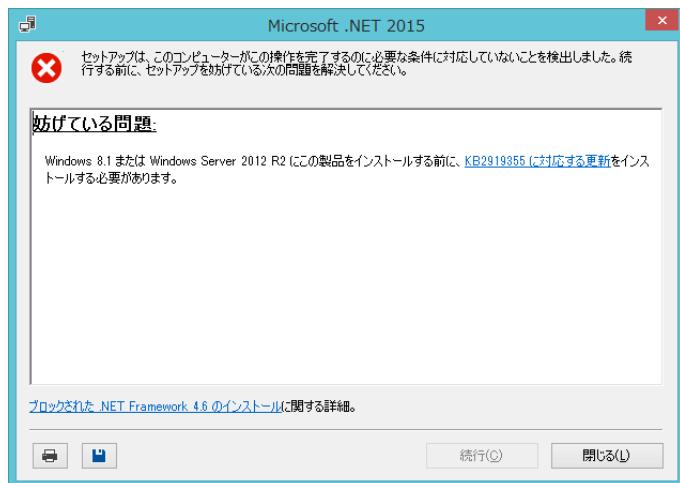


- 「Microsoft .NET Framework 4.6」  
⇒インストールされていない場合は、1～

## (7) .NET Framework インストール

### ⚠ 注意事項:

.NET Framework をインストールする前に、Windows Update を実施し、極力 Windows を最新の状態にしてから実施ください。

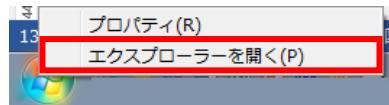


Windows Update を怠るとインストール中に、上図のようなエラー画面が表示される場合があります。  
更新プログラムの不足で「.NET Framework」のインストールが妨げられている状態です。

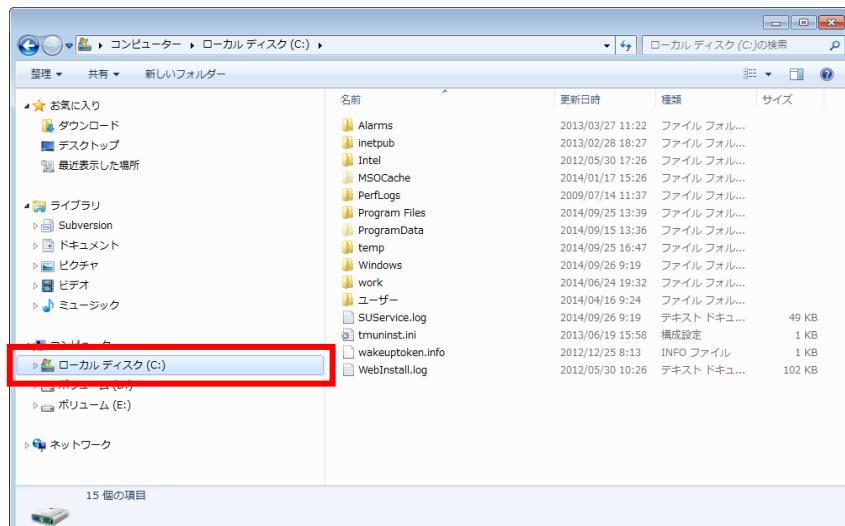
この場合、Windows Update を実施し更新プログラムを補って頂くか、画面に示される更新プログラムを「Microsoft Update カタログ」などから入手し、更新プログラムの個別適用を実施頂くなどの処置を実施してください。

以下、.NET Framework のインストール手順です。

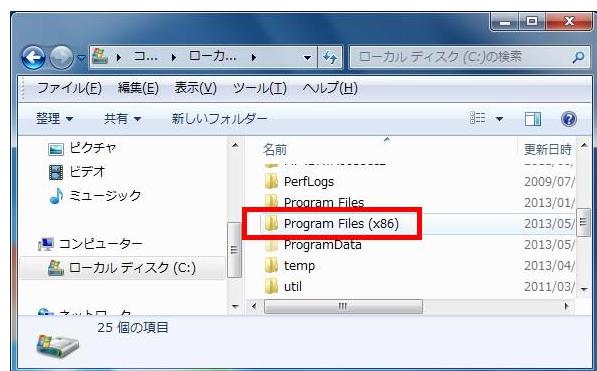
(手順1) スタートボタンを右クリックして、「エクスプローラー」もしくは「エクスプローラーを開く」を選択します。



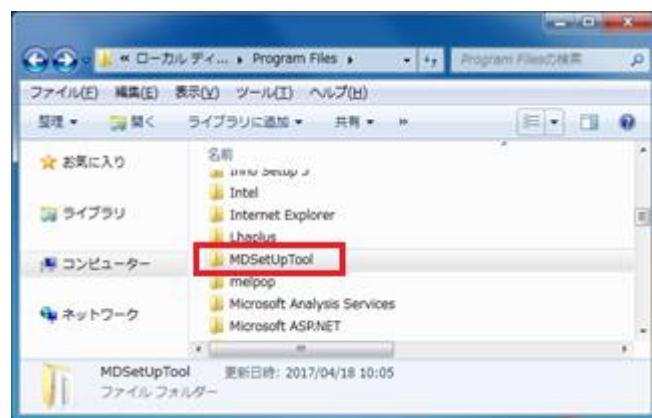
(手順2) 「エクスプローラー」の左ペインから、「ローカルディスク (C:)」を選択します。



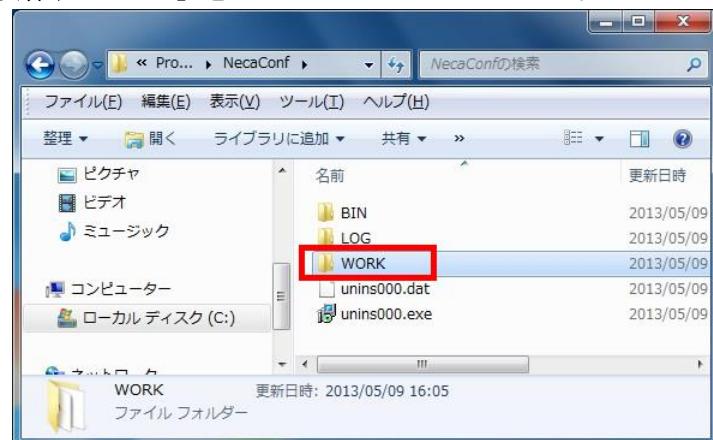
(手順3) 32ビットPCの場合には「Program Files」をダブルクリックしてください。  
64ビットPCの場合には「Program Files(x86)」をダブルクリックしてください。



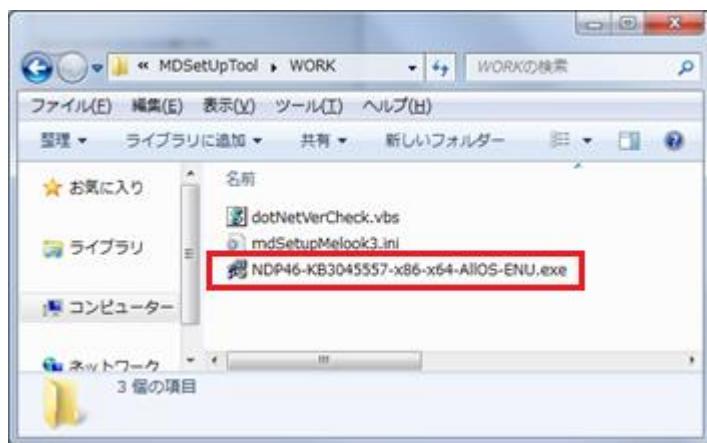
(手順4) 「MDSetupTool」をダブルクリックしてください。



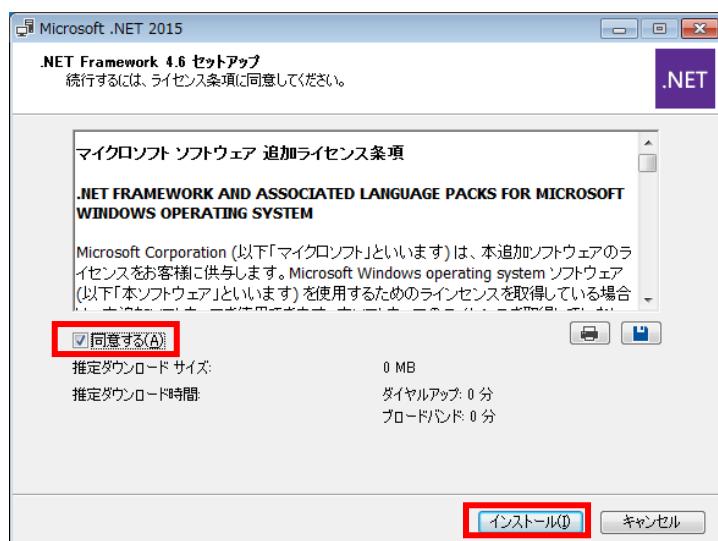
(手順5) 「WORK」をダブルクリックしてください。



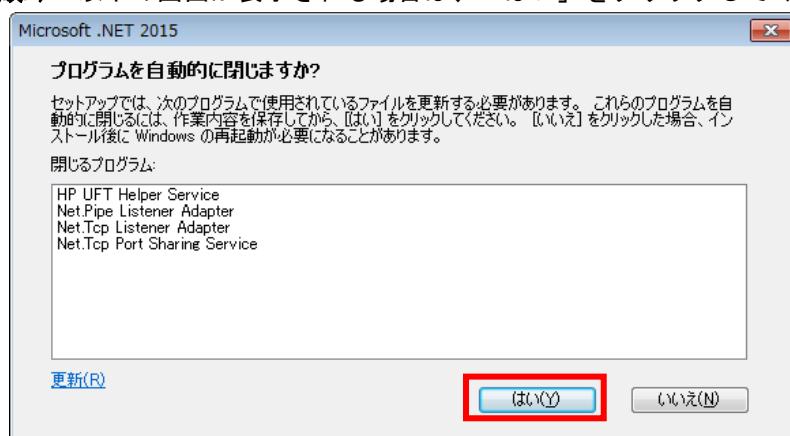
(手順6) 「NDP46-KB3045557-x86-x64-AI10S-ENU.exe」をダブルクリックしてください。



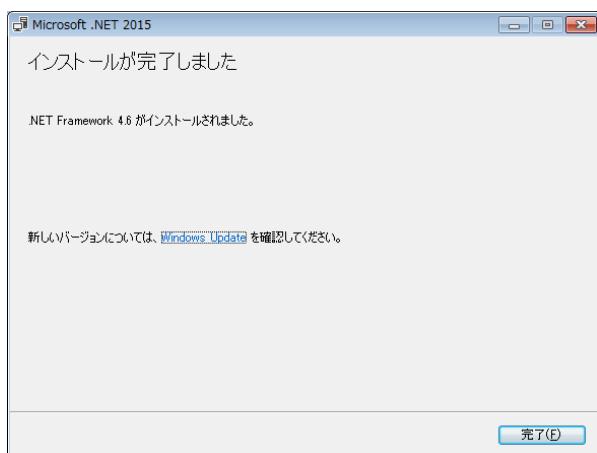
(手順7) 「同意する」にチェックを入れた上で「インストール」をクリックしてください。



(手順9) 以下の画面が表示される場合は、「はい」をクリックしてください。



(手順10) 「完了」をクリックして画面を閉じてください。



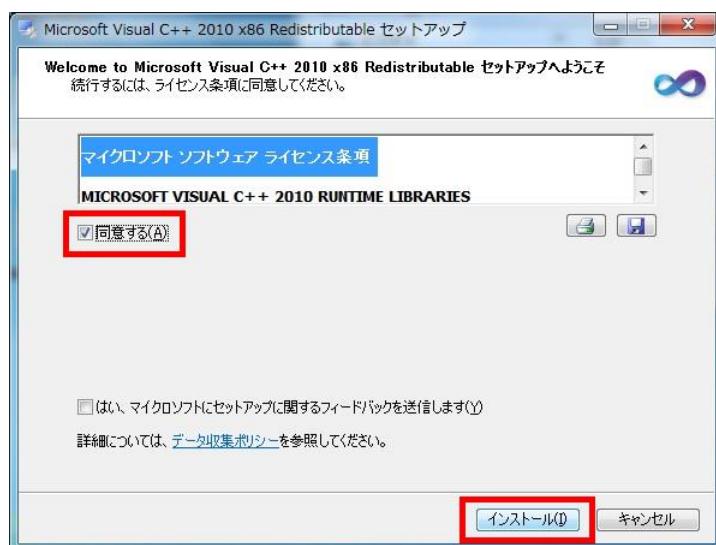
## (8) Visual C++ 2010 Redistributable インストール

以下、Visual C++ 2010 Redistributable のインストール手順です。

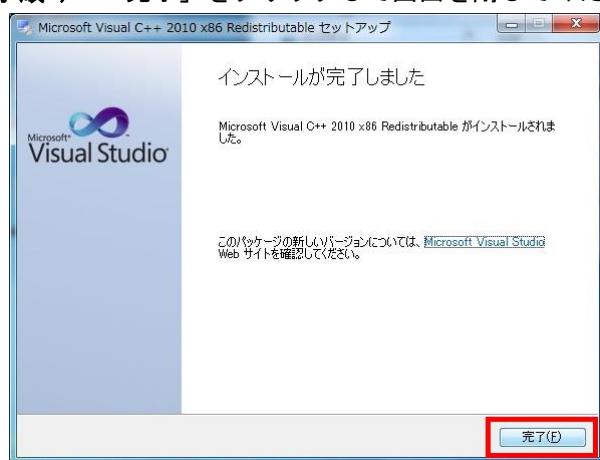
- (手順1) ネカ録統合ツールにログインし、ダウンロード画面から「Microsoft Visual C++ 2010 再頒布可能パッケージ」をダウンロードしてください。
- (手順2) ダウンロードファイルを解凍し、「vcredist\_x86.exe」をダブルクリックしてください。



- (手順3) 「同意する」にチェックを入れた上で「インストール」をクリックしてください。



- (手順4) 「完了」をクリックして画面を閉じてください。



## ■アンインストール

### ■ Windows Vista、Windows 7 のアンインストール方法

アンインストールを行う場合には、コントロールパネルの「プログラムのアンインストールまたは変更」から次のプログラムを削除してください。

- ネカ録動き検知関連設定ツール
- Microsoft Visual C++ 2010 x86
- Microsoft .NET Framework 4.6

### ■ Windows 8.1、Windows 10 のアンインストール方法

アンインストールを行う場合には、コントロールパネルの「プログラムのアンインストールまたは変更」から次のプログラムを削除してください。

- ネカ録動き検知関連設定ツール
- Microsoft Visual C++ 2010 x86

また、コントロールパネルの「更新プログラムのアンインストール」から次の更新プログラムを削除してください。

- KB3045563



#### 注意事項:

アンインストール後には、必ず PC の再起動を行ってください。

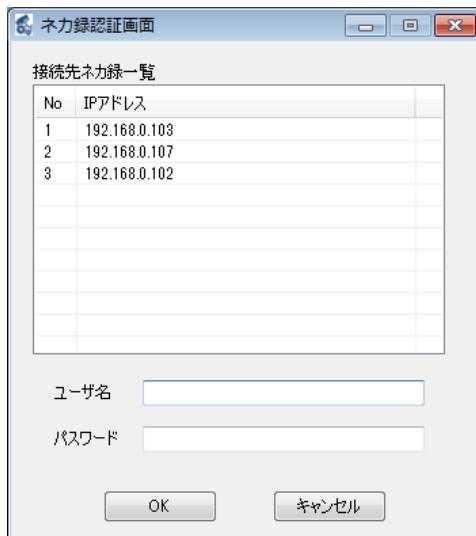
## ■起動

ネ力録動き検知関連設定ツールを起動するには、Windows のプログラムメニューの「ネ力録動き検知関連設定ツール」を選択してください。

ショートカットを作成されている場合は、以下アイコンをクリックして起動することもできます。



動き検知設定ツールが起動すると、ログイン画面が表示されます。



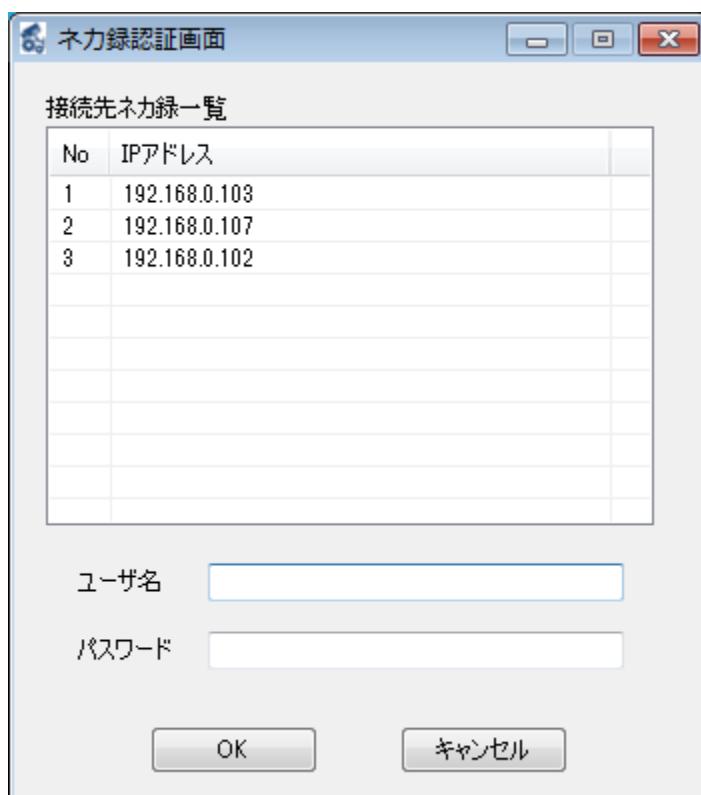
### 注意事項:

- .NET Framework 4.6 がインストールされていない環境で実行した場合は、.NET Framework の初期化エラーなどのメッセージが出力されます。「1」に戻り、インストールを実施してください。
- Visual C++ Redistribute がインストールされていない環境で、実行した場合は動作停止のメッセージが表示されるなど、アプリケーションエラーになります。「11」に戻り、インストールを実施してください。

## ■画面詳細

### (9) ネ力録認証画面

接続するネ力録を選択し、ログインする画面です。



画像3：ログイン画面

■本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	接続先ネ力録一覧	接続先として登録されているネ力録が表示されます。
2	ユーザ名	ネ力録へ接続するユーザ名を入力してください。 ※管理者ユーザー（L7admin）を指定してください。
3	パスワード	ネ力録へ接続するユーザ名のパスワードを入力してください。 ※管理者ユーザーのパスワードを指定してください。
4	OK	入力された内容でネ力録に認証を行います。
5	キャンセル	入力された内容を破棄し、画面を閉じます。

## (10) 接続先カメラ一覧画面

ユニット、カメラごとにツールを起動する画面です。



■本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	接続先ネカ録 IP	現在の接続先ネカ録の IP アドレスを表示します。
2	フィルター	「なし」と「JPEG 動き検知区画設定ツール」と「MELOOK3 動き検知設定ツール」でフィルターをかけることが出来ます。プルダウンにて選択されたツールで設定を行えないカメラの行はグレーに反転されます。
3	タブ	ユニットの切り替えを行います。
4	JPEG 動き検知区画設定ツール	JPEG 動き検知区画設定ツールを起動します。 ※ツールの詳細については、1をご参照ください。
5	MELOOK3 MD 設定ツール	MELOOK3 MD 設定ツールを起動します。 ※ツールの詳細については、をご参照ください。
6	閉じる	画面を閉じます。

## 7.1.1 JPEG 動き検知区画設定ツール

JPEG 動き検知区画設定ツールは、動き検知の区画範囲の指定や、異常検知の設定を行うツールです。JPEG/MJPEG 配信のカメラの場合にのみ利用可能です。

### ■事前準備

- ネカ録 統合管理ツールにて、JPEG/MJPEG 配信のカメラの登録および、動き検知を使用する場合の設定をしてください。

### ■起動

- (手順1) ネカ録動き検知関連設定ツールの「接続先カメラ一覧画面」を開きます。
- (手順2) 設定を行うユニットとカメラをリストから選択した後、「JPEG 動き検知区画設定ツール」ボタンをクリックします。



## ■画面詳細

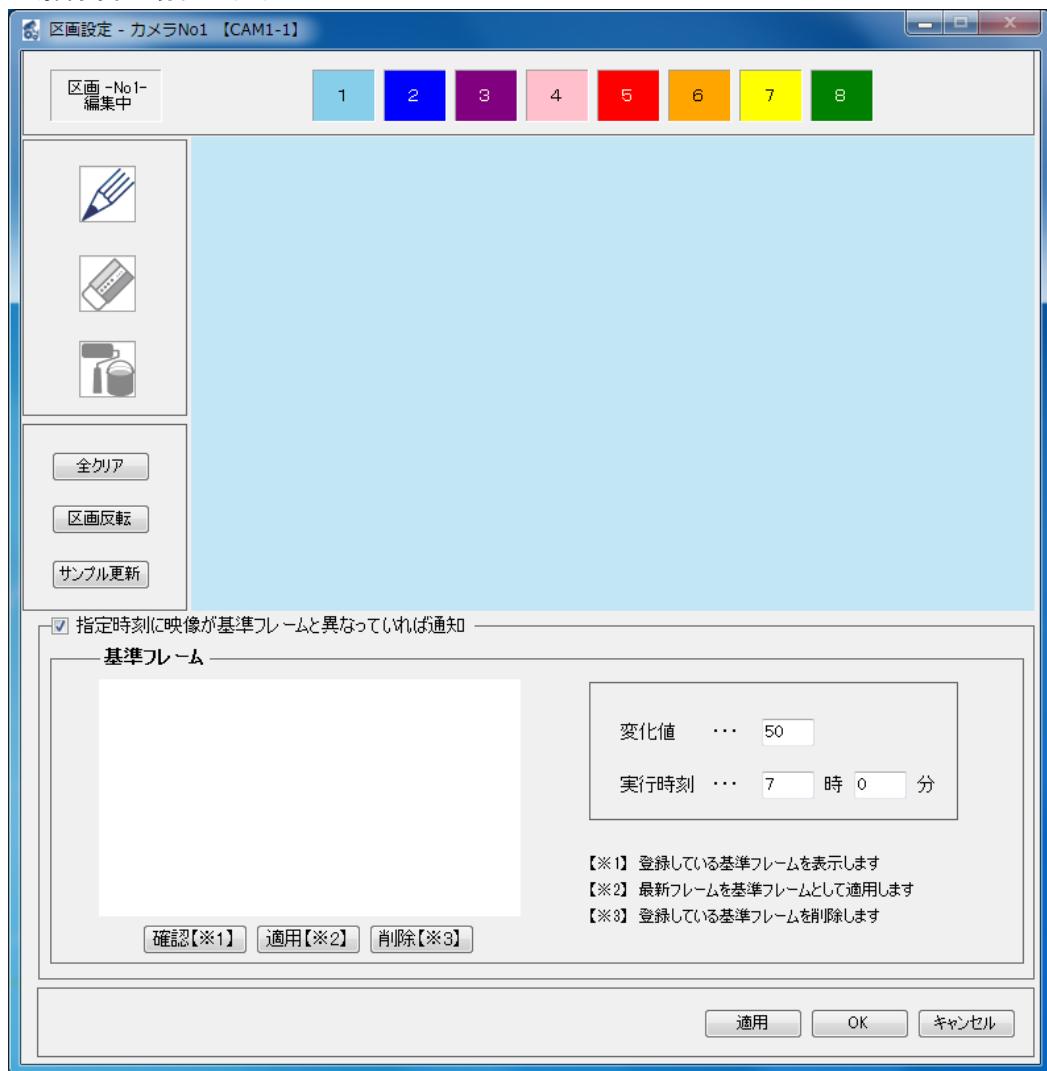
JPEG/MJPEG 配信のカメラに、動き検知の区画設定をする画面です。

定義されたカメラのサンプル画像が表示されます。解像度が「4:3」または「16:9」によって、画面のサイズが変更されます。

<4:3 解像度の場合の画面>



### <16:9 解像度の場合の画面>



#### ■ 説明

- 区画設定を行う。
- ここでは、ペイント操作により、サンプル画像上に区画設定を設定する。
- 区画設定は、8種類の区画に塗り分けることができる。
- 8区画の色は、以下とする。

区画マスク No1: 水色

区画マスク No2: 青

区画マスク No3: 紫

区画マスク No4: 桃

区画マスク No5: 赤

区画マスク No6: 橙

区画マスク No7: 黄

区画マスク No8: 緑

■本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	分類	項目名	意味	初期値	値域
1	マスク設定	サンプル画像	サンプル画像に対して、ペイント操作により、動き検知を行う範囲を指定する。 ※ペイントされた部位に対する動作変化値を計算する。	-	-
2	基準フレームの設定	変化値	画像比較した際の通知する閾値を指定します。 ⚠️ 値が小さいほど、僅かな動きで検知します。	50	0~99
3		実行時刻	基準フレームと現在の映像との比較を行う時間を設定。	7時0分	0時0分 - 23時59分

■本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	ボタン名	意味
1	OK	設定を保存する。
2	キャンセル	設定内容を破棄し、画面を閉じます。
3	適用	設定を保存する
4		マウスクリックに対応して、サンプル画像上のマスク設定1ピクセル分ペイントする。
5		マウスクリックに対応して、サンプル画像上のマスク設定1ピクセル分消去する。
6		マウスクリックに対応して、サンプル画像上のマスク設定-囲まれたピクセル領域を塗りつぶす。
7	全クリア	現在設定されているマスクを全てクリアする。
8	区画反転	ペイントされている部位とそうでない部位を反転する。
9	サンプル更新	サンプル画像を現在のライブ画像で更新する。
10	区画 No	該当のマスク区画番号の設定を行う。
11	基準フレーム-確認	現在、登録されている基準フレームを確認する。 ⚠️ 基準フレームを取得するには、ネカ録 統合管理ツールのカメラ設定にて、動き検知が「する」になっている必要があります。
12	基準フレーム-適用	ボタンを押されたタイミングでの最新フレームを基準フレームとして適用します。
13	基準フレーム-削除	ボタンを押されたタイミングで 現在登録されている基準フレームを削除します。

## 7.1.2 MELOOK3 MD 設定ツール

MELOOK3 MD 設定ツールは、動き検知の区画範囲指定する際、画像上で区画を指定するためのツールです。  
三菱 MELOOK3 の H.264 配信の場合のみ利用可能です。

### ■事前準備

- カメラ付属の Camera Setup Tool にて MELOOK3 の IP アドレスを設定してください。
- ネカ録 設定ツールにて、IP アドレスを設定した MELOOK3 の登録および、動き検知を使用する場合の設定をしてください。



#### 注意事項:

- ・ MELOOK3 を接続していない場合、画像を取得できない場合は、起動できません。  
起動できない場合は、ビューアにて画像表示されることを確認してください。
- ・ 多重起動はできません。1台ずつ設定してください。
- ・ カメラ付属の Camera Setup Tool と同時に接続しないでください。

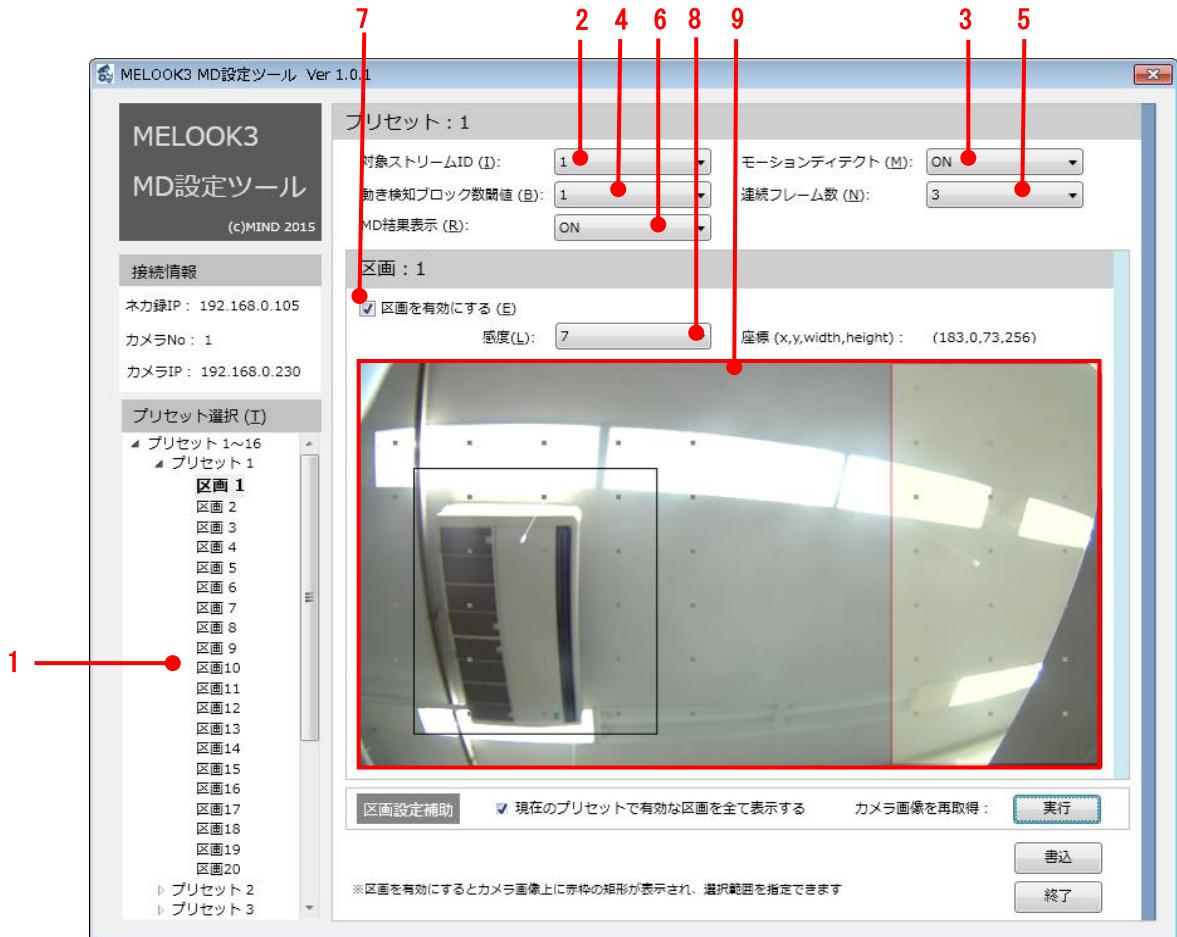
## ■起動

- (手順1) ネカレ録動き検知関連設定ツールの「接続先カメラ一覧画面」を開きます。
- (手順2) 三菱 MELOOK3 の H.264 配信のカメラをリストから選択した後、「MELOOK3MD 設定ツール」ボタンをクリックします。



## ■画面詳細

MELOOK3 に プリセット、区画の項目を設定する画面です。



## ■ 設定項目一覧

No	分類	項目名	意味	初期値	設定範囲	リスタート
1	プリセット・区画選択	プリセット選択	設定するプリセット・区画を選択します。ツール終了時に選択中のプリセットが適用されます。	プリセット1	プリセット : 1~16 区画 : 1~20	不要
2	プリセット設定	対象ストリーム ID	選択中のプリセットのストリーム ID を指定します。	(カメラ設定値 /1)	1~8 ⚠ 2~8 は利用しないでください	不要
3	プリセット設定	モーションディテクト	選択中のプリセットで動き検知を利用するかを設定します。	(カメラ設定値 /OFF)	OFF、ON	不要
4	プリセット設定	動き検知ブロック数閾値	選択中のプリセットで動き検知判定基準となる検知ブロック数の閾値を設定します。	(カメラ設定値 /OFF)	1~100	不要

No	分類	項目名	意味	初期値	設定範囲	リスタート
5	プリセット設定	連続フレーム数	選択中のプリセットの比較フレーム数を指定します。	(カメラ設定値 /4)	1~24	不要
6	プリセット設定	MD 結果表示	動き検知の区画範囲で有効になっている部分を「・」で表示するかを設定します。	(カメラ設定値 /OFF)		不要
7	区画設定	区画を有効にする	選択中の区画を有効にするかを指定します。	(カメラ設定値 /OFF)	OFF、ON	不要
8	区画設定	感度	動き検知の感知の度合を指定します。値が小さいほど感知しやすくなります。	(カメラ設定値 /15)	0~15 (15:感知しない)	不要
9	区画設定	区画	カメラ画像に対して、赤枠の矩形にて区画範囲を指定します。	(カメラ設定値 / (0, 0, 255, 255))	x:0~255 y:0~255 width:18~255 height:30~255	不要

## ■ ボタン・リンク一覧

No	ボタン名	意味
1	書込	設定を保存します。
2	終了	MELOOK3 MD 設定ツールを終了します。
3	プリセット選択 —プリセット X	設定対象となるプリセットを指定します。 ⚠️ プリセットの読み込み失敗時は、現在選択中のプリセット以外を選択後、もう一度読み込みたいプリセットを選択してください。
4	プリセット選択 —プリセット X —区画 X	設定対象となる区画を指定します。
5	区画を有効にする	選択中の区画の有効・無効を設定するとともに、範囲指定用の赤枠の矩形の表示を制御します。 チェック時は区画設定が有効となり、赤枠の矩形を表示します。
6	赤枠の矩形	区画の範囲を編集します。 <ul style="list-style-type: none"><li>矩形の右/下/右下を選択、ドラッグすることで区画サイズを変更します。</li><li>矩形の中央を選択、ドラッグすることで区画の位置を変更します。</li></ul>
7	現在のプリセットで有効な区画を全て表示する	選択中のプリセットにて他に有効になっている区画が無いか確認します。チェック時は、選択中の区画以外で有効な区画を黒枠の矩形で表示します。
8	カメラ画像を再取得 : 実行	現在のカメラ画像を取得します。 ⚠️ ツール起動時以外は、自動的に画像を取得しません。 画角変更し場合や書込後に有効な範囲の確認を実施する場合など必要に応じて実行してください。



### 注意事項:

- ネカ録 統合管理ツールにて MELOOK3 を設定した後、他の MELOOK3 の IP アドレスを入力し、設定送信・リスタート または 設定送信・リブート しなかった場合、設定対象を誤る可能性があります。複数の MELOOK3 カメラを設定する場合は、設定対象のカメラをよくご確認ください。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。
- 本製品は、JPEG ライブラリとして「IJG」を使用しております。

---

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ ネカ録統合管理ツール ユーザーズガイド  
説明書番号 90B0-DL-1559A

2017年11月1日 発行

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社  
東京都港区芝浦4-6-8

---

**ネットワークカメラ用録画・配信サーバ  
ネットワークカメラ 入出力ボックス  
接続ガイド**

## はじめに

本マニュアルは、ネットワークカメラ用録画・配信サーバに各社のネットワークカメラや入出力ボックスを接続するための設定について説明しています。

カメラや入出力ボックスの設定内容・方法についてより詳しく知りたい場合は、各社のカメラや入出力ボックスの説明書をご覧下さい。

本書内ではカメラ、入出力ボックス共に各メーカー社名英字表記の辞書順で紹介しております。

### ■ 本書の構成

#### ■ ネットワークカメラについて

第1章 対応するネットワークカメラ機種一覧

ネカ録で対応しているカメラで設定可能な画像圧縮方式や解像度の一覧です。

第2章 機種別設定項目ガイド

カメラごとに設定すべき項目を記載します。

第3章 注意点

設定の際に注意すべき事項について記載します。

#### ■ 入出力ボックスについて

第4章 機種別設定項目ガイド

入出力ボックスごとに設定すべき項目を記載します。

### 記号の説明 :



：注意事項を記載しています。

登録商標、商標

---

本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本表示および本文中の各社の登録商標または商標は、正式な表示を省略しています。

# 目次

1. ネットワークカメラの対応状況 .....	5
2. 機種別設定項目ガイド .....	8
2.1 アクシスコミュニケーションズ株式会社製 カメラ .....	9
2.1.1 カメラ側での設定 .....	9
2.1.1.1 認証方式の設定 .....	10
2.1.1.2 映像の帯域制限 .....	13
2.1.1.3 解像度 .....	16
2.1.1.4 音声 .....	18
2.1.1.5 H.264ストリーム .....	20
2.1.1.6 全方位カメラのビューエリア設定 .....	33
2.1.1.7 ネカ録でのカメラ設定 .....	34
2.1.2 ボッシュセキュリティシステムズ株式会社製カメラ .....	36
2.2.1 カメラ側での設定 .....	37
2.2.1.1 ベースフレームレートの設定 .....	38
2.2.1.2 H.264ストリームの動き検知 .....	39
2.2.1.3 ユーザ認証 .....	42
2.2.1.4 解像度 .....	44
2.2.1.5 フレームレート .....	47
2.2.1.6 画質 .....	49
2.2.2 ネカ録でのカメラ設定 .....	51
2.1.3 キヤノン株式会社製カメラ .....	53
2.3.1 カメラ側での設定 .....	53
2.3.1.1 帯域制限 .....	54
2.3.1.2 解像度 .....	55
2.3.1.3 画質 .....	56
2.3.1.4 フレームレート .....	57
2.3.1.5 音声 .....	58
2.3.1.6 H.264ストリームの動き検知 .....	59
2.3.2 ネカ録でのカメラ設定 .....	60
2.1.4 三菱電機株式会社製カメラ (DIGITAL MELOOK シリーズ) .....	62
2.4.1 カメラ側での設定 .....	62
2.4.1.1 画像配信設定 .....	63
2.4.1.2 音声 .....	64
2.4.1.3 H.264ストリームの動き検知 .....	65
2.4.2 ネカ録でのカメラ設定 .....	67
2.1.5 三菱電機株式会社製カメラ(MELOOK3) .....	71
2.5.1 カメラ側での設定 .....	72
2.5.1.1 JPEG符号方式 .....	72
2.5.1.2 音声 .....	73
2.5.1.3 DHCP .....	74
2.5.2 ネカ録でのカメラ設定 .....	75
2.1.6 パナソニック株式会社製カメラ (I-PRO シリーズ) .....	78
2.6.1 カメラ側での設定 .....	78
2.6.1.1 音声 .....	79
2.6.1.2 H.264ストリーム .....	80
2.6.1.3 解像度 .....	82
2.6.2 ネカ録でのカメラ設定 .....	84

2.7 パナソニック株式会社製カメラ (I-PRO シリーズ以外) .....	86
2.7.1 カメラ側での設定 .....	86
2.7.1.1 帯域制限.....	87
2.7.1.2 解像度 .....	88
2.7.1.3 音声 .....	89
2.7.2 ネ力録でのカメラ設定.....	90
2.8 ソニー株式会社製カメラ.....	91
2.8.1 カメラ側での設定 .....	91
2.8.1.1 帯域制限(MJPEG のみ) .....	92
2.8.1.2 音声 .....	93
2.8.1.3 H.264 ストリームのビットレート .....	94
2.8.1.4 解像度 .....	95
2.8.2 ネ力録でのカメラ設定.....	96
2.9 TOA 株式会社製カメラ (NETCANSEE シリーズ).....	98
2.9.1 ネ力録でのカメラ設定.....	98
2.10 TOA 株式会社製カメラ (TRIFORA シリーズ) .....	100
2.10.1 カメラ側での設定.....	100
2.10.1.1 モーションディテクト .....	101
2.10.1.2 いたずら検知.....	102
2.10.1.3 音声 .....	103
2.10.2 ネ力録でのカメラ設定.....	104
2.10.3 センサー入力に割り付ける際の注意.....	105
2.11 三菱電機株式会社製マルチキャストカメラ (DIGITAL MELOOK シリーズ) ..	106
2.11.1 カメラ側での設定.....	107
2.11.1.1 マルチキャスト配信設定 .....	107
2.11.1.2 音声 .....	109
2.11.2 ネ力録でのカメラ設定.....	110
2.12 三菱電機株式会社製マルチキャストカメラ(MELOOK3) .....	111
2.12.1 カメラ側での設定.....	112
2.12.1.1 マルチキャスト配信設定 .....	112
2.12.1.2 音声 .....	116
2.12.2 ネ力録でのカメラ設定.....	117
2.13 マルチキャスト TS 配信カメラ .....	118
2.13.1 ネ力録でのカメラ設定.....	118
<b>3. 注意点 .....</b>	<b>119</b>
3.1 ネットワークカメラのユーザ設定 .....	119
3.2 ネットワークカメラの PTZ 操作 .....	119
<b>4. 入出力ボックス機種別設定項目ガイド .....</b>	<b>120</b>
4.1 IND 株式会社製入出力ボックス .....	121
4.1.1 入出力ボックス側での設定 .....	121
4.1.1.1 ディップスイッチの設定 .....	121
4.1.1.2 SNMP の設定 .....	122
4.1.1.3 ネ力録での入出力ボックス設定 .....	124
4.2 三菱電機エンジニアリング株式会社製入出力ボックス .....	125
4.2.1 入出力ボックス側での設定 .....	125
4.2.1.1 シリアルデジタル I/O 変換機能の設定 .....	125
4.2.1.2 ネ力録での入出力ボックス設定 .....	132

4.3	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社製入出力ボックス .....	135
4.3.1	入出力ボックス側での設定 .....	135
4.3.1.1	ネ力録での入出力ボックス設定 .....	135

## 1. ネットワークカメラの対応状況

---

本バージョンのネットワークカメラ録画・配信サーバ「ネ力録」がサポートするカメラメーカーおよびその設定内容は、次ページ以降の表のとおりです。

表中の◎はネ力録から設定可能、○はカメラ・ネ力録両方での設定が必要、△はカメラ側でのみ設定可能、■は対応機種がリリースされていないかネ力録が非対応であることを意味します。

※ネ力録で録画・配信可能なカメラ機種の一覧は当社 HP をご参照下さい。

1. Internet Explorer で <http://www.mind.co.jp/necaroku/> にアクセスします。
2. Web ページ右側の「関連資料ダウンロード」の下にある「サポートカメラ」をクリックします。
3. サポートカメラの一覧を記載した PDF ファイルを取得できます。

表 ネットワークカメラ設定内容一覧

機種	配信方法	解像度	品質	fps	音声	PTZ
AXIS	JPEG	◎	◎	◎	○	◎
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	◎	◎	◎	○	◎
BOSCH	JPEG			-		
	MJPEG			-		
	H.264	◎	◎	◎	-	◎
Canon (旧機種)	JPEG	△	△	◎	○	◎
	MJPEG			-		
	H.264			-		
Canon (新機種)	JPEG	◎	◎	◎	○	◎
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	△	△	△	○	◎
三菱 DIGITAL MELOOK	JPEG			-		
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	◎	◎	◎	○	◎
三菱 MELOOK3	JPEG			-		
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	◎	◎	◎	○	◎
三菱 MELSAFETY	JPEG	◎	◎	◎	-	-
	MJPEG			-		
	H.264			-		
Panasonic (i-pro)	JPEG	◎	◎	◎	-	◎
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	◎	△	◎	-	◎
Panasonic (i-pro 以外)	JPEG	◎	◎	◎	○	◎
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264			-		
SONY	JPEG			-		
	MJPEG	◎	◎	◎	○	◎
	H.264	◎	○	◎	○	◎
TOA	JPEG	◎	◎	◎	-	◎
	MJPEG			-		
	H.264	◎	◎	◎	○	◎

表 ネットワークマルチキャストカメラ設定内容一覧

機種	配信方法	解像度	品質	fps	音声	PTZ
三菱 DIGITAL MELOOK	JPEG	△	△	△	○	○
	H.264	△	△	△	○	○
三菱 MELOOK3	JPEG	△	△	△	○	○
	H.264	△	△	△	○	○
TS マルチキャスト配信カメラ	JPEG			-		
	H.264	△	△	△	-	○

## 2. 機種別設定項目ガイド

---

ネカ録でサポートしている各メーカーのカメラ別に、あらかじめカメラ側で設定しておく必要がある項目について、設定手順を紹介します。

ネカ録側で設定する項目とその手順につきましては、「ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド」に詳しく記載しておりますので、そちらをご覧下さい。

## 2.1 アクシスコミュニケーションズ株式会社製 カメラ

アクシスコミュニケーションズ株式会社製ネットワークカメラ（以降、AXIS カメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で認証方式の設定を行い、必要に応じて次の 6 種類の設定を入力できます。

1. 映像の帯域制限
2. 配信解像度の設定
3. 音声出力方式の設定
4. H.264 ストリームの GOV 設定
5. H.264 ストリームの動き検知設定
6. ビューエリアの設定

なお、機種により一部の項目が設定できないことがありますので、カメラの説明書を合わせてご参照下さい。

### 2.1.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。  
設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

なお、ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前であると使用可能な Web ブラウザが異なります。詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルを参照願います。

#### I. ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前の場合

1. Internet Explorer に AXIS カメラの IP アドレスを入力します。
2. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
3. Web ページ右上の「Setup」リンクをクリックして下さい。
4. Web 設定画面が表示されます。

#### II. ファームウェアのバージョンが 7.x.x の場合

1. Edge に AXIS カメラの IP アドレスを入力します。
2. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
3. Web ページ右上の「Setup」リンクをクリックして下さい。
4. Web 設定画面が表示されます。

## 2.1.1.1 認証方式の設定

AXIS カメラの認証方式を固定する必要があります。

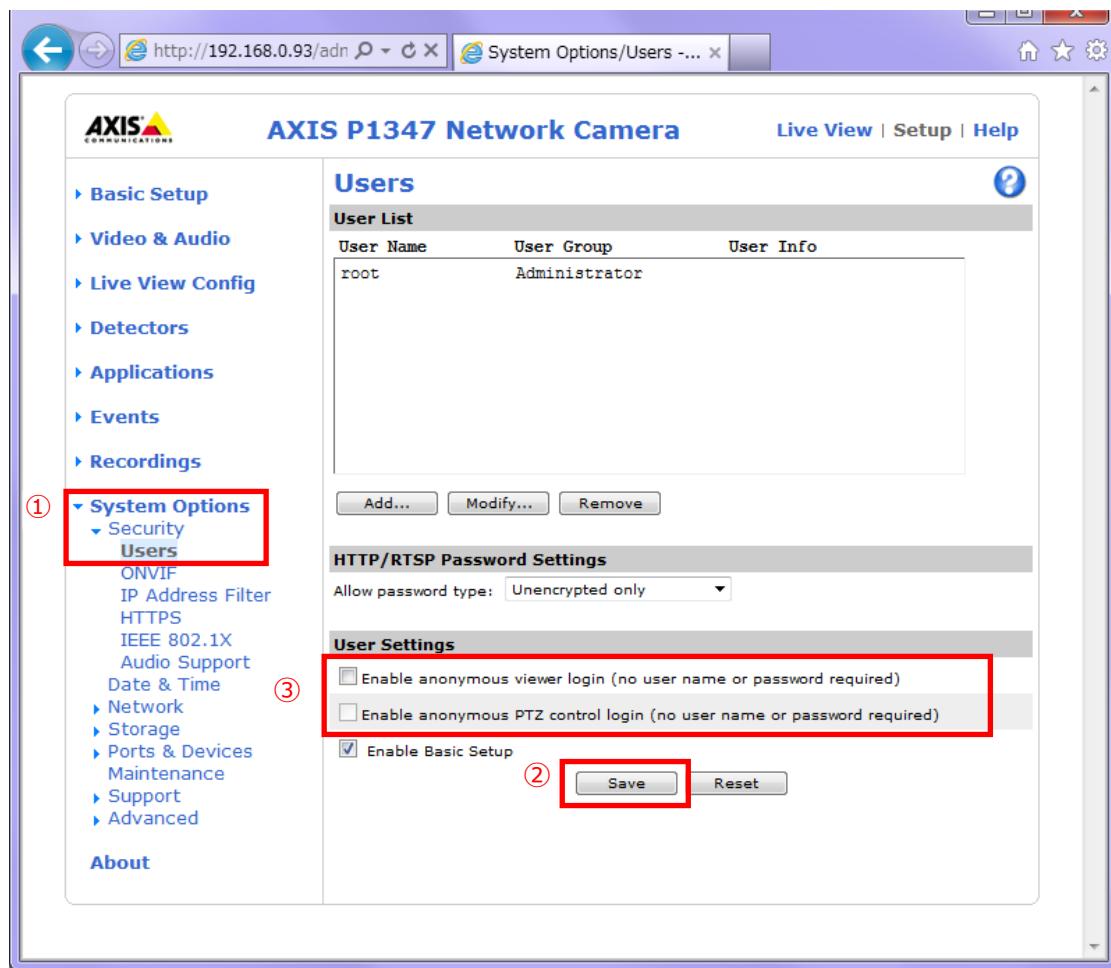
なお、ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前であると設定方法が異なります。

詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルを参照願います。

### I. ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前の場合

(手順1) 画面の左側メニューの「System Options > Security > Users」をクリックして下さい。

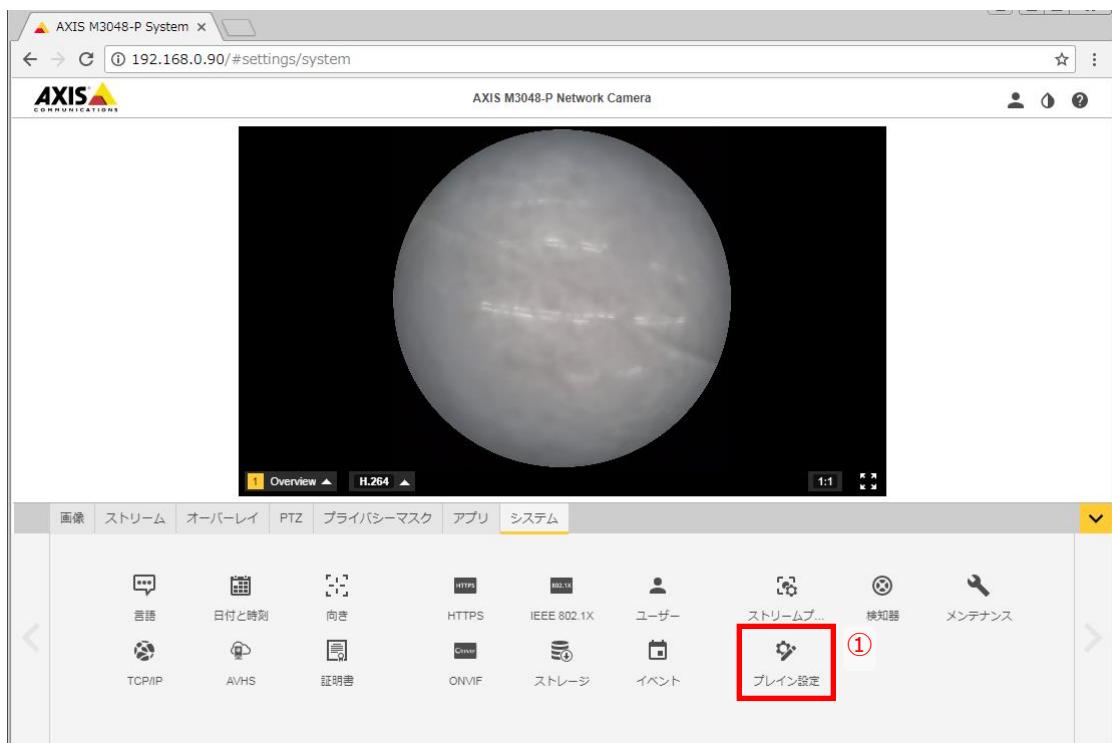
(手順2) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



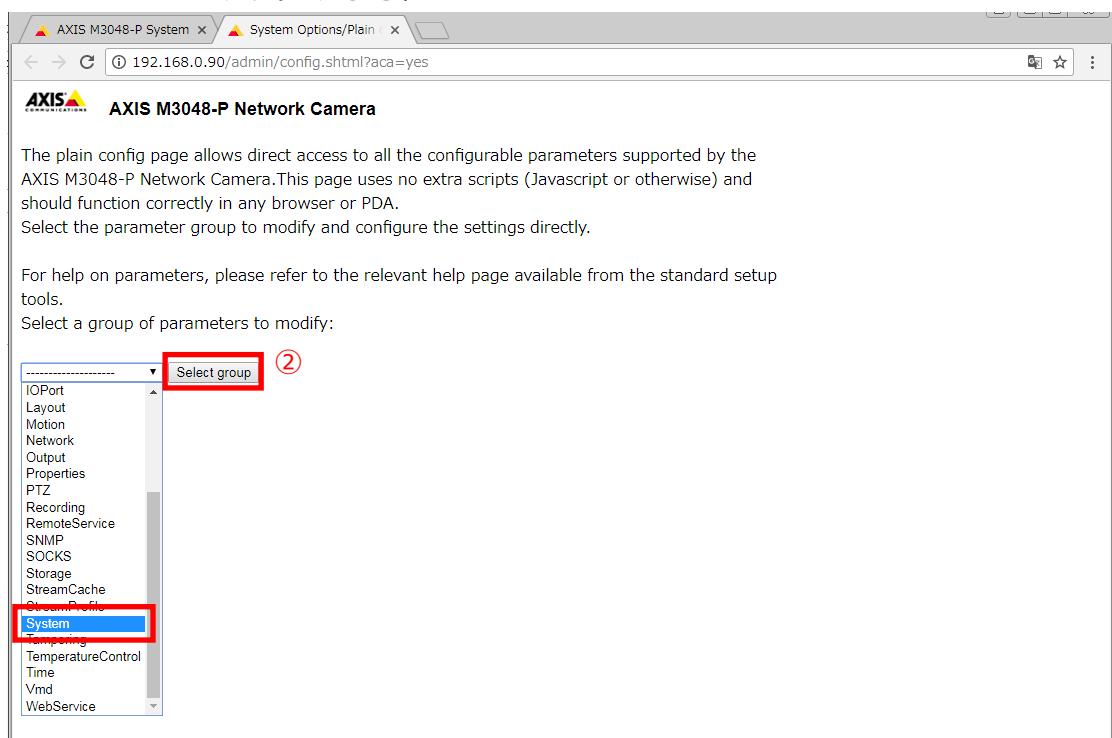
上記の④の「Enable anonymous viewer login」および「Enable anonymous PTZ control login」には、チェックをつけて下さい。

## II. ファームウェアのバージョンが 7.x.x の場合

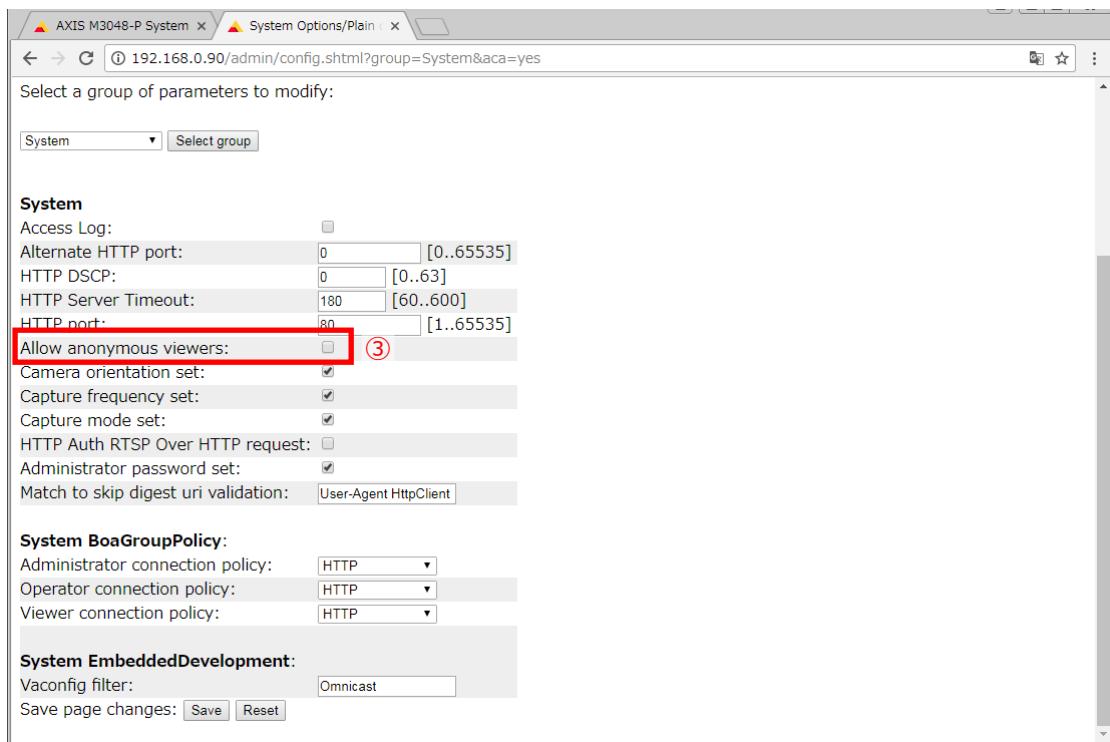
(手順1) 画面の下側メニューの「システム > プライン設定」をクリックして下さい。



(手順2) 遷移先画面の左側のプルダウンで「System」を選択し「Select group」ボタンをクリックして下さい。

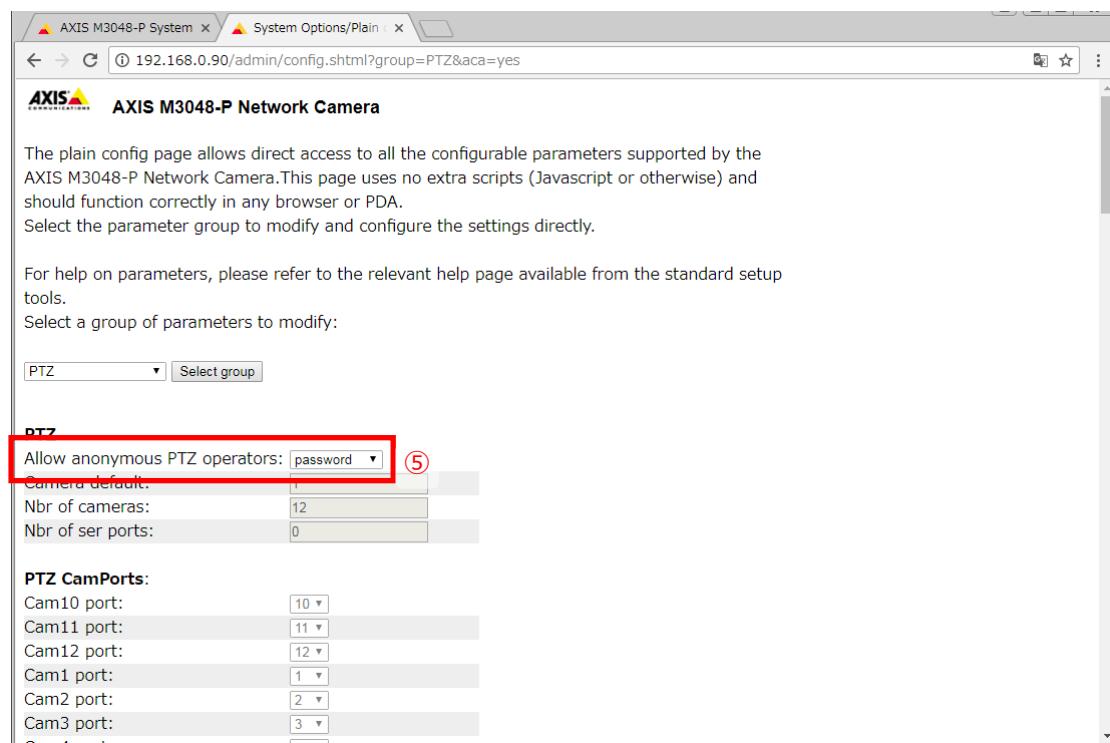


(手順3) 表示される情報で「Allow anonymous viewers」項目にチェックが入っていない事を確認します。



(手順4) 手順2の画面に戻り、左側のプルダウンで「PTZ」を選択し「Select group」ボタンをクリックして下さい。

(手順5) 表示される情報で「Allow anonymous PTZ operators」項目でpasswordが選択されている事を確認します。



### 2.1.1.2 映像の帯域制限

多数のネットワークカメラを1本のLANケーブルに集約する場合など、ネットワークカメラ1台あたりの帯域を制限する必要がある場合に入力する設定です。  
なお、ファームウェアのバージョンが7.x.x以前であると設定方法が異なります。  
詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルを参照願います。

#### I. ファームウェアのバージョンが7.x.x以前の場合

##### ① MJPEGの場合

- (手順1) 画面の左側メニューの「Video & Audio > Video Stream」をクリックして下さい。  
機種によっては「Video & Image」となっているものもあります。
- (手順2) 右側に表示される設定一覧で、「MJPEG」タブを選択して下さい。
- (手順3) Limited to  kbytes のラジオボタンをチェックし、テキストボックスに映像1フレームあたりの上限サイズを入力して下さい。

例：100MbpsのLANで20台のカメラを10fpsで配信したい場合、  
 $100\text{Mb/s} \div 8\text{b/B} \div 20\text{台} \div 10\text{f/s} = 64\text{KB/f}$   
となり、1フレームあたり64KBが上限になります。

ただし、実際にはLANの伝送効率がありますので、最終的に設定する値は、ここで算出した値の8割ほどを推奨します（この例では $64 \times 0.8$ で51KBになります）。

- (手順4) 画面下部のSaveボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

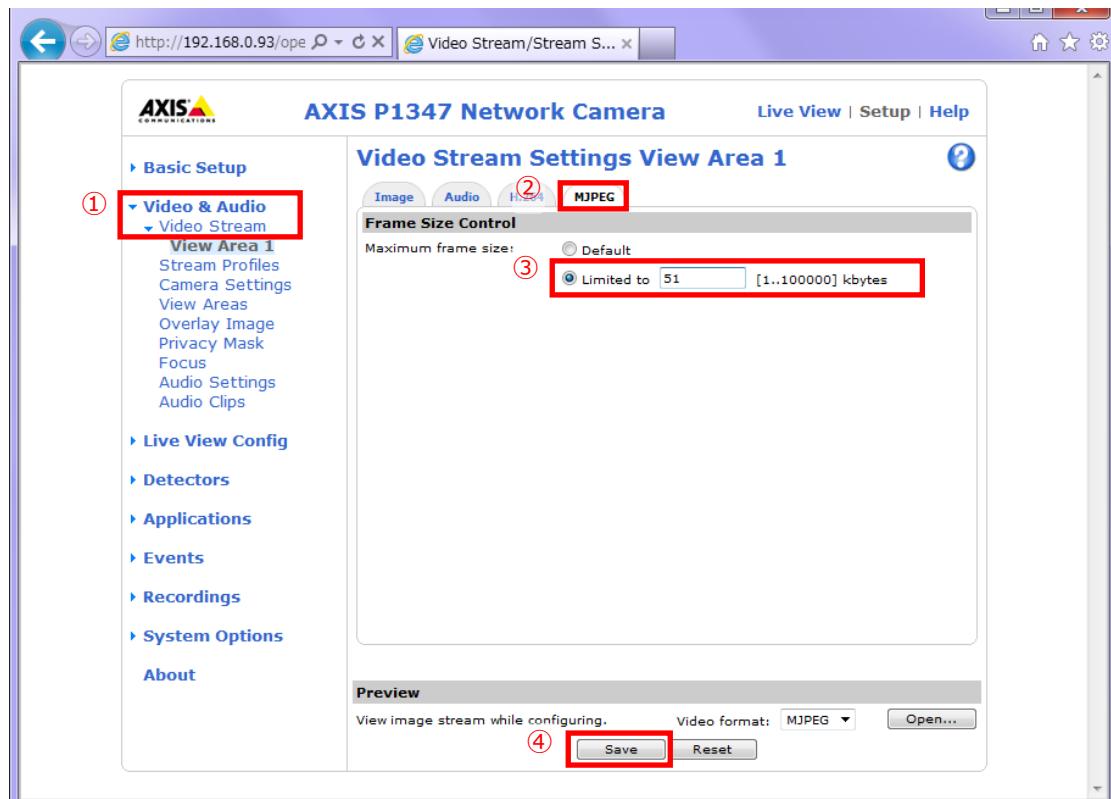


図 AXIS P1347 の帯域設定画面

## ② H.264 ストリームの場合

- (手順1) 画面の左側メニューの「Video & Audio > Video Stream」をクリックして下さい。  
機種によっては「Video & Image」となっているものもあります。
- (手順2) 右側に表示される設定一覧で、「H.264」タブを選択して下さい。
- (手順3) 画面中央のラジオボタンで「Constant bit rate」を選択します。
- (手順4) Target bit rate に、帯域の上限が入力できるようになりますので、次のように計算した値を入力して下さい。

例：100Mbps の LAN に 20 台のカメラをつなぐ場合、

$100\text{Mb/s} \div 20 \text{台} = 5\text{Mb/s} \cdot \text{台} = 5120\text{Kb/s} \cdot \text{台}$   
となり、カメラ 1 台あたり 5120Kb が上限になります。

ただし、実際には LAN の伝送効率がありますので、最終的に設定する値は、ここで算出した値の 8 割ほどを推奨します（この例では  $5120 \times 0.8$  で 4096Kb になります）。

- (手順5) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

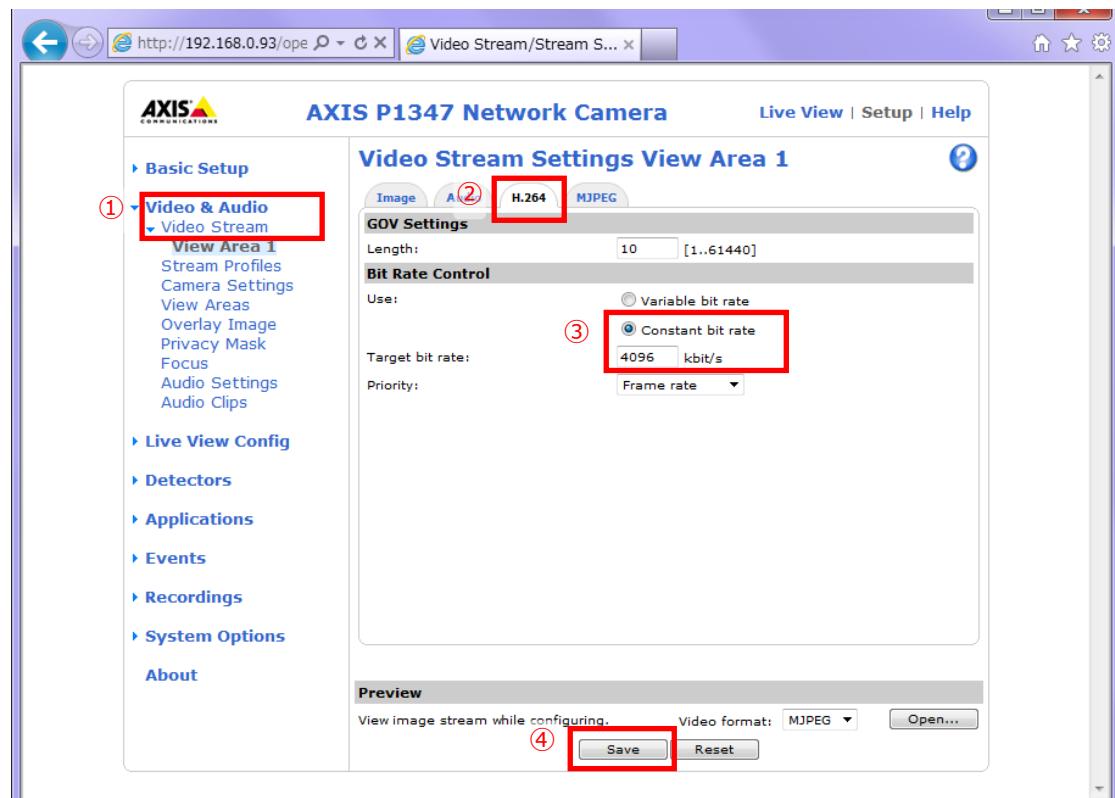


図 AXIS P1347 の帯域設定画面②

## II. ファームウェアのバージョンが 7.x.x の場合

- (手順1) 画面の下側メニューの「ストリーム」をクリックして下さい。
- (手順2) 表示される情報で「ビットレート制御」項目で「最大ビットレート」を選択します。その後に表示される「Target bit rate」項目に適切な値を設定します。計算方法等については、前項「ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前の場合」を参照下さい。



### 2.1.1.3 解像度

AXIS カメラは多数の解像度をサポートしています。

通常はネカ録統合管理ツールのカメラ設定で解像度を指定しますが、選択肢にない解像度(1920×1080など)でのご利用の場合は「カメラ設定に従う」を指定し、カメラ側で解像度を設定します。

カメラ側で解像度を設定する手順は次のとおりです。

なお、ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前であると設定方法が異なります。

詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルを参照願います。

#### I. ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前の場合

- (手順1) 左のメニューの「Video & Audio > Video Stream」をクリックして下さい。  
機種によっては「Video & Image」となっているものもあります。
- (手順2) 右側に表示される設定一覧で、「Image」タブを選択して下さい。
- (手順3) 「Resolution」のドロップダウンリストから、解像度を選択して下さい。
- (手順4) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

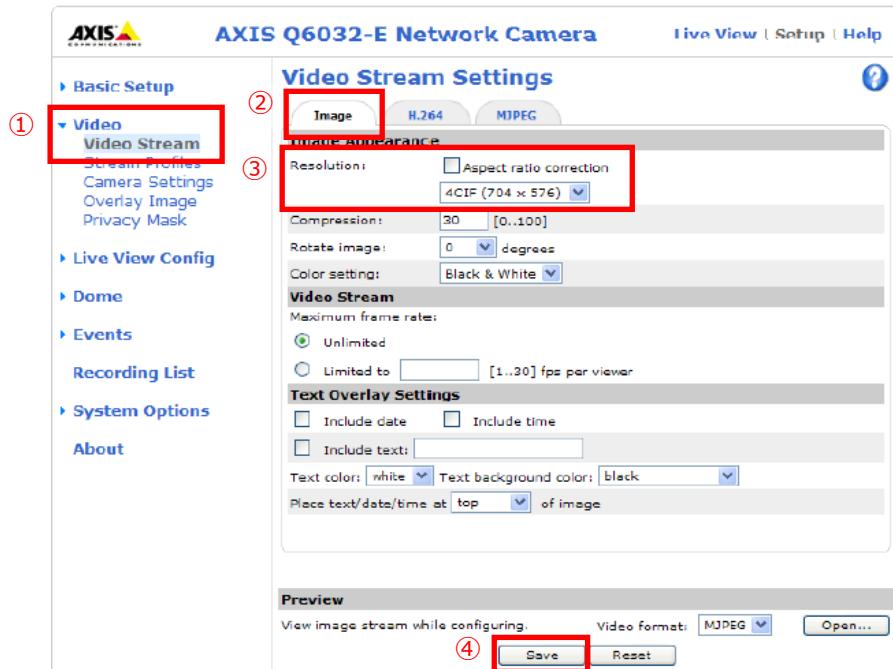


図 AXIS Q6032 の解像度設定オプション

Q6032-E など一部の機種には、Aspect ratio correction というオプションがあります。

このオプションを使用すると AXIS カメラは CIF タイプの解像度の映像を VGA タイプに変形して配信します。ただし、このときネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面では QVGA, VGA ではなく CIF, 4CIF を指定して下さい。

## II. ファームウェアのバージョンが 7.x.x の場合

- (手順1) 画面の下側メニューの「ストリーム」をクリックして下さい。  
(手順2) 解像度プルダウン選択項目にてターゲットとする解像度を選択します。



## 2.1.1.4 音声

AXIS カメラから入力される音声をネカ録で録音したい場合、次のように設定して下さい。

- (手順1) 左のメニューの「Video & Audio > Video Stream」をクリックして下さい。  
機種によっては「Video & Image」となっているものもあります。
- (手順2) 右側に表示される設定一覧で、「Audio」タブを選択して下さい。
- (手順3) Enable Audio のチェックボックスを有効にして下さい。
- (手順4) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存します。

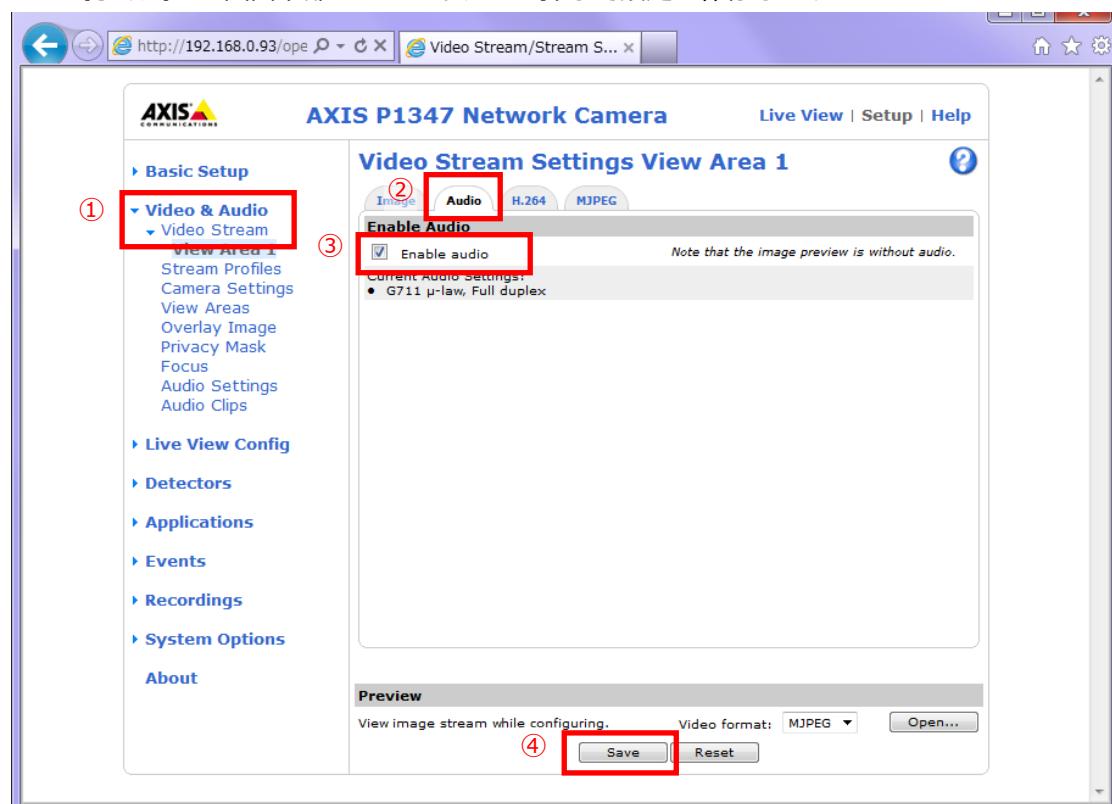


図 AXIS P1347 の音声出力有効化

- (手順5) 次に、音声出力の設定を行います。左のメニューの「Video & Audio > Audio Settings」をクリックして下さい。
- (手順6) 右側に表示される項目を次のとおり指定します。
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| Audio mode | Full duplex     |
| Encoding   | G711 $\mu$ -law |
- カメラにコンデンサマイクを直接接続する場合 Source に「Microphone」を、アンプ等を介して繋ぐ場合は「Line」を指定します。
- その他の項目は必要に応じて調節して下さい。
- (手順7) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

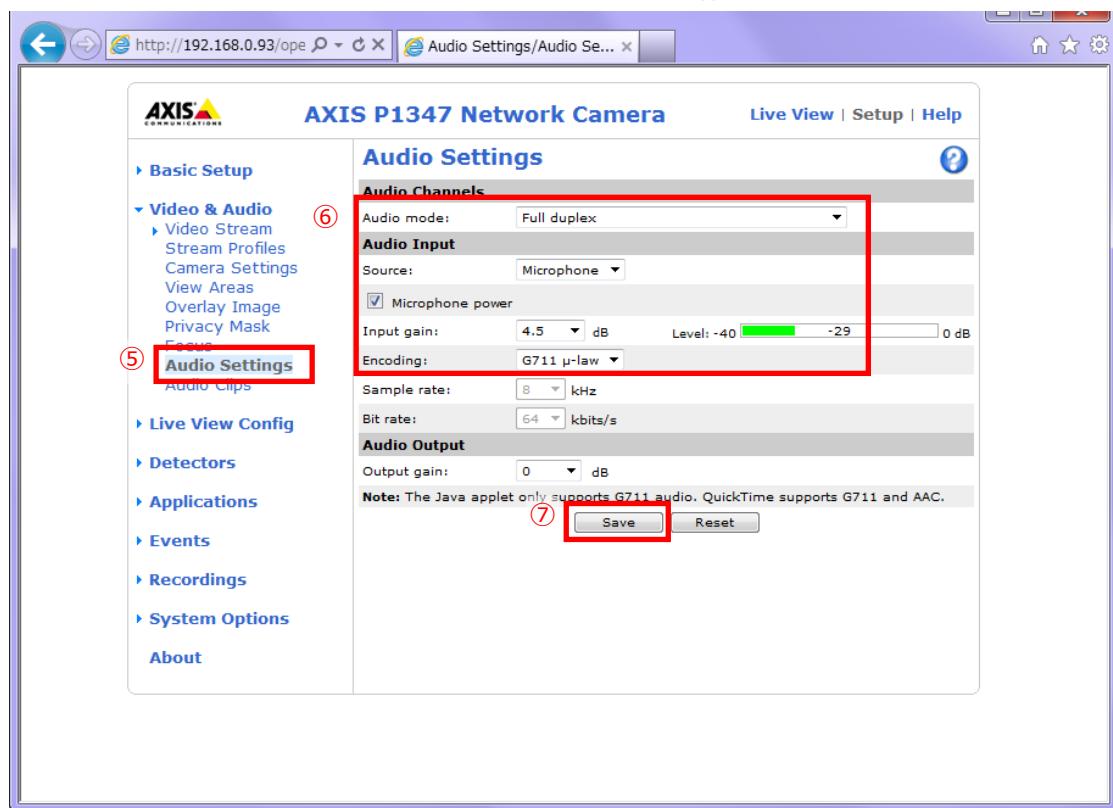


図 AXIS P1347 の音声出力設定

## 2.1.1.5 H.264 ストリーム

ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前であると設定方法が異なります。  
詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルを参照願います。

### I. ファームウェアのバージョンが 7.x.x 以前の場合

H.264 ストリームの GOV 値を変更する事により帯域幅を調整します。  
GOV は何フレームに 1 回頭出し再生の起点になるフレーム (I フレーム) を送るかを決めるための値で、デフォルトでは 32 が設定されています。  
GOV が 32 の場合、32 フレームに 1 回頭出し用フレームが配信されますので、これを 8fps で録画している場合、録画された映像は 4 秒ごとの頭出し再生が可能になります。  
接点入力に連動した録画などに H.264 をご利用の場合、この GOV はフレームレート以下 の値を推奨します (GOV とフレームレートが等しいとき、1 秒ごとに頭出しが可能です)。  
設定は次のように行います。

- (手順1) 左のメニューの「Video & Audio > Video Stream」をクリックして下さい。  
機種によっては「Video & Image」となっているものもあります。
- (手順2) 右側に表示される設定一覧で、「H.264」タブを選択して下さい。
- (手順3) GOV Settings の Length を適宜設定して下さい。
- (手順4) 画面下部の Save ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

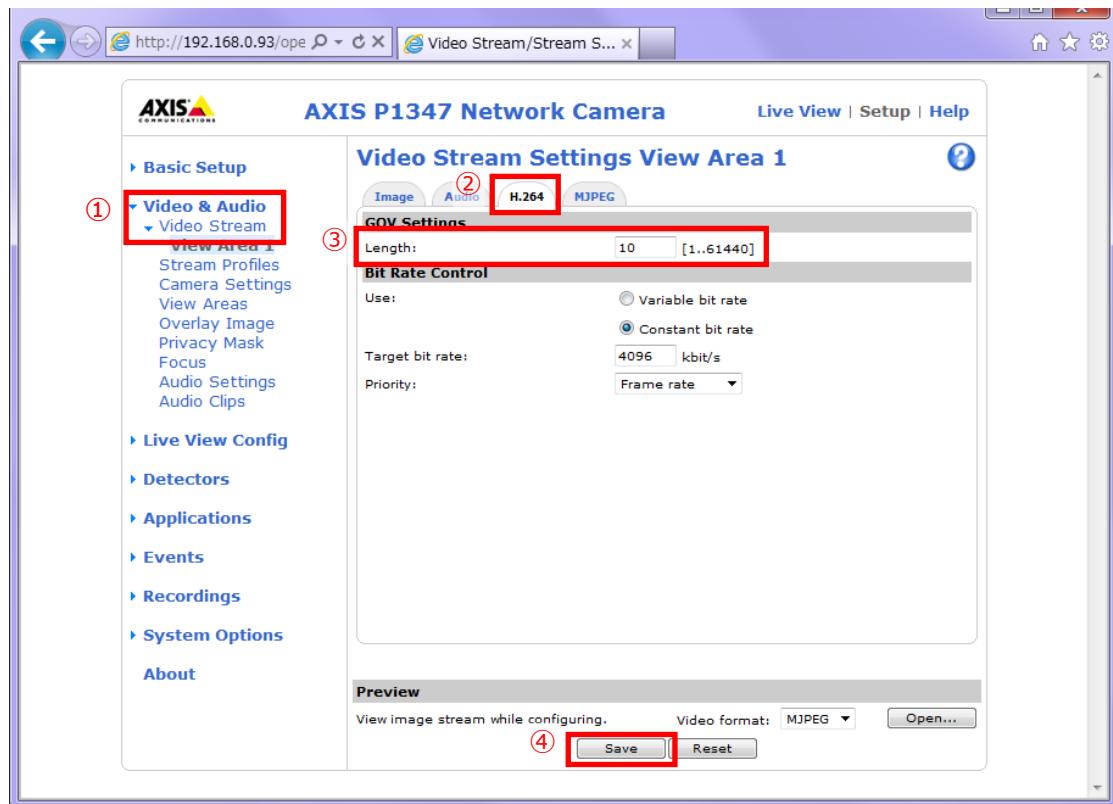


図 AXIS P1347 の H.264 ストリーム設定

## II. ファームウェアのバージョンが 7.x.x の場合

H.264 ストリームの P フレーム数を変更する事で帯域幅を調整します。

P フレームは頭出し再生の起点になるフレーム (I フレーム) 間の増分フレームの事で、デフォルト値では 31 が設定されています。

P フレームが 31 の場合、32 フレームに 1 回頭出し用フレームが配信されますので、これを 8fps で録画している場合、録画された映像は 4 秒ごとの頭出し再生が可能になります。接点入力に連動した録画などに H.264 をご利用の場合、この P フレーム値に 1 を足した値はフレームレート以下の値を推奨します (P フレーム値に 1 を足した値とフレームレートが等しいとき、1 秒ごとに頭出しが可能です)。

設定は次のように行います。

(手順1) 画面の下側メニューの「ストリーム」をクリックして下さい。

(手順2) 「P フレーム」項目を適宜変更して下さい。



## H.264 ストリームの動き検知

AXIS カメラの動き検知機能を利用してことで、H.264 ストリーム受信時にもネカ録の動き検知機能を利用できます。

なお、Motion Detection3 とそれよりも前の動き検知機能とで設定方法が異なります。

詳細は、ご使用されるカメラのマニュアルをご参照願います。

### I. Motion Detection3 よりも前の動き検知機能の場合

(手順1) 左のメニューの「Detectors > Motion Detection」をクリックして下さい。

(手順2) 表示される画面で、映像内をクリック＆ドラッグしてウィンドウを編集します。ウィンドウはネカ録のマスク設定と同様のもので、ウィンドウの枠内で動きだけを検出します。

(手順3) ウィンドウを設定したら、検出したい動きの内容に合わせて「Object Size」、「History」および「Sensitivity」を設定して下さい。これらの値の詳細は、ご使用のカメラのマニュアルをご参照下さい。

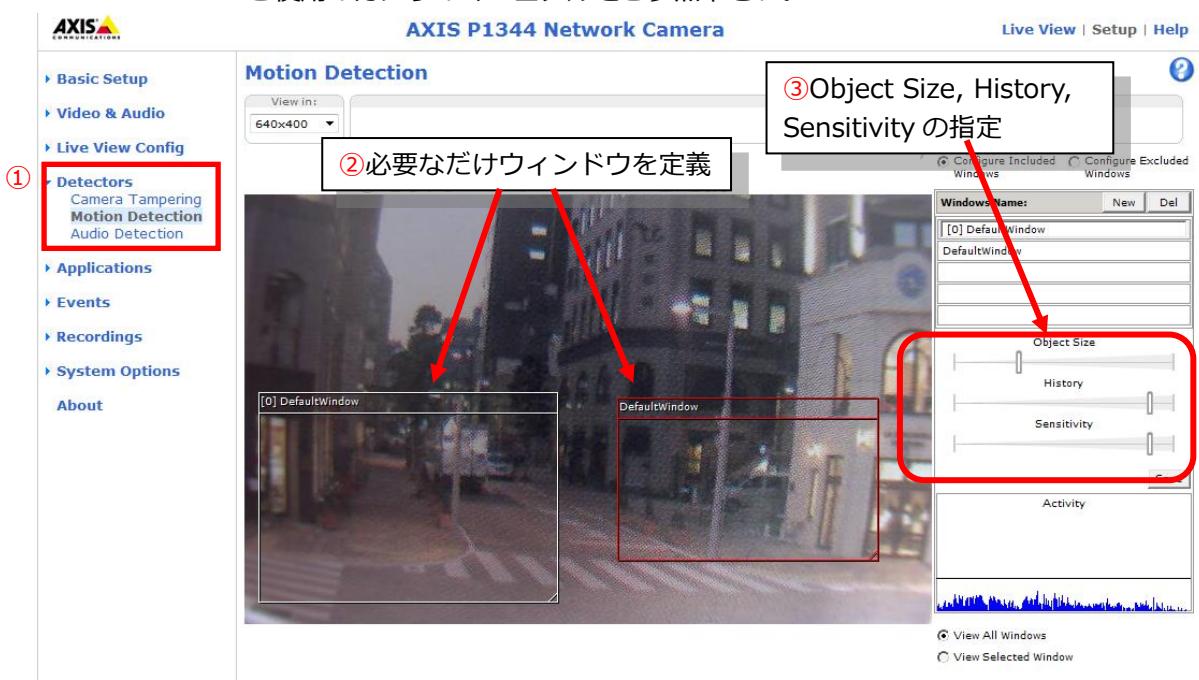


図 AXIS P1344 の Motion Detection 設定例



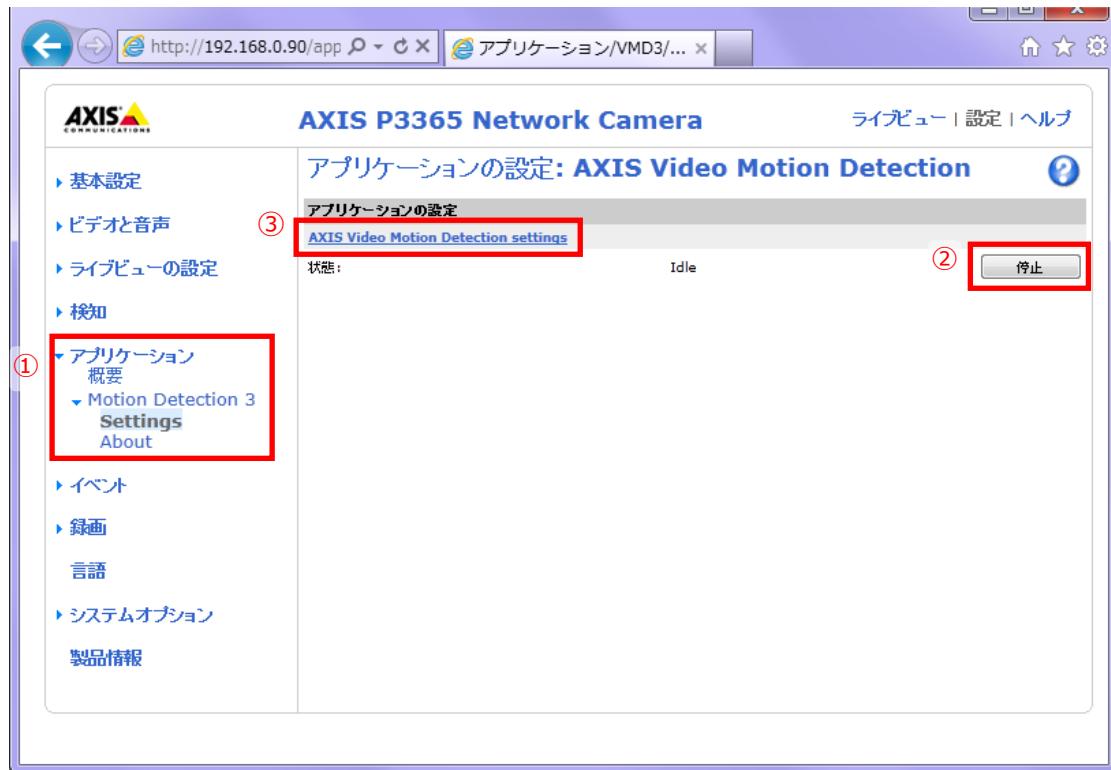
AXIS カメラでは最大 10 個までのウィンドウにそれぞれ動き検知の設定が可能です。

ネカ録で動き検知機能が動作するタイミングは、設定したウィンドウのうちいずれか 1 つ以上の中で動きがあったとカメラが判断したときになっています。そのとき、カメラの設定画面では縦線が赤くなります。

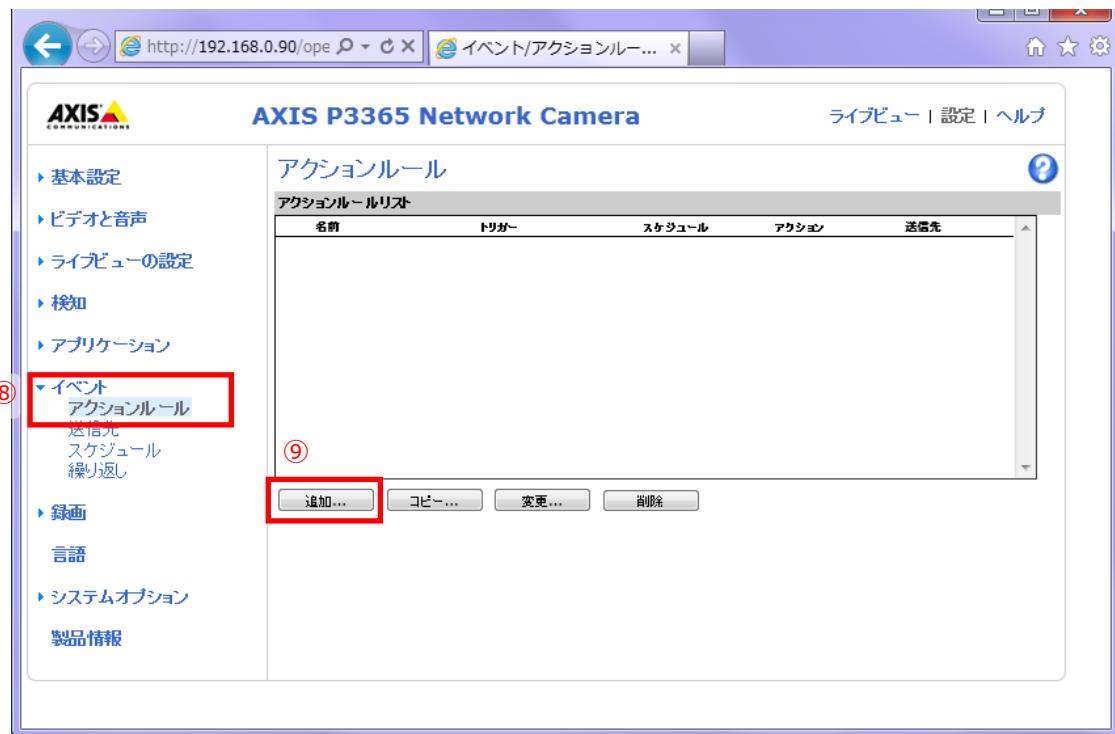
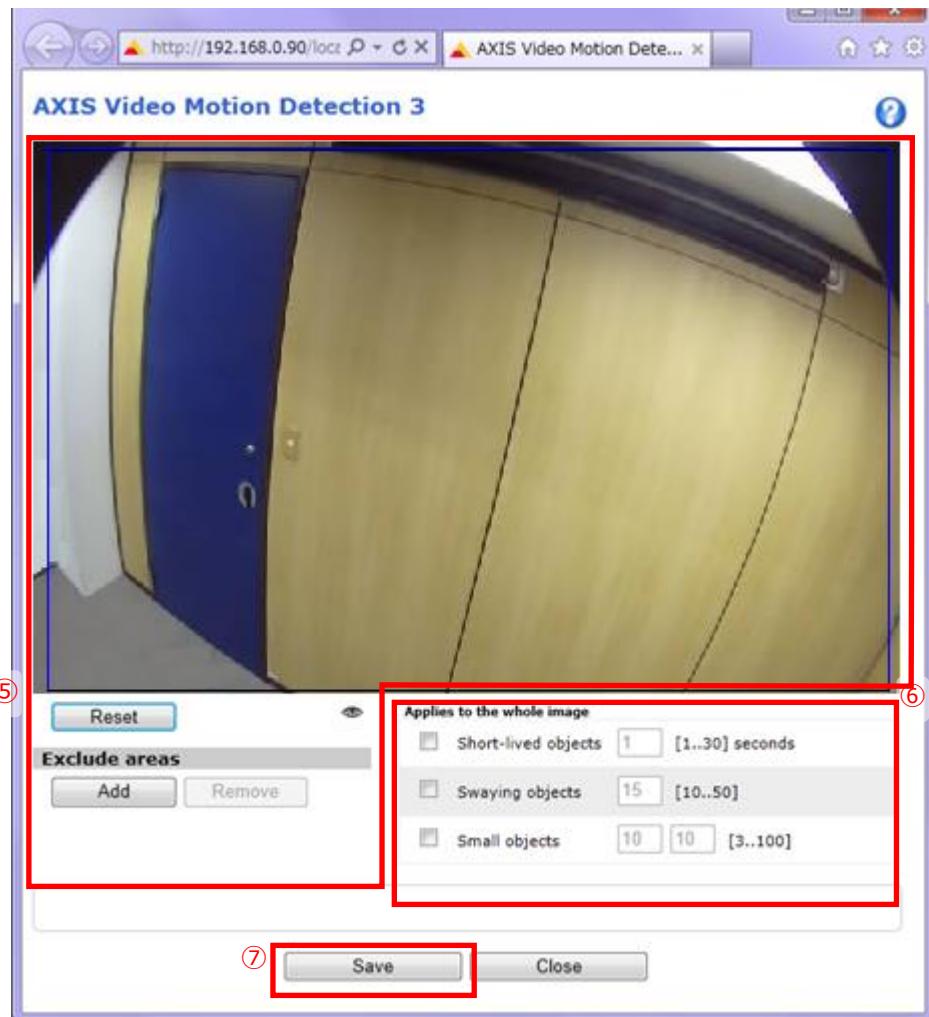
カメラの設定画面上で十分に検証を実施のうえ、ご使用下さい。

## II. Motion Detection3 の場合

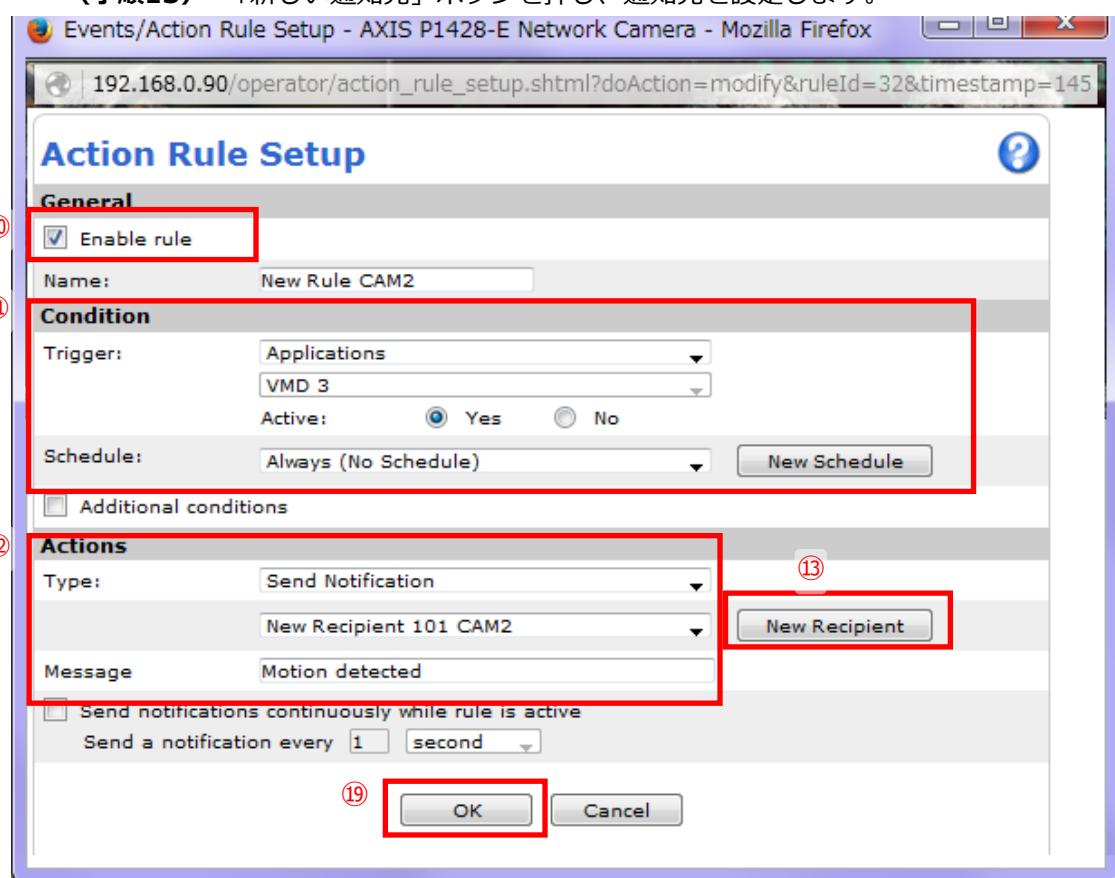
- (手順1) 左のメニューの「アプリケーション > Motion Detection3 > Settings」をクリックして下さい。
- (手順2) 表示される画面で、「状態」の右にある「開始」ボタンを押し、中央に「Idle」と表示されるのを確認します。
- (手順3) 「AXIS Video Motion Detection settings」のリンクをクリックし、検知窓の設定を行います。



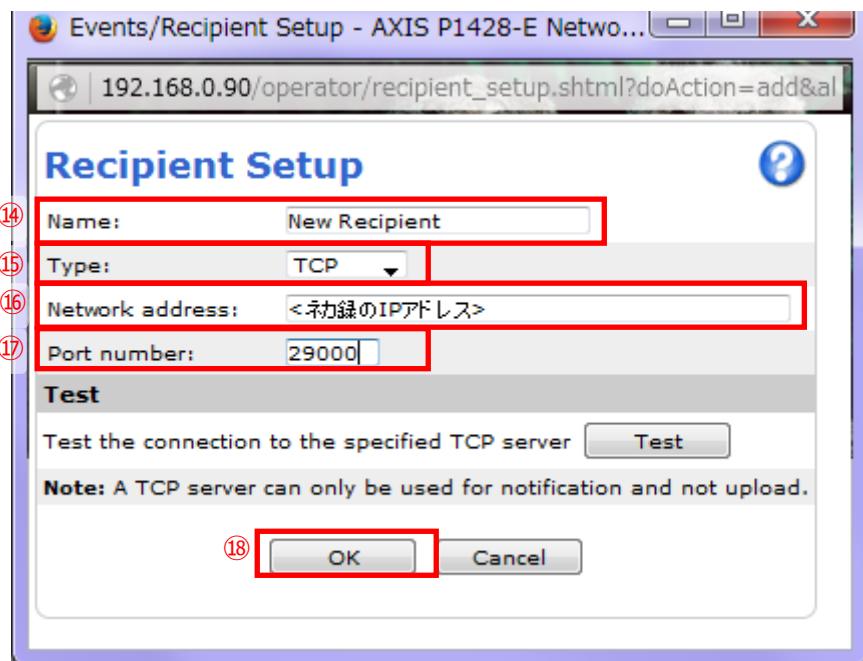
- (手順4) 「AXIS Video Motion Detection settings」のリンクをクリックし、検知エリアの設定を行います。
- (手順5) 必要に応じて、上部に表示されている対象エリアの変形、除外エリアの追加を行って下さい。
- (手順6) 変化があっても無視する要素を、画面下部右側で設定します。
- (手順7) 「保存」ボタンを押して、設定を保存し、設定画面を閉じて下さい。
- (手順8) 左のメニューの「イベント > アクションルール」をクリックして下さい。
- (手順9) 「追加」をクリックします。



- (手順10) 「ルールを有効にする」にチェックを入れます。名前はカメラ内での管理にのみ使用します。適宜ご設定下さい。
- (手順11) 「トリガー」に「アプリケーション」を指定し、Active は「Yes」にします。スケジュールは「常時」をご選択下さい。
- (手順12) アクションの「タイプ」を「通知」にご設定下さい。メッセージには「Motion Detected」とご記入下さい。メッセージの記入がない場合、通知が発行されずモーションディテクト連動ができません。
- (手順13) 「新しい通知先」ボタンを押し、通知先を設定します。



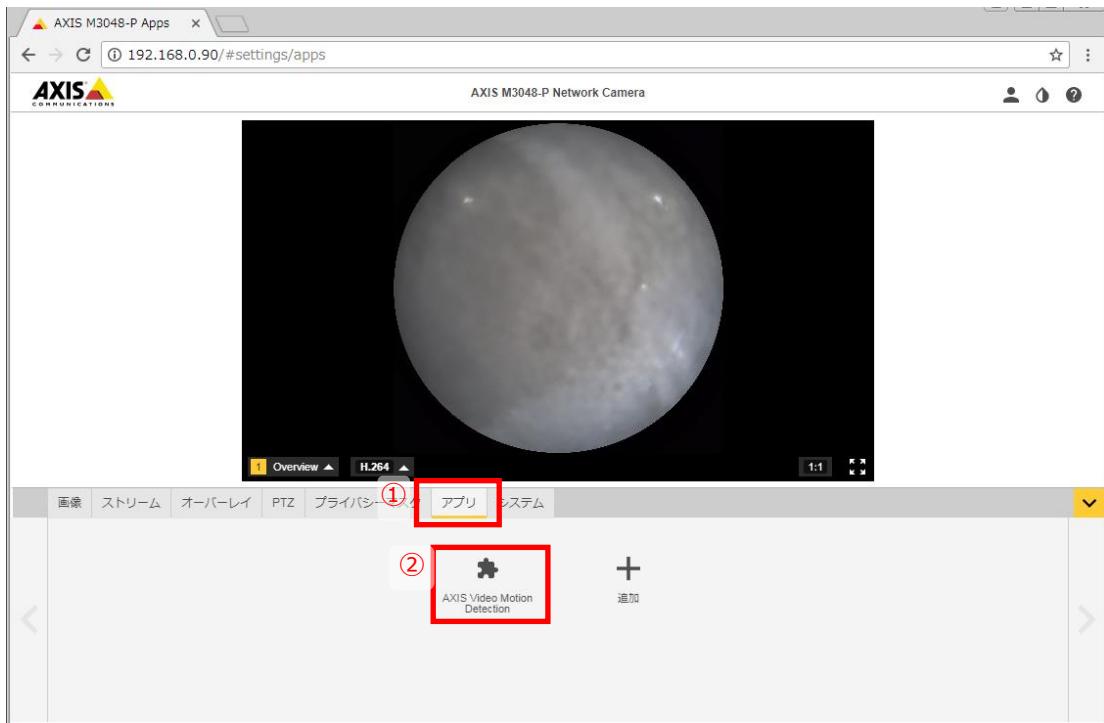
- (手順14) 通知先名はカメラ内での管理にのみ使用します。適宜ご設定下さい。
- (手順15) タイプを「TCP」に設定します。
- (手順16) ネットワークアドレスにはネカ録のIPアドレスを入力して下さい。
- (手順17) ポート番号には、このカメラを登録したカメラの番号に29000を足したものを入力します。更に、ユニット2のカメラの場合は、100を足して下さい。  
ユニット1のカメラ10番に登録する場合、29010です。  
ユニット2のカメラ10番に登録する場合、29110です。
- (手順18) 「OK」ボタンを押して設定を保存し、アクションルール設定の画面に戻ります。



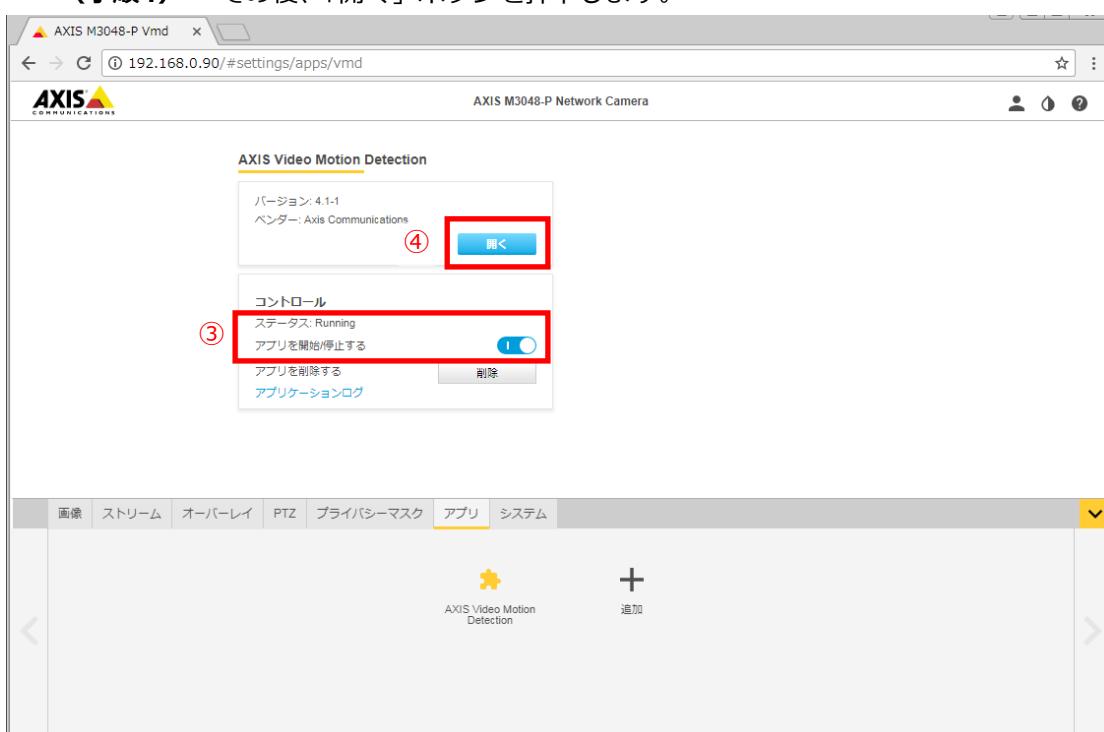
(手順19) 「OK」ボタンを押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

## II. Motion Detection 4 の場合

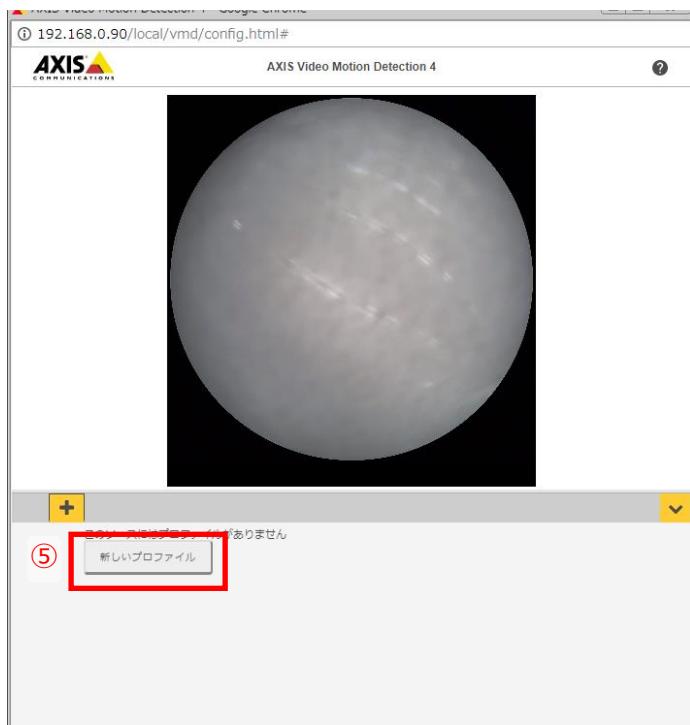
- (手順1) まず、動き検知機能の起動及び、動き検知区画等の設定を行います。画面の下側メニューの「アプリ」をクリックして下さい。
- (手順2) 「Axis Video Motion Detection」をクリックします。



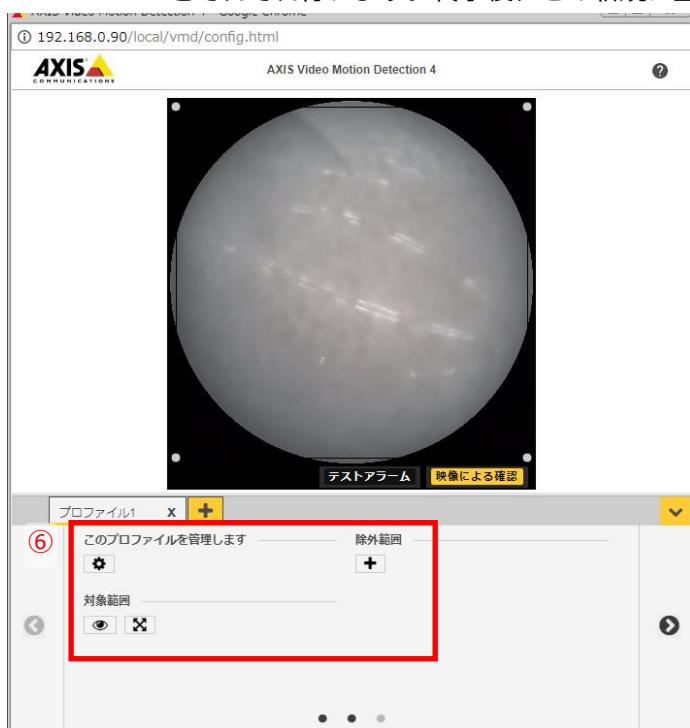
- (手順3) 表示される画面で、「コントロール」区画の「ステータス」項目が Stopped の場合は、「アプリを開始/停止する」項目のインジケーターを操作し、「ステータス」項目が Running と表示されるのを確認します。
- (手順4) その後、「開く」ボタンを押下します。

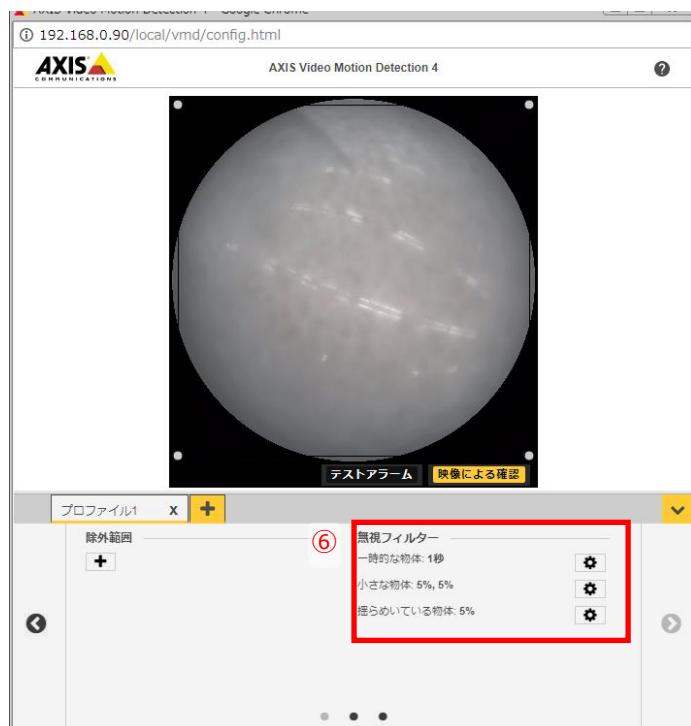


(手順5) 新規に立ち上がった画面で、「新しいプロファイル」ボタンを押下します。

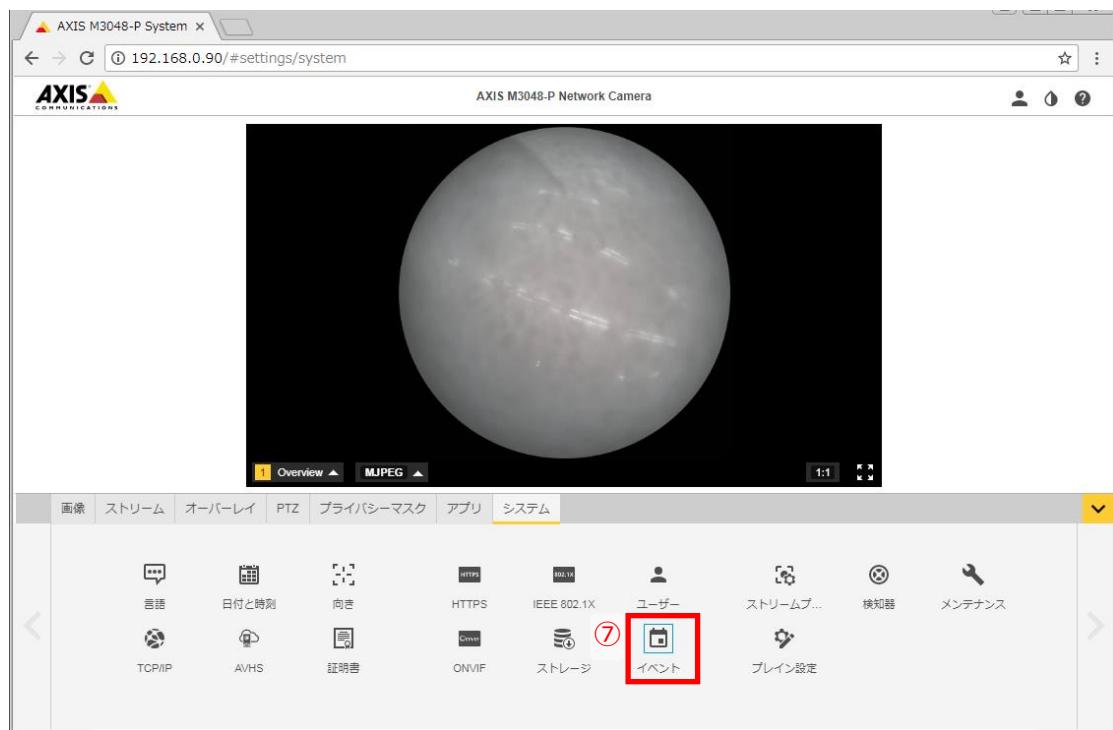


(手順6) 表示される画面で、「このプロファイルを管理します」区画にてプロファイル名の変更を、「対象範囲」区画にて動き検知区画調整を、「除外範囲」区画にて動き検知除外区画設定を、「無視フィルター」区画にて無視対象の設定を行います。終了後、この新規に立ち上がった画面を閉じます。



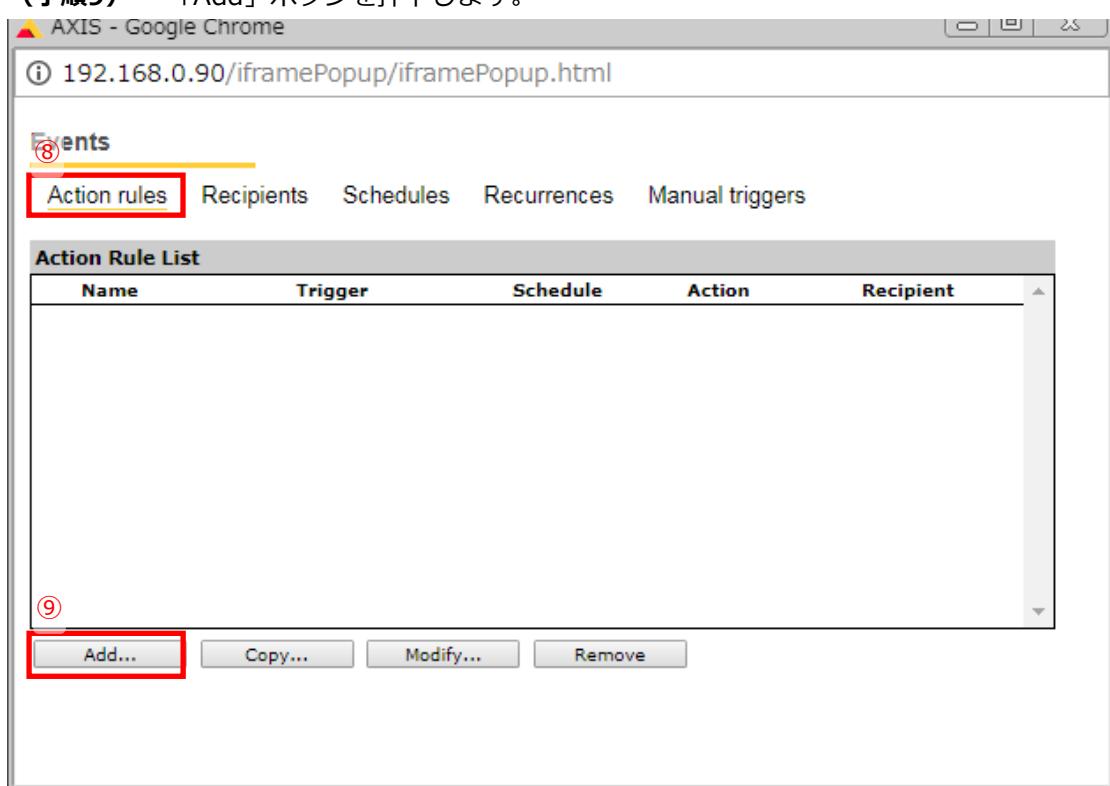


**(手順7)** 次に動き検知後のネカ録との連携設定を行います。画面の下側メニューの「システム > イベント」をクリックして下さい。

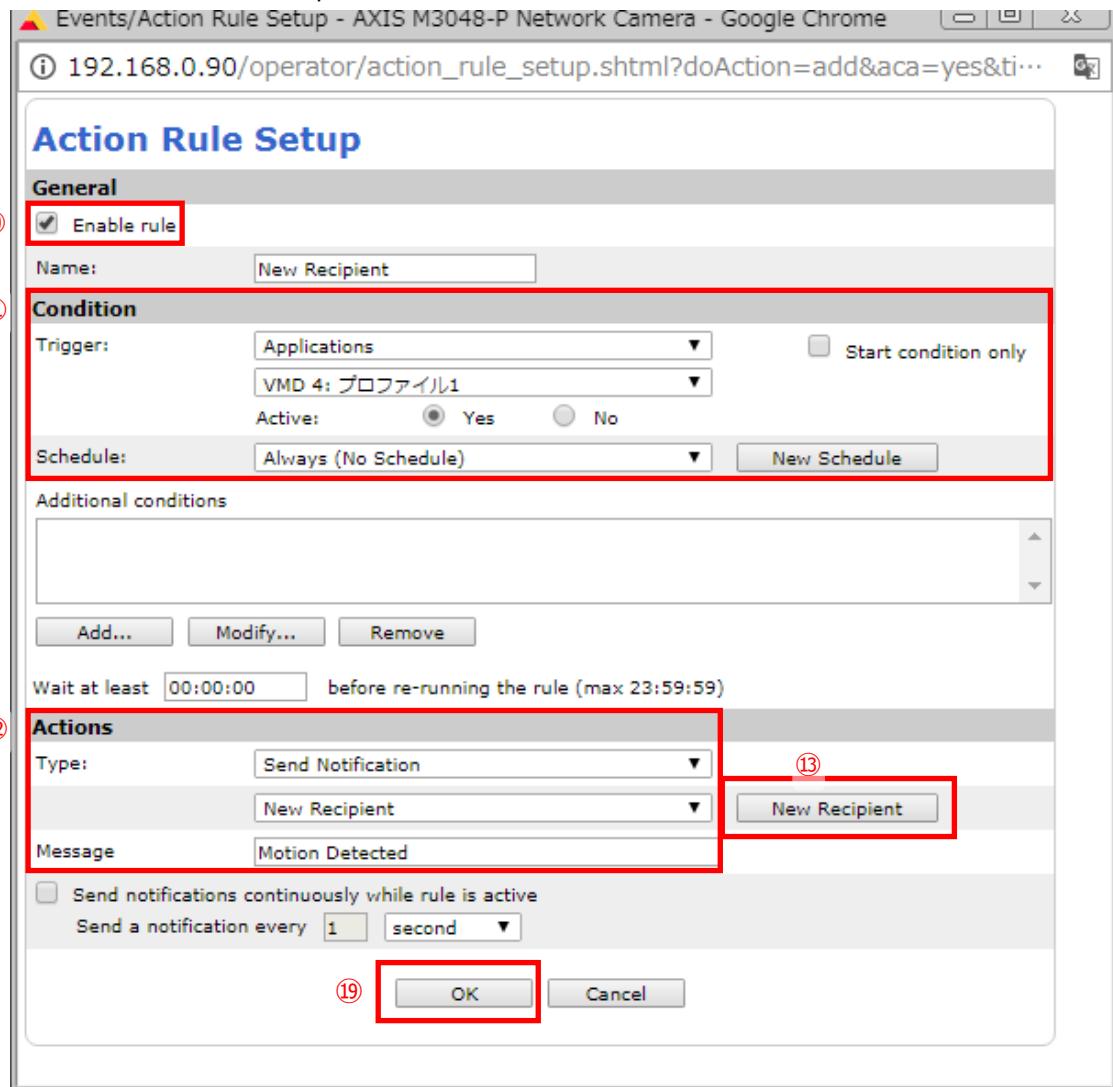


(手順8) 新規に立ち上がった画面で、「Action rules」が選択します。

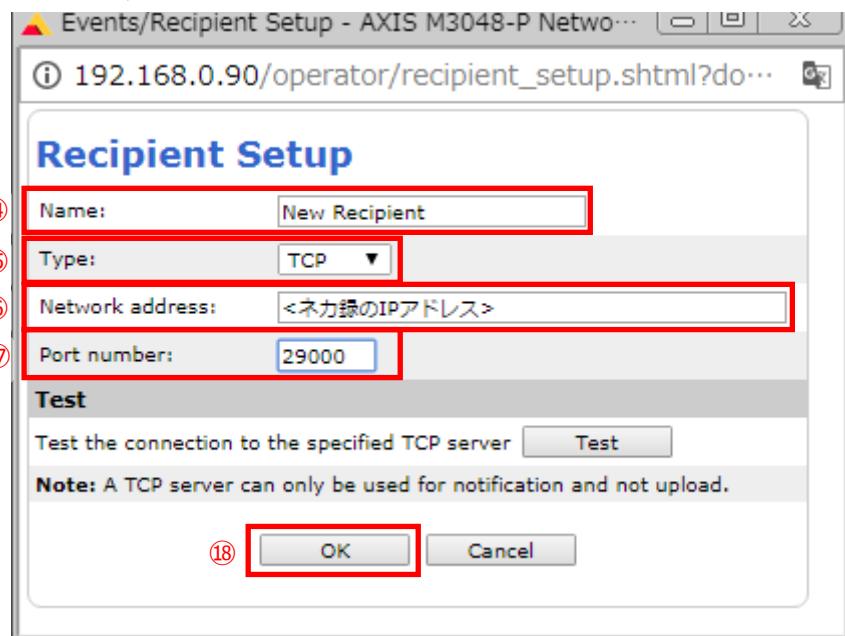
(手順9) 「Add」ボタンを押下します。



- (手順10) 新規に立ち上がった画面で、「Enable rules」にチェックを入れます。
- (手順11) 「Trigger」に「Applications」を指定し、手順5で作成したプロファイルを指定します。また Active は「Yes」を、スケジュールは「Always(No Schedule)」を選択します。
- (手順12) Actions の「Type」を「Send Notification」に設定して下さい。Message には「Motion Detected」とご記入下さい。メッセージの記入がない場合、通知が発行されずモーションディテクト連動ができません。
- (手順13) 「New Recipient」ボタンを押下し、通知先を設定します。



- (手順14) 通知先名はカメラ内での管理にのみ使用します。適宜ご設定下さい。
- (手順15) タイプを「TCP」に設定します。
- (手順16) ネットワークアドレスにはネカ録のIPアドレスを入力して下さい。
- (手順17) ポート番号には、このカメラを登録したカメラの番号に29000を足したものを入力します。更に、ユニット2のカメラの場合には、100を足して下さい。  
ユニット1のカメラ10番に登録する場合、29010です。  
ユニット2のカメラ10番に登録する場合、29110です。
- (手順18) 「OK」ボタンを押して設定を保存し、アクションルール設定の画面に戻ります。



- (手順19) 「OK」ボタンを押して設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

### 2.1.1.6 全方位カメラのビューエリア設定

Axis M3007-PV 等の全方位カメラには、ユーザが独自にビューエリア(パノラマから切り出して表示する領域)を設定できます。

- (手順1) 左のメニューの「ビデオ > ビューエリア」をクリックして下さい。
- (手順2) 表示される画面で、ビューエリア 1~4 のうち設定したいビューエリアを選択します。
- (手順3) 次の 3 つの要素を必要に応じて設定します。
  - 領域名 (カメラ上で管理するための名称)
  - 解像度
  - PTZ を有効にする

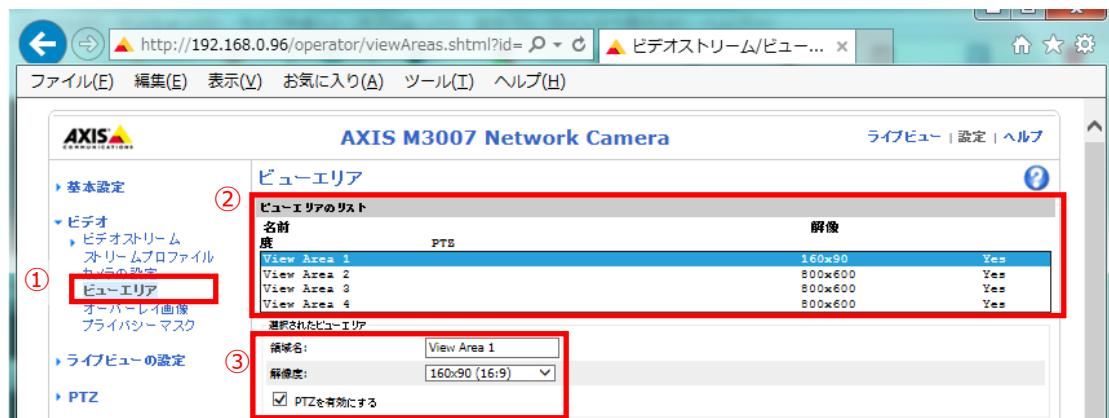


図 Axis M3007-PV のビューエリア設定例 1

- (手順4) 下側にある PTZ バーを操作して表示したい向きを決定します。
- (手順5) 画面下部の保存ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



図 Axis M3007-PV のビューエリア設定例 2

### 2.1.1.7 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの使用方法につきましては、同梱の「ネ力録 統合管理ツールユーザーズガイド」をご覧下さい。

AXIS カメラに設定できる項目とその内容を、表 AXIS カメラ用カメラ設定表に示します。この表を参考に、設定を行って下さい。

表 AXIS カメラ用カメラ設定表

フィールド名	JPEG	MJPEG	H.264																		
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、ネ力録の映像ビューアソフト「スーパーマルチビューア(SMV)」での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。																				
機種	AXIS を選択します。																				
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。																				
ポート	80 を入力します。																				
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。																				
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。																				
配信方式	JPEG を選択します。	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。																		
RTSP ポート	JPEG, MJPEG では入力できません。		554 を入力します。																		
解像度	QVGA, VGA, SXVGA, D1, CIF, 4CIF, HD, カメラ設定に従う の 8 種から選択します。 全方位カメラのパノラマビューなど特殊な解像度の映像を取得する場合は必ず「カメラ設定に従う」を選択して下さい。																				
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになりますが、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますのでご注意下さい。																				
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。(※1)																				
サブチャネル	AXIS 社製の 4 チャネルビデオエンコーダ (チャネル指定が必要なもののみ) に接続する場合に、対象カメラのチャネルを選択します。 通常のネットワークカメラや 1 チャネルのビデオエンコーダ、Q7404 など指定が不要な 4 チャネルビデオエンコーダには「指定なし」を選択して下さい。 全方位カメラ (M3007-PV) の場合、表示内容とサブチャネルは次のように対応しています。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表示内容</th><th>サブチャネル</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オーバービュー</td><td>Channel-1</td></tr> <tr> <td>パノラマ</td><td>Channel-2</td></tr> <tr> <td>2 分割パノラマ</td><td>Channel-3</td></tr> <tr> <td>4 分割パノラマ</td><td>Channel-4</td></tr> <tr> <td>ビューエリア 1</td><td>Channel-5</td></tr> <tr> <td>ビューエリア 2</td><td>Channel-6</td></tr> <tr> <td>ビューエリア 3</td><td>Channel-7</td></tr> <tr> <td>ビューエリア 4</td><td>Channel-8</td></tr> </tbody> </table>			表示内容	サブチャネル	オーバービュー	Channel-1	パノラマ	Channel-2	2 分割パノラマ	Channel-3	4 分割パノラマ	Channel-4	ビューエリア 1	Channel-5	ビューエリア 2	Channel-6	ビューエリア 3	Channel-7	ビューエリア 4	Channel-8
表示内容	サブチャネル																				
オーバービュー	Channel-1																				
パノラマ	Channel-2																				
2 分割パノラマ	Channel-3																				
4 分割パノラマ	Channel-4																				
ビューエリア 1	Channel-5																				
ビューエリア 2	Channel-6																				
ビューエリア 3	Channel-7																				
ビューエリア 4	Channel-8																				

フィールド名	JPEG	MJPEG	H.264
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。		カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。カメラ側で動き検知および通知の設定を実施した上で、ご使用下さい。
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネカ録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。		H.264 では入力できません。
変化値	計算した映像の変化値を、次の取得まで保持させたい場合にチェックします。 この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。		H.264 ではチェックできません。
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。		一部カメラは H.264+ 音声を出力しませんのでご注意下さい。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。		

 ポートおよび RTSP ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

## 2.2 ボッシュセキュリティシステムズ株式会社 製カメラ

ネ力録では、ボッシュセキュリティシステムズ株式会社製のネットワークカメラは、MIC IP dynamic 7000 HD シリーズ および MIC IP starlight 7000 HD シリーズ(以降、BOSCH カメラと表記します)をサポートしています。ここでは、BOSCH とネ力録の接続方法について記載します。ネ力録での接続の前に、カメラ側で下記を設定して下さい。

### ■事前設定が必須の項目

1. ベースフレームレートの設定

### ■必要に応じて事前設定が必要な項目

1. H.264 ストリームの動き検知設定
2. 解像度の設定
3. 画質の設定
4. フレームレートの設定

なお、機種やファームバージョンにより一部の項目で表記が異なる場合および設定できない場合がありますので、カメラの説明書を合わせてご参照下さい。



ネ力録では、BOSCH カメラの H.264 ストリーム 1 のみに対応しております。その他のストリームはネ力録には取り込めませんのでご留意下さい。



BOSCH カメラでは、ベースフレームレートが 30fps に設定できない機種があります。

※ベースフレームレートは 2.2.1.1 節を参考に確認してください。

ベースフレームレートが 30fps でない場合、ネ力録は「ネ力録でのカメラ設定」を BOSCH カメラに正しく反映させることができません。

その場合、解像度、品質およびフレームレートを事前にカメラ側で設定しておき、「ネ力録でのカメラ設定」で「他」を選択して使用する必要があるのでご留意下さい。詳細は 2.2.1.4~2.2.1.6、2.2.2 節を参照下さい。

## 2.2.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

1. Internet Explorer に BOSCH カメラの IP アドレスを入力します。
2. Web 設定のホーム画面が表示されます。
3. 画面の上側メニューの「設定」をクリックして下さい。

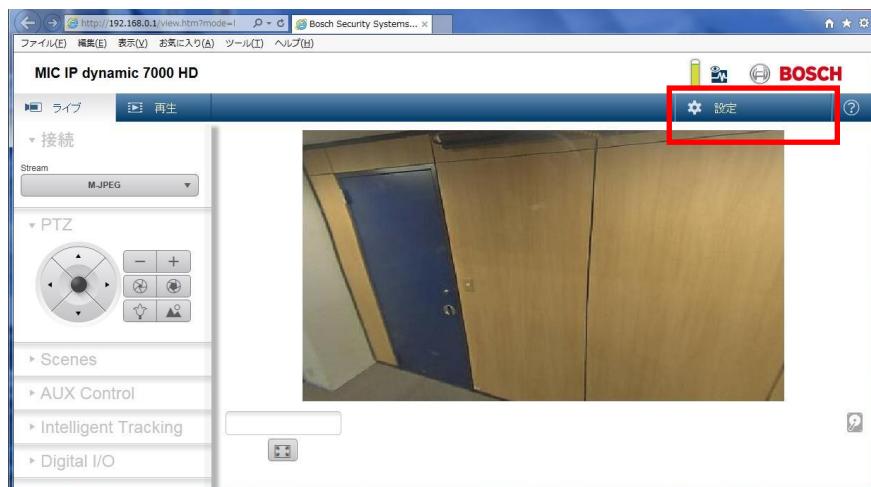


図 MIC IP dynamic 7000 HD の設定画面

## 2.2.1.1 ベースフレームレートの設定

ネ力録と BOSCH カメラを接続する際は、BOSCH カメラのベースフレームレートの値は 30fps で固定する必要があります。

- (手順1) 画面の左側メニューの「カメラ > インストーラメニュー」をクリックして下さい。
- (手順2) ベースフレームレートに 30fps が選択されているか確認して下さい。選択されていない場合は 30fps と選択して下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のインストーラメニュー



ベースフレームレートが 30fps でない場合、ネ力録側のfps設定とカメラの映像配信fpsにズレが生じます。また、設定によっては解像度:1080p(FHD)での映像配信ができないになりますので、注意下さい。

その場合、解像度、品質およびフレームレートを事前にカメラ側で設定しておき、「ネ力録でのカメラ設定」で「他」を選択してご使用下さい。

詳細は 2.2.1.4~2.2.1.6、2.2.2 節を参照下さい。

## 2.2.1.2 H.264 ストリームの動き検知

BOSCH カメラの動き検知機能を利用してことで、H.264 ストリーム受信時にもネカ録の動き検知機能を使用できます。

### シーン登録

BOSCH カメラの動き検知機能を使用するには、動き検知したいシーン(PTZ 位置)をあらかじめ登録する必要があります。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のシーンおよびツアー

- (手順1) 画面の左側メニューの「カメラ > シーンおよびツアー」をクリックして下さい。BOSCH カメラの機種によっては「カメラ > Pre-position and Tours」となっている場合があります。その場合は本手順のシーン表記を Pre-position 表記と読み替えて下さい。
- (手順2) 表示されたウインドウの右側にある PTZ コントローラで動き検知したいシーンへカメラを移動させます。
- (手順3) シーン項目の「+」ボタンをクリックします。
- (手順4) シーン番号をリスト選択し、任意の名称を記入して下さい。
- (手順5) 入力を終えたら「OK」ボタンを押して下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD の新しいシーンの追加

## VCA 登録

シーンを設定後、下記手順で、BOSCH カメラの動き検知機能を設定します。

BOSCH カメラの機種によってはシーン表記が Pre-positon 表記となっている場合があります。その場合は本手順のシーン表記を Pre-positon 表記と読み替えて下さい。

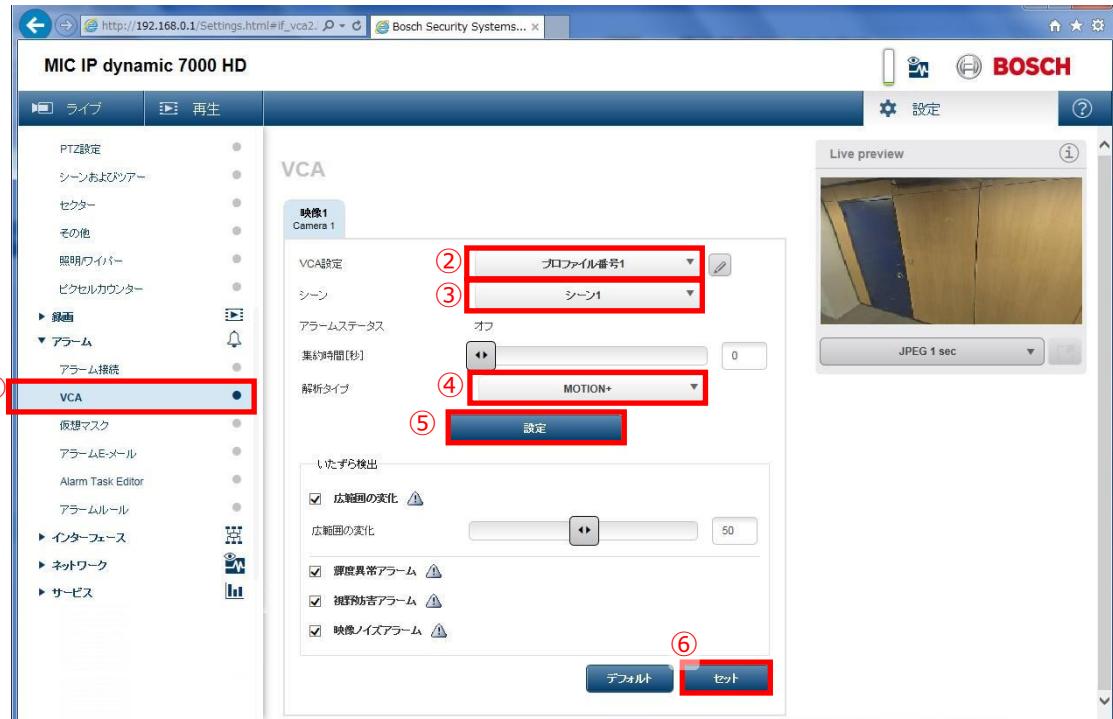


図 MIC IP dynamic 7000 HD の VCA

- (手順1) 画面の左側メニューの「アラーム > VCA」をクリックして下さい。
- (手順2) VCA 設定で「プロファイル番号 1」～「プロファイル番号 15」の中からいずれかを選択します。
- (手順3) 先程設定した「シーン」を選択します。
- (手順4) 「MOTION+」、「IVA」または「IVA Flow」のいずれかの解析タイプを選択します。
- BOSCH カメラの機種によっては「IVA」表記が「Intelligent Video Analytics」で、「IVA Flow」表記が「Intelligent Video Analytics Folw」となっている場合があります。
- 解析タイプについては、カメラの説明書を参照して下さい。

**(手順5)** 「設定」ボタンをクリックすると、動き検知のマスクエリアを指定できます。必要に応じて、「Add area」(BOSCH カメラの機種によっては「マスク追加」となっています)をクリックし、マスクしたいエリアを範囲指定して下さい。「セット」をクリックすると設定が適用され、VCA 設定画面に戻ります。

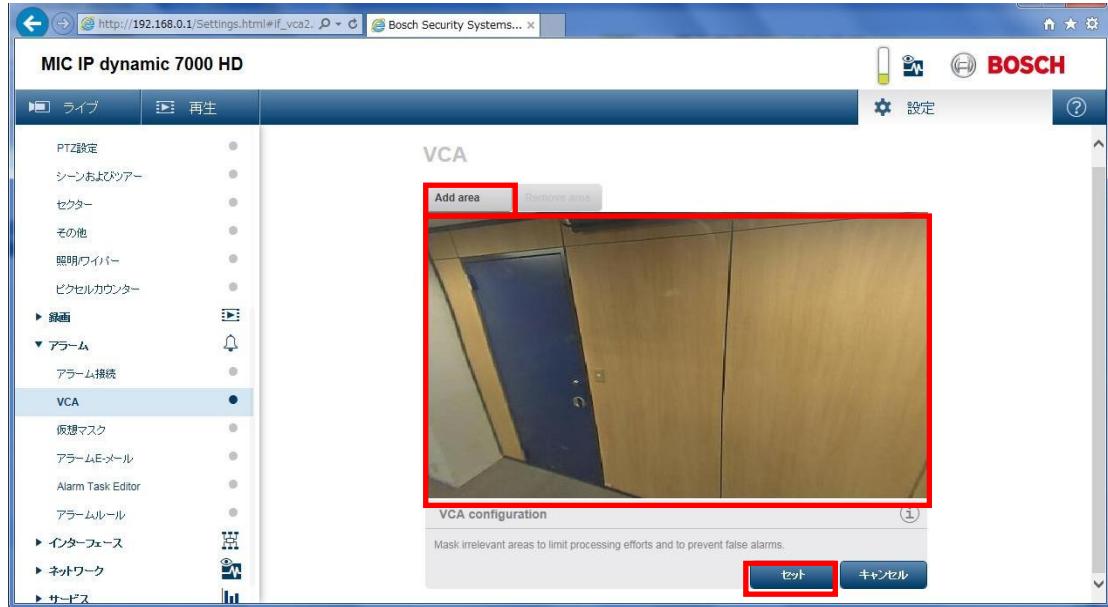


図 MIC IP dynamic 7000 HD のマスクエリア設定

**(手順6)** VCA 設定画面で「セット」ボタンを押すと、設定完了です。

**(手順7)** 動きを検知すると、VCA 設定画面のアラームステータスが「オン」になることを確認して下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のアラームステータス

**!** ネカ録で動き検知機能が動作するタイミングは、アラームステータスが「オン」のタイミング、つまり、カメラが動きありと判断したときです。カメラの設定画面上で十分に検証を実施のうえ、ご使用下さい。

**!** BOSCH カメラの動き検知を使用する場合、PTZ 操作の併用使用は控えて下さい。VCA 設定後、VCA に設定されているシーンと別の PTZ 位置にカメラを移動させると、動きが検出されなくなります。

**!** VCA 設定画面を開いている間は、VCA に設定の「シーン」で PTZ 位置が固定されます。ネカ録ビューアおよび SMV の PTZ 操作が効かなくなりますのでご留意下さい。

### 2.2.1.3 ユーザ認証

BOSCH カメラには3つの認証レベル(service、user または live)が存在し、レベルに応じて操作制限を加えることが可能です。BOSCH カメラの認証レベルについては、カメラの説明書を参照下さい。

各々の認証レベル(service、user または live)に異なるパスワードを設定可能ですが、ネカ録と接続する場合は、3つの認証レベルに同じパスワードを指定しておく必要があります。

BOSCH カメラの機種やファームウェアのバージョンにより、ユーザ認証画面のインターフェースが多少異なりますので、次のパターンのいずれかを参考に設定して下さい。

#### I パターン1



図 MIC IP dynamic 7000 HD のパスワード

- (手順1) 左側のメニューから「全般 > パスワード」をクリックして下さい。
- (手順2) 各認証レベルのパスワードに、同一のものを入力して下さい。
- (手順3) 「セット」ボタンをクリックして下さい。

**!** 3つの認証レベルに同一のパスワードを設定しなかった場合、ネカ録が BOSCH カメラの認証に失敗し、下表に示す操作ができなくなります。

認証レベル	認証に失敗した場合、できなくなる操作
service	ネカ録ビューアまたは SMV からのカメラ制御の一部(ワイパー、白色ライト、赤外線、明るさまたは自動フォーカス)
user	ネカ録ビューアまたは SMV からのカメラ制御全般、および、ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面での設定変更
live	ネカ録への映像配信

## II パターン2

図 MIC IP starlight 7000 HD のパスワード

- (手順1) 左側のメニューから「全般 > ユーザ管理」をクリックして下さい。  
 (手順2) パスワードを変更する際は、変更アイコンをクリックして変更して下さい。  
 また、各認証レベルのパスワードに、同一のものを入力して下さい

**!** 3つの認証レベルに同一のパスワードを設定しなかった場合、ネカ録が BOSCH カメラの認証に失敗し、下表に示す操作ができなくなります。

認証レベル	認証に失敗した場合、できなくなる操作
service	ネカ録ビューアまたは SMV からのカメラ制御の一部(ワイヤー、白色ライト、赤外線、明るさまたは自動フォーカス)
user	ネカ録ビューアまたは SMV からのカメラ制御全般、および、ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面での設定変更
live	ネカ録への映像配信

## 2.2.1.4 解像度

ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面で「他」をチェックした場合に、カメラ側で配信する解像度を設定して下さい。

**⚠** カメラ設定画面の「他」は、解像度、品質およびfpsをカメラ側の設定に従って配信したい場合にチェックします。

### 1080p(FHD)、720p(HD)で配信したい場合



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダーストリーム

- (手順1) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダーストリーム」をクリックして下さい。
- (手順2) ストリーム1の「プロパティ」に「H.264 MP 720p 固定」もしくは「H.264 MP 1080p 固定」を選択して下さい。  
BOSCH カメラの機種によっては、「プロパティ」に「H.264 MP 720p 50/60 固定」しか選択できないものもあります。その場合は、「H.264 MP 720p 50/60 固定」を選択して下さい。
- (手順3) 「セット」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

## 1080p(FHD)、720p(HD)以外で配信したい場合

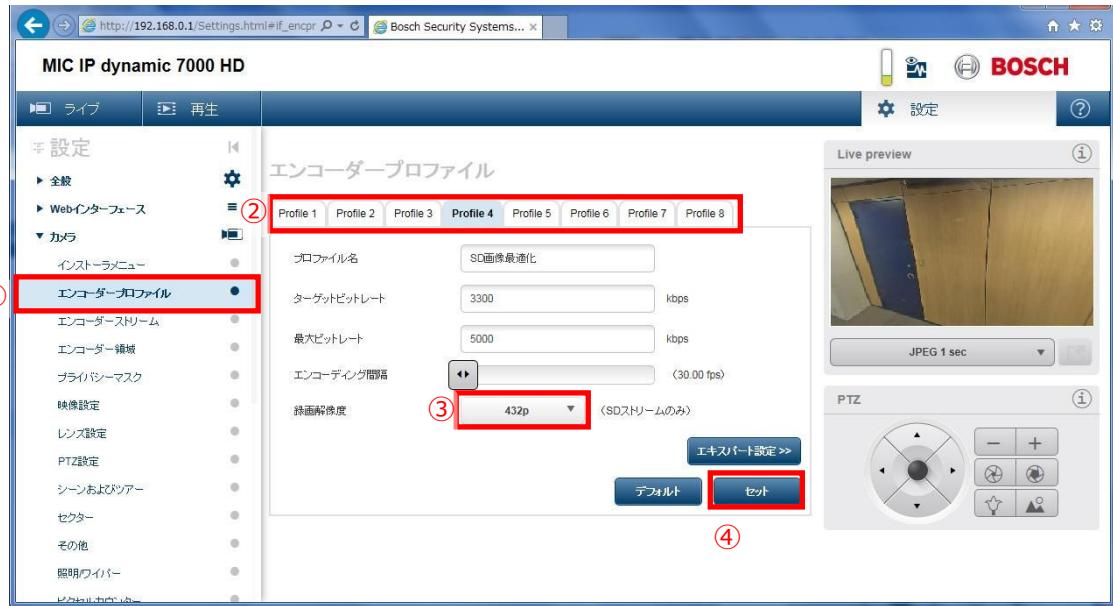


図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダープロファイル

- (手順1) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダープロファイル」をクリックして下さい。
- (手順2) 「Profile 1」～「Profile 8」タブのいずれかを選択して下さい。
- (手順3) 「録画解像度」に配信したい解像度を選択して下さい。
- (手順4) 「セット」ボタンをクリックして下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダーストリーム

- (手順5) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダーストリーム」をクリックして下さい。
- (手順6) ストリーム 1 の「プロパティ」に「H.264 MP 標準解像度」を選択して下さい。
- (手順7) ストリーム 1 の「非録画用プロファイル」に(手順 2)で選択したプロファイルを選択して下さい。
- (手順8) 「セット」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

## 2.2.1.5 フレームレート

ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面で「他」をチェックした場合に、カメラ側で配信するフレームレートを設定して下さい。

**⚠** カメラ設定画面の「他」は、解像度、品質およびfpsをカメラ側の設定に従って配信したい場合にチェックします。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダープロファイル

- (手順1) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダープロファイル」をクリックして下さい。
- (手順2) 「Profile 1」～「Profile 8」タブのいずれかを選択して下さい。
- (手順3) 「エンコーディング間隔」に配信したいフレームレートを選択して下さい。
- (手順4) 「セット」ボタンをクリックして下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダーストリーム

- (手順5) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダーストリーム」をクリックして下さい。
- (手順6) ストリーム 1 の「非録画用プロファイル」に(手順 2)で選択したプロファイルを選択して下さい。
- (手順7) 「セット」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

## 2.2.1.6 画質

ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面で「他」をチェックした場合に、カメラ側で配信する画質を設定して下さい。

**⚠** カメラ設定画面の「他」は、解像度、品質およびfpsをカメラ側の設定に従って配信したい場合にチェックします。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダープロファイル

- (手順1) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダープロファイル」をクリックして下さい。
- (手順2) 「Profile 1」～「Profile 8」タブのいずれかを選択して下さい。
- (手順3) 「ターゲットビットレート」と「最大ビットレート」にビットレートを指定します。詳しくは、カメラの説明書を参照して下さい。
- (手順4) 「セット」ボタンをクリックして下さい。



図 MIC IP dynamic 7000 HD のエンコーダーストリーム

- (手順5) 左側のメニューから「カメラ > エンコーダーストリーム」をクリックして下さい。
- (手順6) ストリーム 1 の「非録画用プロファイル」に(手順 2)で選択したプロファイルを選択して下さい。
- (手順7) 「セット」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。

## 2.2.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツール ユーザーズガイドをご覧下さい。

BOSCH カメラに設定できる項目とその内容を、表 BOSCH カメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 BOSCH カメラ用カメラ設定表

フィールド名	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。
機種	BOSCH を選択します。
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。
ポート	80 を入力します。
ユーザ名	カメラ側で「パスワード」を設定している場合は、「service」と入力します。「パスワード」を設定していない場合は、空欄のままとして下さい。
パスワード	カメラ側で「パスワード」を設定している場合は、ユーザ名「service」に対応するパスワードを入力します。「パスワード」を設定していない場合は、空欄のままとして下さい。
配信方式	選択できません (H.264 で配信されます)。
RTSP ポート	554 を入力します。
解像度	WD144,WD288,WD432,HD または FHD の 5 種から選択します。
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど高ビットレート設定で配信されます。
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。
他	解像度、品質および fps をカメラ側の設定に従って配信したい場合にチェックします。ネ力録で設定範囲外の解像度、品質および fps で映像配信したい場合にチェックして下さい。
動き検知	カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。



ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。



ユーザ名は、使用したい操作権限にかかわらず「service」とご入力下さい(2.2.1.3 節 参照)。



パスワードは、各認証レベルで同一である必要があります(2.2.1.3 節 参照)。



RTSP ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。



品質は、ネカレ設定に対して、カメラ側の設定は、次のように設定されます。

ネカレ設定		カメラ側の設定	
解像度	品質	ターゲット ビットレート	最大 ビットレート
WD144, WD288, WD432	1~33	750kbps	1500kbps
	34~66	1300kbps	2600kbps
	67~100	3300kbps	5000kbps
HD, FHD	1~33	2500kbps	4500kbps
	34~66	4000kbps	7000kbps
	67~100	8000kbps	12000kbps



fps は、1~30 で指定可能ですが、「1,2,3,5,6,10,15 または 30」fps のみに対応しています。非対応の fps を指定した場合(ex.4fps)、繰り上げの隣接対応 fps(ex.5fps)で配信されますのでご留意下さい。



カメラ側の設定で、ベースフレームレートを 30fps 以外に設定すると、指定の fps と異なる fps で配信されますのでご留意下さい(2.2.1.1 参照)。



「他」は、「2.2.1.4 節～2.2.1.6 節」を参照し、解像度、品質および fps をカメラ側で事前設定した上で、使用して下さい。



カメラの動き検知を使用するは、「2.2.1.2 節」を参照し、カメラ側で動き検知を設定した上で、使用して下さい。



カメラ側の設定のエンコーダプロファイルの Profile1 およびエンコーダストリームのストリーム 1 は、ネカレで使用しますので、「他」チェック時を除き、手動での設定をしないようお願いします。



ネカレ統合管理ツールのカメラ設定画面から解像度を指定する際に、カメラ側のエンコーダストリームのプロパティが、「ストリーム 1 < ストリーム 2」となる場合はストリーム 2 のプロパティが「H.264 MP 標準解像度」に変更されますのでご留意下さい。



複数の PC から 1 台の BOSCH カメラに対して同時に過度なカメラ制御を行うと、照明が点灯しなくなってしまう場合があります。

この場合、カメラ電源を入れ直すことで照明が点灯するようになりますのでご対処のほどお願い致します。

## 2.3 キヤノン株式会社製カメラ

キヤノン株式会社製ネットワークカメラ（以降、キヤノンカメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の6つの設定を入力できます。

1. 帯域の制限
2. 解像度の設定
3. 画質の設定
4. フレームレートの設定
5. 音声出力方式の設定
6. H.264ストリームの動き検知設定

ネカ録での接続の前に上記のうち必要なものをご設定下さい。

なお、機種により一部の項目で表記が異なる場合および設定できない場合がありますので、カメラの説明書を合わせてご参照下さい。

### 2.3.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラのWeb設定画面を開いて下さい。

1. Internet ExplorerにキヤノンカメラのIPアドレスを入力します。
2. Web設定のホーム画面が表示されます。



図 VB-M40 のホーム画面

### 2.3.1.1 帯域制限

多数のネットワークカメラを1本のLANケーブルに集約する場合など、ネットワークカメラ1台あたりの帯域を制限する必要がある場合、この設定を行って下さい。  
ホーム画面から「設定ページ」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

- (手順1) 左側のメニューから「映像」を選択します。  
(手順2) 「ビットレート制御」で「ビットレート制御する」を選択し、下にある「目標ビットレート」で上限となる帯域を指定して下さい。

例：100MbpsのLANに20台のカメラをつなぐ場合、

$$100\text{Mbps} \div 20 \text{台} = 5\text{Mbps}$$

となり、5Mbpsが上限になります。

ただし、実際にはLANの伝送効率がありますので、最終的に設定する値は、ここで算出した値の8割ほどを推奨します（この例では $5 \times 0.8$ で4Mbpsになります）。

- (手順3) 「適用」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



図 VB-M40 の帯域制限

### 2.3.1.2 解像度

ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面で「新プロトコル」を使用しない場合および「新プロトコル」を使用して H.264 ストリームを受信する場合は、カメラ側で配信する解像度を設定して下さい。

ホーム画面から「設定ページ」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

- (手順1) 左側のメニューから「映像」を選択します。
- (手順2) JPEG または MJPEG ストリームの設定の場合は JPEG の項目にある「映像サイズ」: 映像配信、H.264 の場合は H.264 の項目にある「映像サイズ」から、解像度を選択します。
- (手順3) 「適用」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。H.264 の場合はカメラの再起動をお待ち下さい。



図 VB-M40 の解像度設定



#### 解像度の設定について

カメラの機種によっては、カメラ側に「映像サイズセット」という指定項目があります。ネカ録統合管理ツールで指定する解像度が、この「映像サイズセット」に含まれていないと正しく表示できません。本項目に関しては、カメラの説明書をご参照下さい。



図 映像サイズセットの指定画面

### 2.3.1.3 画質

キヤノンカメラでは、画質はカメラ側でのみ設定できます。

ホーム画面から「設定ページ」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

(手順1) 左側のメニューから「映像」を選択します。

(手順2) JPEG または MJPEG ストリームの設定の場合は JPEG の項目にある「映像品質」で画質を指定します。

H.264 の場合は H.264 の項目にある「ビットレート制御」を「ビットレート制御しない」にしてから、その下の「映像品質」で画質を指定します。

(手順3) 「適用」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



図 VB-M40 の画質設定

### 2.3.1.4 フレームレート

ネカ録統合管理ツールのカメラ設定画面で「新プロトコル」を使用し、H.264ストリームを使用する場合、配信フレームレートはカメラ側で設定して下さい。

ホーム画面から「設定ページ」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

- (手順1) 左側のメニューから「映像」を選択します。
- (手順2) H.264の項目にある「フレームレート(fps)」でフレームレートを指定します。
- (手順3) 「適用」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。カメラの再起動をお待ち下さい。



図 VB-M40 のフレームレート設定

### 2.3.1.5 音声

キヤノンカメラから入力される音声をネカレ録で録音する場合、次のように設定して下さい。ホーム画面から「設定ページ」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

- (手順1) 左側のメニューから「サーバー」を選択します。
- (手順2) オーディオサーバーの項目にある「カメラからの音声送信」で「送信する」を指定します。
- (手順3) 「音声入力モード」は、コンデンサマイクをカメラに直接接続している場合は「マイク・イン(コンデンサーマイク)」を、アンプ等を介して接続する場合は「ライン・イン」を選択して下さい。
- (手順4) 「適用」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



図 VB-M40 の音声出力設定

### 2.3.1.6 H.264 ストリームの動き検知

キヤノンカメラの動き検知機能を利用することで、H.264 ストリーム受信時にもネカ録の動き検知機能を使用できます。

ホーム画面から「管理ツール」を開き、管理者のユーザ名とパスワードを入力しておきます。

- (手順1)** 表示されるメニューから「インテリジェント機能設定ツール」をクリックします。再度ユーザ認証が求められますので、ID とパスワードを入力して下さい。

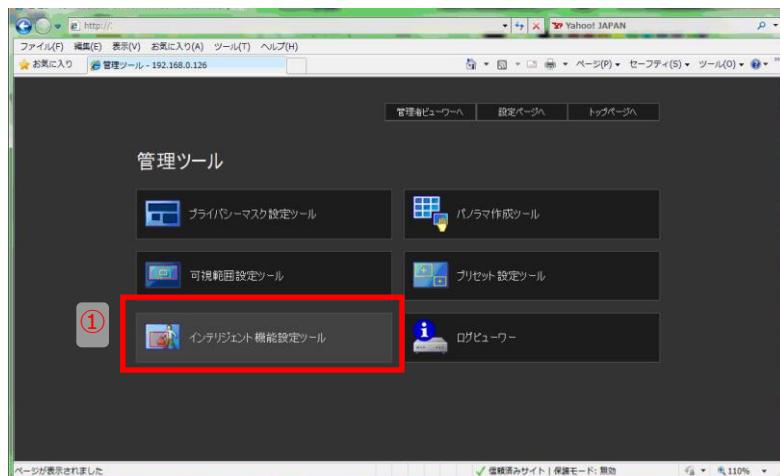


図 VB-M40 の管理ツール

- (手順2)** 表示されたウィンドウの右上にある「検知設定一覧」の「追加」をクリックします。  
**(手順3)** 「検知種別」に「動体検知」を指定して下さい。  
**(手順4)** 左の画面上に色付きの領域が表示されます。カメラはこの領域内の動きを検知します。クリック&ドラッグで適切な形に変形させて下さい。  
**(手順5)** 右下にある「設定の保存」ボタンを押して設定を保存し、設定完了です。



図 VB-M40 のインテリジェント機能設定

**!** ネカ録で動き検知機能が動作するタイミングは、設定した領域のうちいずれか 1 つ以上の中で動きがあったとカメラが判断したときになっています。

カメラの設定画面上で十分に検証を実施のうえ、ご使用下さい。

## 2.3.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

キヤノンカメラに設定できる項目とその内容を、表 キヤノンカメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 キヤノンカメラ用カメラ設定表

フィールド名	JPEG	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。		
機種	Canon を選択します。		
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。		
ポート	80 を入力します。		
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。		
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。		
配信方式	JPEG を選択します。	MJPEG を選択します。	H.264 を指定します。
解像度	QVGA, VGA, SXVGA, FHD/16, FHD/4, FHD の 6 種から選択します。		H.264 では選択できません。
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。		H.264 では入力できません。
他	音声・PTZ 以外の項目をカメラ設定で指定できるようにする場合、これをチェックします。ただし、VB-M40, VB-M600, VB-M700 よりも古い機種に対しては設定しないで下さい。		
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。		カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。 カメラ側で動き検知および通知の設定を実施した上で、使用して下さい。
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。		H.264 では入力できません。
変化値	計算した映像の変化値を、次の計算まで維持する場合にチェックします。 この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。		H.264 ではチェックできません。
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。		
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。		

 ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

 カメラの機種によっては、ネカ録統合管理ツールで指定する解像度のサイズは、カメラ側の設定での「映像サイズセット」で指定したサイズに含まれていないと、正しく表示できません。「映像サイズセット」に関する詳細は、カメラの説明書をご参照下さい。

## 2.4 三菱電機株式会社製カメラ (DIGITAL MELOOK シリーズ)

三菱電機株式会社製ネットワークカメラ(以降、DIGITAL MELOOK と表記します)は、ネ力録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の 3 つの設定を入力できます。

1. 画像配信設定
2. 音声設定
3. モーションディテクトに関する設定

ネ力録での接続の前に、以上の項目のうち必要なものをご設定下さい。

なお詳細につきましては、DIGITAL MELOOK 付属の専用設定ツール「Camera Setup Tool」の説明書をご参照下さい。

 DIGITAL MELOOK のマルチキャスト配信機能をご使用になる場合は、本節ではなく 2.111 節をご参照下さい。

### 2.4.1 カメラ側での設定

Camera Setup Tool に、設定したい DIGITAL MELOOK の IP アドレスを入力して実行して下さい。

なお、DIGITAL MELOOK の設定ではネ力録統合管理ツールのカメラ設定画面にて登録する「カメラ番号」が重要な要素です。あらかじめ各カメラに登録先番号(1~64)を割り振っておいて下さい。本章では、この割り振った番号を単に「カメラ番号」と表記します。

 Camera Setup Tool とネ力録から同時にカメラへアクセスすることはできません。  
Camera Setup Tool でのカメラ設定は、ネ力録に設定を入力する前か、ネ力録のカメラを「中断状態」にしてから実施して下さい。

## 2.4.1.1 画像配信設定

DIGITAL MELOOK に映像・音声の配信先 IP アドレスを設定する必要があります。次の手順で設定を入力して下さい。

- (手順1)** 画面左側の「設定メニュー」から「画像配信設定」を選択します。図では、ストリーム 1 を使用したときを例にして説明しています。
- (手順2)** 音声を使用する場合、「配信アドレス」に接続先ネ力録のアドレスを入力します。  
「符号方式」には、MJPEG 映像を取得したい場合は「JPEG」、H.264 映像の場合は「H.264」を選択します。  
「ヘルスチェック」は、ストリーム 1, 2 ともに必ず ON にして下さい。
- (手順3)** 音声を使用しない場合、「配信アドレス」は初期設定値である“224.1.1.1”のままにして下さい。
- (手順4)** 設定を入力し終えたら「書き込み」ボタンを押して設定を適用し、カメラを再起動します。

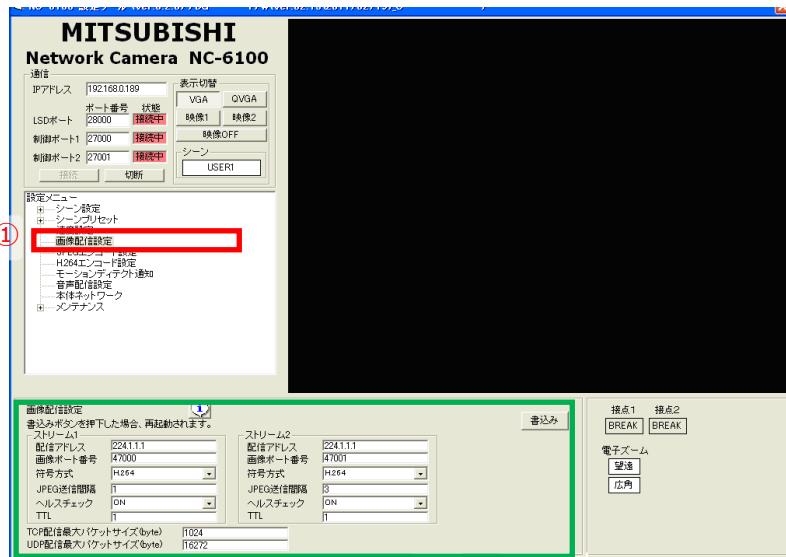


図 三菱 DIGITAL MELOOK NC-6100 の画像配信設定

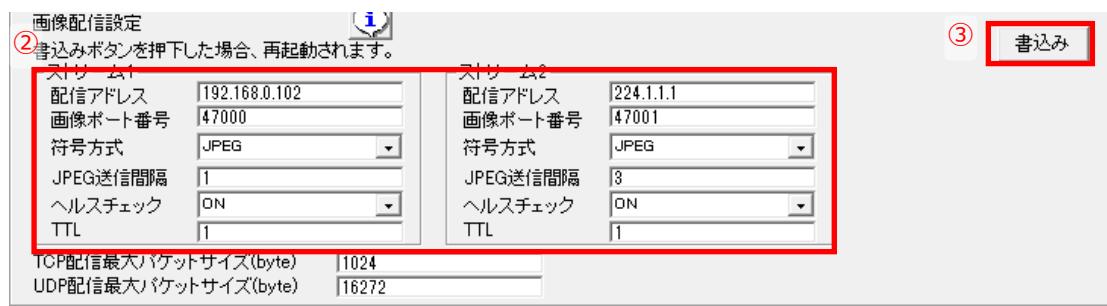


図 三菱 DIGITAL MELOOK NC-6100 の画像配信設定(緑枠部分を拡大)

カメラの設定では、2ストリームでの映像配信が可能です。ただし、ストリーム1でJPEG、ストリーム2でH.264という配信設定の場合、ネ力録で映像を取得できません。この設定にはしないようご注意下さい。

## 2.4.1.2 音声

三菱 DIGITAL MELOOK から入力される音声をネクタで録音したい場合、次のように設定して下さい。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「音声配信設定」を選択します。
- (手順2) 配信設定を「ON: 起動時配信する」にし、配信 IP アドレス設定でストリーム 1 か 2 を選択して下さい。選択したストリームの IP アドレスにのみ音声が配信されます。
- (手順3) 配信先ポートには、このカメラを登録するカメラの番号に 31000 を足したもの を入力します。更に、ユニット 2 のカメラの場合は、100 を足して下さい。
- ユニット 1 のカメラ 10 番に登録する場合、31010 です。
- ユニット 2 のカメラ 10 番に登録する場合、31110 です。

 2 台以上のカメラで同じポート番号が設定されている場合、正常な映像と音声をネクタで受信できなくなることがあります。

- (手順4) 設定を確認し、「書き込み」ボタンを押して設定を適用した後、「再起動」ボタンを押して下さい。

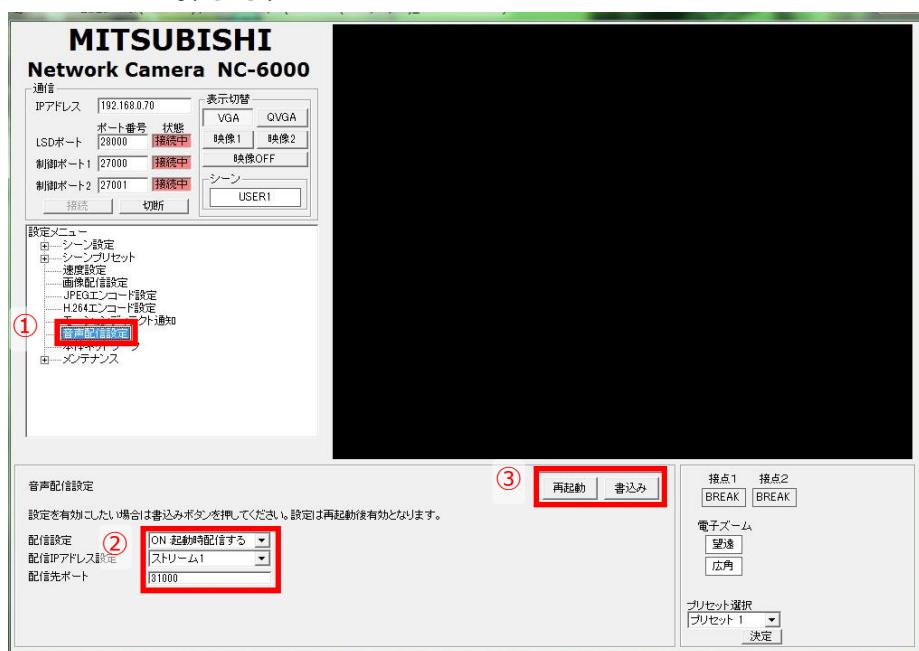


図 三菱 DIGITAL MELOOK NC-6000 の音声配信設定

### 2.4.1.3 H.264 ストリームの動き検知

DIGITAL MELOOK の映像配信方法を H.264 に設定し、サテライトで動き検知機能を使用する場合には、カメラ側で次の 2 つの設定を行って下さい。

1. シーンプリセットにて、モーションディテクトの設定
2. モーションディテクト通知の設定

ここでは、「シーンプリセット 1」でモーションディテクトの設定を使用する場合の操作について説明します。

#### ① モーションディテクトの設定

- (手順1)** Camera Setup Tool の画面左側の「設定メニュー」から「シーンプリセット 1~16」をダブルクリックします。
- (手順2)** 「シーンプリセット 1」から「シーンプリセット 16」までが展開しますので、「シーンプリセット 1」をクリックします。
- (手順3)** 画面の下部に表示される「モーションディテクト」を「ON」に設定して下さい。
- (手順4)** 必要に応じて「マスク設定」等、モーションディテクトの設定を行って下さい。
- ⚠️** 各設定項目の詳細は、Camera Setup Tool のマニュアルをご参照の上、設定して下さい。
- (手順5)** 設定後、「書込み」ボタンをクリックして下さい。これでモーションディテクトの設定は完了です。

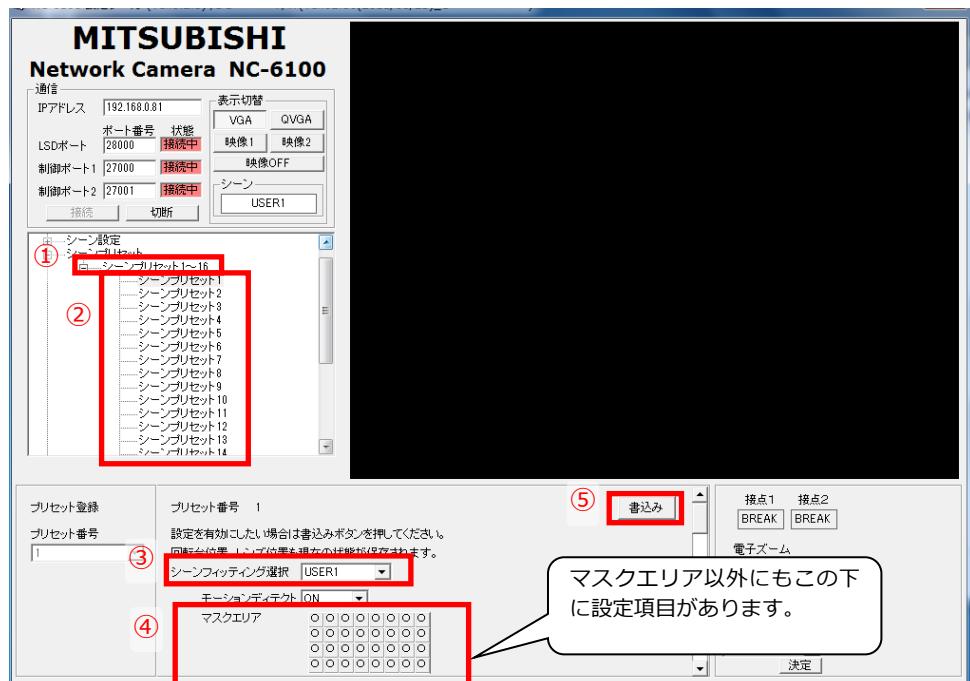


図 三菱 DIGITAL MELOOK NC-6100 のシーンプリセット設定

## ②モーションディテクト通知の設定

(手順1) Camera Setup Tool の画面で「モーションディテクト通知」をダブルクリックします。

(手順2) 画面下部に表示される通知設定に次のように入力します。

- IP アドレス : ネカ録の IP アドレス
- ポート番号 : このカメラを登録するカメラの番号に 29000 を足したもの を入力します。更に、ユニット 2 のカメラの場合は、100 を足して下さい。

ユニット 1 のカメラ 10 番に登録する場合、29010 です。

ユニット 2 のカメラ 10 番に登録する場合、29110 です。

(手順3) 入力後、「書込み」ボタンをクリックして下さい。これでモーションディテクト通知の設定は完了です。

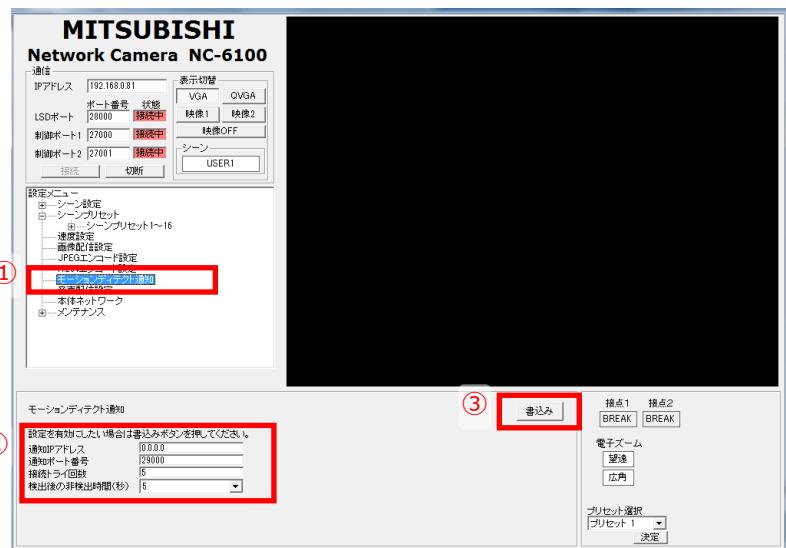


図 三菱 DIGITAL MELOOK NC-6100 のモーションディテクト通知設定

**⚠** ネカ録で動き検知機能が動作するタイミングは、カメラが映像内に動きがあったと判定したときになっています。

カメラの動き検知パラメータ等について、カメラの説明書に従い十分に検証を実施のうえ、ご使用下さい。

## 2.4.2 ネ力録でのカメラ設定

DIGITAL MELOOK に設定できる項目とその内容を、表 DIGITAL MELOOK 用カメラ設定表に示します。この表を参考に、設定を行って下さい。

表 DIGITAL MELOOK 用カメラ設定表

フィールド名	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	三菱 DIGITAL MELOOK を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
ポート	1 ストリーム目を使用する場合は、27000 を入力します。 2 ストリーム目を使用する場合は、27001 を入力します。 (※1)	
配信方法	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
解像度	QQVGA, QVGA, VGA, SXVGA の 4 種から選択します。	QVGA, VGA, SXVGA の 3 種から選択します。
品質	1-100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになりますが、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますのでご注意下さい。 (※2)	
fps	1, 2, 3, 5, 6, 10, 15, 30 のいずれかを入力します。	5, 10, 15, 30 のいずれかを入力します。
I フレーム間隔	MJPEG では入力できません。	5, 6, 10, 15, 30 の 5 種のうち、フレームレート以下の値から選択します(6 はフレームレートが 30 のときにのみ選択できます)。 何フレームに 1 回頭出し再生の起点になるフレーム (I フレーム) を送るかを決めるための値で、フレームレートと同じ値を選択すると 1 秒に 1 回の頭出しが可能になります。
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。	カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。カメラ側で動き検知および通知の設定を実施した上で、ご使用下さい。
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。	H.264 では入力できません。

フィールド名	MJPEG	H.264
変化値	計算した映像の変化値を、次の取得まで保持させたい場合にチェックします。 この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション4.4.2の補足説明をご参照下さい。	H.264 ではチェックできません。
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。	
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。 (※3)	
優先設定	MJPEG では指定できません。	「画質優先」と「フレームレート優先」から選択します。 画質優先では、映像の画質を一定に保ちますがフレームレートが低下する場合があります。 フレームレート優先では指定のフレームレートを保ちますが画質が低下する場合があります。



※1：制御ポート番号は任意に指定することもできます。

- 1ストリーム目を使用する場合は、必ず「Camera Setup Tool」の「ネットワーク設定」  
-「ソケット1 制御ポート」で設定した値と一致させて下さい。
- 2ストリーム目を使用する場合は、必ず「Camera Setup Tool」の「ネットワーク設定」  
-「ソケット2 制御ポート」で設定した値と一致させて下さい。



※2：「MELOOK DG2 の品質変換テーブルを開く」ボタンをクリックすると、「三菱  
DIGITAL MELOOK 品質変換」テーブルが表示されます。

ネカ録 5 設定ツール

2017-03-14 13:36:03 L7admin メニュー ログアウト

メニュー表示/非表示 ユニット#1 / カメラ設定:   保存情報をネカ録に反映する

カメラ設定一覧 選択カメラNo.1

■ カメラ設定の変更 選択カメラの状態変更:★★▶有効■中断■無効

No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	GOV	他	ライブ音声	PTZ操作	サブチャネル	音声ホート
1	CAM-1	なし																
2	CAM-2	なし																
3	CAM-3	なし																
4	CAM-4	なし																
5	CAM-5	なし																
6	CAM-6	なし																
7	CAM-7	なし																
8	CAM-8	なし																
9	CAM-9	なし																
10	CAM-10	なし																
11	CAM-11	なし																
12	CAM-12	なし																
13	CAM-13	なし																
14	CAM-14	なし																
15	CAM-15	なし																
16	CAM-16	なし																
17	CAM-17	なし																
18	CAM-18	なし																

※録音する場合は、ネカ録共通設定の「録音設定」にチェックが必要です。あわせて、本画面の「ライブ音声」の項目が「チェックあり」と設定されたカメラのみ録音されます。  
 ※機種でマルチキャストカメラを登録した場合、RTSPポートはマルチキャストカメラの「トータルの音入出力」にあります。  
 ※MELOOK D62及びMELOOK3の品質の値は右のリンクを参照して設定してください。[\[MELOOK D62の品質変換テーブルを開く\]](#) [\[MELOOK3の品質変換テーブルを開く\]](#)  
 ※「カメラ状態の変更★★」は、「有効」「中断」および「無効」ボタンをクリックしたタイミングで表示されます。ソース「1」は、一度かかるカメラを選択して、再度、グリッド上のカメラを選択したときに、最新状態を表示します。

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

「三菱 DIGITAL MELOOK 品質変換」テーブルにある通り、品質のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれた圧縮率がカメラに設定されます。参照するテーブルは、配信方法と解像度によって異なります。  
 圧縮率を大きくすると、画質が向上しますが、保存される映像のファイルサイズが大きくなります。逆に圧縮率を小さくすると、保存される映像のファイルサイズが小さくなりますが、画質が低下します。

ネカ録 - Internet Explorer

**品質変換テーブル**

この変換テーブルは、「機種」に「三菱DIGITAL MELOOK」を選択した場合の「品質」と三菱カメラのカメラ側の設定「圧縮率」・「ピットレート」との変換テーブルです。三菱カメラの画像品質を調整する場合に用います。

■「配信方法」に「MJPEG」を選択した場合

「品質」⇒「圧縮率」の変換テーブルです。「品質」のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれた圧縮率が設定されます。

圧縮率	1/90	1/40	1/30	1/25	1/20	1/15	1/10
品質	1~14	15~28	29~43	44~57	58~71	72~85	86~100

■「配信方法」に「H.264」を選択した場合

「品質」⇒「ピットレート」の変換テーブルです。「品質」のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれたピットレートが設定されます。

解像度:「QVGA」の場合

ピットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096	6144	8192
品質	1~17	18~34	35~51	52~68	69~85	86~100	×	×	×	×	×

解像度:「VGA」の場合

ピットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096	6144	8192
品質	×	1~14	15~28	29~43	44~57	58~71	72~85	86~100	×	×	×

解像度:「SXVGA」の場合

ピットレート (Kbps)	256	384	512	768	1024	1536	2048	3072	4096	6144	8192
品質	×	×	×	1~12	13~24	25~36	37~49	50~61	62~74	75~86	87~100



※3 : スーパーマルチビューアまたはネカ録ビューアの ver.2.71 以前をご使用の場合、旋回やズーム等の PTZ 動作が、一度の操作で限界まで動いてしまいます。必ずビューアもネカ録 5.0.00 以降のもの(ver.3.50 以降)にアップデートの上、ご使用下さい。同様の理由で、DIGUARD Net SDK からの DIGITAL MELOOK への PTZ 操作は行わないようお願いします。

## 2.5 三菱電機株式会社製カメラ(MELOOK3)

三菱電機株式会社製ネットワークカメラ(以降、MELOOK3 と表記します)は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で JPEG 配信、音声および DHCP に関する設定を入力する必要があります。

ネカ録での接続の前に、必ずご設定下さい。

なお詳細につきましては、MELOOK3 付属の専用設定ツール「Camera Setup Tool」の説明書をご参照下さい。

 MELOOK3 カメラのマルチキャスト配信機能をご使用になる場合は、本節ではなく 2.112 節をご参照下さい。

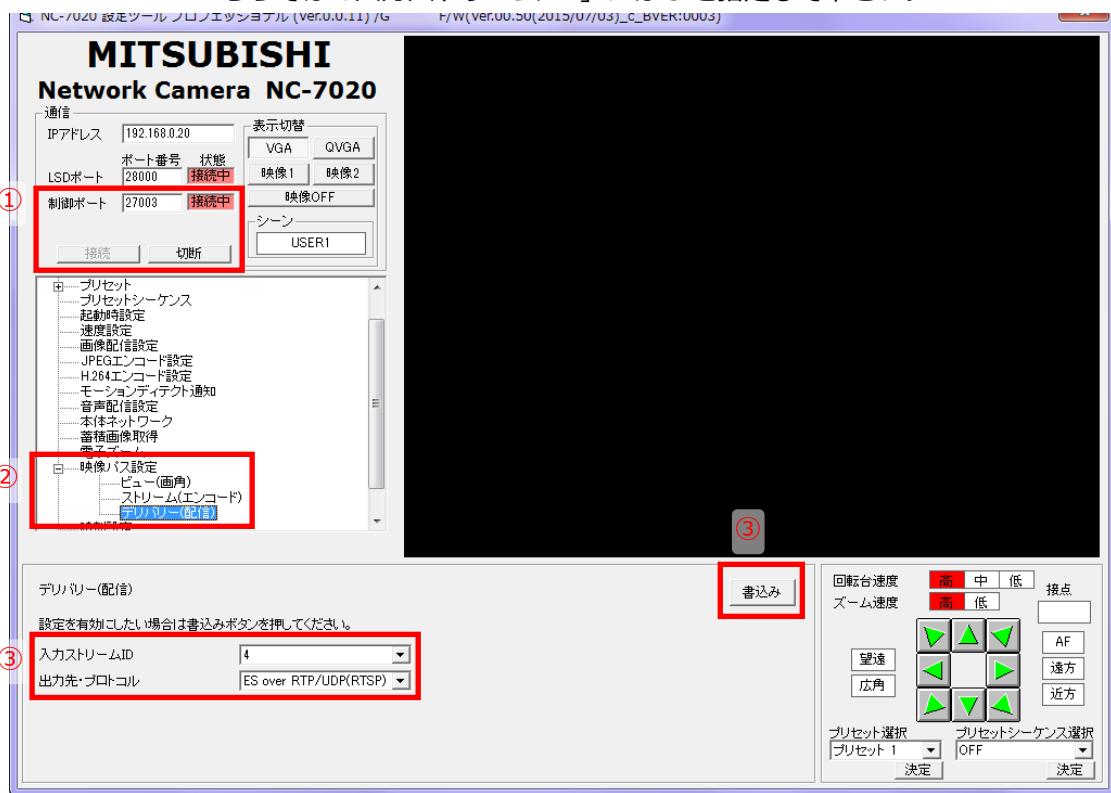
## 2.5.1 カメラ側での設定

Camera Setup Tool に、設定したい MELOOK3 の IP アドレスを入力して実行して下さい。

### 2.5.1.1 JPEG 符号方式

MELOOK3 カメラから MJPEG 映像を取得する場合には、カメラの JPEG 配信方法を次のように設定します。

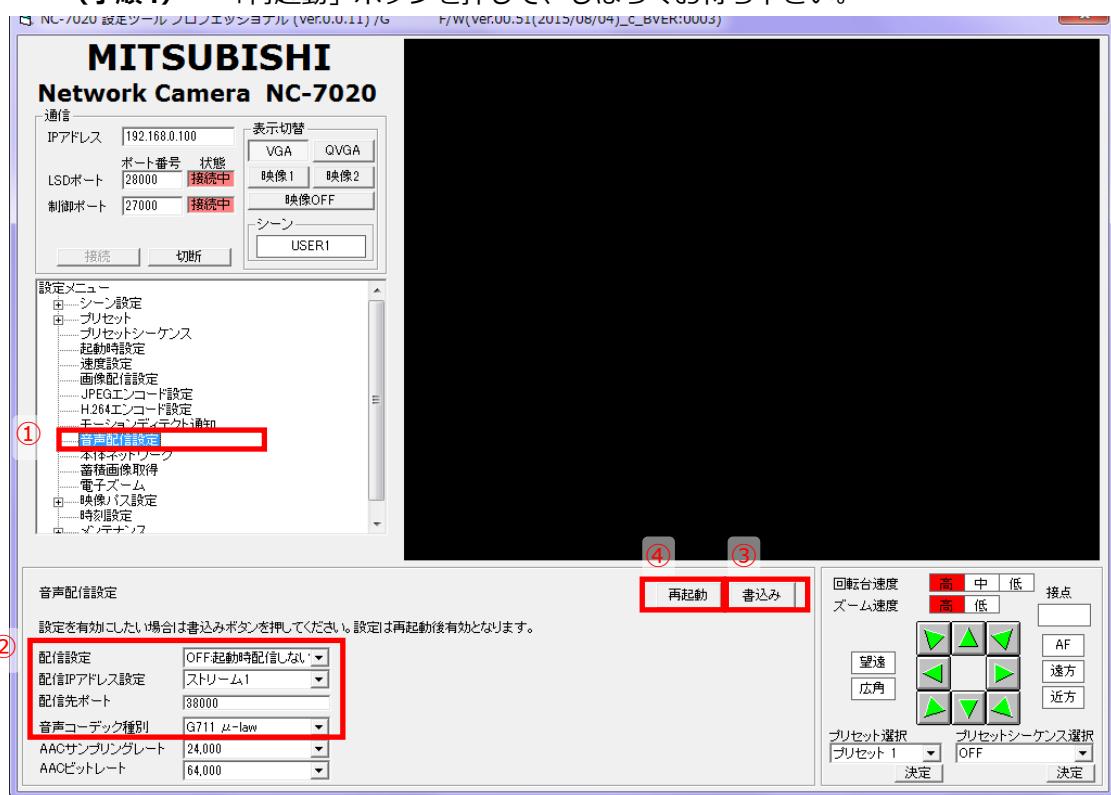
- (手順1) 「制御ポート」に 27003 を入力してから接続ボタンを押します。
- (手順2) 画面左側の「設定メニュー」から「映像パス設定>デリバリー(配信)」を選択します。
- (手順3) 「入力ストリーム ID」に 4 を、「出力先・プロトコル」に「ES over RTP/UDP(RTSP)」を指定します。
- (手順4) 「書込み」ボタンを押して設定を送信し、しばらくお待ち下さい。
- (手順5) 「制御ポート」に 27004 を入力して、同様の設定を行います。ただし、こちらでは「入力ストリーム ID」には 5 を指定して下さい。



## 2.5.1.2 音声

ネカ録でサポートしているμ-law 形式の音声を MELOOK3 カメラが配信するように設定します。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「音声配信設定」を選択します。
- (手順2) 「配信設定」には「OFF:起動時配信しない」を、「音声コーデック種別」には「G711 μ-law」を選択します。
- (手順3) 「書込み」ボタンを押し、設定を送信します。
- (手順4) 「再起動」ボタンを押して、しばらくお待ち下さい。

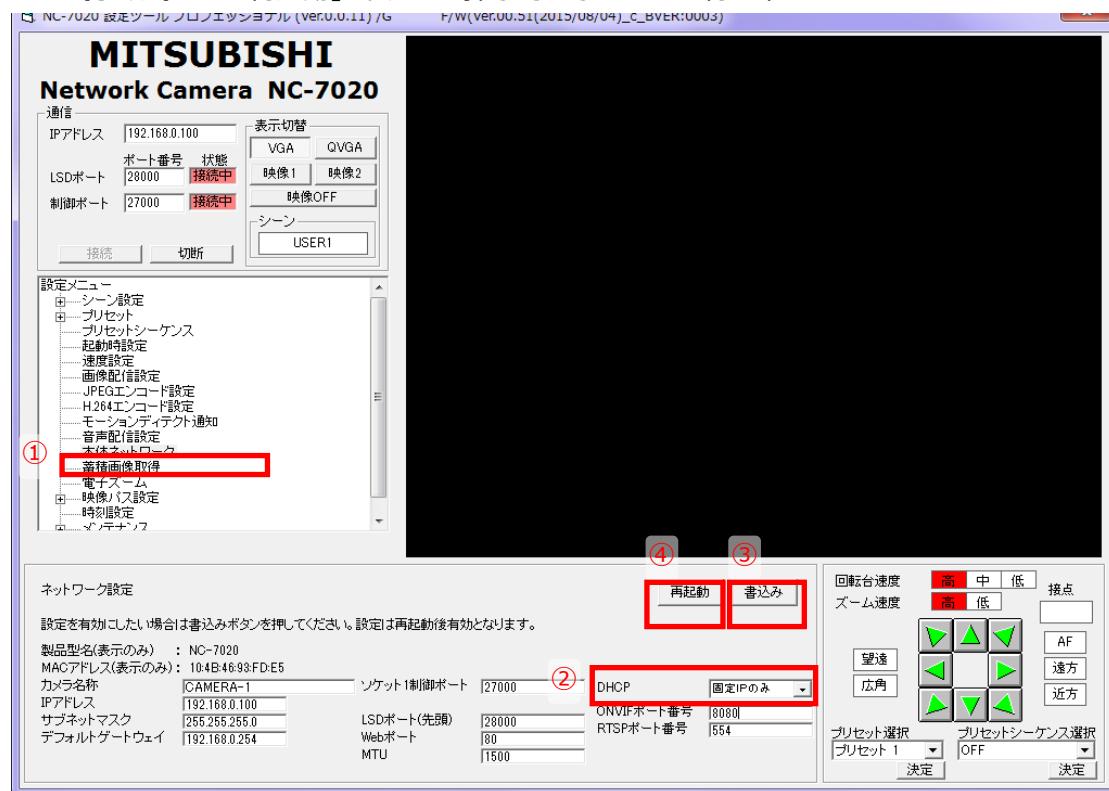


**!** 1台の MELOOK3 が出力できる音声は 1 ストリームのみです。1台の MELOOK3 から複数の映像を取得する場合、そのうちの 1 つでのみライブ音声出力および録音が可能になります。

### 2.5.1.3 DHCP

ネカ録で MELOOK3 カメラをご使用になる場合、IP アドレスを固定していただく必要があります。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「本体ネットワーク」を選択します。
- (手順2) 「DHCP」のドロップダウンリストから「固定 IP のみ」を選択します。
- (手順3) 「書き込み」ボタンを押し、設定を送信します。
- (手順4) 「再起動」ボタンを押して、しばらくお待ち下さい。



## 2.5.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

MELOOK3 カメラに設定できる項目とその内容を、表 MELOOK3 カメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 MELOOK3 カメラ用カメラ設定表

フィールド名	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	三菱 MELOOK3 を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
ポート	MJPEG では入力できません。	27000, 27001 または 27002 のいずれかを入力します。
配信方式	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
RTSP ポート	554 を入力します。	
解像度	320x180 または HD から選択します。 なお、JPEG の特性上、320x180 は 320x176 として表示されます。	HVGAW, HD または FHD の 3 種から選択します。 (※1) ポートが 27002 の場合、HVGAW のみ選択可能です。
品質	1-100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになりますが、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますのでご注意下さい。 (※2)	
fps	320x180 では 1fps 固定、 HD では 2fps 固定です。	1, 2, 3, 5, 6, 10, 15, 30 の 8 種から選択します。 (※3)
I フレーム間隔	MJPEG では入力できません。	フレームレートと同じ値を選択します。 30fps のみ、15 と 30 の 2 種から選べます。
動き検知	MJPEG では使用できません。	カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。「動き検知関連設定ツール」で動き検知および通知の設定をした上で、ご使用下さい。 (※4)
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。 事前に音声設定を「μ-law」に設定しておく必要があります。	
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。 固定タイプの MELOOK3 カメラでは使用されないようお願いします。	
動作モード	MJPEG では指定できません。	「固定ビットレート」と「可変ビットレート」から選択します。 「固定ビットレート」でのご使用をお願いします。

⚠️ ※1 : MELOOK3 のストリーム 27000 と 27001 の映像は解像度を共有しており、2ストリーム間に異なる解像度が指定されている場合は小さいほうに変更されるようになっています。HVGAW から FHD に解像度を引き上げるなどの場合、次の手順を踏む必要があります。

1. ネ力録統合管理ツールでストリーム 27000 および 27001 の両方を登録する。
2. 両方の解像度を FHD に設定し、送信する。
3. リスタートする。
4. 不要なほうのストリームは「機種」を「なし」にする。
5. 再度設定を送信する。
6. リスタートする。

⚠️ ※2 : 「MELOOK3 の品質変換テーブルを開く」をクリックすると、「三菱 MELOOK3 品質変換」テーブルが表示されます。

カメラ設定一覧

選択カメラNo.:1

■カメラ設定の変更 選択カメラの状態変更:★★

No.	カメラ名	機種	IPアドレス	マルチキャスト	ポート	RTSPポート	ユーザ名	パスワード	配信方式	解像度	品質	fps	G0V	他	ライブ音声	PTZ操作	サブチャネル	音声ポート
1	CAM-1	なし																
2	CAM-2	なし																
3	CAM-3	なし																
4	CAM-4	なし																
5	CAM-5	なし																
6	CAM-6	なし																
7	CAM-7	なし																
8	CAM-8	なし																
9	CAM-9	なし																
10	CAM-10	なし																
11	CAM-11	なし																
12	CAM-12	なし																
13	CAM-13	なし																
14	CAM-14	なし																
15	CAM-15	なし																
16	CAM-16	なし																
17	CAM-17	なし																
18	CAM-18	なし																

※録音する場合は、ネ力録共通設定の「録音設定」にチェックが必要です。あわせて、本画面の「ライブ音声」の項目が「チェックあり」と設定されたカメラのみ録音されます。  
※複数でマルチキャストカメラを登録した場合、RTSPポートはマルチキャストカメラのポートと読み替えてご利用ください。  
※MELOOK DGZ及びMELOOK3の品質の値は右のリンクを参照して設定してください。[\[MELOOK DGZの品質変換テーブルを開く\]](#) [\[MELOOK3の品質変換テーブルを開く\]](#)  
※「カメラ状態の変更★★」は、「有効」「中断」および「無効」ボタンをクリックしたタイミングで設定されます。リスタート後は、一度別々のカメラを選択して、再度、ノンボリューフォンを選択したときに、最新状態を表示します。

Copyright © 2017 Mitsubishi Electric Information Network Corporation. All Rights Reserved.

図 ネ力録統合管理ツール カメラ設定画面

「三菱 MELOOK 品質変換」テーブルにある通り、品質のマスに書かれた範囲内の数を指定すると、その真上のマスに書かれた圧縮率またはビットレートがカメラに設定されます。参照するテーブルは、配信方法、解像度およびfpsによって異なります。

特に、配信方式：H.264、解像度：640×360 の 1fpsにおいては、MELOOK3 の制限として品質に 51 以上の値を指定しても想定されるビットレート以下のレートで映像が配信されます。

※3: ポート 27000 と 27001 の両方から映像を取得する場合、MELOOK3 の制限として、この二つの合計fpsが 45 以下になるように設定する必要があります。

この他にも、ネ力録統合管理ツールで指定した値どおりにならない設定値の組み合わせがあることがあります。あらかじめ MELOOK3 の指定可能範囲内かどうかのご確認をお願いします。



※4: H.264 でカメラの動き検知を使用する場合、現在のプリセット番号は、区画設定を行ったプリセット番号にして使用して下さい。動き検知関連設定ツールでプリセット番号をクリックすると、現在のプリセット番号が変わりますので、ご注意下さい。



※5: ネ力録統合管理ツールで MELOOK3 のストリームを変更したあと、リスタートをせずにシャットダウンや再起動などでネ力録を停止させた場合には、MELOOK3 が以前のストリームの映像を現在のものと同時に配信して、映像を正常に取得できなくなることがあります。こうした場合には、カメラを再起動して下さい。

## 2.6 パナソニック株式会社製カメラ (i-pro シリーズ)

パナソニック株式会社製の i-pro シリーズのカメラ（以降、Panasonic i-pro カメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の 3 つの設定を入力できます。

1. 音声出力方式の設定
2. H.264 ストリームの設定
3. 解像度の設定

ネカ録での接続の前に、以上の項目のうち必要なものをご設定下さい。

なお、機種によっては H.264 ストリーム出力を持ちません。

### 2.6.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

1. Internet Explorer に Panasonic i-pro カメラの IP アドレスを入力します。
2. Web ページ左上の「設定」リンクをクリックして下さい。
3. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
4. Web 設定画面が表示されます。

## 2.6.1.1 音声

Panasonic i-pro カメラから入力される音声をネカ録で録音したい場合、次のように設定して下さい。なお、Panasonic i-pro カメラの音声は、MJPEG ストリーム選択時のみ取得可能です。

- (手順1) 左のメニューから「カメラ」(機種により「カメラ設定」)を選択します。
- (手順2) 右の画面で「音声」タブを選択します。
- (手順3) 「音声モード」を「受話」に設定します。
- (手順4) 機種によっては「音声圧縮方式」という項目がありますので、これを「G.726」にして下さい。
- (手順5) 「ビットレート」を 32kbps に設定します。
- (手順6) 「配信間隔」を 40ms に設定します。
- (手順7) 「設定」ボタンをクリックし、設定を保存して下さい。



図 Panasonic i-pro WV-SPN310V の音声配信設定

## 2.6.1.2 H.264 ストリーム

H.264 ストリームの画質はカメラ側で設定する必要があります。

(手順1) 左のメニューから「カメラ」を選択します。

(手順2) 「JPEG/H.264」タブを選択します。



(手順3) 画面を下にスクロールし、H.264(1)の「H.264 配信」を ON にします。

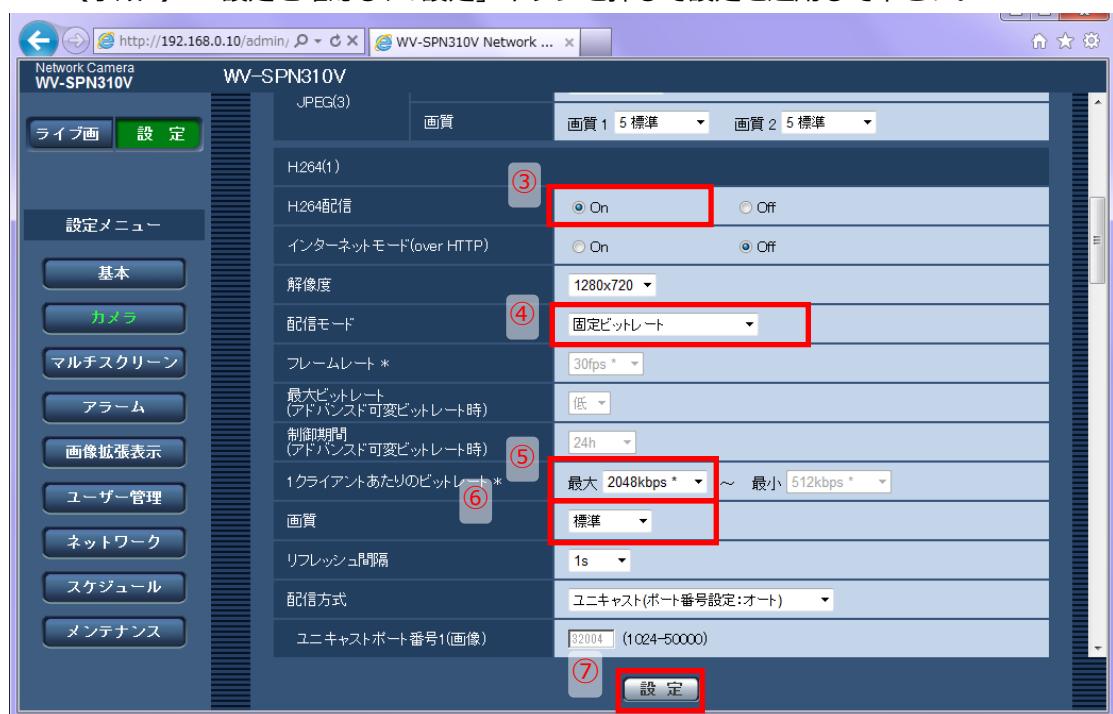
(手順4) 「配信モード」は、帯域の問題でビットレートを決めたい場合は「固定ビットレート」を選択します。

そうでない場合は「フレームレート固定」を選択します。

(手順5) 「1 クライアントあたりのビットレート」で適切な上限を指定します。

(手順6) 「固定ビットレート」の場合、「画質」を指定します。動きが大きいときにフレームレートを落とす「画質優先」、フレームレートを維持して画質を落とす「動き優先」または中間の「標準」から選択して下さい。

(手順7) 設定を確認し、「設定」ボタンを押して設定を適用して下さい。



**!** MPEG4 同時配信可能なカメラで MJPEG 配信を行う場合、MPEG4 を同時に配信すると MJPEG の配信画像数が制限されます。MPEG4 同時配信が必要ない場合は、カメラ自体の設定画面より MPEG4 配信を「OFF」に設定して下さい。

- (手順1) 左のメニューから「カメラ」を選択します。
- (手順2) 「JPEG/MPEG-4」タブを選択します。
- (手順3) 「MPEG-4 配信」のチェックを OFF にして下さい。
- (手順4) 画面を下にスクロールし、OK ボタンを押して設定を保存して下さい。

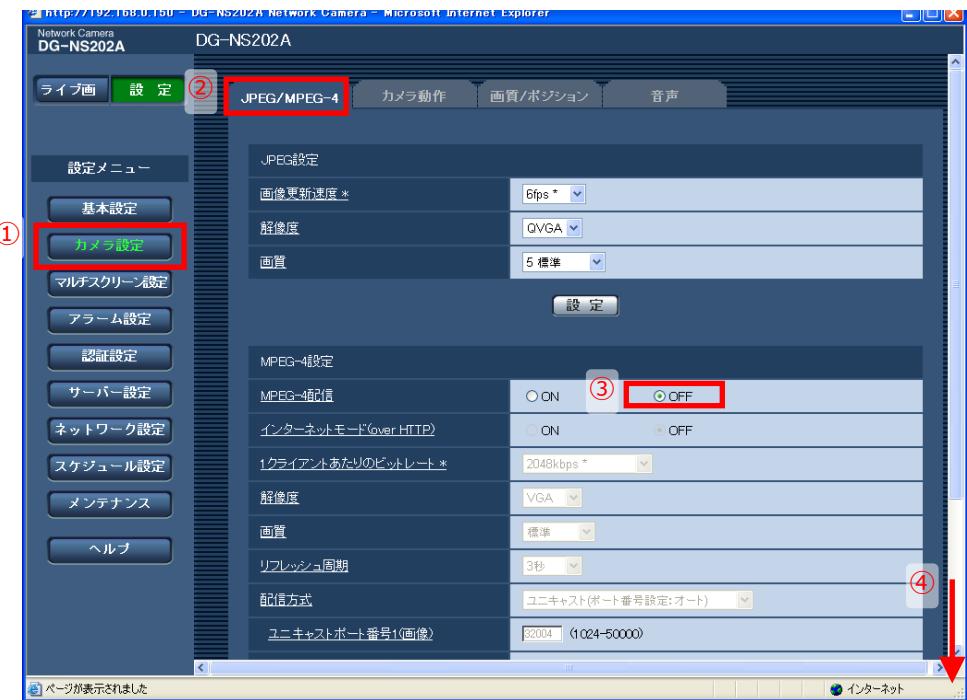


図 Panasonic i-pro DG-NS202A の MPEG-4 配信設定

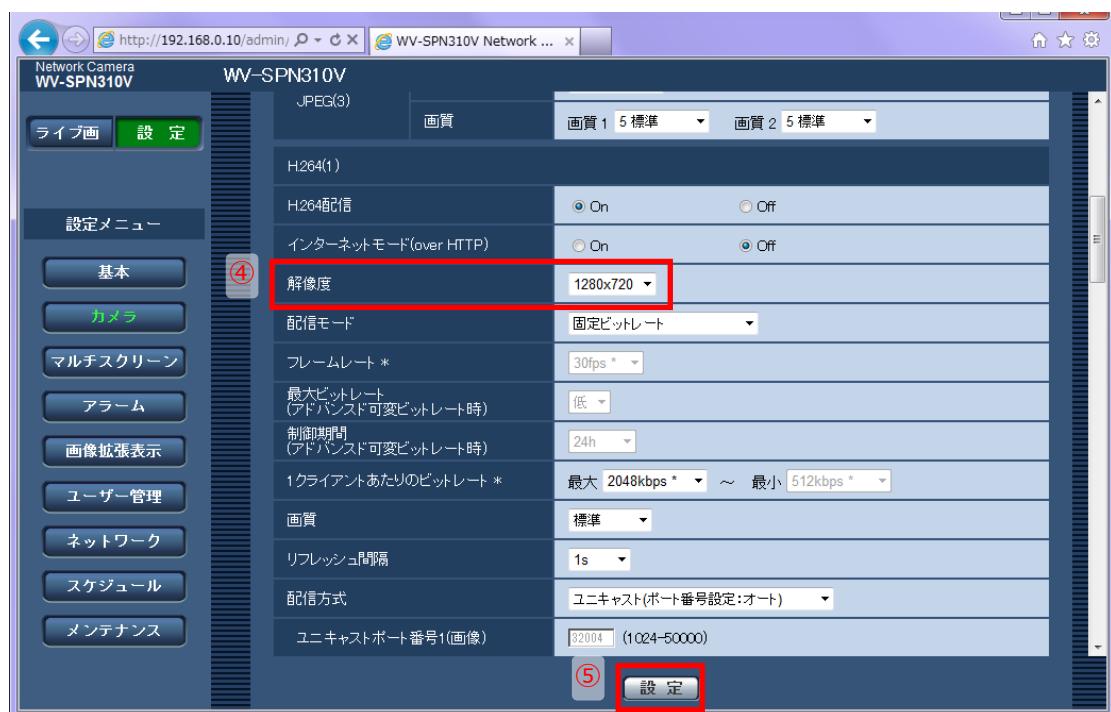
### 2.6.1.3 解像度

Panasonic i-pro カメラは多数の解像度をサポートしています。

選択肢にない解像度(1280×960 など)でのご利用の場合は「カメラ設定に従う」を指定し、  
カメラ側で解像度を設定します。

カメラ側で解像度を設定する手順は次のとおりです。

- (手順1)** 左のメニューから「カメラ」を選択します。
- (手順2)** 「JPEG/MPEG-4」タブを選択します。
- (手順3)** JPEG, MJPEG の解像度を設定する場合は、JPEG(1)の「解像度」でお好みの値を選択します。
- (手順4)** H.264 の解像度を設定する場合は、画面を下にスクロールして H.264(1) の「解像度」でお好みの値を選択します。
- (手順5)** 「設定」ボタンを押して設定を適用して下さい。



## 2.6.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

Panasonic i-pro カメラに設定できる項目とその内容を、表 Panasonic i-pro カメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 Panasonic i-pro カメラ用カメラ設定表

フィールド名	JPEG	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。		
機種	Panasonic I-pro を選択します。		
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。		
ポート	80 を入力します。		
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。		
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。		
配信方式	JPEG を選択します。	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
解像度	QVGA, VGA, SXVGA またはカメラ設定に従うの 4 種から選択します。		
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになります。ただし、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますが、ご注意下さい。	H.264 では入力できません。	
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。		
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。	H.264 ではチェックできません。	
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。	H.264 では入力できません。	
変化値	計算した映像の変化値を、次の計算まで維持する場合にチェックします。 この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。	H.264 ではチェックできません。	
ライブ音声	JPEG ではチェックできません。	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。	H.264 ではチェックできません。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。		

 ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

 Panasonic i-pro カメラには H.264 のとき 7.5fps を設定可能ですが、ネカ録統合管理ツールでは fps に「7.5」と記入できませんので、代わりに「7」とご記入下さい。

## 2.7 パナソニック株式会社製カメラ (i-pro シリーズ以外)

i-pro シリーズを除くパナソニック株式会社製ネットワークカメラ（以降、Panasonic カメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の 3 つの設定の入力できます。

1. 帯域の制限
2. 解像度の指定
3. 音声出力方式の設定

また、一部の機種では解像度の設定もカメラ側で入力する必要があります。

 BB シリーズのカメラのうち型番が「BB-S」で始まるものは、Panasonic BB シリーズのカメラではありますが、ネカ録で使用する際には Panasonic i-pro シリーズのカメラとして設定下さい。

### 2.7.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

1. Internet Explorer に Panasonic カメラの IP アドレスを入力します。
2. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
3. Web 設定画面が表示されます。

## 2.7.1.1 帯域制限

多数のネットワークカメラを1本のLANケーブルに集約する場合など、ネットワークカメラ1台あたりの帯域を制限する必要がある場合、この設定を行って下さい。なお、機種によって各部名称が異なる場合があります。

- (手順1) 「設定」のタブを選択します。
- (手順2) 左のメニューの「ネットワーク(IPv4)」を選択します。
- (手順3) 右側の画面で、「Static接続設定」を選択します。
- (手順4) 右側に表示される設定のうち、「通信帯域制限」で上限となる帯域を指定して下さい。

例：100MbpsのLANに20台のカメラをつなぐ場合、  
 $100\text{Mb/s} \div 20\text{台} = 5\text{Mb/s}$   
となり、5Mbpsが上限になります。

ただし、実際にはLANの伝送効率がありますので、最終的に設定する値は、ここで算出した値の8割ほどを推奨します（この例では $5 \times 0.8$ で4Mbpsになります）。

- (手順5) 設定を確認したら、画面を下までスクロールして保存ボタンを押し、設定を保存して下さい。

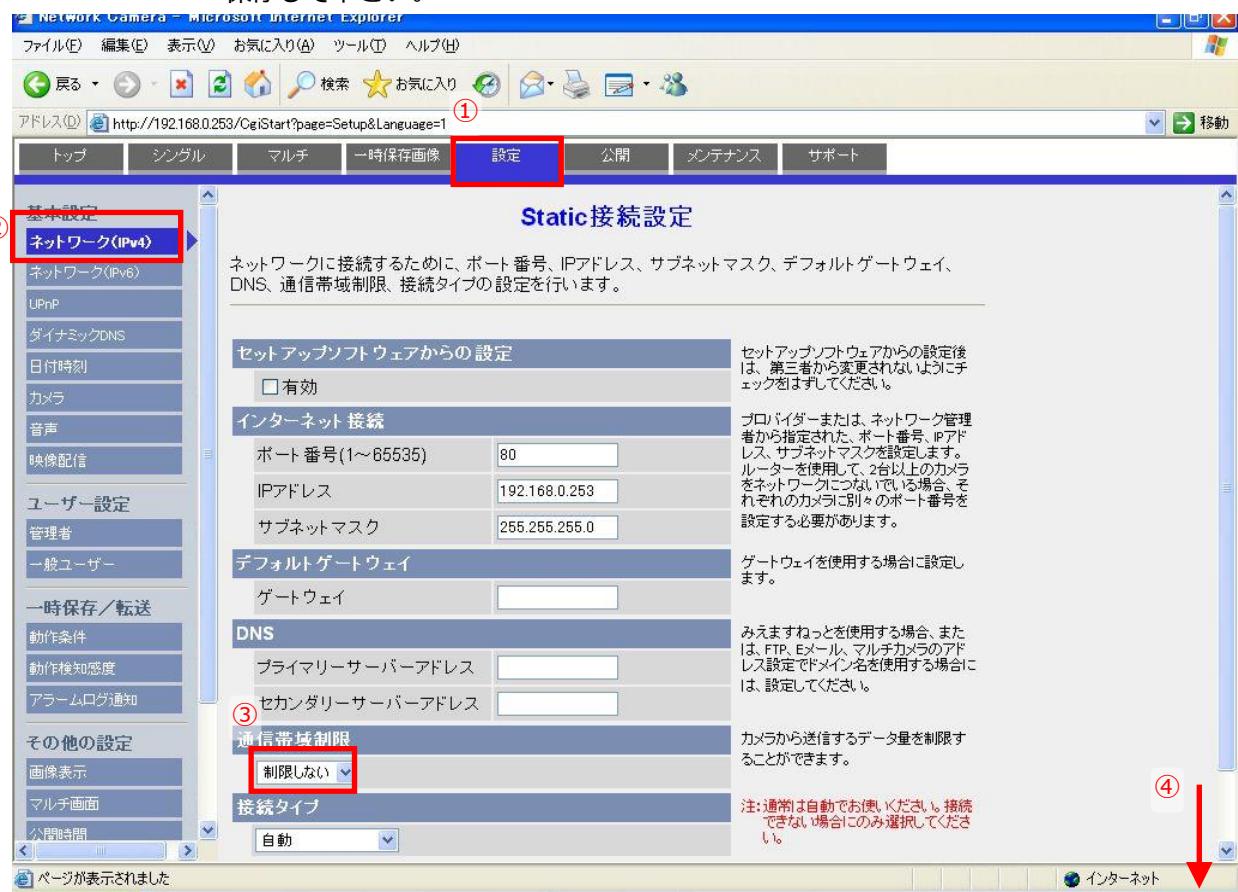


図 Panasonic BB-HCM515 の帯域設定

## 2.7.1.2 解像度

Panasonic カメラには、SXVGA を配信するための設定が必要な機種があります。そうした機種では、次の手順で設定して下さい。

- (手順1) 「設定」のタブを選択します。
- (手順2) 左のメニューから「画像表示」を選択します。
- (手順3) 「解像度」で 1280x1024 を選択して下さい。
- (手順4) 設定を確認し、画面下部の「保存」ボタンを押して下さい。



### 2.7.1.3 音声

Panasonic カメラから入力される音声をネカ録で録音したい場合、次のように設定して下さい。

- (手順1) 「設定」タブを選択します。
- (手順2) 左のメニューから「音声」を選択します。
- (手順3) 「入力 (パソコンのスピーカー出力)」で「する」を選択し、保存ボタンを押して下さい。



図 BB-HCM515 の音声出力設定

## 2.7.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

Panasonic カメラに設定できる項目とその内容を、表 Panasonic カメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 Panasonic カメラ用カメラ設定表

フィールド名	JPEG	MJPEG
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	Panasonic を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
ポート	80 を入力します。	
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。	
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。	
配信方式	JPEG を選択します。	MJPEG を選択します。
解像度	QVGA, VGA, SXGA, SXVGA の 4 種から選択します。	
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになります。ただし、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますので、ご注意下さい。	
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。	
他	型番が BB-もしくは BL-で始まる機種を設定する場合、チェックします。	
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。	
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。	
変化値	計算した映像の変化値を、次の計算まで維持する場合にチェックします。この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。	
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。	

 ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

 ネ力録とカメラを接続しているときに、カメラの WEB インタフェース上でライブ映像を表示した場合、ネ力録が取得していたライブ映像が途切れ、録画できなくなることがあります。WEB インタフェースを終了することで、再度ネ力録がライブ映像を取得できるようになります。

## 2.8 ソニー株式会社製カメラ

ソニー株式会社製のカメラ（以降、SONY カメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の 4 つの設定を入力できます。

1. 帯域の制限
2. 音声出力方式の設定
3. H.264 ストリームのビットレート
4. 解像度

### 2.8.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

1. Internet Explorer に SONY カメラの IP アドレスを入力します。
2. 左上の「設定」リンクをクリックして下さい。
3. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
4. Web 設定画面が表示されます。

### 2.8.1.1 帯域制限(MJPEGのみ)

多数のネットワークカメラを1本のLANケーブルに集約する場合など、ネットワークカメラ1台あたりの帯域を制限する必要がある場合、この設定を行って下さい。

- (手順1) 左のメニューから「ビデオ/オーディオ」を選択します。
- (手順2) 右の画面で「ビデオコーデック」タブを選択します。
- (手順3) 「画像コーデック」で JPEG が選択されていることを確認して下さい。
- (手順4) 「帯域制限」で上限となる帯域(kbps)を指定します。

100MbpsのLANに20台のカメラをつなぐ場合、

$$100\text{Mb/s} \div 20 \text{台} = 5\text{Mb/s} = 5120\text{kb/s}$$

となり、5120kbpsが上限になります。

ただし、実際にはLANの伝送効率がありますので、最終的に設定する値は、ここで算出した値の8割ほどを推奨します（この例では $5120 \times 0.8$ で4096kbpsになります）。

- (手順5) 設定を確認したら、OKボタンを押して設定を保存して下さい。



図 SONY SNC-VB630 の帯域設定

## 2.8.1.2 音声

SONY カメラから入力される音声をネカ録で録音したい場合、次のように設定して下さい。

- (手順1) 左のメニューから「ビデオ/オーディオ」を選択します。
- (手順2) 右の画面で「オーディオ」タブを選択して下さい。
- (手順3) オーディオ送信の項目で、「有効」のチェックボックスにチェックします。
- (手順4) 「音声」は、コンデンサマイクをカメラに直接接続している場合は「マイク」を、アンプ等を介して接続する場合は「ライン」を選択して下さい。
- (手順5) 「音声受信コーデック」を G.711(64kbps)に指定します。
- (手順6) 設定内容を確認したら OK ボタンを押し、設定を保存して下さい。



図 SNC-VB630 の音声設定

### 2.8.1.3 H.264 ストリームのビットレート

SONY カメラの H.264 ストリームでは、画質をビットレートで制御します。必要に応じて、次の手順で設定して下さい。

- (手順1) 左のメニューから「ビデオ/オーディオ」を選択します。
- (手順2) 右の画面で「ビデオコーデック」タブを選択します。
- (手順3) 「ビットレート」を適宜設定して下さい。  
数字が大きいほど映像が鮮明になります。同時に、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますのでご注意下さい。
- (手順4) 設定内容を確認したら OK ボタンを押し、設定を保存して下さい。



図 SMC-VB630 の H.264 ビットレート設定

また、SNC-VB630 など一部の機種では、CBR 設定をオフにすることで、ネカ録統合管理ツールで入力した画質が適用されるようになります。



図 SONY カメラの CBR 設定オフと画質設定

## 2.8.1.4 解像度

SONY カメラは多数の解像度をサポートしています。

通常はネカ録統合管理ツールのカメラ設定で解像度を指定しますが、ネットワーク設定の項目にない解像度(1920×1080など)でのご利用の場合は「カメラ設定に従う」を指定し、カメラ側で解像度を設定します。

カメラ側で解像度を設定する手順は次のとおりです。

- (手順1) 左のメニューから「ビデオ/オーディオ」を選択します。
- (手順2) 右の画面で「ビデオコーデック」タブを選択します。
- (手順3) 「画像サイズ」で目的の解像度を選択して下さい。
- (手順4) 設定内容を確認したら OK ボタンを押し、設定を保存して下さい。



図 SNC-VB630 の解像度指定

## 2.8.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールガイドをご覧下さい。

SONY カメラに設定できる項目とその内容を、表 SONY カメラ用カメラ設定表に示します。この表を参考に、設定を行って下さい。

表 SONY カメラ用カメラ設定表

フィールド名	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	SONY を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
ポート	80 を入力します。	
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。	
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。	
配信方法	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
解像度	QVGA, VGA, SXVGA, D1, HDTV, カメラ設定に従う の 6 種から選択します。	
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになります。ただし、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなっていますので、ご注意下さい。	MJPEG 同様に入力して下さい。ただし、カメラ側で「CBR オフ」の表示がない場合はこの値は無効になります。2.10.1.3 節のとおり、ビットレートをご設定下さい。
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。	
サブチャネル	1~3 からカメラの映像番号を選択します。	
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。	H.264 ではチェックできません。
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。	H.264 では入力できません。
変化値	計算した映像の変化値を、次の計算まで維持する場合にチェックします。この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。	H.264 ではチェックできません。
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。	

フィールド名	MJPEG	H.264
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。 なお、第六世代のカメラの PTZ 操作は未対応です。チェックしても操作できませんのでご注意下さい。	

 ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

 解像度、fps および品質は、カメラの機能に依存します。カメラのサポートしていない解像度を選択した場合や、カメラ側の映像 1、映像 2 および映像 3 の設定によっては設定したとおりの映像が受信できない場合があります。詳細は、カメラの説明書をご参照下さい。

 SONY の第六世代のネットワークカメラ (SNC-VB630, SNC-VM630 等の機種) では、ファームウェアバージョン 1.3.0 以降のカメラのみ H.264 をサポートします。

## 2.9 TOA 株式会社製カメラ (Netcansee シリーズ)

TOA 株式会社製カメラ（以降、TOA カメラと表記します）は、すべてネ力録統合管理ツールのカメラ設定画面で制御されます。カメラ側で設定する必要はありません。

### 2.9.1 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

TOA カメラ(Netcansee シリーズ)に設定できる項目とその内容を、表 TOA カメラ(Netcansee)用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 TOA カメラ(Netcansee)用カメラ設定表

フィールド名	JPEG
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。
機種	「TOA(Netcansee)」を選択します。
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。
ポート	80 を入力します。
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。
配信方法	選択できません（JPEG で配信されます）。
解像度	QVGA, VGA, SXVGA の 3 種から選択します。
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになります。ただし、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますので、ご注意下さい。
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。
他	パン・チルト・ズームの操作を有効にしていて、クリックセンタリング機能を使用したい場合、チェックします。
動き検知	動き検知機能、異常検知機能を有効にする場合にチェックします。なお、本機能を有効にすると、録画可能コマ数が制限されます。
フレーム間隔	「動き検知/異常検知の基準フレームとの比較」を行う間隔を入力します。ネ力録はここで入力された頻度で映像の変化を計算します。
変化値	計算した映像の変化値を、次の計算まで維持する場合にチェックします。この機能の詳細は、同梱の統合管理ツールユーザーズガイドのセクション 4.4.2 の補足説明をご参照下さい。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。

**!** ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

**!** TOA 製のアナログコンビネーションカメラを、TOA 製ビデオエンコーダ (N-VT2010 など) を用いてネットワークカメラとして使用する場合は、ビデオエンコーダの設定画面より、PTZ カメラタイプを設定する必要があります。

- (手順1)** 設定メニューから「シリアルポート」を選択します。
- (手順2)** 「PTZ カメラタイプ」で「C-CC70x シリーズ」を選びます。
- (手順3)** 設定ボタンを押して下さい。

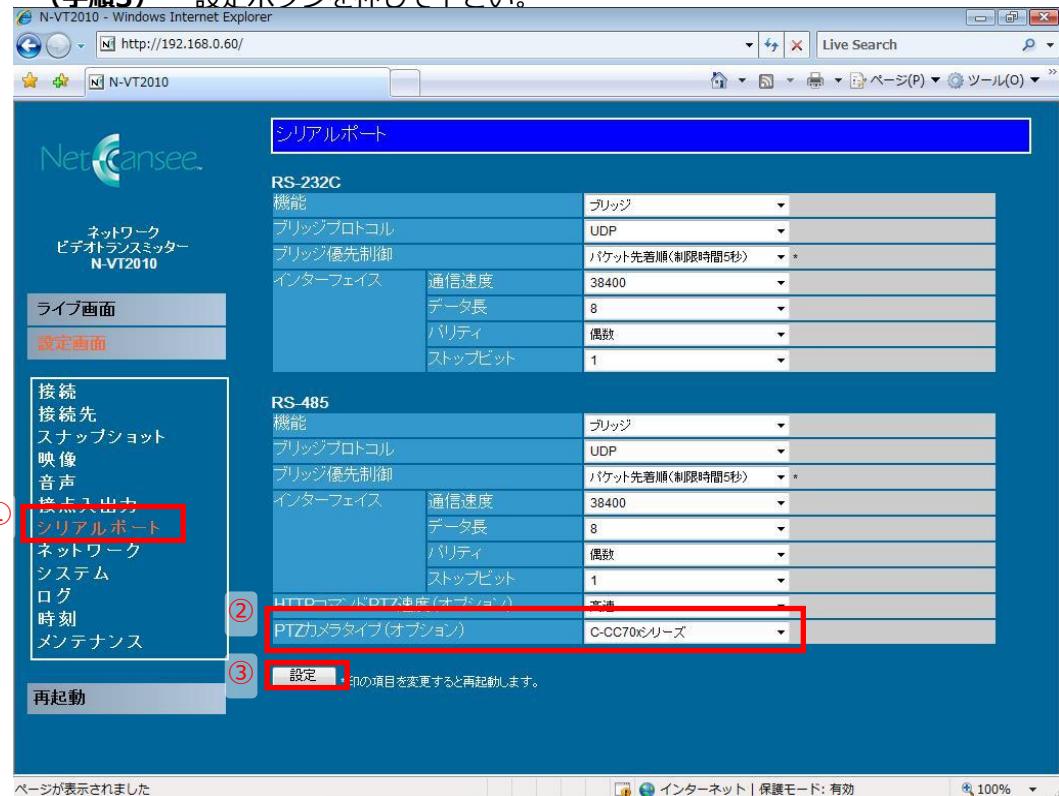


図 TOA N-VT2010 の PTZ 制御設定

## 2.10 TOA 株式会社製カメラ (TRIFORA シリーズ)

TOA 株式会社製カメラのうち、TRIFORA シリーズのもの（以降、TRIFORA カメラと表記します）は、ネカ録側でのカメラ設定の他に、カメラ側で次の 3 つの設定を入力できます。

1. モーションディテクトの設定
2. いたずら検知の設定
3. 音声の設定

### 2.10.1 カメラ側での設定

カメラ側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

設定のため、次の手順でカメラの Web 設定画面を開いて下さい。

1. Internet Explorer に TRIFORA カメラの IP アドレスを入力します。
2. 管理者のユーザ名とパスワードの入力を求められますので、正しく入力して下さい。
3. 右上の「設定」リンクをクリックして下さい。
4. Web 設定画面が表示されます。

### 2.10.1.1 モーションディテクト

TRIFORA シリーズカメラのモーションディテクト機能を利用してすることで、H.264ストリーム受信時にもネカ録の動き検知機能を利用できます。

- (手順1) 左のメニューから、「イベント」を選択します。
- (手順2) 右側に表示されるタブで、「モーションディテクト」を選択して下さい。
- (手順3) 「エリア設定」に、今カメラが撮影している映像が表示されます。この画面上にクリック&ドラッグで四角い動き検知領域を作成します。
- (手順4) 映像の真下にある「設定」ボタンを押して、領域を確定します。確定した領域には色が着きます(赤、青、黄など領域ごとに別色です)。
- (手順5) 「時間帯」がすべてオレンジ色であることをご確認下さい。黒いエリアが混ざっている場合は、「全選択」ボタンを押してすべてオレンジ色にしてから「設定」ボタンを押して下さい。

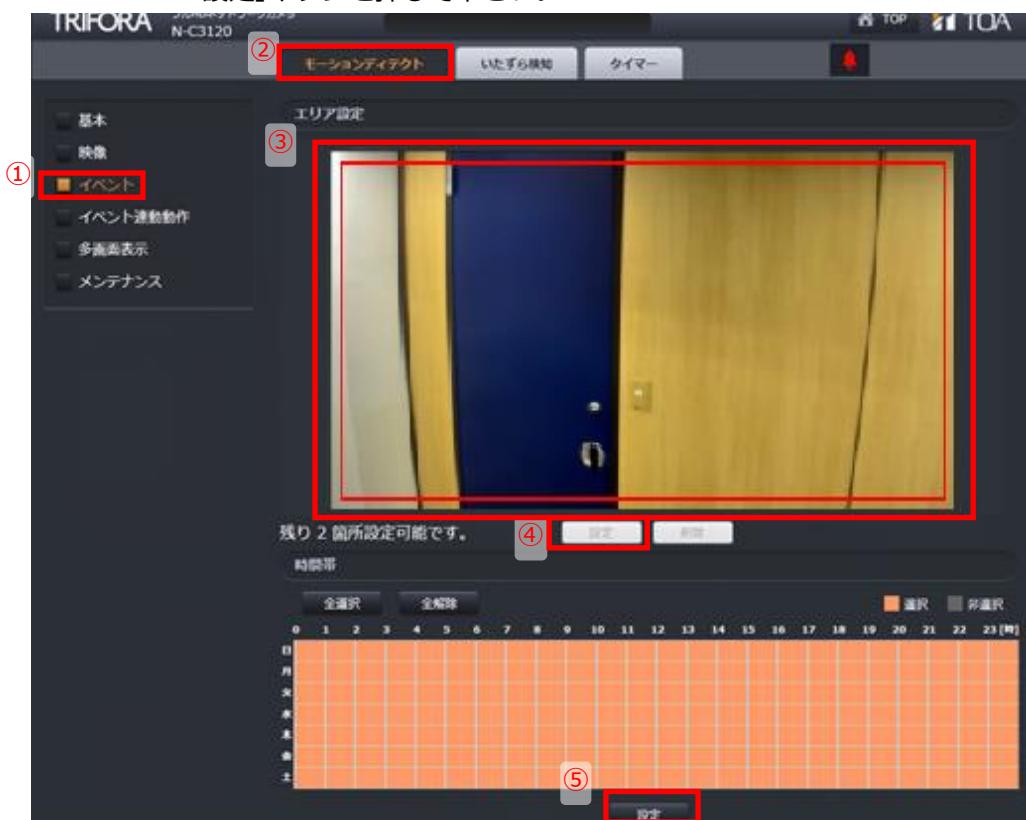


図 TRIFORA カメラでのモーションディテクト設定



ネカ録で動き検知機能が動作するタイミングは、設定した領域のうちいずれか 1 つ以上の中で動きがあったとカメラが判断したときになっています。

## 2.10.1.2 いたずら検知

TRIFORA シリーズカメラのいたずら検知機能を利用することで、カメラの画角変更やレンズふさぎなどを検出できます。

- (手順1) 左のメニューから、「イベント」を選択します。
- (手順2) 右側に表示されるタブで、「いたずら検知」を選択して下さい。
- (手順3) 「機能」のラジオボタンで ON を選択し、その真下の「設定」ボタンを押して下さい。
- (手順4) 「時間帯」がすべてオレンジ色であることをご確認下さい。黒いエリアが混ざっている場合は、「全選択」ボタンを押してすべてオレンジ色にしてから「設定」ボタンを押して下さい。



図 TRIFORA シリーズのカメラでのいたずら検知設定

**⚠** ネ力録は、モーションディテクトといたずら検知とともに「カメラでの動き検知」と見なして動作します。2 つを同時に使用する場合には、ネ力録の通知設定・接点出力設定の内容にご留意下さい。

### 2.10.1.3 音声

2015年以降発売のTRIFORAカメラでは、音声ストリームの送信をサポートしています。ネカ録4.52以降のバージョンを利用することで、この音声を取得・録音することが可能になります。

(手順1) 左のメニューから、「音声」を選択します。

(手順2) 動作モードには「受話のみ（カメラ→PC）」を選択して下さい。

(手順3) 「設定」ボタンを押して下さい。

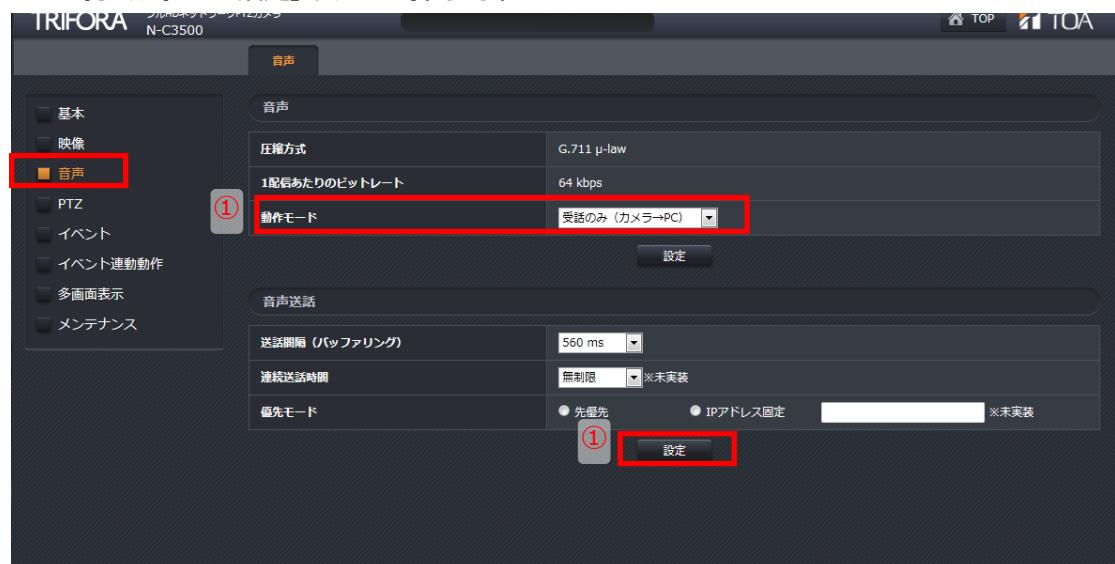


図 N-C3500 の音声設定



TRIFORAカメラには、コンデンサマイクの直接接続ではなく、アンプ等を介しての接続が必要になる機種があります。カメラの取扱説明書をご参照の上、必要な機材をご用意下さい。

## 2.10.2 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツール ユーザーズガイドをご覧下さい。

TRIFORA カメラに設定できる項目とその内容を、表 TRIFORA カメラ用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 TRIFORA カメラ用カメラ設定表

フィールド名	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。
機種	TOA(TRIFORA)を選択します。
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。
ポート	80 を入力します。
ユーザ名	管理者権限を持ったユーザのユーザ名を入力します。
パスワード	上記ユーザ名に対応するパスワードを入力します。
配信方式	選択できません (H.264 で配信されます)。
RTSP ポート	554 を入力します。
解像度	HVGAW, HD, FHD の 3 種から選択します。
品質	1~100 の半角数字で入力します。数字が大きいほど映像がきれいになります。ただし、映像 1 フレームあたりのデータサイズが大きくなりますので、ご注意下さい。
fps	表示・録画する映像の 1 秒間のコマ数を 1~30 で入力します。数字が大きいほど細かい動きを追えます。
他	パン・チルト・ズームの操作を有効にしていて、クリックセンタリング機能を使用したい場合、チェックします。
動き検知	カメラの動き検知結果を受け取る場合にチェックします。 カメラ側で動き検知および通知の設定を実施した上で、使用して下さい。
ライブ音声	接続するカメラからの音声を取得する場合にチェックします。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。

 ポートは、カメラ側設定でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

 I フレーム送信間隔は自動的に「1 秒に 1 枚」に設定されます。カメラ側での設定は無効となりますのでご注意下さい。

 TRIFORA カメラには H.264 のとき 7.5fps を設定可能ですが、ネ力録統合管理ツールでは fps に「7.5」と記入できませんので、代わりに「8」とご記入下さい。

 音声出力設定のないカメラに対してネ力録でライブ音声取得の設定を行うと、映像が取得できなくなります。ライブ音声をご利用の際は、必ずカメラ側の設定をご確認下さい。

### 2.10.3 センサー入力に割り付ける際の注意

TOA(TRIFORA シリーズ)のカメラにはリモート接点入出力機能がサポートされています。また、カメラに接点端子を装備したモデルもあり、これらの接点の ON/OFF をネカ録でのセンサー入力に割り付けることができます。

TOA(TRIFORA)カメラのリモート接点および接点端子は複数存在しますが、ネカ録ではいずれか 1 つでも ON になれば入力あり、全て OFF で入力なしと見なします。

リモート接点の 1 番が ON のときと 2 番が ON のときで異なる挙動をすることや、接点端子の ON とリモート接点の ON で挙動を分けることはできませんのでご注意下さい。

カメラのリモート接点および接点端子の ON/OFF をネカ録のセンサー入力に割り付ける方法は、同梱の「ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド」の「4.4.2.2 センサー連動を使用する場合」にある「■ ネットワークカメラを介してセンサー連動を行う場合」に記載されています。

## 2.11 三菱電機株式会社製マルチキャストカメラ (DIGITAL MELOOK シリーズ)

本節では、三菱電機株式会社製の DIGITAL MELOOK マルチキャスト配信機能（以降、三菱マルチと表記します）をネカ録に接続する場合について記載してあります。

三菱マルチでは、マルチキャスト配信設定を必ず実施いただき、必要に応じて音声の配信設定をして下さい。

 カメラ設定でカメラ種別を「三菱 Multicast」にする場合、同一サブネットワーク上にルータが存在する構成であるか否かに関わらず、ネカ録のデフォルトゲートウェイを必ず設定して下さい。ルータが存在しない構成の場合、同一サブネットの使われていない IP アドレスをデフォルトゲートウェイとして割り当てて設定して下さい。

 DIGITAL MELOOK のマルチキャスト配信機能をご使用でない場合は、本節ではなく 2.44 節をご参照下さい。

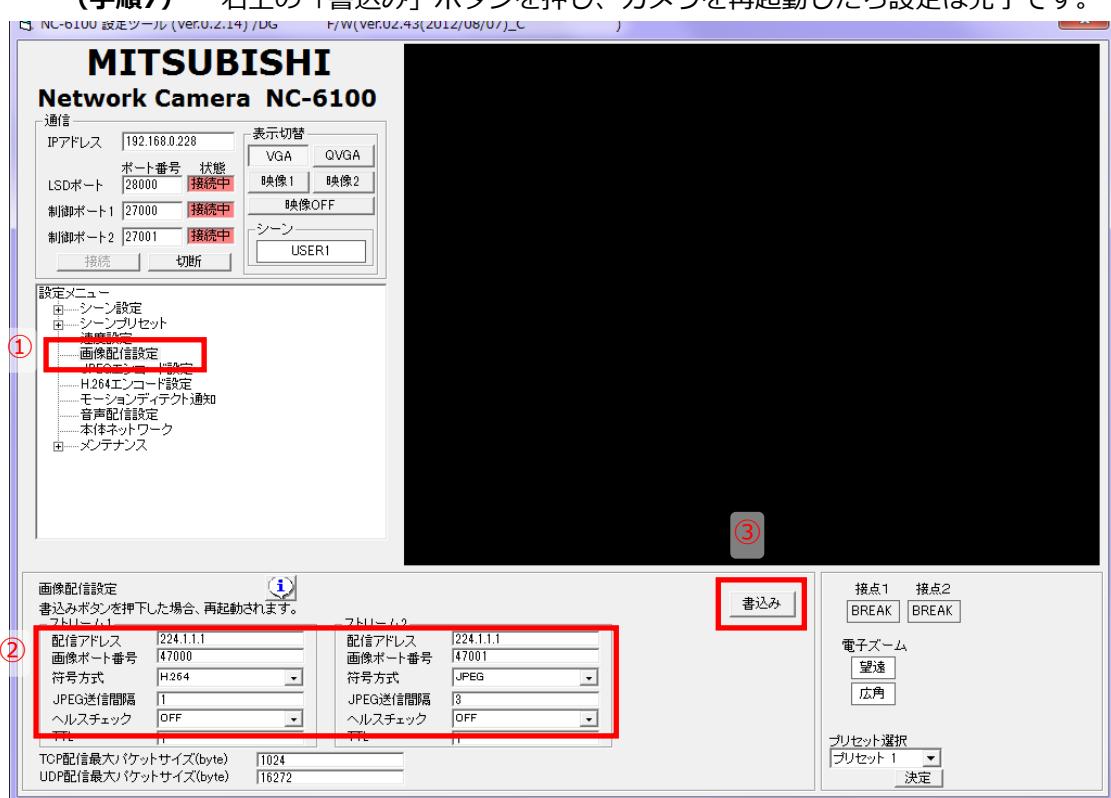
## 2.11.1 カメラ側での設定

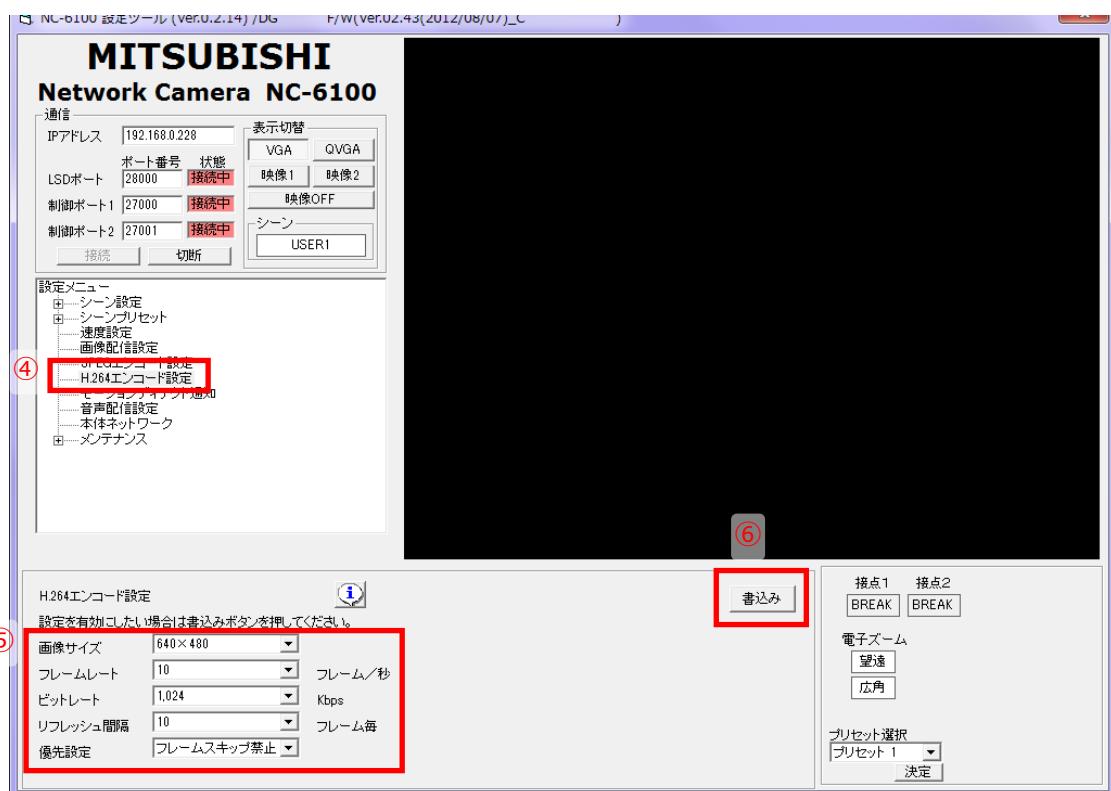
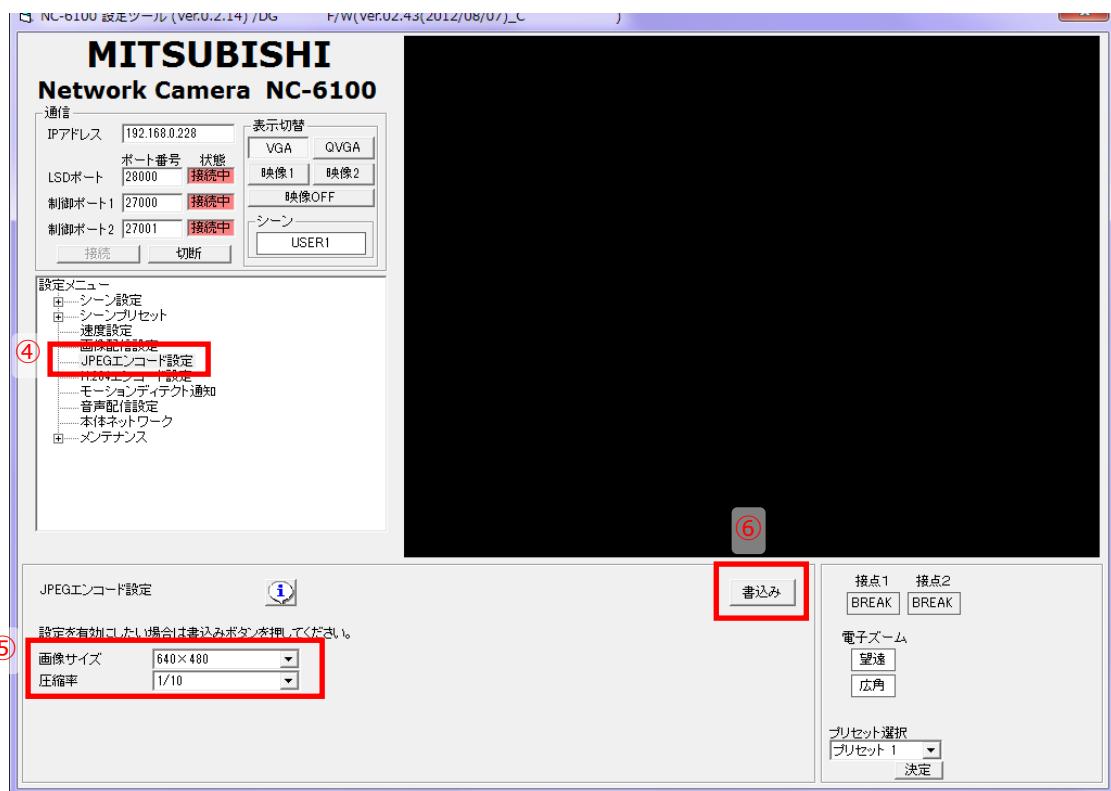
Camera Setup Tool に、設定したい三菱 DIGITAL MELOOK の IP アドレスを入力して実行します。

### 2.11.1.1 マルチキャスト配信設定

DIGITAL MELOOK に映像・音声の配信先マルチキャストアドレスを設定し、マルチキャスト配信状態にする必要があります。次の手順で設定を入力して下さい。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「画像配信設定」を選択します。
- (手順2) 「配信アドレス」と「画像ポート番号」に使用したいアドレスとポート番号を入力します。この組み合わせが重複しないようご注意下さい。  
「符号方式」には、JPEG 映像を取得したい場合は「JPEG」、H.264 映像の場合は「H.264」を選択します。  
JPEG 映像を取得する場合は「JPEG 送信間隔」に、ご希望のフレームレートで 30 を割った値を記入します (10fps であれば、 $30 \div 10 = 3$  なので 3 と記入)。記入できるのは整数のみです。  
「ヘルスチェック」は必ず OFF にして下さい。
- (手順3) 使用しないストリームの「ヘルスチェック」は ON にして下さい。
- (手順4) 設定を入力し終えたら「書き込み」ボタンを押して設定を適用し、カメラを再起動し、再度 Camera Setup Tool で接続します。
- (手順5) JPEG の場合は「設定メニュー」から「JPEG エンコード設定」を、H.264 の場合は「H.264 エンコード設定」をそれぞれクリックします。
- (手順6) 解像度などを適宜設定して下さい。
- (手順7) 右上の「書き込み」ボタンを押し、カメラを再起動したら設定は完了です。

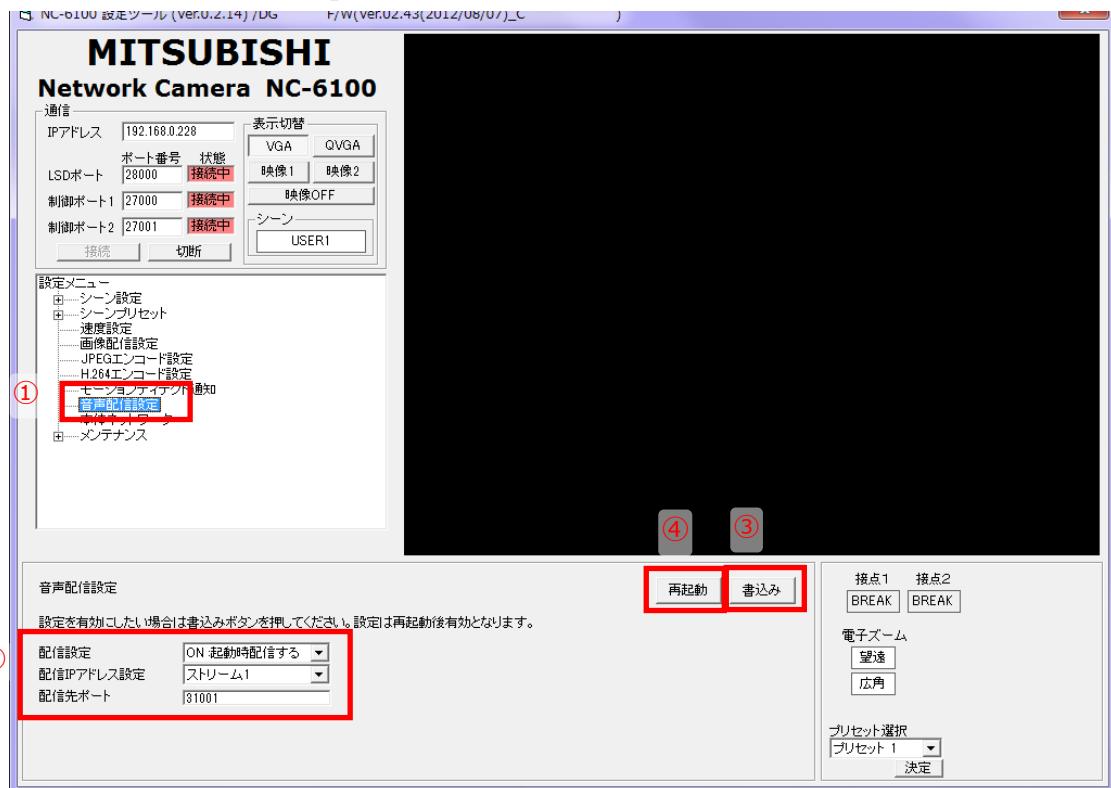




## 2.11.1.2 音声

DIGITAL MELOOK の音声マルチキャスト配信を取得したい場合、次の手順で設定を入力して下さい。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「音声配信設定」を選択します
- (手順2) 「配信設定」を ON にします。  
「配信 IP アドレス設定」は音声を録音したい映像ストリームを選びます。  
「配信先ポート」には任意のポート番号を入力します。ただし、「画像ポート番号」と同じ値、および他の三菱マルチと同じ値は使用できません。
- (手順3) 設定を入力し終えたら「書き込み」ボタンを押して設定を適用します。
- (手順4) 「再起動」ボタンを押してカメラが再起動するをお待ち下さい。



## 2.11.2 ネカ録でのカメラ設定

ネカ録では、三菱マルチに対して設定を行いません。

カメラ設定画面では、映像の受信のために、三菱マルチの IP アドレス等を入力して下さい。

表 三菱マルチ用カメラ設定表

フィールド名	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	三菱 MultiCast を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
マルチキャストアドレス	「配信アドレス」に設定した配信先マルチキャストアドレスを入力します。	
配信方式	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
RTSP ポート	「画像ポート番号」に設定した値を入力します。	
ライブ音声	三菱マルチから音声を取得したい場合にチェックします。	
音声ポート	カメラに設定した音声の「配信先ポート」と同じ番号を入力します。	
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。	

## 2.12 三菱電機株式会社製マルチキャストカメラ (MELOOK3)

本節では、三菱電機株式会社製の MELOOK3 カメラのマルチキャスト配信機能（以降、三菱 MELOOK3 マルチと表記します）をネカ録に接続する場合について記載してあります。三菱 MELOOK3 マルチでは、マルチキャスト配信設定を必ず実施いただき、必要に応じて音声の配信設定をして下さい。

-  カメラ設定でカメラ種別を「三菱 MELOOK3MultiCast」にする場合、同一サブネットワーク上にルータが存在する構成であるか否かに関わらず、ネカ録のデフォルトゲートウェイを必ず設定して下さい。ルータが存在しない構成の場合、同一サブネットの使われていない IP アドレスをデフォルトゲートウェイとして割り当てて設定して下さい。
-  MELOOK3 カメラのマルチキャスト配信機能をご使用でない場合は、本節ではなく 2.55 節をご参照下さい。

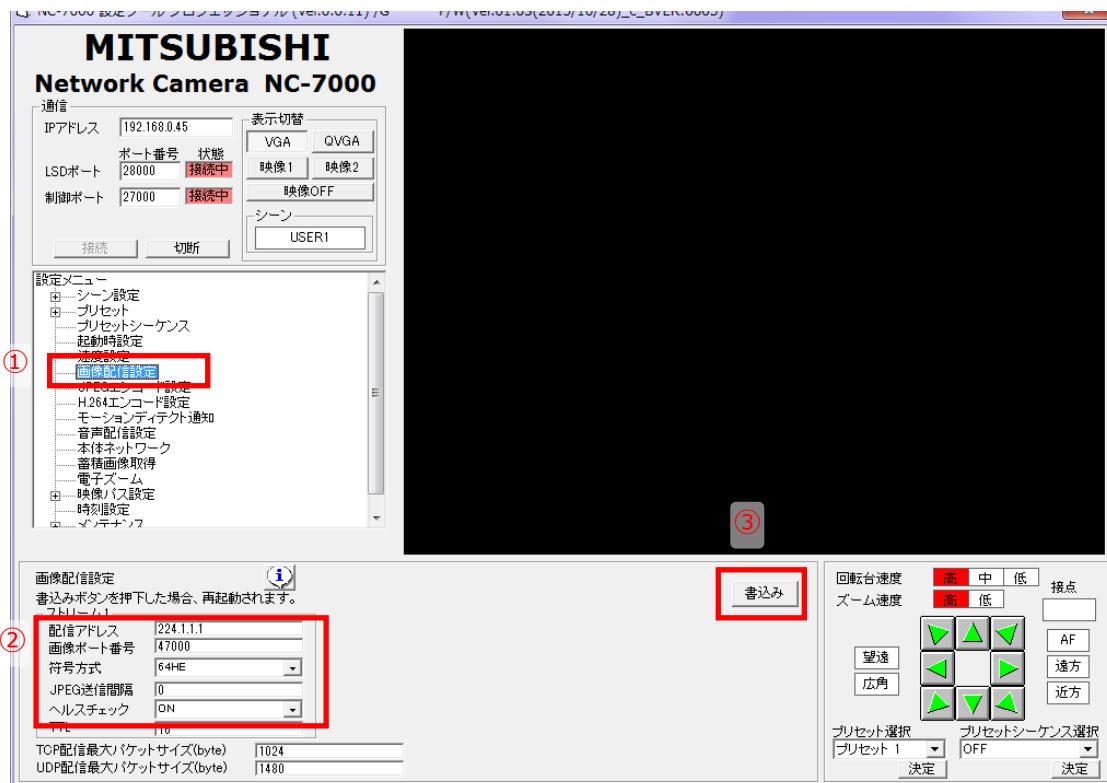
## 2.12.1 カメラ側での設定

Camera Setup Tool を起動し、IP アドレスの欄に設定したい三菱 MELOOK3 の IP アドレス、制御ポートに(マルチキャスト配信設定をしたいストリーム番号 - 1) + 27000 (ストリーム 1 の場合は 27000) を入力して実行します。

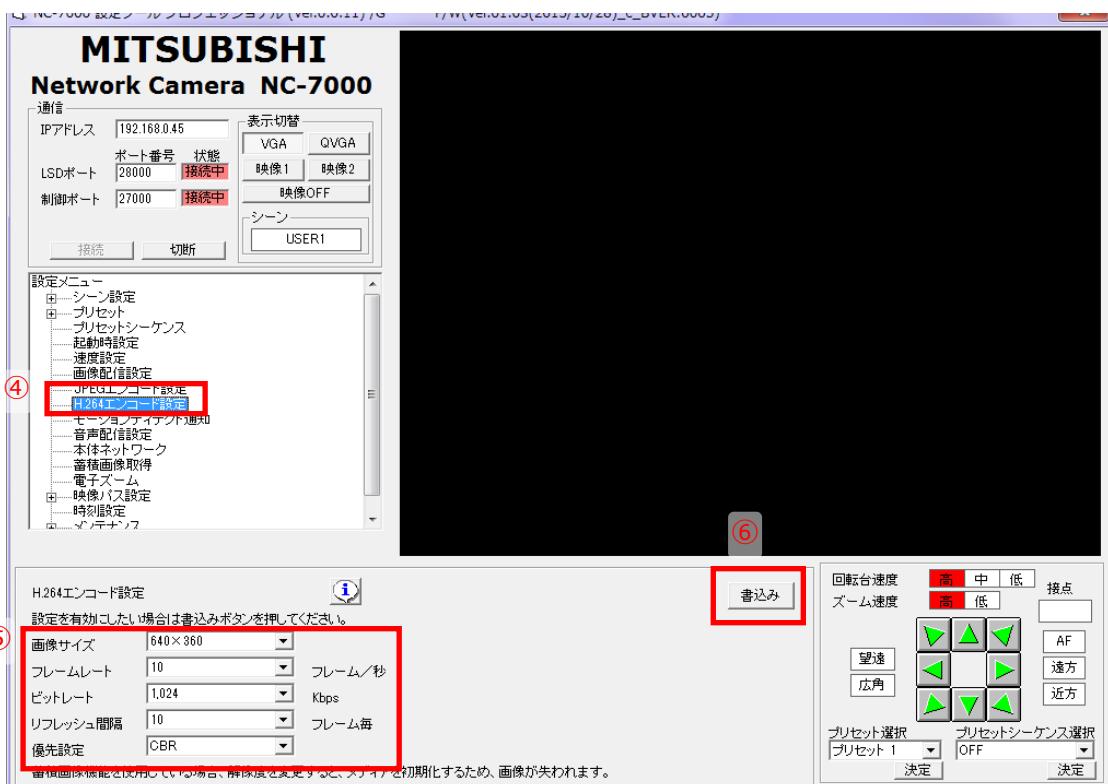
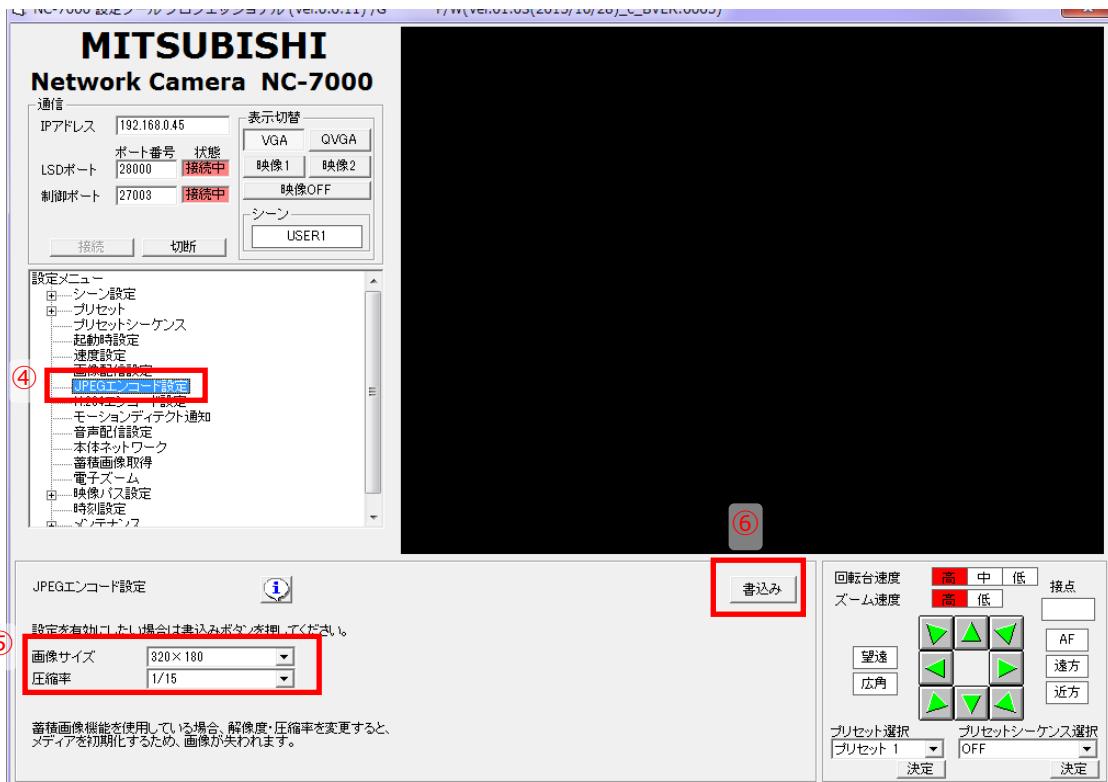
### 2.12.1.1 マルチキャスト配信設定

三菱 MELOOK3 マルチに映像・音声の配信先マルチキャストアドレスを設定し、マルチキャスト配信状態にする必要があります。次の手順で設定を入力して下さい。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「画像配信設定」を選択します。
- (手順2) 「配信アドレス」と「画像ポート番号」に使用したいアドレスとポート番号を入力します。この組み合わせが重複しないようご注意下さい。
- 「符号方式」には、JPEG 映像を取得したい場合は「JPEG」、H.264 映像の場合は「H.264」を選択します。
- JPEG 映像を取得する場合は「JPEG 送信間隔」に、ご希望のフレームレートで 30 を割った値を記入します (10fps であれば、 $30 \div 10 = 3$  なので 3 と記入)。記入できるのは整数のみです。
- 「ヘルスチェック」は必ず OFF にして下さい。
- (手順3) 設定を入力し終えたら「書き込み」ボタンを押して設定を適用し、カメラを再起動し、再度 Camera Setup Tool で接続します。

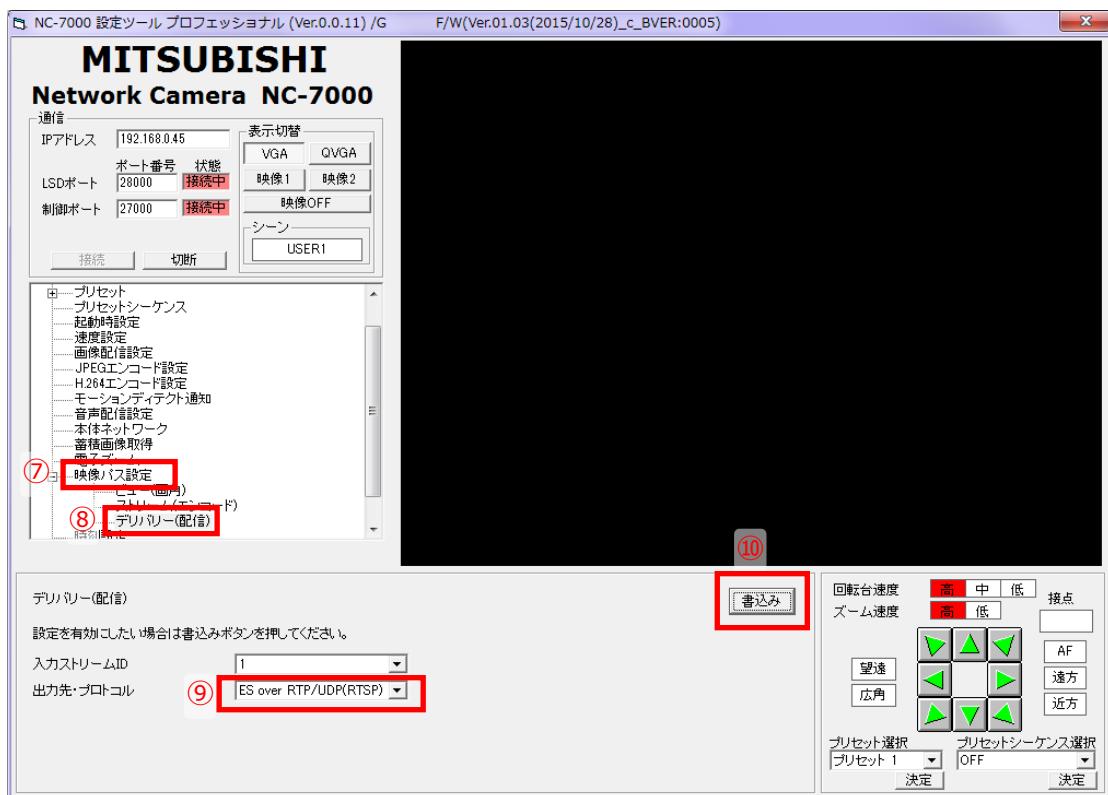
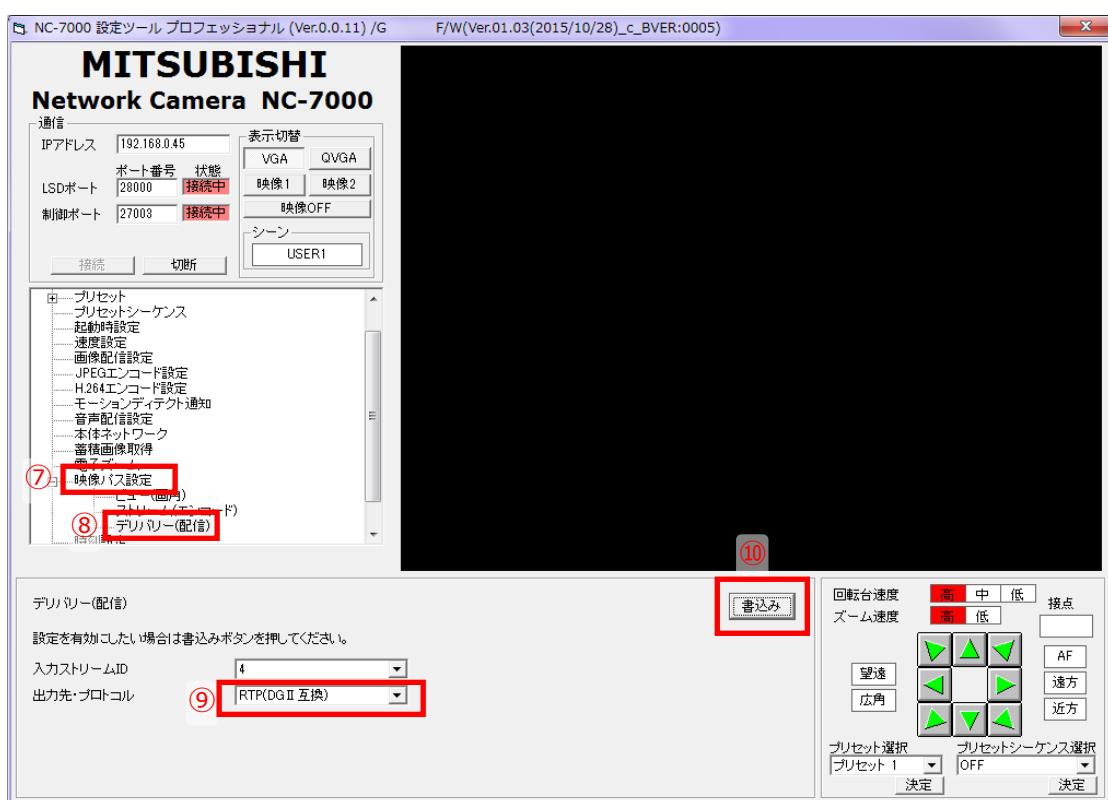


- (手順4)** JPEG の場合は「設定メニュー」から「JPEG エンコード設定」を、H.264 の場合は「H.264 エンコード設定」をそれぞれクリックします。
- (手順5)** 画質などを適宜設定して下さい。設定できる項目はストリームによって異なりますので、カメラの説明書をあわせてご覧下さい。
- (手順6)** 右上の「書き込み」ボタンを押し、カメラを再起動します。

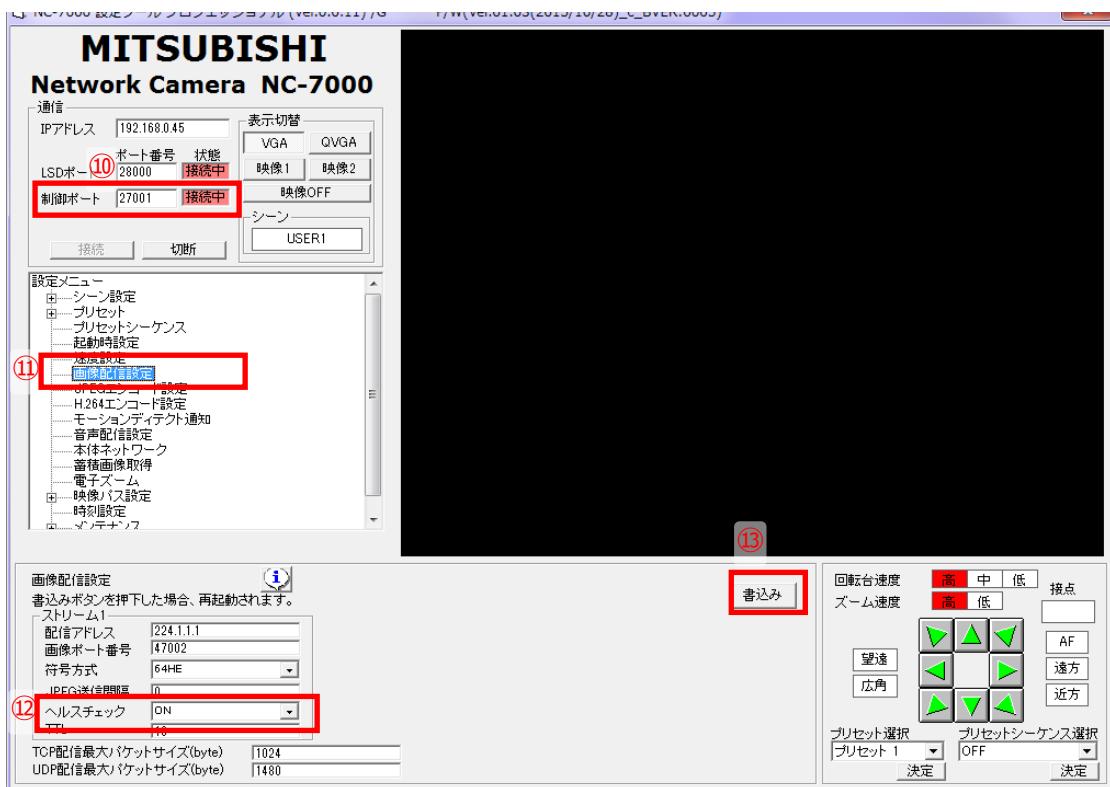


**(手順7)** 画面左側の「設定メニュー」から「映像パス設定」>「デリバリー(配信)」で「出力先・プロトコル」を変更します。JPEG の場合は「RTP(DG II 互換)」を、H.264 の場合は「ES over RTP/UDP(RTSP)」を選択して下さい。

**(手順8)** 右上の「書込み」ボタンを押し、カメラを再起動します。



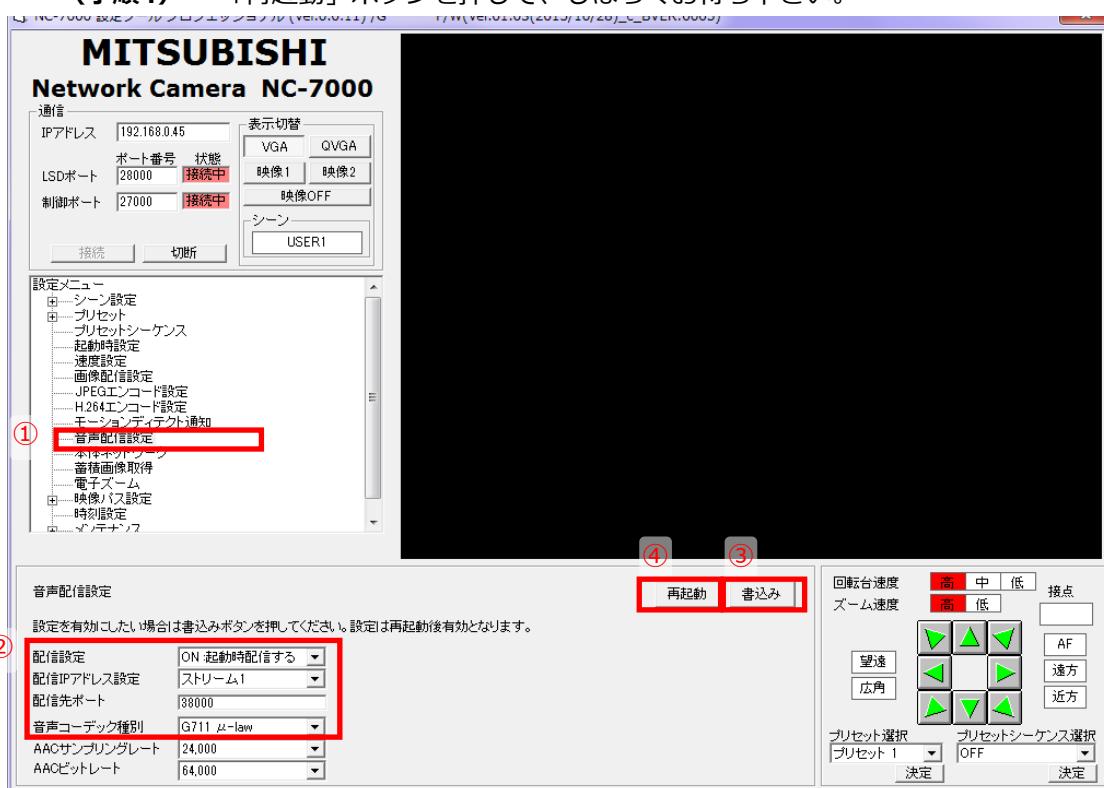
**(手順9)** マルチキャスト配信をしないストリームすべてについて、同様に Camera Setup Tool で「画像配信設定」の「ヘルスチェック」を ON に「書き込み」ボタンを押して設定を適用し、カメラを再起動したら設定は完了です。



## 2.12.1.2 音声

ネカ録でサポートしているμ-law 形式の音声を MELOOK3 カメラが配信するように設定します。

- (手順1) 画面左側の「設定メニュー」から「音声配信設定」を選択します。
- (手順2) 「配信設定」には「ON:起動時配信する」を、「音声コーデック種別」には「G711 μ-law」を選択します。
- (手順3) 「書込み」ボタンを押し、設定を送信します。
- (手順4) 「再起動」ボタンを押して、しばらくお待ち下さい。



**!** 1 台の MELOOK3 が出力できる音声は 1 ストリームのみです。1 台の MELOOK3 から複数の映像を取得する場合、そのうちの 1 つでのみライブ音声出力および録音が可能になります。

## 2.12.2 ネカ録でのカメラ設定

ネカ録では、三菱 MELOOK3 マルチに対して設定を行いません。

カメラ設定画面では、映像の受信のために、三菱 MELOOK3 マルチの IP アドレス等を入力して下さい。

表三菱 MELOOK3 マルチ用カメラ設定表

フィールド名	MJPEG	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。	
機種	三菱 MELOOK3MultiCast を選択します。	
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。	
マルチキャストアドレス	「配信アドレス」に設定した配信先マルチキャストアドレスを入力します。	
配信方式	MJPEG を選択します。	H.264 を選択します。
RTSP ポート	「画像ポート番号」に設定した値を入力します。	
ライブ音声	三菱 MELOOK3 マルチから音声を取得したい場合にチェックします。	
音声ポート	カメラに設定した音声の「配信先ポート」と同じ番号を入力します。	
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作を行う場合にチェックします。	

## 2.13 マルチキャスト TS 配信カメラ

本節では、トランSPORTストリームマルチキャスト配信カメラ（以降、マルチキャスト TS と表記します）をネ力録に接続する場合について記載してあります。

各カメラの設定に関しては、機器付属の取扱説明書をご覧下さい。

 カメラ設定でカメラ種別を「MultiCastTS」にする場合、同一サブネットワーク上にルータが存在する構成であるか否かに関わらず、ネ力録のデフォルトゲートウェイを必ず設定して下さい。ルータが存在しない構成の場合、同一サブネットの使われていないIPアドレスをデフォルトゲートウェイとして割り当てて設定して下さい。

### 2.13.1 ネ力録でのカメラ設定

カメラ側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、カメラ設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの詳しい説明については、同梱のネ力録 統合管理ツールユーザーズガイドをご覧下さい。

マルチキャスト TS に設定できる項目とその内容を、表 マルチキャスト TS 用カメラ設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 マルチキャスト TS 用カメラ設定表

フィールド名	H.264
カメラ名	このカメラの識別名を全角 15 文字以内で入力します。入力された識別名は、SMV での接続先選択時やライブ映像の下側に表示されます。
機種	MultiCastTS を選択します。
IP アドレス	接続するカメラの IP アドレスを入力します。
マルチキャストアドレス	「配信アドレス」に設定した配信先マルチキャストアドレスを入力します。
配信方式	選択できません（H.264 で配信されます）。
RTSP ポート	「画像ポート番号」に設定した値を入力します。
PTZ 操作	接続するカメラのパン・チルト・ズームなどの操作と一部の機械制御を行う場合にチェックします。

 PTZ 操作は三菱電機製の一部カメラにのみ対応しております。対応機種に関しては当社 HP のサポートカメラリストをご覧下さい。

## 3. 注意点

---

### 3.1 ネットワークカメラのユーザ設定

ネットワークカメラ用録画・配信サーバは、ネットワークカメラと画像の通信を行う際、ネットワークカメラにユーザの制限が設定されていると、画像の取得に失敗する場合があります。

ネットワークカメラの設定は、管理者権限 (Administrator) のあるユーザで行って下さい。設定の詳細は、各ネットワークカメラのマニュアルを参照願います。

### 3.2 ネットワークカメラの PTZ 操作

- PTZ 操作可能なカメラにおいて、複数の PC から 1 台のカメラに対して同時に過度なカメラ操作を行うと、カメラやネカ録の故障の要因になりますのでお控え頂くようお願い致します。
- 動き検知と PTZ 操作の併用使用は下記留意事項があるのでお控え頂くようお願い致します。
  1. PTZ 操作により被写体が変わることで、ユーザ設定意図とは異なるタイミングで動き検知されてしまう。また、一部のカメラでは動き検知できなくなってしまう。
  2. カメラ側で動き検知の設定中、もしくは、カメラ側の動き検知の設定によりカメラの PTZ 位置が固定され、PTZ 操作が不能になるカメラもある。

## 4. 入出力ボックス機種別設定項目ガイド

---

ネカ録でサポートしている各メーカーの機種別に、あらかじめ入出力ボックスに設定しておく必要がある項目について、設定手順を紹介します。

ネカ録側で設定する項目とその手順につきましては、「ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド」に詳しく記載しておりますので、そちらをご覧下さい。

## 4.1 iND 株式会社製入出力ボックス

ネカ録では、iND 株式会社製の入出力ボックスは、CommAssist-io と CommAssist-i4o4(以降、CommAssist-io と表記)をサポートしています。ここでは、CommAssist-io とネカ録の接続方法について記載します。ネカ録での接続の前に、入出力ボックス側で下記を設定して下さい。

1. ディップスイッチの設定
2. SNMP の設定

詳しくは、入出力ボックスの説明書を合わせてご参照下さい。

なお、入出力ボックスのファームバージョンにより一部の項目で表記が異なる場合および設定できない場合がありますので、入出力ボックスの説明書を合わせてご参照下さい。

### 4.1.1 入出力ボックス側での設定

入出力ボックス側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

CommAssist-io をネカ録に接続する際は、CommAssist-io を「運用モード：SNMP エージェント通信」に設定しておく必要があります。

ここでは、CommAssist-io を「運用モード：SNMP エージェント通信」にする手順を紹介します。

- ⚠ ネカ録は CommAssist-io の「運用モード：ソケット通信」などの設定には対応しておりませんのでご留意ください。
- ⚠ CommAssist-io の設定変更には、TELNET が可能なクライアントソフトウェア (TeraTerm など)が必要です。

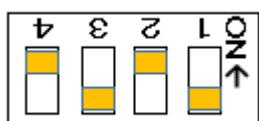
#### 4.1.1.1 ディップスイッチの設定

CommAssist-io の装置にはディップスイッチが備え付けられており、スイッチを使用して、下表のように 5 つの状態に切り替えることが可能です。

表 ディップスイッチ設定表

ディップスイッチの位置				用途
1	2	3	4	
OFF	OFF	OFF	OFF	運用モード：ソケット通信(工場出荷時)
OFF	ON	OFF	ON	運用モード：SNMP エージェント通信
ON	OFF	ON	ON	運用モード：メール通信
OFF	ON	ON	ON	バージョンアップモード
ON	ON	ON	ON	工場出荷時の設定に戻します

(手順1) 上表の「運用モード：SNMP エージェント通信」にディップスイッチを切り替えてください(1:OFF 2:ON 3:OFF 4:ON)。ディップスイッチの本体位置など、詳しくは CommAssist-io の説明書を参照してください。



#### 4.1.1.2 SNMP の設定

SNMP エージェント関連の設定を行います。

(手順1) CommAssist-io の IP アドレスに対して TELNET で接続してください。

(手順2) 設定一覧が表示されます。5 を入力して[Enter]を押してください。

- 1) Status
  - 2) Network Address
  - 3) Client
  - 4) Dead Job Config
  - 5) SNMP Option
  - 6) MAIL Option
  - 7) Set Default Configuration
  - 8) Exit
- Enter Number **5**↔

↔ :エンター (Enter) キー

(手順3) SNMP Option メニューが表示されます。1 を入力して[Enter]を押してください。

- 1) Trap IP address
  - 2) Community name
  - 3) System group
- Enter Number **1**↔

↔ :エンター (Enter) キー

(手順4) Trap IP address の編集メニューが表示されますので、ネカ録の IP アドレスを設定してください。

次に示す手順は「Trap IP address 1」に

ネカ録 IP アドレス(例：192.168.0.102)を指定する場合の例です。

- 1) Trap IP address 1(0.0.0.0 = not use) 0.0.0.0
  - 2) Trap IP address 2(0.0.0.0 = not use) 0.0.0.0
  - 3) Trap IP address 3(0.0.0.0 = not use) 0.0.0.0
- Enter Number **1**↔
- Trap IP address 1
- New address **192.168.0.102**↔
- 1) Trap IP address 1(0.0.0.0 = not use) 192.168.0.102
  - 2) Trap IP address 2(0.0.0.0 = not use) 0.0.0.0
  - 3) Trap IP address 3(0.0.0.0 = not use) 0.0.0.0
- Enter Number ↔

↔ :エンター (Enter) キー

 CommAssist-io には 3 つまで Trap IP address が設定可能ですが、ネカ録で使用する場合、複数台のネカ録や他システムとの共有使用はできません。使用しない Trap IP address には、必ず"0.0.0.0"を設定してください。

**(手順5)** SNMP Option メニューに戻ります。2 を入力して[Enter]を押してください。  
Community name の一覧が表示されます。ネカ録で使用の際は Community name が「public」である必要があります。  
1)、2)いずれも「public」と表示されるか確認してください。  
確認できたら[Enter]を押してください。

```
1) Trap IP address
2) Community name
3) System group
  Enter Number  2←
1) Read Only Community      public
2) Read Write Community     public
  Enter Number  ←
```

← :エンター (Enter) キー

**(手順6)** SNMP Option メニューに戻ります。[Enter]を押してください。  
設定一覧が表示されますので、8 を入力して[Enter]を押してください。

```
1) Trap IP address
2) Community name
3) System group
  Enter Number  ←
1) Status
2) Network Address
3) Client
4) Dead Job Config
5) SNMP Option
6) MAIL Option
7) Set Default Configuration
8) Exit
  Enter Number  8←
```

← :エンター (Enter) キー

**(手順7)** Exit メニューが表示されます。2 を入力して[Enter]を押してください。  
変更内容を保存して、CommAssist が終了します。

```
1) Quit
2) Save Change to EE_PROM & Restart CommAssist
3) Password
  Enter Number  2←
```

← :エンター (Enter) キー

### 4.1.1.3 ネ力録での入出力ボックス設定

入出力ボックス側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、センサー設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの使用方法につきましては、同梱の「ネ力録 統合管理ツールユーザーズガイド」をご覧下さい。

CommAssist-io に設定する内容を、表 CommAssist-io 設定表に示します。  
この表を参考に、設定を行って下さい。

表 CommAssist-io 設定表

フィールド名	設定内容
機種	機種が CommAssist-io の場合は、iND CommAssist を選択し、CommAssist-i4o4 の場合は、iND CommAssist-i4o4 を選択します。
IP アドレス	接続する入出力ボックスの IP アドレスを入力します。
ポート	161 を入力します。

- ! ネ力録で CommAssist-io をご使用の場合、複数台のネ力録や他システムとの共有使用はできません。ネ力録と CommAssist-io とで 1 対 1 となるように設計してください。
- ! ネ力録統合管理ツールのセンサー設定画面では、1 つの接点入出力装置に対して 8 ポートまで割り当て可能ですが、CommAssist-i4o4 は接点入出力 4 ポートまで制御可能な接点入出力装置です。そのため、ネ力録では次表の規則で割り当てを定めておりますので、ご留意ください。

ネ力録 統合管理ツー ル上の装置名	接点入力		接点出力 ※IO/BOX1 設定時のみ連動				
	ネ力録 統合管理ツール上 の表記	Comm Assist-i4o4 本体上の表記	ネ力録 統合管理ツール上 の表記	Comm Assist-i4o4 本体上の表記			
IO/BOX1	INPUT1	接点入力 1 (C1)	A	接点出力 1 (11)			
	INPUT2	接点入力 2 (C2)	B	接点出力 2 (22)			
	INPUT3	接点入力 3 (C3)	C	接点出力 3 (33)			
	INPUT4	接点入力 4 (C4)	D	接点出力 4 (44)			
	INPUT5	4 ポートのため 割り当て不可	E	4 ポートのため 割り当て不可			
	INPUT6		F				
	INPUT7		G				
	INPUT8		H				
IO/BOX2	INPUT9	接点入力 1 (C1)	ネ力録で非対応				
	INPUT10	接点入力 2 (C2)					
	INPUT11	接点入力 3 (C3)					
	INPUT12	接点入力 4 (C4)					
	INPUT13	4 ポートのため 割り当て不可					
	INPUT14						
	INPUT15						
	INPUT16						

## 4.2 三菱電機エンジニアリング株式会社製入出力ボックス

ネカ録では、三菱電機エンジニアリング株式会社製の入出力ボックスは、NJ-2000-1 をサポートしています。ここでは、NJ-2000-1 とネカ録の接続方法について記載します。

なお、入出力ボックスのファームバージョンにより一部の項目で表記が異なる場合および設定できない場合がありますので、入出力ボックスの説明書を合わせてご参照下さい。

### 4.2.1 入出力ボックス側での設定

入出力ボックス側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

ネカ録では、NJ-2000-1 の「LAN-デジタル I/O 変換機能(DIO32 点対応コマンド)」にのみ対応しており、デフォルト設定のままでは、ネカ録に接続することはできません。

ここでは、NJ-2000-1 をネカ録で使用するための手順を紹介します。

- ! ネカ録は NJ-2000-1 の「シリアル-デジタル I/O 変換機能」や「LAN-デジタル I/O 変換機能(DIO8 点対応コマンド)」などには対応しておりませんのでご留意ください。
- ! NJ-2000-1 の設定変更には、TELNET が可能なクライアントソフトウェア(TeraTerm など)が必要です。

#### 4.2.1.1 シリアル-デジタル I/O 変換機能の設定

シリアル-デジタル I/O 変換機能の設定を行います。

- (手順1) NJ-2000-1 の IP アドレスに対して TELNET で接続してください。
- (手順2) ターミナル画面にて Password 入力待ちとなるので、パスワードを入力してください。(工場出荷時のパスワードは「pass」です。)

```
*** LAN-DigitalI/O Converter NJ-2000 ***
```

```
Password:pass←
```

← :エンター (Enter) キー

- (手順3) TOP メニューが表示されます。2 を入力して[Enter]を押してください。

- 1)Status Display
- 2)Initial Setup
- 3)Flash Update
- 4)Maintenance Setup
- 5)Exit

```
Select Number :2←
```

← :エンター (Enter) キー

**(手順4)** 動作モードの選択メニューが表示されます。3 を入力して[Enter]を押してください。

\*Current System Mode=LAN-Serial&I/O

- 1)LAN <-> Serial
- 2)LAN <-> I/O
- 3)LAN <-> Serial & I/O
- 4)I/O <-> Serial

Select Number :3←

← :エンター (Enter) キー

**(手順5)** 接続モードの選択メニューが表示されます。1 を入力して[Enter]を押してください。

\*Current Connect Mode=Other

Connect Mode

- 1)Other
- 2)NJ

Select Number :1←

← :エンター (Enter) キー

**(手順6)** サーバ/クライアントの選択メニューが表示されます。1 を入力して[Enter]を押してください。

\*Current Server/Client=Client

Server/Client

- 1)Server
- 2)Client

Select Number :1←

← :エンター (Enter) キー

**(手順7)** インタフェース設定メニューが表示されます。1を入力して[Enter]を押してください。



(手順8) LAN 設定メニューが表示されるので、「IP Address(DIO32)」にネカ録の IP アドレスを設定してください。  
ネカ録 IP アドレス(例：192.168.0.102)を指定する場合の例です。

Own Address	
1)IP Address	
2)Subnet Mask	
3)Default Gateway	
for Serial Data	
4)IP Address	
5)Port	
for I/O Data	
6)IP Address(DIO32)	
7)Port	
8)IP Address(DIO8:00..07)	
9)Port	
10)IP Address(DIO8:08..15)	
11)Port	
12)IP Address(DIO8:16..23)	
13)Port	
14)IP Address(DIO8:24..31)	
15)Port	
Select Number :	6←
*Current IP Address(I/O DIO32)=0.0.0.0	
>IP Address(I/O DIO32)	
<b>192.168.0.102←</b>	

 ネカ録では、「IP Address(DIO8)」は使用しないので、次表に示すように IP アドレスの設定には“0.0.0.0”を、ポートの設定には“0”が設定されていることを確認して下さい。設定されていない場合は、必ず次表の通りに設定しなおしてください。

設定項目	Select Number :	設定値
8)IP Address(DIO8:00..07)	8←	0.0.0.0←
9)Port	9←	0←
10)IP Address(DIO8:08..15)	10←	0.0.0.0←
11)Port	11←	0←
12)IP Address(DIO8:16..23)	12←	0.0.0.0←
13)Port	13←	0←
14)IP Address(DIO8:24..31)	14←	0.0.0.0←
15)Port	15←	0←

← :エンター (Enter) キー

ネカ録ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド [90B0-DL-1561A]

**(手順9)** 設定を終えると、再び LAN 設定メニューが表示されるので[ESC]を押して下さい。するとインターフェース設定メニューに戻るので、3を入力して[Enter]を押してください。

Own Address

- 1)IP Address
- 2)Subnet Mask
- 3)Default Gateway

for Serial Data

- 4)IP Address
- 5)Port

for I/O Data

- 6)IP Address(DIO32)
- 7)Port
- 8)IP Address(DIO8:00..07)
- 9)Port
- 10)IP Address(DIO8:08..15)
- 11)Port
- 12)IP Address(DIO8:16..23)
- 13)Port
- 14)IP Address(DIO8:24..31)
- 15)Port

Select Number : **[ESC]**

- 1)LAN
- 2)Serial
- 3)I/O
- 4)Exit

Select Number : **3** ↵

**[ESC]** :エスケープ (Esc) キー   ↵ :エンター (Enter) キー

(手順10) デジタル I/O 設定メニューが表示されるので、2 を入力して[Enter]を押してください。

- 1)Pon Notify
- 2)Enable Notify
- 3)Input Notify Time
- 4)Input Check Cont
- 5)Initialize Output Data
- 6)Disconnect Output Hold
- 7)Connect Timer
- 8)Disconnect Timer
- 9)Communication Timer

Select Number : 2←

← :エンター (Enter) キー

(手順11) デジタル入力状態通知 選択画面が表示されるので、2 を入力して[Enter]を押してください。

\*Current Enable Notify=OFF

- 1)OFF
- 2)ON

Select Number : 2←

← :エンター (Enter) キー

**(手順12)** 設定を終えると、再び、デジタル I/O 設定メニューが表示されるので[ESC]を押して下さい。するとインタフェース設定メニューに戻るので、4 を入力して[Enter]を押してください。

- 1)Pon Notify
- 2)Enable Notify
- 3)Input Notify Time
- 4)Input Check Cont
- 5)Initialize Output Data
- 6)Disconnect Output Hold
- 7)Connect Timer
- 8)Disconnect Timer
- 9)Communication Timer

Select Number : [ESC]

- 1)LAN
- 2)Serial
- 3)I/O
- 4)Exit

Select Number : 4

[ESC] :エスケープ (Esc) キー ↲ :エンター (Enter) キー

**(手順13)** 2 を入力して[Enter]を押して設定を保存してください。  
再度[Enter]を押すと、NJ-2000-1 が終了します。

- 1)Setup Display
- 2)Save & Quit
- 3)Quit

Select Number : 2

Save Complete  
Reboot after 5 sec

↲ :エンター (Enter) キー

#### 4.2.1.2 ネ力録での入出力ボックス設定

入出力ボックス側で必要な設定を終えたら、ネ力録統合管理ツールを起動し、センター設定画面を開いて下さい。ネ力録統合管理ツールの使用方法につきましては、同梱の「ネ力録 統合管理ツールユーザーズガイド」をご覧下さい。

NJ-2000-1 に設定する内容を、表 NJ-2000-1 設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 NJ-2000-1 設定表

フィールド名	設定内容
機種	MEE NJ-2000-1 を選択します。
IP アドレス	接続する入出力ボックスの IP アドレスを入力します。
ポート	1112 を入力します。
グループ ID	NJ-2000-1 の 32 ポートの接点入出力を 8 ポート × 4 グループで分割した グループ ID を 1~4 のいずれかで入力します。



ネ力録で NJ-2000-1 をご使用の場合、複数台のネ力録や他システムとの共有使用はでき  
ません。ネ力録と NJ-2000-1 とで 1 対 1 となるように設計してください。

⚠ ネ力録統合管理ツールのセンサー設定画面では、1つの接点入出力装置に対して8ポートまで割り当て可能ですが、NJ-2000-1は接点入出力32ポート制御可能な接点入出力装置です。そのため、ネ力録では次表の規則で8ポート×4グループで分割したグループIDを定めております。

グループID	接点入力		接点出力 ※IO/BOX1 設定時のみ連動	
	ネ力録 統合管理ツール上 の表記	NJ-2000-1 取扱説明書上 の表記	ネ力録 統合管理ツール上 の表記	NJ-2000-1 取扱説明書上 の表記
1	INPUT1	IN_00	A	OUT_00
	INPUT2	IN_01	B	OUT_01
	INPUT3	IN_02	C	OUT_02
	INPUT4	IN_03	D	OUT_03
	INPUT5	IN_04	E	OUT_04
	INPUT6	IN_05	F	OUT_05
	INPUT7	IN_06	G	OUT_06
	INPUT8	IN_07	H	OUT_07
2	INPUT9	IN_08	A	OUT_08
	INPUT10	IN_09	B	OUT_09
	INPUT11	IN_0A	C	OUT_0A
	INPUT12	IN_0B	D	OUT_0B
	INPUT13	IN_0C	E	OUT_0C
	INPUT14	IN_0D	F	OUT_0D
	INPUT15	IN_0E	G	OUT_0E
	INPUT16	IN_0F	H	OUT_0F
3	INPUT17	IN_10	A	OUT_10
	INPUT18	IN_11	B	OUT_11
	INPUT19	IN_12	C	OUT_12
	INPUT20	IN_13	D	OUT_13
	INPUT21	IN_14	E	OUT_14
	INPUT22	IN_15	F	OUT_15
	INPUT23	IN_16	G	OUT_16
	INPUT24	IN_17	H	OUT_17
4	INPUT25	IN_18	A	OUT_18
	INPUT26	IN_19	B	OUT_19
	INPUT27	IN_1A	C	OUT_1A
	INPUT28	IN_1B	D	OUT_1B
	INPUT29	IN_1C	E	OUT_1C
	INPUT30	IN_1D	F	OUT_1D
	INPUT31	IN_1E	G	OUT_1E
	INPUT32	IN_1F	H	OUT_1F

 ネカ録では、ユニット毎に 2 台まで接点入出力装置が接続可能です。次表のように入力ポートを設定すると、ネカ録 1 台で NJ-2000-1 の接点入力 32 ポートの全てが使用可能です。

※NJ-2000-1 IP アドレス(例: 192.168.0.1)を指定する場合の例です。

【ユニット#1 - センサー設定】

装置名	機種	IP アドレス	ポート	グループ ID
IO BOX1	MEE NJ-2000-1	192.168.0.1	1112	1
IO BOX2	MEE NJ-2000-1	192.168.0.1	1112	2

【ユニット#2 - センサー設定】

装置名	機種	IP アドレス	ポート	グループ ID
IO BOX1	MEE NJ-2000-1	192.168.0.1	1112	3
IO BOX2	MEE NJ-2000-1	192.168.0.1	1112	4

## 4.3 三菱電機インフォメーションネットワーク 株式会社製入出力ボックス

ネカ録では、弊社 三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社製のネットワーク型入出力ボックス NS-NWIO2（以降、NWIO2 と表記します）をサポートしています。ここでは、NWIO2 とネカ録の接続方法について記載します。

### 4.3.1 入出力ボックス側での設定

入出力ボックス側での設定は、ネカ録での設定入力・接続より前に行います。

入出力ボックス側の設定は別冊のネットワーク型入出力ボックスユーザーズガイドに記されています。ガイドを参照の上、必ず事前設定を実施してください。

#### 4.3.1.1 ネカ録での入出力ボックス設定

入出力ボックス側で必要な設定を終えたら、ネカ録統合管理ツールを起動し、センサー設定画面を開いて下さい。ネカ録統合管理ツールの使用方法につきましては、同梱の「ネカ録 統合管理ツールユーザーズガイド」をご覧下さい。

NWIO2 に設定する内容を、表 NWIO2 設定表に示します。

この表を参考に、設定を行って下さい。

表 NWIO2 設定表

フィールド名	設定内容
機種	NWIO2 を選択します。
IP アドレス	接続する入出力ボックスの IP アドレスを入力します。
ポート	10000 を入力します。

 ポートは、入出力ボックス側でポートの値を既定値から変更した場合は、その変更した値を設定して下さい。

---

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。

---

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ  
ネットワークカメラ 入出力ボックス接続ガイド

説明書番号 90B0-DL-1561A

2017年11月1日 発行

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社  
東京都港区芝浦4-6-8

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ

統合監視ソフトウェア  
ユーザーズガイド

# はじめに

本書では、ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」の「統合監視ソフトウェア」の概要・操作・機能・設定について説明します。

## ■ 本書の構成

### 第 1 章 概要

統合監視ソフトウェアの概要について説明します。

### 第 2 章 インストールとアンインストール

インストールとアンインストールについて説明します。

### 第 3 章 基本的な操作

基本的な操作について説明します。

### 第 4 章 機能概要

機能概要について説明します。

### 第 5 章 設定

各設定について説明します。

### 第 6 章 監視結果

監視結果について説明します。

## 記号の説明:



: 注意事項を記載しています。

## 表記について:

本書では、入力可能なサイズをバイトで表現します。1 バイトは、半角英数文字 1 文字分のサイズです。漢字は、2 バイトで 1 文字のサイズです。

---

### 登録商標、商標

本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本表示及び本文中の各社の登録商標または商標は、正式な表示を省略しています。

## 目 次

1. 概要 .....	1
1.1 統合監視ソフトウェアとは .....	1
1.2 機能 .....	1
1.3 ソフトウェア構成 .....	2
2. インストールとアンインストール .....	3
2.1 インストール .....	3
2.2 アンインストール .....	4
3. 基本的な操作 .....	5
3.1 起動 .....	5
3.2 終了 .....	5
4. 機能概要 .....	6
4.1 監視内容 .....	6
4.1.1 ネカ録の監視 .....	6
4.1.2 ネカ録以外の機器の監視 .....	6
4.2 画面の説明 .....	7
4.2.1 画面遷移 .....	7
4.2.2 管理画面 .....	8
4.2.3 異常検知画面 .....	11
4.3 メニュー .....	12
5. 設定 .....	13
5.1 監視対象機器設定 .....	13
5.2 各種設定 .....	15
5.2.1 監視条件設定 .....	16
5.2.2 スケジュール設定 .....	18
5.2.3 履歴出力設定 .....	20
5.2.4 アラーム設定 .....	21
5.2.5 コマンド設定 .....	22
5.2.6 メール設定 .....	23
5.3 設定バックアップ／リストア .....	25
5.3.1 設定バックアップ .....	25
5.3.2 設定リストア .....	26
6. 監視結果 .....	27

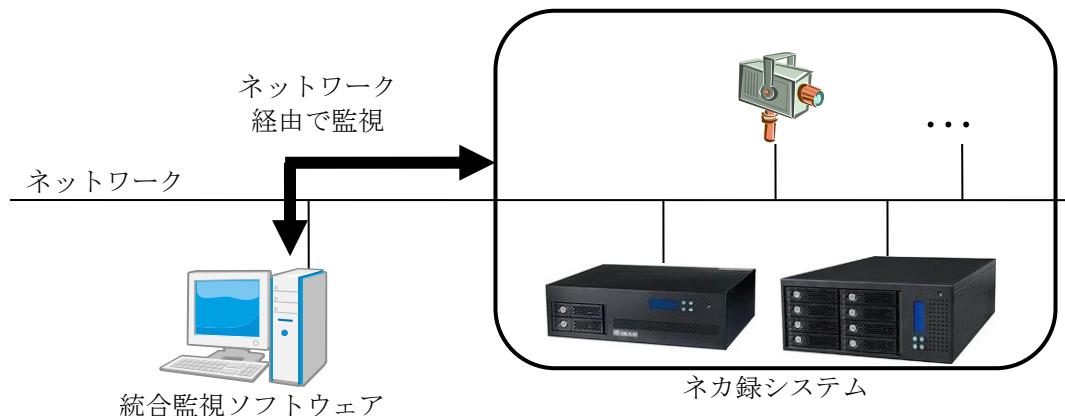
# 1. 概要

本章では、統合監視ソフトウェアの概要について説明します。

## 1.1 統合監視ソフトウェアとは

本ソフトウェアは、“ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」”（以下、「ネカ録」と記載します）システムの統合監視ソフトウェアです。

本ソフトウェアは、Windows PC 上で動作し、ネットワーク経由で各機器の状態を監視します。



## 1.2 機能

本ソフトウェアには、以下の機能があります。

- ネカ録の稼動監視及びネカ録システム上のネットワーク機器の応答監視
- 監視のスケジュール実行及び即時実行
- 監視履歴の画面表示及びファイル出力
- 監視対象機器管理
- 異常検知時ポップアップ画面表示
- 異常検知時音声出力
- 異常検知時コマンド実行
- 異常検知時メール通知



### 注意事項:

本ソフトウェアによるネカ録稼動監視と、ネカ録本体の異常検知・通知機能とでは、検知対象項目が異なります。

但し、ディスクに異常が発生した場合は、双方で異常を検知する可能性があります。この場合は、コマンド実行・音声出力などが双方で実行されることになります。

## 1.3 ソフトウェア構成

本ソフトウェアの動作条件は、以下の通りです。

項目	内容
稼動 OS	Windows 7 Professional (Service Pack1 以降) Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro
監視対象ネカ録	ネカ録 2.0 ネカ録 3.0 ネカ録 AVC ネカ録 3.2 ネカ録 4.0 ネカ録 5
その他の監視対象機器	PING 応答できる全ての機器

対象機器数：ネカ録/その他の機器 計 10000 台

### 注意事項：

多数の機器の監視を行う場合、PC のリソースを多く使用します。  
機器の登録の際には、十分に検証を実施してください。

## 2. インストールとアンインストール

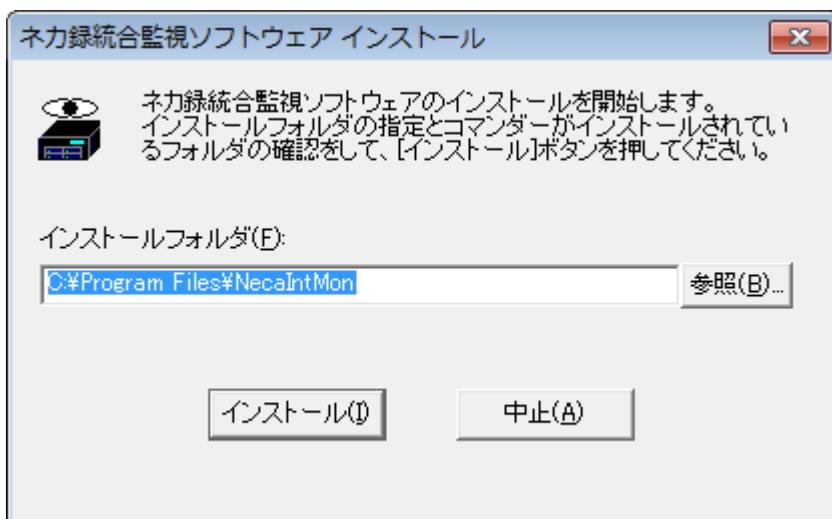
本ソフトウェアのインストール・アンインストール方法について説明します。



本章の作業は、Administrator 権限を持つユーザー アカウントで実施してください。

### 2.1 インストール

ネカ録本体からダウンロードして解凍し、「NecaIntMonInst.exe」を実行してください。以下の画面が表示されますので、インストールフォルダを確認し、「インストール」ボタンをクリックしてください。



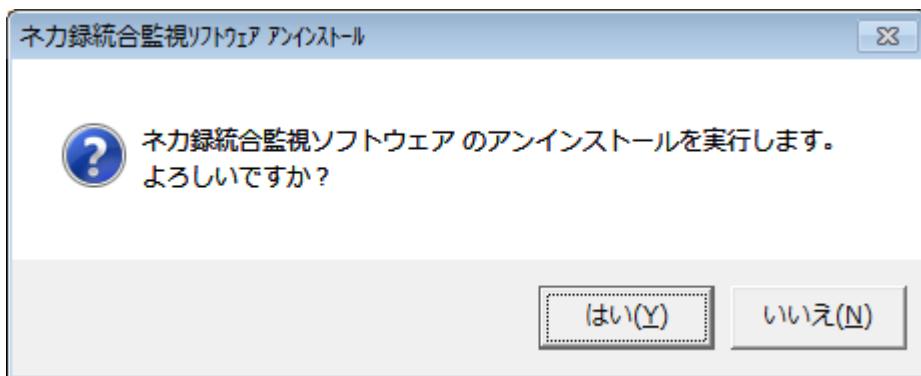
インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。



## 2.2 アンインストール

コントロールパネルの「プログラムと機能」から、本ソフトウェアを選択して「アンインストールと変更」をクリックしてください。

以下の確認画面が表示されますので、アンインストールを実行する場合は、「はい」をクリックしてください。



## 3. 基本的な操作

---

本章では、本ソフトウェアの基本的な操作について説明します。

### 3.1 起動

インストール時に「スタートアップ」に登録されますので、PC ログイン時に自動起動されます。

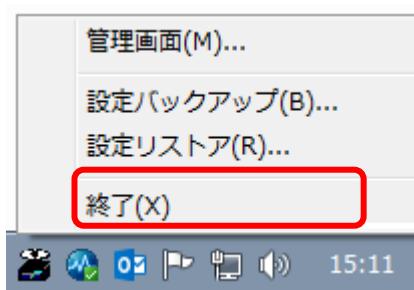
起動後は、タスクトレイに下図のアイコンが表示されます。



本ソフトウェアを起動するためには、PC にログインする必要があります。  
ログオフ状態では起動されず、監視実行されません。  
また、複数ユーザーで同時ログインすると、二重起動して二重に監視実行されてしまいます。  
複数ユーザーで同時ログインする可能性がある場合は、本ソフトウェアの  
「All Users」の「スタートアップ」の登録を、常にログインしているユーザーの  
「スタートアップ」に移動してください。

### 3.2 終了

タスクトレイのアイコン (  ) をクリックすると、以下のメニューが表示されます。  
「終了」メニューを選択してください。



## 4. 機能概要

### 4.1 監視内容

ネカ録及び他機器に対する監視内容について説明します。

#### 4.1.1 ネカ録の監視

ネカ録に対しては、以下の監視を行います。

No	監視項目	説明
1	ネットワーク接続状態	ネカ録のネットワーク接続状態(リンク層／インターネット層)を確認します。
2	基本サービス稼動状態	ネカ録の基本サービスの稼動状態(外部からの接続要求受付機能部分)を確認します。
3	ライブ画像配信機能稼動状態	ネカ録のライブ画像配信機能の稼動状態を確認します。  <b>⚠ 注意事項 :</b> カメラ／ネカ録間の映像配信監視ではありません。
4	ディスクアクセス状態	ネカ録のディスク読み書き可否状態を確認します。
5	録画状態	ネカ録の録画状態を確認します。 最終録画日時が指定した時間より古い場合に異常として検知します。  <b>⚠ 注意事項 :</b> 全カメラに対してスケジュール録画、動き検知録画、センサー連動録画の設定をしている場合は、録画条件を満たさずに一定時間全カメラの録画が行われないこともあります。 この点を考慮して録画停止判定時間を設定してください。
6	Web サーバー機能稼動状態	ネカ録の Web サーバー機能の稼動確認を行います。
7	AVC 変換機能稼動状態 (AVC モデルのみ)	AVC 変換機能の稼動確認を行います。 指定した時間より変換が遅延している場合に異常として検知します。

#### 4.1.2 ネカ録以外の機器の監視

ネカ録以外の機器に対しては、以下の監視を行います。

No	監視項目	説明
1	ネットワーク接続状態	ICMP プロトコルを使用し、PING コマンドと同等のネットワーク接続状態確認を行います。
2	Web サーバー機能稼動状態	ネットワークカメラなどに対し、Web サーバー機能の稼動確認を行います。



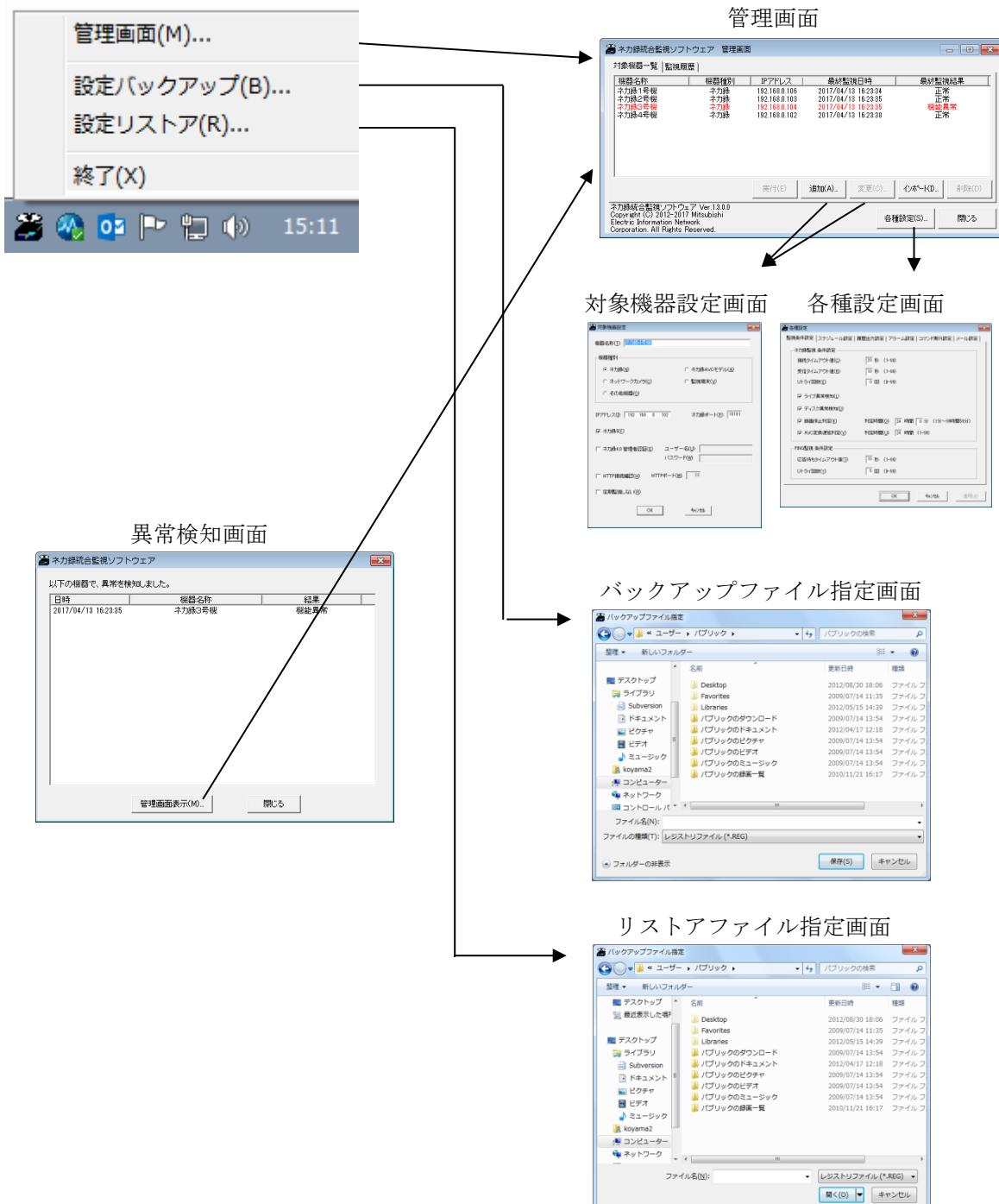
ネカ録以外の各機器の機能稼動状態を監視することはできません。

## 4.2 画面の説明

本章では、本ソフトウェアの各画面に関して説明します。

### 4.2.1 画面遷移

本ソフトウェアの画面遷移は、以下の通りです。



## 4.2.2 管理画面

管理画面の初期表示は、下図の通りです。



本画面には、以下のタブがあります。

No	タブ名	説明
1	対象機器一覧	監視対象機器の一覧表示及び設定を行います。
2	監視履歴	監視実行履歴を表示します。

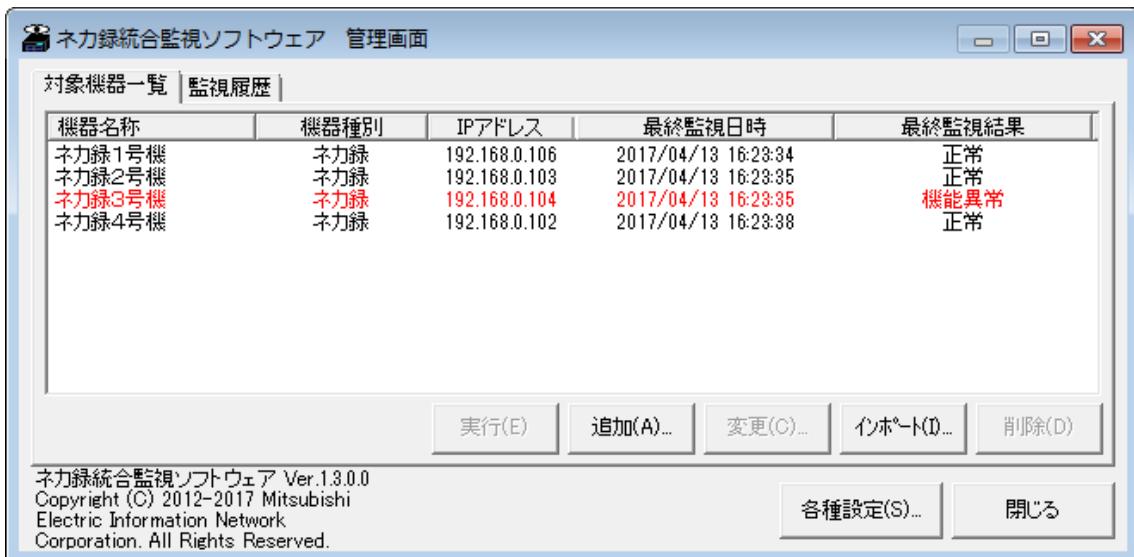
各タブの内容は、次節以降で説明します。

画面下部のボタンは各タブ共通です。意味は以下の通りです。

No	ボタン名	説明
1	各種設定	各種設定を行う画面を表示します。
2	閉じる	管理画面を閉じます。本ソフトウェアは終了しません。

#### 4.2.2.1 対象機器一覧

「対象機器一覧」タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。  
本画面では、監視対象機器の一覧が表示されます。



各フィールドの意味は、以下の通りです。

No	項目	説明										
1	対象機器一覧	<p>対象機器の一覧が表示されます。 表示される情報は、下記の通りです。 最終監視結果が異常の機器は赤字で表示されます。 一覧表示の画面上で、機器を選択してダブルクリックすると、選択した機器の監視対象機器設定画面が表示されます。</p> <table border="1"> <tr><td>機器名称</td><td>対象機器設定画面で設定した機器名称が表示されます。</td></tr> <tr><td>機器種別</td><td>対象機器設定画面で設定した機器種別が表示されます。</td></tr> <tr><td>IP アドレス</td><td>対象機器設定画面で設定した IP アドレスが表示されます。</td></tr> <tr><td>最終監視日時</td><td>最後に監視を実行した日時が表示されます。</td></tr> <tr><td>最終監視結果</td><td>最後に監視を実行した際の監視結果が表示されます。 監視結果の詳細は「6 監視結果」を参照してください。</td></tr> </table>	機器名称	対象機器設定画面で設定した機器名称が表示されます。	機器種別	対象機器設定画面で設定した機器種別が表示されます。	IP アドレス	対象機器設定画面で設定した IP アドレスが表示されます。	最終監視日時	最後に監視を実行した日時が表示されます。	最終監視結果	最後に監視を実行した際の監視結果が表示されます。 監視結果の詳細は「6 監視結果」を参照してください。
機器名称	対象機器設定画面で設定した機器名称が表示されます。											
機器種別	対象機器設定画面で設定した機器種別が表示されます。											
IP アドレス	対象機器設定画面で設定した IP アドレスが表示されます。											
最終監視日時	最後に監視を実行した日時が表示されます。											
最終監視結果	最後に監視を実行した際の監視結果が表示されます。 監視結果の詳細は「6 監視結果」を参照してください。											
実行	選択した機器の監視を即時実行します。 複数選択による一括実行が可能です。											
追加	監視対象機器を追加します。 監視対象機器設定画面が表示されます。											
変更	監視対象機器の設定を変更します。 監視対象機器設定画面が表示されます。											
インポート	<p>接続先設定ツール等で作成した接続先リストファイルから、Nei Log一覧を監視対象機器として追加します。 本ボタンをクリックするとファイル選択画面が表示されますので、接続先リストファイルを選択してください。 接続先リストファイルの格納先は以下の通りです。</p> <p>フォルダ名 : C:\Program Files\ats ファイル名 : conlist.csv (Nei Log 2.0～Nei Log 4.0 用) conlist5.csv (Nei Log 5 用)</p>											
削除	選択した機器（複数選択可）をすべて対象機器リストから削除します。 削除確認画面が表示されますので、「はい」「いいえ」のいずれかを選択してください。											

#### 4.2.2.2 監視履歴

「監視履歴」タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。  
本画面では、監視結果が表示されます。

ネ力録統合監視ソフトウェア 管理画面

対象機器一覧	監視履歴		
日時	機器名称	機器種別	結果
2017/04/13 17:10:03	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:10:01	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:10:01	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:10:00	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:05:02	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:05:01	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:05:01	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:05:00	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:00:03	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:00:01	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:00:01	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 17:00:00	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:55:05	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:55:02	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:55:02	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:55:01	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:50:07	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:50:02	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:50:01	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:50:01	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:45:03	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:45:02	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:45:01	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:45:01	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:50	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:50	ネ力録3号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:49	ネ力録2号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:49	ネ力録1号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:24	ネ力録4号機	ネ力録	正常
2017/04/13 16:38:23	ネ力録3号機	ネ力録	機能異常
2017/04/13 16:38:23	ネ力録2号機	ネ力録	正常

ネ力録統合監視ソフトウェア Ver.1.3.0.0  
Copyright (C) 2012-2017 Mitsubishi  
Electric Information Network  
Corporation. All Rights Reserved.

各種設定(S)... 閉じる

履歴出力の設定を行っている場合、画面上に監視履歴の一覧が表示されます。

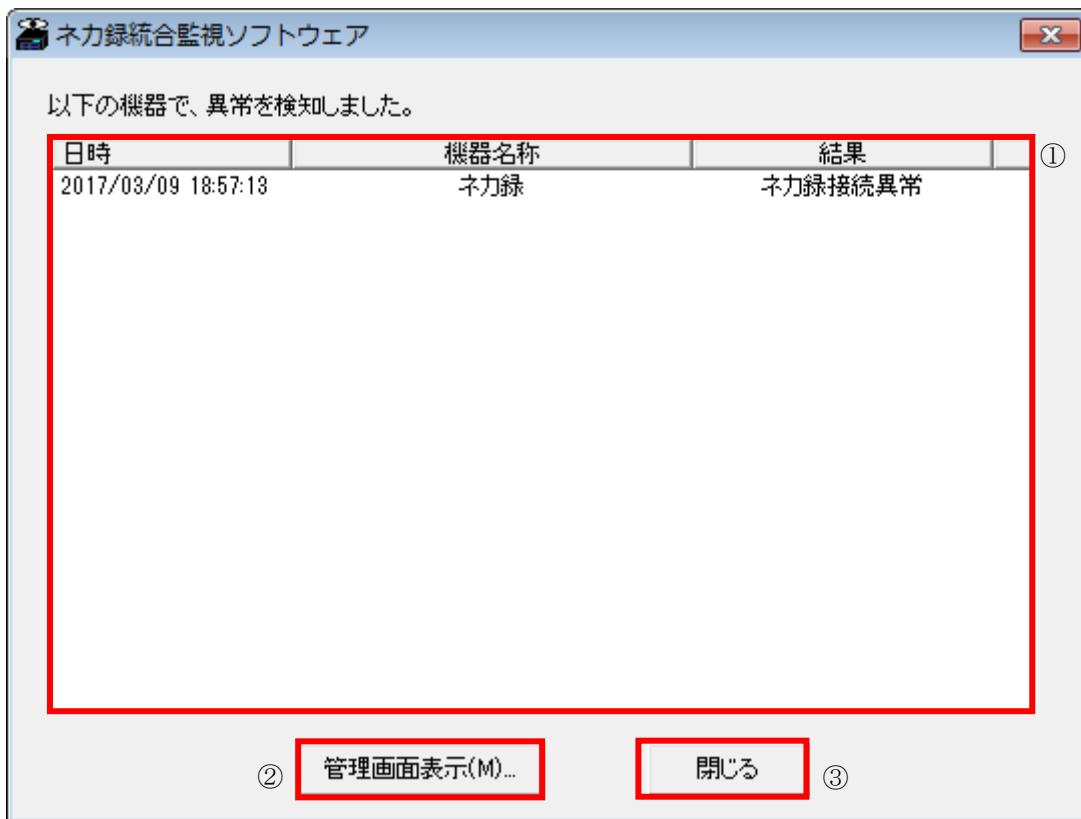
正常結果は黒、異常結果は赤で表示されます。

各項目の意味は、下表の通りです。

No	項目	説明
1	日時	監視実行日時
2	機器名称	「対象機器設定」画面で設定した機器名称。
3	機器種別	「対象機器設定」画面で設定した機器種別。
4	結果	監視の実行結果。 表示される結果文字列の種類と意味は、「6 監視結果」を参照してください。

### 4.2.3 異常検知画面

異常検知時は、下図の画面が表示され、検知した異常情報が表示されます。  
本画面が表示時に新たに異常が検知された場合は、検知異常一覧に追加されます。



各フィールドの意味は、下表の通りです

No	項目	説明
①	検知異常一覧	異常を検知した場合、その内容を表示します。 表示される情報は、下記の3カラムの情報です。
	日時	異常を検知した日時を表示します。
	機器名称	異常を検知した機器の名称を表示します。
	結果	検知した異常を表示します。
②	管理画面表示	本画面を閉じて、管理画面を表示します。
③	閉じる	本画面を閉じます。

定期的に監視を行う設定にしている場合、異常発生した機器に対しては、異常状態が解除されるまで毎回同一の異常を検知します。

従って、異常を検知した後のアクション（警報音を発報するなど）を設定している場合は、同じアクションが繰り返されることになります。

これを避けたい場合は、異常発生機器を一時的に定期監視の対象から外してください。

機器の設定画面詳細は、5.2.2 「対象機器一覧」タブの「対象機器設定」画面を参照してください。

## 4.3 メニュー

タスクバー上のアイコン (  ) をマスクリックすると、以下のメニューが表示されます。

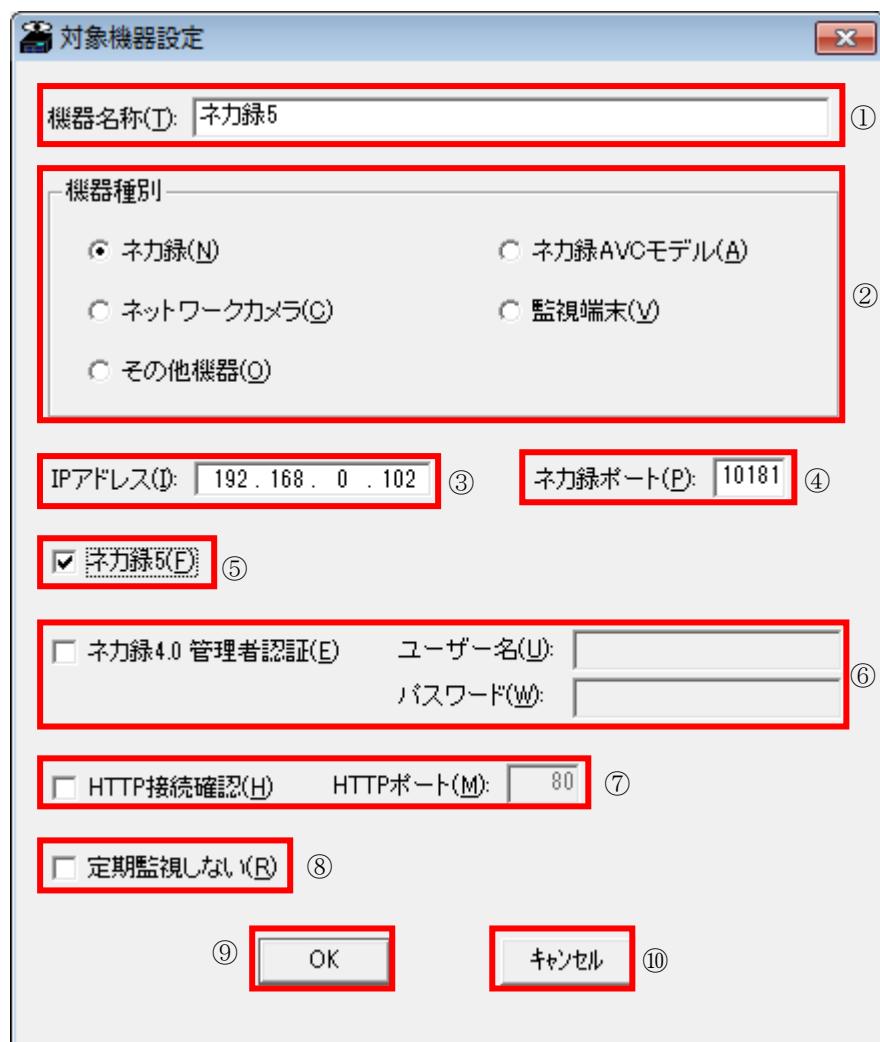
メニュー	説明
管理画面	本ソフトウェアの設定と監視結果を表示する画面を表示します。 詳細は、「4.2.2 管理画面」を参照してください。
設定バックアップ	本ソフトウェアの設定をバックアップします。 詳細は、「5.3.1 設定バックアップ」を参照してください。
設定リストア	上記でバックアップをとった設定ファイルを現在のPCにリストアします。 詳細は、「5.3.2 設定リストア」を参照してください。
終了	本ソフトウェアを終了します。

## 5. 設定

本章では、本ソフトウェアの各設定について説明します。

### 5.1 監視対象機器設定

管理画面の「対象機器一覧」タブで「追加」「変更」ボタンをクリックすると、下図の対照機器設定画面が表示されます。この画面で、監視対象の機器の設定・変更を行います。



各フィールドの意味は、以下の通りです。

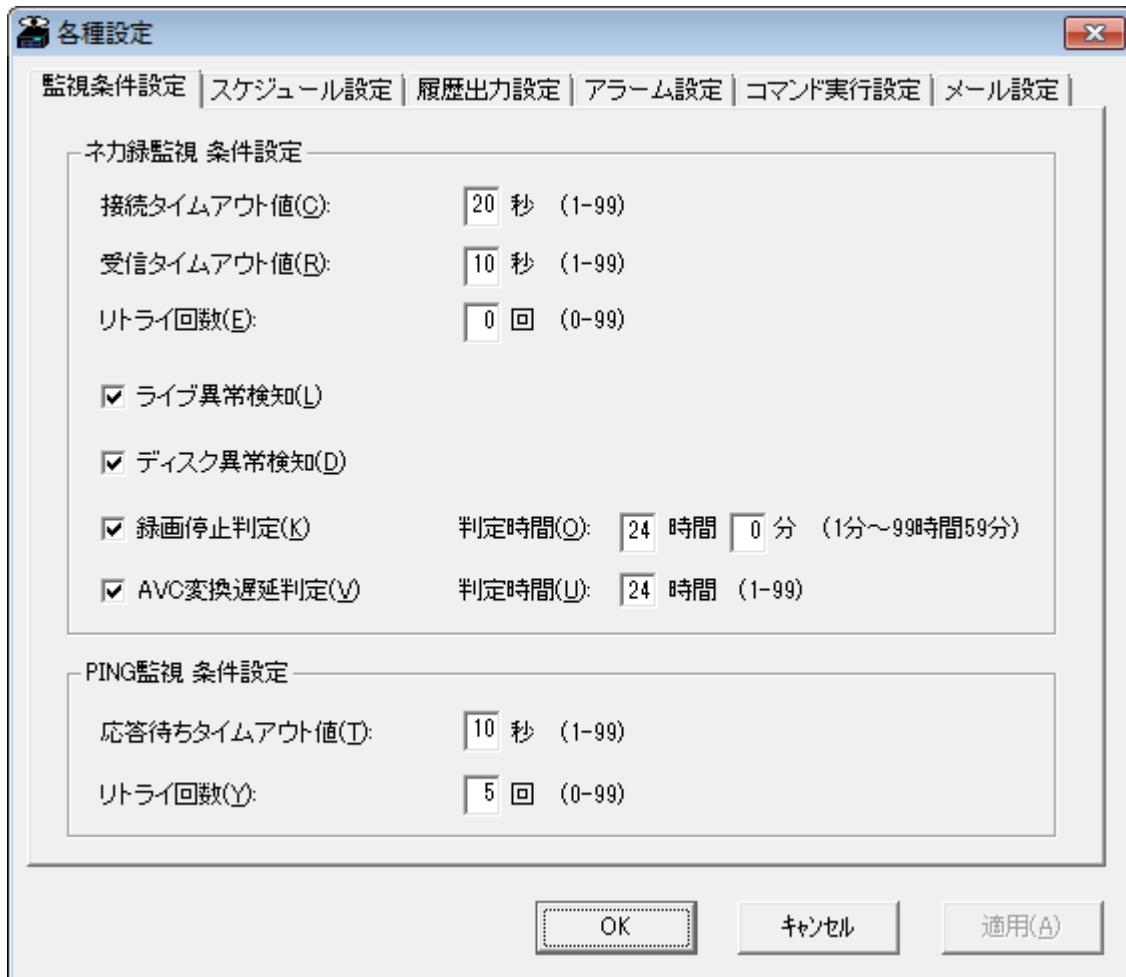
No	項目	説明
①	機器名称	監視する機器の名称を指定します。 指定可能長：1～200 バイト
②	機器種別	機器の種別を指定します。選択可能な機器は、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ネカ録</li><li>● ネカ録 AVC モデル</li><li>● ネットワークカメラ</li><li>● 監視端末</li><li>● その他機器</li></ul>

No	項目	説明
		既定設定：ネカ録
③	IP アドレス	監視対象機器の IP アドレスを指定してください。 既定値：192.168.0.102
④	ネカ録ポート	監視対象がネカ録及びネカ録 AVC モデルの場合に、ポート番号を指定してください。 指定可能値：0～65535 既定値：10181
⑤	ネカ録 5	監視対象がネカ録 5 の場合にチェックを付けてください。 既定設定：チェックあり
⑥	ネカ録 4.0 管理者認証	監視対象がネカ録 4.0 及び 4.0AVC の場合にチェックを付けてください。(ANONYMOUS モードの場合も、チェックを付けてください) 既定設定：チェックなし
	ユーザ名	ネカ録 4.0 及び 4.0AVC の場合は、保守ユーザ名を入力してください。 (ANONYMOUS モードの場合も、入力してください) 指定可能長：～20 バイト
	パスワード	ネカ録 4.0 及び 4.0AVC の場合は、保守ユーザのパスワードを入力してください。 (ANONYMOUS モードの場合も、入力してください) 指定可能長：～20 バイト
⑦	HTTP 接続確認	Web サーバへの接続確認を行う場合は、チェックを付けてください。 既定設定：チェックなし
	HTTP ポート	Web サーバのポート番号を指定してください。 既定値：80
⑧	定期監視しない	定期監視を行わない場合に、チェックを付けてください。 故障機器を一時的に監視対象から外す場合などに指定してください。 既定設定：チェックなし
⑨	OK	設定した内容を保存し、本画面を閉じます。
⑩	キャンセル	設定した内容をキャンセルし、本画面を閉じます。

## 5.2 各種設定

本節では、本ソフトウェアの各種設定について説明します。

「管理画面」の「各種設定」ボタンをクリックすると、以下の各種設定画面が表示されます。



本画面には、以下のタブがあります。

No	項目	説明
1	監視条件設定	監視の条件を設定します。
2	スケジュール設定	監視を行うスケジュールを設定します。
3	履歴出力設定	監視実行結果の履歴出力に関して設定します。
4	アラーム設定	異常検知時のアラーム音声出力に関して設定します。
5	コマンド実行設定	異常検知時のコマンド実行に関して設定します。
6	メール設定	異常検知時のメール通知に関して設定します。

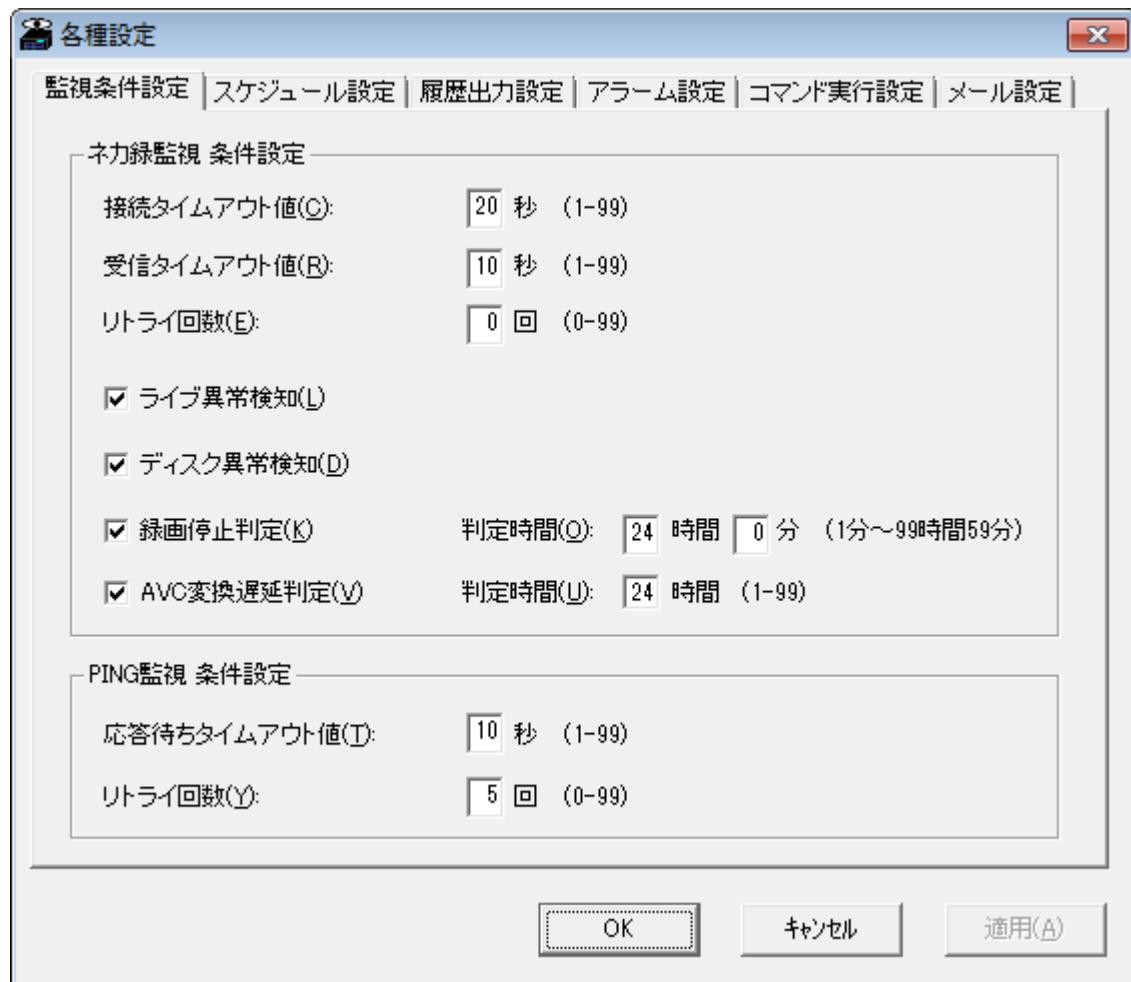
以下の各節で、各タブ内の設定項目について説明します。

画面下部のボタンは各タブ共通です。意味は以下の通りです。

No	項目	説明
1	OK	本画面で設定した内容を保存し、画面を閉じます。
2	キャンセル	本画面での設定内容を保存せずに画面を閉じます。
3	適用	本画面を閉じずに設定内容を保存します。

## 5.2.1 監視条件設定

「監視条件設定」タブでは、監視の条件を設定します。



本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	接続タイムアウト値	「ネcko」または「ネcko AVC モデル」として設定された機器に対する接続タイムアウト値を秒単位で設定します。 指定可能値：1～99 秒 既定値：20 秒
2	受信タイムアウト値	ネcko監視時にネckoからデータを受け取る際のタイムアウト値を秒単位で設定します。 指定可能値：1～99 秒 既定値：10 秒
3	リトライ回数	ネcko監視で異常を検知した場合のリトライ回数を指定します。 リトライで正常となった場合は、監視結果は正常となります。 指定可能値：0～99 回 既定値：0 回
4	ライブ異常検知	ライブ異常検知を行わない場合に、チェックを付けてください。 既定設定：チェックあり
5	ディスク異常検知	ディスク異常検知を行わない場合に、チェックを付けてください。 既定設定：チェックあり

No	項目	意味と指定可能値
6	録画停止判定	録画停止判定を行う場合に、チェックを付けてください。 既定設定：チェックあり
	判定時間	録画停止判定を行う際のしきい値を分単位で設定します。 指定可能値：1 分～99 時間 59 分 既定値：24 時間
7	AVC 変換遅延判定	AVC 変換遅延判定を行う場合に、チェックを付けてください。 既定設定：チェックあり
	判定時間	遅延判定を行う際のしきい値を時間単位で設定します。 指定可能値：1～99 時間 既定値：24 時間
8	応答待ちタイムアウト値	ネカ録以外の機器に対して、PING を行う場合のタイムアウト値を秒単位で指定します。 指定可能値：1～99 秒 既定値：10 秒
9	リトライ回数	PING を行いタイムアウトが発生した場合のリトライ回数を指定します。 指定可能値：0～99 回 既定値：5 回

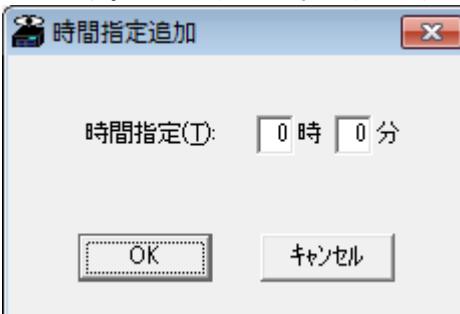
## 5.2.2 スケジュール設定

「スケジュール設定」タブでは、監視を行うスケジュールを設定します。監視は、本画面で設定したスケジュールにしたがって、「定期監視をしない」というチェック項目にチェックが付いた機器を除きすべての機器に対して実施します。



本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	監視実行日	監視実行日の設定を行います。
	毎日	毎日監視を行う場合に指定します。
	曜日指定	指定曜日に監視を行う場合に指定します。 対象曜日にチェックを付けます。複数指定可能です。
	日指定	毎月の特定日に監視を行う場合に指定します。 対象日を合わせて設定します。 指定可能値：1～31 日 既定値：1 日
	間隔指定	一定の間隔日に監視を行う場合に指定します。 間隔を合わせて設定します。 指定可能値：1～99 日 既定値：2 日
		監視実行日として「間隔指定」を選択した場合は、監視実行時刻と

No	項目	意味と指定可能値
	次回実行日	して「間隔指定」を選択することはできません。
	定期実行しない	スケジュール監視を行わない場合に指定します。 一時的に定期監視を中止する場合は、この設定にしてください。
2	監視実行時刻	監視を行う時刻の設定を行います。 ここで指定された時刻で、上記の「監視実行日」で指定された日に監視が実行されます。
	時刻指定	指定した時刻に監視を行います。 ここで、指定した時刻に監視を行います。 最大 50 個まで時刻指定可能です。
	追加	このボタンをクリックすると、以下の「時間指定追加」画面が表示されます。この画面に監視実行時刻を指定して追加します。
	削除	
		選択した時刻を削除します。複数選択による一括削除が可能です。
	間隔指定	指定した間隔（分）で監視を行います。 指定可能値：1 分～9 時間 59 分



### スケジュール設定に関する注意事項:

- 設定したスケジュールの時間になっても、前回の監視が終了していない場合は、その回の実行はスキップされます。従って、監視実行の間隔は、監視に要する時間より長く設定してください。
- 1 台の機器に対する監視に要する時間は、ネットワーク応答に要する時間とほぼ等しくなります。従って、ネットワーク異常が無い場合は 1 秒以内で終了しますが、異常時は、ネカ録接続タイムアウト値及び PING 応答待ちタイムアウト値・リトライ回数の設定値分だけ時間を要します。
- 複数の機器を監視対象にしている場合、監視実行は同時に実行されずに順番に実行されます。
- 所要時間算出の見積り例は、以下の通りです。

(例) 監視対象：ネカ録 5 台、その他機器 10 台

ネカ録接続タイムアウト値：20 秒

PING 監視応答待ちタイムアウト値：10 秒

PING 監視リトライ回数：5 回

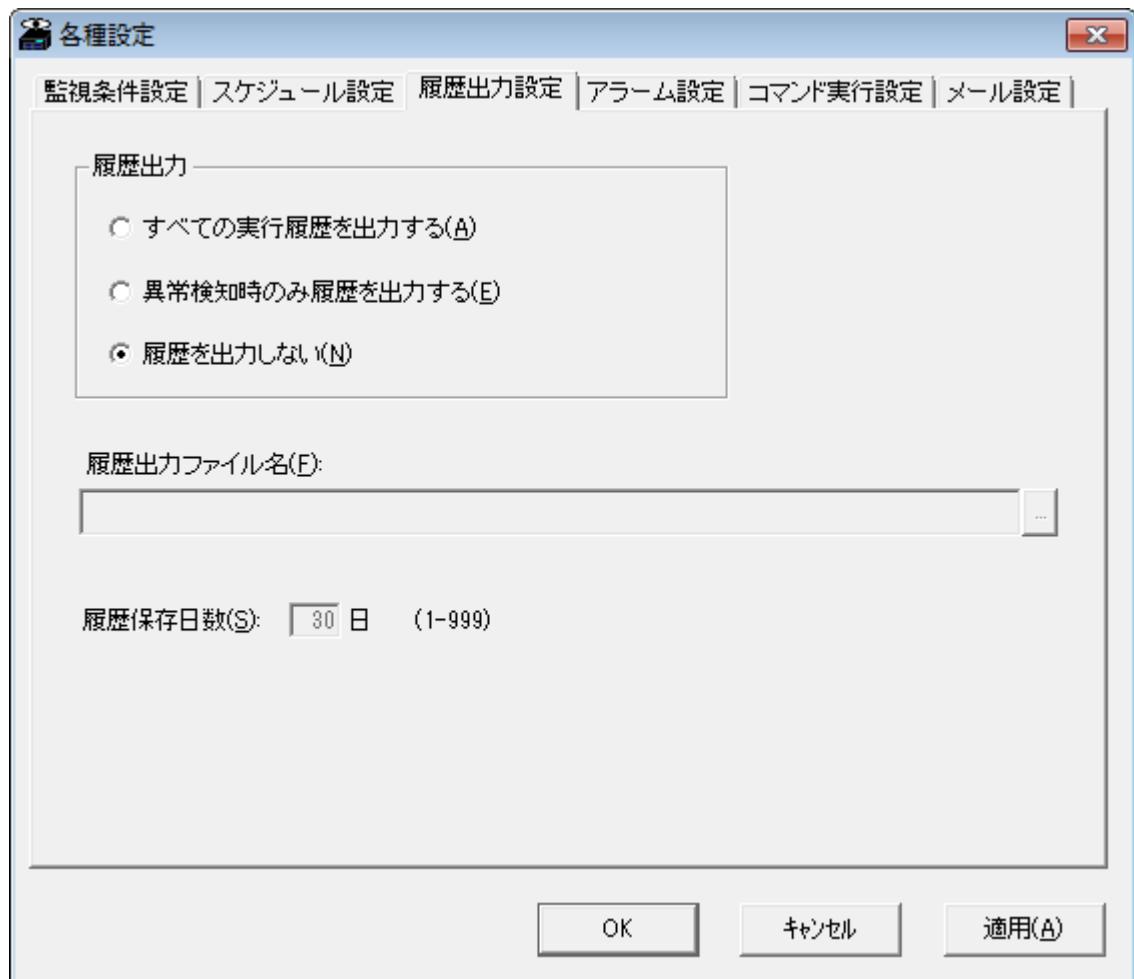
$$20 \text{ 秒} \times 5 \text{ 台} + 10 \text{ 秒} \times (1+5) \text{ 回} \times 10 \text{ 台} = 700 \text{ 秒} = 11 \text{ 分 } 40 \text{ 秒}$$

### 結論:

この場合は、最大所要時間が 11 分 40 秒となるので、監視実行間隔は、12 分以上に設定することが望ましい。

### 5.2.3 履歴出力設定

「履歴出力設定」タブでは、監視実行結果の履歴出力に関して設定します。

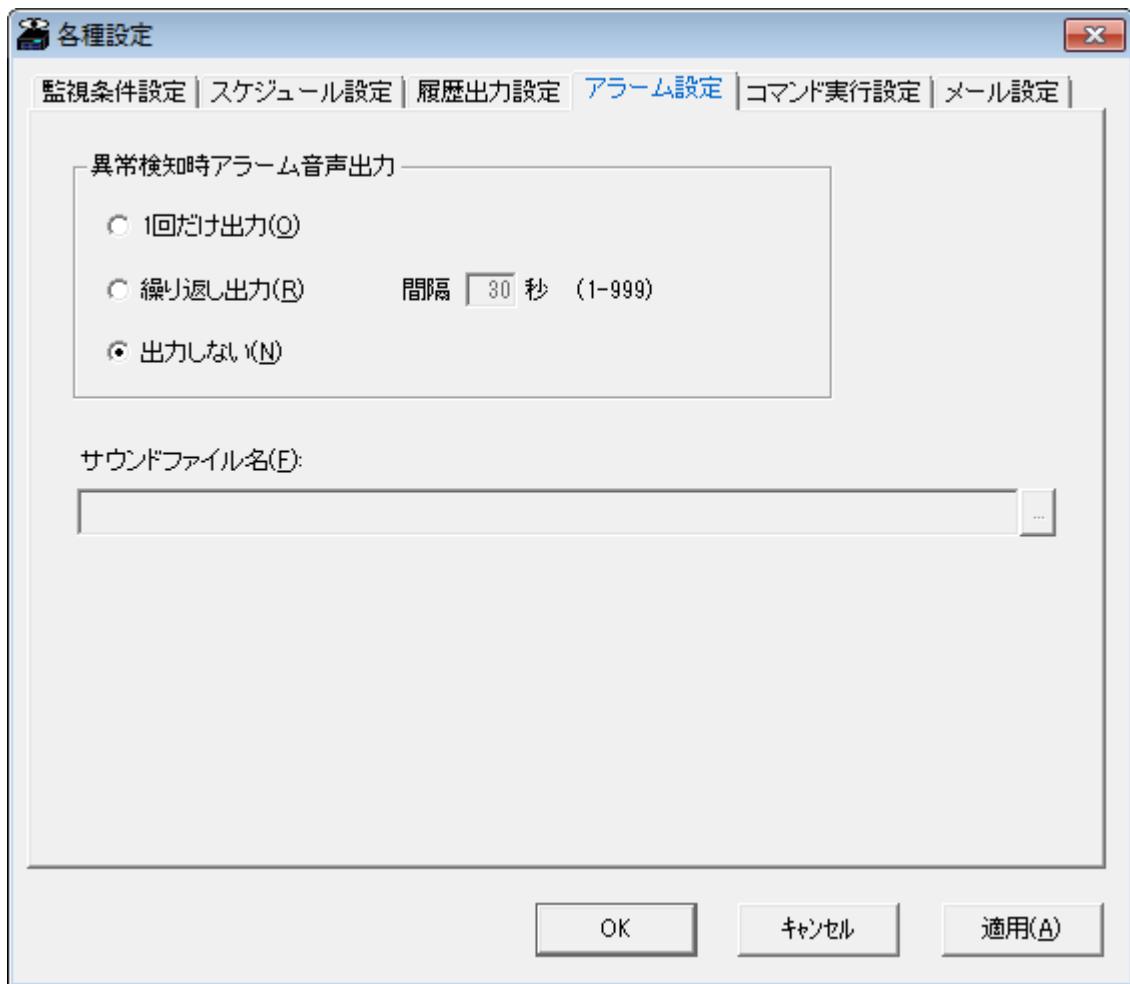


本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	履歴出力	監視結果の履歴の出力に関する設定を行います。 出力先は、管理画面の「監視履歴」タブと履歴出力ファイルです。 「すべての実行履歴を出力する」、「異常検知時のみ履歴を出力する」、「履歴を出力しない」のいずれかを選択してください。 既定設定：「履歴を出力しない」
2	履歴出力ファイル名	履歴出力先のファイル名を指定してください。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。
3	履歴保存日数	履歴保存日数を指定します。 この指定日数を超過した履歴は、自動的に削除されます。 指定可能値：1～999 日 既定値：30 日

## 5.2.4 アラーム設定

「アラーム設定」タブでは、異常検知時のアラーム音声出力に関して設定します。

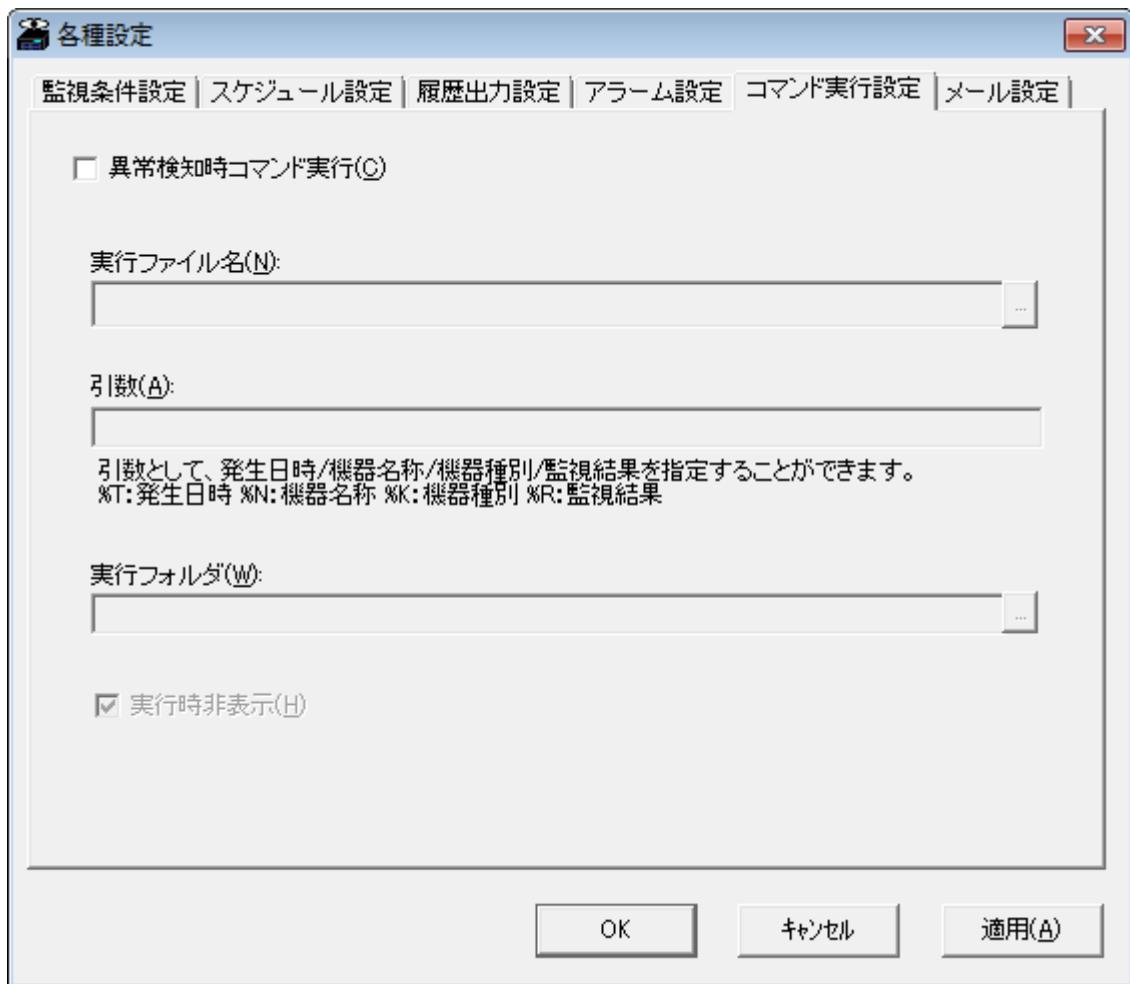


本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	異常検知時アラーム音声出力	異常を検知した際の、アラーム音声出力の指定をします。 既定設定：出力しない
	1回だけ出力	1回だけ音声出力します。
	繰り返し出力	異常検知画面を閉じるまで繰り返し音声出力します。
	間隔	音声出力間隔を秒単位で指定します。 指定可能値：1～999秒 既定値：30秒
	出力しない	音声出力しません。
2	サウンドファイル名	音声出力するサウンドファイル名を指定します。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。

## 5.2.5 コマンド設定

「コマンド設定」タブでは、異常検知時のコマンド実行に関して設定します。

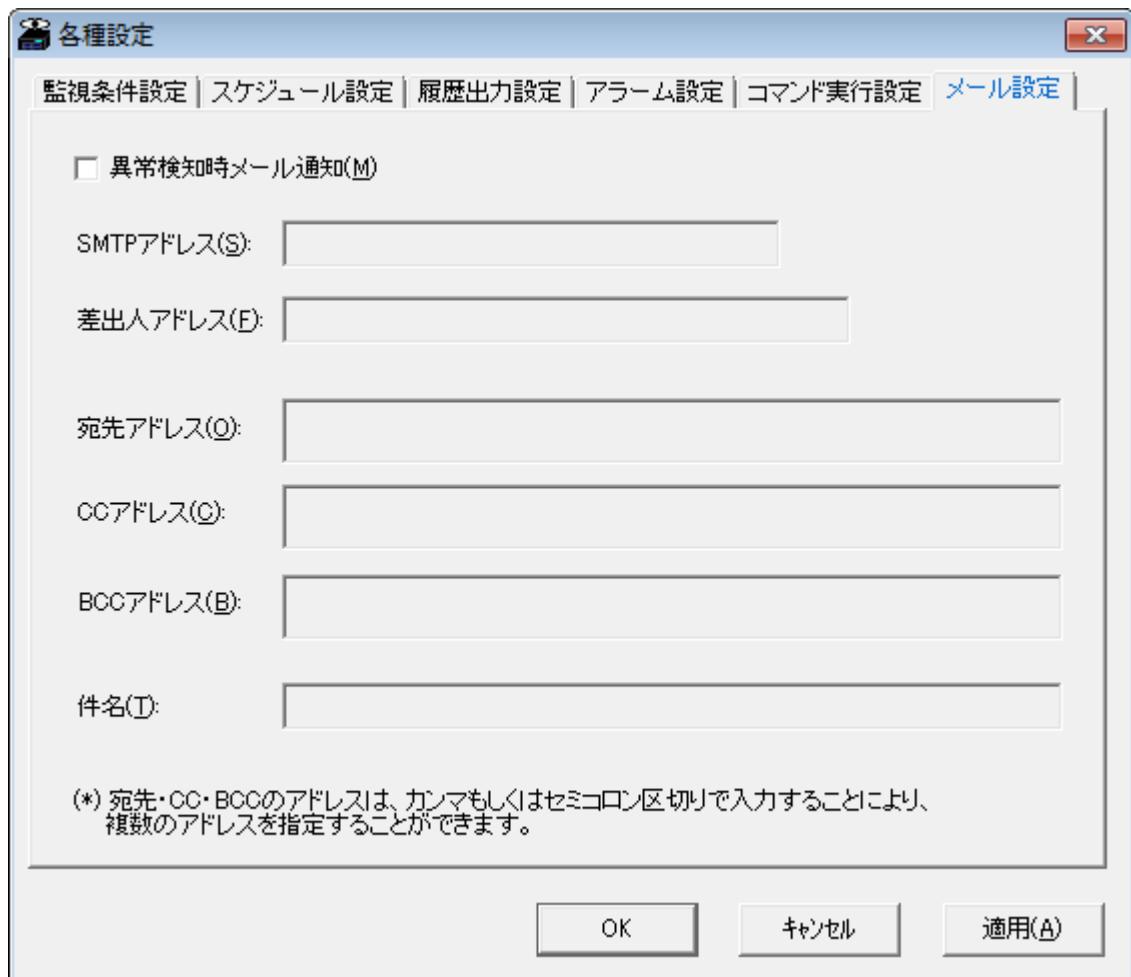


本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味と指定可能値
1	異常検知時 コマンド実行	異常検知時にコマンド実行する場合にチェックを付けてください。
2	実行ファイル名	実行ファイル名を指定してください。 右端の「...」ボタンクリックから、ファイル選択画面でファイルを指定することができます。
3	引数	実行ファイルの引数を指定します。 指定可能長: ~299 バイト  以下の変数指定により、実行ファイルへの引き渡しが可能です。 %T: 発生日時、%N: 機器名称、%K: 機器種別、%R: 監視結果
4	実行フォルダ	実行時のフォルダを指定してください。 右端の「...」ボタンクリックから、フォルダ参照画面でフォルダを指定することができます。
5	実行時非表示	非表示で実行する場合にチェックを付けてください。 既定設定: チェックなし

## 5.2.6 メール設定

「メール設定」タブでは、異常検知時のメール通知に関して設定します。



本画面で表示される項目とその意味および指定可能値は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	異常検知時メール通知	異常検知時にメール通知する場合にチェックします。
2	SMTP アドレス	SMTP サーバのアドレスを指定します。 指定可能長：～255 バイト
3	差出人アドレス	宛先のアドレスを指定します。 指定可能長：～255 バイト
4	宛先アドレス	差出人のアドレスを指定します。 指定可能長：～511 バイト
5	CC アドレス	CC で送信するアドレスを指定します。 指定可能長：～511 バイト
6	BCC アドレス	BCC で送信するアドレスを指定します。 指定可能長：～511 バイト
7	件名	メールの件名を指定します。 指定可能長：～255 バイト



宛先/CC/BCC のアドレスは、カンマ(,)もしくはセミコロン(;)区切りで入力することにより、複数のアドレスを指定することができます。

送信メールの本文の出力書式及び出力例は、以下の通りです。

[出力書式]

ネカ録 統合監視ソフトウェア  
異常を検知しました。  
日時: YYYY/MM/DD HH:MM:SS  
機器名称: 機器名称  
ステータス: ステータス

[出力例]

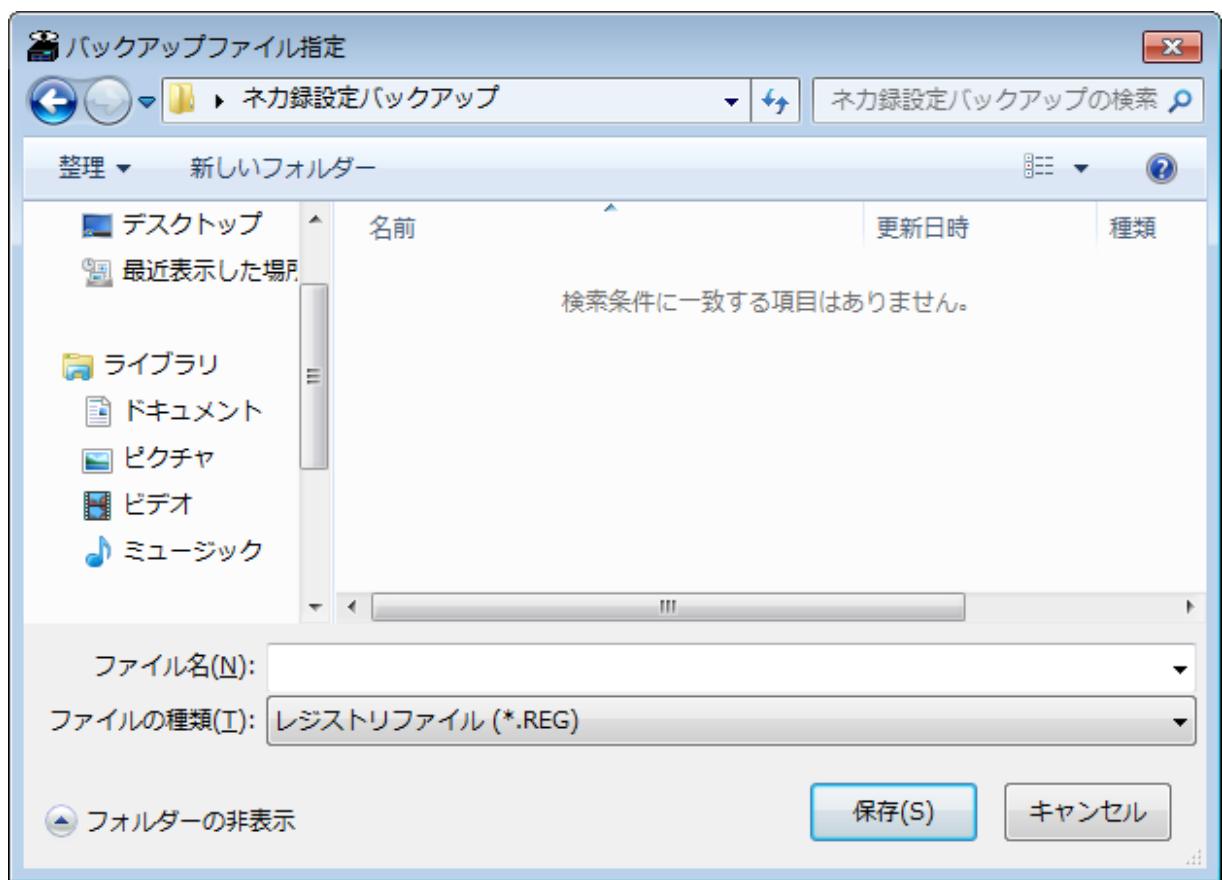
ネカ録 統合監視ソフトウェア  
異常を検知しました。  
日時: 2012/08/13 19:05:01  
機器名称: ネカ録1号機  
ステータス: ネカ録接続異常

## 5.3 設定バックアップ/リストア

本節では、本ソフトウェアの設定のバックアップ/リストアについて説明します。

### 5.3.1 設定バックアップ

「設定バックアップ」メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。  
この画面で、バックアップするファイル名を指定してください。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	フォルダーツリーとファイル名	バックアップ先のフォルダを指定します。
2	ファイル名	バックアップするファイル名を指定します。
3	ファイルの種類	ファイルの種類を選択します。
4	保存	現在の設定を指定したファイルにバックアップします。
5	キャンセル	本画面での操作をキャンセルし、本画面を閉じます。

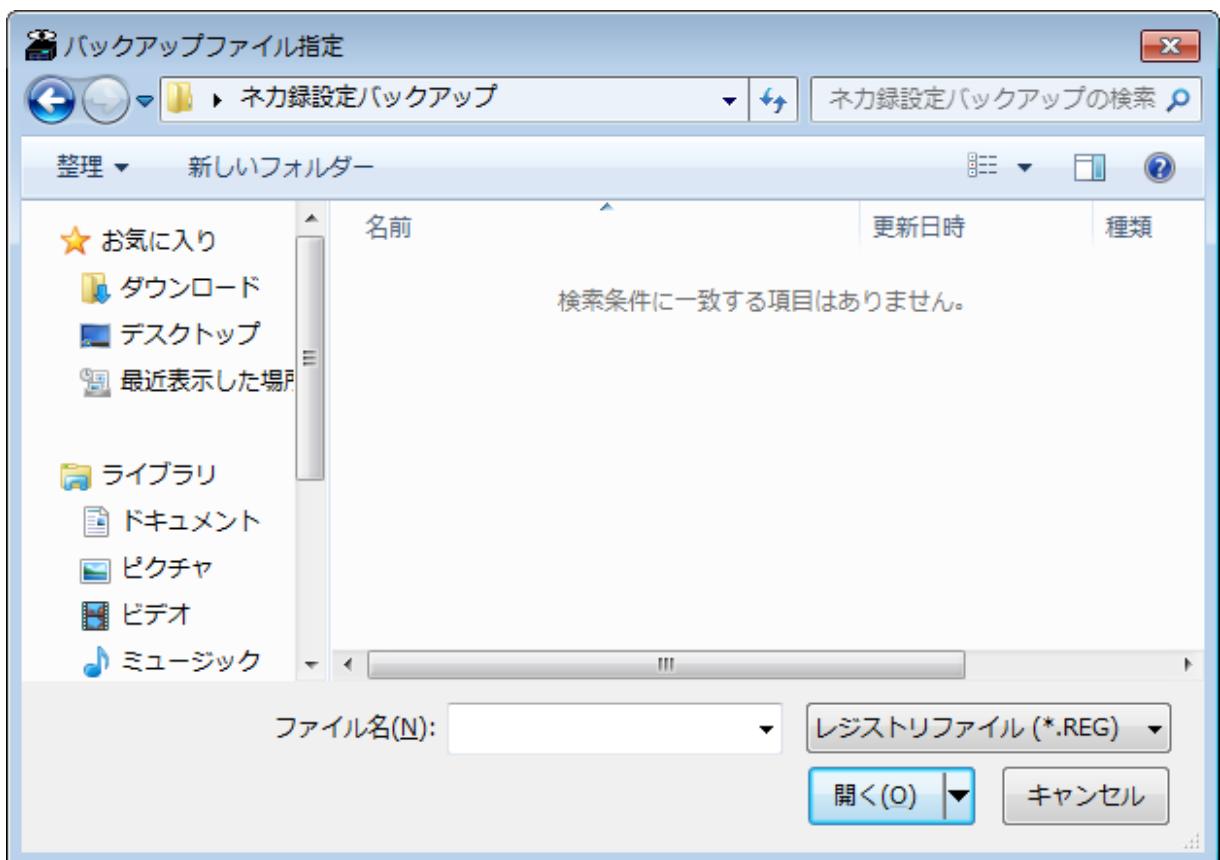
### 5.3.2 設定リストア

「設定リストア」メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。  
この画面で、リストアするバックアップファイル名を指定してください。



#### 注意事項：

本機能の実行には、Windows の管理者権限が必要です。  
権限不足の場合は、「設定リストア」メニュー選択時に、「この機能の実行には、  
管理者権限が必要です」とメッセージ表示されます。  
この場合は、本ソフトウェアを一旦終了し、Windows のスタートアップメニューの  
本ソフトウェアのメニューを右クリックし、「管理者として実行」メニューを選択して  
起動してください。



本画面で表示される項目とその意味は、以下の通りです。

No	項目	意味
1	フォルダーツリー とファイル名	リストアするファイルの存在するフォルダを指定します。
2	ファイル名	リストアするバックアップファイル名を指定します。
3	ファイルの種類	ファイルの種類を選択します。
4	開く	指定したファイルのリストアを実行します。
5	キャンセル	本画面での設定をキャンセルし、本画面を閉じます。

## 6. 監視結果

管理画面、異常検知画面に表示される監視結果とその意味は下表の通りです。

監視結果	意味
正常	異常が検知されませんでした。
ネカ録接続異常	ネカ録とのネットワーク接続に失敗しました。 監視 PC とネカ録の間のネットワークに異常があるか、ネカ録が停止(電源 OFF)している可能性があります。
機能異常	ネカ録の基本サービスとの接続に失敗しました。 ディスク異常等に起因してネカ録基本サービスのソフトウェアが正常動作できていない場合などが考えられます。 ネカ録 4.0 及び 4.0AVC に対して、「ネカ録 4.0 管理者認証」にチェックを付けていない場合もこの結果になります。 また、監視 PC 上でウィルス検知ソフトが動作している場合は、ネカ録とのネットワーク接続に失敗した際、この結果となることがあります。
認証異常	ネカ録 4.0 に対する認証に失敗しました。 指定したユーザー名・パスワードに誤りがあります。
ライブ画像異常	ネカ録からライブ画像配信されていません。 ネカ録 2.0/3.0 の場合は、ドングルが正常動作していない(未装着もしくは後部ランプ消灯)可能性があります。  <b>⚠ 注意事項 :</b> カメラからネカ録への画像配信が停止している場合は、この結果にはなりません。
録画異常	ネカ録の録画が指定した時間以上停止しています。 スケジュール録画、動き検知録画、センサー連動録画の設定時は、録画条件を満たさずに録画されなかった際も、この結果となります。
ディスク異常	ネカ録内のディスク読み書きで異常を検知しました。  <b>⚠ 注意事項 :</b> ディスク異常によりネカ録基本サービスのソフトウェアが動作していない場合は、「ディスク異常」ではなく、「機能異常」となります。
AVC 接続異常	AVC モデルの専用機能への接続に失敗しました。 AVC モデル用サービスの異常等が考えられます。
AVC 変換異常	AVC 変換が指定時間以上遅延しています。
PING 応答なし	PING 監視で応答がありませんでした。
HTTP 接続異常	ネカ録及びネットワークカメラに対する HTTP 接続に失敗しました。 当該機器の Web サービスの異常が考えられます。



ネカ録監視は、ネカ録とのネットワーク接続を行い、各検知項目のチェックを順に行います。ネットワーク接続に失敗した場合は「ネカ録接続異常」となり、他の異常は検知されません。各検知項目のチェック中にネットワーク接続が切断された場合には、チェック中の項目の異常と表示されます。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載または複製することは、固くお断りします。
- 本書の記載内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。

説明書名 ネットワークカメラ用録画・配信サーバ 統合監視ソフトウェア ユーザーズマニュアル

説明書番号 90B0-DL-0896F

2017年5月1日 発行

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

東京都港区芝浦 4-6-8